NTT DoCoMo

DCMX®

取扱説明書

FOMA® D902iS

’06.12



かんたん検索/目次/注意事項
ご使用前の確認
電話のかけかた/受けかた
テレビ電話のかけかた/受けかた
プッシュトーク
電話帳
音/画面/照明設定
あんしん設定
カメラ
ｉモード/ｉモーション
メール
ｉアプリ
ｉチャネル
おサイフケータイ/トルカ
フルブラウザ
データ表示/編集/管理/音楽再生
その他の便利な機能
ネットワークサービス
データ通信
文字入力
付録/外部機器連携/困ったときには
索引/クイックマニュアル

i mode®

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA D902iS」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA D902iS は、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 3 本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストネット株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. **電池パックをセットし、充電しましょう**（☛P41、P42）
2. **電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう**（☛P46、P48）
3. **本体のキーなどの役割を確認しましょう**（☛P26）
4. **画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう**（☛P29）
5. **メニューの操作方法を確認しましょう**（☛P32）
6. **電話のかけかた／受けかたを確認しましょう**（☛P50、P62）

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- **「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード**
  （http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html）

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

さまざまな検索方法で、知りたい機能や操作方法を探せます。

「索引」から探す

機能名やサービス名から探します。

P470

「かんたん検索」から探す

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

P4

「表紙インデックス」から探す

表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

表紙

▶次ページで詳しく説明しています

「目次」から探す

目的別に章に分類された目次から探します。

P6

「特徴」から探す

D902iSの特徴的な機能や新機能から探します。

P8

「メニュー一覧」から探す

D902iSのメニューから探します。

P416

「クイックマニュアル」を利用する

よく使う機能の操作方法を記載しています。本書から切り離してお使いください。

P476

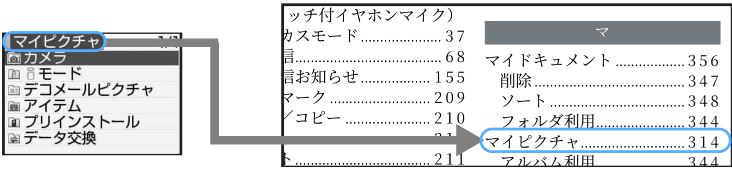
- この「FOMA D902iS 取扱説明書」の本文中においては、「FOMA D902iS」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中では miniSD メモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。
  miniSDメモリーカードについて☛P332
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しております。
- ディスプレイに表示される画面デザインなどは、FOMA端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせて初期設定されています（トータルコーディネイト設定）。☛P158
  本書では、主にトータルコーディネイトの設定が「プラチナ」の場合で説明しています。
-
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

「マイピクチャ」の記載ページを探すときを例に説明します。

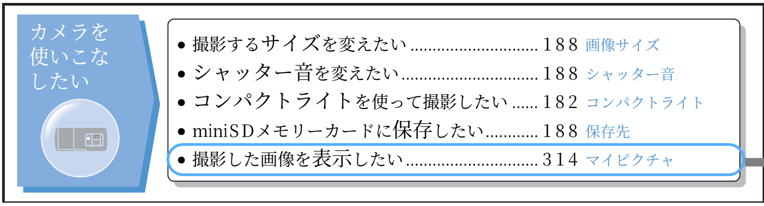
「索引」から探すとき

あらかじめ機能名やサービス名がわかっているときは索引から探します。



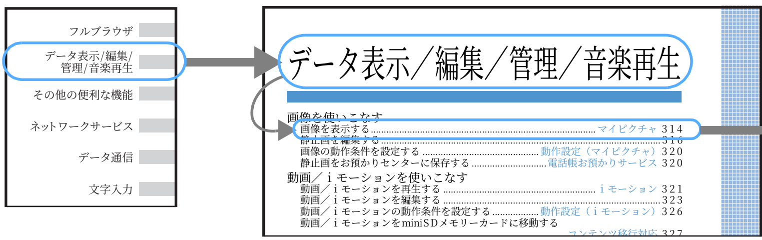
「かんたん検索」から探すとき

かんたん検索では、よく使う機能や知っていると便利な機能を簡単に探せます。



「表紙インデックス」から探すとき

表紙→章扉（章の最初のページ）→機能の記載ページという順で探します。



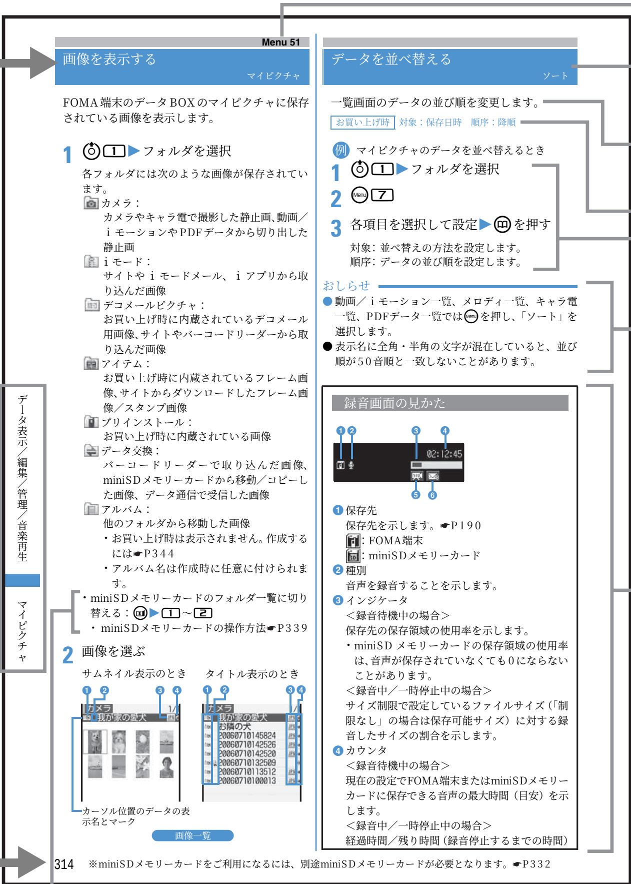
● 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
● 本書では、キーの表記を省略しています。

実際のキー	本書での表記
[□ わかん記号]	[□]

● 本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表　記	意　味
[Menu][□]▶[●]▶端末暗証番号を入力	待受画面で[Menu][□]を押したあと、[●]を押す。続けて、端末暗証番号を入力し、[●]を押す。





Menu 51

画像を表示する
マイピクチャ

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 ⓞ1▶フォルダを選択

各フォルダには次のような画像が保存されています。
- カメラ：カメラやキャラ電で撮影した静止画、動画／iモーションやPDFデータから切り出した静止画
- iモード：サイトやiモードメール、iアプリから取り込んだ画像
- デコメールピクチャ：お買い上げ時に内蔵されているデコメール用画像、サイトやバーコードリーダーから取り込んだ画像
- アイテム：お買い上げ時に内蔵されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたフレーム画像／スタンプ画像
- プリインストール：お買い上げ時に内蔵されている画像
- データ交換：バーコードリーダーで取り込んだ画像、miniSDメモリーカードから移動／コピーした画像、データ通信で受信した画像
- アルバム：他のフォルダから移動した画像
  - ・お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P344
  - ・アルバム名は作成時に任意に付けられます。

・miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：ⓘ▶1～2
・miniSDメモリーカードの操作方法☛P339

2 画像を選ぶ

サムネイル表示のとき　タイトル表示のとき

カーソル位置のデータの表示名とマーク

画像一覧

データを並べ替える
ソート

一覧画面のデータの並び順を変更します。

お買い上げ時　対象：保存日時　順序：降順

例 マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 ⓞ1▶フォルダを選択

2 Menu 7

3 各項目を選択して設定▶ⓘを押す

対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

おしらせ
- ●動画／iモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデータ一覧ではMenuを押し、「ソート」を選択します。
- ●表示名に全角・半角の文字が混在していると、並び順が50音順と一致しないことがあります。

録音画面の見かた

1 保存先
保存先を示します。☛P190
: FOMA端末
: miniSDメモリーカード

2 種別
音声を録音することを示します。

3 インジケータ
<録音待機中の場合>
保存先の保存領域の使用率を示します。
・miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても0にならないことがあります。
<録音中／一時停止中の場合>
サイズ制限で設定しているファイルサイズ（「制限なし」の場合は保存可能サイズ）に対する録音したサイズの割合を示します。

4 カウンタ
<録音待機中の場合>
現在の設定でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存できる音声の最大時間（目安）を示します。
<録音中／一時停止中の場合>
経過時間／残り時間（録音停止するまでの時間）

データ表示／編集／管理／音楽再生　マイピクチャ

314　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

ショートカット操作
☛P34

タイトル、機能名
機能名は索引に記載されています。

機能の概要や操作するときに気をつけること

お買い上げ時の設定

操作手順

おしらせ
本書では以下のように分類して表記しています。
- ●：その他の操作方法
- ●：注意事項
- ●：機能に関する詳細説明

コラム
知っておくと便利な情報など

インデックス

操作に関する補足説明

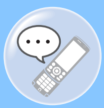
ページはサンプルです。本文中のページとは異なります。

- ●特に断りがないかぎり、待受画面からの操作手順を記載しています。
- ●操作手順は、主にノーマルメニューのショートカット操作で説明しています。操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
- ●本書では、（スピードセレクター）で項目にカーソルを合わせる操作を、「選ぶ」と表記しています。また、（スピードセレクター）で項目にカーソルを合わせ、（決定キー）を押して項目を選ぶ操作を、「選択」と表記しています。
  入力欄に文字を入力する操作においては、最後にを押す操作を省略しています。

かんたん検索

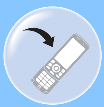
かんたん検索では、よく使う機能や知っていると便利な機能を簡単に探せます。

通話に便利な機能を知りたい



- **電話番号**を知らせたい／知られたくない........48 発信者番号通知
- 携帯電話の**画面を見ながら通話**したい.........83 スピーカーホン機能
- 相手の**声の音量**を変えたい..............................69 受話音量
- 通話を**保留**したい ....51 通話中保留
- 音声電話通話中にテレビ電話に**切り替えたい**...53 テレビ電話切り替え

出られない電話にこうしたい



- **用件**を録音／録画したい....................................77 伝言メモ
- **留守番電話**サービスを利用したい ....394 留守番電話
- 電話に出ないで**保留**したい................................72 応答保留

メロディやイルミネーションを変えたい



- **キーを押したとき**の音を消したい.............134 キー確認音
- **着信音**を変えたい...132 音の設定
- **着信音の音量**を変えたい.................................69 電話着信音量
- **マナーモード**にしたい...................................139 マナーモード
- 着信を**振動**でも知りたい...............................137 バイブレータ設定
- 着信時の照明の**色**や**点灯パターン**を変えたい...154 イルミネーション設定
- 着信**相手ごとに**着信音などを変えたい.........114 電話帳別着信設定

画面表示を変えたい／知りたい



- **待受画面**（壁紙）を変えたい........................141 待受画面設定
- 待受画面に**カレンダー**を表示させたい.........145 カレンダー
- **時計**を合わせたい ....46 日付時刻設定
- **文字の大きさ**を変えたい...............................156 文字サイズ設定
- 画面の**マーク**（アイコン）の意味を知りたい....29 ディスプレイの見かた

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

メールを使いこなしたい

- **デコメール**を送りたい……232 デコメール
- **画像**を送りたい……236 添付ファイル
- メールを自動で**振り分けて保存**したい……256 メール振り分け設定

カメラを使いこなしたい

- 撮影する**サイズ**を変えたい……188 画像サイズ
- **シャッター音**を変えたい……188 シャッター音
- **コンパクトライト**を使って撮影したい……182 コンパクトライト
- miniSDメモリーカードに**保存**したい……188 保存先
- 撮影した画像を**表示**したい……314 マイピクチャ

安心して電話を使いたい

- 電話帳の内容を**知られたくない**……128 シークレット属性
- 番号非通知の電話を**受けたくない**……172 発番号なし動作設定
- 電話帳にない人からの電話を**受けたくない**……174 メモリ登録外着信拒否
- **キーをロック**したい……170 プロテクトキーロック
- 紛失したときなど、離れたところから
  FOMA端末をロックしたい……165 おまかせロック
- 万一のデータ消失に備え
  電話帳などを保存しておきたい……175 電話帳お預かりサービス※1

※1：お申し込みが必要な有料サービスです。

こんなこともできます

- **簡単**に機能（メニュー）を呼び出したい……34 ショートカット操作
- **電卓**として使いたい……386 電卓
- QRコードや**バーコード**を取り込みたい……196 バーコードリーダー
- **赤外線**で情報をやり取りしたい……348 赤外線通信
- **目覚まし**として使いたい……370 目覚まし
- **miniSDメモリーカード**を使いたい……332 miniSDメモリーカード
- **最新のソフトウェア**にしたい……457 ソフトウェア更新
- **セキュリティ**を最新の状態にしたい……461 スキャン機能

目次

Contents

FOMA端末のご使用にあたって……表紙裏
はじめてFOMA端末をお使いになる方へ……表紙裏
本書の見かた／引きかた……1
かんたん検索……4
FOMA D902iSの特徴……8
D902iSを使いこなす！……10
安全上のご注意（必ずお守りください）……12
取扱い上の注意について……18
知的財産権について……21
本体付属品および主なオプション品について……24

ご使用前の確認 25

各部の名称と機能　ディスプレイの見かた　メニューの選択方法
FOMAカードの使いかた　電池パックの取り付け／取り外し　充電
電池残量　電源ON／OFF　日付時刻設定　発信者番号通知　自局番号　など

電話のかけかた／受けかた 49

かけかた　着もじ　リダイヤル　186／184　WORLD CALL　受けかた
エニーキーアンサー設定　着信中オープン応答　通話中クローズ設定　着信履歴
受話音量　音量設定　応答保留　公共モード（ドライブモード／電源OFF）
伝言メモ　など

テレビ電話のかけかた／受けかた 81

かけかた　受けかた　キャラ電の利用　送信映像設定　テレビ電話中画面表示設定
テレビ電話動作設定　など

プッシュトーク 97

プッシュトークとは　発信　着信　プッシュトーク電話帳　など

電話帳 109

電話帳登録　グループ設定　電話帳検索　電話帳修正　電話帳削除
シークレット属性　クイックダイヤル　など

音／画面／照明設定 131

音の設定　バイブレータ設定　マナーモード　待受画面設定　発着信画面表示設定
メニュー設定　イルミネーション設定　不在着信お知らせ　時計表示設定
バイリンガル　トータルコーディネイト設定　など

あんしん設定 159

暗証番号について　端末暗証番号変更　PINコード　オールロック　おまかせロック
セルフモード　PIMロック　ダイヤル発信制限　プライバシーモード設定
プロテクトキーロック　シークレットモード　電話帳お預かりサービス　など

カメラ 177

静止画撮影　動画撮影　撮影時設定　バーコードリーダー　など

iモード／iモーション 199

iモードとは　サイト表示　iモードパスワード変更　インターネット接続
ブックマーク　画面メモ　画像保存　iメロディ　PDFデータダウンロード
iモード設定　メッセージR/F　証明書操作　iモーションとは
iモーションの取得　iモーション設定　など

メール 225

ｉモードメール作成・送信　デコメール　添付ファイル　ｉモードメール保存
ｉモードメール受信　ｉモード問合せ　画像表示・保存　ｉモーションメール
メロディ再生・保存　トルカ表示・保存　メール設定　チャットメール作成・送信
SMS（ショートメッセージ）作成・送信　など

ｉアプリ 271

ｉアプリとは　ダウンロード　ｉアプリ起動　ｉアプリTo　ｉアプリ待受画面　など

ｉチャネル 291

ｉチャネルとは　チャネル一覧　テロップ表示設定

おサイフケータイ／トルカ 295

おサイフケータイとは　おサイフケータイ対応ｉアプリ起動　トルカとは
トルカ取得　トルカ表示　トルカ取得設定　IC カードロック

フルブラウザ 305

フルブラウザ　フルブラウザ設定

データ表示／編集／管理／音楽再生 313

画像表示／編集　動画／ｉモーション再生／編集　キャラ電　メロディ再生
miniSDメモリーカード　データ管理　赤外線通信　サウンドレコーダー
PDFデータ表示　音楽再生　など

その他の便利な機能 365

マルチアクセス　マルチタスク　スライド編集設定　自動電源ON／OFF設定
お知らせタイマー　目覚まし　スケジュール帳　カスタムメニュー　自局番号
音声メモ／動画メモ　通話時間／通話料金　通話料金自動リセット設定
通話料金上限通知　電卓　メモ帳　電子辞典　スイッチ付イヤホンマイク
クイック起動設定　各種設定リセット　データ一括削除　など

ネットワークサービス 393

留守番電話サービス　キャッチホン　転送でんわサービス　迷惑電話ストップサービス
番号通知お願いサービス　デュアルネットワークサービス　英語ガイダンス
サービスダイヤル　通話中着信動作選択　遠隔操作　マルチナンバー　など

データ通信 401

データ通信について　準備の流れ　ATコマンドについて

文字入力 405

文字入力について　かな入力方式　定型文登録　文字コピー　区点コード入力
単語登録　ダウンロード辞書　スロット入力方式　入力設定

付録／外部機器連携／困ったときには 415

メニュー一覧　お買い上げ時に登録されているデータ　ダイヤルキーの文字割り当て一覧
故障かな？と思ったら、まずチェック　エラーメッセージ一覧
保証とアフターサービス　ソフトウェア更新　スキャン機能　主な仕様　など

索引／クイックマニュアル 469

索引　クイックマニュアル

FOMA D902iSの特徴

FOMA は、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の１つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードは、ｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードのサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

D902iSの主な特徴

プッシュトーク ☞P98

プッシュトーク電話帳から相手を選んでプッシュトークボタン（P）を押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大５人まで）と通信できます。

ｉチャネル ☞P292

ニュースや天気などをグラフィカルな情報として受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応キー（ch/クリア）を押すことでチャネル一覧に表示できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
・お申し込みが必要な有料サービスです。

着もじ ☞P54

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示できます。用件や緊急度をあらかじめ相手に伝えられるので、着信側はメッセージを見て相手の用件・気持ちを事前に知ることができます。

テレビ電話 ☞P82

離れている相手と顔を見ながら会話できます。
アウトカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せたり、自分の画像の代わりにキャラクタを表示させるキャラ電にも対応しています。

おサイフケータイ　ｉモード FeliCa対応 ☞P296

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすることで、サイトから FOMA 端末内の IC カードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。その他にも飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。

トルカ ☞P298

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などとして便利にご利用いただけます。トルカは読み取り装置やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、miniSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。

デコメール ☞P232

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

PDF対応ビューア ☞P213、P356

PDFの閲覧ができます。紙を持ち歩くように地図やカタログ、時刻表などの便利な情報をｉモード端末で手軽に確認できます。

大容量ｉアプリ／ｉアプリDX ☞P272

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、より豊かな表現でゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。また、3D×3D対応コンテンツでは、3Dグラフィックと3Dサウンドの相乗効果によって、カーレースゲームなどのｉアプリを臨場感いっぱいで体感することもできます。
さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することで、よりｉアプリの楽しみかたが広がります。

各種あんしん設定

- プロテクトキーロック☞P170
- シークレットモード☞P171
- プライバシーモード☞P168
- ボイス認証：自分の声と端末暗証番号で IC カードロックを解除できます。☞P302

その他のあんしん設定については☞P159

おまかせロック ☞P165

FOMA端末を紛失した際にFOMA端末にロックがかけられ、お申し出により解除できます。
お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。

電話帳お預かりサービス

FOMA端末の電話帳、静止画、メールをお預かりセンターに保存し、FOMA端末の紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを新しいFOMA端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理でき、編集したデータを FOMA 端末に反映することも可能です。☞P175
電話帳お預かりサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については『ｉモード操作ガイド』を、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
・お申し込みが必要な有料サービスです。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1☞P394
- 転送でんわサービス（無料）※1☞P396
- SMS（ショートメッセージ）（無料）☞P266
- キャッチホン（有料）※1☞P395
- デュアルネットワークサービス（有料）※1☞P397

※1：お申し込みが必要です。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☞P332

多彩な機能

スピードセレクター ☛P28

上下左右の操作に加え、回転操作が可能になりました。画面のスクロールや項目選択がすばやく行えます。また、待受画面で回転操作を行ったときに、メニューや電話帳などを表示できます。

イルミネーション ☛P154

電話がかかってきたときやスピードセレクターを回転したときなどに、スピードセレクター中央の決定キーが各種パターンで光ります。

ワンプッシュオープン

サイドのワンプッシュオープンボタンを押すと、片手ですばやくスライドオープンできます。

スライド連動機能

- 着信中に FOMA 端末を開くだけで電話に出られます。☛P65
  また、通話中にFOMA端末を閉じるだけで通話を終了したり保留できます。☛P66
- 受信メールやスケジュール表示中に FOMA 端末を開くだけで、返信画面やスケジュールの編集画面を表示できます。☛P368

高精細、大画面ディスプレイ

240×400ドット、2.8インチの大型TFT液晶を搭載。細かい画像や文字などを大画面で美しく表示します。

美しい音質でメロディ再生

PCM音源64和音、声や効果音などの着信音（ADPCM音源）にも対応しています。

自動時刻補正 ☛P46

ドコモネットワークからの時刻情報をもとに、FOMA端末の時刻を補正します。設定した時間だけ進めたり、遅らせたりすることもできます。

カメラ搭載

- アウトカメラとインカメラを搭載しており、大きなディスプレイで見ながら撮影できます。オートフォーカス対応で最大 4M ピクセルの静止画を撮影できます。最大28倍ズームのほか、接写やフレーム付き撮影、連続撮影など、さまざまな撮影方法を選択できます。☛P178
  アウトカメラ：有効画素数200万画素（最大記録画素数400万画素）
  インカメラ　：有効画素数10万画素（最大記録画素数10万画素）
- 動きのなめらかな高画質な動画を撮影・再生できます。☛P186、P321

バーコードリーダー ☛P196

内蔵カメラでJANコード、QRコードを読み取れます。読み取り結果を利用して電話帳登録やサイト接続、メール送信などさまざまな操作ができます。

赤外線通信／赤外線リモコン ☛P348、P352

赤外線を利用して他のFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、テレビの赤外線リモコンに対応した機器を操作することもできます。

より使いやすくなったメール機能

- 簡単なキー操作で、メールののぞき見を防止できます（オンリービュー設定）。☛P260
- 圏外から圏内に移動したとき、圏内自動送信設定済みの未送信メールを自動的に送信します。☛P240
- あらかじめ返信メールの本文を登録しておくと、簡単に返信できます（クイック返信）。☛P259
- 電話帳やカレンダーからメールの検索が簡単にできます。☛P118、P377
- ATOK+APOT（AI推測変換）搭載により、効率的に文字を変換できます。

マルチアクセス／マルチタスク ☛P366、P367

音声通話とパケット通信を同時に利用できるマルチアクセスに対応しています。また、複数の機能を同時に実行し、切り替えながら利用できるマルチタスクに対応しています。

シンプルメニュー ☛P32

通常のメインメニューとは別に、「でんわ」や「メール」、「カメラ」、「ｉ モード」などのよく使う機能を見やすく大きい文字で表示したメニューがあります。

アニメーションメニュー ☛P32

Flash画像によるアニメーションメニュー（Flash®メニュー）を搭載しています。

電子辞典 ☛P388

便利な国語、英和、和英辞典を搭載しています。

フルブラウザ ☛P306

パソコン向けのインターネットホームページを表示できます。

miniSDメモリーカード対応

- FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどをminiSDメモリーカードにバックアップできます。☛P332
- FOMA端末とパソコンを、FOMA USB接続ケーブル（別売）で接続すれば、FOMA端末に挿入したminiSDメモリーカードをパソコンの外部メモリとして利用できます。☛P343

音楽再生 ☛P360

ミュージックプレイヤー搭載により、miniSDメモリーカード内の音楽データ（映像のないｉモーション）の再生がより使いやすくなりました。シャッフル再生、イントロ再生などもできます。また、付属のソフトBeatJam 2006 for D902iSを利用して、より簡単に音楽データをminiSDメモリーカードに取り込めます。

簡単に動画を取り込み ☛P445

付属のソフトMotion Smoothy 2を利用すると、パソコンに保存されている動画をFOMA端末で再生可能な形式に簡単に変換できます。

D902iSを使いこなす！

D902iSの多彩なビジュアルコミュニケーションを紹介します。

テレビ電話

離れた相手と顔を見ながら通話できます。また、アウトカメラに切り替えて周囲の風景などの映像を相手の画面に表示したり、キャラ電を使用して自分の画像の代わりにキャラクタを相手の画面に表示できます。

自分の画面



相手の画面



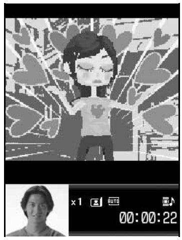
お互いの顔を見ながら通話できます。☛P82、P85

相手の画面



周囲の映像を相手の画面に表示できます。☛P91

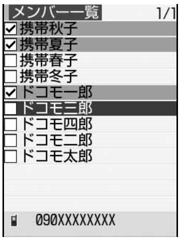
相手の画面



キャラクタを相手の画面に表示できます。☛P87

プッシュトーク

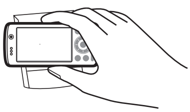
プッシュトークボタン（P）を1秒以上押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んでPを押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通信できます。☛P98





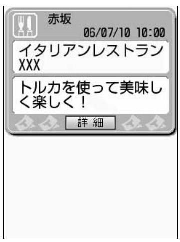
トルカ

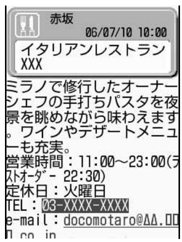
トルカは読み取り装置やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、miniSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは「LifeKit」メニューの「トルカ」内に保存されます。☛P298



おサイフケータイを読み取り装置にかざしてトルカを取得。







トルカ一覧から取得したトルカを選択。「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

着もじ

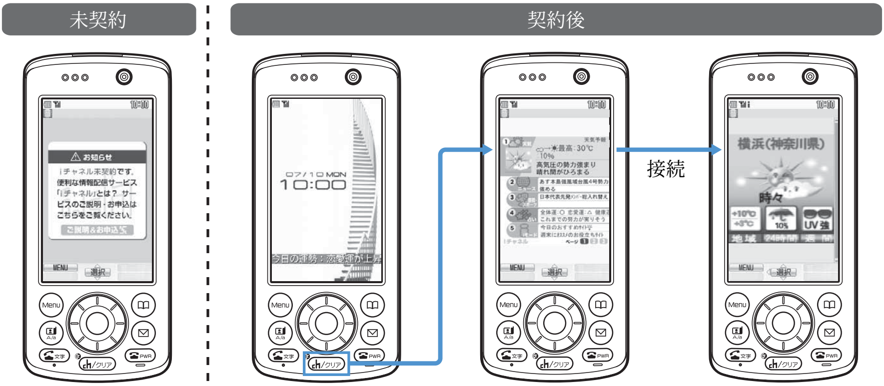
電話をかけるときにメッセージを設定し、相手の着信画面にメッセージを表示させます。着信側はメッセージを見て相手の用件・気持ちを事前に知ることができます。☛P54

相手の画面



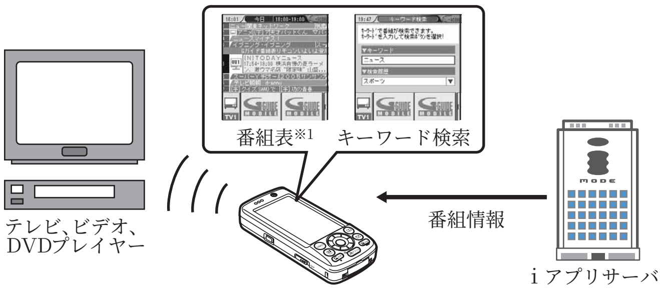
ｉチャネル

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。
また、ｉチャネル対応キー（ch/クリア）を押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。☛P292



Gガイド番組表リモコン搭載

番組情報を見ながらテレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができるｉアプリ「Gガイド番組表リモコン」を搭載しています。ジャンルやタレントなどのキーワードで番組を検索したり、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約することもできます。☛P281



※1：画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

⚠危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

- **「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。**

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、
FOMAカードの取扱いについて（共通）.......... P13
FOMA端末の取扱いについて.......... P14
電池パックの取扱いについて.......... P15
オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取扱いについて.......... P16
FOMAカードの取扱いについて.......... P17
医用電気機器近くでの取扱いについて.......... P18

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）

⚠危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末や電池パック、その他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　D06　　卓上ホルダ　D09　　リアカバー　D11
FOMA ACアダプタ　01　　FOMA DCアダプタ　01　　FOMA乾電池アダプタ　01
車内ホルダ　01

- その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

水ぬれ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

⚠警告

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. **電源プラグをコンセントやソケットから抜く。**
2. **FOMA端末の電源を切る。**
3. **電池パックを FOMA 端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

つづく

⚠注意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモード、ｉアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA 端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
- ご注意いただきたい電子機器の例
  補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
  植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA 端末を医用電気機器などの近くで携行および使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話するときは（スピーカーホン機能）、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。
難聴になる可能性があります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA 端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

コンパクトライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

⚠注意

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材　質
ワンプッシュオープンボタン、、	クロムメッキ
スピードセレクター（中央の決定キーを除く）	アルミニウム※1

※1：塗装されていますが、はがれると肌に触れる可能性があります。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

miniSDメモリーカードスロット、FOMA 端末内の FOMA カード挿入口に、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障などの原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

つづく

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取扱いについて

警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。
感電の原因となります。

ぬれ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA 端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。

ACアダプタ：AC100V
FOMA海外兼用ACアダプタ
：AC100～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）

指示

DC アダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、アダプタ本体部分を持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際はご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

●水をかけないでください。
FOMA 端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、 FOMA カードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れなどによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
●電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

●極端な高温、低温は避けてください。
温度が5℃～35℃、湿度が45%～85%の範囲でご使用ください。
●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
●お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
故障の原因となります。
●ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。
●使用中、充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
●カメラを直射日光に向けて放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
●このFOMA端末はおまかせロック（☛P165）に対応しております。
おまかせロックは、ご契約者の方からのお申し出により、ロックがかかるサービスです。
ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。
使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
●電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが若干膨れる場合がありますが問題ありません。
●直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
●次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所　・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
●充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
●DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
車のバッテリーを消耗させる原因となります。

つづく

- 抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 使用中にFOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のICカード読み取り装置（リーダー／ライター）などに、FOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管してくださるようお願いします。
  万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
  故障の原因となります。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「iモーション」「iモード」「iアプリ」「iアプリサーチ」「iモーションメール」「iショット」「iメロディ」「iアニメ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ショートメール」「クイックキャスト」「着モーション」「デコメール」「Vライブ」「iエリア」「おサイフケータイ」「パケ・ホーダイ」「キャラ電」「iアプリDX」「デュアルネットワーク」「トルカ」「マルチナンバー」「ビジュアルネット」「iチャネル」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「iD」「DCMX」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「公共モード」「メッセージF」「トクだねニュース便」「My DoCoMo」「おまかせロック」「着もじ」「電話帳お預かりサービス」「ドコモテレビ電話ソフト」および「FOMA」ロゴ 「i-mode」ロゴ 「i-αppli」ロゴ 「DCMX」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称及びフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、DirectX®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Java及びJavaに関連するすべての商標は、米国及びその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。Copyright© 1996-2006 ACCESS CO., LTD.
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash®テクノロジーを搭載しています。
  Copyright© 1995-2006 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

つづく

- 本製品はAdobe Systems Inc.のAdobe Readerを搭載しています。
  Copyright© 2006 Adobe Systems Incorporated.
  All rights reserved. Patents pending.
  Adobe, the Adobe logo and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated.
  AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- miniSD™およびminiSDロゴはSDアソシエーションの商標です。
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
  Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの登録商標です。
- 「BeatJam」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「BeatJam」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 「BeatJam」「ATOK」「APOT（Advanced Prediction Optimization Technology）」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- symbian
  本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian 関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltd の商標または登録商標です。©1998-2006 Symbian Software Ltd. All rights reserved.
- Intel、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

・ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。
・「Edy（エディ）」はビットワレットが管理するプリペイド型の電子マネーサービスのブランドです。
・本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において、以下に記載する場合のみ使用することが認められています。
  ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
  ・個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  ・MPEG LAよりライセンスを受けたプロバイダから入手されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
・下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

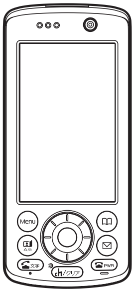
4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

・本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
・「明鏡モバイル国語辞典」「G モバイル英和辞典」「G モバイル和英辞典」は大修館書店編集の著作物です。
・本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  ・Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  ・Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
  ・Windows Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
  ・Windows 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
  ・Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONの略です。
  ・Windows NT Serverは、Microsoft® Windows NT® Server Network operating system Version 4.0の略です。
  ・Windows XP、2000、Me、98のように併記する場合があります。
  ・Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

FOMA D902iS
（保証書、リアカバーD11含む）

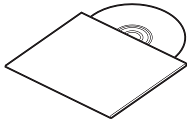


取扱説明書（本書）



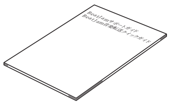
クイックマニュアル記載☛P476

FOMA D902iS用
CD-ROM

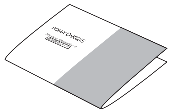


PDF版「データ通信マニュアル」を収録

BeatJamサポートガイド
BeatJam音楽転送クイックガイド（別冊）

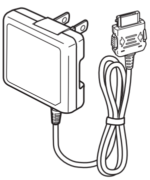


Motion Smoothy 2
簡易操作ガイド（別紙）

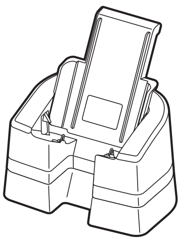


主なオプション品

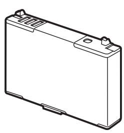
FOMA ACアダプタ01
（保証書、取扱説明書付き）



卓上ホルダD09
（取扱説明書付き）



電池パックD06
（取扱説明書付き）

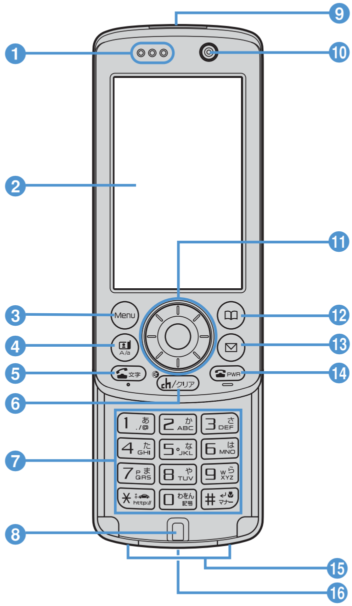


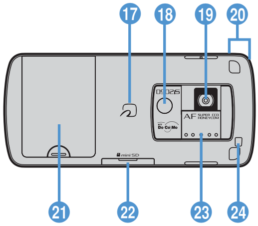
- その他のオプション品について☛P444

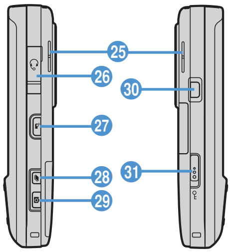
ご使用前の確認

各部の名称と機能 …… 26
ディスプレイの見かた …… 29
メニューの選択方法 …… 32
D902iSの保存・登録・保護件数 …… 38
FOMAカードを使う …… 38
電池パックの取り付けかた／取り外しかた …… 41
携帯電話を充電する …… 42
電池残量の確認のしかた …… 電池残量 45
電源を入れる／切る …… 電源ON／OFF 46
日付・時刻を合わせる …… 日付時刻設定 46
相手に自分の電話番号を通知する …… 発信者番号通知 48
自分の電話番号を確認する …… 自局番号 48

各部の名称と機能







サイズ（mm）：高さ110×幅49×厚さ19.9
（閉じているとき）
質量（g）　：約124（電池パック装着時）

① **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

② **ディスプレイ ☛P29**

③ **Menu Menu／左上ソフト／マナーモードキー**
メニューの表示、ガイド行左上に表示される操作の実行、マナーモードの設定／解除などに使います。

④ **テレビ電話開始／スクロール／左下ソフトキー**
テレビ電話をかける／受ける、メールやサイト画面の1画面スクロール、文字入力時の大文字／小文字切り替え、ガイド行左下に表示される操作の実行などに使います。

⑤ **音声電話開始／スピーカーホン／文字キー**
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能の切り替え、カメラのフォーカスロック、文字入力時の入力モード切り替えなどに使います。

⑥ **ch/クリア ｉチャネル／クリアキー**
チャネル一覧の表示、文字の消去や、1つ前の画面に戻る、セルフモードの設定／解除などに使います。また、ｉアプリ待受画面表示中に押すとｉアプリが起動します。

⑦ **ダイヤルキー（0～9）、＊、#**
ダイヤルキー
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行などに使います。

＊ ＊／公共モード（ドライブモード）キー
「＊」の入力、公共モード（ドライブモード）の設定／解除などに使います。

#／マナーモード／改行キー
「#」の入力、マナーモードの設定／解除、文字入力時の改行などに使います。アウトカメラでの撮影時、通常撮影と接写撮影を切り替えます。

⑧ **送話口／マイク**
自分の声を伝えます。

⑨ **赤外線ポート ☛P348**
赤外線でデータをやりとりします。

⑩ **インカメラ ☛P91、P178**
カメラやビデオカメラで自分を撮影したり、テレビ電話で自分の映像を送信します。

⑪ **スピードセレクター**
- 回転しても操作できます。☛P28

決定キー※1
操作の実行、フォーカスモードの実行、ワンタッチ登録したｉアプリの起動などに使います。

データBOX／↑キー
データBOXメニューの表示、インカメラ撮影でのカメラの起動、カーソルの上方向への移動、音量の調整などに使います。

ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、ｉアプリフォルダ一覧の表示、カーソルの下方向への移動、音量の調整などに使います。

着信履歴／←（前へ）キー
着信履歴の表示、画面の切り替え、カーソルの左方向への移動、プライバシーモードの起動／解除などに使います。

リダイヤル／→（次へ）キー
リダイヤルの表示、画面の切り替え、カーソルの右方向への移動、ICカードロックの設定／解

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

除などに使います。

⑫ 📖 **電話帳／スケジュール／右上ソフトキー**
電話帳やスケジュールの表示、ガイド行右上に表示される操作の実行などに使います。

⑬ ✉ **メール／スクロール／右下ソフトキー**
メールメニューの表示、新規メール作成、メールやサイト画面の1画面スクロール、ガイド行右下に表示される操作の実行などに使います。

⑭ ☎ **電源／終了／応答保留キー**
電源を入れる／切る、通話／操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除、カスタム待受画面の表示／非表示の切り替えなどに使います。

⑮ **充電端子**
卓上ホルダ（別売）を使用して充電するときの端子です。

⑯ **外部接続端子☛P44、P343**
各種オプション品などを接続します。

⑰ **FeliCaマーク**
ICカードが搭載されていることを示しています。FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカード機能を利用します。ICカードは取り外せません。

⑱ **コンパクトライト☛P91、P182、P186**
アウトカメラ使用中に点灯できます。また、静止画／動画撮影時に赤く点灯／点滅します（ただし、コンパクトライトを点灯して撮影していると、赤の点灯／点滅がわかりにくい場合があります）。

⑲ **アウトカメラ☛P91、P178**
カメラやビデオカメラで人や風景などを撮影したり、テレビ電話で人や風景などの映像を送信します。

⑳ **アンテナ部（アンテナ内蔵）**
よりよい条件で電話を利用するためには、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉑ **リアカバー**

㉒ **miniSDメモリーカードスロット☛P335**
miniSDメモリーカードをここに挿入します。

㉓ **レンズカバー☛P179**

㉔ **ストラップ取付口**

㉕ **スピーカー**
着信音などが鳴ります。また、スピーカーホン機能使用時は、相手の声がここから聞こえます。

㉖ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続します。

㉗ **プッシュトークボタン☛P99**
プッシュトーク電話帳の表示やプッシュトークの発信／応答／発言に使います。また、カメラのオートフォーカスのON／OFFを切り替えます。

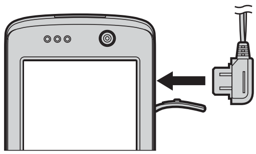
㉘ **TASKキー**
マルチアクセス･マルチタスクの操作に使います。

㉙ 📷 **伝言メモ／シャッターキー**
伝言メモ／音声メモメニューの表示、クイック伝言メモの開始、カメラの起動や撮影、着信音／アラーム音の停止、メール表示画面の通常表示／オンリービュー表示の切り替えなどに使います。
- 📷はカメラのオートフォーカス撮影に使用するため半押しと全押しがあります。このため、他のキーと押したときの感触が異なります。

㉚ **ワンプッシュオープンボタン**
FOMA端末を開くときに使います。

㉛ **プロテクトキー☛P170**
プロテクトキーロックの設定／解除に使います。

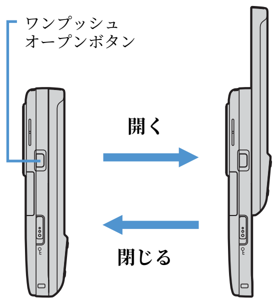
スイッチ付イヤホンマイクの接続方法



- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込んで使用できます。また、イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使えます。

FOMA端末を開く／閉じる

FOMA端末を開くときは、ワンプッシュオープンボタンを押してください。閉じるときは、前面部（ディスプレイが付いている部分）を下にスライドさせてください。



- FOMA端末を開くことで、メールの返信やスケジュール、メモ帳編集画面の表示などが簡単にできます。☛P243、P374、P386
- FOMA端末を閉じたまま通話できます。また、FOMA端末を開いて電話に出たり、FOMA端末を閉じて通話を終了、保留したりできます。☛P65、P66
- ワンプッシュオープンボタンを押さずに無理に開いたり、乱暴に開閉すると破損の原因となりますのでご注意ください。

※1：電話着信時やメール受信時、FOMA端末開閉時、スピードセレクターを回転したとき、カメラ撮影時などに点灯／点滅します。点灯パターン、点灯色を設定できます（☛P154）。また、新着情報があるときに点滅します（☛P155）。充電中は赤く点灯します。

スピードセレクターの使いかた

スピードセレクターは、 や を押す操作に加えて、回転して操作できます。回転して行える操作は画面によって異なります。

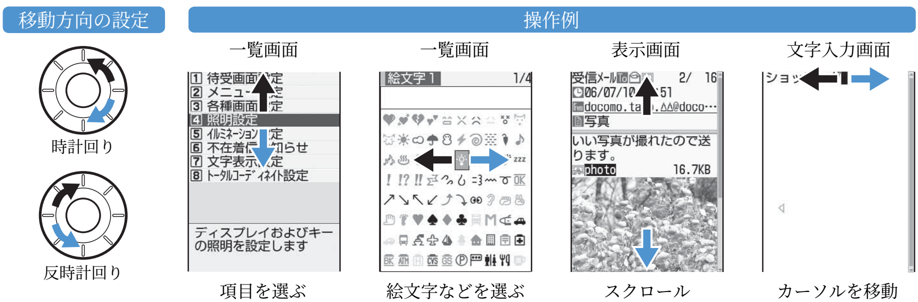
待受画面で操作する

スピードセレクターを回転して、以下のいずれかの操作ができます。

操　作	説　明	参照先
機能を実行する	スピードセレクター設定により、メニュー、電話帳一覧、スケジュール帳のカレンダー画面のいずれかを表示できます。何も実行しない設定もできます。	P28
待受画面の画像を切り替える	ランダムイメージ設定の切替設定を「スピードセレクター」に設定すると、待受画面の画像を切り替えられます。	P143

待受画面以外で操作する

画面により、 または と同じ操作ができます。回転量に応じて反転表示が移動したりスクロールするので、すばやく操作できます。移動方向は、スピードセレクター設定で「時計回り」または「反時計回り」を選択できます。



- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの着信中に回転すると着信音量を調整できます。音声電話通話中／プッシュトーク通信中に回転すると受話音量を調整できます。
- カメラ／ビデオカメラの撮影画面表示中やテレビ電話通話中に回転するとズームできます。
- 日付・時刻や数値の入力欄では、回転して数値を増減できます。ただし、増減できない入力欄もあります。

おしらせ

- 以下の場合、 や の操作が可能ですが、回転による操作はできません。
  - ダイヤル入力画面でのツータッチサイト表示
  - 電卓
  - 静止画編集でのカーソル、枠、スタンプなどの移動
  - ディスプレイの表示が消えているとき
- イルミネーション設定のスピードセレクターを「ON」に設定しているときは、スピードセレクターを回転すると決定キーの照明が点灯／点滅します。

スピードセレクターの設定をする　スピードセレクター設定

スピードセレクターの回転操作について設定します。

お買い上げ時　スピードセレクター：ON　移動方向：時計回り　待受起動機能：メニュー

1 Menu 8 8 9

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

2 各項目を選択して設定

スピードセレクター：
スピードセレクターの回転操作を有効にするかどうかを設定します。「OFF」に設定すると回転操作は無効になり、移動方向、待受起動機能は設定できません。

移動方向：回転したときの移動方向を「時計回り」または「反時計回り」から選択します。

待受起動機能：待受画面でスピードセレクターを回転したときに実行する機能を選択します。
- 「メニュー」に設定すると、メニューが表示されます。
- 「電話帳」に設定すると、電話帳一覧が表示されます。
- 「スケジュール帳」に設定すると、スケジュール帳のカレンダー画面が表示されます。
- 「OFF」に設定すると、機能を実行しません。

3 (📖)を押す

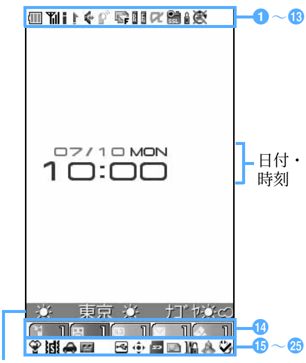
- 待受起動機能を「OFF」以外に設定した場合、待受画面設定のランダムイメージ設定の切替設定を「スピードセレクター」に設定していると、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定が変更されます。

おしらせ

- スピードセレクターを「OFF」に設定していても、一部のｉアプリでは回転操作ができる場合があります。
- スピードセレクターを「ON」に設定し、ｉアプリの動作設定のスピードセレクターを「OFF」以外に設定していても、スピードセレクターの回転操作が有効にならないｉアプリがあります。
- 音量調整、ズーム、数値の増減では移動方向の設定は無効となり、右回転で増加／拡大、左回転で減少／縮小となります。また、一部のｉアプリでは移動方向の設定は無効になります。

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上部、下部に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。



ｉチャネルの受信情報

ｉチャネルをご利用の場合、テロップ表示設定でテロップ表示を「表示する」に設定していると、待受画面にｉチャネルの受信情報がテロップ表示されます。☛P294

① ：電池残量表示☛P45
② ：受信レベル表示☛P46
圏外：圏外表示☛P46

self：セルフモード中☛P166
：データ転送モード中☛P333、P348
miniSDモード中☛P343
データリンクソフト使用中☛P445
③ ：ｉモード中（ｉモード接続中）☛P204
：ｉモード中（パケット通信中）☛P217、P241
④ ※1 ：赤外線通信中☛P348
赤外線リモコン使用中☛P352
：プロテクトキーロック中（一時解除中はグレー）☛P170
⑤ ：スピーカーホン機能利用中☛P51
※1 ：USBハンズフリー対応機器接続中☛P62
：積算通話料金が上限を超過☛P385
⑥ ※1 ：ネットワーク上の電話帳ページ取得中（プッシュトークプラス）☛P98
：プッシュトーク通信中☛P99
：センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯※2☛P242、P218

／／
：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯☛P242、P218
：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり☛P242、P218
／／
：センターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり☛P242、P218

❼ ※1
：未読ｉモードメール、SMS満杯でFOMAカードにSMS満杯☛P267
：未読ｉモードメール、SMS満杯☛P241、P267
：FOMAカードにSMS満杯☛P267
：未読ｉモードメールとSMSあり☛P241、P267
：未読ｉモードメールあり☛P241
：未読SMSあり☛P267

❽ ／（青／赤）
：未読メッセージRあり／満杯☛P217

❾ ／（緑／赤）
：未読メッセージFあり／満杯☛P217

❿
：ｉアプリ動作中☛P275
：ｉアプリ待受画面表示中☛P144
：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中☛P286
：ｉアプリDX動作中☛P275
：ｉアプリDX待受画面表示中☛P144
：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中☛P286

⓫ ※1
：SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたｉアプリを使用中またはｉアプリでSSL通信中☛P205
TLS/SSLページ表示中☛P307

：圏内自動送信失敗メールあり☛P240
：圏内自動送信メールあり☛P240

⓬ ：シークレットモード中☛P171

⓭ ：ｉアプリ自動起動失敗☛P285

⓮ ：フォーカスモードアイコン☛P37

⓯
：通常マナーモード中☛P139
：オリジナルマナーモード中☛P140

⓰
：電話着信音量消音設定中☛P69
：音声電話着信のバイブレータ設定中☛P137
：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中☛P69、P137

⓱ ：公共モード（ドライブモード）中☛P74

⓲
：伝言メモ設定中☛P77
：伝言メモ満杯☛P77

⓳ ：FOMA USB接続ケーブル（別売）で外部機器に接続中☛P96

⓴ ／
：フォーカスモード時のスピードセレクターの有効キーの表示☛P37

㉑ ：miniSDメモリーカードあり☛P335

㉒ ：FOMAカード読み込み中☛P46

※1 ：ICカードロック中☛P302

㉓ ：PIMロック中☛P166

※1 ：ダイヤル発信制限中☛P167

㉔
：目覚まし設定中☛P370
：スケジュールアラーム設定中☛P374
：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中☛P370、P374

㉕ ：ソフトウェア更新予約中☛P460

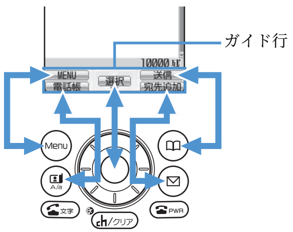
※1 ／（成功／失敗）
：最新パターンデータの自動更新結果☛P462

※1：現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2：ｉモードメール、メッセージR/Fのうち1種類が満杯で、その他に未受信のメール／メッセージがある場合にも表示されます。

ガイド行の見かた

ガイド行には、Menu、、、、を押して実行できる操作が表示されます。

例 メール作成画面表示中のガイド行



表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するキー（Menu）を使って説明しています。
ガイド行に表示される操作は画面により異なります。

- ガイド行のは、スピードセレクターのに対応しています（使用する機能やサイトやインターネットホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

※ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

タスクバーの見かた

タスクバーには、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大9個表示されます。現在、動作中の機能を確認できます。また、メール／メッセージ受信時には受信結果がスクロール表示されます。

・文字入力中は入力モードが表示されます。☛P407

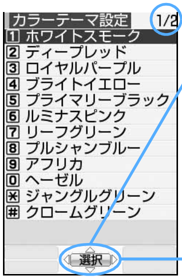


タスクバー（音声電話通話中にスケジュール帳のカレンダーを表示したときの例）

- ：音声電話
- ／ ：テレビ電話（64K／32K）
- ：音声電話／テレビ電話切替中
- ：電話終了中
- ：外部機器によるテレビ電話
- ：マルチタスクで音量設定中
- ：プッシュトーク
- ：64Kデータ通信
- ／ ：USB 経由でパケット発信・通信中／送受信中
- ：メール
- ：ｉモードメール／メッセージR/F受信中
- ：SMS受信中
- ：チャットメール
- ：メッセージR/F
- ：ｉモード／SMS問合せ中
- ：ｉモード／ｉチャネル
- ：ｉモードのBookmark／Internet／画面メモ／ツータッチサイト
- ：ｉアプリ
- ：トルカ
- ：フルブラウザ
- ：マイピクチャ
- ：ｉモーション
- ：メロディ
- ：キャラ電
- ：マイドキュメント
- ：カメラ
- ：ビデオカメラ
- ：サウンドレコーダー
- ：バーコードリーダー
- ：ミュージックプレイヤー
- ：電話帳
- ：着信履歴
- ：リダイヤル
- ：伝言メモ・音声メモ
- ：自局番号
- ：お知らせタイマー
- ：目覚まし設定中／鳴動中
- ：スケジュール帳
- ：スケジュールアラーム鳴動中
- ：メモ帳
- ：電卓
- ：辞典
- ：外部データ連携中
- ：赤外線通信の受信設定中・INBOX保存中
- ／ （紺／グレー）：miniSD メモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
- ／ （紺／グレー）：miniSDモード中(通信可能)／miniSDモード中（USB接続ケーブル未接続／miniSDメモリーカード未挿入）
- ／ （紺／グレー）：各機能の設定中／保留中
- ：ソフトウェア更新中
- ：ソフトウェア更新の通知あり
- ：パターンデータ更新中／バージョン表示中
- ：各種ネットワークサービス設定中
- ：お預かりセンターに接続中
- ：電話帳通信履歴表示中

一覧画面の見かた

例 カラーテーマ設定画面



現在表示中のページ番号と総ページ数（一覧が複数ページにわたる場合）

▵▿ は、選ばれている項目の上下に選択項目があることを示しています。

- でカーソルを移動します。
- ページの最後の項目で を押すと次ページ、ページの先頭の項目で を押すと前ページが表示されます。

◃▹ は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。

- でページを切り替えます。
  - アイコンの選択画面などでは切り替わりません。
- 色名はイメージです。

おしらせ

● 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらく同じ画面を表示していると、何か操作をし、画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

メニューの選択方法

メニューにはノーマルメニューと、よく使う機能だけに限定したシンプルメニューがあります。シンプルメニューでは、文字も大きく表示されます。ほかにも、自分だけのオリジナルメニューを作ることができます（カスタムメニュー☛P379）。

ノーマルメニューとカスタムメニューの表示形式

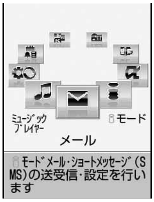
お買い上げ時は、ノーマルメニューの「アニメーション」に設定されています。以下の種類から選べます（メニュー設定☛P152）。
画面はトータルコーディネイト設定が「プラチナ」のノーマルメニューの表示例です。



リスト



タイルアイコン



3Dアイコン



アニメーション※1

※1：ノーマルメニューのみ設定できます。

● メニューの表示形式が「アニメーション」のときは、アニメーションが止まるまで次の動作ができないことがあります。

シンプルメニューに切り替える

1 【Menu】



ノーマルメニューが表示されます。
- カスタムメニューが表示されたとき：【📖】

2 【✉】**を押す**



シンプルメニューが表示されます。

■ **ノーマルメニューに切り替える：待受画面で【Menu】【✉】**
- カスタムメニューに切り替える：待受画面で【Menu】【📖】

シンプルメニューから操作できる機能

シンプルメニューからは実行できないメニューがあります。

メニュー		ショートカット操作
でんわ	電話帳検索	Menu 1 1
	電話帳登録	Menu 1 2
	リダイヤル	Menu 1 3
	着信履歴	Menu 1 4
	伝言メモ一覧	Menu 1 5
	自局番号	Menu 1 6 / Menu 0
メール	受信メール	Menu 2 1
	送信メール	Menu 2 2
	未送信メール	Menu 2 3
	新規メール	Menu 2 4
	iモード問合せ	Menu 2 5
カメラ	カメラ	Menu 3 1
	マイピクチャ	Menu 3 2
	待受画面設定	Menu 3 3
iモード	i Menu	Menu 4 1
	Bookmark	Menu 4 2
	ラストURL	Menu 4 3

メニュー		ショートカット操作
iモード	画面メモ	Menu 4 4
	iチャネル一覧	Menu 4 5
	テロップ表示設定	Menu 4 6
iアプリ	ソフト一覧	Menu 5 1
	待受画面設定	Menu 5 2
	iアプリ設定	Menu 5 3
データBOX	マイピクチャ	Menu 6 1
	iモーション	Menu 6 2
	メロディ	Menu 6 3
	キャラ電	Menu 6 4
	マイドキュメント	Menu 6 5
設定／ステーショナリー	音／バイブ	Menu 7 1
	ディスプレイ	Menu 7 2
	目覚まし	Menu 7 3
	電卓	Menu 7 4
	伝言メモ設定	Menu 7 5
	情報表示／リセット	Menu 7 6
	留守番電話	Menu 7 7

シンプルメニューに設定したときは

- 呼出中や通話中に、受話音量の調整方法が表示されます。
- 電話番号を入力すると、次に行う操作方法が表示されます。
- 待受画面でメモリ番号（1～9）を入力すると、登録されている名前と電話番号が表示されます。また、音声電話やテレビ電話をかけるキー操作が表示されます。音声電話通話中にMenuを押し、「ダイヤル入力」を選択してメモリ番号を入力した場合も同様に表示されます。
- リダイヤル、着信履歴、電話帳一覧／グループ一覧、プッシュトーク電話帳のメンバー一覧／グループ一覧、メール詳細画面、サイト、画面メモ、メール本文入力画面、文字入力時の全画面入力画面の文字が大きく表示されます。シンプルメニューに設定しているときは、文字サイズの設定は変更できません。

おしらせ

- バイリンガル設定を英語表示に設定しているときは、シンプルメニューに切り替えられません。また、シンプルメニューに設定すると、バイリンガルの設定はできません。
- シンプルメニューに設定している場合に、バイリンガル設定が英語表示に設定されているFOMAカードに差し替えたときは、メニュー表示はノーマルメニューになります。

メニューから機能を選択する

ダイヤルキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、スピードセレクターでメニュー項目を選択する方法があります。

・本書では、主にノーマルメニューのショートカット操作で説明しています。
・各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字が薄く表示されます。ただし、メニューの表示形式が「アニメーション」のときは、項目を選択するとメッセージが表示されます。

つづく

ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

メニュー項目にはそれぞれ番号（項目番号）が割り当てられており、対応するダイヤルキーで選択できます。

例 ノーマルメニューの場合に「電話帳登録」を実行するとき

1 **Menu 4 2 を押す**

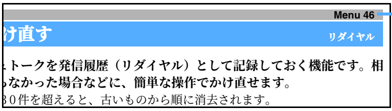
電話帳登録画面が表示されます。



複数のショートカット操作がある場合

ノーマルメニューのショートカット操作が複数ある場合、操作手順で記載している以外のショートカット操作を本文中のタイトル右端に記載しています。

例 リダイヤルの場合



Menu でメニューを表示したあと 4 6 の順に押すと、リダイヤルが表示されることを示します。

- ✉は✉、⬇は◎を押すことを示します。

スピードセレクターでメニューを選択する

例 ノーマルメニュー（アニメーション表示の「タイプ1」）の場合に「電話帳登録」を実行するとき

1 **Menu**



- アニメーション表示以外のときにメニュー項目を選ぶと、機能説明が表示されます。
- アニメーション表示の場合、ガイド行の◇は表示されません。

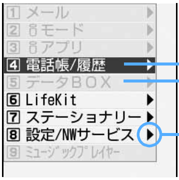
2 **◎で「電話帳／履歴」を選ぶ▶◎**

- アニメーション表示の場合、アニメーションデザインによって◎の動作は異なります。

3 **◎で「電話帳登録」を選ぶ▶◎を押す**

電話帳登録画面が表示されます。

リスト表示での選択方法

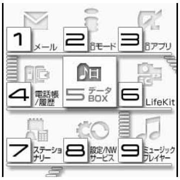


選ばれているメニュー項目
選択できないメニュー項目
（文字が薄く表示されます）
次の階層のメニュー項目があるとき

でメニュー項目を選び、またはを押します。

- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。
- 1つ前のメニューに戻す：または

タイルアイコン表示での選択方法

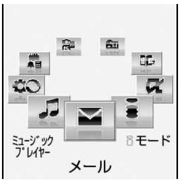


タイプ1の場合

でメニュー項目を選び、を押します。

- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。
- 1つ前のメニューに戻す：

3D アイコン表示での選択方法



で目的のアイコンを最前面に移動させ、を押します。

- で奥のアイコンが最前面に移動します。
- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。項目番号はタイルアイコンやリストメニューに切り替えて確認してください。

シンプルメニューでの選択方法



でメニュー項目を選び、またはを押します。

- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。
- 1つ前のメニューに戻す：または

メニューを選択した後で待受画面や1つ前の画面に戻すとき

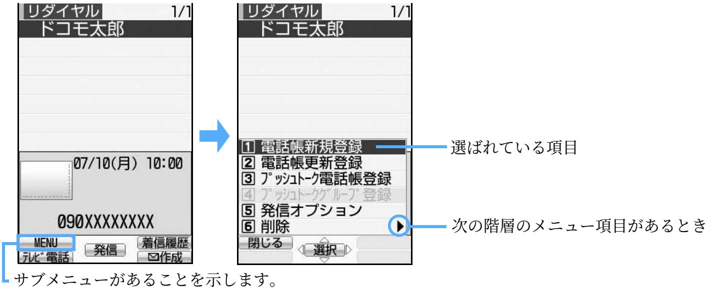
：待受画面に戻ります。　　　：1つ前の画面に戻ります。

サブメニューから機能を選択する

ガイド行の左上に「MENU」が表示される場合、サブメニューを使って、さまざまな操作ができます。

例 リダイヤルのサブメニューを表示するとき

1 リダイヤル一覧でMenu



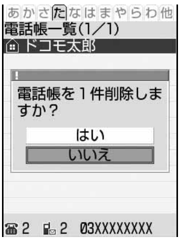
2 でサブメニュー項目を選ぶ▶ または を押す

- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。同じ機能でも操作する画面により項目番号が異なる場合があります。
- 1つ前のメニューに戻す： または ch/クリア
- サブメニューを閉じる：Menu

画面の各項目を設定する

確認画面で「はい／いいえ」を選択する

1 で「はい」または「いいえ」を選ぶ▶ を押す

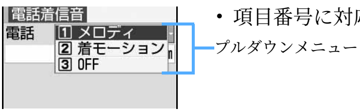


- 機能によっては「はい／いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

プルダウンメニューから項目を選択する

1 で項目を選ぶ

2 でプルダウンメニューを表示▶ で項目を選ぶ



- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

3 を押す

チェックボックスで項目を選択する

1 でチェックボックスを選ぶ▶ を押す

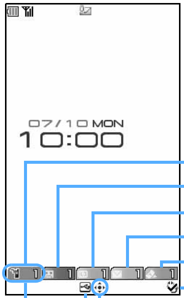


チェックボックスが□から☑に変わり、選択されます。
- 選択されている項目の場合は☑から□に変わり、選択が解除されます。
- 機能によっては、Menuを押すとすべての項目を選択または解除できます。
- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

情報をすばやく表示する　フォーカスモード

待受画面に や などのアイコンが表示されたときに、対応する情報をすばやく表示できます。

1 ▶ で や などのアイコンを選ぶ



- アイコンの右の数字は、蓄積されている情報の件数です。
- フォーカスモードを解除する：ch/クリア または
- 、 、 が表示されたとき：▶ でアイコンを選ぶ

不在着信（電話に出なかった履歴）あり
未再生の伝言メモあり
留守番電話サービスの伝言メッセージあり
未読の受信メールあり
未読のトルカあり
最新パターンデータの自動更新の結果あり（ 、 ）
有効なスピードセレクターの方向
FOMA USB接続ケーブル（別売）で外部機器に接続中（ ）
選ばれているアイコンの色が変わります。

2 を押す

選択したアイコンに対応する画面が表示されます。

：着信履歴一覧が表示され、着信日時や電話をかけてきた相手の情報などを確認できます。

：伝言メモ一覧が表示され、伝言メモを再生できます。

：留守番電話サービスのメッセージ再生確認画面が表示され、メッセージを再生できます。

：受信メールのフォルダ一覧が表示され、未読メールを表示できます。

：トルカのフォルダ一覧が表示され、未読のトルカを確認できます。

／ （成功／失敗）
：最新パターンデータの自動更新の結果を確認できます。☛P462

：FOMA USB接続ケーブル（別売）接続中のUSBモード設定の設定が確認できます。☛P343

おしらせ

● アイコンを選び、ch/クリアを1秒以上押すと、アイコンは一時的に消去されますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再度表示されます。ただし、留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、表示を消去するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとアイコンが一時的に消去されます。

D902iSの保存・登録・保護件数

種　別		最大保存・登録件数	最大保護件数
メール	受信メール※1、※2	1000件	500件
	送信メール※1、※2	200件	100件
	未送信メール※1、※2	200件	100件
	メールテンプレート※1	100件	−
FOMAカードのSMS※3		20件	−
メッセージR※1		100件	50件
メッセージF※1		50件	25件
ブックマーク	iモード	100件	−
	フルブラウザ	100件	−
画面メモ※1		100件	50件

種　別	最大保存・登録件数	最大保護件数
iアプリ※4	100件	100件
画像※1	1000件	−
メロディ※1	500件	−
PDFデータ※1	100件	−
動画／iモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1	100件	−
キャラ電※1	50件	−
トルカ※1	100件	50件

※1：実際に保存・登録できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。
※2：iモードメールとSMSの合計件数です。
※3：送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知の件数は含まれません。
※4：メール連動型iアプリは最大5件（iアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。実際に保存できる件数は、iアプリのサイズにより少なくなる場合があります。

おしらせ

- FOMA端末に保存されているデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じることがあります。
- FOMA端末に保存したメール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／iモーションなどはminiSDメモリーカードに保存することをおすすめします。保存できるデータについては☛P336
- パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Dシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／iモーションなどのデータをパソコンに転送・保管できます。

FOMAカードを使う

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。
FOMA端末に挿入して使用します。

・FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

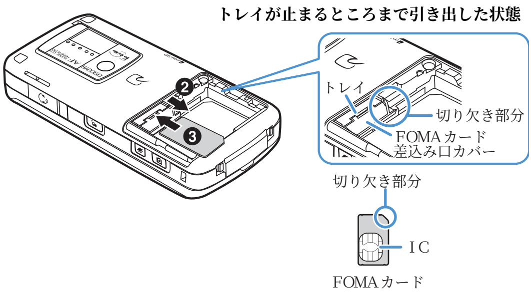
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末はFOMAカードを取り付けた状態で使用します。カードが取り付けられていないときは、まず、FOMAカードを取り付けてください。

・FOMAカードの取り付けや取り外しは、電源を切り、リアカバー、電池パックを取り外してから行ってください。
　リアカバー、電池パックの取り付け／取り外し☛P41、P42
・FOMAカードの取り付けや取り外しは、FOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

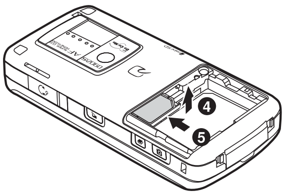
取り付けかた



❶**リアカバーを外し、電池パックを取り外す☛P42**

❷**FOMAカード差込み口カバーを引き出す**
FOMA カード差込み口カバーに指先をかけ、トレイが止まるところまで引き出します。

❸**IC面を下にしてFOMAカードを差し込む**



❹**FOMAカード差込み口カバーをトレイと水平になるように戻す**
FOMAカードとFOMAカード差込み口カバーの切り欠き部分を合わせてください。

❺**トレイが止まるところまで押し込む**

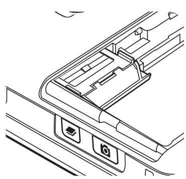
❻**電池パックとリアカバーを取り付ける☛P41**

取り外しかた

❶**FOMAカード差込み口カバーを引き出す**
・「取り付けかた」の❶〜❷と同じです。

❷**FOMAカードを引き抜く**

FOMAカードトレイが外れたとき



FOMAカードトレイを差し込み、まっすぐに押し込んでください。
● FOMAカードを外してから行ってください。

おしらせ

● FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、FOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
● 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。
● 電池パックを取り付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを取り付けることができません。無理に取り付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。
● FOMAカードがFOMAカード差込み口カバーに乗り上げたままトレイを押し込むと、動作異常の原因となりますのでご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4〜8桁の任意の数字に変更できます。☛P162

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルやデータは、赤外線通信やminiSDメモリーカードへコピー／移動できません。ただし、コンテンツ移行対応のｉモーションは、miniSDメモリーカードに移動できます。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画面メモ
  - デコメールや署名に挿入されている画像
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - メロディ
  - テレビ電話伝言メモ
  - トルカ（詳細）の画像
  - メッセージR/F
  - ｉモードメールに添付されているファイル
  - ｉモーション
  - キャラ電
  - PDFデータ
  - 動画メモ
  - コンテンツ移行対応のデータ
- FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、次の操作ができなくなります。
  - 起動
  - 自動起動
  - バージョンアップ
  - ｉアプリの詳細情報の表示
  - 自動起動設定の変更
  - ｉアプリの動作設定
  - ｉアプリ待受画面の設定

おしらせ

● FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。

● 赤外線通信、miniSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した静止画や動画には、FOMA カード動作制限機能は設定されません。また、メールテンプレートによっては、FOMAカード動作制限機能が設定されないことがあります（文字だけのメールテンプレートの場合など）。

● 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で ch/クリア を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

● FOMAカードが取り付けられていない場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されません。

FOMAカードに保存される設定

以下の設定はFOMAカードに保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定が有効になります。

- SMS設定の送信文字種、有効期間、SMSC、アドレス、Type of Number
- 証明書表示／使用設定のドコモ証明書、ユーザ証明書
- 自局番号の自局電話番号
- バイリンガル
- FOMAカード（UIM）のPIN1コード、PIN2コード、PIN1コードON／OFF

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁	P115
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P221
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可	P41
サービスダイヤル	「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内・受付」の利用 •「故障お問い合わせ先」および「DoCoMoインフォメーションセンター」に接続されます。	利用不可	P398

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

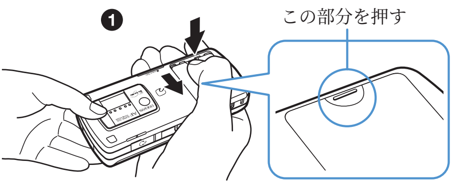
WORLD WINGはお申込み手続きなしでご利用いただけます。

- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申込み手続きが必要となります。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

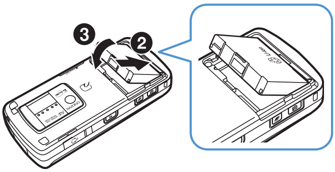
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、FOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。
- カメラに触れないように注意してください。
- 指定の電池パックD06をご使用ください。

取り付けかた



❶リアカバーを外す
リアカバーの先端を指で押しながら矢印の方向にスライドさせて外します。

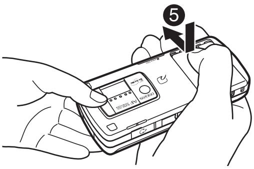


❷**電池パックのドコモロゴ、リサイクルマークのある面を上にして、FOMA 端末と電池パックの端子が合うように図のような角度で差し込む**
電池パックの端子を無理に差し込むと、本体のコネクタや電池パックの端子部を破損させる恐れがあります。ご注意ください。

❸**電池パックをはめ込む**

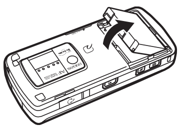
❹**リアカバーを FOMA 端末から約 2mm ずらして置く**

❺**FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないようにリアカバーの中央を指で押しながら、矢印の方向にスライドさせる**



正しい手順で取り付けないと、リアカバーを破損させることがあります。

取り外しかた



❶**リアカバーを外す**
❷**電池パックの突起部分を持って取り外す**

おしらせ

● FOMA端末のディスプレイはアクティブ液晶を使用しています。アクティブ液晶の特性上、電池パックの取り付け／取り外しの際、残像や横縞がしばらく表示されることがありますが、故障ではありません。

携帯電話を充電する

電池残量が少なくなった場合は、充電してください。

・電池残量は、電池マークで確認します。☛P45

充電時間・電池使用時間の目安

充電時間	連続通話時間	連続待受時間
約120分	音声電話時　約170分 テレビ電話時　約90分	静止時　約550時間 移動時　約380時間

・連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
・連続待受時間とはFOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
・静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

- 移動時の連続待受時間とは、FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーション（音楽データ含む）の再生などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

充電の開始／終了とその他の留意事項

FOMA端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

- 充電を開始すると、決定キーの照明が赤く点灯します。
  電源を入れたままで充電を開始すると、充電確認音が鳴り、電池マークが点滅します。

マーク	決定キーの照明	意　味
（充電中：点滅 充電完了：点灯）	充電中：点灯（赤） 充電完了：消灯	正常に充電しています。

  - 電池マークはFOMA端末の色によって異なります。マークは変更できます。☛P153
  - 充電を開始しても決定キーの照明が赤く点灯しなかった場合や、赤で点滅している場合は、正常に充電できていません。FOMA端末の温度が上昇していると充電できない場合がありますので、使用している機能があれば終了し、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。再度充電を行っても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
- 充電が完了すると、決定キーの照明が消灯します。
  電源を入れたままで充電したときは、充電確認音が鳴り、電池マークが点灯状態になります。
- 電池マークが点滅中は充電が完了していません。
- 充電確認音は鳴らないように設定できます。☛P139
- 電源を入れたまま長時間（1日以上）充電しないでください。充電が完了してもFOMA端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再度充電を行いますが、再充電の途中でFOMA端末を取り外した場合は、次のような状態になることがあります。
  - 電池残量が少ない
  - 電池切れのメッセージが表示される
  - 短時間しか使えない
- 電池残量が十分にある場合は、ACアダプタやDCアダプタに接続しても充電しないことがあります。
- ACアダプタまたはDCアダプタを接続して、充電しながら長時間使用すると、温度上昇により一時的に充電できなくなる場合があります。
- 本体接続コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないよう、ゆっくり確実に行ってください。また、本体接続コネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。
- ACアダプタの本体接続コネクタは、水平になるように抜き差ししてください。

電池パックの寿命について

電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回の使用時間が短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命と考えてください。電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

- この製品に使用されているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。
- リサイクルの際、以下のことにご注意ください。
  - 端子にテープなどを貼り、絶縁してください。
  - 分解、改造をしないでください。

Li-ion

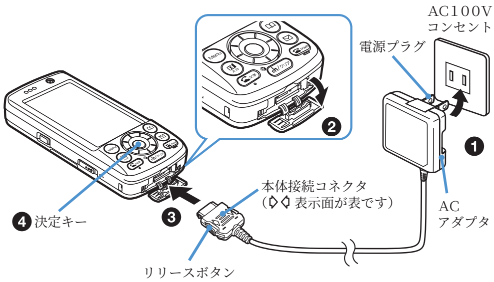
コンセントから充電する

FOMA ACアダプタ01（別売）を使用して充電できます。また、卓上ホルダD09（別売）と組み合わせても充電できます。

FOMA端末を閉じた状態でも、開いた状態でも充電できます。

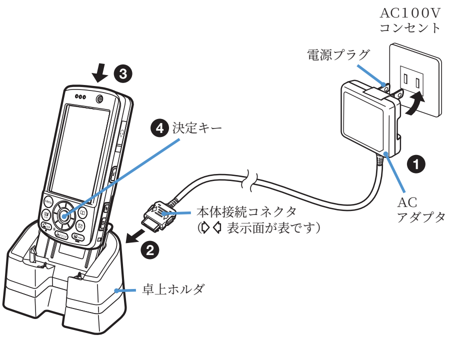
- 電池パック単体では充電できません。
- 詳しくは、ACアダプタと卓上ホルダの取扱説明書をご覧ください。

■ ACアダプタだけで充電する場合



❶**AC アダプタの電源プラグを起こし、AC 100Vコンセントに差し込む**
❷**FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを開く**
❸**本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む**
❹**充電の開始を確認する**
決定キーの照明が赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら、本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、ACアダプタをコンセントから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

■ 卓上ホルダに差し込んで充電する場合



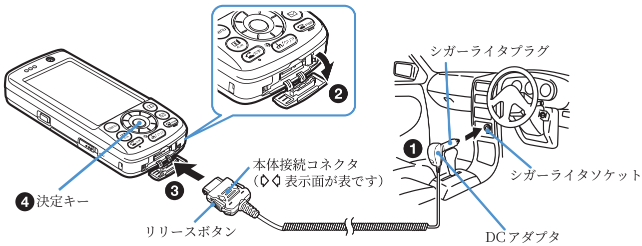
❶**AC アダプタの電源プラグを起こし、AC 100Vコンセントに差し込む**
❷**卓上ホルダに本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む**
❸**卓上ホルダに沿って FOMA 端末を図のような角度で差し込む**
❹**充電の開始を確認する**
決定キーの照明が赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら、卓上ホルダを手で押さえながら FOMA 端末を手前に傾け、卓上ホルダから取り出します。

・FOMA端末を卓上ホルダへ取り付ける際は、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
・差し込みが十分でなかったり、FOMA端末が傾いていたりすると、正常に充電できません。ロックが確実にかかるまでFOMA端末を押し込んでください。

自動車の中で充電する

専用のFOMA DCアダプタ01（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。マイナスアース車（12V車・24V車）で使用できます。
・詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

❶**DCアダプタのシガーライタプラグを自動車のシガーライタソケットに差し込む**
❷**FOMA端末の電源を切り、外部接続端子の端子キャップを開く**
❸**DCアダプタの本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む**
❹**充電の開始を確認する**
充電が完了したら、DCアダプタの本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、シガーライタプラグをシガーライタソケットから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

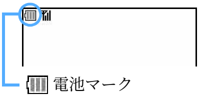


おしらせ

- 自動車のエンジンを切った状態で充電すると、車のバッテリーを消耗させることがあります。必ずエンジンをかけた状態で充電してください。
- 充電しない場合は、DCアダプタはシガーライタソケットから取り外してください。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品です。交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた　電池残量

ディスプレイに電池残量の目安が3段階で表示されます。



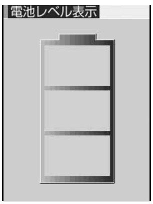
(電池残量3):十分残っています。
(電池残量2):少なくなっています。
(電池残量1):電池残量がほとんどありません。充電してください。

- 電池マークはFOMA端末の色によって異なります。マークは変更できます。☛P153

電池残量を音と表示で確認する

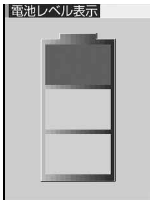
1 Menu 8 4 3

(電池残量3)



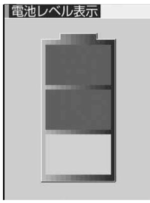
3回鳴ります

(電池残量2)



2回鳴ります

(電池残量1)



1回鳴ります

電池残量が表示されます。確認音がキー確認音の音で鳴ります。

電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池アラーム音でお知らせします。充電を開始すれば電池アラーム音は止まりますが、すぐに止めたい場合は終話キーを押してください。

- 待受中のときは、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。決定キー、ch/クリア、終話キーを押すとメッセージが消えますが、しばらくすると電池アラーム音が鳴り、再度メッセージが表示されます。このとき、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約1分後に自動的に電源が切れます。
- 通話中のときは、受話口から電池アラーム音が鳴り、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。決定キー、ch/クリア、終話キーを押すと、メッセージが消えます。電池アラーム音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、待受画面に戻ります。その約1分後に自動的に電源が切れます。

電池アラーム音が鳴らないようにする　電池アラーム音

お買い上げ時　ON

1 Menu 8 1 1 6 5

2 **2 を押す**

- 設定する:1

おしらせ

- 通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても、受話口から電池アラーム音が鳴ります。

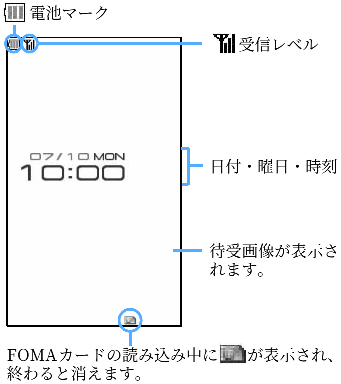
電源を入れる／切る　電源ON／OFF

・初めて電源を入れると、ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示されます。実行する場合は、電池が十分に充電されている必要がありますのでご注意ください。実行前に、必ず「ソフトウェアを更新する」をご覧ください。☛P457

電源を入れる

1 (電源キー)を2秒以上押す

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。ウェイクアップ画面の表示まで多少時間がかかります。



受信レベル表示	Tıll	Tıl	Tı	T	圏外
状態	強	←→		弱	サービスエリア外や電波の届かない所

・日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。時刻情報を受信し自動時刻補正されると消えます。手動で日付・時刻を設定する場合は、(キー)を押します。
・FOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。
・以下は変更できます。
　・待受画像☛P141
　・電池マーク☛P153
　・時刻の表示形式☛P157

電源を切る

1 (電源キー)を2秒以上押す

おしらせ

●FOMAカードを差し替えたとき（おまかせロック中は除く）は、電源を入れた後で4～8桁の端末暗証番号の入力が必要です。正しく入力すると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を5回入力した場合は電源が切れます（ただし、再度電源を入れることは可能です）。
● Tıll が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れることがあります。
●PIN1コードON／OFFを「ON」に設定している場合、PIN1コードの入力が必要です。
●通話料金自動リセット設定を「ON」に設定している場合、PIN2コードの入力が必要です。
●照明設定の点灯時間設定の通常時を「常時」以外に設定している場合、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイの表示が消えます。音声電話通話中も同様です。キー操作※1をしたり（ただし、スピードセレクターの回転操作を除く）、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び表示されます。
・テレビ電話通話中、カメラ／ビデオカメラの撮影画面表示中や撮影中、点灯時間設定のACアダプタ接続時を「常灯」に設定して充電中、点灯時間設定を「常灯」に設定した機能の実行中などは、ディスプレイの表示は消えません。
※1：通話中以外の場合は、ダイヤルキーを押しても数字などは入力されません。

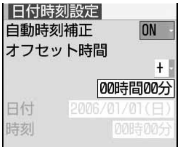
日付・時刻を合わせる　日付時刻設定

時刻設定には、ドコモのネットワークから取得した時刻情報を基に、FOMA端末の時刻を補正する方法と、自分で時刻を入力する方法があります。

お買い上げ時　自動時刻補正：ON　オフセット時間：+、00時間00分

1 Menu 8 5 1

2 各項目を選択して設定



・自動時刻補正を「ON」にした場合、オフセット時間を設定できます。日付、時刻は設定できません。

自動時刻補正　：自動時刻補正を行うかどうかを設定します。
・自分で日付・時刻を設定する場合は、自動時刻補正を「OFF」にしてください。

オフセット時間：時計を常に一定時間進めておきたいときなどに、取得した時刻より、進める（＋）／遅らせる（－）時間を設定します。
・00時間00分～23時間59分の間で入力できます。
・時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

日付、時刻　：日付、時刻を入力します。
・西暦は下2桁を入力します。2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
・時刻は24時間制で入力します（00時00分～23時59分）。
・月、日、時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

・数字は◎でも増減できます。◎で変更する数字を選んでからも入力できます。

3 ◎を押す

自動時刻補正を設定したとき

FOMAカードを取り付けた状態で、電波の届く場所で電源を入れたときなどに自動的に補正されます。
・数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
・ｉアプリによっては、ｉアプリ動作中に時刻情報を受信しても補正できない場合があります。
・自動時刻補正を「ON」にしたとき、しばらく時刻が補正されない場合があります。自動時刻補正を有効にするには、電源を入れ直してください。
・FOMAカードを取り付けていないときや、圏外にいるときは、電源を入れ直すなどしても補正は行われません。

おしらせ

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
・自動電源ON／OFF設定　・目覚まし　・ユーザ証明書の操作☛P221
・ｉアプリの自動起動機能☛P284　・ｉアプリDX☛P272　・日付・時刻を利用するFlash画像
・スケジュール帳（データ送受信やminiSDメモリーカードの表示含む）
・再生制限が設定されているｉモーションの取得、再生☛P322
・ソフトウェア更新　・パターンデータ更新　・SSL通信（認証）
・ランダムイメージ設定（「スライドオープン」「スピードセレクター」切替以外）

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに区別のための枝番が付くこともあります。
・リダイヤル／着信履歴　・伝言メモ／音声メモ　・メモ帳
・カメラで撮影した静止画／動画の日時☛P180　・送信メール／未送信メールの日時☛P249
・サウンドレコーダーで録音した音声の日時☛P354　・通話時間／通話料金の前回リセット日時
・バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時☛P197
・ｉアプリ（詳細情報）のダウンロード日時☛P276　・トルカの受信日時☛P299
・静止画やメロディ、キャラ電、ｉモーション、メールテンプレートなどの保存・登録日時☛P345、P239、P238

● 設定した時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は、再度、日付・時刻の設定を行ってください。
● 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定している場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

相手に自分の電話番号を通知する　発信者番号通知

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

・発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
・相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
・圏外では、発信者番号通知の設定操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
・詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 Menu 8 9 5 1

・設定内容を確認する：Menu 8 9 5 2 ▶「はい」を選択

2 ネットワーク暗証番号を入力 ▶ 1 を押す

・入力したネットワーク暗証番号は「*」で表示されます。
・通知しない：2

おしらせ

● 以下の方法でも発信者番号の通知／非通知を設定できます。
・電話帳データごとに、発信者番号の通知／非通知を設定する☛P126
・電話をかけるときに、発信者番号の通知／非通知を設定する☛P57、P58
● 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。
● 複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。
①発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合☛P58
②相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けた場合
③電話帳データに発番号設定をした場合
④発信者番号通知を設定した場合
● プッシュトークの発信者番号通知については、プッシュトークでの設定が必要となります。☛P106

Menu 48

自分の電話番号を確認する　自局番号

自分の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスなどを確認します。

お買い上げ時　自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録

1 Menu 0 **を押す**

・自局電話番号には、FOMA端末に挿入しているFOMAカードの電話番号が表示されます。
・ｉモードのメールアドレスを確認する：◎ 1 でｉMenuを表示→「料金&お申込・設定」→「メール設定」→「アドレス確認」を選択

おしらせ

● 通話中に自分の電話番号を確認する：✉ 0

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話をかける……50
音声電話からテレビ電話に切り替える……53
着もじを設定する……着もじ 54
前にかけた相手にかけ直す……リダイヤル 56
1回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する
……186／184 57
条件を設定して電話をかける……発信オプション 58
国際電話を利用する……WORLD CALL 59
サブアドレスを指定して電話をかける……サブアドレス設定 61
途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する
……再接続アラーム音 61
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする……ノイズキャンセラ設定 62
車の中で手を使わずに話す……車載ハンズフリー 62

電話の受けかた

電話を受ける……62
音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける……65
ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする
……エニーキーアンサー設定 65
FOMA端末を開いて通話を開始する……着信中オープン応答 65
FOMA端末を閉じて通話を切断／継続／保留する……通話中クローズ設定 66
着信履歴を利用する……着信履歴 67
通話中に相手の声の音量を調整する……受話音量 69
着信音などFOMA端末から鳴る音の音量を調整する……音量設定 69
音声電話／テレビ電話／プッシュトーク着信時の動作を設定する
……電話着信設定／テレビ電話着信設定／プッシュトーク着信設定 71
通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する
……優先通信モード設定 72

電話に出られないとき／出られなかったとき

すぐに電話に出られないときに保留にする……応答保留 72
応答保留ガイダンスを設定する……応答保留ガイダンス設定 73
通話保留音を設定する……通話保留音 74
公共モード（ドライブモード）を利用する
……公共モード（ドライブモード） 74
公共モード（電源OFF）を利用する……76
電話に出られないときに用件を録音／録画する……伝言メモ 77

電話をかける

ここでは、音声電話とテレビ電話で共通の操作を説明します。

・通話中はアンテナ部を手で覆わないでください。

1 電話番号を入力



一般電話にかける	同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090 − XXXX − XXXX、080 − XXXX − XXXX
PHSにかける	070 − XXXX − XXXX

- 電話番号は80桁まで入力できます。ただし、表示されるのは24桁です。
- 電話番号を訂正する：［ch/クリア］
- 待受画面に戻す：［ch/クリア］（1秒以上）

2 ［☎］



「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。［☎］を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- 相手の携帯電話やPHSの電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、接続できないことをガイダンスでお知らせします。

3 通話が終わったら［☎］を押す

- FOMA端末を閉じて電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

おしらせ

● 操作2、操作1の順でも電話をかけられます。［☎］を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。

● 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

● マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してから電話をかけることができます。☛P399

通話中に保留にする

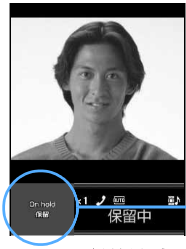
通話中保留

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。
・保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

1 通話中に を押す



音声電話保留中



テレビ電話保留中

通話が保留になり、ガイダンス（通話保留音）が流れます。テレビ電話のときは、自分と相手には通話中保留画像が表示されます。

- 音声電話の保留中に または を押すと、保留が解除されます。
- テレビ電話の保留中に を押すと、保留が解除され、保留前に送信していた画像に戻ります。 または を押すと保留が解除され自画像が、 を押すと保留が解除され代替画像が相手に送信されます。
- FOMA端末を閉じて保留にするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけられます。

1 電話番号を入力▶ を1秒以上押す

- テレビ電話でかける：電話番号を入力▶
  テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を「OFF」に設定している場合は、 を1秒以上押します。
- テレビ電話をかけたとき、自動的にスピーカーホン機能がONになります。スピーカーホン機能を利用しないでテレビ電話をかけるには、テレビ電話動作設定で設定を変更します。
- 発信中、呼出中は 、通話中は または を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。
- スピーカーホン機能利用中は、ディスプレイ上部に が表示されます。
- 電話帳／リダイヤル／着信履歴／伝言メモ／音声メモの一覧から操作する場合も同様です。
- プッシュトークでかける：電話番号を入力▶ （1秒以上）
- FOMA端末を閉じているときにプッシュトーク発信すると、自動的にスピーカー機能がONになります。

■ **スピーカーの音量を調整する：音声電話通話中に ▶ で音量調整**
- テレビ電話通話中のとき： ▶ で音量調整
- 設定は通話終了後も保持され、テレビ電話伝言メモの再生音の音量にも反映されます。

おしらせ

- スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- 周囲や相手側の雑音が大きく、聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能をOFFにして通話してください。
- FOMA端末に向かって約30cm以内の距離でお話しください。

つづく

● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、接続した機器を使って音声をやりとりします。
● マナーモード中でもスピーカーホン機能を利用できます。

音声電話通話中にサブメニューから実行できる操作

サブメニュー	説明	参照先
1テレビ電話切替	音声電話からテレビ電話へ切り替えます。	P53
2着信履歴	着信履歴を表示します。	P67
3リダイヤル	リダイヤルを表示します。	P56
4日付時刻設定	日付・時刻を設定します。	P46
5再接続アラーム音※1	電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。	P61
6通話品質アラーム音※1	電波状態が悪くて通話が途切れそうになったときに、アラーム音で知らせるように設定します。	P139
7通話中クローズ設定	通話中にFOMA端末を閉じたときの動作（切断／継続／保留）を設定します。	P66
8ダイヤル入力	キャッチホンをご利用の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。	P395
9受話音量	受話音量を調整します。	P69

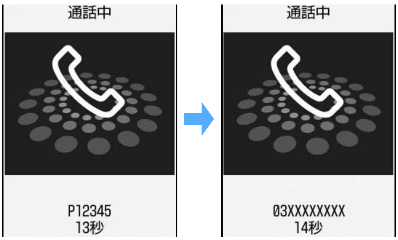
※1：アラーム鳴動中でも設定を変更できます。アラームが鳴り止んだ後に変更した設定が反映されます。
・通話中には、次のキーで操作できます。
・(上下)：受話音量を調整する　・(左)：着信履歴を表示する　・(右)：リダイヤルを表示する
・(カメラ)：カメラを起動する　・(電話帳)：電話帳を起動する
・(カメラキー)（1秒以上）：相手の声を録音する（通話中音声メモ）

ポーズ、タイマーを入力する

ポーズとタイマーは音声電話のみ有効です。

例「03XXXXXXXXP12345」（ポーズ「P」を入力）で発信したとき

電話がつながった後に(決定)を押すと、ポーズ以降の番号が送出されます。



ポーズ「P」を入力する

ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。ポーズ（P）が入力された箇所でダイヤルを区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出します。

1 **(＊)を1秒以上押す**
・電話番号の先頭に入力すると発信できません。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどに利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 **[#]を1秒以上押す**

- タイマーは連続して入力できます。
- タイマー 1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

おしらせ

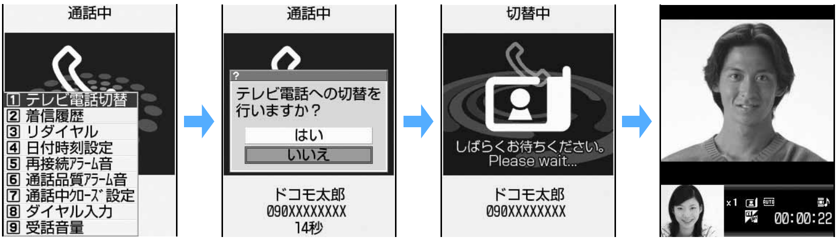
- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- お話し中の通話を保留にして別の相手にポーズ(P)、タイマー(T)を入力して電話をかけることはできません。
- チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送出する必要がある場合には、スピーカーホン機能を利用すると便利です。この場合、スピーカーホンに切り替えた後で、プッシュ信号(DTMF)を入力してください。

音声電話からテレビ電話に切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、音声電話通話中に、サブメニューからの操作でテレビ電話へ切り替えられます。切り替えは、音声電話をかけた側の端末からのみ操作できます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応の端末どうしでご利用いただけます。
- テレビ電話に切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。☛P95

1 **音声電話通話中に(Menu)[1]▶「はい」を選択**



- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 「いいえ」を選択すると音声電話通話中の画面に戻ります。
- テレビ電話動作設定でスピーカーホン設定を「ON」に設定している場合、テレビ電話に切り替わると、スピーカーホンを利用した通話に自動的に切り替わります。

おしらせ

- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中はテレビ電話に切り替えられません。
- キャッチホンでの通話中は、テレビ電話に切り替えられません。
- 切り替えには、約5秒かかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては音声電話とテレビ電話の切り替えができず、電話が切れる場合があります。
- 切り替え中に別の電話がかかってきたときは、着信は拒否されます。
- スピーカーホン機能は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

つづく

- テレビ電話通話中に行った設定（カメラの切り替えやフレーム選択など）は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。
- テレビ電話と音声電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 「切替中」と表示されている間は料金は課金されません。
- テレビ電話から音声電話へ戻すには☛P84

着もじを設定する　着もじ

音声電話やテレビ電話をかける際に、相手の着信画面にメッセージ（着もじ）を表示することで、あらかじめ用件や緊急度を伝えることができます。着もじ付きの着信があったときに、着もじを表示するかどうかを設定できます。



- 対応機種：902iSシリーズ
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金はかかりません。
- 受信した着もじは着信履歴に記録されます。

着もじが相手側の着信画面に表示されます。通話を開始すると着もじは消えます。

着もじメッセージの編集や設定をする

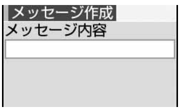
着もじを作成する

- 最大10件登録できます。

1 Menu 8 9 4 1



2 **「<新しいメッセージ>」を選択**



■ **送信メッセージの履歴を引用する：**
① Menu 1
② **着もじを選択**

■ **削除する：**
① **着もじを選ぶ**▶Menu 2
- 全件削除する：Menu 3

② **「はい」を選択**

3 **着もじを入力（全角・半角問わず10文字まで）**

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

4 **(m) を押す**

- 登録済みの着もじを編集したときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。

着もじを受信するときの条件を設定する　メッセージ表示設定

お買い上げ時　番号通知ありのみ

1 Menu 8 9 4 2

2 **1〜4のいずれかを押す**

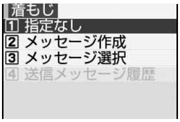
すべて表示　　　：すべての着もじを表示します。
表示しない　　　：着もじを表示しません。
電話帳登録番号のみ：電話帳に登録されている相手からの着もじのみ表示します。
番号通知ありのみ　：発信者番号を通知してきた相手からの着もじのみ表示します。

着もじメッセージを付けて電話をかける

- 着もじは最大10件記録されます（送信メッセージ履歴）。10件を超えると古いものから順に消去されます。

1 **電話番号を入力▶** Menu 4

2 **着もじ欄を選択▶着もじを選択**



■ **着もじを解除する：1**

■ **メッセージを作成／編集する：2▶着もじを作成**
- 作成方法は「着もじを作成する」の操作2以降と同じです。☛P54

■ **登録済みの着もじから選択する：3▶着もじを選択**

■ **送信メッセージ履歴から選択する：4▶着もじを選択**

3 Menu**▶「はい」を選択**
- 着もじが相手側の端末に届いた場合は「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
- 相手が対応端末でない場合や、メッセージ表示設定の設定により着もじが届かなかった場合などは「送信できませんでした」と表示され、送信料金はかかりません。

おしらせ

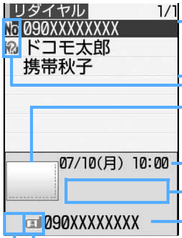
● 着もじはプッシュトークに対応していません。
● 相手側が以下のような設定の場合、相手側の端末に着もじは届かず、着信履歴にも保存されません。また、発信側に送信結果は表示されません。この場合は、送信料金はかかりません。
　・圏外のときや電源が入っていない場合　　・公共モード（ドライブモード）中
　・伝言メモの呼出時間を「0秒」に設定している場合　など
● 相手側の端末に着もじが届いていても、電波状態によって、発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合は送信料金がかかります。
● 相手が呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内に着もじ付きの着信を受けた場合、着もじは表示され、着信履歴に記録されます。この場合は発信側に送信料金がかかります。
● 海外での利用時には着もじを送受信することはできません。

前にかけた相手にかけ直す　リダイヤル

相手にかけた電話やプッシュトークを発信履歴（リダイヤル）として記録しておく機能です。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに、簡単な操作でかけ直せます。

・最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 ▶リダイヤル一覧で相手を選ぶ



電話番号、名前※1、グループ名※2のいずれかが表示されます。

No.：発信オプションで発信者番号を通知した発信　：発信オプションで発信者番号を非通知にした発信

画像※3

選ばれている相手への発信日時

プッシュトークの種別または発信オプションで発信したマルチナンバーの名称※4

プッシュトークの種別

：プッシュトークの発信（一人の相手）　：プッシュトークの発信（複数の相手）

：プッシュトークプラスでのプッシュトーク発信（一人の相手）☛P98

：プッシュトークプラスでのプッシュトーク発信（複数の相手）☛P98

電話番号

：テレビ電話の発信　：プッシュトークの発信　表示なし：音声電話の発信

：国際電話の発信のときに表示されます。

※1：電話番号が電話帳に登録されている場合（シークレットモード中でない場合、シークレット属性が設定されている電話帳の相手に発信したときは相手の電話番号を表示）

※2：グループでプッシュトーク発信した場合（複数の相手に発信した場合は、先頭のメンバーの名前）

※3：電話帳に登録されている場合（複数の相手へのプッシュトーク発信の場合、先頭のメンバーの画像）

※4：マルチナンバーを契約している場合（発信した基本契約番号の名称または付加番号の名称）

- リダイヤル一覧／着信履歴一覧を切り替える：
- プッシュトーク発信先一覧の表示：プッシュトークのリダイヤルを選ぶ▶
- 以下の電話帳登録などの操作は、プッシュトーク発信先一覧からも同様に操作できます。

■ **電話帳に登録する：**

① **リダイヤルを選ぶ▶Menu 1**
- 登録済みの電話帳データに追加する：Menu 2
- 複数の相手に発信したプッシュトークの場合は相手を選択します。

② **1～2▶名前やメールアドレスなどを登録☛P111、P115**
- 登録済みの電話帳データに追加する：1～2▶相手を選択▶登録内容を修正☛P123

■ **プッシュトーク電話帳に登録する：リダイヤルを選ぶ▶Menu 3▶「はい」を選択**
- 相手がFOMA端末電話帳に登録されていないと、登録できません。
- 複数の相手にプッシュトーク発信したリダイヤルを選んだときは、Menu 3を押し、相手を選択したあと を押し、「はい」を選択します。

■ **プッシュトーク電話帳のグループに登録する：**

プッシュトーク電話帳に登録されている複数の相手にプッシュトーク発信したときは、リダイヤルから、発信相手をプッシュトークグループに登録できます。

① **リダイヤルを選ぶ▶Menu 4**

② **グループ名を入力▶**

■ SMSを作成する:リダイヤルを選ぶ▶(✉)（1秒以上）
リダイヤルの電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。
- (✉)を押すと、リダイヤルの電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、1件目のメールアドレスが宛先に設定されたｉモードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、リダイヤルの電話番号が宛先に設定されたｉモードメールの作成画面が表示されます。
  ・プッシュトークのリダイヤルの場合は、発信相手が一人のときに有効です。

2 **(音声電話キー)（音声電話のとき）または(テレビ電話キー)（テレビ電話のとき）を押す**
- プッシュトークを発信する：(P)
- 選んでいるリダイヤルと同じ発信方法で電話をかける：(●)
  ・32Kテレビ電話で発信したリダイヤルは、64Kで発信されます。

おしらせ
- 条件を設定して電話をかけられます。☛P58
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、発信時の種別（音声電話／テレビ電話）がリダイヤルに記録されます。
- 日付・時刻が設定されていない場合は、リダイヤルには日時が記録されません。
- 同じ電話番号に音声電話またはテレビ電話をかけた場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」のそれぞれについて最新の1件のみが記録されます。同じ電話番号にプッシュトークで発信した場合は別の履歴として記録されます。
- マルチナンバーに登録している発信番号を選択するには☛P399

リダイヤルを削除する　　リダイヤル削除

1 **(○→)**

2 **リダイヤルを選ぶ▶(Menu)[6][1]**
- 全件削除する：(Menu)[6][2]
- プッシュトーク発信先一覧からも同様に操作できます。

3 **「はい」を選択**

1回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する　　186／184

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを設定します。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。

「186」／「184」を付けて電話をかける

電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加する方法です。

■ **発信者番号を通知する：[1][8][6]▶電話番号を入力▶(音声電話キー)（音声電話のとき）または(テレビ電話キー)（テレビ電話のとき）**

■ **発信者番号を通知しない：[1][8][4]▶電話番号を入力▶(音声電話キー)（音声電話のとき）または(テレビ電話キー)（テレビ電話のとき）**

おしらせ

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、「186」を付けてからおかけ直しください。
- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手の電話番号に「186」／「184」を付けて発信した場合、「186」／「184」も付いた電話番号がリダイヤルに記録されます。
- 番号通知方法の優先順位について☛P48

条件を設定して電話をかける　発信オプション

音声電話／テレビ電話をかけるたびに、着もじの作成や選択、マルチナンバーの発信番号の選択、発信方法や発信者番号の通知／非通知の選択、プレフィックスや国際アクセス番号を付加するかどうかを設定できます。

・プッシュトークグループの場合は、発信方法と発信者番号の通知／非通知のみ設定できます。

1 電話番号を入力▶Menu 4

■ **国際電話をかける：国番号▶電話番号を入力▶Menu 4**

・国際電話をかける場合、市外局番が「0」で始まるときは「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになるときは「0」が必要です）。

2 各項目を選択して発信条件を設定

着もじ：相手に送信する着もじを作成または選択します。☛P55

マルチナンバー：相手に通知する番号を基本契約番号または付加番号から選択します。☛P399

発信方法：「音声電話」「64Kテレビ電話」「32Kテレビ電話」「プッシュトーク」から選択します。
・「プッシュトーク」を選択した場合、「番号通知」以外は設定できません。

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定します。
・番号通知方法の優先順位について☛P48、プッシュトークの番号通知方法の優先順位について☛P106

プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。
・プレフィックス設定について☛P60

国際電話発信：国際アクセス番号の名称を選択します。
・国際ダイヤル設定について☛P59

3 Menu▶「はい」を選択

設定した内容で電話がかかります。

・発信方法で「64Kテレビ電話」または「32Kテレビ電話」を選択した場合には、(i)を押し「はい」を選択すると、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

おしらせ

- リダイヤル一覧、着信履歴一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧、自局電話番号の詳細画面、プッシュトーク電話帳のメンバー一覧／グループ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧では、Menuを押し「発信オプション」を選択します。
- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の電話帳一覧や詳細画面では電話番号を選んでから、Menuを押し「発信オプション／メール」→「発信オプション」を選択します。
- 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

国際電話を利用する　WORLD CALL

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話方法

0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶ 国番号 ▶ 市外局番 ▶ 電話番号を入力 ▶ 発信キー ・上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。 ・市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）。

- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
  - FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  - ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。 ・接続可能な国及び通信事業者等の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。 ・国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

簡単な方法で「WORLD CALL」を利用する　国際ダイヤル設定

本設定の自動付加設定を「自動付加」に設定すると、国際電話をかける際に「+」を入力することで、あらかじめ設定した国際アクセス番号が自動的に付加され、簡単に国際電話をかけられます。
- 「+」の後に日本の国番号「81」を先頭に付けて発信した場合は、国際アクセス番号は付加されません。

自動付加を設定する

お買い上げ時　自動付加

1 Menu 8 6 7 3 1

2 **1を押す**
- 解除する：2

国際アクセス番号を登録する

・最大３件登録できます。

お買い上げ時　名称：World Call　番号：009130010

1 Menu 8 6 7 3 2

2 **「＜未登録＞」を選ぶ▶** Menu 2

3 **名称を入力（全角８文字（半角１６文字）まで）▶番号を入力（１０桁まで）▶** 📖

4 📖 **を押す**

国際アクセス番号を設定する

「＋」を入力したときに自動的に付加される国際アクセス番号を選択します。

1 Menu 8 6 7 3 2

■ **登録内容を確認する：項目を選ぶ▶** Menu 1

■ **編集する：項目を選ぶ▶** Menu 2 **▶項目を編集**

・登録内容の確認画面で 📖 を押しても編集できます。操作方法は「国際アクセス番号を登録する」の操作３以降と同じです。

■ **削除する：項目を選ぶ▶** Menu 3 **▶「はい」を選択**

・自動付加される国際アクセス番号は削除できません。

2 **項目を選択**

3 📖 **を押す**

国際ダイヤル設定を利用して簡単にかける

1 0 **（１秒以上）▶国番号▶電話番号を入力▶** 📞 **▶「はい」を選択**

「WORLD CALL」以外の番号を設定する　プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ登録しておくと、電話番号を入力した後に、簡単にプレフィックスを付加して国際電話をかけられます。

・お買い上げ時は、ドコモの国際電話用の「009130010」が登録されています。

お買い上げ時　009130010

1 Menu 8 6 7 2

2 **プレフィックス１～３欄を選択▶番号を入力**

・最大3件、1件につき10桁まで入力できます。
・番号（プレフィックス）にはポーズ、タイマーを含めないでください。ポーズ、タイマーを含めてプレフィックスを設定すると、プレフィックスを付加して電話をかけることはできません。
・「009130010」は変更できます。

3 [📖]を押す

サブアドレスを指定して電話をかける　サブアドレス設定

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定します。

・映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

サブアドレスの設定を有効にする

お買い上げ時 ON

1 [Menu][8][6][7][4]

2 [1]を押す

・解除する：[2]

サブアドレスを指定して電話をかける

1 電話番号を入力▶[＊]▶サブアドレスを入力

2 [発信]（音声電話のとき）または[テレビ電話]（テレビ電話のとき）を押す

・相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

おしらせ

●サブアドレス設定を「ON」に設定していても、ポーズやタイマー、「#」を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号(DTMF)として送出されます。

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する　再接続アラーム音

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話、テレビ電話、プッシュトークを、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。

・電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
・利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
・再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
・利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

お買い上げ時 アラーム高音

1 [Menu][8][1][1][6][4]▶[1]～[3]のいずれかを押す

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする　ノイズキャンセラ設定

通話中の周囲の騒音を抑えることによって、自分の声が相手に、また相手の声も明瞭に聞きとれるようになります。

・通常は、「ON」に設定した状態でのご使用をおすすめします。

お買い上げ時　ON

1 Menu 8 6 8 1

2 **1 を押す**

・解除する：2

車の中で手を使わずに話す　車載ハンズフリー

FOMA 端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と、USB接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

・ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット 01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

おしらせ

- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でのマナーモードや着信音の設定に関わらずハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）中の着信動作は、公共モード（ドライブモード）の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー対応機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K固定でテレビ電話を発信します。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけた／受けた場合、相手には代替画像が送信されます。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、通話中クローズ設定の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、通話中クローズ設定の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

電話を受ける

ここでは、音声電話とテレビ電話で共通の操作を説明します。

・音声着信の場合、☎以外に0～9、＊、＃を押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。☛P65

1 **電話がかかってくる**

着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、決定キーの照明が点灯／点滅します。

・応答保留にする：☎

2



お話しください。通話時間が表示されます。
- 通話中保留にする：
- スピーカーホン機能に切り替える：または
- FOMA端末を開いても電話を受けられます。☛P65

3 通話が終わったらを押す

- FOMA端末を閉じて電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

ディスプレイの表示について

着信中の相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。名前や電話番号を表示しないように設定できます。☛P149

■ 相手の電話番号が通知されたとき



相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、電話番号が表示されます。また、電話着信設定またはテレビ電話着信設定で設定した画像が表示されます。



相手の電話番号が電話帳に登録されている場合には名前と電話番号が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは電話帳に設定した画像や動画／ｉモーションも表示されます。☛P149

■ 相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。



非通知理由	理　由
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります）

音声電話がかかってきた場合は、発番号なし動作設定で設定した着信動作やイメージ表示が優先されます。テレビ電話がかかってきた場合は、着信画像はテレビ電話着信設定が優先されます。

■ 着もじ付きの着信を受けたとき



メッセージ表示設定に従って着もじが表示されます。通話を開始すると着もじは消えます。
- 受信した着もじは着信履歴に記録されます。

音声電話着信中にサブメニューから実行できる操作

通話中着信動作選択を「通常着信」に設定していると、通話中に別の音声電話がかかってきたときもサブメニューから同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 着信拒否	電話が切れます（相手側に通話料金はかかりません）。
2 留守番電話※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 転送でんわ※2	かかってきた電話を転送先へ転送します。

※ 1：留守番電話サービスをご利用いただいている場合に有効です。
※ 2：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。
- 📷（1秒以上）：伝言メモで応対する（クイック伝言メモ）
- 📷：着信音、バイブレータを停止する
- ◎：着信音量を調整する

音声電話通話中に「ププ…ププ…」という音(通話中着信音)が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

ご契約の内容	動　作	参照先
留守番電話サービス※1	留守番電話サービスセンターに接続します。	P394
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答します。	P395
転送でんわサービス※1	転送先へ転送します。	P396

※1：通話中着信設定を開始に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定した場合にサブメニューから操作できます。
- キャッチホンをご契約されていない場合は、通話中着信音「ププ…ププ…」が鳴っても電話は受けられません。

おしらせ

- FOMA 端末から転送された電話を着信した場合は、転送元の電話番号が電話帳に登録されていないときは電話番号が、電話帳に登録されているときは名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。
- 電話帳や電話着信設定などで電話着信時の画像に動画／ｉモーションを設定していても、音声通話中に音声電話の着信があった場合は動画／ｉモーションは再生されず、最初のコマが表示されます。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- 電話帳に登録されていない相手からの着信に対して、着信を拒否したり、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。☛P174
- 電話帳に登録されている相手に対して着信拒否を設定できます。☛P171

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

- 切り替え操作は、音声電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは切り替え操作を行うことはできません。
- テレビ電話への切替要求を受けるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P95

1 音声電話通話中にテレビ電話への切替要求を受ける



- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2 「はい」を選択

テレビ電話に切り替わり、相手側に自画像が送信されます。
- 代替画像を送信する：「いいえ」を選択
- 「はい」を選択したときに初めて自画像が送信されます。

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする　エニーキーアンサー設定

電話がかかってきたとき、[終話] 以外に [0] ～ [9]、[＊]、[＃] を押して電話に出られるようにします。

- 本機能は音声電話とプッシュトークに有効です。ただし、通話中着信時は無効です。

お買い上げ時　ON

1 [Menu] [8] [6] [4]

2 [1] を押す

- 解除する：[2]

FOMA端末を開いて通話を開始する　着信中オープン応答

- 本機能は音声電話にのみ有効です（プロテクトキーロック中も有効です）。

お買い上げ時　OFF

1 [Menu] [8] [6] [7] [5]

2 [1] を押す

- 解除する：[2]

FOMA端末を閉じて通話を切断／継続／保留する　通話中クローズ設定

・64Kデータ通信中、パケット通信中は、本機能は動作しません。
・プッシュトークの場合は、FOMA端末を閉じることで切ることができます。プッシュトーク中クローズ設定で設定します。

お買い上げ時　通話継続

1 Menu 8 6 8 2

2 **1～3のいずれかを押す**

切断　：通話を終了します。
通話継続：通話を継続します。
通話保留：通話を保留します。相手にはガイダンス（通話保留音）が流れます。

おしらせ

●「通話保留」に設定している場合、以下のように動作します。
・テレビ電話通話中に静止画やフレームを重ねた自画像を送信中にFOMA端末を閉じたときは、保留解除後、静止画やフレームは解除されます。
・プッシュ信号（DTMF）送信中にFOMA端末を閉じたときは通話を継続します。
・音声電話／テレビ電話の切り替え中にFOMA端末を閉じたときは通話を継続します。

● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や市販のハンズフリー対応機器などを接続して通話中にFOMA端末を閉じた場合、接続中の機器から音を鳴らすように設定しているときは、本機能の設定に関わらず通話は継続されます。この状態で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）やハンズフリー対応機器を外しても通話は継続されます。

● 伝言メモ録音／録画中にFOMA端末を閉じた場合、本設定に関わらず録音／録画は継続されます。

● 通話中音声メモ録音中／動画メモ録画中にFOMA端末を閉じた場合は、本設定に従って動作します。「通話保留」に設定している場合、保留直前までに録音／録画していた内容が保存されます。

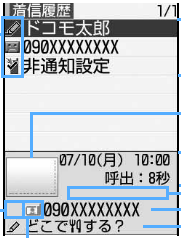
着信履歴を利用する

かかってきた電話やプッシュトーク、電話に出られなかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音／録画されたときも記録されます。

- 最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

例 着信履歴から電話をかけるとき

1 ▶着信履歴一覧で着信履歴を選ぶ



電話番号、名前※1、発信者番号非通知理由（☛P63）のいずれかが表示されます。
画像※2
選ばれている相手からの着信日時（不在着信の場合は呼出時間も表示）
プッシュトークの種別または着信したマルチナンバーの名称※3
：プッシュトークの着信（一人の相手）　：プッシュトークの着信（複数の相手）
：プッシュトークプラスでのプッシュトーク着信（一人の相手）☛P98
：プッシュトークプラスでのプッシュトーク着信（複数の相手）☛P98
電話番号または発信者番号非通知理由
着もじ

：テレビ電話の着信　：プッシュトークの着信　：64Kデータ通信の着信　表示なし：音声電話の着信

：国際電話の着信のときに表示されます。

応答の状況（着もじ付き／着もじなし）
／表示なし：応答済み　／：不在着信（確認済み）　／：不在着信（未確認）
／：伝言メモ　／：伝言メモ（削除済み）

※ 1：電話番号が電話帳に登録されている場合
※ 2：電話帳に登録されている場合（複数の相手とのプッシュトーク通信の場合、先頭のメンバーの画像）
※ 3：マルチナンバーを契約している場合（着信した基本契約番号の名称または付加番号の名称）

- 着信履歴一覧／リダイヤル一覧を切り替える：
- プッシュトーク着信一覧の表示：プッシュトークの着信履歴を選ぶ▶
- 以下の電話帳登録などの操作は、プッシュトーク着信一覧からも同様に操作できます。

■ 電話帳に登録する：

① **着信履歴を選ぶ▶ Menu 1**
- 登録済みの電話帳データに追加する：Menu 2
- 複数の相手と通信したプッシュトークの場合は相手を選択します。

② **1～2▶名前やメールアドレスなどを登録☛P111、P115**
- 登録済みの電話帳データに追加する：1～2▶相手を選択▶登録内容を修正☛P123

■ プッシュトーク電話帳に登録する：着信履歴を選ぶ▶ Menu 3▶「はい」を選択

- 相手がFOMA端末電話帳に登録されていないと、登録できません。
- 複数の相手とプッシュトーク通信した着信履歴を選んだときは、Menu 3を押し、相手を選択したあとを押し、「はい」を選択します。

■ プッシュトーク電話帳のグループに登録する：

プッシュトーク電話帳に登録されている複数の相手とプッシュトーク通信したときは、着信履歴から通話相手をプッシュトークグループに登録できます。

① **着信履歴を選ぶ▶ Menu 4**

② **グループ名を入力▶**

■ **SMSを作成する：着信履歴を選ぶ▶✉（1秒以上）**

着信履歴の電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。

・✉を押すと、着信履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、1件目のメールアドレスが宛先に設定されたｉモードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、着信履歴の電話番号が宛先に設定されたｉモードメールの作成画面が表示されます。

・プッシュトークの着信履歴の場合は、通信相手が一人のときに有効です。

2 （音声電話のとき）または（テレビ電話のとき）を押す

・選んでいる着信履歴と同じ着信方法で電話をかける：
・プッシュトークを発信する：
・着もじ付きの着信履歴から電話をかけても、着もじは付きません。

かかってきた電話やプッシュトークに出られなかったとき（不在着信）

1（数字は件数）が表示され、着信履歴に記録されます。☛P37

・覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

おしらせ

● 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信を含むすべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴一覧でMenu 7 1を押します。呼出開始時間内の着信履歴を表示しないようにする場合はMenu 7 2を押します。

● 条件を設定して電話をかけられます。☛P58

● 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面でを押すと、表示されていない不在着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、呼出開始時間内履歴が表示されます。

● 日付・時刻が設定されていない場合は、着信履歴には日時が記録されません。

● 会社などでダイヤルインをご利用の相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

● 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、着信時の種別（音声電話／テレビ電話）が着信履歴に記録されます。

● ダイヤル発信制限やPIMロックを設定すると、それまでに記録されていた着信履歴は削除されます。ただし、その後の着信は着信履歴に記録され、PIMロック中の場合は着信履歴から発信できます。

● マルチナンバーに登録している発信番号を選択するには☛P399

着信履歴を削除する

着信履歴削除

1

2 着信履歴を選ぶ▶Menu 6 1

・全件削除する：Menu 6 2
・プッシュトーク着信一覧からも同様に操作できます。

3 「はい」を選択

通話中に相手の声の音量を調整する　受話音量

レベル1（最小）～レベル6（最大）の6段階で調整できます。
- 通話中に変更された音量は、通話終了後も保持されます。
- 受話音量は電源を切っても保持されます。

お買い上げ時　レベル4

1　通話中に▶で音量調整

を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。
- 音量を大きくする：または
- 音量を小さくする：または
- テレビ電話通話中の音量調整をする：Menu 0▶で音量調整

おしらせ
- 待受中に受話音量を調整する方法、受話音量に連動する音量については☛P70

着信音などFOMA端末から鳴る音の音量を調整する　音量設定

電話やメール、メッセージR/Fの着信音、目覚まし音、スケジュールアラーム、ｉアプリ、トルカ取得時の音量を調整します。
- 「silent」（消音）、レベル1～レベル6の7段階で調整できます（着モーションも7段階になります）。待受中はステップトーン（約3秒ごとに、消音→レベル1→…→レベル6で着信音が鳴る）も設定できます。

着信中に電話の着信音量を調整する

- 電話着信中に変更された着信音量は、通話を終了すると元に戻ります。

1　着信中に▶で音量調整

を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。
- 音量を大きくする：または
- 音量を小さくする：または

おしらせ
- 着信音とバイブレータの動作を止める：着信中に
- 電話着信音量をステップトーンに設定している場合、着信中に調整をすると、レベル6からの変更になります。

待受中に着信音などFOMA端末から鳴る音の音量を調整する

・受話音量は、消音に設定できません。
・受話音量、ｉアプリ音量、トルカ取得音量は、ステップトーンに設定できません。
・待受中に変更された着信音量は、電源を切っても保持されます。

お買い上げ時　すべてレベル４

1 Menu 8 1 2

2 1〜3、5〜6

■ **目覚ましの音量を調整する：4 1**

■ **スケジュールアラームの音量を調整する：4 2**

電話着信音量：音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音量を調整します。
本設定は、以下の音量にも反映されます。
お知らせタイマー、通話料金の上限通知アラーム、電池レベル表示時の確認音、メールに添付されたメロディ再生時の音

メール・メッセージ着信音量：
メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音量を調整します。

受話音量：音声電話、テレビ電話、プッシュトークの受話音量を調整します。
本設定は、以下の音量にも反映されます。
キー確認音、スピードセレクターを回転したときの音、音声電話伝言メモ、音声メモの再生音

目覚まし音量：目覚ましの音設定画面で音量を「端末設定に従う」に設定したときの音量を調整します。

スケジュール音量：スケジュールアラーム音や予告アラーム音の音量を調整します。

ｉアプリ音量：ｉアプリから鳴る音の音量を調整します。

トルカ取得音量：トルカの取得時に鳴る音の音量を調整します。本機能はトルカ取得設定にも反映されます。

3 **で音量調整▶ を押す**

・ステップトーンにする：レベル６のときに、 または
・消音にする：レベル１のときに、 または

おしらせ

● 電話着信音量を消音に設定した場合は、待受画面に が表示されます。また、同時に音声電話のバイブレータを設定した場合は、 が表示されます。

音声電話／テレビ電話／プッシュトーク着信時の動作を設定する　電話着信設定／テレビ電話着信設定／プッシュトーク着信設定

・本機能での設定内容は、音の設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定にもそれぞれ反映されます。イメージ表示の設定は、発着信画面表示設定の電話着信設定、テレビ電話着信設定にもそれぞれ反映されます。
・プッシュトーク着信設定では、イメージ表示は設定できません。

お買い上げ時　着信音：メロディ／Vivaldism（電話着信設定）、メロディ／電話・メロディ A（テレビ電話着信設定）、メロディ／電話・メロディ B（プッシュトーク着信設定）
イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF　イルミネーション／着信イルミネーション：
点滅／スカイ（電話着信設定）、点滅／ライム（テレビ電話着信設定）、点滅／ピーチ（プッシュトーク着信設定）

例 音声電話着信時の動作を設定するとき

1 Menu 8 6 2

■ **テレビ電話着信時の動作を設定する：** Menu 8 7 1 2

■ **プッシュトーク着信時の動作を設定する：** Menu 8 7 2 1

2 **各項目を選択して設定**

着信音　　　：電話がかかってきたときの着信音を設定します。
・「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。
・「メロディ」または「着モーション」を選択したときは、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。

イメージ表示：電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
・「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
・「ｉモーション」を選択したときは、フォルダ一覧から動画／ｉモーションを選択します。フォルダ一覧が表示されないときは、「画像選択」を選択します。

バイブレータ：電話がかかってきたときの振動を設定します。

イルミネーション／着信イルミネーション：
着信時の決定キーの照明の点灯パターンと色を設定します。

・選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P133

3 **(本)を押す**

おしらせ

● イメージにパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
● 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、イメージ表示を映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音は「Vivaldism」（音声電話）または「電話・メロディ A」（テレビ電話）になります。
● 動画／ｉモーションによってはイメージに設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。
● メロディによっては、バイブレータやイルミネーション／着信イルミネーションで　「メロディ連動」に設定すると、バイブレータやイルミネーションが動作しないことがあります。
● プッシュトーク着信音に設定する動画／ｉモーションには、音声のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する　優先通信モード設定

音声電話通話中にパケット通信の着信があったとき、またはパケット通信中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

・本設定により画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

お買い上げ時　設定なし

1 Menu 8 6 7 1

2 **1～3のいずれかを押す**

設定なし　：表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。
音声通話表示優先　：音声電話通話中の画面を優先して表示します。
パケット通信表示優先：パケット着信中の画面を優先して表示します。
・ｉモードのパケット通信中に音声電話がかかってきたときに（キー）を押すと画面切替メニューが表示され、電話を受けられます。

・ｉモードのパケット着信時は、本設定に関わらず、音声電話通話中の画面が優先して表示されます。

表示される画面について

優先通信モード設定の設定内容によって、画面の表示は次のようになります。

設定内容	音声電話通話中のパケット着信時（ｉモード以外）※1、※2	パケット通信中の電話着信時※3
設定なし	音声電話通話中の画面	音声電話着信中の画面
音声通話表示優先		
パケット通信表示優先	パケット着信中の画面	ｉモード中の画面

※1：電話着信時に表示される画面は、通話中着信動作選択の設定に従って動作します。☛P398
※2：ｉモード以外のパケット通信にはｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信は含まれません。
※3：ｉモード中にｉモード以外のパケット着信は受けられません。☛P439

すぐに電話に出られないときに保留にする　応答保留

・応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 **着信中に（キー）**



音声電話応答保留中



テレビ電話応答保留中

応答保留になります。相手には応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話のときは、自分と相手には応答保留画像が表示されます。

2 電話に出られる状態になったら[発信]を押す

- 音声電話の場合は、FOMA端末を開いても電話に出られます。☛P65
- テレビ電話の場合は[テレビ電話]または[発信]を押します。[メール]を押すと、相手には代替画像（☛P94）が送信されます。
- 応答保留中に[終話]を押すか、相手が電話を切ると、通話が終了します。

おしらせ

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用の場合は、着信中に[Menu]を押し「留守番電話」／「転送でんわ」を選択すると、留守番電話への切り替えや電話の転送ができます。

応答保留ガイダンスを設定する

応答保留ガイダンス設定

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音することもできます。

・ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
・音声電話、テレビ電話ともに、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

お買い上げ時 内蔵音

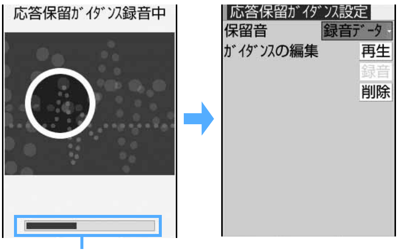
例 録音データをガイダンスに設定するとき

1 [Menu][8][1][1][6][1]

2 保留音欄を選択▶[2]

- お買い上げ時のガイダンスに戻す：[1]▶操作4に進む

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択▶発信音（ピーッ）の後に応答保留ガイダンスを話す



録音可能時間の目安

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音を途中で停止する：[決定]
- 録音したガイダンスを確認する：「再生」を選択
- 既に録音データが登録されているときは「録音」は選択できません。「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音してください。

4 [電話帳]を押す

おしらせ

● 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。
● 保留音を「内蔵音」に設定すると、応答保留時に相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

通話保留音を設定する

通話保留音

・音声電話、テレビ電話ともに、通話保留中はここで設定したメロディが流れます。

お買い上げ時 保留音・ボイス

1 Menu 8 1 1 6 2

2 **2～3のいずれかを押す**

・お買い上げ時のメロディに戻す：1
・メロディを再生する：メロディを選ぶ▶ (ⓜ)

おしらせ

● 通話保留音の音量は変更できません。
● 通話保留音に設定した3Dサウンド対応メロディには、通話相手の端末で音質が劣化して聞こえるものがあります。

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モード（ドライブモード）

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

・公共モードの設定／解除は、待受中のみできます（画面に「圏外」が表示されている時でも可能です）。
・公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
・本機能は、データ通信中はご利用できません。

公共モード（ドライブモード）を設定する

1 **＊を1秒以上押す**

公共モードが設定され、🚗が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

・マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

■ **解除する：＊（1秒以上）**

■ **公共モード（ドライブモード）を設定すると**

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても、着信音は鳴りません。画面には[1]が表示され、着信履歴に記録されます。
電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

・プッシュトーク着信の場合は応答を行わず、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して運転中であることを通知します。

■ 公共モード（ドライブモード）中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードのガイダンスが流れます。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
キャッチホン	公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れた後、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。

おしらせ

● 公共モード中は、次の音が鳴りません。また、バイブレータも動作せず、着信などを知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。
• 着信音　• 目覚まし音　• スケジュールアラーム音　• お知らせタイマーのアラーム音
• ｉアプリのサウンド　• 充電確認音　• 通話料金上限通知アラーム※1　• 電池アラーム音
• FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてデータを取得したときの音※2
※1：通話料金上限通知の設定を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません。
※2：イルミネーション設定のICカードアクセスを「ON」に設定している場合や、トルカ取得設定のイルミネーション設定を「ON」にしている場合は決定キーの照明が点滅します。

● 公共モード中でも、次の音は鳴ります。
• キー確認音　• スピードセレクター音　• シャッター音
• レンズカバー音　• スライド音

● 公共モード中は、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されません。

● 公共モード中は着もじは表示されません。

● メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。ただし、ｉモード問合せを行った場合は、受信中画面や受信結果画面が表示されます。また、このときにメールやメッセージR/Fを受信すると受信中画面が表示され、受信が完了すると受信結果が更新されます。

● 電源が入っていないときや圏外にいるときは、相手には圏外時のガイダンスが流れ、公共モードのガイダンスは流れません。

● 公共モード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、公共モードは解除されます。ただし、テレビ電話で発信した場合は、解除されません。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定した後、電源を切った際の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（電源OFF）を設定する

1 *25251▶📞を押す

公共モード（電源OFF）が設定されます。待受画面上の変化はありません。
続けて電源を切ると、公共モード（電源OFF）が動作します。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ **解除する：*25250▶📞**

■ **設定を確認する：*25259▶📞**

■ **公共モード（電源OFF）を設定すると**

「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源 OFF）ガイダンスが流れます。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
・プッシュトーク着信の場合は応答を行わず、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。

■ **公共モード（電源OFF）中の着信と各サービスとの関係**

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードのガイダンスが流れます。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

電話に出られないときに用件を録音／録画する 伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音／録画されます。

- 音声電話・テレビ電話合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画できます。
- 音声電話の場合は相手の声だけ録音されます。テレビ電話の場合は相手の画像も録画されます。
- 録音／録画日時や電話番号なども記録されます。ただし、日付・時刻が設定されていない場合や電話番号が通知されていない場合などは、日時や電話番号は記録されません。
- 電話がかかってきてから応答ガイダンスを再生するまでの時間を変更できます。
- 自分の声で応答ガイダンスを作成できます。
- プッシュトークの場合、伝言メモは動作しません。
- 伝言メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りください。
  FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Menu 4711

伝言メモを設定する

お買い上げ時 停止する

1 📷 [1] [1] を押す

待受画面に が表示されます。

■ **解除する：📷 [1] [2]**

クイック伝言メモで応対する

伝言メモ機能を開始に設定していなくても、着信中に📷を1秒以上押すと、伝言メモ機能を1回だけ動作させることができます。この操作は伝言メモ機能を開始に設定する操作ではありません。

- プッシュトークの場合、クイック伝言メモは動作しません。

おしらせ

- 伝言メモが4件録音／録画されると、待受画面に が表示されます。この場合、伝言メモを解除してもアイコンは消えません。
- 伝言メモが既に4件録音／録画されている場合は、伝言メモを設定できません。また、着信中に📷を1秒以上押してクイック伝言メモを動作させようとすると、警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。

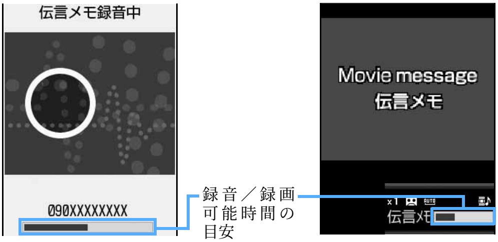
伝言メモの設定中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

応答時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答ガイダンスの画面が表示されます。

・伝言メモ応答ガイダンスを「内蔵音」に設定しているときは、相手には「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後にお名前、ご用件をお話しください。」というガイダンスが流れます。録音したガイダンスを流すときは、「録音データ」に設定します。

2 相手のメッセージを録音または録画



音声電話伝言メモ録音中　　テレビ電話伝言メモ録画中

・録音／録画の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と鳴ります。また、録音／録画開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音または録画が終了すると、電話が切れる

（数字は件数）が表示されます。

おしらせ

● 電源が入ってないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービス（有料）をご利用ください。

● 伝言メモが既に4件録音／録画されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが作動します。

● 公共モード（ドライブモード）中は公共モード（ドライブモード）が優先され、伝言メモ機能は動作しません。

● 電波の状態により、録音内容が途切れたり、画面が乱れる場合があります。

● 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中に別の電話がかかってきた場合は、着信を拒否して応答ガイダンス、録音／録画を継続します。留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただいている場合、着信を拒否した電話は着信履歴に記録されます。

● 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でも電話に出られます。音声電話の場合は、〔通話〕を押します。テレビ電話の場合は、〔通話〕または〔カメラ〕を押すと、自画像が送信され、〔メール〕を押すと代替画像が送信されます。音声電話の場合は、FOMA端末を開いても電話に出られます。☛P65
このとき、伝言メモ録音／録画中の場合は電話を受けるまでの録音／録画内容は記録されません。

Menu 4713

応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する　伝言メモ応答時間設定

お買い上げ時　8秒

1 [カメラ][1][3]

2 **応答時間を入力（0～120秒）**

・数字を増減する：[方向キー]

おしらせ

● オート着信機能設定（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）など接続時）・留守番電話サービス・転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間をオート着信機能設定・留守番電話サービス・転送でんわサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。この場合は、クイック伝言メモで応答してください。

● オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。

Menu 4714

応答ガイダンスを設定する　伝言メモ応答ガイダンス設定

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。

・ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。

お買い上げ時　内蔵音

例　録音データをガイダンスに設定するとき

1 [カメラ][1][4]

2 **伝言メモ応答ガイダンス欄を選択▶[2]**

・お買い上げ時の応答ガイダンスに戻す：[1]▶操作4に進む

3 **ガイダンスの編集欄の「録音」を選択▶発信音（ピーッ）の後に応答ガイダンスを話す**

・操作方法は応答保留ガイダンスを録音する場合と同じです。☛P73

4 **[m]を押す**

おしらせ

● 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。

伝言メモを再生する

伝言メモ一覧から、録音された伝言メモを再生／削除します。
・未再生の伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。☛P37

1 [カメラ][2]



伝言メモ一覧画面では、録音日時と相手の電話番号が表示されます。
[アイコン]：音声電話伝言メモ（未再生）　[アイコン]：テレビ電話伝言メモ（未再生）
[アイコン]：音声電話伝言メモ（再生済み）[アイコン]：テレビ電話伝言メモ（再生済み）
・相手の電話番号が通知されたときは電話番号が、通知されなかったときは発信者番号非通知理由が表示されます。また、電話帳に登録されている相手の場合は名前が表示されます。
・マルチナンバーを契約している場合は、着信した基本契約番号の名称または付加番号の名称も表示されます。

2 **再生する伝言メモを選択**



音声電話伝言メモの場合

・再生中は次の操作ができます。
[上下]：音量調整　[停止]：停止
[通話]：スピーカーホン機能の切り替え（音声電話伝言メモのみ）

■ **削除する：**
① **伝言メモを選ぶ▶[Menu][2][1]**
・全件削除する：[Menu][2][2]
② **「はい」を選択**

■ **電話帳に登録する：**
① **伝言メモを選ぶ▶[Menu][4]**
・登録済みの電話帳データに追加する：[Menu][5]
② **[1]～[2]▶名前やメールアドレスなどを登録☛P111、P115**
・登録済みの電話帳データに追加する：[1]～[2]▶相手を選択▶登録内容を修正☛P123

■ **電話をかける：伝言メモを選ぶ ▶[通話]（音声電話のとき）または[テレビ電話]（テレビ電話のとき）**
・条件を設定して電話をかけられます。☛P58

3 **再生した伝言メモを削除するかどうかを選択**
・伝言メモを削除する：「はい」を選択

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について 82
テレビ電話をかける 82
テレビ電話を受ける 85
キャラ電を利用する 87
相手側に送信する映像について設定する 88
テレビ電話中の画面表示について設定する 92
テレビ電話の設定を変更する .... テレビ電話動作設定 92
音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する
.... テレビ電話切替機能通知 95
ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する
.... パケット通信中着信設定 95
外部機器と接続してテレビ電話を使用する .... テレビ電話使用機器設定 96

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの映像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電なども表示できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1： 3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

※2： 3G-324M…第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

- テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
  - 64K：通信速度64kbpsで通信をします。
  - 32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話通話中の画面の見かた



1	**親画面**	お買い上げ時は、相手側のカメラ映像を表示
2	**通信速度**	64k：64K　32k：32K
3	**スピーカーホン機能**	：スピーカーホン機能ON 表示なし：スピーカーホン機能OFF
4	**子画面**	お買い上げ時は、自分側のカメラ映像を表示
5	**ズーム**	×1～×2：標準～2倍（インカメラ） ×1～×16：標準～16倍（アウトカメラ）
6	**状態**	：自画像送信中　：カメラオフ画像送信中 ：キャラ電送信中　：フレーム送信中 ：静止画送信中　：通話保留中 ：応答保留中　：伝言メモ録画中 ：動画メモ録画中
	アクションモード	ACTION：全体アクション　PARTS：パーツアクション
7	**撮影モード**	AUTO：フルオート　など 他の撮影モードのアイコンについては☛P89
8	**コンパクトライト**	表示なし：消灯　：点灯
9	**送信画質**	表示なし：標準　HQ：画質優先　：動き優先
10	**音声・映像の送受信状態**	：音声送受信中　：映像送受信中 ：音声・映像送受信中
11	**接写撮影**	表示なし：OFF　：ON（アウトカメラ）
12	**テレビ電話／音声電話切替機能**	表示なし：切り替え不可　：切り替え可
13	**通話時間**	時：分：秒の形式で表示

テレビ電話をかける

- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話をかけられます。☛P59

1 電話番号を入力

- 音声電話の入力方法と同じです。

2



テレビ電話接続中は、自分の画像が表示されます。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえ、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。 を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- 接続中に を押すと、テレビ電話画像選択で設定した代替画像が送信されます。代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。☛P94
- 「テレビ電話接続」と表示された時点から課金が始まります。

3 通話する



相手の声がスピーカーから聞こえます（スピーカーホン機能）。

- 通話中保留にする：
- スピーカーホン機能を切り替える： または
- 相手の設定により代替画像などが表示される場合があります。
- 自動的にスピーカーホン機能を利用した通話に切り替わらないようにするには、テレビ電話動作設定で設定を変更します。

4 通話が終わったら を押す

- FOMA端末を閉じてテレビ電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

おしらせ

- 操作2、操作1の順でもテレビ電話をかけられます。 を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。
- 着もじを付けてテレビ電話をかけられます。☛P55
- 条件を設定してテレビ電話をかけられます。☛P58
- テレビ電話動作設定でスピーカーホン設定を「ON」に設定している場合、マナーモード中にテレビ電話をかけるとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され、待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中です。※1
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（Vライブやビジュアルネット等への発信時）。
音声電話でおかけ直しください	相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合に表示されます。
パケット通信中です	相手がパケット通信中です。
接続できませんでした	発信者番号通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 ・上記以外の場合にも表示されることがあります。

※1：相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

● テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声自動再発信設定	再発信動作
64K	ON	64K→32K→音声
	OFF	64K→32K→切断
32K	ON	32K→音声
	OFF	32K→切断

マルチナンバーを指定してテレビ電話をかけた場合は、指定した発信番号で再発信されます。
着もじを付けてテレビ電話をかけた場合は、着もじを付けて再発信されます。
音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。

● テレビ電話発信中や再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ることがあります。
● テレビ電話通話中に音声か映像、どちらかの通信が切れて(音声のみ)または(映像のみ)の表示になった場合でも、そのまま通話が継続される場合があります。
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などと接続中にテレビ電話で通話すると、テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定の設定に関らず、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
● 代替画像やキャラ電を利用しても、テレビ電話の通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。
● 32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」に設定されている場合も、32Kでの再発信が優先されます。☛P92
・32Kで電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。
● テレビ電話動作設定の音声自動再発信を「ON」に設定中にFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

テレビ電話から音声電話に切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、テレビ電話通話中に、サブメニューからの操作で音声電話へ切り替えられます。切り替えは、テレビ電話をかけた側の端末からのみ操作できます。
・音声電話／テレビ電話切り替え対応の端末どうしでご利用いただけます。
・音声電話に切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。☛P95

1 テレビ電話通話中に Menu 1 ▶「はい」を選択



・切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
・「いいえ」を選択するとテレビ電話通話中の画面に戻ります。

おしらせ

● テレビ電話と音声電話を切り替える際の注意事項については、「音声電話からテレビ電話に切り替える」のおしらせを参照してください。☛P53
● 音声電話からテレビ電話へ戻すには☛P53

プッシュ信号（DTMF）を送出する　DTMF送信

[自画像]（自画像送信中）／[カメラオフ]（カメラオフ画像送信中）／[キャラ電]（キャラ電送信中）のときにプッシュ信号（DTMF）を入力できます。

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

1 通話中に[Menu][9]▶ダイヤルキーで入力

入力した番号が画面に表示され、プッシュ信号（DTMF）が送出されます。

- プッシュ信号（DTMF）送出を解除する：[ch/クリア]
- 自画像やカメラオフ画像送信中は[Menu][9]を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号（DTMF）送出ができます。
- プッシュ信号（DTMF）を送出すると、設定されたフレームや静止画は解除されます。
- プッシュ信号（DTMF）はダイヤルキーで送出するため、キャラ電送信中の場合はダイヤルキーによるアクション操作はできません。

テレビ電話を受ける

- [テレビ電話キー]、[通話キー]、[メールキー]以外のキーを押してテレビ電話を受けることはできません（エニーキーアンサーは無効です）。

1 電話がかかってくる



着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、決定キーの照明が点灯／点滅します。

- 相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。着もじ付きの着信の場合、着もじが表示されます。☛P64
- 応答保留にする：[通話キー]

2 [テレビ電話キー]または[通話キー]



テレビ電話接続中は、自分の画像がディスプレイに表示されます。

■ **代替画像でテレビ電話を受ける：[メールキー]**

テレビ電話がつながったときから、相手には代替画像が送信されます。

- 代替画像にキャラ電を設定していても、キャラ電が表示されないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。

3 通話する



相手の声がスピーカーから聞こえます（スピーカーホン機能）。
- 通話中保留にする：
- スピーカーホン機能を切り替える：または
- 相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。
- 自動的にスピーカーホン機能を利用した通話に切り替わらないようにするには、テレビ電話動作設定で設定を変更します。

4 通話が終わったらを押す

- FOMA端末を閉じてテレビ電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

テレビ電話着信中にサブメニューから実行できる操作

サブメニュー	説　明
1 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。
2 留守番電話※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 転送でんわ※2	かかってきた電話を転送先へ転送します。

※ 1：留守番電話サービスをご利用いただいている場合に有効です。
※ 2：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

- 着信中には次のキーで操作できます。
  - （1秒以上）：伝言メモで録画する（クイック伝言メモ）
  - ：着信音、バイブレータを停止する
  - ：着信音量を調整する

おしらせ

- テレビ電話動作設定でスピーカーホン設定を「ON」に設定している場合、マナーモード中にテレビ電話を受けるとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定の設定に関わらず、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合、テレビ電話は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送先を設定してください。
- テレビ電話着信時の動作を変更するには☛P71

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

- 切り替え操作は、テレビ電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは切り替え操作を行うことはできません。
- 音声電話への切替要求を受けるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P95

1 テレビ電話通話中に音声電話への切替要求を受ける



テレビ電話から音声電話へ自動的に切り替わります。
- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、自分の画像の代わりにキャラクタを送信します。テレビ電話通話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かしたりします。

1 通話中にMenu 3 2 1

2 フォルダを選択▶キャラ電を選択



キャラ電
©BVIG
アクション一覧のテロップ表示

- キャラ電を代替画像として送信中にダイヤルキーを押すと、キャラクタが数字に対応したアクションをします。また、以下の操作も行えます。
  - 0：アクションの中止
  - ＊：アクション一覧の表示
    - アクションを選択するとキャラクタが動きます。
  - ＊（1秒以上）：アクションモード（全体アクション／パーツアクション）の切り替え
- お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧☛P426

おしらせ

● キャラ電によっては、アクションがないものがあります。

相手側に送信する映像について設定する

テレビ電話通話中に送信している画像の変更や、送信している画像に特殊な効果をかけられます。また、インカメラとアウトカメラの切り替えなどができます。

送信画像を自画像／代替画像に切り替える

1 通話中に[カメラ]を押す



代替画像
©BVIG

- 押すたびに自画像（[自画像]）と代替画像（[代替画像]または[代替画像]）が切り替わります。☛P94
- 代替画像にキャラ電を設定していても、キャラ電が表示されないことがあります。このとき相手には、テレビ電話画像選択の標準画像が送信されます。☛P94

送受信画像の品質を設定する

- 「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになり、画質がやや粗くなります。
- 「画質優先」に設定すると画質は細やかになり、画像の動きがやや鈍くなります。

お買い上げ時 標準

例 送信する画像の品質を設定するとき

1 通話中に[Menu][7][1]

- 送信画像の品質は、通話中に[◎]を押しても切り替えられます。

■ **受信画像の品質を設定する：通話中に[Menu][7][2]**

2 [1]～[3]のいずれかを押す

送信画像にフレームを重ねる　フレーム

自画像送信中の場合に、フレームを重ねることができます。

- 表示サイズが176×144以下のフレームのみ選択できます。ダウンロードしたフレームは、表示サイズが176×144のフレームのみ選択できます。

1 通話中に[Menu][3][1]

2 フレームを選択



- インカメラを使用中はディスプレイに鏡像（左右逆向きの画像）が表示され、相手には正像（正しい向きの画像）が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ画像が相手にも送信されます。
- フレーム送信を解除する：フレーム送信中に
- お買い上げ時に登録されているフレーム☛P425

送信画像に特殊な効果をかける　撮影モード

送信する画像に次の効果をかけることができます。自画像送信中の場合のみ変更できます。

項　目	アイコン	項　目	アイコン	項　目	アイコン	項　目	アイコン
フルオート	AUTO	夜景		文字		ソフトタッチ	
感度アップ		トワイライト		ネガポジ		モノトーン（赤）	
超感度アップ		サーフ&スノー		絵画		モノトーン（緑）	
逆光補正		スポーツ		版画		モノトーン（青）	
スポット測光		ペット		美白		モノクロ	
風景		グルメ		日焼け		セピア	

- 詳しくは☛P192

お買い上げ時　フルオート

1 通話中にMenu 2 1

2 1～9、0、＊、＃のいずれかを押す



- でページを切り替えられます。

送信画像の明るさ／色の濃さ／ちらつきを調整する　カメラ調整

明るさ・色の濃さを5段階で調整できます。また、画像のちらつきがある場合、お使いの地域の電源周波数に合った設定にするとちらつきが抑えられる場合があります。

- 自画像送信中の場合のみ変更できます。
- 撮影モードの設定によっては明るさ／色の濃さを変更できない場合があります。
- 通話終了後も設定内容が保持されます。
- ちらつき調整の設定はカメラ、バーコードリーダーのちらつき調整にも反映されます。

お買い上げ時　明るさ：3段階目　色の濃さ：3段階目　ちらつき調整：自動

1 通話中にMenu [2]▶項目を選択

■ **明るさや色の濃さを調整する：**



① **[2]▶明るさのスライダを選ぶ▶[左右キー]**
② **[下キー]で色の濃さのスライダを選ぶ▶[左右キー]▶[決定]**
・調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、明るさ／色の濃さの変化が確認できます。
・調整後、しばらくの間何もしなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

■ **ちらつきを調整する：[3]▶[1]～[3]**

静止画／カメラオフ画像を送信する

静止画または「カメラオフ」と表示される代替画像（カメラオフ画像）を選択します。
・フレーム送信中（☛P88）の場合は設定できません。
・画像サイズが176×144以下で、FOMA端末外への出力が可能な静止画のみ設定できます。

1 通話中にMenu [3]▶項目を選択

■ **カメラオフ画像を送信する：[3]**
・カメラオフ画像を設定すると、テレビ電話画像選択で設定されている代替画像が送信されます。ただし設定されている代替画像がキャラ電の場合は、標準画像（カメラオフ画像）が送信されます。

■ **静止画を送信する：**



① **[4]▶フォルダを選択**
② **静止画を選択**
・静止画を表示する：静止画を選ぶ▶[決定]
・元の画像を表示する：静止画像送信中に[キー]

表示倍率を切り替える　ズーム

・自画像送信中の場合のみ利用できます。

お買い上げ時　標準（x1）

1 通話中に[上下キー]を押す
・[上キー]を押すたびに次の順に切り替わります。[下キー]を押すと逆の順になります。
インカメラ　：標準（x1）→2倍（x2）
アウトカメラ：標準（x1）→2倍（x2）→4倍（x4）→6倍（x6）→8倍（x8）
→10倍（x10）→12倍（x12）→16倍（x16）

おしらせ
● インカメラ、アウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

インカメラ／アウトカメラを切り替える

・自画像送信中の場合のみ変更できます。

お買い上げ時　インカメラ

1 通話中に Menu 6 を押す

切り替わったカメラからの画像が送信されます。



インカメラ選択時



アウトカメラ選択時

・押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。
・カメラを切り替えても、フレーム、送信画像の明るさ／色の濃さ／ちらつきの設定は保持されます。
・アウトカメラに切り替えるときは、レンズカバーを開けてください。アウトカメラ使用中にレンズカバーを閉じると、代替画像が相手に送信されます。「レンズカバーを開けて下さい」と表示されている間にレンズカバーを開けると自画像送信に戻ります。

接写撮影に切り替える

約7～11cmのごく近い距離の画像を送信するときは、接写撮影に切り替えて画像のピントを合わせることができます。

・アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

お買い上げ時　接写撮影OFF

1 通話中に Menu 4 を押す

・接写撮影を解除する：Menu 4

おしらせ

●接写撮影中にインカメラに切り替えると、通常の撮影に戻ります。

コンパクトライトを点灯する

・アウトカメラ使用時のみ点灯できます。
・通話中の設定操作などによって一時的にコンパクトライトが消灯することがあります。

1 通話中に Menu 5 を押す

コンパクトライトが点灯します。点灯していた場合は消灯します。

・押すたびに点灯（ ）／消灯（表示なし）が切り替わります。

テレビ電話中の画面表示について設定する

・通話終了後も設定内容が保持されます。

親画面と子画面を切り替える

お買い上げ時　親画面：相手画像　子画面：自画像

1 通話中に[ch]を押す

• 押すたびに交互に切り替わります。
親画面：相手画像／子画面：自画像 ⟷ 親画面：自画像／子画面：相手画像

親画面のサイズを変更する

お買い上げ時　大

1 通話中に[ch]を1秒以上押す

• 押すたびに大→中→小→大→… の順に切り替わります。

通話中に画面表示を設定する　通話中テレビ電話動作設定

お買い上げ時　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大　照明設定：常灯（標準）

1 通話中に[Menu][8]

2 各項目を選択して設定

• 各項目（テレビ電話画面設定、子画面表示、画面サイズ設定、照明設定）の設定方法は「テレビ電話の設定を変更する」の操作2と同じです。☛P93

3 [ch]を押す

テレビ電話の設定を変更する　テレビ電話動作設定

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話通話中の画面などを設定します。

・相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」に設定するとテレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2006年11月現在)、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

お買い上げ時　音声自動再発信：OFF　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大
送信画質設定：標準　照明設定：常灯（標準）　スピーカーホン設定：ON

1 [Menu][8][7][1][3]

2 各項目を選択して設定

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。

テレビ電話画面設定：通話中に自画像または相手画像のどちらか一方のみを表示するか、両方の画像を表示するかを設定します。
・「両方」以外に設定した場合、子画面表示は設定できません。

子画面表示：通話中の子画面に自画像と相手画像のどちらを表示するかを設定します。

画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。

送信画質設定：相手に送信する画像の画質を設定します。

照明設定：通話中のディスプレイの照明を設定します。
・「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P150）の点灯時間設定（通常時）に従います。

スピーカーホン設定：テレビ電話に接続されたときに、自動的にスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかを設定します。

3 [📖]を押す

おしらせ

● 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
● 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、パソコンなどをつないだパケット通信中にテレビ電話をかけようとしても、テレビ電話には接続されずに再発信が行われ、音声電話で再発信します。音声電話通話中や64Kデータ通信中にはテレビ電話には接続されず再発信も行われません。
● 音声自動再発信を「ON」に設定中、音声で再発信した場合の通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。
● スピーカーホン設定を「ON」に設定している場合、マナーモード中にテレビ電話をかけるとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。

Menu 8234

テレビ電話で表示する画像を設定する　テレビ電話画像選択

テレビ電話で相手に送信する代替画像、伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像を変更します。
・次の画像は設定できません。
　・サイズが176×144を超える静止画
　・アニメーション、パラパラマンガ
　・JPEG形式、GIF形式以外の静止画
　・FOMA端末外への出力が禁止されている画像

代替画像を設定する

お買い上げ時　標準キャラ電

1 [Menu][8][7][1][5]

2 [1]▶**イメージ表示欄を選択**



キャラ電
©BVIG

■ **標準のキャラ電を設定する：**[1]
「標準キャラ電」（ブンブン（Dimo））が設定されます。

■ **標準の静止画を設定する：**[2]
「標準画像」（カメラオフ画像）が設定されます。

■ **その他のキャラ電を設定する：**
① [3]▶**「画像選択」を選択**▶**フォルダを選択**
② **キャラ電を選択**
- キャラ電を表示する：キャラ電を選ぶ▶[ⓜ]

■ **その他の静止画を設定する：**
① [4]▶**「画像選択」を選択**▶**フォルダを選択**
② **静止画を選択**
- 静止画を表示する：静止画を選ぶ▶[ⓜ]
- 相手には選択した画像に文字メッセージが重なって表示されます。

3 [ⓜ]**を押す**

おしらせ

●代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は「標準キャラ電」に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は「標準画像」に戻ります。

伝言メモ録画中／応答保留／通話中保留／動画メモ録画中の画像を変更する

お買い上げ時　伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像

1 [Menu][8][7][1][5]

2 [2]～[5]

3 **各項目を選択して設定**



伝言メモ画像の場合

- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像が設定されます。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
- 相手には選択した画像に文字メッセージが重なって表示されます。

4 [ⓜ]**を押す**

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する テレビ電話切替機能通知

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えができる端末であることを、相手の端末に通知するかどうかを設定します。

・音声電話通話中／テレビ電話通話中は、設定の変更はできません。
・圏外では、設定の操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

お買い上げ時 開始

1 Menu 8 7 1 7 1

■ **停止する：** Menu 8 7 1 7 2

■ **設定内容を確認する：** Menu 8 7 1 7 3

2 **「はい」を選択**

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する パケット通信中着信設定

ｉモードのパケット通信中にテレビ電話を受けることができます。

お買い上げ時 テレビ電話優先

1 Menu 8 7 1 4

2 **1～4のいずれかを押す**

テレビ電話優先：テレビ電話を着信します。テレビ電話に応答すると通信中のパケット通信を切断します。

パケット通信優先：テレビ電話の着信を拒否し、パケット通信を継続します。

留守番電話：かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送でんわ：かかってきたテレビ電話を転送先に接続します。

おしらせ

● 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「パケット通信優先」の動作となります。
● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0 秒」に設定している場合は、本設定に関わらず各サービスが作動します。着信履歴には記録されません。

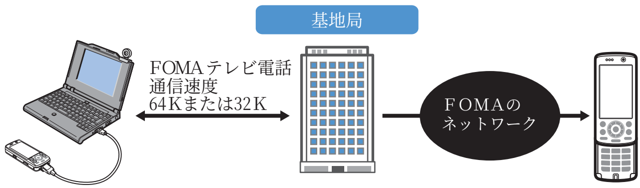
外部機器と接続してテレビ電話を使用する　テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器と接続されていないときは、本機能を利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください（パソコンでのご利用環境等詳細についてはサポートホームページでご確認ください）。

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

お買い上げ時　本体



1 Menu 8 7 1 6

2 1～2のいずれかを押す



おしらせ

- 音声電話通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話通話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

プッシュトーク

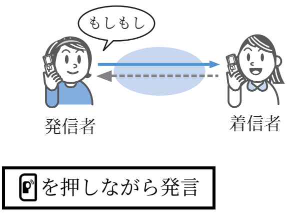
プッシュトークとは 98
プッシュトーク発信する 99
プッシュトーク着信する 101
プッシュトーク電話帳を登録する .... プッシュトーク電話帳登録 102
プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する 104
プッシュトーク電話帳を削除する .... プッシュトーク電話帳削除 105
プッシュトークの発着信について設定する 106

プッシュトークとは

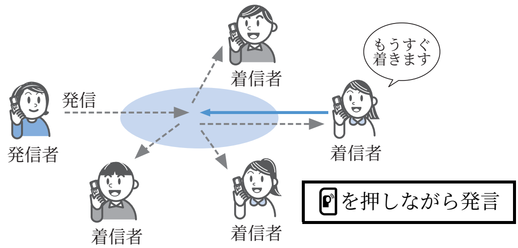
プッシュトークボタン（P）を1秒以上押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んでPを押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大５人まで）と通信できます。Pを押し、発言するたびにプッシュトーク通信料が課金されます。
Pを押し続けている間だけ発言することができ、発言者以外のメンバーはその間は聞くだけになります。
また、画面では誰が発言しているかなどメンバーの状態が確認できます。グループ内での連絡や、短い用件を伝えるときなどに便利にご利用いただけます。

・対応機種：902iシリーズ、902iSシリーズ、P702i

2人で会話



複数人で会話



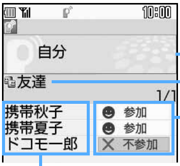
プッシュトークプラス

プッシュトークプラスとは、あらかじめ登録されたネットワーク上の電話帳を利用し、自分も含めて最大20人までと通信できるサービスです。さらに、メンバーの状態を確認できるなど、プッシュトークをより便利にご利用いただけます。プッシュトークプラスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。

● プッシュトークプラスの操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

プッシュトーク発信する

プッシュトーク通信中画面の見かた



現在の発言者
名前※1、電話番号、「非通知」※2、「自分」、空白※3、「？」※4のいずれかが表示されます。

グループ名（グループ発信した発信者の画面にのみ表示）

相手の応答の状況
- 呼出中※5：相手を呼出中です。
- 参加：プッシュトークに参加しています。
- 不参加※5：応答がないか、相手がプッシュトークを終了しました。または、相手が圏外であるか電源を切っています。
- 運転中※5：相手が公共モード（ドライブモード）を設定しています。

メンバー
名前※1、電話番号、「非通知」※2のいずれかが表示されます。

※1：電話番号が電話帳に登録されている場合に表示されます（名前の表示について☛P111）。
※2：発信者が発信者番号を通知しない設定で発信したとき、着信側のメンバーは「非通知」と表示されます。
※3：発言者がいないときに表示されます。
※4：発言者が特定できなかった場合に表示されます。
※5：3人以上で通信しているときに表示されます。

プッシュトークで会話する

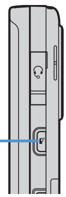
1 電話番号を入力

- 音声電話の入力方法と同じです。

2



相手が応答すると応答音が鳴り、プッシュトークが開始されます。
- FOMA端末を閉じているときにプッシュトーク発信すると、スピーカーホン機能を利用した通信に切り替わります。



■ **FOMA端末を開いているときにスピーカーホン機能を利用して発信する：（1秒以上）**

3 プッシュトークで会話する

- 3人以上で通信しているときに、メンバーが応答すると参加音が鳴ります。
- 3人以上で通信しているときに、メンバーがプッシュトークから抜けると不参加音が鳴ります。

■ **スピーカーホン機能に切り替える：または**

■ **発言する：**

① **を押しながら発言する**
- を押すと発言権取得音が鳴ります。
- 相手が発言中は、を押しても発言権取得失敗音が鳴り、発言できません。

② **発言し終わったらを離す**
- を離すと発言権の開放音が鳴ります。
- 発言権の制限時間がせまると、発言権開放の予告音が鳴ります。

4 プッシュトークが終わったら（終話キー）を押す

・FOMA 端末を閉じてプッシュトークを切るようにするには、プッシュトーク中クローズ設定の設定を変更します。

おしらせ

● FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳、リダイヤル、着信履歴、ｉアプリ、バーコードリーダーの読み取り結果などからもプッシュトークを発信できます。また、メール、サイト、トルカのPhone To（AV Phone To）などからもプッシュトークを発信できます。
● 条件を設定してプッシュトークを発信できます。☛P58
● 音声電話通話中、テレビ電話通話中、データ通信中はプッシュトークを発信できません。また、プッシュトーク通信中は、他の相手に音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
● ｉモード中にプッシュトークを発信したときは、ｉモードが切断されます。
● ｉアプリ起動中にプッシュトークを発信したときは、ｉアプリが中断されます。
● 1回の発言権で、お話しできる時間には限りがあります。制限時間に達するとその発言権は開放されます。
● 一定時間、発言権の取得者がいない場合には、プッシュトーク通信が終了します。
● プッシュトーク中着信設定を「通常着信」に設定している場合、発言中に音声電話がかかってくると、発言権が開放されます。
● プッシュトークでは緊急通報（110番、119番、118番）はご利用になれません。

プッシュトーク通信中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。また、プッシュトーク通信中に（上下キー）で受話音量を調整できます。

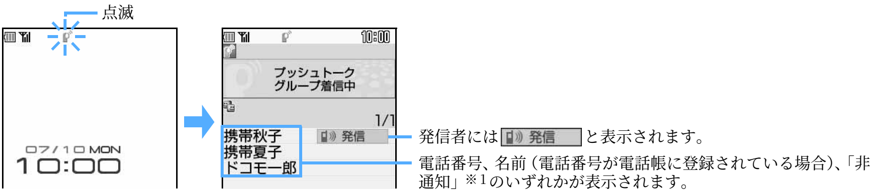
サブメニュー	説　明	参照先
1 再接続アラーム音※1	電波状態が悪くて途切れたプッシュトークを、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。	P61
2 プッシュトーク中クローズ設定	FOMA端末を閉じてプッシュトークを終了するかどうかを設定します。	P108
3 プッシュトーク中着信設定	プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの動作を設定します。	P107

※1：アラーム鳴動中でも設定を変更できます。アラームが鳴り止んだ後に変更した設定が反映されます。

プッシュトーク着信する

1 プッシュトークを着信する

プッシュトーク着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、決定キーの照明が点灯／点滅します。



※１：発信者が発信者番号を通知しない設定で発信したとき、着信側のメンバーは「非通知」と表示されます。

2 [P]または[☎]

プッシュトークに応答し、相手に「参加」を通知します。

- FOMA端末を閉じているときに応答すると、スピーカーホン機能を利用した通信に切り替わります。
- [0]～[9]、[*]、[#]を押してもプッシュトークに応答できます（エニーキーアンサー）。☛P65
- [☎]を押すと、着信が終了します。グループ着信の場合は、参加メンバーに「不参加」を通知し、着信を切断します。
- プッシュトーク自動応答設定を「自動応答あり」に設定している場合、自動的にプッシュトークに応答します。スピーカーホン機能を利用した通信に切り替わります。ただし、マナーモード中は自動応答できません。[P]または[☎]で応答してください（エニーキーアンサーでも応答できます）。

3 プッシュトークで会話する

- 詳しくは「プッシュトークで会話する」の操作3☛P99

4 プッシュトークが終わったら[☎]を押す

- FOMA 端末を閉じてプッシュトークを切るようにするには、プッシュトーク中クローズ設定の設定を変更します。

おしらせ

- 着信音とバイブレータの動作を止める：着信中に[📷]
- 音声電話通話中にプッシュトークの着信はできません。着信履歴には記録されます。
- テレビ電話通話中、外部機器によるテレビ電話通話中、データ通信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新中はプッシュトークの着信はできません。着信履歴も記録されません。
- ｉモード中にプッシュトークの着信があった場合は、ｉモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
- プッシュトーク通信中にｉモードのご利用はできません。
- プッシュトークでは応答保留はできません。[☎]を押すと、着信が切断されます。
- プッシュトーク通信中に、テレビ電話、プッシュトーク、データ通信の着信があっても応答できません。着信履歴には記録されます。
- プッシュトーク呼出時間設定で設定されている秒数を経過しても応答しなかった場合、プッシュトーク着信が終了します。３人以上の通信の場合、参加メンバーには「不参加」が通知されます。
- 公共モード（ドライブモード）中にプッシュトーク着信があっても、着信音も鳴らず、着信画面も表示されません。画面には[1]が表示され、応答できません。３人以上の通信の場合は、参加メンバーには「運転中」と通知します。
- プッシュトーク着信に応答しなかったときやプッシュトークから抜けた場合でも、発信者がプッシュトーク通信している間であれば、着信履歴から発信すると、プッシュトークに再び参加できます。
- プッシュトーク中着信設定で「通常着信」を設定している場合、プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの着信中の操作は、音声電話の着信中と同じです。☛P64
- プッシュトーク着信時の動作を変更するには☛P71

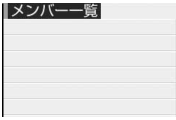
プッシュトーク電話帳を登録する

プッシュトークを発信するメンバーを登録します。グループに分けて登録することもできます。

- 最大700件登録できます（登録内容により、少なくなる場合があります）。
- プッシュトーク電話帳に登録するにはFOMA端末電話帳にも電話番号を登録する必要があります。
- FOMA端末電話帳で電話番号を削除したり、修正した場合はプッシュトーク電話帳の電話番号も自動的に変更内容が反映されます。シークレット属性の設定も反映されます。

例 FOMA端末電話帳を検索して登録するとき

1 [P]（1秒以上）



- メンバーが既に登録されている場合は、50音順に全メンバーが一覧表示されます。
- [1]～[9]、[0]を押すと、それぞれのダイヤルキーに割り当てられている文字（あ～ら、わ）に対応する行の先頭のメンバーが選ばれます。[*]、[#]を押すと50音以外に移動します。
- 複数ページあるときは、[◀O▶]でページを切り替えられます。

2 [✉]

3 「電話帳参照」を選択

- FOMA端末電話帳に登録されていない電話番号を登録する場合、「直接入力」を選択します。FOMA端末電話帳の登録画面が表示されます（☛P111）。各項目を設定し登録すると、プッシュトーク電話帳とFOMA端末電話帳の両方に登録されます。複数の電話番号を登録した場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択してください。プッシュトーク電話帳への登録が終了します。

4 電話帳を検索▶相手を選択

- 複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号を選択します。

5 「はい」を選択

- 他のメンバーを追加登録する：操作2～5を繰り返す

おしらせ

- FOMA 端末電話帳からプッシュトーク電話帳に登録するときは、電話帳一覧で相手を選び [Menu][3][3] を押し、「はい」を選択します。複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号を選択して、「はい」を選択します。また、電話帳詳細画面で電話番号を選び[Menu][3][3]を押し、「はい」を選択しても同様に登録できます。
- FOMA端末電話帳に複数の電話番号が登録されている場合、そのうち1件の電話番号しか登録できません。

グループに登録する

プッシュトーク電話帳に登録したメンバーを、グループに登録できます。

- グループは最大30件登録できます。
- 1つのグループには、メンバーを最大19人登録できます。ただし、プッシュトーク通信できるのは自分を含め最大5人です。発信するときはメンバーを最大4人まで選択してください。

1 **[P]（1秒以上）▶[電話帳]**



- 登録済みのグループにメンバーを登録する場合は、操作3に進みます。

■ **グループ名を変更する：グループを選ぶ▶[Menu][3]▶グループ名を入力▶[電話帳]**
- グループ名を変更しても、リダイヤルには反映されません。

2 **[メール]▶グループ名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶[電話帳]**

3 **グループを選択**
- 既に登録してあるグループを選択したときは、メンバーが表示されます。

4 **[メール]**

プッシュトーク電話帳に登録されているメンバーが一覧表示されます。
- [1]～[9]、[0]を押すと、それぞれのダイヤルキーに割り当てられている文字（あ～ら、わ）に対応する行の先頭のメンバーが選ばれます。[*]、[#]を押すと50音以外が選ばれます。
- 複数ページあるときは、[左右]でページを切り替えられます。

5 **メンバーを選択**
- 選択／解除を切り替える：[決定]

6 **[電話帳]を押す**

おしらせ

● 同じメンバーを複数のグループに登録できます。

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

・複数の人にプッシュトークを発信するには、プッシュトーク電話帳にあらかじめ登録しておく必要があります。

1 [P]（1秒以上）

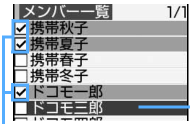


選ばれている相手の電話番号
FOMA端末電話帳に登録されている名前

メンバーが次のフリガナ順に表示されます。
①50音順　②アルファベット順　③数字
④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

・[1]～[9]、[0]を押すと、それぞれのダイヤルキーに割り当てられている文字（あ～ら、わ）に対応する行の先頭のメンバーが選ばれます。[＊]、[#]を押すと50音以外が選ばれます。
・複数ページあるときは、[◎]でページを切り替えられます。
・メンバー一覧で[Menu][6]を押すと、ネットワークに接続し、プッシュトークプラスを利用できます。☛P98

2 メンバーを選択



選ばれているメンバー
選択したメンバー

・自分を含め最大5人で通信できます。
・選択／解除を切り替える：[◎]
・選択したメンバーを確認する：[Menu][1]

3 [P]または[■]

メンバーのうち一人目が応答すると応答音が鳴り、プッシュトークが開始されます。
・メンバーを選択しなかった場合は、選ばれているメンバーにプッシュトークが発信されます。
・FOMA端末を閉じているときにプッシュトーク発信すると、スピーカーホン機能を利用した通信に切り替わります。

■ FOMA端末を開いているときにスピーカーホン機能を利用して発信する：[P]（1秒以上）または[■]（1秒以上）

4 プッシュトークで会話する

・詳しくは「プッシュトークで会話する」の操作3☛P99

5 プッシュトークが終わったら[☎]を押す

・発信者が[☎]を押すと、参加メンバー全員のプッシュトークが終了します。
・FOMA端末を閉じてプッシュトークを切るようにするには、プッシュトーク中クローズ設定の設定を変更します。

おしらせ

● リダイヤル、着信履歴からも複数の相手にプッシュトークを発信できます。
● メンバー一覧やグループ一覧などから、条件を設定してプッシュトークを発信できます。☛P58
● シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないときは表示されません。
● メンバーの電話番号に「184」または「186」を付けても無効です。
● 複数のメンバーにプッシュトーク発信した場合、同じ電話番号が複数登録されているときは、50音順で一番先頭になる名前がプッシュトーク通信中画面に1件表示されます。

プッシュトークグループから発信する

1 [P]（1秒以上）▶[電話帳]▶グループを選択

- グループの全員にプッシュトークを発信する：[P]（1秒以上）▶[電話帳]▶グループを選ぶ▶操作3に進む

2 プッシュトークを発信するメンバーを選択



- グループ内の全メンバーが選ばれています。
- 自分を含め最大5人で通信できます。
- 選択／解除を切り替える：[●]
- 選択したメンバーを確認する：[Menu][1]

3 [P]または[ワンタッチ]を押す

プッシュトークが発信されます。

- グループ一覧から発信した場合、選んだグループの全メンバーにプッシュトークが発信されます。メンバーが5人以上登録されている場合は、通信可能な人数を超えていることを示すメッセージが表示されます。メンバーを最大4人まで選択して発信してください。
- FOMA端末を閉じているときにプッシュトーク発信すると、スピーカーホン機能を利用した通信に切り替わります。
- 以降の操作は、「プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する」の操作4以降と同じです。

■ **FOMA 端末を開いているときにスピーカーホン機能を利用して発信する：[P]（1 秒以上）または[ワンタッチ]（1秒以上）**

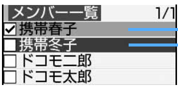
おしらせ

● シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性が設定されていないメンバーにのみプッシュトークが発信されます。

プッシュトーク電話帳を削除する

プッシュトーク電話帳削除

1 [P]（1秒以上）▶メンバーを選ぶ▶[Menu][3]



選択したメンバー

選ばれているメンバー

- 選択したメンバーではなく、選ばれているメンバーが削除されます。

2 「はい」を選択▶「いいえ」を選択

- FOMA端末電話帳からも削除する：「はい」を選択▶「はい」を選択
- グループに登録しているメンバーを削除すると、グループからも削除されます。

グループを削除する

1 [P]（1秒以上）▶[電話帳]▶グループを選ぶ▶[Menu][2]

2 「はい」を選択

- グループを削除しても、グループに登録されていたメンバーはプッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳からは削除されません。

グループに登録されているメンバーを削除する

1 [P]（1秒以上）▶[本]▶グループを選択▶メンバーを選ぶ▶[Menu][3]

2 「はい」を選択

- グループのメンバーを削除しても、プッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳からは削除されません。

プッシュトークの発着信について設定する

プッシュトーク発着信の際の動作を設定します。プッシュトークのみに有効な設定です。

自分やメンバーの電話番号を通知する　プッシュトーク番号通知設定

プッシュトークを発信したとき、自分や他のメンバーの電話番号（発信者番号）を通知します。

- 発信者が、発信者番号を通知して発信したとき、自分の電話番号とメンバーの発信者番号がすべてのメンバーに通知されます。発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。

お買い上げ時　通知しない

1 [Menu][8][7][2][3]

- メンバー一覧で[Menu][5][2]を押しても操作できます。

2 [1]を押す

- 通知しない：[2]

おしらせ

- 発信者番号通知の設定に関わらず本設定に従ってプッシュトークメンバーの発信者番号が通知されます。
- プッシュトークを発信する際に、複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。
  ①発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合
  ②FOMA端末電話帳の発番号設定（1件のみの発信の場合）
  ③プッシュトーク番号通知設定を設定した場合

着信音を鳴らす時間を設定する　プッシュトーク呼出時間設定

着信音が鳴っている間の時間を設定します。その時間内に応答しなかった場合は、不参加になります。

- 呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定しているときは、呼出動作開始時間が経過した後に本機能が動作します。
- プッシュトーク自動応答設定を「自動応答あり」に設定しているとき、本機能は設定できません。

お買い上げ時　30秒

1 [Menu][8][7][2][2]

- メンバー一覧で[Menu][5][1]を押しても操作できます。

2 応答時間を入力（1～60秒）

3 [本]を押す

自動でプッシュトークに応答する　プッシュトーク自動応答設定

プッシュトークの着信に自動的に応答します。プッシュトークに応答したときに、自動的にスピーカーホン機能を利用した通信に切り替わります。

- マナーモード中は本設定は動作しません。プッシュトークに応答するにはPまたは☎を押します（エニーキーアンサーでも応答できます）。
- 公共モード（ドライブモード）中は、本設定は動作しません。着信画面も表示されません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、Pを操作しながら、接続した機器を使って音声をやりとりします。

お買い上げ時　自動応答なし

1 Menu 8 7 2 4

- メンバー一覧でMenu 5 3を押しても操作できます。

2 **1を押す**

- 自動で応答しない：2

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの対処方法を選択する　プッシュトーク中着信設定

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します（テレビ電話の着信は無効です）。

お買い上げ時　着信拒否

1 Menu 8 7 2 5

- メンバー一覧でMenu 5 4を押しても操作できます。

2 **1～4のいずれかを押す**

通常着信　：プッシュトークを切断し、かかってきた音声電話に応答できます。音声着信中に☎を押した場合は、プッシュトークを切断して音声電話に応答します。☎を押した場合は、プッシュトークを切断し、音声着信が継続します。
着信拒否　：かかってきた音声電話を着信拒否します。
留守番電話：かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ：かかってきた音声電話を転送先に転送します。

おしらせ

- ●留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「通常着信」の動作となります。
- ●留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0 秒」に設定している場合は、本設定に関わらず各サービスが作動します。着信履歴には記録されません。
- ●プッシュトーク中着信設定がいずれの設定の場合でも、着信履歴に記録されます。

ｉモード中にプッシュトークを着信したときの動作を設定する　ｉモード中プッシュトーク着信

お買い上げ時　プッシュトーク着信優先

1 [8][4]

・メンバー一覧でMenu[5][6]を押しても操作できます。

2 **[1]～[2]のいずれかを押す**

プッシュトーク着信優先：
プッシュトークの着信があった時点でｉモードを終了し、プッシュトークの着信画面を表示します。プッシュトークを終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

ｉモード優先： プッシュトークの着信画面を表示せず、ｉモードを継続します。その際、プッシュトークは着信履歴に記録されません。

プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する　プッシュトーク中クローズ設定

お買い上げ時　継続

1 Menu[8][7][2][6]

・メンバー一覧でMenu[5][5]を押しても操作できます。

2 **[1]～[2]のいずれかを押す**

終話　：プッシュトークを終了します。
継続　：プッシュトークを継続します。

おしらせ

● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続してプッシュトーク通信中は、FOMA端末を閉じても、本設定に関わらずプッシュトークは継続されます。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について...110
FOMA端末電話帳に登録する...電話帳登録 111
FOMAカード電話帳に登録する............................FOMAカード電話帳登録 115
グループの名前や発着信動作を設定する.................................グループ設定 116
電話帳から電話をかける..電話帳検索 117
電話帳を修正する..電話帳修正 123
電話帳をコピーする...125
電話帳を削除する..電話帳削除 126
電話帳をお預かりセンターに保存する....................電話帳お預かりサービス126
電話帳に各種機能を設定する...126
他人に見られたくない電話帳を守る.................................シークレット属性 128
電話帳の登録状況を確認する...登録件数確認 129
少ないキー操作で電話をかける..クイックダイヤル 129
電話帳お預かりサービスを利用する...130

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA D902iS では、FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳を利用できます。この他に、プッシュトーク専用のプッシュトーク電話帳があります。**☛P102**

・FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に登録できる項目は次のようになります。

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
電話帳登録件数		最大700件※1	最大50件
登録内容	メモリ番号	○	×
	名前・フリガナ	名前は全角16文字（半角32文字）まで、フリガナは半角32文字まで設定可能。	名前は全角10文字（半角21文字）まで、フリガナは全角12文字（半角25文字）まで設定可能。
	画像・動画	1人につき1件	×
	グループ	最大30グループおよび「グループなし」に分類可能。	10グループおよび「グループなし」に分類可能。
	電話番号・アイコン	1人につき5番号まで、電話帳全体で最大2105番号※1設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。
	メールアドレス・アイコン	1人につき5アドレスまで、電話帳全体で最大2105アドレス※1設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。
	その他の設定※2	○	×
電話帳検索	全件表示（50音）	○	○
	グループ検索	○	○
	フリガナ検索	○	○
	ランキング検索	○	×
	メモリ番号検索	○	×
	電話番号検索	○	○
	シークレット検索	○	×
各種設定	電話帳別着信設定※3	○	×
	シークレット属性設定	○	×
	発番号設定	○	×
	メモリ別着信拒否／許可設定	○	×
	シークレットコード設定	○	×
	テレビ電話通信速度設定	○	×
その他	電話番号入替え・メールアドレス入替え・メモリ番号入替え	○	×
	クイックダイヤル	○	×
	クイックメール	○	×
	メール検索	○	○
	サイト表示	○	×
	赤外線送信	○	○
	電話帳お預かりサービスの利用	○	×

※ 1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。
※ 2：誕生日・テキストメモ・郵便番号／住所・会社名・役職名・URLの設定ができます。
※ 3：電話着信時とメール着信時の着信音・着信バイブレータ・着信イルミネーションパターン・着信イルミネーションカラーの設定ができます。電話着信時の設定ではテレビ電話代替画像も設定できます。また、グループ別の発着信設定ができます。

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

名前の表示について

FOMA 端末電話帳、FOMA カード電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、発信中／呼出中／着信中／通話中の画面に、電話帳に登録されている名前と電話番号が表示されます。
また、リダイヤルや着信履歴、伝言メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、カスタムメニューの人物などにも、電話帳に登録されている名前が表示されます。また、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したときも表示されます。

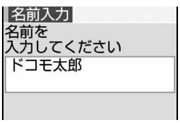
- FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、FOMA端末電話帳に登録されている名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で複数登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、発信元が i モード端末の場合は、ドメイン名「@docomo.ne.jp」を省略したメールアドレスを電話帳に登録していても電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は電話帳の設定で動作します。
- 電話帳に登録した相手からメールを着信すると、電話帳に登録している名前がタスクバーにスクロール表示されます。ただし、シークレットモード中でない場合にシークレット属性が設定されている相手からメールの受信があると、タスクバーにはメールアドレスが表示されます。

FOMA端末電話帳に登録する　電話帳登録

- 最大登録件数☛P110
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。
  パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。また、電話帳お預かりサービス（有料）をご契約の場合は、お預かりセンターへ保存できます。
- FOMA端末の電話帳データをminiSDメモリーカードにバックアップできます。☛P336
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によってはFOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

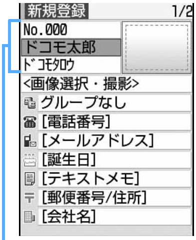
1 Menu 4 2

2 **名前を入力（全角16文字（半角32文字）まで）▶ 囗**



- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 名前を入力しないと登録できません。

3 各項目を選択して設定



メモリ番号、名前、フリガナ

・ ◎でページを切り替えられます。

メモリ番号 ：最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

■ **メモリ番号を変更する：番号を入力（0～699）**
・100の位や10の位の頭の0は省略できます。

名前 ：名前を確認します。

■ **名前を修正する：名前欄を選択▶名前を修正▶ⓜ**

フリガナ ：フリガナを確認します。

■ **フリガナを修正する：フリガナ欄を選択▶フリガナを修正（半角32文字まで）**
・名前を修正してもフリガナには反映されません。

画像選択・撮影：
発着信時や電話帳データ確認時に表示する画像や動画／ｉモーションを設定します。
・お買い上げ時の状態に戻す：[5]

■ **画像を設定する：[1]▶フォルダを選択▶画像を選択**
・横縦（または縦横）のサイズが640×480を超える画像を選択すると、画像を縮小して登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して画像を設定すると、電話帳用（96×72）以下に縮小した画像が保存されます。
・電話発着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガは最初のコマが表示されます。

■ **カメラで静止画を撮影して設定する：[2]▶静止画を撮影▶◉**
・静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

■ **動画／ｉモーションを設定する：[3]▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択**
・画像サイズがSub-QCIF（128×96）、または、QCIF（176×144）の、映像のみの動画／ｉモーションが設定できます。
・選択時に動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P133
・電話発信時には、動画／ｉモーションの最初のコマが表示されます。

■ **ビデオカメラで動画を撮影して設定する：[4]▶動画を撮影▶◉**
・動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。音声は録音されません。

グループ：グループを選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について☛P116

■ **グループを追加する：グループ欄を選択▶ⓜ▶グループ名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶ⓜ**
・「グループなし」以外に、最大30件登録できます。

電話番号：市外局番から入力し（26桁まで）、アイコンを選択します。
・1人につき5番号まで登録できます。1件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
・ポーズ（P）、タイマー（T）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（＊）を登録できます。

メールアドレス：
半角50文字まで入力できます。アイコンを選択します。
・1人につき5アドレスまで登録できます。1件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。
・相手がシークレットコードを登録しているとき☛P127

誕生日　：誕生日設定を「ON」に設定して、誕生日欄に誕生日を入力します。

テキストメモ：
全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

郵便番号／住所：
郵便番号は7桁まで、住所は全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

会社名　：全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

役職名　：全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

URL　：半角256文字まで入力できます。

4 ⓜを押す

・登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択して他のメモリ番号を指定してください。

おしらせ

●「184」または「186」を付けた電話番号を電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。また、メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にしている相手に「184」または「186」を付けて電話帳に登録すると、ｉモードメール作成時の宛先に選択しても送信できません。

●ｉモード端末のメールアドレスのドメイン名（@docomo.ne.jp）は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」を含めて登録することをおすすめします。
・ｉモードメールアドレスをチャットメールのメンバーに登録するときは、「@docomo.ne.jp」を含めて登録してください。
・電話帳やグループ設定でメール着信時の設定をしている場合は、発信元のメールアドレスと電話帳に登録されているメールアドレスがドメイン名を含めて完全に一致しないと設定どおりに動作しません。ただし、ｉモード端末のメールアドレスの場合は、「@docomo.ne.jp」を省略しても設定どおりに動作します。

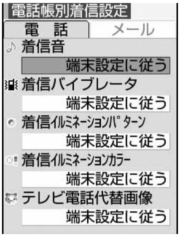
電話帳データごとに着信動作を設定する　電話帳別着信設定

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データごとに着信音やイルミネーションなどを設定できます。

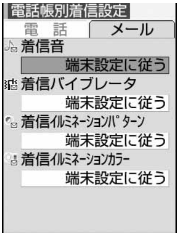
1 電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu 3 2

- 電話帳の検索方法☛P117

2 ◎で設定画面を表示▶各項目を選択して設定



電話



メール

- グループを「グループなし」に設定した場合、各項目は「端末設定に従う」に設定されています。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P133

着信音：「着モーションを選択」または「メロディを選択」を選択し、動画／ｉモーションまたはメロディを選択します。
- 詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ着信音に設定できます。
- 「端末設定に従う」に設定すると、音の設定に従います。

着信バイブレータ：
「選択する」を選択して着信時のバイブレータを設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレータ設定に従います。

着信イルミネーションパターン：
「選択する」を選択して着信時の決定キーの照明の点灯パターンを設定します。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、着信イルミネーションカラーは設定できません。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

着信イルミネーションカラー：
「選択する」を選択して着信時の決定キーの照明の点灯色を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

テレビ電話代替画像（電話のみ設定可能）：
「選択する」を選択して通話中に表示するキャラ電（☛P328）を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、テレビ電話画像選択の設定に従います。

3 📖を押す

おしらせ

● メロディによっては、着信バイブレータや着信イルミネーションパターンで「メロディ連動」に設定すると、バイブレータやイルミネーションが動作しないことがあります。

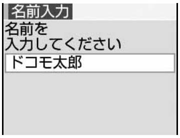
FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカード電話帳登録

・最大登録件数☛P110

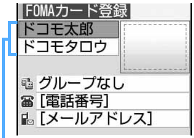
1 Menu 4 3

2 名前を入力（全角10文字（半角21文字）まで）▶ ◎



・漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
・全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。
・名前を入力しないと登録できません。

3 各項目を選択して設定



名前、フリガナ

名前　：名前を確認します。

■ **名前を修正する：名前欄を選択▶名前を修正▶◎**

フリガナ　：フリガナを確認します。

■ **フリガナを修正する：フリガナ欄を選択▶フリガナを修正（全角12文字（半角25文字）まで）**
・フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
・全角／半角が混在している場合は、12文字までしか登録できません。
・名前を修正してもフリガナには反映されません。

グループ　：グループ1～10および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。

電話番号　：市外局番から入力します。26桁（FOMAカードの種類によっては20桁）まで入力できます。
・1番号のみ登録できます。アイコンは設定できません。
・ポーズ（P）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（＊）を登録できます。タイマー（T）は入力できますが、登録できません。

メールアドレス：半角50文字まで入力できます。
・1アドレスのみ登録できます。アイコンは設定できません。

4 ◎を押す

おしらせ

● ｉモード端末のメールアドレスのドメイン名(@docomo.ne.jp)は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」を含めて登録することをおすすめします。ｉモードメールアドレスをチャットメールのメンバーに登録するときは、「@docomo.ne.jp」を含めて登録してください。

グループの名前や発着信動作を設定する　グループ設定

FOMA 端末電話帳や FOMA カード電話帳のグループ名を変更したり、FOMA 端末電話帳のグループごとに着信音を設定したりできます。

・FOMAカード電話帳のグループ設定はグループ名のみ変更できます。
・「グループなし」は、グループ名の変更や発着信動作の設定はできません。

グループの作成やグループ名の編集をする

・FOMA端末電話帳は「グループなし」以外に最大30グループ登録できます。

1 Menu 4 1 2

・FOMAカード電話帳のグループ名を変更する：Menu 4 1 2 📖

2 Menu 2 ▶ **グループ名を入力**

・FOMA端末電話帳のグループ名は、全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
・FOMAカード電話帳のグループ名は、全角10文字（半角21文字）まで入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。

■ **グループ名を変更する：グループを選ぶ▶ Menu 4 ▶ グループ名を編集**
・FOMAカード電話帳のとき：グループを選ぶ▶ Menu 2 ▶ グループ名を編集

■ **FOMA端末電話帳のグループの順序を入れ替える：Menu ▶ 6 ～ 7**

3 📖 **を押す**

発着信動作を設定する　グループ別発着信設定

1 Menu 4 1 2 ▶ **グループを選ぶ** ▶ Menu 5

2 ◎ **で設定画面を表示** ▶ **各項目を選択して設定**

・電話の発着信画像の設定方法は「FOMA端末電話帳に登録する」の操作3と同じです☛P112
着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーの設定方法は「電話帳データごとに着信動作を設定する」の操作2と同じです。☛P114
・電話の設定画面で着信音に映像がある画像／iモーションを設定すると、発着信画像は「着信音連動」になります。音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）を着信音に設定した場合に発着信画像を変更するときは、「イメージを選択」「静止画を撮影」から選択します。

3 📖 **を押す**

おしらせ

● 発着信動作の優先順位について
・着信音☛P133
・バイブレータ☛P138
・発信画像☛P148
・着信画像☛P148
・イルミネーション☛P155

FOMA端末電話帳のグループを削除する

グループを削除すると、そのグループに登録されている電話帳がすべて削除されます。
- シークレット属性が設定されている電話帳も削除されます。
- プッシュトーク電話帳に登録されている電話帳を削除した場合は、プッシュトーク電話帳からも削除されます。
- 「グループなし」を選択すると、そこに登録されている電話帳だけが削除されます。グループは削除されません。

1 **Menu 4 1 2 ▶ グループを選ぶ ▶ Menu 3**

2 **端末暗証番号を入力 ▶「はい」を選択**

Menu 41

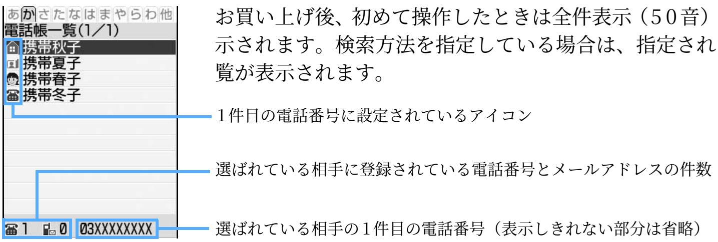
電話帳から電話をかける

電話帳検索

電話をかける相手の電話帳データを、FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけられます。
- 電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出すことができます。
  - ・全件表示（50音）☛P118
  - ・グループ検索☛P118
  - ・フリガナ検索☛P119
  - ・ランキング検索※1☛P119
  - ・メモリ番号検索※1☛P120
  - ・電話番号検索☛P120
  - ・行検索☛P121
  - ・シークレット検索※1☛P128

  ※1：FOMAカード電話帳では利用できません。
- 待受画面で📖を押したときに表示される検索方法を指定できます。☛P121
- 電話帳一覧でMenuを押し、「検索方法選択」を選択しても電話帳の検索方法を変更できます。
- FOMAカード電話帳でも利用できる検索方法では、📖を押すたびにFOMA端末電話帳一覧とFOMAカード電話帳一覧が切り替わります。
- FOMAカード電話帳一覧では、相手の名前の前に▭が表示されます。

1 **📖**



全件表示（50音）の場合

お買い上げ後、初めて操作したときは全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。検索方法を指定している場合は、指定された方法で電話帳一覧が表示されます。

2 **相手を選ぶ ▶ 📞 を押す**
- テレビ電話をかける：相手を選ぶ ▶ 📹
- プッシュトークを発信する：相手を選ぶ ▶ P
- 電話番号を複数登録しているときは、電話番号を選択します。
- 詳細画面から操作する場合は、電話番号を選び📞または◉を押します。

■ ｉモードメールを作成する：相手を選ぶ▶✉
- メールアドレスを複数登録しているときは、メールアドレスを選択します。
- ｉモードメールの作成・送信方法☛P230
- 詳細画面では、メールアドレスを選び●または✉を押します。
- 基本情報画面でも同様に操作できます。1件目に登録しているメールアドレスが宛先に設定されます。
- メールアドレスが登録されている場合に有効です。

■ SMSを作成する：相手を選ぶ▶✉（1秒以上）
- 電話番号を複数登録しているときは、電話番号を選択します。
- SMSの作成・送信方法☛P266
- 詳細画面では、電話番号を選び✉を押します。
- 基本情報画面でも同様に操作できます。1件目に登録している電話番号が宛先に設定されます。
- 電話番号が登録されている場合に有効です。
- メールアドレスが登録されていない場合は、✉を押しても同様に操作できます。

■ サイトを表示する：相手を選択▶◎でURLを選ぶ▶●

メールを検索する

例 FOMA端末電話帳から受信メールを検索するとき

1 📖

2 **相手を選ぶ▶Menu 1 5 1 を押す**



選んだ相手から受信したメールが一覧表示されます。
- 受信／送信メールの見かた☛P248
- 電話帳一覧に戻る：ch/クリア または Menu 0
- 詳細画面でメールアドレスまたは電話番号を選んでからも同様に操作できます。
- FOMAカード電話帳からの場合、相手を選び、受信メールのときは Menu 1 4 1、送信メールのときは Menu 1 4 2 を押します。

■ 送信メールを検索する：相手を選ぶ▶Menu 1 5 2

おしらせ

● 条件を設定して電話をかけられます。☛P58

電話帳データを50音順に表示する　全件表示（50音）

電話帳データを50音順（あ行→か行→さ行→…→その他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし）の順）に表示します。

1 Menu 4 1 1

2 **◎で行を選択**
- ◎の代わりに 0 〜 9、＊、＃を押すと、ダイヤルキーに割り当てられている行が表示されます。たとえば、1 を押すとあ行が表示されます。50音以外を表示するには、＊ または ＃ を押します。

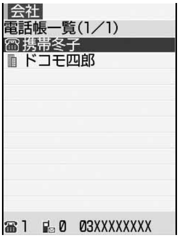
グループで検索する　グループ検索

- グループを設定せずに登録した電話帳データは「グループなし」に登録されています。

1 Menu 4 1 2

2 グループを選択





- 同一グループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  ①50音順　②アルファベット順　③数字
  ④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

名前で検索する　フリガナ検索

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1 Menu 4 1 3

2 フリガナを入力▶ 📖 を押す





- フリガナは先頭の一部を入力して検索できます。フリガナを入力しなくても検索できます。

通話／メール回数の多い相手を検索する　ランキング検索

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データを、通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、ｉモードメール送受信回数が多い順に表示（メール回数ランキング）できます。
- 通話回数、メール回数は9999回まで表示されます。
- 電話帳に登録している電話番号、メールアドレスを直接入力した場合もカウントされます。

例 通話回数ランキングを表示するとき

1 Menu 4 1 4 1 **を押す**



- 累積通話回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までの電話発着信回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からの通話がカウントの対象となります。

■ **メール回数ランキングを表示する：** Menu 4 1 4 2
- 累積メール回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までのメール送受信回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からのｉモードメールの送受信がカウントの対象となります。

おしらせ

● 累積回数が同じ場合は、次のフリガナ順に表示されます。
①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

通話回数／メール回数をリセットする

1 **電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu 9 3**

2 **「はい」を選択**

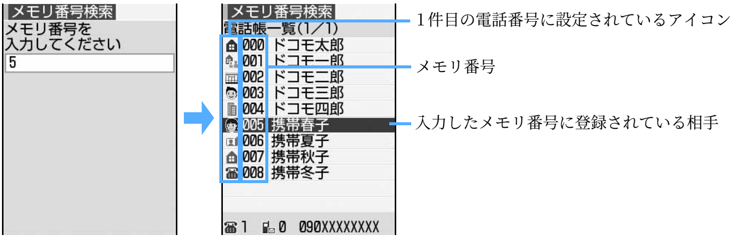
- 個々の累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時がリセットされます。

メモリ番号で検索する　メモリ番号検索

FOMA端末電話帳を、メモリ番号を入力して検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 **Menu 4 1 5**

2 **メモリ番号を入力▶📖を押す**



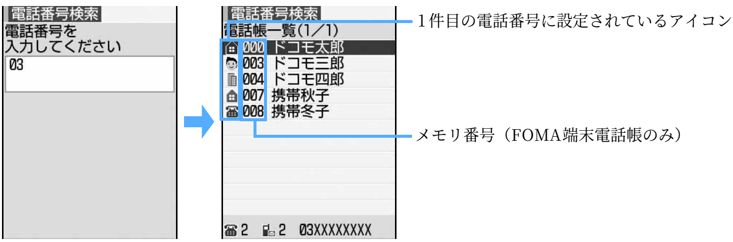
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

電話番号で検索する　電話番号検索

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 **Menu 4 1 6**

2 **電話番号の一部を入力▶📖を押す**



おしらせ

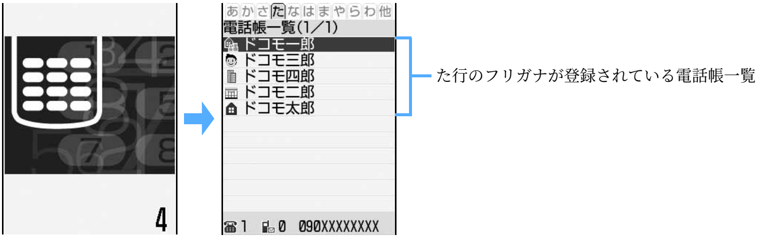
● 電話番号検索で該当する電話帳データが複数ある場合、FOMA端末の電話帳はメモリ番号の順に表示されます。FOMAカード電話帳は次のフリガナ順に表示されます。
①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

すばやく行検索する

ダイヤルキー1～9、0に割り当てられている文字(あ～ら、わ)から電話帳データを検索します。
・前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。

例「ドコモ太郎」を検索するとき

1 4 を押す



・検索結果画面では、0～9、#、*、を押して行を切り替えられます。

検索方法を指定する

待受画面でを押したときに表示される検索方法を指定できます。
・シークレット検索は指定できません。

お買い上げ時　全件表示（50音）

1 Menu 4 1

指定されている検索方法の項目に ✔ が付いています。

2 検索方法を選ぶ▶Menuを押す

・FOMAカード電話帳の検索方法は選べません。

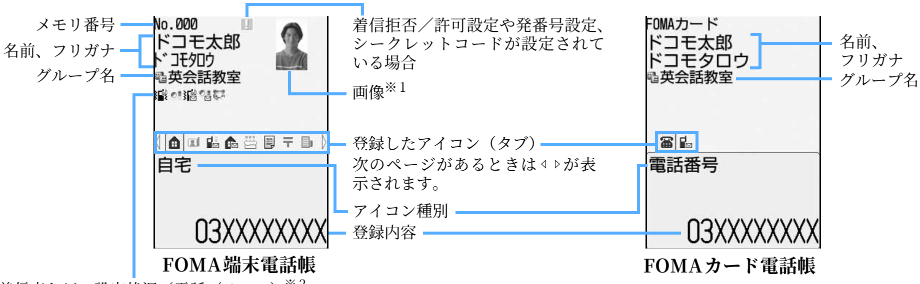
おしらせ

● 前回FOMAカード電話帳を検索した場合は、指定した検索方法でFOMAカード電話帳が検索されます。ただし、FOMAカード電話帳で検索できない方法を指定した場合は、FOMAカード電話帳（50音）の電話帳一覧が表示されます。

電話帳の登録内容を確認する

1 電話帳を検索▶相手を選択

詳細画面が表示されます。



着信音などの設定状況（電話／メール）※2

- ／：着信音　　／：着信バイブレータ　　／：着信音と着信バイブレータ
- ／：着信イルミネーションパターン　　／：着信イルミネーションカラー
- ／：着信イルミネーションパターンとカラー　　：テレビ電話代替画像（電話のみ）

※1：画像を登録していて、画像／名前表示切替を「画像表示優先」または「画像登録時のみ表示」に設定しているときに表示されます。画像に動画／iモーションを設定した場合、iモーションが再生されます。

※2：電話帳別着信設定で着信音などを設定しているとアイコンが色付きで表示されます。

2 で登録内容を表示

- を押すたびに、電話番号1～5→メールアドレス1～5→誕生日→テキストメモ→郵便番号／住所→会社名→役職名→URLの順に表示されます。ただし、登録されている項目のみ表示されます。を押すと逆の順で表示されます。
- 前後の電話帳データの詳細画面を表示する：

■ **通話回数／メール回数を確認する：で電話番号またはメールアドレスを選ぶ▶**

累積情報画面が表示されます。

- 累積通話回数／累積メール回数や最終通話日時／最終メール日時は、電波状況などの理由で相手が電話に応答しなかったり、iモードメールが送信できなかった場合は、対象になりません。
- 累積情報をリセットするときは、累積情報画面でを押し「はい」を選択します。

基本情報を確認する

電話帳に登録した画像／メモリ番号（FOMA 端末電話帳のみ）、名前、フリガナ、グループ名、1件目の電話番号（アイコン種別、電話番号）、1 件目のメールアドレス（アイコン種別、メールアドレス）が表示されます。

1 電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu 9 1 を押す

基本情報画面が表示されます。

- 詳細画面でMenu 8 1 を押しても表示できます。

画像を詳細画面に表示するかどうかを設定する　画像／名前表示切替

電話帳の詳細画面に画像を表示させるかどうかを設定します。設定内容はすべての電話帳データに反映されます。

お買い上げ時　画像登録時のみ表示

1 電話帳を検索▶相手を選択▶Menu 8 4

2 [1]～[3]のいずれかを押す

画像表示優先：画像を優先して表示します。
名前表示優先：名前を表示します。画像は表示されません。
画像登録時のみ表示：画像を登録しているときのみ画像が表示されます。登録していないときは名前を表示します。

おしらせ

- FOMAカード電話帳の詳細画面では[Menu]を押し、「確認／表示切替」→「画像／名前表示切替」を選択します。
- 本機能の設定は自局番号の詳細画面にも反映されます。また、自局番号から本機能を設定したときも電話帳の詳細画面に反映されます。
- 名前が長い場合は、名前がすべて表示されない場合があります。

電話帳を修正する

電話帳修正

電話帳データの内容を修正・コピーしたり、電話帳データ内の電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えたりします。また、電話帳データのメモリ番号を入れ替えることができます。

登録内容を修正する

・プッシュトーク電話帳に登録されているFOMA端末電話帳の修正内容は、プッシュトーク電話帳にも反映されます。

例 FOMA端末電話帳の電話帳データを修正するとき

1 電話帳を検索▶相手を選ぶ▶[Menu][3][1]

・FOMAカード電話帳のとき：電話帳を検索▶相手を選ぶ▶[Menu][3]

2 電話帳データを修正

・詳細については
☛P112「FOMA端末電話帳に登録する」操作3、☛P115「FOMAカード電話帳に登録する」操作3

3 [電話帳]

4 「上書き登録」または「新規登録」を選択

・上書き登録を選択した場合は、以前の電話帳データは破棄されます。
・新規登録を選択した場合は、以前の電話帳データは残り、新たに電話帳データが登録されます。FOMA端末電話帳の場合、メモリ番号を変更せずに新規登録を選択したときは、メモリ番号入力画面が表示されます。必要に応じて番号を変更して再度操作3から操作してください。
・プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号をFOMA端末電話帳から削除すると、上書き登録を選択した後、プッシュトーク電話帳から削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、プッシュトーク電話帳から削除されます。

おしらせ

- FOMAカード電話帳の電話帳データの電話番号に「＊」が含まれている場合は上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、一番最後以外に登録されている電話番号やメールアドレスを削除すると、以降が繰り上げ登録されます。

登録内容をコピーする

コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。
・コピーした内容は電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けることができます。
・記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

1 電話帳を検索▶相手を選ぶ▶[Menu][6]

2 [1]～[8]



FOMA端末電話帳の場合

該当項目のデータが一時的に記録されます。

3 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

おしらせ

● FOMA端末電話帳の詳細画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面では[Menu]を押し、「項目コピー」を選択します。
● 電話番号とメールアドレスは、1件目に登録されている内容がコピーされます。2件目以降の電話番号やメールアドレスをコピーするには、詳細画面でコピーする電話番号やメールアドレスを選び、コピーします。

電話番号やメールアドレス、メモリ番号の順番を入れ替える

電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、FOMA端末電話帳の検索結果画面から、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。また、2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることもできます。

1 電話帳を検索▶順序を入れ替える

■ **電話番号の順序を入れ替える：**



① 相手を選ぶ▶[Menu][3][4][1]
② 1件目に登録する電話番号を選択
選択した電話番号と1件目の電話番号が入れ替わります。

■ **メールアドレスの順番を入れ替える：**
① 相手を選ぶ▶[Menu][3][4][2]
② 1件目に登録するメールアドレスを選択
選択したメールアドレスと1件目のメールアドレスが入れ替わります。

■ **メモリ番号を入れ替える：**
① 相手を選ぶ▶[Menu][3][4][3]
② メモリ番号を入れ替える相手を選択

おしらせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面では(Menu)を押し、「編集／設定」→「入替え」→「電話番号入替え」／「メールアドレス入替え」／「メモリ番号入替え」を選択します。

電話帳をコピーする

FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳にコピーしたり、FOMAカード電話帳をFOMA端末にコピーします。

・コピーする電話帳データのグループと同じ名前のグループが、コピー先の電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。

■ FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーされる項目

名前	名前をコピーします（全角10文字（半角21文字）まで。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字まで）。
フリガナ	フリガナをコピーします（全角12文字（半角25文字）まで。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、12文字まで）。半角カタカナは全角カタカナになります。
電話番号	1件目に登録されている電話番号をコピーします（26桁（FOMAカードの種類によっては20桁）まで☛P41）。タイマー（T）が登録されている場合は、タイマー（T）のみ削除されます。アイコンはすべて☎になります。
メールアドレス	1件目に登録されているメールアドレスをコピーします（半角50文字まで）。FOMAカード電話帳では、アイコンはすべて(メールアイコン)になります。

・FOMAカード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

■ FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーされる項目

名前	名前をコピーします。
フリガナ	フリガナをコピーします。全角カタカナは半角カタカナになります。
電話番号	電話番号をコピーします。アイコンは☎になります。
メールアドレス	メールアドレスをコピーします。アイコンは(メールアイコン)になります。

例 FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーする場合

1 電話帳を検索▶(Menu)[7][1]

2 相手を選択



3 (📖)を押す

おしらせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面では(Menu)を押し、「データバックアップ」→「FOMAカードへコピー」、FOMAカード電話帳の一覧画面／詳細画面では(Menu)を押し、「本体へコピー」を選択します。

電話帳を削除する

電話帳削除

電話帳データを削除します。

・全件削除すると、作成したグループはすべて削除されます。
・全件削除すると、シークレットモード中でない場合でもシークレット属性が設定されている電話帳データは削除されます。
・FOMAカード電話帳は全件削除はできません。

1 電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu 4 1

■ **FOMAカード電話帳を削除する：電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu 4**

■ **全件削除する：電話帳を検索▶Menu 4 2▶端末暗証番号を入力**

2 「はい」を選択

・FOMA端末電話帳からプッシュトーク電話帳に登録されている相手を削除した場合は、プッシュトーク電話帳からも削除されます。

電話帳をお預かりセンターに保存する

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用して FOMA 端末電話帳のデータをお預かりセンターに保存できます。

・電話帳の保存の詳細については☛P130

1 電話帳を検索▶Menu 7 4▶「はい」を選択▶端末暗証番号を入力

お預かりセンターに接続され、データの更新が実行されます。更新が完了すると、実行結果が表示されます。

・実行結果は約5秒後に消え、電話帳一覧に戻ります。早く一覧に戻すには⊙を押します。

電話帳に各種機能を設定する

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知の設定やテレビ電話をかけるときの通信速度の設定ができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定できます。

・FOMAカード電話帳は、ここで説明する機能を設定できません。

電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する

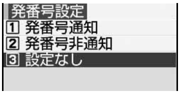
発番号設定

お買い上げ時　設定なし

1 電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu 3 5 2

2 端末暗証番号を入力▶電話番号を選択

3 [1]～[2]のいずれかを押す



- 解除する：[3]

おしらせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面ではMenuを押し、「編集／設定」→「詳細設定」→「発番号設定」を選択します。
- 「設定なし」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。
- 発番号設定をした電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に!が表示されます。
- 番号通知方法の優先順位について☛P48

テレビ電話をかけるときの通信速度を電話番号ごとに設定する　テレビ電話通信速度設定

お買い上げ時　64K

1 電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu[3][5][5]

2 電話番号を選択▶[1]～[2]のいずれかを押す

おしらせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面ではMenuを押し、「編集／設定」→「詳細設定」→「テレビ電話設定」を選択します。
- 通話ごとにテレビ電話の通信速度を指定した場合は、本設定よりも優先されます。☛P58

メールアドレスにシークレットコードを設定する　シークレットコード設定

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データに設定しておくと、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu[3][5][4]

2 端末暗証番号を入力▶メールアドレスを選択

3 4桁のシークレットコードを入力

- シークレットコード設定を解除する：ch/クリアを1秒以上押して消去▶決定

おしらせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面ではMenuを押し、「編集／設定」→「詳細設定」→「シークレットコード設定」を選択します。
- 「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールには返信できません。電話帳データの「シークレットコード」または「シークレットコード@docomo.ne.jp」を削除してから、上記の方法でシークレットコードを設定してください。
- シークレットコードを設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に!が表示されます。
- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードは、操作1～2の手順で確認できます。

他人に見られたくない電話帳を守る　シークレット属性

端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレット属性を持ったデータにします。

電話帳にシークレット属性を設定する

- FOMAカード電話帳には設定できません。
- シークレット属性を設定するにはシークレットモード中に設定操作をする必要があります。

1 シークレットモードを設定

2 待受画面で電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu 3 5 1 を押す



- シークレット属性が設定されると🔒が点滅します。

■ **解除する：シークレット属性が設定されている相手を選ぶ▶Menu 3 5 1**

おしらせ

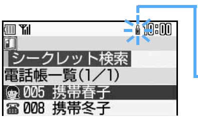
- FOMA端末電話帳の詳細画面ではMenuを押し、「編集／設定」→「詳細設定」→「シークレット属性設定」を選択します。
- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードに設定しないと修正できません。
- シークレットモードを設定していないときは、着信画面、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモ、受信メール一覧などに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前や登録された画像または動画／ｉモーションは表示されません。また、電話帳データに設定した着信音やバイブレータも動作しません。
- シークレットモード中に電話帳データを登録・修正すると、その電話帳データにシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性の設定は、プッシュトーク電話帳にも反映されます。

シークレット属性を設定した電話帳を検索する　シークレット検索

- 検索できるのはシークレット属性が設定されている電話帳データだけです。
- シークレットモードを設定していないときは検索できません。

1 シークレットモードを設定

2 待受画面でMenu 4 1 7 を押す



- 以降の操作は通常の検索方法と同じです。☛P117

選んでいる相手にシークレット属性が設定されているときに点滅

おしらせ

- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモード中以外は検索できません。また、クイックダイヤルやクイックメールも利用できません。
- シークレットモード中にシークレット検索以外の検索を行うと、シークレット属性が設定されている電話帳データと設定されていない電話帳データの両方が検索の対象となります。

電話帳の登録状況を確認する　登録件数確認

電話帳の登録件数やシークレット属性が設定されている件数などを表示します。

・シークレットデータ件数は、シークレットモード中のみ表示されます。

1 電話帳を検索▶Menu 9 2を押す

おしらせ

● FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の詳細画面ではMenuを押し、「確認／表示切替」→「登録件数確認」を選択します。FOMAカード電話帳の電話帳一覧ではMenuを押し、「確認」→「登録件数確認」を選択します。

● 登録件数は、シークレット属性が設定されている件数を含みます。

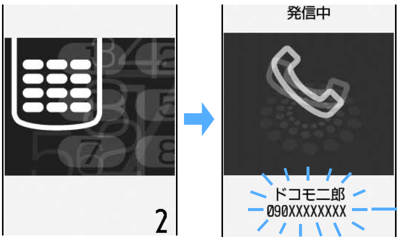
少ないキー操作で電話をかける　クイックダイヤル

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話をかけられます。

・電話帳データの1件目の電話番号が電話をかける対象となります。

例 メモリ番号2の電話番号に電話をかけるとき

1 メモリ番号（この場合は2）を入力▶発信キーを押す



電話帳の1件目の電話番号

・メモリ番号の前に0などは付けずに入力します。前に0などを付けて入力すると、電話はかかりません。

・テレビ電話をかける：メモリ番号を入力▶テレビ電話キー

・プッシュトークを発信する：メモリ番号を入力▶プッシュトークキー
入力したメモリ番号の電話帳の電話番号がプッシュトーク電話帳に登録されているときは、その電話番号にプッシュトークが発信されます。プッシュトーク電話帳に登録されていない場合は、電話帳の1件目の電話番号にプッシュトークが発信されます。

電話帳お預かりサービスを利用する

電話帳お預かりサービスを利用してFOMA端末電話帳のデータをお預かりセンターに保存し、FOMA端末の紛失、水濡れ時などに、お預かりセンターのデータを元に新しいFOMA端末に電話帳データを復元できます。また、お預かりセンターのデータをパソコンなどで編集し、FOMA端末の電話帳に反映することもできます。

・電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
・FOMAカード電話帳は保存できません。

電話帳を保存する／更新する／復元する

1 **Menu 6 9 1 ▶「はい」を選択▶端末暗証番号を入力**

お預かりセンターに接続され、データの更新が実行されます。更新が完了すると、実行結果が表示されます。
・実行結果は約5秒後に消え、電話帳お預かりサービスのメニュー画面に戻ります。早くメニュー画面に戻すには◉を押します。

おしらせ

● お預かりセンターに接続中に電話やプッシュトークが着信した場合の動作は次のとおりです。
・電話帳に登録している相手からの着信の場合でも、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータなどは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
・メモリ別着信拒否、メモリ登録外着信拒否、呼出動作開始時間設定は動作しません。
・着もじは受信しません。
・プッシュトークの場合は、ｉモード中プッシュトーク着信を「プッシュトーク着信優先」に設定している場合のみ着信します。
● 電話帳お預かりサービスの設定により、お預かりセンターからFOMA端末電話帳の更新が行えます。ただし、自動更新時に他の機能を実行していると自動更新は実行されません。
● 電話帳のグループの並び順は、復元しても保存したときの並び順に戻らない場合があります。
● 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

通信履歴を確認する

お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。
・履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 **Menu 6 9 2 ▶履歴を選択**

電話帳の画像を送信するかどうかを設定する

電話帳に登録されている画像をお預かりセンターに送信するかどうかを設定します。

お買い上げ時　なし

1 **Menu 6 9 3 ▶電話帳内画像送信欄を選択▶ 1 ～ 2 ▶ ◉ を押す**

音／画面／照明設定

音の設定

FOMA端末から鳴る音を変える .... 音の設定 132
着信やアラームを振動で知らせる .... バイブレータ設定 137
充電時の確認音を設定する .... 充電確認音 139
通話が切れそうなときにアラームで知らせる .... 通話品質アラーム音 139
電話から鳴る音を消す .... マナーモード 139
マナーモードを変更する .... マナーモード選択 140

画面／照明の設定

待受画面の表示を変更する .... 待受画面設定 141
電話やメールの発着信時に表示する画像を変更する .... 発着信画面表示設定 147
ディスプレイとキーの照明を設定する .... 照明設定 150
画面のカラー配色を変更する .... カラーテーマ設定 151
メニューの表示方法やデザインを設定する .... メニュー設定 152
電池残量のマークを変更する .... 電池マーク設定 153
着信時などの点灯色と点灯パターンを設定する .... イルミネーション設定 154
新着情報があるときに決定キーの照明を点滅させる .... 不在着信お知らせ 155
文字の大きさを変更する .... 文字サイズ設定 156
時計の表示を設定する .... 時計表示設定 157
画面を英語表示に切り替える .... バイリンガル 158
FOMA端末の色に合わせてコーディネイトする .... トータルコーディネイト設定 158

FOMA端末から鳴る音を変える　音の設定

電話やプッシュトークが着信したとき、メールやメッセージR/Fなどを受信したときに鳴る音を設定します。また、目覚まし音やスケジュールのアラーム音、さまざまな操作をしたときの確認音などを設定します。

- 他の音などを設定するには、以下を参照してください。
  - 充電確認音☛P139
  - 応答保留ガイダンス☛P73
  - 通話保留音☛P74
  - 通話品質アラーム音☛P139
  - 再接続アラーム音☛P61
  - 電池アラーム音☛P45

電話やメール・メッセージなどの着信音を設定する　電話着信音／メール・メッセージ着信音

- 着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。
- 電話番号が通知されない音声電話着信時の着信音を設定するには☛P172
- 本機能での設定内容は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、プッシュトーク着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　電話：メロディ／Vivaldism　テレビ電話：メロディ／電話・メロディ A
プッシュトーク：メロディ／電話・メロディ B　メール：メロディ／メール・メロディ A
チャットメール：メロディ／メール・メロディ B
メッセージR、メッセージF：メロディ／メール・メロディ C

例　電話着信音を設定するとき

1 Menu 8 1 1 1
■ **メール・メッセージ着信音を設定する：** Menu 8 1 1 2

2 1 ～ 3
- メール・メッセージ着信音を設定する：1 ～ 4

3 各項目を選択して設定



- 「メロディ」を選択したときは、メロディ欄を選択してメロディを選択します。
  メロディ一覧の見かた☛P331
- 「着モーション」を選択したときは、メロディ欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。
  動画／ｉモーション一覧の見かた☛P321
- 「OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- チャットメール着信音を「メール連動」に設定すると、メール着信音の設定に従います。

4 📖を押す

■「着モーション」に設定する動画／ｉモーションの種類と着信画像

設定する動画／ｉモーション	表示される着信画像
音声のみ※1	・着信音を映像のある動画／ｉモーションから音声のみの動画／ｉモーションやメロディに変更すると、標準画像が表示されます。 ・着信画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定しているときに、着信音に音声のみの動画／ｉモーションを設定すると、標準画像が表示されます。 ただし、音声電話やテレビ電話の着信画像（Flash画像を除く）は、電話着信設定／発着信画面表示設定（電話着信設定）やテレビ電話着信設定／発着信画面表示設定（テレビ電話着信設定）で変更※2できます。
音声と映像あり	・着信画像は動画／ｉモーションの映像になります。

※1：歌手の歌声など映像のないｉモーション。
※2：アニメーション（標準画像を除く）に変更しても動作せず、着信画面には最初のコマが表示されます。

■ 着信音の優先順位

複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で鳴ります。

① マルチナンバーの着信設定
② FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
③ FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④ 音の設定

- プッシュトークの着信音は、音の設定に従います。
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音は音の設定に従います。プッシュトークの着信音は、音の設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像が削除されると、設定内容が変更されます。この場合、実際に鳴る音や表示される画像が設定画面に表示される音や画像と異なることがあります。
- 電話帳に画像または動画／ｉモーションを設定していても、着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定しているときは、着信音と着信画像は「着モーション」の設定が優先されます。「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定しているときは、着信音は「着モーション」の設定になり、着信画像は電話帳に設定した画像またはグループ別発着信設定や電話着信設定／テレビ電話着信設定で設定した画像になります。

メロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには

● メロディ一覧でメロディを選び ⓜ を押すと再生できます。再生中は次の操作ができます。
- 音量調整※1：◎（左右）
- 前後のメロディの再生：◎（上下）
- メロディ一覧に戻る：ch/クリア
- メロディの選択：◎（下）

● 動画／ｉモーション一覧で動画／ｉモーションを選び ⓜ を押すと再生できます。再生中は次の操作ができます。
- 音量調整※1：◎（上下）
- 一時停止／再生：◎（下）
- 停止（動画／ｉモーション一覧に戻る）：ⓜ／ch/クリア
- 早送り再生：◎（右）
- 巻戻し再生：◎（左）

※1：再生時の音量はデータBOXの動作設定に従います。音量を調整するとデータBOXの動作設定にも反映されます。着信音量には連動しません。

おしらせ

● 映像のみの動画／ｉモーションは着信音に設定できません。プッシュトークの着信音には音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）のみ設定できます。

● 詳細情報（☛P345）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーションは「着モーション」に設定できません。

目覚まし音やスケジュールのアラーム音を設定する　目覚まし音・スケジュール音

目覚ましやスケジュールで、目覚まし音やスケジュールアラーム、予告アラームをそれぞれ「端末設定に従う」に設定しているときに鳴る音を設定します。

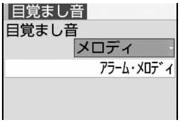
お買い上げ時 ●目覚まし音
メロディ／アラーム・メロディ
●スケジュール音
アラーム：メロディ／アラーム・女性ボイス　予告アラーム：メロディ／パターン4

例 目覚まし音を設定する

1 Menu 8 1 1 3 1

■ **スケジュールのアラーム音を設定する：** Menu 8 1 1 3 2

2 各項目を選択して設定



- 「メロディ」を選択したときは、メロディ欄を選択してメロディを選択します。
  メロディ一覧の見かた☛P331
- 「ｉモーション」を選択したときは、メロディ欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。
  動画／ｉモーション一覧の見かた☛P321

3 📖を押す

キーを押したときやスピードセレクターを回転させたときに鳴る音を設定する　キー確認音・スピードセレクター音

- キー確認音を変更すると電池レベル表示時の確認音も変更されます。
- 次のキーを押したときやプロテクトキーをスライドさせたときは鳴りません。
  - 📷　・🔒　・ワンプッシュオープンボタン

お買い上げ時 キー確認音：キー確認音1　スピードセレクター音：スピードセレクター音1

例 キー確認音を設定する

1 Menu 8 1 1 4 1

■ **スピードセレクター音を設定する：** Menu 8 1 1 4 2

2 1～3のいずれかを押す

- 鳴らさない：4
- 選ばれている音が鳴ります。ただし、「OFF」の場合は鳴りません。

おしらせ

● キー確認音を「OFF」に設定すると、次の音は鳴らなくなります。
- 電池レベル表示時の確認音　・赤外線通信やデータ送受信時の通信終了音

● キー確認音やスピードセレクター音を「OFF」以外に設定しても、次の場合は鳴りません。
- マナーモード中（オリジナルマナーモード中で、オリジナルマナーモード設定のキー確認音やスピードセレクター音を「OFF」以外に設定している場合は鳴ります）
- プロテクトキーロック中（ディスプレイの表示が消えているときに、☎を押した場合は鳴ります）
- ｉアプリ実行中（マルチタスクの切り替え中や他の画面を表示中は鳴ります）
- 動画撮影中　・サウンドレコーダー録音中　・ボイス認証中／認証用の音声録音中

シャッター音を設定する　シャッター音

・ビデオシャッター音を変更すると、サウンドレコーダーの録音確認音（シャッター音）も変わります。
・本機能での設定内容は、静止画詳細設定、動画／録音詳細設定にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　カメラシャッター音、ビデオシャッター音：シャッター音1

例　カメラシャッター音を設定する

1 Menu 8 1 1 4 3

■ **ビデオシャッター音を設定する：** Menu 8 1 1 4 4

2 **1 ～ 5 のいずれかを押す**

・選ばれている音が鳴ります。

レンズカバーを開閉したときに鳴る音を設定する　レンズカバー音

・本機能での設定内容は、静止画詳細設定にも反映されます。

お買い上げ時　カバーオープン音：カバーオープン音1　カバークローズ音：カバークローズ音1

1 Menu 8 1 1 4 5

2 **各項目を選択して設定**

カバーオープン音：レンズカバーを開けてカメラを起動したときに鳴る音を設定します。

カバークローズ音：レンズカバーを閉じてカメラ／ビデオカメラを終了したときに鳴る音を設定します。

・「OFF」に設定すると、カバーオープン音／カバークローズ音は鳴りません。
・選ばれている音が鳴ります。ただし、「OFF」の場合は鳴りません。

3 **(□)を押す**

FOMA端末を開閉したときに鳴る音を設定する　スライド音

お買い上げ時　スライドオープン：メロディ／スライド・オープン音1
スライドクローズ：メロディ／スライド・クローズ音1

1 Menu 8 1 1 4 6

2 各項目を選択して設定

スライドオープン：FOMA端末を開いたときに鳴る音を設定します。
スライドクローズ：FOMA端末を閉じたときに鳴る音を設定します。

- 「メロディ」を選択したときは、メロディ欄を選択してメロディを選択します。
  メロディ一覧の見かた☛P331
- 「OFF」に設定すると、スライドオープン／スライドクローズの音は鳴りません。

3 ⓜを押す

おしらせ

- FOMA端末をすばやく開閉すると、スライド音は鳴らない場合があります。また、次の場合は、FOMA端末を開閉してもスライド音は鳴りません。
  - 発信中
  - 着信中
  - 応答保留中
  - 通話中
  - プッシュトーク通信中
  - マナーモード中
  - 目覚まし音／アラーム鳴動中
  - メロディ再生中
  - 動画／ｉモーション再生中
  - 動画撮影中
  - キャラ電撮影中
  - 伝言メモ／音声メモ／動画メモ再生中
  - 伝言メモ応答ガイダンス再生中
  - ｉアプリ起動中
  - サウンドレコーダー録音中
  - 通話料金上限通知アラーム鳴動中
  - 伝言メモ録音／録画中
  - 通話中音声メモ録音中
  - 動画メモ録画中
- スライド音の音量は変更できません。スライド音に3Dサウンド対応のメロディを設定できますが、3D効果は無効になります。

3Dサウンドとは



3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー（または平型ステレオイヤホンセット（別売）など）を使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。臨場感あふれるｉアプリのゲームや着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。
本機能は、FOMA端末を約20～30cm（個人差があります）程度離し、正面に持って聞いた場合に最も効果が現れます。正面から左右にずらした位置で聞いたり、近すぎたり遠すぎたりすると、効果が薄れてしまいます。

- メロディの動作設定のステレオ・3Dサウンドを「ON」に設定すると、3Dサウンドを立体音響でステレオスピーカーから再生できます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。☛P332
- 立体感の感じかたには個人差があります。違和感がある場合は、ステレオ・3Dサウンドを「OFF」に設定してください。

着信音などに設定できるメロディ一覧

お買い上げ時は、次のメロディがメロディの「プリインストール」フォルダに登録されています。

- ☐のメロディは3Dサウンドに対応しています。
- ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

曲名（【 】内は作曲者）	曲名（【 】内は作曲者）	曲名（【 】内は作曲者）
パターン1～5	アラーム・メロディ	森のくまさん【アメリカ民謡】
電話・メロディ A	アラーム・アナログ時計	凱旋行進曲【VERDI GIUSEPPE】
電話・メロディ B	アラーム・女性ボイス	Rhapsody in Blue【GERSHWIN GEORGE】
電話・メロディ C	スライド・オープン音1～3	ツァラトゥストラはかく語りき【STRAUSS RICHARD】
電話・黒電話	スライド・クローズ音1～3	SUMMERTIME【GERSHWIN GEORGE】
電話・女性ボイス	保留音・ボイス	ジムノペディ第1番【SATIE ERIK ALFREDI LE】
メール・メロディ A	Vivaldism	traveling【宇多田ヒカル】
メール・メロディ B	交響曲第 25 番ト短調 K.183 より第1楽章【MOZART WOLFGANG AMADEUS】	Long Train Runnin'【JOHNSTON CHARLES THOMAS】
メール・メロディ C	火星【HOLST GUSTAV】	
メール・女性ボイス	おもちゃの兵隊のマーチ【JESSEL LEON】	
メール・英語ボイス		

録音許諾番号：T-0620015

JASRAC

- 作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。

■ その他の音などの設定について

- メール着信音やイルミネーションなどを設定する☛P261
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、着信音をイヤホンからのみ鳴らすように設定する☛P390

着信やアラームを振動で知らせる　バイブレータ設定

電話やプッシュトークが着信したとき、メールやメッセージR/Fなどを受信したとき、目覚ましやスケジュールの設定日時になったときに振動でお知らせします。また、ｉアプリによるバイブレータの動作を許可／拒否できます。

- 目覚ましで、バイブレータを「端末設定に従う」に設定しているときに、本設定の目覚まし鳴動時の設定が有効になります。
- 本機能での設定内容は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、プッシュトーク着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定、およびｉアプリのバイブレータ設定にもそれぞれ反映されます。
- バイブレータを設定して机などの上に置いたままにすると、バイブレータが動作したときに振動で落下する恐れがありますので、ご注意ください。

お買い上げ時　電話着信時、テレビ電話着信時、プッシュトーク着信時、メール着信時、チャットメール着信時、メッセージR着信時、メッセージF着信時、目覚まし鳴動時、スケジュール鳴動時：OFF　ｉアプリ利用時：ON

例　電話着信時のバイブレータの動作を設定するとき

1 Menu 8 1 3 1

■ **メール・メッセージ着信時の動作を設定する：** Menu 8 1 3 2

■ **アラーム鳴動時の動作を設定する：** Menu 8 1 3 3

■ **ｉアプリ利用時の動作を設定する：** Menu 8 1 3 4 ▶操作3に進む

つづく

2 1～3

- メール・メッセージ着信時の動作を設定する：1～4
  ただし、チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信時を設定できません。
- アラーム鳴動時の動作を設定する：1～2

3 1～5のいずれかを押す

- ｉアプリ利用時の動作を設定する：1～2
- 「パターンA」を設定すると、約0.7秒振動→約0.7秒停止→約0.7秒振動→約1.5秒停止の繰り返しで振動します。
- 「パターンB」を設定すると、約1秒振動→約2秒停止の繰り返しで振動します。
- 「パターンC」を設定すると、約0.7秒振動→約0.7秒停止の繰り返しで振動します。
- 「メロディ連動」を設定すると、着信音や目覚まし音、スケジュールのアラーム音に設定したメロディに合わせて振動します。ただし、メロディによっては振動しないことがあります。また、主旋律に連動しないことがあります。
- 「OFF」を設定すると、振動しません。
- 選ばれているパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」と「OFF」の場合は振動しません。
- 電話着信時のバイブレータを設定したときは、待受画面に▯（電話着信音量を「silent」（消音）に設定しているときは▯）が表示されます。

■ バイブレータの優先順位

複数の機能でバイブレータを設定している場合は、次の優先順位で振動します。

① FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ バイブレータ設定

- プッシュトーク着信時の振動は、バイブレータ設定に従います。

おしらせ

- ●通話中に着信があった場合は振動しません。
- ●「OFF」に設定していても、一部のFlash画像が動作しているときに振動する場合があります。

充電時の確認音を設定する　充電確認音

充電の開始／完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時　ON

1 **Menu 8 1 1 5 ▶ 1 ～ 2 のいずれかを押す**

おしらせ

●「ON」に設定しても、次の場合は、充電確認音は鳴りません。
- マナーモード中
- 公共モード（ドライブモード）中
- 音声電話通話中
- テレビ電話通話中
- プッシュトーク通信中
- 64Kデータ通信中
- ｉモード通信中
- パケット通信中

通話が切れそうなときにアラームで知らせる　通話品質アラーム音

通話状態が悪く、途中で音声通話が途切れてしまう恐れのある場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。
- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- 本機能は音声電話にのみ有効です。

お買い上げ時　アラーム高音

1 **Menu 8 1 1 6 3**

2 **1 ～ 2 のいずれかを押す**
- 鳴らさない：3

電話から鳴る音を消す　マナーモード

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。

お買い上げ時　未設定

1 **Menu または # を１秒以上押す**

マナーモード選択で指定したマナーモードが設定され、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

■ **解除する：Menu（１秒以上）または # （１秒以上）**

つづく

通常マナーモードを設定すると

着信音、キー確認音、アラームなどFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

● 電話やプッシュトーク着信時、メール受信時などのバイブレータの動作は、バイブレータ設定には関わらず「パターンA」になります。
● お知らせタイマーで指定した時間が経過したときのバイブレータの動作は、「パターンA」になります。
● 目覚ましで設定した時刻になったときのバイブレータの動作は、目覚ましの設定に従います。
● スケジュールで設定した日時になったときのバイブレータの動作は、「パターンA」になります。
● 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。
● メロディの再生時には、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると再生されます。
● 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると再生されます。映像のある動画／ｉモーションの場合、「いいえ」を選択すると映像のみ再生されます。

おしらせ

● マナーモード中でも、シャッター音は鳴ります（キャラ電撮影を除く）。
● 通常マナーモード中は、通話料金上限通知を「ON」に設定し、アラームで通知する設定にしていても、メッセージのみ表示されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従ってアラームが鳴ります。

マナーモードを変更する　マナーモード選択

マナーモードの設定を変更できます（オリジナルマナーモード設定）。通常マナーモードとオリジナルマナーモードのどちらを設定するかを選択できます。

お買い上げ時　通常マナーモード

1 Menu 8 1 4

2 2

・1 を押すと通常マナーモードで動作するように設定され、1つ前の画面に戻ります。

3 **各項目を選択して設定**

バイブレータ　：電話やプッシュトーク着信時、メール受信時などにバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
・「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定（☛P137）に従って振動で知らせます。ただし、バイブレータ設定で「OFF」に設定しているときは「パターンA」で振動します。

キー確認音　：キー確認音を設定します。

スピードセレクター音：
スピードセレクターを回転させたときに鳴る音を設定します。

電話着信音量　：電話着信音量を設定します。

メール着信音量：メール着信音量を設定します。

トルカ取得音量：読み取り装置（リーダー／ライター）からトルカを取得したときに鳴る音の音量を設定します。

電池アラーム音：電池が切れそうなときにアラームを鳴らすかどうかを設定します。

目覚まし音　：目覚まし音やお知らせタイマーのアラームを鳴らすかどうかを設定します。
・「ON」に設定すると、目覚まし音は、目覚ましの設定に従って鳴ります。お知らせタイマーのアラームは、本機能の電話着信音量で設定した音量で「アラーム・メロディ」が鳴ります。

スケジュール音：スケジュールのアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。
・「ON」に設定すると、スケジュールの設定とスケジュール音量に従って鳴ります。

ｉアプリ音　：ｉアプリの音を鳴らすかどうかを設定します。
・「ON」に設定するとｉアプリ音量に従って鳴ります。

マイク感度UP：マイクの感度を上げるかどうかを設定します。

4 [📖]を押す

オリジナルマナーモードの内容が設定されます。

待受画面の表示を変更する　待受画面設定

待受画面の表示をお好みに応じて変更できます。

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと、待受画面設定が無効になります（FOMAカード動作制限機能）。
- 時計の表示を設定するには☛P157
- 電池マークを設定するには☛P153
- ｉチャネルのテロップ表示を設定するには☛P294

画像・動画／ｉモーション・キャラ電を待受画面に設定する

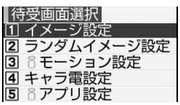
ｉモードのサイトやメールから保存した画像、動画／ｉモーション、キャラ電や、FOMA端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、アニメーション、パラパラマンガなども設定できます。

- お買い上げ時に登録されている画像、ｉモーション、キャラ電☛P423、P426
- テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定しているとき、待受画面に動画／ｉモーションまたはキャラ電を設定すると、テロップ表示は解除されます。その後、動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面以外を設定すると、テロップ表示設定のテロップ表示は「表示する」に戻ります。

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

1 [Menu][8][2][1][1]

2 [1]、[3]、[4]のいずれか



3 フォルダを選択▶画像、動画／ｉモーション、キャラ電を選択

- 画像を確認するには、画像一覧で画像を選び[📖]を押します。画像表示画面で次の操作ができます。
  - 前後の画像の表示：[◎]
  - 画像一覧に戻る：[ch/クリア]
  - 画像の選択：[●]

・キャラ電を確認するには、キャラ電一覧でキャラ電を選び (□) を押します。キャラ電表示画面で次の操作ができます。
　・全体アクションとパーツアクションの切り替え：(i)
　・アクション一覧を表示：(✉)　　・拡大表示と等倍表示の切り替え：(◎)
　・キャラ電一覧に戻る：(☻)／(ch/クリア)
・選択時に動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P133
・miniSDメモリーカードに保存されている画像や動画／ｉモーションは選択できません。FOMA端末に移動またはコピーしてから選択してください。

■ **キャラ電のアクションを設定する：**
① キャラ電一覧でキャラ電を選ぶ▶(Menu)
② 通常欄を選択▶1～4
・不在着信、未読メールがあるときのアクションも同様に設定します。
・「全体アクション」または「パーツアクション」を選択した場合は、アクション一覧からアクションを選択します。
・「直接入力」を選択した場合は、アクションに対応している数値を入力してください。☛P426
・「OFF」に設定すると、あらかじめ設定されている動作になり、アクションは設定できません。
③ アクション間隔欄を選択▶1～6
・「OFF」に設定すると、1回のみ選択したアクションが動作します。
④ (□)

4 「はい」を選択
・選択した画像のサイズによっては、確認画面で次の項目が選択できます。画像サイズによって、表示される項目が異なります。

項　目	説　明
はい（等倍表示）	画像サイズのまま表示します。
はい（拡大表示）	画面サイズに合わせて拡大して表示します。
はい（縦ピッタリ）※1	画像の縦のサイズを画面サイズに合わせて拡大／縮小して表示します。
はい（横ピッタリ）※2	画像の横のサイズを画面サイズに合わせて拡大／縮小して表示します。

※1：画像サイズによっては、画像の左右が切れることがあります。
※2：画像サイズによっては、画像の上下が切れることがあります。
・選択した動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、確認画面で等倍表示するか拡大表示するかを選択できます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示します。
・ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーション、キャラ電を再生するには
● 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
　・再生：(ch/クリア)／FOMA端末を開く　　・停止：(ch/クリア)／FOMA端末を閉じる／(☎)
　・音量調整：(◎)
● アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の場合は次の操作ができます。
　・再生：FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる
　・一時停止／再生：(☎)　　・停止：FOMA端末を閉じる
● キャラ電の場合は次の操作ができます。
　・再生（アクション間隔を設定しているときは、設定した間隔で繰り返し再生）：(ch/クリア)／FOMA端末を開く
　・停止：(ch/クリア)／FOMA端末を閉じる／(☎)
● プロテクトキーロック中も、FOMA端末を開くと再生できます。再生中にFOMA端末を閉じるかエニーキーを押すとディスプレイの表示が消えます。

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

おしらせ

- オールロック中やPIMロック中（PIMロックの対象となっているデータを待受画面に設定している場合）、おまかせロック中は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再度表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定したデータが表示されます。
- 画像によっては設定できない場合があります。
- 縦ピッタリ表示、横ピッタリ表示が設定できるのは、JPEG形式の場合、横縦（または縦横）のサイズが8×8～640×480、および960×1280、1200×1600、1728×2304のいずれかの画像のみです。ただし、ｉアプリ待受画面設定中は、1200×1600、1728×2304の画像は設定できません。GIF形式の場合、横縦（または縦横）のサイズが8×8～640×480の画像のみです。
- 再生回数や再生期限などの制限が設定されている動画／ｉモーションや、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は、待受画面に設定できません。また、動画／ｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
- 待受画面を表示すると、Flash画像やアニメーションは、一定時間再生後に停止します。ただし、Flash画像のメロディは再生されません。
- テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定している場合、待受画面に設定したアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の再生は、約5秒後に停止し、ｉチャネルのテロップが表示されます。ただし、☎で再生した場合は、再生完了後にｉチャネルのテロップが表示されます。
- アニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れる場合があります。
- テロップ中にリンクのある動画／ｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面からPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能は利用できません。
- キャラ電の複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位に従ってアクションします。
  ①不在着信、未読メール
  ②通常
  - 不在着信と未読メールの両方が設定されている場合、不在着信と未読メールの両方が存在するときは、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。

画像をランダムに表示する　ランダムイメージ設定

画像を一定の時間ごとやFOMA端末を開くタイミング、スピードセレクターを回転させたタイミングで、待受画面にランダムに表示できます。

1 Menu 8 2 1 1 2

2 **各項目を選択して設定**

フォルダ：画像が保存されているフォルダをマイピクチャ内から選択します。
- 表示できる画像がないフォルダは選択できません。

切替設定：画像を切り替えるタイミングを設定します。
- 「15秒毎」に設定すると、待受画面に戻ってから15秒毎に切り替わります。
- 「1分毎」「15分毎」「1時間毎」のいずれかに設定すると、時計に従って切り替わります（たとえば、「1分毎」に設定すると、毎分0秒に切り替わります）。
- 「日替り」に設定すると、毎日0時に切り替わります。
- 「スライドオープン」に設定すると、FOMA端末を開いたときに切り替わります。
- 「スピードセレクター」に設定すると、スピードセレクターを回転させたときに切り替わります。

3 ⓜ▶「はい」を選択

・スピードセレクター設定のスピードセレクターを「ON」に設定し、待受起動機能を「OFF」以外に設定しているとき、切替設定を「スピードセレクター」に設定してⓜを押すと、スピードセレクター設定の待受起動機能を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
・ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

● 次の画像は表示できません。
　・パラパラマンガ　・アニメーション　・Flash画像
● スピードセレクター設定のスピードセレクターを「OFF」に設定している場合は、切替設定を「スピードセレクター」に設定できません。
● 画像が切り替わるタイミングに電源が入っていない場合は切り替わりません。
● 日付・時刻が設定されていない場合、切替設定で「スライドオープン」や「スピードセレクター」以外に設定しているときは、切り替わりません。
● 現在、待受画面に表示されている静止画を移動したり、パラパラマンガを作成しても、次の画像に切り替わるまでその画像が表示されています。それ以降は表示されません。
● 選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動、削除したり、パラパラマンガを作成したりして表示できる静止画がなくなると、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージ設定は解除されます（移動やパラパラマンガを作成した場合は、次の画像に切り替わるタイミングまで画像が表示されています）。
● 切替設定を「スライドオープン」に設定していても、FOMA 端末の開閉をすばやく繰り返すと、画像が切り替わらない場合があります。また、「スピードセレクター」に設定していても、スピードセレクターを速く回転させると、画像が切り替わらない場合があります。

ｉアプリ待受画面を設定する

・ｉアプリ待受画面は、待受画面選択の他の設定やカスタム待受画面と同時に設定できます。同時に設定した場合は、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。
・ｉアプリ待受画面に、複数のｉアプリは設定できません。
・お買い上げ時に登録されている次のｉアプリはｉアプリ待受画面に設定できます。
　・珍さん計画DXおこづかい帖プラス　・ｉアニメっちゃメーラー superDX500
・テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定しているとき、待受画面にｉアプリを設定すると、テロップ表示は解除されます。その後、動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面以外を設定すると、テロップ表示設定のテロップ表示は「表示する」に戻ります。

1 Menu 8 2 1 1 5

ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリが一覧表示されます。

2 ｉアプリを選択▶「はい」を選択

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面に[icon]または[icon]が表示されます。

おしらせ

● PIMロック中、プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、ｉアプリ待受画面は表示されず、その前に設定していた待受画面が表示されます。ただし、PIMロック中の場合、PIMロックの対象となっているデータを設定していたときは、お買い上げ時の待受画面が表示されます。オールロック中やおまかせロック中は、お買い上げ時の待受画面が表示されます。
● ｉアプリ待受画面を操作するには☛P286

待受画面の表示をカスタム設定する　カレンダー／待受カスタマイズ

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メールや不在着信などの新着情報、メモ、スケジュール、カレンダー、キーガイダンスを表示できます（カスタム待受画面）。エリアの分けかたは、次の7種類から選択できます。



パターン1　パターン2　パターン3　パターン4　パターン5　パターン6　パターン7

お買い上げ時　パターン4（エリア1設定、エリア2設定は未登録　エリア3設定：キーガイダンス）

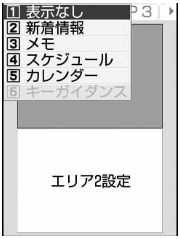
1 Menu 8 2 1 4

2 1

- 2 を押すと解除され、1つ前の画面に戻ります。

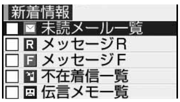
3 **でパターンを切り替え**

4 **エリアを選択▶1～6**



- 複数のエリアがある場合は、操作4を繰り返します。
- カレンダーは、画面の半分より小さいエリア（パターン3のエリア1設定など）には設定できません。
- キーガイダンスは、画面の4分の1より大きいエリア（パターン2のエリア1設定など）には設定できません。

■ **新着情報を設定する：エリアを選択▶2▶情報を選択▶**



■ **メモを設定する：**

① **エリアを選択▶3**

② **メモを選択**

- メモを選び を押すとメモの内容が表示されます。ch/クリア を押すとメモ一覧に戻ります。メモ帳参照画面で を押しても設定されます。

■ **全エリアの表示項目をリセットする：Menu▶「はい」を選択**

5 **▶「はい」を選択**

- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

● トータルコーディネイト設定を変更すると、カスタム待受画面が表示されなくなりますが、設定は保存されています。操作1→操作2→操作5の順に操作すると以前に設定していたカスタム待受画面が表示されます。

カスタム待受画面の情報を確認する

1



一番上のエリアが赤い枠で囲まれます。

- でカーソル枠を移動できます。
- カスタム待受画面の情報が表示されていないときは、待受画面でを繰り返し押して表示させてからを押します。

2 エリアを選択

おしらせ

● 画像とカスタム待受画面は同時に設定できますが、アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を設定している場合、再生が停止／一時停止した後にを押すとカスタム待受画面の情報が表示されます。

各情報の表示内容について

カスタム待受画面と各種情報は次のように表示されます。

- 表示される情報の件数・行数はエリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ 新着情報



新着情報で設定している項目が、新しい順に一覧表示されます。

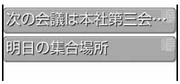
未読メール一覧：受信日時と題名の先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

R メッセージR／F メッセージF：
受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、メッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。

不在着信一覧：着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、着信履歴一覧が表示されます。

伝言メモ一覧：録音／録画日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

■ メモ



メモ帳に登録されている内容の先頭部分が表示されます。エリアを選択すると、メモの詳細が表示されます。

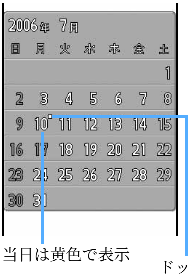
■ スケジュール



開始日時が経過していないスケジュールが日時順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールの詳細が表示されます。

- アイコン、日時、内容の先頭部分が表示されます。
- 長期間スケジュールの場合は、登録されているアイコンの代わりにが表示されます。アイコンの後ろには開始の日付または時刻（当日で開始時刻前の場合）が表示されます。長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。
- 終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始時刻の代わりに「終日」と表示されます。

■ カレンダー



当月のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

- 休日と祝日が赤、土曜日は青で表示されます。休日と祝日の設定は、スケジュール帳の休日設定や祝日設定に従います。ただし、休日設定で休日に設定した日は、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、PIMロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- スケジュールが設定されているときは日付の右上にドットが表示されます。ただし、すべてのスケジュールにシークレット属性を設定している場合は、シークレットモードを設定していないと表示されません。また、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、PIMロック中も表示されません。

■ キーガイダンス



待受画面で、、、に割り当てられている機能のマークが表示されます。
エリアを選択すると、でキーガイダンスを非表示にできる旨のメッセージが表示されます。

電話やメールの発着信時に表示する画像を変更する 発着信画面表示設定

電話の発信時やメールの送受信時、ｉモード問合せ時に表示される画像を設定します。

Menu 861 / Menu 8711

電話発信時の画像を変更する 電話発信設定／テレビ電話発信設定

音声電話やテレビ電話の発信時に表示される画像を設定します。

お買い上げ時 標準画像

例 音声電話発信時の画像を設定するとき

1 Menu 8 2 3 2 1

■ **テレビ電話発信時の画像を設定する：Menu 8 2 3 2 3**

2 各項目を選択して設定



- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像が設定されます。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。

3 （□）を押す

■ **発信画像の優先順位について**

複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

① FOMA端末電話帳の設定※1

② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定

③ 発着信画面表示設定（電話発信設定／テレビ電話発信設定）

※1：人物画像表示設定が「ON」に設定されているときに有効です。

おしらせ

● パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

電話着信時の画像を変更する

電話着信設定／テレビ電話着信設定

音声電話やテレビ電話の着信時に表示される画像を設定します。

・本機能での設定内容は、発着信・通話機能の電話着信設定、テレビ電話のテレビ電話着信設定にもそれぞれ反映されます。

・電話番号が通知されない音声電話着信時の画像を設定するには☛P172

お買い上げ時　標準画像

例 音声電話着信時の画像を設定するとき

1 Menu 8 2 3 2 2

■ **テレビ電話着信時の画像を設定する：** Menu 8 2 3 2 4

2 各項目を選択して設定



・「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像が設定されます。

・「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。

・「ｉモーション」を選択したときは、フォルダ一覧から動画／ｉモーションを選択します。フォルダ一覧が表示されないときは、「画像選択」を選択します。

・着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定していると「着信音連動」になります。

・選択時に動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P133

3 （□）を押す

■ **着信画像の優先順位について**

複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

① マルチナンバーの着信設定

② FOMA端末電話帳の設定※1／FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定※2

③ FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定

④ 発着信画面表示設定（電話着信設定／テレビ電話着信設定）／音の設定※2

※1：人物画像表示設定が「ON」に設定されているときに有効です。

※2：着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定している場合に有効です。

・相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像は発着信画面表示設定（テレビ電話着信設定）／音の設定に従います。

・発番号なし動作設定で設定した音や画像が削除されると、設定内容が変更されます。この場合、実際に鳴る音や表示される画像が設定画面に表示される音や画像と異なることがあります。

おしらせ

- パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、イメージ表示を映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音は「Vivaldism」（音声電話）または「電話・メロディ A」（テレビ電話）になります。メロディは変更できます。
- 動画／ｉモーションによってはイメージに設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。

発着信時に電話帳に設定した画像を表示する　人物画像表示設定

電話帳に登録されている相手との音声電話やテレビ電話の発着信時に、電話帳に設定されている人物画像を表示できます。

お買い上げ時　ON

1 Menu 8 2 3 2 5

2 **1 を押す**

- 表示しない：2

メール送受信時や問合せ時の画像を変更する　メール送信画像設定／メール受信画像設定／問合せ画像設定

- 問合せ画像にはFlash画像を設定できません。

お買い上げ時　標準画像

例　ｉモードメール、SMS送信時の画像を設定するとき

1 Menu 8 2 3 2 7

■ **ｉモードメール、SMS、メッセージR/F受信時の画像を設定する：** Menu 8 2 3 2 8

■ **ｉモード問合せ、SMS問合せ時の画像を設定する：** Menu 8 2 3 2 9

2 **画像を選択して登録**

- 操作方法は「電話発信時の画像を変更する」の操作2以降と同じです。☛P147

着信時に相手の電話番号や名前を表示する　着信表示設定

音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、電話番号や名前を表示するかどうかや、名前の文字サイズを設定します。
また、ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したとき、タスクバーに受信結果をスクロール表示するかどうかを設定します。

- 名前の表示については☛P111

お買い上げ時　電話着信時電話番号：表示する　電話着信時名前表示：通常表示　メール／メッセージ着信時表示：表示する

1 Menu 8 2 3 3

2 各項目を選択して設定

電話着信時電話番号：電話がかかってきたときに電話番号を表示するかどうかを設定します。

電話着信時名前表示：電話がかかってきたときに名前を通常サイズで表示するか、小さく表示するか、表示しないかを設定します。

メール／メッセージ着信時表示：

ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したとき、タスクバーに受信結果を表示するかどうかを設定します。

・「表示する」に設定すると、タスクバーに受信結果がスクロール表示されます。

3 (ロ)を押す

ディスプレイとキーの照明を設定する　照明設定

点灯時間を設定する

ディスプレイは、点灯するとより明るくなります。

・本機能での設定内容は、ｉモードの照明設定、静止画詳細設定、動画／録音詳細設定、ｉモーションの動作設定、ｉアプリの照明設定にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　通常時：10秒　ACアダプタ接続時、ｉモード中：端末設定に従う
カメラ撮影中、ビデオカメラ撮影中、ｉモーション：常灯　ｉアプリ：端末設定に従う

例 通常時の点灯時間を設定するとき

1 Menu 8 2 4 1

2 1

■ 別売りのACアダプタ（卓上ホルダ）やDCアダプタに接続中の点灯時間を設定する：2

■ ｉモード中の点灯時間を設定する：3

■ カメラ撮影中の点灯時間を設定する：4

■ ビデオカメラ撮影中の点灯時間を設定する：5

■ 動画／ｉモーションの一覧表示中や再生中の点灯時間を設定する：6

■ ｉアプリ動作中の点灯時間を設定する：7

3 1～7のいずれかを押す

・通常時以外を設定するときは、1～2を押します。「端末設定に従う」に設定すると、通常時で設定した点灯時間、照明設定範囲や明るさ調整の設定に従って点灯します。

・「常時」／「常灯」に設定すると、明るさ調整で設定した明るさで常にディスプレイが点灯します。ただし、ACアダプタ接続時は「高輝度」で点灯します。

・ｉアプリを「ソフトに従う」に設定するとｉアプリに従って点灯します。

範囲を設定する

ディスプレイとキー部分を点灯させるか、ディスプレイのみを点灯させるかを設定します。
・スピードセレクターは点灯しません。

お買い上げ時 ディスプレイ＋キー

1 Menu 8 2 4 2 ▶ 1 ～ 2 のいずれかを押す

明るさを調整する

ディスプレイが点灯するときの明るさを設定します。

お買い上げ時 標準

1 Menu 8 2 4 3 ▶ 1 ～ 3 のいずれかを押す

おしらせ

● 点灯時間設定の通常時を「常時」以外に設定している場合、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイの表示が消え、省電力の状態になります。キー操作※1をしたり（ただし、スピードセレクターの回転操作を除く）、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び表示されます。
  ・テレビ電話通話中、カメラ／ビデオカメラの撮影画面表示中や撮影中、点灯時間設定のACアダプタ接続時を「常灯」に設定して充電中、点灯時間設定を「常灯」に設定した機能の実行中などは、ディスプレイの表示は消えません。
  ※1：通話中以外の場合は、ダイヤルキーを押しても数字などは入力されません。

● 点灯時間設定の通常時を「常時」以外に設定している場合、プロテクトキーロックを設定すると、ディスプレイの表示は消えます。キーを押してもディスプレイやキー部分は点灯しません。ただし、☎を押すかFOMA端末を開いたり、電話の着信などがあると、ディスプレイが点灯します。
  ・テレビ電話通話中、カメラ／ビデオカメラの撮影画面表示中や撮影中、点灯時間設定のACアダプタ接続時を「常灯」に設定して充電中、点灯時間設定を「常灯」に設定した機能の実行中などは、ディスプレイの表示は消えません。

画面のカラー配色を変更する　カラーテーマ設定

画面の背景や文字など画面の各部の色が変わります。

お買い上げ時 トータルコーディネイト設定に従う

1 Menu 8 2 3 1

2 1 ～ 9、0、＊、＃ のいずれかを押す
・24種類から選択できます。
・◎でページを切り替えられます。
・選ばれている配色で画面が表示されます。
・色名はイメージです。

メニューの表示方法やデザインを設定する メニュー設定

メニューの表示形式やアイコンのデザインの変更などができます。

・お買い上げ時に登録されているノーマルメニューのタイルアイコンとアニメーションのデザイン
☛P423

お買い上げ時 ノーマルはトータルコーディネイト設定に従う　カスタム：タイルアイコン
アニメーションデザインはトータルコーディネイト設定に従う　アイコン拡大表示：OFF
起動メニュー：ノーマル／シンプル　カスタムメニューショートカット：カスタム

1 Menu 8

・起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面でMenuを押し、Menu 8を押します。

2 各項目を選択して設定

ノーマル　　　：ノーマルメニューの表示形式を設定します。
カスタム　　　：カスタムメニューの表示形式を設定します。
タイルアイコンデザイン：
ノーマルメニューのタイルアイコンのデザインを設定します。
・ノーマルを「タイルアイコン」に設定した場合のみ設定できます。
・設定できるのは、メニューの1階層目のデザインです。
・「カスタム１」または「カスタム２」は、メニューアイコンや背景画像を変更してオリジナルのメニューのデザインを作成するときに設定します。
アニメーションデザイン：
ノーマルメニューのアニメーションのデザインを設定します。
・ノーマルを「アニメーション」に設定した場合のみ設定できます。
アイコン拡大表示：タイルアイコンや3Dアイコンを選択時に、拡大表示するかどうかを設定します。
起動メニュー　：待受画面でMenuを押したときにノーマル／シンプルメニューとカスタムメニューのどちらを表示させるかを設定します。
カスタムメニューショートカット：
カスタムメニューのショートカットの操作方法を設定します。
・「ノーマル／シンプル」に設定すると、ノーマル／シンプルメニューと同じ項目番号でショートカット操作ができます。
・「カスタム」に設定すると、カスタムメニューに登録された各機能の位置に対応した項目番号でショートカット操作ができます。

3 [m]を押す

オリジナルのメニューのデザインを作成する

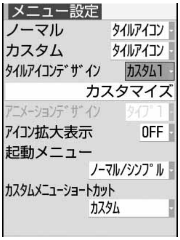
ノーマルメニューのアイコンや背景画像を変更して、メニュー画面のデザインを2種類作成できます。
・アイコンは96×96、背景画像は240×240より大きい画像は縮小して表示されます。

1 Menu 8

・起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面でMenuを押し、Menu 8を押します。

2 ノーマル欄を選択▶2

3 タイルアイコンデザイン欄を選択▶[6]〜[7]▶「カスタマイズ」を選択



4 機能を選択▶フォルダを選択▶画像を選択

■ メニューアイコンを解除する：アイコンを選ぶ▶(Menu)[1]▶「はい」を選択
- 全件解除する：(Menu)[2]▶「はい」を選択

5 (✉)▶フォルダを選択▶画像を選択

■ 背景を解除する：(Menu)[4]▶「はい」を選択

6 (📖)(📖)を押す

おしらせ

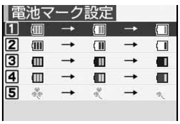
● パラパラマンガやFlash画像、アイテム画像は設定できません。また、アニメーションを設定すると最初のコマが表示されます。
● PIMロック中は、タイルアイコンデザインの「カスタム1」「カスタム2」の設定内容を変更できません。

電池残量のマークを変更する　電池マーク設定

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

1 (Menu)[8][2][1][3]

2 [1]〜[5]のいずれかを押す



着信時などの点灯色と点灯パターンを設定する　イルミネーション設定

通話中や着信時、FOMA端末の開閉時、スピードセレクターを回転させたときなどの決定キーの照明の点灯パターンと点灯色を設定します。

- 目覚ましで、イルミネーションパターンやイルミネーションカラーを「端末設定に従う」に設定しているときに、本機能の目覚ましの設定が有効になります。
- 本機能での設定内容は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定、メロディの動作設定、プッシュトーク着信設定、トルカ取得設定にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　テレビ電話着信：点滅／ライム　音声着信：点滅／スカイ　メール着信：ゆっくり点滅／アクア
メッセージR着信、メッセージF着信：ゆっくり点滅／レモン
チャットメール着信：ゆっくり点滅／ラベンダー　プッシュトーク着信：点滅／ピーチ
トルカ取得：ON／スカイ　通話中：OFF　ICカード：ON／スカイ
スピードセレクター：ON／緑-青-赤 ミックス
目覚まし、スケジュール：点滅／コーラル　メロディ再生：メロディ連動
スライドオープン、スライドクローズ：ゆっくり点滅／ターコイズ

1 Menu 8 2 5

2 1～4

3 イルミネーションを設定



■ **テレビ電話着信、音声着信、メール着信、メッセージR着信、メッセージF着信、チャットメール着信、プッシュトーク着信、通話中、目覚まし、スケジュール、メロディ再生、スライドオープン、スライドクローズを設定する：**

① **イルミネーションパターン欄を選択▶1～5**
- 「通話中」の場合は、「メロディ連動」は設定できません。
- 選ばれているパターンで決定キーの照明が点灯／点滅します。「メロディ連動」の場合は点滅します。ただし、「OFF」の場合は点灯／点滅しません。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定するとイルミネーションカラーは設定できません。
- 「メロディ連動」に設定すると「レインボー」で点灯／点滅します。ただし、音の設定を「OFF」に設定しているときや動画／ｉモーションを再生する設定にしているときは、イルミネーションカラー欄に表示されているイルミネーションカラーで点灯／点滅します。
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信を設定できません。

② **イルミネーションカラー欄を選択▶1～9、0、*、#のいずれか**
- 選ばれている色で決定キーの照明が点灯／点滅します。
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信を設定できません。

■ **トルカ取得、ICカードを設定する：**

① **イルミネーション欄を選択▶1～2**
- 「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

② イルミネーションカラー欄を選択▶[1]～[9]、[0]、[*]、[#]のいずれか
・選ばれている色で決定キーの照明が点滅します。

■ スピードセレクターを設定する：
① イルミネーション欄を選択▶[1]～[2]
・「OFF」に設定すると、回転イルミネーションパターンは設定できません。
② 回転イルミネーションパターン欄を選択▶[1]～[9]、[0]、[*]、[#]のいずれか
・[◎]でページを切り替えられます。
・選ばれている色で決定キーの照明が点灯／点滅します。

4 [📖]を押す

■ **イルミネーションの優先順位**
複数の機能でイルミネーションを設定している場合、次の優先順位でキーの照明が点灯／点滅します。
① FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ イルミネーション設定
・プッシュトークのイルミネーションは、イルミネーション設定に従います。

おしらせ
● 色名はイメージです。
● メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定すると、決定キーの照明が点灯／点滅しないことがあります。
● ICカードを「ON」に設定していても、おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、決定キーの照明が点灯しない場合があります。
● 電源が入っていない場合は、ICカードを「ON」に設定していても、決定キーの照明は点灯しません。
● ICカードを「ON」に設定した場合、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたときに決定キーの照明が点滅します。おサイフケータイ対応ｉアプリが登録されていない読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたときも、点滅します。
● スピードセレクターを「ON」に設定しても、決定キーの照明が点灯／点滅中はスピードセレクターの回転操作による点灯／点滅はしません（通話中を除く）。

新着情報があるときに決定キーの照明を点滅させる　不在着信お知らせ

不在着信や未読メールなどの新着情報があるときに決定キーの照明が点滅します。

お買い上げ時　OFF

1 [Menu][8][2][6]

2 [1]を押す
・解除する：[2]

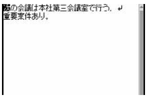
おしらせ
●「ON」に設定していても、次の場合、決定キーの照明は点滅しません。
・着信中　・通話中　・公共モード（ドライブモード）中
・オールロック中　・カメラ、ビデオカメラ、サウンドレコーダー起動中
・決定キーの照明が点灯中（FOMA端末を開閉したときやスピードセレクターを回転させたとき、充電中に決定キーの照明が点灯している場合を除く）

●「ON」に設定した場合、最初に新着情報があったときから約6時間経過しても新着情報がないときや、待受画面の 1 1（数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくても決定キーの照明の点滅は停止します。
●「ON」に設定すると、次の各設定のイルミネーションカラーに従って、決定キーの照明が約6秒間隔で点滅します。電話帳の電話帳別着信設定やグループ別発着信設定には従いません。新着情報を確認すると点滅は停止します。
- 不在着信（音声電話／テレビ電話／プッシュトーク／伝言メモ）：イルミネーション設定の音声着信
- 未読情報（メール／チャットメール／SMS）：イルミネーション設定のメール着信
- 未読情報（メッセージR／メッセージF）：イルミネーション設定のメッセージR着信／メッセージF着信

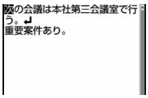
●「ON」に設定しているとき、新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従って決定キーの照明が点滅します。ただし、未読トルカがある場合でも、決定キーの照明は点滅しません。
①不在着信（音声電話／テレビ電話／プッシュトーク／伝言メモ）
②未読情報（メール／チャットメール／SMS）
③未読情報（メッセージR）
④未読情報（メッセージF）

文字の大きさを変更する　文字サイズ設定

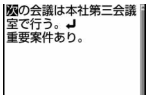
メモ帳など、文字入力の画面やメール詳細画面、サイト表示画面などの文字サイズ（5種類または3種類）を変更できます。



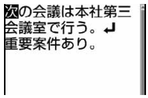
最小：12ドット



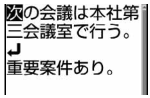
小：16ドット



中（標準）：20ドット



大：24ドット



最大：28ドット

お買い上げ時　すべて中（標準）

例　一括して設定するとき

1 Menu 8 2 7 1 1
- 一括の設定を変更すると、iモード、メール閲覧、メール編集／文字入力の設定も変更されます。

■ **サイトや画面メモの表示画面の文字サイズを設定する：** Menu 8 2 7 1 2

■ **メール詳細画面の文字サイズを設定する：** Menu 8 2 7 1 3

■ **メール本文入力画面、文字入力時の全画面入力画面（メモ帳など）の文字サイズを設定する：** Menu 8 2 7 1 4

2 **1～5のいずれかを押す**
- 選ばれている文字サイズの例が表示されます。
- iモードやメール閲覧の文字サイズを設定するときは、1～3を押します。

おしらせ

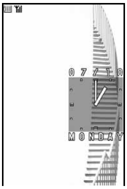
●インライン入力時の文字サイズは変更されません。
●一括の設定を「最大」または「最小」に変更すると、iモードやメール閲覧の設定はそれぞれ「大」「小」になります。
●メール詳細画面からも文字サイズを変更できます。設定内容は本設定のメール閲覧に反映されます。
●「メール編集／文字入力」の設定を変更すると、文字入力時に表示される予測変換候補やメール作成画面の文字サイズも変更されます。ただし、「最大」または「最小」に設定している場合、メール作成画面の文字サイズはそれぞれ「大」「小」で表示されます。

時計の表示を設定する

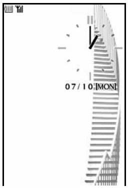
待受画面の時計表示の有無や、時計のデザイン、時刻の表示形式（24時間表示／12時間表示）、表示位置、曜日の表示言語を設定できます。

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

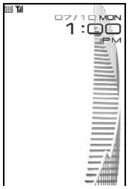
設定例



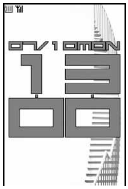
「アナログ 1」を中央部に表示



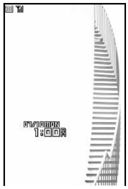
「アナログ 2」を上部に表示



「デジタル 1」を上部に、12時間で表示



「デジタル 2」を24時間で表示



「デジタル 3」を下部に、12時間で表示



「デジタル 4」を中央部に、24時間で表示

1 Menu 8 5 4

2 各項目を選択して設定

デザイン：時計を表示するかどうかを設定します。また、表示するときの時計のデザインを設定します。
- 「ON」に設定したときは、デザインを選択します。
- 「OFF」に設定すると、表示位置、曜日は設定できません。

形式：24時間表示と12時間表示のどちらで表示するかを設定します。
- アナログ時計の表示は変わりません。

表示位置：時計を表示する位置を設定します。
- デジタル2の表示位置は変更できません。

曜日：曜日を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。
- 「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

3 [m]を押す

おしらせ

- ●次の場合はデザインや表示位置の設定に関わらず、時計は、デジタル時計（デザイン固定）でディスプレイ上部に表示されます。
  - 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電が表示されている場合
  - ｉアプリ待受画面が表示されている場合
- ●オールロック中やおまかせロック中は、本機能の設定に関わらず上部に表示されます。ただし、「デジタル2」の表示位置は変わりません。
- ●待受画面以外の画面では、ディスプレイの右上に時刻が表示されます。時刻の表示形式（24 時間表示／ 12 時間表示）は、本機能の設定に従います。

画面を英語表示に切り替える　バイリンガル

お買い上げ時　Japanese

1 Menu 8 2 7 2

2 **2を押す**

・日本語表示に切り替える：1

おしらせ

●設定内容は、FOMAカードに保存されます。

FOMA端末の色に合わせてコーディネイトする　トータルコーディネイト設定

待受画面、電池マーク、時計表示、カラーテーマ、メニューアイコンは、FOMA端末の色によってトータルコーディネイトされています。他の色に対応したコーディネイトにも変更できます。

コーディネイトされる機能・項目		トータルコーディネイト設定				
		プラチナ	ストーン	サファイア	マゼンタ	ベーシック
待受画面選択		White steps	Black stage	Blue block	Yellow wall	Crystal
電池マーク設定		→→（グレー）	→→（黒）	→→（水色）	→→（黄色）	→→（黒）
時計表示設定	デザイン	ON／デジタル1	ON／デジタル2	ON／デジタル3	ON／デジタル4	ON／アナログ1
	形式	24時間表示	12時間表示	24時間表示	24時間表示	24時間表示
	表示位置	中	ー	下	上	下
	曜日	英語	英語	英語	英語	英語
カラーテーマ設定		ホワイトスモーク	ディープレッド	ロイヤルパープル	ブライトイエロー	プライマリーブラック
メニュー設定	ノーマル	アニメーション	アニメーション	アニメーション	アニメーション	アニメーション
	アニメーションデザイン	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4	タイプ5

お買い上げ時　FOMA端末の色に従う

1 Menu 8 2 8

2 **1～5のいずれかを押す**



あんしん設定

暗証番号について

暗証番号について 160
端末暗証番号を変更する .... 端末暗証番号変更 161
PINコードを設定する 162
PINロックを解除する 163

携帯電話の操作や機能を制限する

各種ロック機能について 164
他の人が使用できないようにする .... オールロック 164
おまかせロックを利用する .... おまかせロック 165
発信や着信ができないようにする .... セルフモード 166
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする .... PIMロック 166
ダイヤル発信を禁止する .... ダイヤル発信制限 167
他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする .... プライバシーモード設定 168
キーの誤動作を防止する .... プロテクトキーロック 170
シークレット属性を設定している情報を表示する .... シークレットモード 171

発着信や送受信を制限する

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する .... メモリ別着信拒否／許可 171
電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する .... 発番号なし動作設定 172
電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする .... 呼出動作開始時間設定 174
電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する .... メモリ登録外着信拒否 174

その他の「あんしん設定」について

電話帳お預かりサービスを利用する .... 電話帳お預かりサービス 175
その他の「あんしん設定」について 176

暗証番号について

FOMA 端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や FOMA 端末、FOMA カードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。☛P161

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」⇒「料金＆お申込・設定」⇒「オプション設定」⇒「ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード／PIN2コード

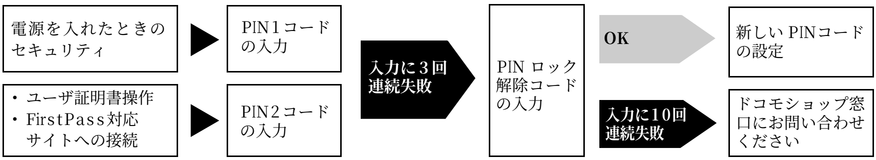
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。☛P162
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

・PIN1／PIN2コード、PIN1コードON／OFFの設定は、FOMAカードに記録されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

・PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。



おしらせ

● いたずら防止のため、端末暗証番号／PIN1コード・PIN2コード／iモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。
● 端末暗証番号の入力に5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

端末暗証番号を変更する　端末暗証番号変更

・端末暗証番号には、4～8桁の数字を入力します。
・入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

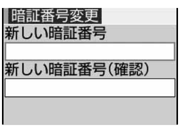
お買い上げ時　0000

1 Menu 8 3 5

2 **現在の端末暗証番号を入力**

・正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。◉を押して正しい端末暗証番号を入力してください。

3 **新しい暗証番号欄を選択▶新しい端末暗証番号を入力**



4 **新しい暗証番号（確認）欄を選択▶操作3と同じ端末暗証番号を入力**

5 **[本]を押す**

PINコードを設定する

- PIN1／PIN2コードには、4～8桁の数字を入力します。
- 入力したPIN1／PIN2コードは「*」で表示されます。

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する　PIN1コードON／OFF

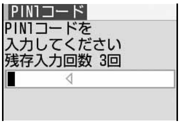
ご契約時　OFF

1 [Menu][8][3][4][3]

2 [1]

- PIN1コードを入力しないように設定する：[2]

3 **PIN1コードを入力**



- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。
- PIN1コードが正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。[●]を押して正しいPIN1コードを入力してください。3回連続して失敗するとPIN1コードがロックされます。[●]を押してPINロックを解除してください。
- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

PIN1コードON／OFFを「ON」に設定すると

FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。

- 正しいPIN1コードを入力しないと、電話やプッシュトークの発着信、各種通信機能の操作ができません。
- PIN1コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コードがロックされます。[●]を押してPINロックを解除してください。

PIN1／PIN2コードを変更する　PIN1／PIN2コード変更

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定する必要があります。

ご契約時　PIN1コード、PIN2コード：0000

例　PIN1コードを変更するとき

1 [Menu][8][3][4][1]

■ **PIN2コードを変更する：**[Menu][8][3][4][2]

2 端末暗証番号を入力▶現在のPIN1コードを入力



3 新しいPIN1コード欄を選択▶新しいPIN1コードを入力

4 新しいPIN1コード（確認）欄を選択▶操作3と同じPIN1コードを入力

5 を押す

・現在のPIN1／PIN2コードが正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。 を押して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。3回連続して失敗すると、PIN1／PIN2コードがロックされます。 を押してPINロックを解除してください。

おしらせ

● PIN2 コードの入力を3回連続失敗して FOMA 端末がロックされた場合でも、電話やプッシュトークの発着信、メールの送受信などは可能ですが、PIN1コードの入力を3回連続失敗してFOMA端末がロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

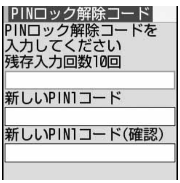
PINコード入力画面でPIN1／PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

・PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
・入力したPINロック解除コード、PIN1／PIN2コードは「*」で表示されます。

例 PIN1コードのロックを解除するとき

1 PINコードロックの確認画面で

2 8桁のPINロック解除コードを入力



3 新しいPIN1コード欄を選択▶新しいPIN1コードを入力

4 新しいPIN1コード（確認）欄を選択▶操作3と同じPIN1コードを入力

5 を押す

PINロックが解除され、新しいPIN1コードが設定されます。

各種ロック機能について

FOMA 端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- プロテクトキーロックとシークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- おまかせロックとプロテクトキーロック以外のロック機能を設定しても、緊急通報（110番、119番、118番）は可能です。

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P164
おまかせロック	FOMA端末を紛失した際に、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P165
セルフモード	電話やプッシュトークの発着信、iモードの利用やメールの送受信、赤外線通信などの通信機能を利用できないようにします。	P166
PIMロック	電話帳／プッシュトーク電話帳や自局番号、スケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにして、情報の表示や改ざんを防ぎます。	P166
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話やプッシュトークを発信できないようにします。	P167
プライバシーモード設定	電話帳・履歴やメール、マイピクチャ、iモーション、スケジュール、iアプリの表示ができなくなり、他人が不正に閲覧するのを防ぎます。	P168
プロテクトキーロック	キーの操作を無効にし、誤動作を防ぎます。	P170
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号を入力してシークレットモードを設定したときのみ表示されます。	P171
ICカードロック	ICカード機能を利用できないようにします。	P302

他の人が使用できないようにする　オールロック

各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正に FOMA 端末を使用するのを防ぎます。オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。

> **オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して [発信] を押します。このとき、緊急通報番号は端末暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。**

- オールロック中は、設定した待受画面が解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。解除すると、設定した待受画面が再度表示されます。
- オールロックを設定しても、ICカードロックは設定されません。ICカードロックとオールロックの両方を設定するには、先にICカードロックを設定してから、オールロックを設定してください。
ICカードロックを設定するには☛P302

お買い上げ時　未設定

1 [Menu] [8] [3] [1] [1]

2 **端末暗証番号を入力**

「オールロック中」と表示されます。

■ **解除する：待受画面で端末暗証番号を入力**

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

おしらせ

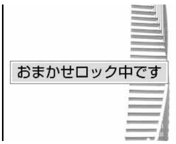
- ●オールロック中は、指定した日時になっても目覚ましやスケジュールアラームは動作しません。
- ●オールロック中は、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されません。
- ●オールロック中は、電話帳お預かりサービスをご利用の場合、FOMA 端末からの保存／更新／復元操作はできません。
- ●オールロックを解除するとき、端末暗証番号の入力を5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。
- ●オールロック中に電話やプッシュトークが着信したときは、着信が拒否されますが、着信履歴には不在着信として記録されます（相手には、電話の場合は話中音が流れ、プッシュトークの場合は「不参加」を通知します）。オールロックを解除すると待受画面に（数字は件数）が表示されます。
- ●オールロック中もｉモードメールやSMS、メッセージR/Fは受信できますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されず、着信音なども鳴動しません。オールロックを解除すると、受信アイコンが表示されます。
- ●オールロック中は、不在着信お知らせを「ON」に設定していて、新着情報があっても決定キーの照明は点滅しません。
- ●オールロック中もFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてトルカを取得できますが、表示はできません。オールロックを解除すると待受画面に（数字は件数）が表示されます。
- ●電源を入れる／切るの操作はできます。また、自動電源ON／OFF設定を設定している場合、自動電源ON／OFFが行われます。

おまかせロックを利用する　おまかせロック

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

おまかせロックの設定／解除
0120－524－360　受付時間　24時間
・パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

・おまかせロックのご利用方法の詳細については「ご利用ガイドブック」をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。



「おまかせロック中です」と表示され、おまかせロックが設定されます。

・おまかせロックは、お客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
・おまかせロック中は、音声着信／テレビ電話着信に対する応答と電源を入れる／切るの操作を除いて、すべてのキー操作ができなくなり、各機能（ICカード機能を含む）を使用することができなくなります。
・音声着信／テレビ電話着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
・おまかせロック中にプッシュトークが着信したときは、着信が拒否され、相手には「不参加」を通知します。着信履歴には不在着信として記録されます。
・おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保管されます。
・FOMAカードやminiSDメモリーカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

- ●他の機能が起動中の場合でも起動中の機能を終了してロックをかけます。編集中のデータがある場合は、データを保存して終了します。

- 他のロックがかかっていても、おまかせロックをかけることができます。
- 圏外やセルフモード中、電源が入っていない場合はロックがかかりません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

Menu 869

発信や着信ができないようにする　セルフモード

電話やプッシュトークの発着信、ｉモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。また、赤外線通信や赤外線リモコン、USB接続によるデータ送受信も利用できません。

お買い上げ時　OFF

1 **ch/クリア（1秒以上）▶「はい」を選択**

セルフモードが設定され、待受画面にselfが表示されます。

- ショートカット操作したとき：1▶「はい」を選択

■ **解除する：ch/クリア（1秒以上）▶「はい」を選択**

- ショートカット操作したとき：2▶「はい」を選択

おしらせ

- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。
- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中にプッシュトークが着信したときは、着信が拒否され、相手に「不参加」を通知します。
- セルフモード中に送られてきたｉモードメールやメッセージR/FはｉモードセンターでSMSはSMSセンターでお預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問合せ／SMS問合せをしてください。

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする　PIMロック

個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、本機能を設定できません。
- 本機能を「ON」に設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後の発信や着信は記録され、リダイヤルや着信履歴からの発信は可能です。

お買い上げ時　OFF

1 Menu 8 3 1 2

2 **端末暗証番号を入力▶1を押す**

PIMロックが設定され、待受画面に が表示されます。

- 解除する：端末暗証番号を入力▶2

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

PIMロックを設定すると

- 次の操作（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。
  - メール／チャットメール／SMS／メッセージR/F※1
  - iモード
  - iモード問合せ
  - フルブラウザ
  - iアプリ
  - 電話帳／プッシュトーク電話帳
  - 伝言メモ／音声メモ
  - マイピクチャ
  - iモーション
  - メロディ
  - キャラ電
  - マイドキュメント
  - カメラ
  - ビデオカメラ
  - サウンドレコーダー
  - バーコードリーダー
  - ミュージックプレイヤー
  - miniSDカード
  - ICカード一覧
  - スケジュール帳
  - 通話料金上限通知
  - 各種設定リセット
  - データ一括削除
  - メモ帳
  - イヤホンスイッチ設定
  - 目覚まし
  - ソフトウェア更新
  - 自局番号
  - スキャン機能
  - トルカ一覧
  - iチャネル
  - 赤外線によるデータ送受信
  - 着もじ
  - 電話着信音
  - メール・メッセージ着信音
  - アラーム音
  - スライド音
  - 待受画面選択
  - テロップ表示設定
  - テレビ電話画像選択
  - 発番号なし動作設定
  - 発着信画面表示設定（人物画像表示設定を除く）
  - 電話発信設定
  - 電話着信設定
  - メモリ着信拒否／許可
  - テレビ電話発信設定
  - テレビ電話着信設定
  - プッシュトーク着信設定
  - 電話帳お預かりサービス
  - メニュー設定（タイルアイコンデザインの「カスタム1」「カスタム2」の設定内容の変更）

  ※1：受信できますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されず、着信音なども鳴動しません。
- 電話帳に登録されている相手との電話やプッシュトークの発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモ設定中でも伝言メモが動作しないため、待受画面に[伝言メモアイコン]は表示されず、未再生の伝言メモのアイコンも表示されません。
- 待受画面にiチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。

おしらせ

- PIMロックの対象となっているデータを待受画面やテレビ電話の代替画像、着信音などに設定していると、PIMロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。PIM ロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定した待受画面や着信音などになります。
- PIMロックを設定すると、留守番電話サービスの伝言メッセージの件数が増加しても、通知音などによる通知は行われません。

ダイヤル発信を禁止する　ダイヤル発信制限

電話番号をダイヤルして電話やプッシュトークを発信すること（ダイヤル発信）ができない状態にします。

- 電話帳／プッシュトーク電話帳とリダイヤルからの発信はできます。
- 本機能を「ON」に設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後に電話帳／プッシュトーク電話帳から発信した電話はリダイヤルに記録されます。

お買い上げ時 OFF

1 [Menu][8][3][3]

つづく

2 端末暗証番号を入力▶1を押す

ダイヤル発信制限が設定され、待受画面にが表示されます。

・解除する：端末暗証番号を入力▶2

ダイヤル発信制限を設定するとできなくなる操作

・着信履歴からの発信
・自局番号の修正、リセット
・電話帳／プッシュトーク電話帳の修正、登録、削除、グループ設定
・Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
・外部機器との電話帳データの送受信
・ｉモードメール／SMSの送信
（電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信は可能）
・メール作成画面からのメールテンプレートの読み込み
・テンプレート一覧画面やテンプレート詳細画面からのメール作成
（電話帳に登録されているアドレスが宛先に入力されているテンプレートからのメール作成は可能）
・ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする　プライバシーモード設定

プライバシーモードの動作を設定する

プライバシーモード中に電話帳／プッシュトーク電話帳やメール、マイピクチャなどを利用するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。プライバシーモードは手動で起動させたり、一定時間内に何も操作しなかった場合に自動的に起動させることもできます。

・プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。

お買い上げ時　電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリ：表示する　自動起動：OFF

1 Menu 8 3 6

2 端末暗証番号を入力▶各項目を選択して設定

・プライバシーモード中に、次の機能を利用するときに、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。また、待受中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

電話帳・履歴：電話帳／プッシュトーク電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを表示するときの設定です。

メール：メールを表示するときの設定です。
・「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されません。ただし、各フォルダ一覧画面でch/クリアを1秒以上押し、端末暗証番号を入力すると、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するときの設定です。

ｉモーション：ｉモーションを利用するときの設定です。

スケジュール：スケジュールを利用するときの設定です。

ｉアプリ：ｉアプリを利用するときの設定です。

自動起動：プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

3 ▶ を押す

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

おしらせ

● 自動起動以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動しません。また、プライバシーモードを起動していたときは、自動的に解除されます。

プライバシーモードを起動する

・プライバシーモード設定で自動起動するように設定した場合は、設定に従って起動します。

1 ◎を1秒以上押す

■ 解除する：◎（1秒以上）▶端末暗証番号を入力

おしらせ

● プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した項目によって、次のような制限があります。

項　目	内　容
電話帳・履歴	• 発着信時などには電話帳に登録されている相手の名前や画像は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。 • 電話帳データに設定されている着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像などは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
メール	電話帳やスケジュールからメールを検索したり、メール連動型ｉアプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をする場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
マイピクチャ、ｉモーション	• FOMA端末電話帳で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを着信音や画像に設定しているときは、電話帳や電話帳別着信設定、グループ別発着信設定の設定ではなく、電話着信設定／テレビ電話着信設定に従って動作します。ただし、電話着信設定／テレビ電話着信設定で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。 • 目覚ましやスケジュールで、目覚まし音やスケジュールのアラーム音に「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定している場合は、音の設定に従って動作します。ただし、音の設定で「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。また、スケジュール帳のイメージを「あり」に設定し、「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定している場合は、お買い上げ時の設定でイメージが表示されます。
マイピクチャ	• 静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねての撮影はできません。 • FOMA端末電話帳をminiSDメモリーカードにコピーやバックアップしても、FOMA端末電話帳に設定された静止画は、コピーやバックアップされません。
ｉモーション	動画を撮影した直後のテロップ編集はできません。
ｉアプリ	メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉアプリをダウンロードする場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

● 「認証後に表示」に設定した機能をプライバシーモード中に利用する場合、一度端末暗証番号を入力すると、待受画面に戻るまで端末暗証番号の入力は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の項目を利用する場合も同様です。

(例) プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合）に、マイピクチャに保存されている画像をメールで送信しようとした場合、マイピクチャを起動するときに端末暗証番号を入力するため、メール作成画面で電話帳を呼び出しても端末暗証番号の入力は不要です。

また、たとえばプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）、電話帳から電話をかけるなどで一度端末暗証番号を入力すると、待受画面に戻るまでの間は、電話帳に登録されている名前や画像が発着信画面などに表示され、電話帳に設定されている着信音なども有効になります。

● マイピクチャ、ｉモーション、ｉアプリのいずれかを「認証後に表示」に設定した場合、プライバシーモード中に、これらのデータを利用可能な各種設定を行おうとすると、端末暗証番号を入力した後に、プライバシーモード設定で非表示にしている項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

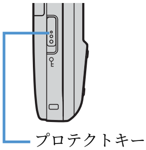
キーの誤動作を防止する　プロテクトキーロック

キー操作を無効にし、鞄などに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

- 待受画面以外の画面を表示中でも設定／解除できます。ただし、電源を入れてから待受画面が表示されるまでの間は設定できません。

お買い上げ時　未設定

1 プロテクトキーを下にスライドさせてから離す



FOMA端末を閉じているときやプロテクトキー動作設定を「スライドオープン時もロック」に設定している場合は、プロテクトキーロックが設定され、ディスプレイの表示が消えます。

- 照明設定の点灯時間設定の通常時を「常時」に設定している場合や、カメラ／ビデオカメラの撮影画面表示中や撮影中、点灯時間設定のACアダプタ接続時を「常灯」に設定して充電中、点灯時間設定を「常灯」に設定した機能の実行中などは、ディスプレイは表示されたままで、ディスプレイ上部に[鍵]が表示されます。
- 通話中やプッシュトーク通信中は、一時解除の状態で設定され、ディスプレイ上部に[鍵]（グレー）が表示されます。通話やプッシュトーク通信が終了するとプロテクトキーロックが設定されます。
- プロテクトキー動作設定を「スライドオープン時は解除」に設定している場合、FOMA端末を開いた状態で設定すると、一時解除の状態で設定され、ディスプレイ上部に[鍵]（グレー）が表示されます。FOMA端末を閉じるとプロテクトキーロックが設定されます。

■ 解除する：プロテクトキーを下にスライドさせてから離す
プロテクトキーロックが解除され、ディスプレイが点灯します。

FOMA端末を開いたときのプロテクトキーロックの動作を設定する　プロテクトキー動作設定

FOMA端末を開いたときに、プロテクトキーロックを一時解除するかどうかを設定します。

お買い上げ時　スライドオープン時は解除

1 [Menu][8][3][8]▶[1]～[2]のいずれかを押す

おしらせ

- 「スライドオープン時は解除」に設定している場合、プロテクトキーロック一時解除中に「スライドオープン時もロック」に変更すると、プロテクトキーロックが設定されます。FOMA端末を閉じるかキーを押すとディスプレイの表示が消えます。
- プロテクトキーロック中や一時解除中に、自動電源OFFによって電源が切れた場合は、プロテクトキーロックは解除されます。一時解除中に手動で電源を切った場合も同様です。
- プロテクトキーロック中でも、次のキー操作はできます。
  - 音声電話着信時に[通話]またはFOMA端末を開いて（着信中オープン応答を「ON」に設定している場合のみ）電話を受ける、[終話]で応答保留にする、[カメラ]を1秒以上押して伝言メモで対応する、[カメラ]で着信音を止める
  - テレビ電話着信時に[通話]または[テレビ電話]で電話を受ける、[終話]で応答保留にする、[カメラ]を1秒以上押して伝言メモで対応する、[カメラ]で着信音を止める
  - プッシュトーク着信時に[プッシュトーク]または[通話]で応答する、[終話]で「不参加」を通知する、[カメラ]で着信音を止める
  - アラーム音などを止める
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などのスイッチを1秒以上押して音声電話をかけたり、音声電話やテレビ電話を受ける
  - 平型ステレオイヤホンセット（別売）などのスイッチを使って、ミュージックプレイヤーの操作をする

  かかってきた電話に出たり、応答保留や伝言メモで対応するとプロテクトキーロックが一時的に解除され、操作ができます。通話が終了するとプロテクトキーロックが再度設定されます。
- プロテクトキーロック中にディスプレイの表示が消えているとき、[終話]を押すかFOMA端末を開くとディスプレイが点灯します。ディスプレイ上部に[鍵]または[鍵]（グレー）が表示されています。

シークレット属性を設定している情報を表示する　シークレットモード

シークレットモードを設定すると、シークレット属性を設定している電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定／解除する場合、シークレットモードを設定する必要があります。

お買い上げ時　未設定

1 Menu 8 3 2

2 **端末暗証番号を入力**

シークレットモードが設定され、ディスプレイ上部にが表示されます。

■ **解除する：待受画面で**
- 待受画面でMenu 8 3 2を押しても解除されます。

おしらせ

- シークレットモード中は、アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。を押すとシークレットモードが解除され、再生されます。
- シークレットモード中にシークレット属性を設定している相手から着信やメールの受信があったときは、電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。シークレットモード中でない場合は、音の設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定の各設定内容で動作します。

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する　メモリ別着信拒否／許可

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信拒否／許可を設定します。

- 本機能を利用するには、電話番号ごとに着信拒否／許可を設定してから、本設定で着信拒否／許可を有効にしてください。設定項目と着信の拒否／許可の動作は次のとおりです。

メモリ別着信拒否／許可	電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
	着信許可	着信拒否	設定なし
設定解除	着信する	着信する	着信する
拒否設定	着信する	着信を拒否する※1	着信する
許可設定	着信する	着信を拒否する※1	着信を拒否する※1

※1：設定した電話番号から電話やプッシュトークが着信しても、着信音が鳴らずに切断され、相手側には、電話の場合は話中音が流れ、プッシュトークの場合は「不参加」を通知します。

- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。
- 本機能はプッシュトーク着信にも有効です。発信者に着信拒否／許可を設定していると本機能が動作します。

着信を拒否／許可する電話番号を指定する

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信拒否／許可を設定します。
- FOMAカード電話帳に登録されている電話番号には設定できません。

1 電話帳を検索▶相手を選ぶ▶Menu 3 5 3

2 端末暗証番号を入力▶電話番号を選択

3 1～2のいずれかを押す
- 解除する：3
- 着信拒否／許可を設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に！が表示されます。
- 指定した電話番号からの着信を拒否／許可するには、続けて着信拒否／許可設定を有効にしてください。

おしらせ
- FOMA端末電話帳の詳細画面ではMenuを押し、「編集／設定」→「詳細設定」→「着信許可／拒否設定」を選択します。
- 着信拒否／許可を設定している電話番号を変更／削除した場合、本機能の設定は解除されます。その場合は、変更／登録後の電話番号に着信拒否／許可を設定してください。

着信拒否／許可設定を有効にする

- 本機能の設定は着信拒否／許可を設定したすべての電話番号が対象になります。
- 拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。

お買い上げ時 設定解除

1 Menu 8 6 6 1

2 端末暗証番号を入力▶2～3のいずれかを押す
- 解除する：端末暗証番号を入力▶1

おしらせ
- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

Menu 81114/Menu 82326

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する 発番号なし動作設定

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。
- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本機能の設定が優先されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話やプッシュトーク（発信者が発信者番号を通知してこなかった場合）を着信した場合は、着信動作を「着信拒否」に設定しているときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、テレビ電話のときはテレビ電話着信設定に、プッシュトークのときはプッシュトーク着信設定に従って動作します。

お買い上げ時 すべて設定解除

1 Menu 8 6 3 ▶ 端末暗証番号を入力

2 1 ～ 3

・通知されない理由ごとに操作2～4を繰り返します。
・非通知理由については☛P63

3 各項目を選択して設定



着信動作　：発信者番号が通知されない電話が着信したときの動作を設定します。
・「設定解除」に設定すると、電話着信設定で設定した着信音が鳴ります。
・「着信拒否」に設定すると、着信を拒否します。
・「着信音OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
・「メロディ」または「着モーション」を選択したときは、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
・「設定解除」「着信拒否」に設定すると、イメージ表示は設定できません。「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話が着信したときに表示する画像を設定します。
・「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
・「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
・「ｉモーション」を選択したときは、フォルダ一覧から動画／ｉモーションを選択します。フォルダ一覧が表示されないときは、「画像選択」を選択します。

・選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P133

4 📖を押す

おしらせ

● 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に不在着信として記録されます。
● 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、イメージ表示が「標準画像」に設定されることがありますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。
● メモリ登録外着信拒否を設定している場合に発信者番号が通知されない着信があったときは、本機能よりもメモリ登録外着信拒否の設定が優先されます。

電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする 呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話、プッシュトークが着信したとき、指定した時間が経過した後に着信音やバイブレータなどによる呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

・メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 1 5

2 **各項目を選択して設定**

着信呼出動作：本機能を有効にするかどうかを設定します。
・「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。着信するとすぐに呼出動作を開始します。

呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します（1～99秒）。

時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

3 📖**を押す**

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やプッシュトークが着信したとき、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

・設定した時間が経過する前でも、電話やプッシュトークに出たり伝言メモで応答できます。
・PIM ロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳に登録されている相手からの着信でも本機能が動作します。
・次の場合も、本機能が動作します。
　・電話帳に登録されている相手でも発信者番号が通知されない電話やプッシュトークが着信したとき
　・シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定している電話帳に登録されている相手から着信があったとき

おしらせ

● 本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスは動作します。
　・公共モード（ドライブモード）　・伝言メモ　・留守番電話サービス　・転送でんわサービス
● 発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話やプッシュトークが着信した場合は、本機能より発番号なし動作設定が優先されます。
● 呼出開始時間を留守番でんわサービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する メモリ登録外着信拒否

・番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
・呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。
・本機能はプッシュトーク着信にも有効です。発信者が電話帳に登録されている場合に本機能が動作します。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 6 6 2

2 **端末暗証番号を入力▶ 1 を押す**

・解除する：端末暗証番号を入力▶ 2

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やプッシュトークが着信したとき、着信音は鳴らずに切断され、相手には、電話の場合は話中音が流れ、プッシュトークの場合は「不参加」を通知します。

- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 次の場合も、着信を拒否します。
  - 電話帳に登録されている相手でも発信者番号が通知されない電話やプッシュトークが着信したとき
  - シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定している電話帳に登録されている相手から着信があったとき

おしらせ

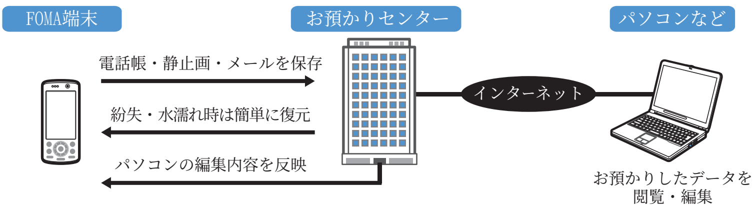
- 発信者番号が通知されない着信があった場合は、発番号なし動作設定よりも本機能の設定が優先されます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービスを利用する

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスとは、お客様の FOMA 端末に保存されている電話帳・静止画・メール（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている電話帳などのデータを新しいFOMA端末に復元させることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンから My DoCoMo のページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。



- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- データの保存／復元方法については、以下のページを参照してください。
  - ・電話帳☛P126、P130　・静止画☛P320　・メール☛P255

その他の「あんしん設定」について

次のようなあんしん設定があります。

目　的	機能・サービスの内容	参照先
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P205 P221
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信設定	P258
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認します。	ｉモード災害用伝言板サービス	『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
メールアドレスを変更します。	アドレス変更	
指定したドメインからのメールを受信／拒否します。	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否します。		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。		
SMSの受信を拒否します。	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
1日に1台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承諾広告※メール拒否	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
ICカード機能を利用できないようにします。	ICカードロック	P302
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P396
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P457
障害を引き起こす可能性のあるデータの削除や、アプリケーションの起動の中止によって、FOMA端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P461

カメラ

カメラをご使用になる前に 178
カメラで静止画を撮影する .... 静止画撮影 182
ビデオカメラで動画を撮影する .... 動画撮影 186
静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する .... 静止画詳細設定・動画／録音詳細設定 188
いろいろな方法で撮影する 190
撮影時の設定を変更する 191
通話中に撮影した静止画を送信する .... ワンショットメール 196
バーコードリーダーを利用する .... バーコードリーダー 196

カメラをご使用になる前に

FOMA 端末のカメラを使って静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画や動画は、FOMA端末で表示／再生するだけでなく、miniSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信したり、赤外線通信で送信できます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。
  miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

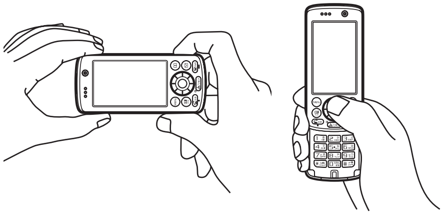
カメラ利用時の留意事項

カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、点や線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- レンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとしたり、電池残量が少ないと、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがあります。
- レンズの特性により、画像が歪んで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。被写体との距離やカメラの向きを変えたり、場所を移動することで、ちらつきを減らすことが可能です。また、ちらつき調整によりちらつきを低減できる場合があります。☛P195
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- カメラ起動時やオートフォーカス起動時、カメラ切り替え時などにモーター音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- FOMA端末のインカメラはCMOSカメラです。薄暗い場所での撮影時などは、CCD カメラであるアウトカメラの映像と比較すると少し粗く見えることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

きれいに撮影するために

FOMA端末は、閉じていても、開いていても撮影できます。図のようにしっかりと持って撮影してください。



- 撮影時は、なるべくFOMA端末が動かないようにしてください。
- レンズ部分に指、ストラップなどがかからないように注意してください。
- 手ぶれのない静止画／動画を撮影するには、手ぶれ補正機能の利用をおすすめします。ただし、画像サイズなどによっては手ぶれ補正が働かない場合がありますのでご注意ください。☛P193
  セルフタイマー機能の利用も、自動でシャッターを切れるため、手ぶれ防止に効果的です。

撮影時の留意事項

- レンズ部分に指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影する場所に応じて明るさを設定してください。☛P193
  また、暗い場所ではコンパクトライトを補助光として利用してください。☛P182、P186
- ◉ または 📷 を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差がありますので、◉ または 📷 を押してから少しの間、FOMA 端末を動かさないようにしてください。なお、速く動いている被写体を撮影すると、◉ または 📷 を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れることがあります。
- インカメラで自画像を表示すると鏡像表示されますが、撮影した静止画や動画は正像となります。静止画の場合、静止画詳細設定で自動保存を「しない」に設定すると、鏡像でも保存できます。
- ｉアプリからカメラ撮影を実行した場合、撮影した静止画や動画はマイピクチャやｉモーションのフォルダには保存されず、ｉ アプリ内に保存されます。ただし、ｉアプリによってはマイピクチャの「ｉモード」フォルダや「デコメールピクチャ」フォルダ、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存される場合もあります。また、撮影した静止画や動画は、サーバへ自動的に送られる場合があります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

・保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中にminiSDメモリーカードを抜かないでください。FOMA端末の故障の原因になります。
・撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
・カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後保存せずに長時間放置しないようにしてください。
・設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。

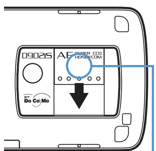
著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

レンズカバーについて

・待受画面でレンズカバーを開けるとカバーオープン音が鳴り、静止画撮影が起動します。
・アウトカメラで撮影しているとき、撮影待機中にレンズカバーを閉じるとカバークローズ音が鳴り、静止画撮影／動画撮影が終了します。録画中や撮影した静止画／動画の確認中、設定中などに閉じたときは終了しません。

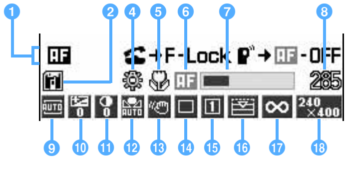


この部分を押さえながら矢印の方向にスライドさせます。

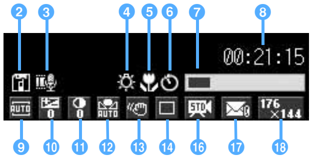
・マナーモード中はカバーオープン音／カバークローズ音は鳴りません。

撮影画面について

撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影画面

❶ **ガイダンス**

アウトカメラで静止画を撮影しているとき、オートフォーカスのON／OFFとキーのガイダンスが表示されます。オートフォーカスの操作については☛P182

<オートフォーカスONのとき>



<オートフォーカスOFFのとき>



❷ **保存先**

保存先を示します。☛P189

：FOMA端末　：miniSDメモリーカード

❸ **撮影種別**

撮影する動画の種類を示します。☛P189

：画像＋音声　：画像のみ

❹ **コンパクトライト**

コンパクトライト点灯時にが表示されます。☛P182、P186

❺ **接写撮影**

接写撮影時にが表示されます。☛P191

❻ **オートフォーカス／セルフタイマー**

オートフォーカス撮影の待機中に（グレー）が表示されます。撮影中はオートフォーカスの状態を示します（静止画のアウトカメラ撮影時のみ）。☛P185

また、セルフタイマー設定時にが表示されます。☛P191

❼ **インジケータ**

<撮影待機中の場合>

通常の撮影時は保存先の保存領域の使用率を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。

- miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、静止画や動画が保存されていなくても０にならないことがあります。

<動画撮影中／一時停止中の場合>

サイズ制限で設定しているファイルサイズ(「制限なし」の場合は保存可能サイズ）に対する撮影したサイズの割合を示します。

❽ **カウンタ**

<撮影待機中の場合>

通常の撮影時は現在の設定で FOMA 端末または miniSD メモリーカードに保存できる静止画の最大枚数（目安）または動画の最大時間（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。静止画の手動連写中は撮影枚数／総撮影枚数を示します。

<動画撮影中／一時停止中の場合>

経過時間／残り時間(撮影停止するまでの時間)（目安）を示します。

❾ **撮影モード**

撮影モードを示します。☛P192

❿ **明るさ**

明るさの設定状態を示します。☛P193

⓫ **色の濃さ**

色の濃さの設定状態を示します。☛P193

⓬ **ホワイトバランス**

ホワイトバランスの設定状態を示します。☛P193

⓭ **手ぶれ補正**

手ぶれ補正の設定状態を示します。☛P193

⓮ **フレーム**

フレームの設定状態を示します。☛P194

⓯ **連続撮影**

連続撮影の設定状態を示します。☛P185

⓰ **画質／品質**

画質／品質の設定状態を示します。☛P194

⓱ **サイズ制限**

ファイルサイズの制限値を示します。☛P194

⓲ **画像サイズ**

撮影する静止画､動画の画像サイズを示します。☛P195

おしらせ

● ｉアプリから起動したときは、インジケータ、カウンタ、サイズ制限は表示されません。また、カメラの切り替え、接写撮影／通常撮影の切り替え、コンパクトライト起動、セルフタイマー起動、ズーム、動画撮影の手ぶれ補正の切り替え以外は操作できません。静止画撮影の手ぶれ補正はできません。

● 動画撮影時、QVGA（320 × 240）の横撮影に切り替えている場合は、■STANDBY（撮影待機中）、● REC（撮影中）、II PAUSE（一時停止中）が表示され、カウンタの表示位置が変わります。

ファイル名・ファイル形式について

撮影した静止画・動画のファイル名や表示名、タイトル（動画のみ）には、撮影した日時が自動的に付けられます。

（例）2006年7月10日12時34分56秒の場合
　　→20060710123456

ファイル形式は以下のとおりです。

■ 静止画ファイルの形式

項　目	内　容
ファイル形式	JPEG（Exif 形式、PRINT Image Matching Ⅲ対応）
拡張子	jpg

■ 動画ファイルの形式

項　目	内　容
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4　音声：AMR
拡張子	3gp

おしらせ

● 撮影後、ファイル名や表示名を変更できます。☛P345

● FOMA 端末の日付・時刻が設定されていない場合、ファイル名・表示名・タイトルは「--------------」になります。

静止画の保存枚数

D902iS および miniSD メモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画像サイズ、画質、サイズ制限の設定や撮影状況によって変わります。

- 画像サイズ、画質、サイズ制限は静止画詳細設定で設定します。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

静止画保存枚数（D902iS本体）

D902iSに保存できる静止画の枚数（目安）を以下に示します。

画質／画像サイズ	エコノミー	スタンダード	ファイン
96×72	約763	約763	約763
128×96	約763	約763	約712
176×144	約763	約712	約487
240×320	約545	約402	約243
240×400	約441	約330	約205
352×288	約421	約319	約201
640×480	約201	約144	約85
480×640	約201	約140	約84
960×1280	約77	約48	約26
1200×1600	約57	約34	約19
1728×2304	約17	約11	約6

静止画保存枚数（miniSD メモリーカード）

miniSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数（目安）を、容量が16Mバイト／32Mバイトの場合について以下に示します。

■ 容量16Mバイトの場合

画質／画像サイズ	エコノミー	スタンダード	ファイン
96×72	約2057	約1800	約1600
128×96	約1600	約1440	約1107
176×144	約1309	約1107	約757
240×320	約847	約626	約378
240×400	約685	約514	約320
352×288	約654	約496	約313
640×480	約313	約225	約132
480×640	約313	約218	約130
960×1280	約121	約74	約41
1200×1600	約89	約54	約30
1728×2304	約27	約17	約10

■ 容量32Mバイトの場合

画質／画像サイズ	エコノミー	スタンダード	ファイン
96×72	約4246	約3716	約3303
128×96	約3303	約2972	約2286
176×144	約2702	約2286	約1564
240×320	約1748	約1292	約782
240×400	約1415	約1061	約660
352×288	約1351	約1025	約646
640×480	約646	約464	約272
480×640	約646	約450	約270
960×1280	約249	約154	約86
1200×1600	約184	約112	約62
1728×2304	約56	約35	約22

動画の撮影時間

動画の撮影時間は、サイズ制限、画像サイズ、品質、撮影種別の設定や撮影状況によって変わります。

・サイズ制限、画像サイズ、品質、撮影種別は動画／録音詳細設定で設定します。

1回あたりの撮影時間（D902iS本体）

D902iSに保存するとき、1回で撮影できる時間（目安）を以下に示します。

上段：画像＋音声　下段：画像のみ　　　単位：秒

サイズ制限	画像サイズ	品質 LP	STD	HQ	HQ+
メール添付用（小）	128×96	約113 約191	約71 約96	約51 約72	約21 約24
	176×144	約88 約128	約45 約54	約30 約36	約11 約12
	320×240	約32 約36	約17 約18	約14 約15	約6 約6
メール添付用（大）	128×96	約191 約323	約120 約162	約87 約121	約36 約41
	176×144	約149 約217	約76 約91	約51 約61	約19 約21
	320×240	約54 約61	約29 約31	約23 約25	約10 約10

合計撮影時間（D902iS 本体）

D902iSに保存できる動画の合計撮影時間（目安）を以下に示します。

上段：画像＋音声　下段：画像のみ　　　単位：分

サイズ制限	画像サイズ	品質 LP	STD	HQ	HQ+
メール添付用（小）	128×96	約64 約109	約40 約55	約29 約41	約12 約13
	176×144	約50 約73	約25 約31	約17 約20	約6 約6
	320×240	約18 約20	約9 約10	約8 約8	約3 約3
メール添付用（大）	128×96	約64 約109	約40 約55	約29 約41	約12 約13
	176×144	約50 約73	約25 約30	約17 約20	約6 約7
	320×240	約18 約20	約9 約10	約7 約8	約3 約3

合計撮影時間（miniSDメモリーカード）

miniSDメモリーカードに保存できる動画の合計撮影時間（目安）を、容量が16Mバイト／32Mバイトの場合について以下に示します。

■ 容量16Mバイトの場合

上段：画像＋音声　下段：画像のみ　　　単位：分

サイズ制限	画像サイズ	品質 LP	STD	HQ	HQ+
メール添付用(小)※1	128×96	約90 約158	約53.5 約79	約40 約59	約16 約19
	176×144	約70 約105	約36 約44	約24 約29	約8 約9
	320×240	約25 約29	約13 約14	約11 約12	約4 約4
メール添付用(大)※1	128×96	約90 約158	約53.5 約79	約41 約59	約17 約20
	176×144	約70 約106	約36 約44	約24 約29	約9 約10
	320×240	約25 約29	約13 約15	約10 約12	約4 約4
制限なし※2	128×96	約90 約158	約53.5 約79	約41 約59	約17 約20
	176×144	約70 約106	約36 約44	約24 約30	約9 約10
	320×240	約25 約30	約13 約15	約10 約12	約4 約5

※1：1回あたりの撮影時間は「1回あたりの撮影時間（D902iS本体）」と同じです。
※2：1回で合計撮影時間まで撮影できます。

■ 容量32Mバイトの場合

上段：画像＋音声　下段：画像のみ　　　単位：分

サイズ制限	画像サイズ	品質 LP	STD	HQ	HQ+
メール添付用(小)※1	128×96	約193 約326	約121 約164	約87 約123	約35 約41
	176×144	約150 約218	約76 約92	約51 約61	約18 約20
	320×240	約54 約61	約29 約30	約23 約25	約10 約10
メール添付用(大)※1	128×96	約193 約326	約121 約163	約87 約122	約36 約41
	176×144	約150 約219	約76 約92	約51 約61	約19 約21
	320×240	約54 約61	約29 約31	約23 約25	約10 約10
制限なし※2	128×96	約193 約327	約121 約163	約87 約122	約36 約41
	176×144	約150 約219	約76 約92	約51 約61	約19 約20
	320×240	約54 約62	約29 約31	約23 約24	約10 約10

※1：1回あたりの撮影時間は「1回あたりの撮影時間（D902iS本体）」と同じです。
※2：1回で合計撮影時間まで撮影できます。

カメラで静止画を撮影する

静止画撮影

- 着信音量を「silent」（消音）に設定している場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中などでも、シャッター音は鳴ります。また、シャッター音の音量は変更できません。

静止画を撮影する

オートフォーカス機能で画面中央の被写体にピントを合わせて撮影できます。

- オートフォーカスでピントを合わせられる距離は、通常撮影で約30cm以上、接写撮影で約7～30cmです。
- インカメラ撮影時はオートフォーカス撮影はできません。固定焦点で撮影されます。
- カメラ起動時は決定キーの照明が青で点灯します。撮影時はコンパクトライトと決定キーの照明が赤で点灯します。点灯しない設定や点灯パターン／点灯色の変更はできません。

1 レンズカバーを開ける



静止画撮影画面

カメラが起動します。

- 📷を1秒以上押してもカメラを起動できます。
- インカメラ撮影でカメラを起動する：◎（1秒以上）

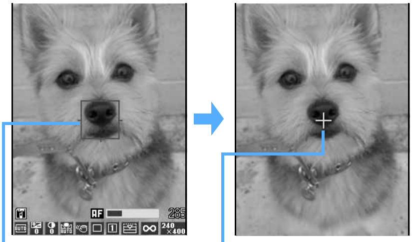
- 撮影待機中は次の操作ができます。
  - ✉：コンパクトライトの点灯（☀）／消灯（表示なし）切り替え（アウトカメラ撮影時のみ）
  - ＊：全画面表示／標準画面表示切り替え
    - 全画面表示にすると画面下部のマークやガイド行が消えます。
    - 電話帳、メール、iアプリからカメラを起動したときは行えません。
  - ⓘ：インカメラ／アウトカメラ切り替え
  - ⓘ（1秒以上）：動画撮影に切り替え

2 被写体にカメラを向けて◉または📷

画面中央にオレンジ色のフォーカス枠が表示され、ピントが調節されます。ピントが合うとフォーカス枠が緑の＋に変わり、シャッター音が鳴って静止画が撮影され、確認画面が表示されます。

カメラ　静止画撮影

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332



フォーカス枠　　緑の＋

- インカメラ撮影時は、フォーカス枠は表示されずに静止画が撮影されます。
- コンパクトライトを点灯していると、シャッターが切れる瞬間に光量が増加します。
- 静止画詳細設定の自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した静止画が保存され、撮影画面に戻ります。操作3以降の操作は不要です。

■ **画面の中央以外にピントを合わせて撮影する（フォーカスロック撮影）：**

① **ピントを合わせたい被写体を画面の中央に合わせる▶[マナー]**

オレンジ色のフォーカス枠が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の＋に変わります。

- フォーカスロックを解除する：[ch/クリア]
- マナーモード中は確認音は鳴りません。

② **撮影したい位置にカメラを向ける▶[●]**

静止画が撮影されます。

- [カメラ] を使ってもフォーカスロック撮影ができます。被写体を画面の中央に合わせて[カメラ]を半押しし、ピントを合わせます。半押ししたまま撮影したい位置にカメラを向け、シャッター音が鳴るまで[カメラ]を押し込みます。
  - 半押しした後で [カメラ] から指を離すとフォーカスロックが解除されます。

■ **オートフォーカスを使わずに撮影する：**

固定焦点で撮影します。シャッターチャンスの限られた被写体でも、すばやく撮影できます。

① [iC]

オートフォーカスがOFFに設定されます。

- もう一度押すとONに戻ります。

② **被写体にカメラを向けて[●]**

静止画が撮影されます。

- オートフォーカスをOFFに設定していても、[カメラ]を押すとオートフォーカスで撮影されます。

3 撮影した静止画を確認

- 静止画をすぐに保存する：操作4に進む
- 保存しないで撮影し直す：[ch/クリア]
- QCIF（176×144）以下の静止画を拡大表示して確認する：[▲]
  - 元に戻すには[▼]を押します。
- 横長VGA（640×480）以上の静止画を等倍表示して確認する：[i]
  - [✥] でスクロールできます。元に戻すには[ch/クリア]を押します。

■ **メールに添付して送信する：[✉]**

撮影した静止画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。画像サイズやファイルサイズによっては、QVGA（240×320または320×240）への変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。

☛P236

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定していても、FOMA端末に保存されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると 9000 バイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 撮影・保存した静止画のファイルサイズが 9000 バイトより小さい場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。

■ **待受画面に設定する：[Menu][2][1]▶「はい」を選択**

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 画像サイズによっては、静止画の表示サイズを選択できます。☛P142
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ **電話帳の画像に登録する（画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ）：[Menu][2]▶[2]～[3]▶「はい」を選択**

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ **タイトルを変更する：Menu 3 1 ▶タイトルを入力（全角・半角を問わず31文字（連続撮影した画像は30文字）まで）▶ 📖**

■ **明るさや色のバランスを補正する：📖**

静止画補正モードになります。以降の操作については☛P319

- 画像サイズが横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、4M（1728×2304）のときは補正できません。
- 4コマ撮影でフレームが設定されている場合は、補正できません。

■ **回転して保存する：**

- 以下の場合は回転できません。
  - 画像サイズがUXGA（1200×1600）、4M（1728×2304）のとき
  - フレームが設定されているとき
  - 画像サイズがSub-QCIF（128×96）、横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）で撮影日時が「日付」または「日付＋時刻」に設定されているとき
  - 画像サイズが横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）でサイズ制限が「メール添付用（大）」に設定されているとき

① Menu 3 3 ▶**静止画を回転**

Menu：左90度回転　📖：右90度回転

- スピードセレクターを回転しても90度単位で回転できます。

② ⊛ ▶「**はい**」**を選択**

■ **鏡像で保存する（インカメラ撮影時のみ）：Menu 5 3**

- フレームが設定されている場合は、鏡像で保存できません。

■ **正像表示／鏡像表示を切り替える（インカメラ撮影時のみ）：Menu 4 2**

■ **保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替える：Menu 7**

- 静止画保存後は、保存先の設定は切り替え前の設定に戻ります。

■ **保存されている画像を一覧表示する：Menu 8 ▶ 1 ～ 2**

- miniSDメモリーカードの画像を一覧表示するときはフォルダを選択します。

4 ⊛**または**📷**を押す**

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

■ **保存した静止画をすぐに確認する：📖 ▶静止画を選択**

- 画像表示中の操作については☛P314「画像を表示する」操作3
- 確認後 ch/クリア を2回押すと、静止画撮影画面に戻ります。
- 保存先がminiSDメモリーカードのときは📖を押してフォルダを選択し、静止画を選択します。ch/クリア を3回押すと静止画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール、ｉアプリからカメラを起動したときは確認できません。

おしらせ

［共通］

● 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかることがあります。

● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像を削除するか、画像サイズや画質を低い値に変更してください。

● 音声電話通話中に静止画を撮影した場合、通話が途切れることがあります。

● 静止画の撮影待機中、シャッター音が鳴る前に電話やプッシュトークが着信した場合、撮影を中断します。シャッター音が鳴り既に静止画を撮影している場合、自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した静止画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話や通信の終了後に確認画面が表示されます。ただし、着信したタイミングによっては撮影した静止画が破棄される場合があります。

● 電話帳またはメールからカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。

- メールの作成
- 待受画面の設定
- 電話帳の画像登録
- 補正、回転
- 等倍表示
- 保存先の切り替え
- 画像の一覧表示

● miniSDメモリーカードが取り付けられていないときやminiSDメモリーカードが起動中のときは、確認画面で利用できない機能があります。

● 静止画詳細設定で撮影日時を「日付」または「日付＋時刻」に設定して撮影しても、確認画面には日付や時刻は表示されません。保存した静止画には日付や時刻が表示されます。なお、横長VGA（640×480）以上の静止画では、確認画面で 🔲 を押して等倍表示すると日付や時刻が表示されます。

● 画像サイズを4M（1728×2304）に設定して撮影したとき、撮影した静止画のファイルサイズが500Kバイトを超えることがあります。この場合、静止画を赤外線通信で送信できません。また、静止画のminiSDメモリーカードへの保存またはコピー／移動はできますが、miniSDメモリーカードからFOMA端末へはコピー／移動できません。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

● 画像サイズが横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）の場合、手ぶれ補正が「オート」の状態で撮影すると、確認画面のキー操作やサブメニュー項目の一部が実行可能になるまでに時間がかかることがあります。
● 以下の項目は、アウトカメラとインカメラで別々に設定します。カメラを切り替えたときに設定は引き継がれません。
- ズーム
- フレーム
- 画質
- 画像サイズ
- 撮影モード
- 連続撮影
- サイズ制限

［オートフォーカス撮影］
● 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
- 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
- 動いている被写体を撮影する場合
- 暗い場所で撮影する場合
- FOMA端末を動かしながら撮影する場合
- 撮影範囲内にライトなどがある場合

● ピント調節中は画面のAF（グレー）がAF（黒）に変わります。また、フォーカスロック撮影時や手動連写時は、ピントが合うとAF（緑）に変わります。
● 被写体や撮影場所によっては、まれにピントが調整できず、赤の「＋」とAF（赤）が表示されることがあります。

連続撮影する

次の撮影ができます。いずれの場合も、約0.4秒間隔で自動的に撮影する自動連写と、1枚ずつ撮影する手動連写ができます。
- 連続撮影自動／連続撮影手動
  最大6枚の静止画を連続して撮影します。撮影した静止画は、マイピクチャにパラパラマンガの形式で保存され、アニメーションのように連続して表示できます。撮影できる画像サイズはSub-QCIF（128×96）、QCIF（176×144）、QVGA（240×320）、待受用（240×400）、CIF（352×288）です。
  - 撮影枚数は静止画詳細設定で設定します。
  - マイピクチャのパラパラマンガの解除機能を使用すると、1枚ずつの静止画にできます。
  - miniSDメモリーカードに保存する場合は、1枚ずつの静止画として保存されます。
- 4コマ撮影自動／4コマ撮影手動
  120×160のサイズの静止画を4枚撮影し、並べて1枚の静止画にします。撮影できる画像サイズはQVGA（240×320）のみです。

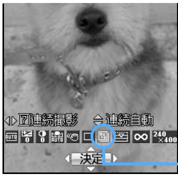
1枚目	2枚目
3枚目	4枚目

  - アウトカメラ撮影時はオートフォーカスで撮影できます。連続撮影自動／4コマ撮影自動の場合、1枚目を撮影するときにピントが調整され、以降は1枚目と同じピントで撮影されます。連続撮影手動／4コマ撮影手動の場合、1枚ごとにピントを合わせて撮影できます。フォーカスロック撮影やオートフォーカスを使わない撮影もできます。
- 電話帳、メール、iアプリからカメラを起動したときは連続撮影／4コマ撮影できません。ただし、iアプリによっては連続撮影ができる場合があります。
- 撮影時は、コンパクトライトが赤で点灯します。また、決定キーの照明が、インカメラ自動連写時は赤、アウトカメラ撮影時・インカメラ手動連写時は色を変えながら点灯します。点灯しない設定や点灯パターン／点灯色の変更はできません。

1 レンズカバーを開ける

カメラが起動します。
- を1秒以上押してもカメラを起動できます。
- インカメラ撮影でカメラを起動する：（1秒以上）

2 で連続撮影のマークを選ぶ▶で マークを切り替え▶



連続撮影のマーク

: 連続撮影自動
: 連続撮影手動
: 4コマ撮影自動
: 4コマ撮影手動
: 連続撮影解除

- 連続撮影できない画像サイズでは、連続撮影のマークにカーソルが移動しません。画像サイズを変更するには☞P191
- 連続撮影を解除する：で連続撮影のマークを選ぶ▶でに切り替え▶

3 被写体にカメラを向けてまたは

自動連写のときは、自動連写用のシャッター音が鳴り、撮影枚数分の静止画が連続で撮影されます。手動連写のときは、シャッター音が鳴り、最初の1枚が撮影されます。以降、1枚ごとにまたはを押して撮影します。撮影枚数分の撮影が終了すると、確認画面が表示されます。
- 静止画詳細設定の自動保存を「する」に設定しているときは、撮影枚数分の撮影が終了すると、撮影した静止画が保存され、撮影画面に戻ります。操作4以降の操作は不要です。
- 連続撮影手動、4コマ撮影手動を途中で中断するにはを押します。
  - 連続撮影手動の場合、自動保存を「する」に設定しているときは、それまでに撮影した静止画が保存され、撮影画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定しているときは、確認画面が表示されます。

・4コマ撮影手動の場合、それまでに撮影した静止画は保存できません。
・連続撮影自動、4コマ撮影自動は途中で中断できません。

4 連続撮影した静止画を確認

・確認画面で操作できる機能は通常の撮影時と同じです。ただし、連続撮影自動／連続撮影手動で2枚以上撮影したときは、回転はできません。
・保存しないで撮影し直す：[ch/クリア]
・連続撮影自動／連続撮影手動で2枚以上撮影したときは、[i]を押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。1枚表示時に[◎]を押すと前後の静止画に切り替わります。

5 [決定]または[カメラ]を押す

静止画が保存されます。
・静止画の保存先や、保存時の動作は通常の撮影と同じです。

■ **静止画を1枚だけ保存する（連続撮影自動／連続撮影手動のみ）：**
①静止画を選ぶ
・1枚表示時は保存する静止画を表示します。
②[決定]（1秒以上）▶「はい」を選択
・インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。
・保存しなかった静止画像は破棄されます。

■ **静止画を複数選択して保存する（連続撮影自動／連続撮影手動のみ）：**
①サムネイル表示中に[Menu][5][2]▶静止画を選択
・[✉]を押すとカーソル位置の静止画が拡大表示されます。[決定]を押すとサムネイル表示に戻ります。
②[📖]▶「はい」を選択
・インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。
・保存しなかった静止画像は破棄されます。

■ **静止画をすべて鏡像で保存する（インカメラ撮影時のみ）：[Menu][5][3]**

おしらせ

● 手動連写中に電話やプッシュトークが着信したり、目覚ましやスケジュールアラームの設定時刻になった場合、その時点で撮影が中止されます。連続撮影手動の場合、自動保存を「する」に設定しているときは、それまでに撮影した静止画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話・通信や目覚まし・アラームの終了後に確認画面が表示されます。4コマ撮影手動の場合、それまでに撮影した静止画は破棄され、保存できません。
● 自動連写中に電話やプッシュトークが着信したり、目覚ましやスケジュールアラームの設定時刻になった場合、撮影が続行されます。自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した静止画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話・通信や目覚まし・アラームの終了後に確認画面が表示されます。着信音および目覚まし音・アラーム音はシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。
● 連続撮影手動または4コマ撮影手動の場合、コンパクトライトを点灯していると、撮影後、次の静止画を撮影可能になるまでに少し時間がかかることがあります。

ビデオカメラで動画を撮影する

動画撮影

・お買い上げ時は音声付きの動画を撮影するように設定されています。動画／録音詳細設定で変更できます。
・着信音量を「silent」（消音）に設定している場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中などでも、シャッター音は鳴ります。また、シャッター音の音量は変更できません。
・ビデオカメラ起動時は決定キーの照明が青で点灯します。撮影中はコンパクトライトが赤、決定キーの照明が色を変えながら点滅します。一時停止中はコンパクトライトが赤、決定キーの照明が緑で点灯します。点灯／点滅しない設定や点灯パターン／点灯色の変更はできません。

1 [Menu][6][7]▶レンズカバーを開ける



動画撮影画面

ビデオカメラが起動します。

・撮影待機中は次の操作ができます。
[✉]：コンパクトライトの点灯（[ライト]）／消灯（表示なし）切り替え※1
[＊]：縦撮影／横撮影切り替え（画像サイズがQVGA（320×240）のときのみ）※1
[i]：インカメラ／アウトカメラ切り替え
[i]（1秒以上）：静止画撮影に切り替え
※1：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

2 被写体にカメラを向けて㊦または[カメラ]



シャッター音が鳴り、撮影が開始されます。画面下部に●が表示されます。

- 撮影を一時停止するときは㊦を押します。●が❚❚に切り替わります。㊦または[カメラ]を押すと、撮影を再開します。
  - 電話帳、メール、iアプリからビデオカメラを起動したときは一時停止できません。

3 ㊂または[カメラ]

シャッター音が鳴り、撮影が終了します。確認画面が表示されます。

- 動画／録音詳細設定の自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した動画が保存され、撮影画面に戻ります。操作4以降の操作は不要です。
- 撮影中にファイルサイズが制限値を超えると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存の対象になります。
- 一時停止中に㊂を押して撮影を終了した場合は、その時点までに撮影した動画が保存の対象になります。

4 撮影した動画を確認

- 動画をすぐに保存する：操作5に進む
- 保存しないで撮影し直す：[ch/クリア]
- 動画を再生する：㊂
  - 動画／録音詳細設定の自動再生を「する」に設定している場合は、自動的に再生されます。

■ **メールに添付して送信する：**[✉]

撮影した動画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定していても、FOMA端末に保存されます。
- 撮影した動画のファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、添付できません。
- 画像サイズをQVGA（320×240）に設定している場合は、添付できません。
- 品質を「HQ＋（最高品質）」に設定している場合は、添付できません。

■ **待受画面に設定する：**[Menu][2][1]▶「はい」を選択

撮影した動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- iアプリ待受画面が設定されているときは、続けてiアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ **電話帳の画像に登録する：**[Menu][2]▶[2]～[3]▶「はい」を選択

撮影した動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。
- 画像のサイズがSub-QCIF（128×96）またはQCIF（176×144）で、撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ登録できます。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、登録できません。

■ **タイトルを変更する：**[Menu][3][1]▶タイトルを入力(全角・半角を問わず31文字まで)▶㊂

- 変更したタイトルは動画保存後に有効になります。

■ **テロップを挿入する：**[Menu][3][2]▶「はい」を選択

撮影した動画がFOMA端末に保存され、テロップ設定画面が表示されます。以降の操作は「テロップを挿入する」の操作3以降と同じです。☛P325

- 画像のサイズをQVGA（320×240）に設定している場合は、挿入できません。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、挿入できません。

■ **保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替える：**[Menu][5]

- 撮影した動画のファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、切り替えられません。
- 動画保存後は、保存先の設定は切り替え前の設定に戻ります。

■ **保存されている動画を一覧表示する：**[Menu][6]▶[1]～[2]

- miniSDメモリーカードの動画を一覧表示するときはフォルダを選択します。

5 [●]または[📷]を押す

撮影した動画がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。

■ **保存した動画をすぐに確認する：[📖]▶動画を選択**

- 確認後[ch/クリア]を2回押すと、動画撮影画面に戻ります。
- 保存先が miniSD メモリーカードのときは[📖]を押してフォルダを選択し、動画を選択します。[ch/クリア]を3回押すと動画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール、ｉアプリからビデオカメラを起動したときは確認できません。

おしらせ

- 撮影／録音中にキーを押したり充電を開始すると、操作音が録音される場合があります。
- 撮影／録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影／録音できない場合があります。
- サイズ制限を「制限なし」に設定している場合、撮影／録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な動画や音声を削除するか、サイズ制限の設定を変更してください。
- 撮影／録音中に電話やプッシュトークが着信したときや、目覚ましやスケジュールアラームの設定時刻になったとき、[✉]を押したときは、その時点で撮影／録音が中止されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止するまでに撮影／録音したデータが自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定している場合は、確認画面が表示されます。
- 撮影／録音中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影や録音が中止されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止するまでに撮影／録音したデータが自動で保存され、[●]を押すと撮影／録音画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定している場合は、[●]を押すと確認画面が表示されます。撮影／録音画面に戻っても電池がないため撮影できない旨のメッセージが表示され、撮影はできません。
- 撮影／録音中に目覚まし音やスケジュールアラーム、電池アラームが鳴り撮影や録音が中止された場合、保存した動画／音声の最後に目覚まし音やスケジュールアラーム、電池アラームが録音されることがあります。
- 電話帳またはメールからビデオカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。
  - メールの作成
  - 待受画面の設定
  - 電話帳の画像登録
  - テロップ挿入
  - 保存先の切り替え
  - 動画の一覧表示
- 以下の項目は、アウトカメラとインカメラで別々に設定します。カメラを切り替えたときに設定は引き継がれません。
  - ズーム
  - 撮影モード
  - フレーム
  - 品質
  - サイズ制限
  - 画像サイズ
  - 撮影種別

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する　静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

- 電話帳、メール、ｉアプリからカメラ、ビデオカメラを起動したときは設定できません。その場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

お買い上げ時

● 静止画詳細設定

画像サイズ（アウトカメラ）：待受用（240×400）
サイズ制限（アウトカメラ）：制限なし
画質（アウトカメラ）：スタンダード
画像サイズ（インカメラ）：待受用（240×400）
サイズ制限（インカメラ）：制限なし
画質（インカメラ）：スタンダード
撮影日時：なし　セルフタイマー間隔：10秒
連続撮影枚数：6枚　自動保存：しない
保存先：本体　自動終了時間：1分後
シャッター音：シャッター音1
カバーオープン音：カバーオープン音1
カバークローズ音：カバークローズ音1
照明設定：常灯

● 動画／録音詳細設定

サイズ制限（アウトカメラ）：メール添付用（小）
品質（アウトカメラ）：STD（標準）
画像サイズ（アウトカメラ）：QCIF（176×144）
撮影種別（アウトカメラ）：画像+音声
サイズ制限（インカメラ）：メール添付用（小）
品質（インカメラ）：STD（標準）
画像サイズ（インカメラ）：QCIF（176×144）
撮影種別（インカメラ）：画像+音声
サイズ制限（サウンドレコーダー）：メール添付用（小）
品質（サウンドレコーダー）：STD（標準）
セルフタイマー間隔：10秒　自動再生：しない
自動保存：しない　保存先：本体
自動終了時間：1分後　シャッター音：シャッター音1
照明設定：常灯

例 静止画詳細設定を変更するとき

1 レンズカバーを開ける▶[Menu][9]

■ **動画／録音詳細設定を変更する：[Menu][6][7]▶レンズカバーを開ける▶[Menu][8]**

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

2 各項目を選択して設定▶(□)を押す

■ **静止画の撮影可能枚数(目安)を表示する:**(Menu)

画像サイズと品質ごとの撮影可能枚数(目安)が表示されます。

- 画像サイズ(インカメラ)、サイズ制限(インカメラ)、画質(インカメラ)を選んでいるときは、インカメラの撮影可能枚数(目安)、それ以外のときはアウトカメラの撮影可能枚数(目安)が表示されます。
- 枚数は現在のサイズ制限の設定に従って計算されます。ただし、現在のサイズ制限では設定できない画像サイズについては、設定可能なサイズ制限で計算されます。
- 画像サイズの選択画面表示中に(Menu)を押しても表示できます。

設定項目について

■ 静止画詳細設定

画像サイズ(アウトカメラ):
アウトカメラ撮影時の画像サイズを設定します。☛P195
- 選択画面で画像サイズを選ぶと、画面下部のアイコン表示で手ぶれ補正、連続撮影、フレーム撮影、アウトカメラ/インカメラ撮影の可/不可を確認できます。
- 待受用(240×400)、CIF(352×288)、横長VGA(640×480)、縦長VGA(480×640)、SXGA(960×1280)とサイズ制限の「メール添付用(小)」は同時に設定できません。また、UXGA(1200×1600)、4M(1728×2304)とサイズ制限の「メール添付用(小)」「メール添付用(大)」は同時に設定できません。

サイズ制限(アウトカメラ):
アウトカメラ撮影時のファイルサイズの制限値を設定します。☛P194

画質(アウトカメラ):
アウトカメラ撮影時の画質を設定します。☛P194

画像サイズ(インカメラ)/サイズ制限(インカメラ)/画質(インカメラ):
インカメラ撮影時の画像サイズ、サイズ制限、画質を設定します。設定内容はアウトカメラと同じです。ただし、設定できる画像サイズはアウトカメラと異なります。☛P195

撮影日時:
静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
- 「日付」または「日付・時刻」に設定しても、画像サイズが電話帳用(96×72)のときは撮影日時は入りません。

セルフタイマー間隔:
セルフタイマー使用時にシャッターが切れるまでの時間を設定します(2~15秒)。

連続撮影枚数:
連続撮影する枚数を設定します(2~6枚)。

自動保存:
「する」に設定すると撮影した静止画が自動的に保存されます。「しない」に設定すると撮影後に確認画面が表示されます。

保存先:
保存先を設定します。

自動終了時間:
何も操作していないときにカメラを終了するまでの時間を設定します。

シャッター音:
シャッター音1~5から選択します。
- 選ばれている音が鳴ります。

カバーオープン音:
レンズカバーを開けてカメラを起動したときに鳴る音を、カバーオープン音1~3または「OFF」から選択します。
- 選ばれている音が鳴ります。ただし「OFF」では鳴りません。

カバークローズ音:
レンズカバーを閉じてカメラを終了したときに鳴る音を、カバークローズ音1~3または「OFF」から選択します。
- 選ばれている音が鳴ります。ただし「OFF」では鳴りません。
- ビデオカメラ終了時の音も変わります。

照明設定:
「常灯」に設定すると、撮影画面表示中はディスプレイの照明が常に点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定(☛P150)の点灯時間設定(通常時)に従います。

■ 動画/録音詳細設定

サイズ制限(アウトカメラ):
アウトカメラ撮影時のファイルサイズの制限値を設定します。☛P194
- 保存先を「本体」に設定している場合、「制限なし」に設定できません。

品質(アウトカメラ):
アウトカメラ撮影時の動画の品質を設定します。☛P194

画像サイズ(アウトカメラ):
アウトカメラ撮影時の画像サイズを設定します。☛P195

撮影種別(アウトカメラ):
アウトカメラ撮影時の動画の種類を「画像+音声」「画像のみ」から選択します。

サイズ制限（インカメラ）／品質（インカメラ）／画像サイズ（インカメラ）／撮影種別（インカメラ）：
インカメラ撮影時のサイズ制限、品質、画像サイズ、撮影種別を設定します。設定内容はアウトカメラと同じです。

サイズ制限（サウンドレコーダー）：
サウンドレコーダーで録音する音声のファイルサイズの制限値を設定します。☛P355
- 保存先を「本体」に設定している場合、「制限なし」に設定できません。

品質（サウンドレコーダー）：
サウンドレコーダーで録音する音声の品質を設定します。☛P355

セルフタイマー間隔：
セルフタイマー使用時にシャッターが切れるまでの時間を設定します（2～15秒）。

自動再生：
確認画面を表示したときに動画／音声を自動的に再生するかどうかを設定します。

自動保存：
「する」に設定すると撮影／録音した動画／音声が自動的に保存されます。「しない」に設定すると撮影／録音後に確認画面が表示されます。

保存先：
保存先を設定します。

自動終了時間：
何も操作していないときにビデオカメラ／サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。

シャッター音：
シャッター音1～5から選択します。
- 選ばれている音が鳴ります。

照明設定：
「常灯」に設定すると、撮影／録音画面表示中はディスプレイの照明が常に点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P150）の点灯時間設定（通常時）に従います。

おしらせ

- サウンドレコーダーの録音画面でMenuを押し、「動画／録音詳細設定」を選択しても動画／録音詳細設定を変更できます。
- 動画／録音詳細設定は、ビデオカメラとサウンドレコーダーの一方で設定すると両方の設定が変わります。
- シャッター音、カバーオープン音、カバークローズ音の設定内容は、音の設定の操作確認音（カメラシャッター音、ビデオシャッター音、レンズカバー音）にも反映されます。また、照明設定の設定内容は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（カメラ撮影中、ビデオカメラ撮影中）にも反映されます。

いろいろな方法で撮影する

ズームする

各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

■ **アウトカメラ**

- **静止画撮影時**

画像サイズ	最大倍率	ズーム段階
電話帳用（96×72）	28倍	65段階
Sub-QCIF（128×96）	28倍	65段階
QCIF（176×144）	16倍	65段階
QVGA（240×320）	8倍	65段階
待受用（240×400）	6倍	65段階
CIF（352×288）	6倍	65段階
横長VGA（640×480）	3倍	65段階
縦長VGA（480×640）	4倍	65段階
SXGA（960×1280）	3倍	65段階
UXGA（1200×1600）	2倍	6段階
4M（1728×2304）	2倍	6段階

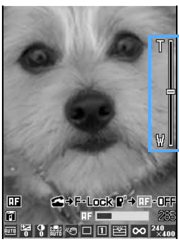
- **動画撮影時**

画像サイズ	最大倍率	ズーム段階
Sub-QCIF（128×96）	20倍	9段階
QCIF（176×144）	16倍	8段階
QVGA（320×240）縦撮影	4倍	3段階
QVGA（320×240）横撮影	8倍	5段階

■ **インカメラ**

1倍と2倍の2段階で切り替えられます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で◎を押す



スライダ

静止画撮影時

押すたびにスライダの目盛が移動します。
- スピードセレクターを回転してもズームできます。
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

セルフタイマーを使う

設定した秒数が経過すると自動でシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりすることができます。

- 連続撮影手動、4コマ撮影手動では利用できません。
- シャッターが切れるまでの秒数は静止画詳細設定または動画／録音詳細設定で設定できます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で[Menu][5]



セルフタイマーが設定され、[セルフタイマーマーク]が表示されます。

- 解除する：もう一度[Menu][5]

セルフタイマーのマーク

2 被写体にカメラを向けて[●]または[カメラ]を押す

カウントダウン音が鳴り、セルフタイマーのカウントダウンが始まります。インジケータとカウンタに撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。撮影時間が近づくと音の間隔が短くなり、設定した秒数が経過するとシャッター音が鳴り、撮影されます。

- 静止画のアウトカメラ撮影時は、[●]または[カメラ]を押すとオートフォーカス機能でピントを合わせてからカウントダウンが開始され、設定した秒数が経過するとそのピントで撮影されます。フォーカスロック撮影やオートフォーカスを使わない撮影もできます。
- カウントダウン中はコンパクトライトが赤、決定キーの照明が緑で点滅します。撮影時間が近づくと点滅の間隔が短くなります。
- 着信音量を「silent」（消音）に設定している場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中などでもカウントダウン音は鳴ります。また、カウントダウン音の音量は変更できません。
- セルフタイマーを途中で中止する：[CLR]
- セルフタイマーのカウントダウン中に電話がかかってきたときや、目覚ましやスケジュールアラームの設定時刻になったとき、[■]を押したときは、撮影は中止されます。

近くのものを撮影する　接写撮影

ごく近い距離の被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えるとピントを合わせることができます。インカメラ撮影時は利用できません。接写撮影でピントを合わせられる距離は、静止画のオートフォーカス撮影時で約7～30cmです。静止画のオートフォーカス撮影時以外は、約7～11cmでピントが合います。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で[#]を押す



接写撮影に切り替わり、[接写マーク]が表示されます。

- 解除する：もう一度[#]
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

接写撮影のマーク

撮影時の設定を変更する

撮影モード、明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、手ぶれ補正、フレーム、画質／品質、サイズ制限、画像サイズ、ちらつき調整を設定できます。

- 以下の設定はカメラ／ビデオカメラを終了しても保持されます。
  - 明るさ
  - 色の濃さ
  - 手ぶれ補正
  - 画質／品質
  - サイズ制限
  - 画像サイズ
  - ちらつき調整

お買い上げ時　撮影モード：フルオート　明るさ：±0　色の濃さ：±0　ホワイトバランス：オート　手ぶれ補正：オート　フレーム：なし　画質／品質：〈静止画〉スタンダード〈動画〉STD（標準）　サイズ制限：〈静止画〉制限なし〈動画〉メール添付用（小）　画像サイズ：〈静止画〉待受用（240×400）〈動画〉QCIF（176×144）　ちらつき調整：自動

例 フレームを設定するとき

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で[◎]でフレームのマークを選ぶ



マークの名前
現在の設定
フレームのマーク

- 他の設定を変更するときも同様にマークを選びます。

カメラ／設定変更

・マークには左から順に1～9、0のキーが割り当てられています。各キーを押してもマークを選べます。

1：撮影モード　2：明るさ
3：色の濃さ　4：ホワイトバランス
5：手ぶれ補正　6：フレーム
7：連続撮影（静止画撮影時のみ）☛P185
8：画質／品質　9：サイズ制限
0：画像サイズ

・ちらつき調整はマークでは設定できません。設定するには☛P195

2 でフレームを切り替え▶を押す

・他の設定を変更するときも同様にでマークを切り替えてを押します。
・撮影モード、ホワイトバランス、手ぶれ補正、フレーム、連続撮影、画質／品質、サイズ制限、画像サイズは、対応するキー（1、4 ～ 9、0）を押して値を切り替え、を押しても設定できます。

おしらせ

● 電話帳、メールからカメラ／ビデオカメラを起動したときは、やダイヤルキーでの設定はできません。撮影モード、明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、手ぶれ補正、ちらつき調整は、Menuを押して「撮影モード」「カメラ調整」「手ぶれ補正オート」（または「手ぶれ補正OFF」）を選択して設定できます。フレーム、画質／品質、サイズ制限、画像サイズは設定できません。
● ｉ アプリからカメラ／ビデオカメラを起動したときは設定できません。ただし、ビデオカメラの手ぶれ補正は、Menuを押して「手ぶれ補正オート」／「手ぶれ補正OFF」を選択して設定できます。

撮影モード

色合いや、撮影場所に応じた設定を、24種類から選択できます。

・操作方法☛P191

フルオート：
最も標準的な撮影モードです。通常はこのモードでご利用ください。

感度アップ：
カメラの感度がアップし、暗い所でも被写体が写りやすくなります。

超感度アップ：
わずかな光でも被写体をモノクロ画像として抽出して撮影できます。

逆光補正：
逆光により顔などが暗くなってしまうのを、明るくなるように調整します。

スポット測光：
画面中央部の明るさに画像全体の明るさを合わせます。

風景：
自然や街並みを鮮やかに撮影できます。彩度とシャープネスがやや強めに設定されます。

夜景：
シャッタースピードが遅めになり、夜景を撮影しやすくなります。手ぶれに注意してください。

トワイライト：
夕暮れの風景を美しく撮影できます。彩度が高めで、紫がかった写真になります。

サーフ&スノー：
海や空の青色や、雪の白色を鮮やかに再現します。

スポーツ：
シャッタースピードが高速に設定され、動く被写体もぶれにくくなります。

ペット：
シャッタースピードが速め、彩度が高めに設定されます。

グルメ：
料理やお菓子の撮影に適したモードです。

文字：
文字の輪郭が強調されます。

ネガポジ：
色を反転させて撮影します。ネガフイルムのような表現になります。

絵画：
油絵のようなタッチで撮影できます。

版画：
黒と白のコントラストを生かした木版画風の画像を撮影できます。

美白：
肌が明るく、白く見えるように調整されます。室内での撮影をおすすめします。

日焼け：
肌が小麦色に見えるように調整されます。屋外での撮影をおすすめします。

ソフトタッチ：
輪郭が柔らかい画像になります。

モノトーン（赤）：
赤系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。

モノトーン（緑）：
緑系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。

モノトーン（青）：
青系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。

モノクロ：
白黒写真の色合いで撮影できます。

セピア：

セピア調の色合いで撮影できます。

・インカメラ撮影中は感度アップ、超感度アップ、逆光補正、スポット測光、ネガポジ、絵画、版画には設定できません。
・夜景モードと連続撮影自動／4コマ撮影自動は同時に設定できません。
・夜景モードでは色合いなどの再現性はよくなりますが、カメラの特性上、光量が少ない場所で撮影すると線などのノイズが出る場合があります。
・スポーツモード、ペットモードでは明るい場所で撮影してください。室内や暗い場所で撮影すると、ノイズが出る場合があります。
・グルメモードや文字モードで近距離で撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。
・静止画撮影画面／動画撮影画面でMenu 1を押すと、各モードの説明を見ながらモードを選択できます。

明るさ

明るさを5段階で設定します。

・操作方法☛P191

：－2　：－1　：±0
：＋1　：＋2

・被写体によっては、調整しても表示があまり変化しないことがあります。
・撮影モードを超感度アップ、トワイライト、版画、美白、日焼けに設定しているときは設定できません。

色の濃さ

色の濃さを5段階で設定します。

・操作方法☛P191

：－2　：－1　：±0
：＋1　：＋2

・被写体によっては、調整しても表示があまり変化しないことがあります。
・撮影モードを超感度アップ、文字、版画、美白、日焼けに設定しているときは設定できません。また、インカメラ撮影中は、これらに加え撮影モードをモノトーン（赤）、モノトーン（緑）、モノトーン（青）、モノクロ、セピアに設定しているときも設定できません。

ホワイトバランス

撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整します。

・操作方法☛P191

オート：

ホワイトバランスを自動的に調整します。

太陽光：

晴天時の屋外で撮影するときに設定します。

くもり：

曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定します。

蛍光灯：

蛍光灯などの照明の下で撮影するときに設定します。

電球：

電球などの照明の下で撮影するときに設定します。

・撮影モードを超感度アップ、風景、サーフ&スノー、版画、モノトーン（赤）、モノトーン（緑）、モノトーン（青）、モノクロ、セピアに設定しているときは設定できません。また、インカメラ撮影中は、これらに加え撮影モードをトワイライト、美白、日焼けに設定しているときも設定できません。

手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を利用するかどうかを設定します。

・操作方法☛P191

オート：

手ぶれしやすい設定や撮影状況のとき、自動的に手ぶれ補正が働きます。

OFF：

手ぶれ補正を行いません。

おしらせ

● 以下の場合は、自動的に手ぶれ補正が「OFF」に設定され、変更できません。
・静止画／動画のインカメラ撮影時
・静止画の連続撮影／4コマ撮影時
・静止画の画像サイズがUXGA（1200×1600）または4M（1728×2304）のとき
・ｉアプリ動作中（ｉアプリ待受画面設定時も含む）に静止画を撮影するとき

● 次のようなときは手ぶれが補正できない場合があります。
・手ぶれが大きいとき
・被写体が動いているとき
・ズーム撮影時

また、上記以外の場合でも、被写体や撮影場所の条件によっては、手ぶれが補正できない場合があります。

● 手ぶれ補正を使用して静止画を撮影した場合、まれに画像が重なって表示されたり、画像がざらつくことがあります。このような場合は手ぶれ補正を「OFF」に設定してください。

● 手ぶれ補正を使用して静止画を撮影した場合、撮影後の処理にかかる時間が長くなることがあります。

● 手ぶれ補正を使用して動画を撮影した場合、手ぶれ補正を行わない場合に比べ、撮影したときに写る範囲が少し狭くなります。
● 手ぶれ補正を使用した場合、ちらつき調整が「自動」に設定されていると、ちらつき調整が十分に働かないことがあります。ご利用の地域の電源周波数に合わせて、ちらつき調整の設定を変更することをおすすめします。

フレーム

FOMA 端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを選択できます。
- 操作方法☛P191

[フレーム設定中アイコン]：フレーム設定中　[フレーム解除アイコン]：フレーム解除
- お買い上げ時に FOMA 端末に登録されているフレームは、QCIF（176×144）、QVGA（240×320）、待受用（240×400）の画像サイズに対応しています。☛P425
- 静止画の画像サイズを電話帳用（96×72）、横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA(960×1280)、UXGA(1200×1600)、4M(1728×2304)、動画の画像サイズをQVGA（320×240）に設定しているときは、フレームを設定できません。
- 解除する：[6]（1秒以上）

おしらせ
● 静止画撮影画面／動画撮影画面で [Menu][3][1] を押すと、一覧からフレームを選択できます。
● 画像サイズと縦横が逆のフレーム（たとえば画像サイズがQCIF（176×144）のときに144×176のフレーム）を選択した場合、フレームが右90度回転して表示されます。このとき、静止画撮影画面／動画撮影画面で [Menu][3][3] を押すと、フレームが180度回転します。画像サイズとフレームの縦横が同じ場合は回転できません。
● 撮影中にサイトからフレームをダウンロードしたときは、静止画撮影画面／動画撮影画面で[Menu][3][4]を押すと、追加したフレームが選択可能になります。

画質／品質

静止画の画質／動画の品質を設定します。
- 操作方法☛P191

■ 画質（静止画撮影時）

[アイコン]エコノミー：
最も低い画質です。ファイルサイズは小さくなります。

[アイコン]スタンダード：
標準的な画質です。

[アイコン]ファイン：
最も高い画質です。ファイルサイズは大きくなります。

■ 品質（動画撮影時）

[LP]長時間：
最も低い品質です。ファイルサイズは小さく、撮影時間は最も長くなります。

[STD]標準：
標準的な品質です。

[HQ]高品質：
画像の動きがなめらかになります。

[HQ+]最高品質：
最も高い品質です。ファイルサイズは大きく、撮影時間は最も短くなります。撮影した動画はｉモードメールに添付できません。

おしらせ
● 画像サイズがQVGA（320×240）の動画を「HQ+（最高品質）」で撮影する場合、手ぶれ補正を「オート」に設定していると、手ぶれ補正が「OFF」の場合に比べ、画像の品質がやや低下します。

サイズ制限

ファイルサイズの制限値を設定します。
- 操作方法☛P191

■ 静止画撮影時
撮影した静止画のファイルサイズが制限値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすか、画像サイズを小さくして保存します。

[アイコン]メール添付用（小）※1：
ファイルサイズを9000バイト以下に制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

[アイコン]メール添付用（大）※1：
ファイルサイズを500Kバイト以下に制限します。ファイルサイズを変更せずにｉモードメールに添付できます。

[∞]制限なし：
ファイルサイズを制限しません。

- 「メール添付用（小）」は、画像サイズがQVGA（240×320）以下のときだけ設定できます。
- 画像サイズがUXGA（1200×1600）または4M(1728×2304)のときは変更できません。
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

■ 動画撮影時
撮影中に動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。

[アイコン]メール添付用（小）※1：
ファイルサイズを 290K バイト以下に制限します。ｉ モードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

[メール添付用（大）マーク] メール添付用（大）※1：

ファイルサイズを490Kバイト以下に制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

[制限なしマーク] 制限なし：

ファイルサイズを制限しません。動画／録音詳細設定で保存先を「本体」に設定している場合は選択できません。

- 撮影した動画をｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信するときは「制限なし」以外に設定します。

※1：マークを選んだとき、画面には「メール添付（小）」「メール添付（大）」と表示されます。

画像サイズ

設定できる画像サイズは次のとおりです。

- 操作方法☛P191

撮影方法	マーク	画像サイズ	備考
静止画撮影	96×72	電話帳用（96×72）	❶
	128×96	Sub-QCIF（128×96）	
	176×144	QCIF（176×144）	
	240×320	QVGA（240×320）	
	240×400	待受用（240×400）	❷
	352×288	CIF（352×288）	
	640×480	横長VGA（640×480）	
	480×640	縦長VGA（480×640）	
	960×1280	SXGA（960×1280）	
	1200×1600	UXGA（1200×1600）	
	1728×2304	4M（1728×2304）	
動画撮影	128×96	Sub-QCIF（128×96）	❸
	176×144	QCIF（176×144）	
	320×240	QVGA（320×240）	❹

❶：ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。また、デコメールに貼り付けるのに適したサイズです。

❷：ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。ファイル添付時にサイズをQVGA（240×320または320×240）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。

❸：ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。

❹：ｉモードメールに添付できません。

- インカメラ撮影時は横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、4M（1728×2304）に設定できません。
- ｉモード端末に送信できる画像のファイルサイズは最大500Kバイトです。
- D902i、D902iS以外のｉモード端末で見る際に最も適した静止画のサイズは、QVGA（240×320）サイズです。
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。
- ｉアプリ動作中（ｉアプリ待受画面設定時も含む）はUXGA（1200×1600）、4M（1728×2304）に設定できません。UXGA（1200×1600）、4M（1728×2304）に設定しているとき、ｉアプリ動作中に静止画撮影画面を表示すると、画像サイズがSXGA（960×1280）に変更されます。

ちらつき調整

蛍光灯などの下で画面がちらつくとき、ご利用の地域の電源周波数に合わせてちらつき調整を設定すると、ちらつきを低減できる場合があります。

- 強い光源の下などでは、調整してもちらつきが消えないことがあります。
- 本機能での設定内容は、テレビ電話、バーコードリーダーのちらつき調整にも反映されます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で [Menu] [2] [4]

2 [1]～[3] のいずれかを押す

自動：

自動的にちらつきを低減するように調整します。

50Hz（東日本）：

東日本の電源周波数に合わせて調整します。

60Hz（西日本）：

西日本の電源周波数に合わせて調整します。

撮影時の設定を初期値に戻す

撮影モード、明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、ちらつき調整の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- 撮影モードは、アウトカメラ撮影時はアウトカメラの設定、インカメラ撮影時はインカメラの設定だけが戻ります。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で [Menu] [2] [5]

2 「はい」を選択

通話中に撮影した静止画を送信する
ワンショットメール

音声電話通話中に撮影した静止画を、iモードメールに添付して通話中の相手に送信します。

- 本機能を利用するには、静止画詳細設定で保存先を「本体」に設定してください。

1 音声電話通話中に

2 静止画を撮影

- 静止画詳細設定で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメール添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画を確認できます。
- 連続撮影すると、撮影した静止画がサムネイル表示されます。で静止画を選びます。

3 ▶「はい」を選択

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。通話中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は入力されません。

- 撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、QVGA（240 × 320 または320×240）への変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。☛P236
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると9000バイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 撮影・保存した静止画のファイルサイズが9000バイトより小さい場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。
- iモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときはch/クリアを押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面でch/クリアを押します。

4 iモードメールを作成して送信

- 通話中画面に戻る：ch/クリア

バーコードリーダーを利用する
バーコードリーダー

カメラを使ってJANコードやQRコードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toを利用したりできます。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- バーコードリーダーはアウトカメラのみ利用できます。
- JANコードとQRコード以外のバーコードおよび2次元コードは読み取れません。
- バーコードの種類やサイズによっては読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないことがあります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。☛P411

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードの1つです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
下のJANコードでは、「4942857124156」という文字情報が読み取れます。

4 942857 124156

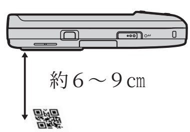
QRコードとは

縦横方向の模様で英数字や文字（漢字・カナ・絵文字）、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードの1つです。

左のQRコードでは、「FOMA D902iS」という文字情報が読み取れます。

コードを読み取る

バーコードリーダーを起動すると自動的に接写撮影に切り替わります。アウトカメラをコードから約6～9cm離して読み取ってください。



1 [Menu][6][1]▶レンズカバーを開ける

・コード読み取り中は次の操作ができます。

[✉]：コンパクトライトの点灯（[ライト]）／消灯（表示なし）切り替え

[#]：通常撮影（表示なし）／接写撮影（[接写]）切り替え

・サイズの大きいコードを読み取るときは通常撮影に切り替えてください。

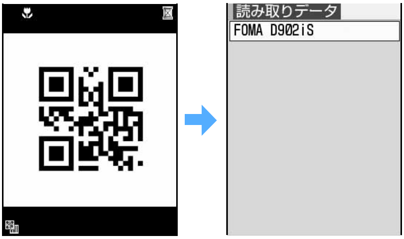
・ちらつき調整を設定する：[Menu][2]▶[1]～[3]

・本機能での設定内容は、カメラ、テレビ電話のちらつき調整にも反映されます。

・設定内容については☛P195

2 コードを読み取る

アウトカメラをコードに合わせると、自動的にコードが読み取られます。正しく読み取れると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。



・コードが読み取りにくいときは、コードとアウトカメラの距離や角度、方向などを調節すると読み取れる場合があります。

・データが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが、保存はできます。

・サブメニュー表示中など、読み取りを停止しているときは、画面右上の[⌛]が[⌛]に変わります。

■ コードを読み取り直す：[📖]

3 [Menu][4]を押す

読み取ったデータがFOMA端末に保存されます。

・既にデータが5件保存されているときや保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して保存されているデータを削除してください。

■ 読み取ったデータの文字情報をコピーする：

①[Menu][1]▶コピーの開始位置を選択

・文字情報全体をコピーする：[Menu][●]

②コピーの終了位置を選択

分割されたQRコードを読み取る場合

複数（最大16個）に分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って、次々に読み取ってください。



・途中で読み取りを中止するには、[ch/クリア]を押します。既に読み取ったQRコードのデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」を選択してください。

おしらせ

● 静止画撮影画面や動画撮影画面で[Menu]を押し、「機能切替」→「バーコードリーダー」を選択してもバーコードリーダーに切り替わります。

● 電話着信音量とメール・メッセージ着信音量を「silent」（消音）に設定している場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は、コード読み取り時の確認音は鳴りません。

● バーコードリーダー画面で[Menu][4]を押し、[1]～[2]を押すと、静止画撮影、動画撮影に切り替えられます。文字入力画面やｉアプリからバーコードリーダーを起動した場合は、切り替えられません。

● 読み取ったデータのファイル名は、「読み取り日時＋ファイル項番.拡張子」になります。拡張子はJANコードでは「jan」、QRコードでは「qr」です（例：2006年7月10日12時34分にJANコードを読み取った場合は「20060710123400.jan」）。同じ日時に保存したデータが既に保存されている場合は、ファイル項番が＋1されます。ただし、FOMA端末の日付・時刻が設定されていない場合、ファイル名の日時部分は「------------」になります。ファイル名は変更できません。

読み取ったデータを利用する

読み取りデータにより、行える操作は異なります。

例 情報を電話帳に登録するとき

1 [Menu][6][1]▶レンズカバーを開ける

2 [📖]▶データを選択

■ 読み取りデータを削除する：データを選ぶ▶[Menu][3][1]▶「はい」を選択

・すべて削除する：[Menu][3][2]▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

つづく

3 電話帳に登録する情報を選ぶ▶新規登録するときはMenu31、更新登録するときはMenu32▶1～2のいずれかを押す

選んだ情報が入力されている電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。

■ **情報を電話帳に一括登録する：「電話帳登録」を選択▶1～2**

電話帳の登録画面が表示されます。データによっては名前やフリガナなども入力されます。

■ **iモードメールを送信する：メールアドレスまたは「メール作成」を選択**

メール作成画面が表示されます。

- 「メール作成」を選択した場合、データによっては題名、本文も入力されます。

■ **サイトまたはインターネットホームページに接続する：URLを選択▶「はい」を選択**

■ **URLをブックマークに登録する：**

①URLを選ぶ▶Menu33、または「ブックマーク登録」を選択

②フォルダを選択

③タイトル名を入力（全角12文字（半角24文字）まで）▶📖

- 「ブックマーク登録」を選択した場合、データによってはタイトル名が入力されます。

■ **iアプリを起動する：「iアプリ起動」を選択**

■ **音声電話またはテレビ電話をかける／プッシュトーク発信する：**

①電話番号を選択▶発信条件を設定☛P58

②Menu▶「はい」を選択

■ **静止画を保存する：**

①静止画のファイル名を選択▶「保存」を選択

- 静止画を表示：「表示」を選択

②各項目を選択して設定▶📖☛P346

③保存先を選択

■ **メロディを保存する：**

①メロディのファイル名を選択▶「保存」を選択

- メロディを再生：「再生」を選択

②表示名を入力▶📖

メロディがデータBOXのメロディの「データ交換」フォルダに保存されます。

ｉモード／ｉモーション

ｉモードとは..200

サイトを表示する

サイトを表示する..204
サイトの見かたと操作..206
マイメニューを使う..マイメニュー 207
ｉモードパスワードを変更する..ｉモードパスワード変更 208
インターネットホームページを表示する..インターネット接続 208
ホームページやサイトを登録してすばやく表示する..ブックマーク 209
サイトの内容を保存する..画面メモ 211

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

サイトから画像を取得する..画像保存 212
サイトからメロディをダウンロードする..ｉメロディ 212
サイトからPDFデータをダウンロードする..213
サイトから辞書をダウンロードする..214
サイトからキャラ電をダウンロードする..214

ｉモードの便利な機能

ｉモードの便利な機能..214

ｉモードの設定を行う

ｉモードの設定を行う..ｉモード設定 216

メッセージサービスを利用する

メッセージR/Fを受信したときは..メッセージR/F受信 217
保存されているメッセージR/Fを表示する..メッセージR／メッセージF 219

証明書を利用する

証明書を操作する..220

ｉモーションを利用する

ｉモーションとは..222
サイトからｉモーションを取得する..222
ｉモーションの自動再生と取得するタイプを設定する..ｉモーション設定 224

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下、iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

■ **サイト（番組）接続**

iMenu からメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

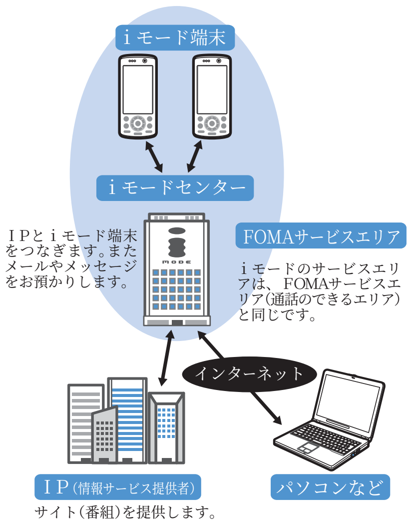
■ **インターネット接続**

iモード端末にホームページアドレス（URL)を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■ **iモードメール**

iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスのしくみ



- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

おしらせ

- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス(iモードをご契約)からFOMAサービスへ契約を変更された場合、mova サービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。なお、サイトによってFOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。また、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenuの「お知らせ&ヘルプ」でご確認できます。
- iモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、iモードご契約時にお渡しいたします『iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『iモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なキー操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。
たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊iガイド」などへアクセスします。



- サイトの表示方法 ☛P204
- 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

1 **マイメニュー**

よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。☛P207
iMenu 内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。

2 **メニュー/検索**

「メニュー/検索」内の検索BOXにキーワードを入力することで、目的のサイトを検索することができます。さらに、さまざまな検索サイトと連携し、一般サイト検索を行うことができます。

3 **週刊iガイド**

新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。またミュージックとゲームの特集コーナーも用意されています。

4 **とくするメニュー**

楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2コミュニケーションズ）。

5 **楽オク-オークション-**

簡単に入札したり、出品ができるオークションサイトです。

また、オークションに出品している商品から、おすすめ商品などの情報も提供しています（提供：楽天オークション）。

6 **ｉエリア-周辺情報-**

今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。

7 **マイボックス**

サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。

8 **料金&お申込・設定**

料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができるほか、ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。

■ **お知らせ**

ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。

■ **TOPICS**

最新のトピックスを紹介しています。

English iMenu

ｉMenuを英語表記に変更できます。

おしらせ

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ｉが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ **ｉチャネル**

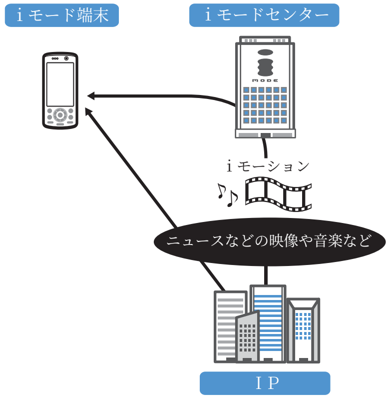
ニュースや天気などのグラフィカルな情報をドコモまたはIPがｉモード端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ch/クリアを押すことでチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- 対応機種：ｉチャネル対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ **ｉモーション**

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しむことができます。

- ｉモーションを取得するには☛P222
- ｉモーションを再生するには☛P321
- ｉモーションを自動再生設定するには☛P224



■ **着モーション／着うた®**

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなく、お好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）。

- 着モーションを設定するには☛P132、P323
- 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ **ｉアプリ**

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードしたりすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

- ｉアプリをダウンロードするには☛P273
- ｉアプリを起動するには☛P275
- ｉアプリを自動起動するには☛P284

■ **ｉアプリ待受画面**

ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけたりすることも可能です。ニュー

スや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

・ｉアプリ待受画面を設定するには☛P144

■ ｉアプリDX

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

・ｉアプリDXとは☛P272

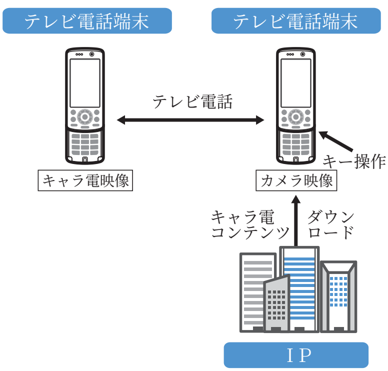
■ 3Dサウンド

3Dサウンド対応ｉモード端末では、ステレオスピーカー（または平型ステレオイヤホンセット（別売）など）により立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出すことができ、臨場感あふれるｉアプリのゲーム、ｉモーションや着信音などをお楽しみいただけます（3Dサウンド対応のコンテンツの場合となります）。

■ キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、キー操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードしてそのまま待受画像に設定したり、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送信することもできます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません）。

・キャラ電をダウンロードするには☛P214
・キャラ電の確認☛P328
・キャラ電を設定するには☛P87、P93、P328
・キャラクタの操作方法☛P328
・キャラ電の撮影☛P329



■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※1

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※1：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

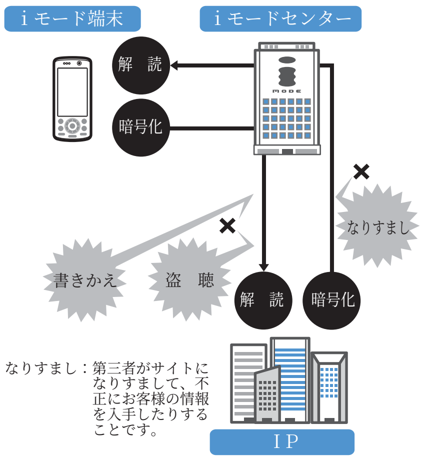
・赤外線通信モードにするには☛P348、P290

■ SSL通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと２つあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。☛P220

・ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用するには☛P220
・FirstPassのユーザ証明書を利用するには☛P221



■ FOMAカード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・ｉモーションなどのファイルの動作を制限します。また、別のFOMAカードに差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONにした場合、取得したファイルの再生や表示をできなくする機能です。☛P40

- カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります（コンテンツ移行対応のデータを除く）。
- 着信音や待受画面設定など、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。☛P212

■ ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。☛P212

■ Flash®

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

Flash画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量　・受信レベル　・時刻情報
- 電話着信音量　・バイリンガル設定　・機種情報

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージR（リクエスト）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF（フリー）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法は☛P217、P243
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」に設定を変更していただく必要がありますので、ご了承ください。
  - 上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」に設定されております。
- 電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージR/Fは削除されます。最大保管件数を超えた場合は、最も古いメッセージR/Fから順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せ（☛P243）により受信できます。

■ トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。

トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

- メッセージRの画面の見かたは☛P219

■ ｉモードパスワード

有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。☛P208

ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。

- 表示方法は☛P208

おしらせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ（ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページ）以外は正しく表示されない場合があります。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。
- パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに保管できます。また、電話帳お預かりサービス（有料）をご契約の場合は、メールをお預かりセンターへ保存できます。
- miniSDメモリーカードを利用することにより、メールやブックマークなどの内容を保存できます。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーションなど）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示・再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

Menu 21

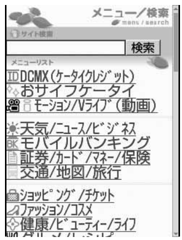
サイトを表示する

1 [i] [1]



- 接続中の画面で[i]を押すと、接続が中止されます。
- [1]、[2]などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

2 **「メニュー／検索」を選択**



- ページ取得中に[CLR]を押すと、ページの取得が中止されます。

3 **項目を選択**

サイトに接続されます。以降同様に目的のページを表示します。

4 **サイトを見終わったら[終話]▶「はい」を選択**

おしらせ

- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  - ：表示・効果設定で画像を「表示しない」に設定しているとき（メッセージR/Fで画像未取得の場合は ）
  - ：画像のデータが不正なときや、画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - ：画像のURLの誤りなどで画像を表示できないとき

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

● ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外ではご利用になれません。
● サイト表示中にｉMenuに戻る場合は Menu を押し、「ｉMenu」を選択します。
● サイトからお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が要求されたときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために使われます。
送信するお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
● サイトからユーザ名、パスワードの入力が要求されたときは、ユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、「OK」を選択します。

SSLページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。
・SSLページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。
・FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。

SSLページに接続する

SSL通信開始の画面が表示されます。SSLページが表示されるとディスプレイ上部に SSL が表示されます。

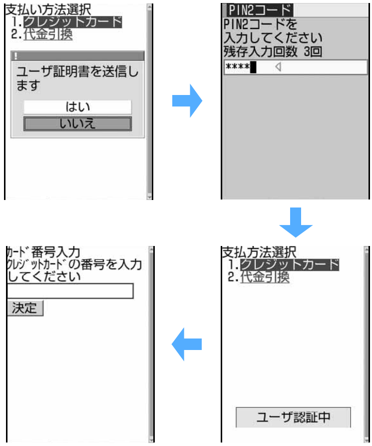
■ **SSLページ表示中に証明書を表示する：**
Menu 9 2
・証明書の内容☛P220

SSLページから通常ページに進む

確認画面が表示されます。「はい」を選択すると通常ページが表示され、ディスプレイ上部の SSL が消えます。

FirstPass対応ページに接続する

次の画面が表示されます。



①「はい」を選択
② PIN2コードを入力
ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。
・60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL通信は切断されます。

おしらせ

● SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。☛P220
● FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイの対象外となります。

Menu 233

最後に表示したページに再接続する
ラストURL

ラストURLを利用すると最後に表示したページに簡単に再接続できます。
・ページによっては、表示できないことがあります。また、最後に表示したページと異なることがあります。

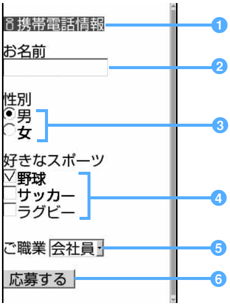
1 ｉ 3 3
・ラストURLが記録されていないときは、ラストURLがない旨のメッセージが表示されます。

2 ● を押す

サイトの見かたと操作

リンク先や項目を選択する

ページによっては選択項目や入力欄が表示されます。(上下キー)で選択項目や入力欄を選び(決定キー)を押して選択・入力します。



1 **リンク**
関連するページへ進みます。選ぶと反転表示されます。

2 **文字入力欄**
文字を入力します。入力文字種と文字数は、文字入力欄によって異なります。

3 **ラジオボタン**（○：選択されていない状態
◉：選択されている状態）
選択肢の中から1つだけ選択できます。

4 **チェックボックス**（□：選択されていない状態
☑：選択されている状態）
選択肢の中から複数選択できます。
(決定キー)で□と☑が切り替わります。

5 **プルダウンメニュー**
項目の一覧から項目を選択します。

6 **ボタン**（名称はサイトによって異なる）
ページの設定内容を確定してサイトへ送信したり、取り消したりします。

おしらせ

- 画像にリンクが設定されている場合もあります。
- 1、2などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押しても選択できます（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。
- 文字入力画面には電話帳データや自局番号の登録内容、バーコードリーダーで読み取ったJANコードやQRコードの文字列情報を入力できます。☛P410
- プルダウンメニューによっては、(決定キー)を押して複数の項目が選択できる場合があります。選択後は(m)を押します。
- ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、文字入力欄で入力／設定した内容は、登録したブックマークや画面メモには反映されません。

Flash画像の表示について

Flash画像により、表現力豊かなサイトを利用できます。

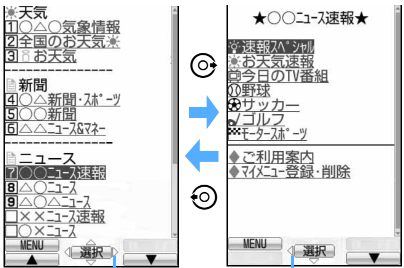
- 表示・効果設定の画像を「表示しない」に設定した場合は表示されません。
- Flash画像を利用したサイトでは、通常のサイトと表示動作が異なる場合があります。
- Flash画像によっては、画像保存したり、画面メモに保存しても画像の一部が保存されないなど、サイトで表示したときと見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash 画像によっては◇が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- Flash画像を最初から再生する場合は、(Menu)(9)(7)を押してください。
- Flash 画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は音量設定の電話着信音量に従います。効果音を鳴らさない場合は、(Menu)(9)(3)を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください。
- バイブレータ設定を「OFF」以外に設定しているときに、Flash画像の効果音が鳴っても振動しません。
- Flash画像によっては、バイブレータ設定を「OFF」に設定しても、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには(決定キー)、(上下キー)、(クリア)、(i)、(メール)、(m)、(0)～(9)、(*)、(#)、(カメラ)、(マナー)のいずれかのキーを押してください。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、表示・効果設定の端末情報データ利用設定を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は「利用する」に設定されています。なお、利用する登録データには次のものがあります。
  - 電池残量
  - 受信レベル
  - 時刻情報
  - 電話着信音量
  - バイリンガル設定
  - 機種情報

前のページに戻る／進む

ページの履歴をキャッシュに最大20件記録しています。

- キャッシュとは、表示したページのデータを一時的に記録する端末内の場所のことです。[左右キー]で通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。ただし、キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示するときは、通信を行います。
- FirstPass センター接続中（☛P221）は本機能を利用できません。

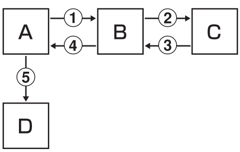
1つ前のページ　　**現在のページ**



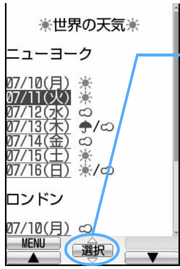
次のページに進めることを示します。　前のページに戻れることを示します。

おしらせ

- サイトの表示履歴が満杯になるとキャッシュ内の履歴が消去される場合があり、[左キー]を押しても前のページに戻れないことがあります。
- 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
- iモードを終了すると、キャッシュ内の履歴はすべて消去されます。
- Flash 画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。
- ページA→ページB→ページCの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→ページB→ページCの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが、さらにページBには戻れません。



画面をスクロールする



すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目を選べるときは、ガイド行に△や▽が表示されます。

- [上下キー]でスクロールします。押し続けると連続スクロールできます。
- [i]、[メール]を押すと画面単位でスクロールします。押し続けると画面単位で連続スクロールとなります。

情報を再読み込みする

接続の中断などでサイトが表示できなかった場合、再読み込みを行うと表示できることがあります。

1 サイト表示中に[Menu][5]を押す

表示中のサイトのURLを表示する

1 サイト表示中に[Menu][9][1]を押す

おしらせ

- URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧では[m]を押します。[Menu]を押し、「URL表示」を選択しても表示できます。

マイメニューを使う

マイメニュー

サイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトを簡単に表示できます。

- 最大45件登録できます。
- 登録にはiモードパスワードが必要です。iモードご契約時には「0000」に設定されています。
- iMenuの「メニュー／検索」内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはiMenuの「メニュー／検索」内のサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。登録できないサイトやインターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

マイメニューに登録する

1 サイト表示中に「マイメニュー登録」を選択

・各サイトによりページ構成が異なります。項目に対応する番号のキーを押すか、該当する項目を選択してください。

2 iモードパスワードの入力欄を選択▶iモードパスワードを入力

・入力したパスワードは「*」で表示されます。

3 「決定」を選択

マイメニューからサイトを表示する

1 iMenuで「1マイメニュー」を選択▶サイトを選択

iモードパスワードを変更する

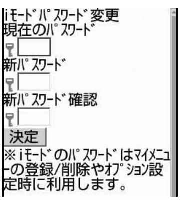
iモードパスワード変更

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはiモードパスワードが必要です。iモードパスワードはiモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のiモードパスワード（4桁の数字）に変更してください。なお、iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

・入力したパスワードは「*」で表示されます。
・iモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

1 iMenuで「料金&お申込・設定」を選択▶「オプション設定」を選択▶「iモードパスワード変更」を選択

2 現在のパスワード欄を選択▶現在のiモードパスワードを入力



3 新パスワード欄を選択▶新しいiモードパスワードを入力

4 新パスワード確認欄を選択▶操作3と同じiモードパスワードを入力

5 「決定」を選択

・入力内容に誤りや抜けがあるとエラー画面が表示されます。「再入力」を選択して再度操作2から操作してください。

Menu 231

インターネットホームページを表示する

インターネット接続

・iモードに対応していないインターネットホームページは正しく表示されない場合があります。その場合、フルブラウザに切り替えられます。☛P309

1 [iモード] [3] [1]

・2回目からは前回接続したURLが表示されます。

2 URLを入力（半角256文字まで）▶[□]を押す

・「/」「.」「-」などの記号は、半角英字入力モード時に[1]を繰り返し押して入力します。また、「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、半角英字入力モード時に[*]を繰り返し押して入力できます。

おしらせ

● サイト画面では[Menu]を押し、「Internet」→「URL入力」を選択します。
● 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示されます。[●]を押すとメッセージが消去され、受信できた分のデータが表示されます。
● インターネットホームページ表示中の操作方法は、iモードのサイトの場合と同じです。

Menu 232

URL履歴を使って表示する

URL履歴

接続したインターネットホームページのURLを新しい順に最大20件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

1 [iモード] [3] [2]

2 インターネットホームページのURLを選択

・URLが長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、URLを選び[□]を押します。

■ URLを編集して接続する：
①URL履歴一覧でURLを選ぶ▶[Menu][6]
②URLを編集▶[決定]

■ URL履歴を削除する：
①URL履歴一覧でURLを選ぶ▶[Menu][4][1]
・すべて削除する：URL履歴一覧で[Menu][4][2]▶端末暗証番号を入力
②「はい」を選択

おしらせ
● サイト画面では[Menu]を押し、「Internet」→「URL履歴」を選択します。
● URL履歴が20件を超えた場合は、一番古いURL履歴に上書きされます。

文字を正しく表示する　文字コード

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めや仕組みの総称のことです。

1 サイトやインターネットホームページ表示中に[Menu][9][6][1]を押す
・押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。また、[Menu][9][6][2]を押すと自動選択に戻ります。
・サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。
・操作を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。
・文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する　ブックマーク

よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけで、すばやく表示できます。
・最大登録件数☛P38
・URLが半角256文字を超えるサイトはブックマークに登録できません。
・サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

ブックマークに登録する

1 サイトやインターネットホームページを表示▶[Menu][2][1]▶登録先フォルダを選択

2 タイトル名を入力（全角12文字（半角24文字）まで）▶[決定]を押す
・タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧ではURLが表示されます。
・ブックマーク一覧では、タイトルまたはURLが全角で10文字、半角で21文字まで表示され、ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

おしらせ
● 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL履歴一覧では[Menu]を押し、「Bookmark登録」を選択します。
● 最大登録件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は上書きするブックマークを選択します。

Menu 22

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 [i][2]

2 フォルダを選択
[フォルダ]：ブックマークなし　[フォルダ]：ブックマークあり

3 ブックマークを選択
■ URLを確認する：ブックマークを選ぶ▶[決定]

おしらせ
● サイト画面では[Menu]を押し、「Bookmark」→「表示」を選択します。

少ないキー操作でサイトに接続する　ツータッチサイト登録

ブックマークをツータッチサイト登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。
・登録できるのは、iモードとフルブラウザを合わせて最大10件です。

1 [i][2]▶フォルダを選択

2 ブックマークを選ぶ▶[Menu][2]
・ツータッチサイト未登録のブックマークを選んでいる場合は、[メール]を押しても登録できます。

■ 解除する：ブックマークを選ぶ▶[Menu][2]

3 登録先を選択

- アイコンの番号（0～9）が、ツータッチでサイトを表示するときに使用するダイヤルキー（0～9）に対応します。
- ブックマーク一覧では、登録されたブックマークのマークが から0～9に変わります。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。

ツータッチでサイトを表示する

1 ダイヤルキー（0～9）▶ を押す

ツータッチサイト一覧から操作する Menu 281

1 81を押す

ツータッチサイト一覧が表示されます。

- フルブラウザのブックマークにはが表示されます。

■ サイトを表示する：ブックマークを選択

■ サイトを登録する：
①未登録を選ぶ▶Menu11
- フルブラウザのブックマークを登録する：未登録を選ぶ▶Menu12

②フォルダを選択▶ブックマークを選択

■ 解除する：ブックマークを選ぶ ▶Menu2▶「はい」を選択

■ URLを確認する：ブックマークを選ぶ▶

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成する

- 最大20個作成できます。

1 2▶Menu1

■ フォルダ名を変更する：フォルダ一覧でフォルダを選ぶ▶Menu3

■ フォルダの並び順を変更する：フォルダ一覧でフォルダを選ぶ▶Menu▶7～8

2 フォルダ名を入力（全角8文字（半角16文字）まで）▶を押す

フォルダを削除する

- フォルダが1個のときは削除できません。
- フォルダを削除すると、フォルダ内のブックマークも削除されます。

1 2▶フォルダを選ぶ▶Menu2

2 端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

ブックマークを移動／コピーする

フォルダに移動したり、miniSDメモリーカードにコピーできます。

1 2▶フォルダを選択

2 ブックマークを選ぶ▶Menu61

■ 複数移動する：Menu62▶ブックマークを選択▶

■ miniSDメモリーカードへ1件コピーする：ブックマークを選ぶ ▶Menu631▶「はい」を選択

■ miniSDメモリーカードへバックアップ（全件）する：
①Menu632
②端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

3 移動先のフォルダを選択

ブックマークのタイトルを変更する

1 2▶フォルダを選択▶ブックマークを選ぶ▶を押す

- 以降の操作は「ブックマークに登録する」の操作2と同じです。☛P209

ブックマークを削除する

1 2▶フォルダを選択

■ 全件削除する：フォルダ一覧でMenu4▶端末暗証番号を入力▶操作3に進む

2 ブックマークを選ぶ▶Menu31

■ 複数削除する：Menu32▶ブックマークを選択▶

■ フォルダ内のブックマークを全件削除する：Menu33▶端末暗証番号を入力

3 「はい」を選択

おしらせ

● ツータッチサイト登録されているブックマークを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

ブックマークを並べ替える　ソート

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、「アクセス日付順」に戻ります。

- 並べ替えはすべてのフォルダが対象です。
- アクセス日付順、タイトル名順、URL順、アクセス回数順が選択できます。

お買い上げ時　アクセス日付順

1 ◎ 2 ▶フォルダを選択▶ Menu 7 ▶ 1 ～ 4 のいずれかを押す

おしらせ

● タイトル名順の場合、タイトルに全角／半角の文字や英字、漢字、URL表示のものが混在していると、50音順にならない場合があります。

サイトの内容を保存する　画面メモ

画面メモを保存する

- 最大保存件数☛P38
- 保存できるファイルサイズは、画面内の画像などを含め1件あたり最大100Kバイトです。

1 サイトを表示▶ Menu 4 1

2 タイトル名を入力（全角12文字（半角24文字）まで）▶ ⓜ を押す

- タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。
- 画面メモ一覧では、タイトルが全角 10 文字、半角で 21 文字まで表示され、ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする画面メモを選択してください。保護されている画面メモは上書きされません。

Menu 24

画面メモを表示する

1 ◎ 4

2 画面メモを選択

- ：通常の画面メモ
- ：保護されている画面メモ

- 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。☛P206

おしらせ

● サイト画面では Menu を押し、「画面メモ」→「表示」を選択します。このとき、文字コードを変更していた場合、サイト画面に戻ると文字コードは「自動選択」に戻ります。

● 画面メモ表示画面でFlash画像を再度動作させるときは、Menu を押し、「表示」→「リトライ」を選択します。

画面メモのタイトルを変更する

1 ◎ 4 ▶画面メモを選ぶ▶ ⓘ を押す

- 以降の操作は「画面メモを保存する」の操作2と同じです。

おしらせ

● 画面メモ表示画面では Menu を押し、「タイトル変更」を選択します。

画面メモを保護する

- 最大保護件数☛P38

1 ◎ 4

2 画面メモを選ぶ▶ Menu 1 1 を押す

画面メモが保護され、マークが から に変わります。

- 解除する：画面メモを選ぶ▶ Menu 1 3

■ 複数保護する：Menu 1 2 ▶画面メモを選択▶ ⓜ

■ 複数解除する：Menu 1 4 ▶画面メモを選択▶ ⓜ

■ 全件解除する：Menu 1 5

おしらせ

● 画面メモ表示画面では Menu を押し、「保護」／「保護解除」を選択します。

画面メモを削除する

- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 ◎ 4

2 画面メモを選ぶ▶ Menu 2 1

■ 複数削除する：Menu 2 2 ▶画面メモを選択▶ ⓜ

■ 全件削除する：Menu23▶端末暗証番号を入力

3 「はい」を選択

おしらせ

- 画面メモ表示画面ではMenuを押し、「削除」を選択します。

サイトから画像を取得する

画像保存

サイトなどから、画像やフレームなどを取得し保存します。保存した画像は「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定できます。

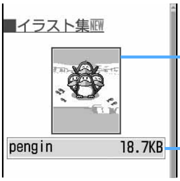
- 最大保存件数☞P38
- 保存できる画像のファイルサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- GIF形式、JPEG形式、Flash形式の画像を保存できます。

例 サイトからダウンロードするとき

1 サイトを表示▶Menu61

■ サイトの背景画像を保存する：サイトを表示▶Menu62▶操作3に進む

2 画像を選択



保存する画像に枠が付きます。

ファイル名とファイルサイズが表示されます。

- ▣以外のキーを押すと消えます。

3 各項目を選択して設定

- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限欄に「あり」と表示）の場合、表示名以外は変更できません。

表示名：
全角・半角を問わず36文字まで入力できます。

ファイル名：
半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

コメント：
全角・半角を問わず100文字まで入力できます。

フレーム候補：
画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×400または352×288を超える画像は「する」に変更できません。

スタンプ候補：
画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×400以上の画像は「する」に変更できません。

ファイル制限：
メール添付によって他の携帯電話に画像を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に画像を送信することを制限するかどうかを設定します。
- サイトからダウンロードした画像ファイルの場合は変更できません。

- 画像ファイルによっては選択できない項目があります。
- Menuを押すと、画像を設定できる一覧が表示され、待受画面などに設定できます。☞P315

4 ▣▶保存先を選択

おしらせ

- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は640×480、JPEG形式は1728×2304を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って画像を削除してください。削除する前に画像一覧で▣を押すと画像の表示、Menuを押すと詳細情報の表示ができます。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。

サイトからメロディをダウンロードする

iメロディ

サイトからメロディをダウンロードし、再生・保存します（iメロディ対応）。保存したメロディは「メロディ」から再生したり、着信音に設定できます。

- 最大保存件数☞P38
- 保存できるメロディのサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☞P332

1 サイトを表示▶メロディを選択

・ダウンロード中に Ⓜ を押すとダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択

・再生する：「再生」を選択
・保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

3 表示名を入力（全角25文字（半角50文字）まで）▶ Ⓜ を押す

メロディは、メロディの「ｉモード」フォルダに保存されます。☛P331

おしらせ

● メロディによっては正しく再生できない場合があります。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、メロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってメロディを削除してください。削除する前にメロディ一覧で Ⓜ を押すとメロディの再生、Menu を押すと詳細情報の表示ができます。

サイトからPDFデータをダウンロードする

サイトからPDFデータをダウンロードし、表示・保存します。

・最大保存件数☛P38
・保存できるPDFデータのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
・データサイズの大きいPDFデータをダウンロードした場合、高額のパケット通信料となることがありますので、ご注意ください。

1 サイトを表示▶PDFデータを選択

PDFデータがダウンロードされ、PDF対応ビューアに表示されます。☛P356

・ダウンロード中に ⓢ を押すと、ダウンロードを中止します。
・PDFデータにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して Ⓜ を押します。入力したパスワードは「*」で表示されます。

2 Menu 2

・既に同じPDFデータが保存されているときは、PDFデータによっては上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶ Ⓜ を押す

PDFデータは、マイドキュメントの「ｉモードフォルダ」に保存されます。☛P356

・ガイド行に ▮⇄▭ が表示された場合は、ⓘ を押し、Ⓜ を押すとminiSDメモリーカードに保存できます。現在の保存先はタスクバーの表示で確認できます。
・すべてのページをダウンロードしていなくても、ダウンロードしたところまで保存されます。

おしらせ

● 2Mバイトを超えるPDFデータをダウンロードしようとすると、最大サイズを超えているためダウンロードできない旨のメッセージが表示され、ダウンロードできません。
● サイズが不明の場合はダウンロードできません。
● ｉモードしおりやマークの合計サイズが100Kバイトより大きいPDFデータをダウンロードしようとすると、最大サイズを超えているためダウンロードできない旨のメッセージが表示され、ダウンロードできません。
● 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、ｉモードしおりやマークの内容が異なるときは、異なるｉモードしおりやマークが追加で保存されます。ただし、ｉモードしおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数を超える旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従って登録可能件数になるまでｉモードしおりやマークを削除してください。
● ダウンロードを中止したり、通信が切断されたりして途中までしか保存されていないPDFデータの場合、マイドキュメントからPDFデータを選択すると、再ダウンロードできます。PDFデータによっては再ダウンロードできない場合があります。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存されているPDFデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってPDFデータを削除してください。miniSDメモリーカード内のPDFデータを削除するときは通信が切断されます。削除する前にPDFデータ一覧で Menu を押すとPDFデータの詳細情報の表示ができます。
● 500Kバイトより大きいPDFデータをダウンロードする場合、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。ダウンロードする場合は「はい」を選択します。
● PDFデータを部分的にダウンロードした場合、PDFデータ表示中に Menu 8 を押すと残りのデータをダウンロードできます。

サイトから辞書をダウンロードする

サイトから辞書をダウンロードし、保存します。

- 最大10件保存できます。
- 保存できる辞書のサイズは1件あたり最大32Kバイトです。
- ダウンロードした辞書を利用できるようにするには☛P413

1 サイトを表示▶辞書を選択

- ダウンロード中に(📖)を押すとダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択

- 保存を中止する：「戻る」を選択 ▶「いいえ」を選択

3 (ⓘ)を押す

辞書は、文字入力／その他のダウンロード辞書に保存されます。

おしらせ

● 最大保存件数を超えるときは、保存できません。画面の指示に従って辞書を削除してください。

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからキャラ電をダウンロードし、保存します。

- 最大保存件数☛P38
- 保存できるキャラ電のサイズは1件あたり最大100Kバイトです。

1 サイトを表示▶キャラ電を選択

- ダウンロード中に(📖)を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択

- 表示する：「表示」を選択
- 保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

3 各項目を選択して設定

表示名：
全角・半角を問わず36文字まで入力できます。

コメント：
全角・半角を問わず100文字まで入力できます。

4 (📖)を押す

キャラ電は、キャラ電の「iモード」フォルダに保存されます。☛P328

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、キャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってキャラ電を削除してください。削除する前にキャラ電一覧で(📖)を押すとキャラ電の表示、(Menu)を押すと詳細情報の表示ができます。

● お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、iモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P426

iモードの便利な機能

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）の電話番号やメールアドレス、URLから、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信（Phone To／AV Phone To）、メールの作成（Mail To）、サイトやインターネットホームページへの接続（Web To）が行えます。

- サイトやインターネットホームページによっては、利用できない機能があります。

1 サイトを表示▶電話番号、メールアドレス、またはURLを選択

- 選べない電話番号、メールアドレス、URLは選択できません。

■ **Phone To（AV Phone To）のとき：**
発信オプションの画面が表示されます。
① **発信条件を設定☛P58**
② **(Menu)▶「はい」を選択**

■ **Mail Toのとき：**
選択したメールアドレスが宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。
① **iモードメールを作成して送信**
- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。

■ Web Toのとき：
選択したURLのサイトやインターネットホームページに接続されます。

URLをコピーする

表示中のサイトや画面メモの URL をコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
- コピーした文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと、以前にコピーした文字は上書きされます。

例 サイトの URL をコピーするとき

1 サイトのURLを表示▶Menu 1
- URLを表示する☛P207

2 コピーする範囲の開始位置を選択▶終了位置を選択
- 全文を選択する場合はMenu ◎を押します。
- 開始位置を指定し直すときはch/クリアを押します。
- 開始位置指定後にMenu、◎を押すとカーソルが文頭、文末に移動します。

3 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

おしらせ
- URL履歴一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧ではMenuを押し、「URLコピー」を選択します。ブックマーク一覧ではMenuを押し、「URL入力／URLコピー」→「URLコピー」を選択します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。
- メールにURLを貼り付けるには、サイト画面でMenuを押し、「メール作成」を選択します。表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられてメール作成画面が表示されます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する
電話帳登録

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。新規登録も、登録済みの電話帳データへの追加もできます。
- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。
- 登録済みの電話帳データへ追加する場合、以前に登録した内容が変更されてしまう場合があります。電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

例 サイト画面に表示されている電話番号を新規登録するとき

1 サイトを表示▶電話番号を選ぶ
- 選べない電話番号やメールアドレスは登録できません。

2 Menu 8 1
- 登録済みの電話帳データに追加する：Menu 8 2

3 1～2▶名前などを登録☛P111、P115
- 登録済みの電話帳データに追加する：1～2▶相手を選択▶登録内容を修正☛P123

おしらせ
- 画面メモ表示画面ではMenuを押し、「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を、メッセージR/F詳細画面ではMenuを押し、「登録」→「電話帳新規」または「電話帳更新」を選択します。

URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧からURLを電話帳に登録します。新規登録も、登録済みの電話帳データへの追加もできます。
- 登録済みの電話帳データへ追加する場合、以前に登録した内容が変更されてしまう場合があります。電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

例 ブックマーク一覧から登録するとき

1 ◎ 2▶フォルダを選択

2 ブックマークを選ぶ▶Menu 8 1
- 登録済みの電話帳データに追加する：ブックマークを選ぶ▶Menu 8 2

3 名前などを登録☛P111、P115
- 登録済みの電話帳データに追加する：相手を選択▶登録内容を修正☛P123

おしらせ
- 画面メモ一覧ではMenuを押し、「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を選択します。
- サイト画面からURLを表示した場合は登録できません。

iモードの設定を行う

iモード設定

Menu 282

接続待ち時間を設定する　接続待ち時間設定

iモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続を中断するので、キー操作で中断する必要はありません。

お買い上げ時　60秒間

1 [iモード][8][2]▶[1]～[3]のいずれかを押す

おしらせ

●「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりiモードセンターとの接続が中断されることがあります。

Menu 288

iモードから接続先を変更する（ISP接続通信）　接続先設定

※ドコモのiモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　iモード（FOMAカード）

■ ISP接続通信とは

ドコモのiモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）へ接続できます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- ISP接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。
- ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

■ プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。
- 通信中は接続先を設定／変更できません。

1 [iモード][8][8]

2 ユーザ設定1～10のいずれかを選ぶ▶[Menu]▶端末暗証番号を入力

■ iモードを利用する設定に戻す：「iモード（FOMAカード）」を選択▶操作5に進む

■ 以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶操作5に進む

3 各項目を選択して設定▶[決定]

接続先名称：
全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

接続先：
半角英数字で99文字まで入力できます。

接続先アドレス：
半角英数字で30文字まで入力できます。

接続先アドレス2：
半角英数字で30文字まで入力できます。

- 接続先アドレス2はiチャネルの接続先です。☛P293

- [Menu]を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

4 編集した接続先を選択

5 [決定]を押す

おしらせ

●接続先を変更した場合、待受画面にiチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で[ch/クリア]を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

Menu 286

画像表示／効果音を設定する　表示・効果設定

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像や効果音（Flash再生時）を設定します。

お買い上げ時　画像、アニメーション：表示する
端末情報データ利用設定：利用する
効果音設定：ON

1 [iモード][8][6]

2 各項目を選択して設定

画像：
画像を表示するかどうかを設定します。

- 「表示しない」に設定すると、画像やFlash画像、アニメーションは表示されず、[アイコン]が表示されます。また、アニメーション、端末情報データ利用設定は設定できません。

アニメーション：
アニメーションを再生して表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。

端末情報データ利用設定：
Flash画像を表示するときに、FOMA端末内の登録データを利用するかどうかを設定します。

効果音設定：
Flash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。

3 (ⓜ)を押す

おしらせ

- サイト画面、画面メモ表示画面では(Menu)を押し、「表示」→「表示・効果設定」を選択します。
- ｉチャネル一覧で(Menu)を押し、「効果音設定」を選択すると、Flash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定できます。
- 画像を「表示しない」に設定すると、ｉモードメールにWeb To機能を使用して添付されてきた画像の保存や表示もできなくなります。
- アニメーションを「表示しない」に設定してもFlash画像は再生されます。
- 画像の設定は、添付ファイルとして添付されている画像やメッセージR/Fの本文中の画像には反映されません。また、効果音設定のON／OFFもメッセージR/Fには反映されません。
- 端末情報データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、電話着信音量、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

Menu 283

サイト表示中のディスプレイの照明を設定する　照明設定

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの照明を設定します。
- 本機能での設定内容は、ディスプレイの照明設定（☛P150）の点灯時間設定（ｉモード中）にも反映されます。

お買い上げ時　端末設定に従う

1 (ⓘ)(8)(3)▶(1)～(2)のいずれかを押す

端末設定に従う：
ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

常灯：
ディスプレイの照明が常時点灯します。

おしらせ

- サイト画面、画面メモ表示画面では(Menu)を押し、「表示」→「照明設定」を選択します。

メッセージR/Fを受信したときは　メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータ、決定キーの照明でお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。
- 最大保存件数☛P38

1 メッセージR/Fを受信

点滅



受信中画面

受信完了

点滅



R：未読のメッセージRあり
F：未読のメッセージFあり

受信結果(スクロール表示)

受信したメッセージR/Fの件数
受信に失敗したときは「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

受信結果画面

と R または F が点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。
受信が完了すると、メッセージR/F着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。
- 受信中画面で(☎)を押すと受信を中止します。
- 受信結果画面は何も操作しないと約15秒間、メッセージ着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときは着信音が鳴り終わるまで表示されます。ただし、メッセージ自動表示に設定したメッセージR/Fを受信した場合は、受信前の画面に戻

つづく

る前に、未読のメッセージR/Fの内容が表示されます。早く受信前の画面に戻すには[ch/クリア]を押します。

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の古いメッセージR/Fから順に上書きされます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。☛P220
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には（赤）や（赤）が表示されます（☛P29）。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示（☛P219）、不要メッセージR/Fの削除（☛P220）、保護解除（☛P220）などを行う必要があります。
- 受信表示設定の設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されません。☛P262
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - プッシュトーク通信中
  - セルフモード中
  - 受信に失敗したとき
  - 圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - お預かりセンター接続中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは、や（☛P29）が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数（☛P203）が満杯になったときは、マークがや（☛P29）に変わります。

新着メッセージR/Fを表示する

1 受信結果画面で[2]～[3]



- 受信したメッセージRは「メッセージR」、メッセージFは「メッセージF」に保存されます。

2 メッセージR/Fを選択

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。また、自動再生されないようにも設定できます。☛P260
  ただし、メッセージR/Fを自動表示した場合は再生されません。
- メッセージR/Fの画面の見かた☛P219

Menu 2631

メッセージR/Fを自動的に表示する

メッセージ自動表示

メッセージR/Fを受信したときに、その内容を自動的に表示（約15秒間）するかどうかを設定します。また、メッセージR/Fのどちらかのみ、または、メッセージR/Fのいずれかを優先して表示するようにも設定できます。

お買い上げ時　メッセージR優先

1 [MENU][6][3][1]▶[1]～[5]のいずれかを押す

おしらせ

- 待受画面表示中の場合だけ自動表示できます。受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信した場合は自動表示されません。
- 自動表示するように設定すると、メッセージR/Fの受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容が自動表示されます。自動表示中にキー操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。

Menu 2634

メッセージR/F着信時の動作を設定する

メッセージ着信設定

- 本機能での設定内容は、音の設定、イルミネーション設定、バイブレータ設定にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　着信音選択：メロディ／メール・メロディC
着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／レモン　バイブレータ設定：OFF
鳴動時間：10秒

例　メッセージR着信時の動作を設定するとき

1 [MENU][6][3][4][1]

■ **メッセージF着信時の動作を設定する：**
[MENU][6][3][4][2]

2 各項目を選択して設定

着信音選択：

「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。

- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P133

着信イルミネーション設定：
着信時の決定キーの照明の点灯パターンと点灯色を設定します。
・点灯パターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定すると点灯色は設定できません。

バイブレータ設定：
着信時の振動を設定します。

鳴動時間（秒）：
着信音が鳴動している時間を設定します（1～30秒）。

3 **(電話帳キー)を押す**

おしらせ

● メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定すると、イルミネーションやバイブレータが動作しないことがあります。

Menu 261 / Menu 262

保存されているメッセージR/Fを表示する　メッセージR／メッセージF

・未読のメッセージ R/F があるときは待受画面に [R] または [F] が表示されます。

例 メッセージ R を表示するとき

1 (メニュー) [6] [1]

■ メッセージFを表示する：(メニュー) [6] [2]

2 **メッセージRを選択**

メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージRとメッセージFの画面の見かたは同様です。

■ **メッセージR/F一覧画面**



ページ番号／総ページ数

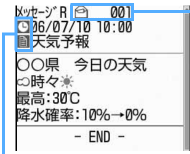
受信日時とタイトル

・受信日時には、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

① (未読マーク)：未読　(既読マーク)：既読　(保護マーク)：保護

② (画像マーク)：画像あり　(メロディマーク)：メロディあり
(トルカマーク)：トルカあり　(複数添付マーク)：複数添付ファイルあり

■ **メッセージR/F詳細画面**



状態マーク、添付ファイルマーク（添付ファイルがあるときのみ）、メッセージR/F番号

(時計マーク)：受信日時　(タイトルマーク)：タイトル

・(左右キー)で前後のメッセージR/Fを表示できます。

● 添付ファイルがある場合、メッセージ R/F 詳細画面にマークと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。
・画像のマークの意味☛P244
・メロディのマークの意味☛P246
・トルカのマークの意味☛P247

● 本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。
画像を受信できなかったときはマークが表示されます。マークはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです（☛P204）。

添付されているファイルを表示・保存する

メッセージ R/F に添付されている画像やトルカを表示・保存したり、メロディを再生・保存します。

例 添付されているファイルを保存するとき

1 **メッセージR/F一覧を表示**

2 **メッセージR/Fを選択**

3 **添付ファイルのファイル名を選ぶ▶(Menu) [5] [2]**

・画像の場合、以降の操作方法は「サイトから画像を取得する」の操作3以降と同じです。
☛P212
・メロディの場合、以降の操作方法は「サイトからメロディをダウンロードする」の操作3と同じです。☛P213

■ **表示・再生する：ファイル名を選択**
・画像の場合は、表示／非表示が切り替わります。

■ **タイトルを表示する：ファイル名を選ぶ▶(Menu) [5] [3]**
・画像の場合は操作できません。

おしらせ

● 本文中の画像や背景画像を保存する場合は、(Menu) を押し「画像保存」→「画像選択」または「背景画像保存」を選択し、画像を選択します。

メッセージR/Fを保護する　メッセージ保護

・最大保護件数☛P38
・未読のメッセージR/Fは保護できません。

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fを選ぶ▶Menu 2 1 を押す

メッセージ R/F が保護され、マークが（アイコン）から（アイコン）に変わります。
・解除する：メッセージR/Fを選ぶ▶Menu 2 3

■ **複数保護する：Menu 2 2 ▶メッセージR/Fを選択▶（アイコン）**

■ **複数解除する：Menu 2 4 ▶メッセージR/Fを選択▶（アイコン）**

■ **全件解除する：Menu 2 5**

おしらせ

● メッセージR/F詳細画面ではMenuを押し、「保護」／「保護解除」を選択します。

メッセージR/Fを削除する　メッセージ削除

・保護されているメッセージR/Fは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fを選ぶ▶Menu 1 1

■ **既読のメッセージR/Fのみを削除する：Menu 1 2**

■ **複数削除する：Menu 1 3 ▶メッセージR/Fを選択▶（アイコン）**

■ **全件削除する：Menu 1 4 ▶端末暗証番号を入力**

3 「はい」を選択

おしらせ

● メッセージR/F詳細画面ではMenuを押し、「削除」を選択します。

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ　表示種別

メッセージ R/F 一覧に、指定した種別のメッセージR/F だけを一時的に表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
・すべて表示、未読のみ表示、既読のみ表示、保護のみ表示が選択できます。

1 メッセージR/F一覧を表示▶Menu 3 ▶ 1 ～ 4 のいずれかを押す

・「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

Menu 2851

証明書を表示して有効／無効を設定する　証明書表示／使用設定

お買い上げ時　すべて有効

証明書を表示する

・ユーザ証明書はダウンロードすると表示されます。
・青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 （アイコン） 8 5 1 ▶証明書を選択

CA証明書：
認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。

ドコモ証明書：
FirstPass センターや FirstPass 対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめFOMAカード内に保存されています。

ユーザ証明書：
FirstPass 対応サイトへ接続するために必要な証明書です。
FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードすると FOMA カード内に保存されます。

おしらせ

● 証明書の表示内容
所有者
CN=：（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
O=　：（Organization）会社名など
C=　：（Country）国名
発行者
CN=：（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
OU=：（Organization Unit）会社の部署など
O=　：（Organization）会社名など
有効期限
シリアル番号

● 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

1 [i] 8 5 1

2 証明書を選ぶ▶Menu

・押すたびに有効／無効が切り替わります。

3 [m]を押す

チェックされている証明書が有効となって設定されます。

おしらせ

● ドコモ証明書2は無効に設定できません。
● ドコモ証明書、ユーザ証明書の設定は、FOMAカードに保存されます。

Menu 2852

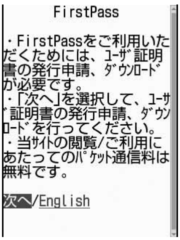
FirstPassを設定する　ユーザ証明書操作

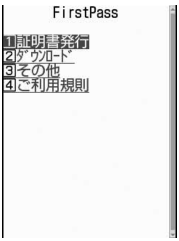
FirstPassセンターに接続して、ユーザ証明書の発行申請をし、ダウンロードします。

・FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
・FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

1 [i] 8 5 2

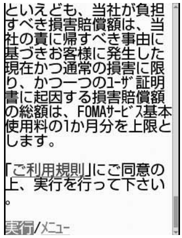
2 「次へ」を選択▶「1証明書発行」を選択





■ **発行された証明書を失効させる：**
①「次へ」を選択▶「3その他」を選択
②「1証明書失効」を選択▶「はい」を選択
③ PIN2コードを入力▶「実行」を選択
④「次へ」を選択
⑤「実行」を選択

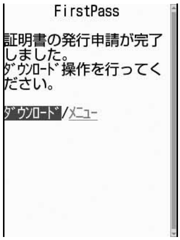
3 「実行」を選択



4 PIN2コードを入力

・60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

5 「ダウンロード」を選択▶「実行」を選択





・ダウンロードされたユーザ証明書は、証明書の一覧に追加されます。☛P220

おしらせ

● FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
● ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。
● 添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPass を使った通信ができます。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードしてください（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPass ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
- PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

Menu 2853

証明書発行接続先を変更する

証明書発行接続先設定

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時 ドコモ

1 [メニュー][8][5][3]

2 **接続先欄を選択▶[2]**

- FirstPassに接続する設定に戻す：接続先欄を選択▶[1]▶操作5に進む

3 **ユーザ設定接続先欄を選択▶接続先を入力（半角英数字99文字まで）**

4 **ユーザ設定初期画面URL欄を選択▶URLを入力（半角英数字100文字まで）**

5 **[i]を押す**

iモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生・保存します。保存した映像や音はiモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません）。
iモーションには大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得時にデータの種類を変更したり、選択したりできません。

■ **標準タイプ（保存可※1）**

再生動作	説　明
データを取得しながら再生（最大500Kバイト）	iモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得後に再生するiモーションと同様に操作できます。
データを取得後に再生（最大500Kバイト）	iモーションのデータをすべて取得後に再生します。

※1：保存できないiモーションもあります。

■ **ストリーミングタイプ（保存不可）**

再生動作	説　明
データを取得しながら再生（最大2Mバイト）	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったiモーションのデータは消去され、FOMA端末に保存できません。

サイトからiモーションを取得する

- 最大保存件数☛P38

1 **サイトを表示▶iモーションを選択**

iモーションの取得が始まり、完了するとその旨のメッセージが表示されます。

- ストリーミングタイプのiモーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、取得しながら再生します。再生が終了すると取得が完了した旨のメッセージが表示されますが、保存はできません。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

・ｉモーション設定のｉモーションタイプ設定を「標準タイプ」に設定しているときにストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとすると、設定を変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択してｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定すると、ストリーミングタイプのｉモーションを取得できます。☛P224

■ **データを取得しながら再生するｉモーション：**
ｉモーションを取得しながら再生します。再生終了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。



受信済みのデータ量／全体のデータ量

・再生中は次の操作ができます。
[●]：一時停止／再生（標準タイプのみ）
[▲▼]：音量調整
[ⓜ]：中断（ストリーミングタイプ）
停止（標準タイプ。[●]を押すと先頭から再生）
[Menu]：詳細情報の表示

・再生を一時停止または停止しても、データの受信は継続します。
・中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「はい」を選択します。
・ｉモーション設定の自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、自動再生されません。

■ **データを取得後に再生するｉモーション：**
取得が完了すると、自動的に再生されます。



・再生中は次の操作ができます。
[●]：一時停止／再生　[▲▼]：音量調整
[▶]：早送り再生　[◀]：巻戻し再生
[ⓜ]：停止（取得が完了した旨のメッセージ表示）
[Menu]：詳細情報の表示

・ｉモーション設定の自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、自動再生されません。

2 「保存」を選択

・ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。
・もう一度再生する：「再生」を選択
・詳細情報を表示する：「情報表示」を選択
・保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[ⓜ]を押す

取得したｉモーションは、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

・ガイド行に[アイコン]が表示された場合は、[Ⓔ]を押し、[ⓜ]を押すとminiSDメモリーカードに保存できます。保存したｉモーションは、コンテンツ移行対応のｉモーションのホームフォルダに保存されます。☛P340
現存の保存先はタスクバーの表示で確認できます。

■ **取得したｉモーションのテロップにリンクが設定されている：**
テロップ中に電話番号やメールアドレス、サイトなどへのリンクが設定されているときは、再生を終了するか中断するとPhone To、AV Phone To、Mail To、Web Toを利用できます。Phone To、AV Phone To の場合は、発信オプションの画面が表示されます。Mail To、Web Toの場合は、確認画面が表示されます。

・Phone To（AV Phone To）の場合は、[ⓜ]を押すと電話番号を電話帳に登録できます。Mail To の場合は、「電話帳登録」を選択するとメールアドレスを電話帳に登録できます。
・ｉモーションが保存されていない場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。
・複数のリンク項目があるときは、1つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

■ **待受画面に設定する：[Menu][1]▶「はい」を選択**
・拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
・ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **電話帳に新規登録する：[Menu][2]▶名前などを設定して登録**

■ **登録済みの電話帳データに追加する：**Menu 3 ▶**相手を選択**▶**内容を確認して登録**

- 既に動画／ｉモーションが設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ **着モーションに設定する：**Menu 4 ▶ 1 ～ 7

■ **メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：**
①Menu 4 ▶ 8 ～ 9 ▶**相手を選択**
②**内容を確認して**(田)

- 既に着信音が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- メモリ番号入力について☛P123「登録内容を修正する」操作4

■ **着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定する：**Menu 5 ▶ 1 ～ 2

- 既に着信画像が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

おしらせ

- 待受画面や電話帳などに設定するときの注意事項については☛P323
- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていれば取得完了後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- データを取得しながら再生するｉモーションでも、サイトの状況などによって取得中は再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ｉアプリからｉモーションを利用して、保存する前に詳細情報を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに電話がかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になった場合は、取得が中断され、再生が中止されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ｉモーションを削除してください。miniSDメモリーカード内のデータを削除するときは通信が切断されます。削除する前に、動画／ｉモーション一覧で(田)を押すと動画／ｉモーションを再生し、Menuを押すと動画／ｉモーションの詳細を表示できます。

Menu 287

ｉモーションの自動再生と取得するタイプを設定する　ｉモーション設定

ｉモーションを自動的に再生するかどうかや取得するｉモーションのタイプを設定します。

お買い上げ時　自動再生設定：自動再生する
ｉモーションタイプ設定：標準タイプ

1 (i) 8 7

2 各項目を選択して設定

自動再生設定：
標準タイプのｉモーションを取得中、または取得完了後に自動的に再生するかどうかを設定します。
- 「自動再生しない」に設定しても、ｉモーション取得完了後「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定に関わらず自動的に再生されます。

ｉモーションタイプ設定：
取得するｉモーションのタイプを設定します。
- ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは「標準・ストリーミングタイプ」を選択します。

3 (田)**を押す**

おしらせ

- サイト画面から操作する場合はMenuを押し、「表示」→「ｉモーション設定」を選択します。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

メール

FOMA端末のメール機能について...226

ｉモードメール／デコメールを作成する

ｉモードメールを作成して送信する..................ｉモードメール作成・送信 230
デコメールを作成して送信する..デコメール 232
ファイルを添付する..添付ファイル 236
メールテンプレートを利用する..238
ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する........ｉモードメール保存 239
手早くメールを作成する..クイックメール 240

ｉモードメールを受ける・操作する

ｉモードメールを受信したときは......................................メール自動受信 241
ｉモードメールを選択して受信する..................................メール選択受信 242
ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる..................ｉモード問合せ 243
ｉモードメールに返信する..ｉモードメール返信 243
ｉモードメールを他の宛先に転送する..........................ｉモードメール転送 244
添付されている画像を表示・保存する..................................画像表示・保存 244
ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する..............................245
ｉモードメールからメロディを再生・保存する............メロディ再生・保存 246
ｉモードメールからトルカを表示・保存する..247
添付ファイルを削除する..添付ファイル削除 247

メールBOXを操作する

受信／送信メールBOXのメールを表示する
....受信メールBOX／送信メールBOX 248
メールの便利な機能..254
メールをお預かりセンターに保存する...................電話帳お預かりサービス 255

メールの設定を行う

FOMA端末のメール機能を設定する..メール設定 256

チャットメールを使う

チャットメールを作成して送信する..................チャットメール作成・送信 262

SMS（ショートメッセージ）を使う

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する..............SMS作成・送信 266
SMS（ショートメッセージ）を受信したときは..........................SMS受信 267
SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる
....SMS問合せ 268
SMS（ショートメッセージ）の設定を行う................................SMS設定 268
SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する
....FOMAカード保存SMS 268

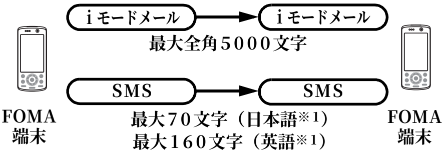
FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、iモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

- iモードメールをご利用いただくには、iモードのご契約が必要です。
- SMSは、iモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

メール機能の送受信について

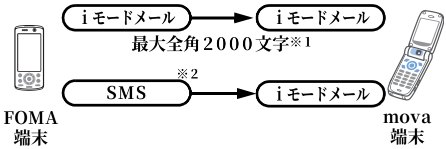
FOMA端末→FOMA端末



※1：SMS設定の送信文字種で設定します。

FOMA端末→mova端末

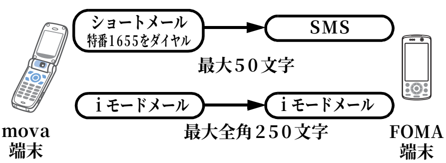
FOMA端末から送信したSMSは、mova端末ではiモードメールとして受信します。



※1：mova端末の設定により異なります。
※2：SMS設定で送達通知を「要求する」に設定している場合は、mova端末に送信できません。

mova端末→FOMA端末

mova端末から送られたショートメールはSMSとして受信します。



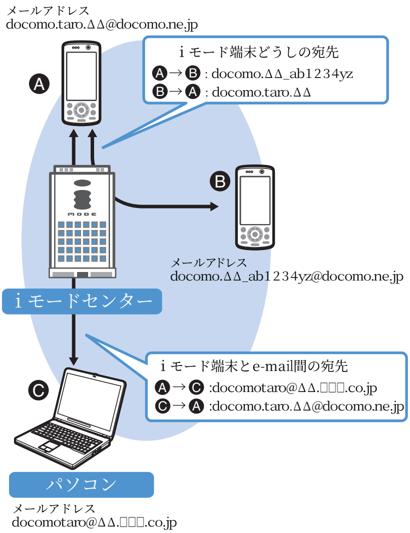
- ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

iモードメールについて

iモードを契約するだけで、iモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
iモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

> **新規にiモードをご契約の場合**
> @マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、iモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
> (例)abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
> - **お客様のメールアドレスの確認方法**
>   iMenu→料金&お申込・設定→メール設定→アドレス確認

- iモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。



- メールの送信方法は☛P230
- メールの受信方法は☛P241

■ メール選択受信

iモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除することができます。☛P242

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

設定方法
ｉMenu →料金＆お申込・設定→メール設定→【各設定】

・詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ **メールアドレス変更【メールアドレス設定（アドレス変更）】**
たとえば「docomo.ΔΔ_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ **メールアドレス確認【メールアドレス設定（アドレス確認）】**
現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ **シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）→シークレットコード登録】**
電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて 4 桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ **メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）→アドレスリセット】**
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ **迷惑メール対策**
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① **受信／拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→受信／拒否設定】**
・ドコモ・au・ボーダフォン・TU-KA・ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます。そして、インターネットからの携帯・PHSドメインになりすましたメールを拒否することもできます。

② **SMS拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→SMS拒否設定】**
・受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMSと国際SMSの拒否」の4つの中から選択いただけます。また、設定の状況を確認することができます。

③ **ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】**
・1日に1台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④ **未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）→未承諾広告※メール拒否】**
・受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

■ **メールサイズ制限【メール受信設定（メールサイズ制限）】**
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

■ **設定状況確認【メール受信設定（設定状況確認）】**
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ **メール機能停止【メール機能停止】**
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	－	50文字
本文	5000文字	10000文字

おしらせ

● ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
● 本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
● mova端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、ｉショット・ｉモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。

●題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
●ｉモード端末（mova端末含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合や圏外などで受信できないときは、メールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大３回再送されます。また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信できます。

おしらせ

●ｉモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

項　目	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件 (約2Mバイトまで)	720時間

●保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
●最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には または が表示されます。
なお、メール選択受信設定「ON」時は、保管件数を超えても または は表示されません。
●ｉモード端末でメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはｉモード端末に保存されます。
●極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。
●ｉモードセンターに保管されているメールは、ｉモード問合せやメール選択受信により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。

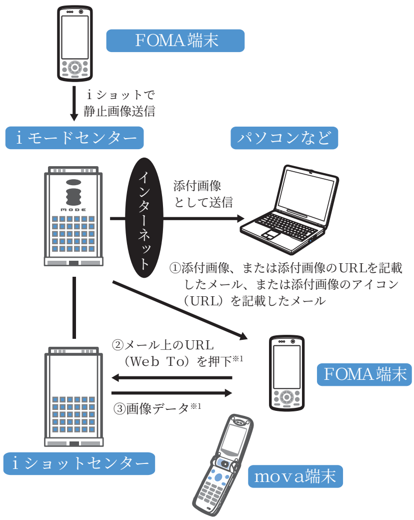
こんなこともできます

■ **ファイル添付メール**

・**メロディ添付メール**
サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません）。
・送信する☛P236　・受信したとき☛P246

・**画像添付メール**
サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません）。
・送信する☛P236　・受信したとき☛P244

■ **ｉショット**
カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてｉモード端末（mova端末含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを押下することで画像を取得できます。
mova端末へ送信できるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。
・送信する☛P236　・受信したとき☛P244



※1：添付画像のURLを記載したメールを受信した場合
・ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
・ｉモード端末が、送信できるのは最大500Kバイトまでの静止画となります。また、20Kバイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■ ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

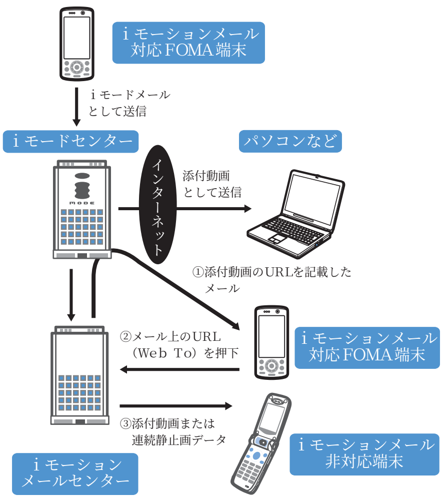
・ｉモーションメールを送信する☛P236
・ｉモーションメールを受信したとき☛P245

・**サービスのしくみ**

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます）。

ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを押下して動画を取得することができます。

ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、連続静止画を取得します。



・ｉモーションメールセンターでは最大10日間まで画像が保管され、保管期間経過後、自動的に削除されます。
・ｉモーションメール対応端末が、受信できるのは最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。

デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。

・デコメール編集方法☛P232
・デコメール送信方法☛P232
・対応機種･･･デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。☛P231

・通信料は、1通のみ送信した場合と同じです（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます）。

■ CC、BCC送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTO、CC、BCCから選択できます。

ただし、TOが1件もない場合は、メールを送信できません。☛P231

■ チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

・通信料は、相手が複数の場合メール同報送信したときと同じです。

SMS（ショートメッセージ）について

FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。

・送信方法☛P266　・受信方法☛P267
・問合せ方法☛P268

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

・ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間で送受信を行う場合については、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

送信文字種の設定（☛P268）により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字のみ）※1	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※2

※１：半角の「+」を含めた場合は21文字になります。
※２：半角の英数字と記号（`。｢｣、･゛゜を除く）を送信できます。
記号（|＾{}[]~¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

おしらせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。☛P268
- 保管期間が超過したSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せにより受信できます。☛P268
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていた SMS は削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。

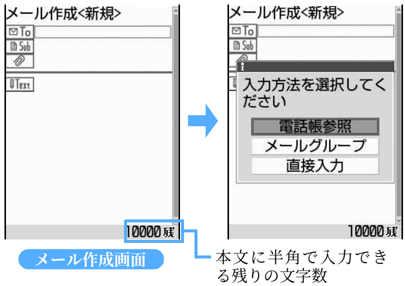
こんなこともできます

■ **送達通知**
送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取れます。☛P268

■ **FOMAカードへの保存**
受信したSMSや送信したSMSをFOMAカードに保存できます。☛P268

iモードメールを作成して送信する
iモードメール作成・送信

1 **✉（1秒以上）▶✉To欄を選択**



2 **「直接入力」を選択▶宛先を入力（半角50文字まで）**

- iモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- かな入力方式の場合、半角英字入力モードで、1を繰り返し押すと「.」「@」「-」などを、*を繰り返し押すと「.com」「.ne.jp」「.co.jp」などを入力できます。
- 相手がシークレットコードを登録しているときは、相手のiモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードの入力が必要です。

■ **電話帳から検索する：「電話帳参照」を選択▶相手を選択**
- メールアドレスを複数登録しているときは、メールアドレスを選択します。

■ **メールグループから入力する：「メールグループ」を選択▶メールグループを選択**
- メールグループにあらかじめメールアドレスを登録しておく必要があります。
- 既に入力されている宛先との合計が 5 件を超える場合、メールグループは追加できません。
- メールグループを選びMenuを押すとメールグループの詳細を確認できます。

3 **Sub欄を選択▶題名を入力（全角15文字（半角30文字）まで）**

4 **Textを選択▶本文を入力（全角5000文字（半角10000文字）まで）**

- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、#を押すと改行できます（全角／半角数字入力モードを除く）。
- 全角・半角の空白や改行も本文の文字数に含まれます。
- 本文を装飾できます。☛P232

■ 署名を挿入する：Menu 5 5
- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

5 ⓜを押す
- 接続中画面で◉を、送信中画面でⓜを押すと送信が中止され、「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、「未送信BOX」フォルダに保存されても、操作のタイミングによっては送信されていることがあります。
- 圏外の場合、既に保存済みの圏内自動送信メールが4件以下のときは、圏内自動送信するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

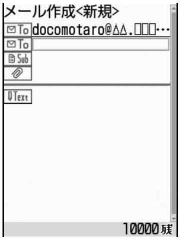
おしらせ

- ●他の機能が起動したりして、10000バイトを超えるメールが自動保存された場合、作成中のメールの一部が保存されないことがあります。
- ●電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ●送信が正常に終了したときは、ｉモードメールが「送信メール」の「送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。
- ●送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信メール」からｉモードメールを編集・送信できます。
- ●ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示され、「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存される場合があります。
- ●ｉモード端末（mova端末含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。ただし、一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- ●顔文字は相手の端末の表示文字数やフォント、ディスプレイの大きさによっては、形がくずれたり見え方が異なったりするなど、正しく表示されない場合があります。
- ●ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- ●保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。☛P253

宛先を追加する　宛先追加

ｉモードメールは最大5人の相手に同時に送信（同報送信）できます。
- 宛先の種別には［To］(TO)、［Cc］(CC)、［Bcc］(BCC)の3種類があります。
  ［To］：通常の宛先に使います。
  ［Cc］：TOの宛先に送ったメールの内容を他の相手に知らせるときに使います。
  ［Bcc］：CCと同じように他の相手に知らせるときに使いますが、BCCで指定した宛先は他の相手には表示されません。
- ［To］欄に宛先が1件も入力されていないメールは送信できません。

1 メール作成画面で宛先欄を選ぶ▶✉



宛先欄が追加されます。
- 送信する宛先数分の宛先欄ができるまで繰り返します。

■ **CC、BCCを追加する：**
①**メール作成画面で Menu 7 ▶ 入力方法を選択**
②**「CC」または「BCC」を選択▶メールアドレスを入力**
- 「TO」も選択できます。
- 「メールグループ」を選択した場合は、あらかじめメールグループに設定してあるTO、CC、BCCが設定されます。

■ **TO、CC、BCCを変更する：宛先欄を選ぶ▶ Menu 9 ▶宛先種別を選択**

■ **追加した宛先欄を削除する：宛先欄を選ぶ▶ Menu 8 ▶「はい」を選択**
- 宛先欄が1件のときは入力されているアドレスのみが削除されます。

2 追加された宛先欄に宛先を入力▶ⓜを押す
- 操作方法は宛先欄が1件の場合と同じです。

おしらせ

- ●［To］欄と［Cc］欄に入力したメールアドレスは受信側に表示されますが、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。
- ●送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。◉を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。

デコメールを作成して送信する

デコメール

ｉモードメールの本文に、文字サイズや文字色、背景色の変更や、撮影した静止画や画像の挿入などの装飾（デコレーション）を行い、デコメールを作成できます。

■ **装飾例**

❶文字色



❷文字サイズ



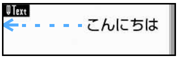
❸画像挿入



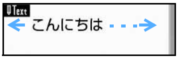
❹点滅



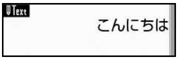
❺テロップ



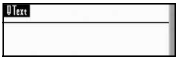
❻スウィング



❼文字位置



❽ライン挿入



❾背景色



■ **デコメール作成の流れ**

ステップ1　メール作成画面からメール本文の入力画面を表示する

ｉモードメール作成で本文を入力できる状態にします。

ステップ2　文字入力や装飾を行う

- 装飾した文字や画像を入力する：操作方法については☛P232「装飾を指定してから文字を入力する」
- 入力した文字を装飾する：操作方法については☛P234「文字を入力してから装飾を指定する」
- 編集中に Menu 0 を押すと、プレビュー画面で装飾を確認できます。

ステップ3　装飾を確認して送信する

メール作成画面で装飾を確認します。

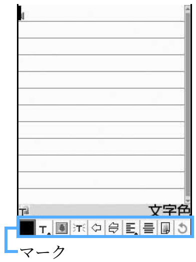
おしらせ

- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、ch/クリア を1秒以上押して文字をすべて削除すると、装飾データ（背景色は除く）もすべて削除されます。
- パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間がたつと自動的に停止します。
- デコメールを非対応端末へ送信した場合、デコメール閲覧用URLが記載されたメールとして受信されます。URLの記載されたメールを転送したり、URLを直接入力しても、デコメールの閲覧はできません（受信した端末以外からは閲覧できません）。

装飾を指定してから文字を入力する

1　メール作成画面で Text を選択▶ ✉

2　装飾を選択▶文字を入力



装飾選択画面

装飾選択画面でマークを選び ● を押すと、その装飾が選択状態になります。複数のマークを選択状態にすれば、複数の装飾を同時に設定できます。ただし、「テロップ」「スウィング」「文字位置」は同時に設定できません。

- 複数の装飾を設定する：装飾選択画面でマークを選ぶ▶ Menu
- 選択状態の装飾を解除して文字を入力する：入力位置を選ぶ▶ ✉ ▶ i 解除される装飾は「文字色」「文字サイズ」「点滅」「テロップ」「スウィング」「文字位置」です。

■ **文字色：**
文字およびライン（罫線）の色を変更します。

T T T **文字サイズ：**
文字サイズを変更します。

画像挿入：画像を挿入します。

点滅：文字を点滅して表示します。

テロップ：
文字を流して表示（テロップ表示）します。

スウィング：
文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）します。

文字位置：
文字および画像の位置を変更します。

ライン挿入：ライン（罫線）を挿入します。

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

背景色：本文の背景色を変更します。
元に戻す：1つ前の状態に戻します。

3 Menu 0 ▶装飾を確認

設定した装飾と、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

4 確認が終わったら

■ 装飾を変更する：Menu 1 8 ▶開始位置を選ぶ▶

- 以降の操作は「文字を入力してから装飾を指定する」の操作2以降と同じです。☛P234

■ 装飾をすべて解除する：Menu 1 9

5 ▶ を押す

おしらせ

● メール本文の入力画面で Menu を押し、「デコレーション」を選択しても装飾を選択できます。

デコメール装飾選択画面の操作

- （ ）内の装飾例番号は P232（装飾例）の番号です。

■ 文字色を変更する（装飾例❶）：■を選択▶文字色を選択▶文字を入力



- 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。
- 絵文字の文字色も変更されます。範囲を選択して文字色を「指定なし」にすると元の色に戻ります。操作方法については☛P234「文字を入力してから装飾を指定する」

■ 文字のサイズを変更する（装飾例❷）：T（または T T）を選択▶文字サイズを選択▶文字を入力



「大」にしたとき

■ 画像を挿入する（装飾例❸）：を選択▶「本体」を選択▶フォルダを選択▶画像を選択

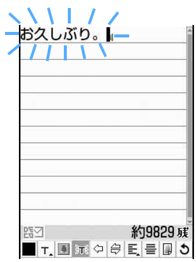
- miniSDメモリーカード内の画像を挿入する：「miniSDカード」を選択▶1～2▶フォルダを選択▶画像を選択
- 静止画を撮影して挿入する：「静止画を撮影」を選択▶静止画を撮影▶
  - 静止画のサイズは自動的に電話帳用（96×72）に設定されます。
- お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャ☛P424



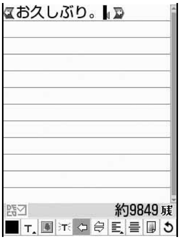
カーソル位置に画像が挿入されます。

- 「本体」の場合、挿入できない画像は表示されません。「miniSDカード」の場合、挿入できない画像を選択すると、挿入できない旨のメッセージが表示されます。
- 画像を挿入すると入力可能な文字数を超える場合は、挿入できない旨のメッセージが表示されます。

■ 文字を点滅させる（装飾例❹）：T を選択▶文字を入力



■ 文字をテロップにして右から左へ動かす（装飾例❺）：を選択▶文字を入力



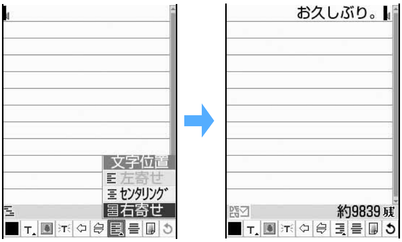
・ と の間に文字を入力します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かす（装飾例❻）：を選択▶文字を入力



・ と の間に文字を入力します。

■ 文字の位置を変更する（装飾例❼）：（または ）を選択▶位置を選択▶文字を入力



「右寄せ」にしたとき

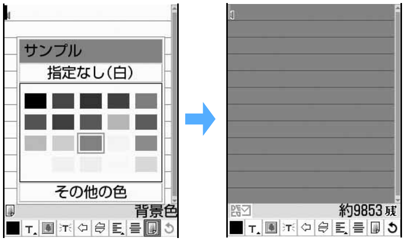
・カーソルがある行に文字が入力されている場合は、改行されます。

■ ライン（罫線）を挿入する（装飾例❽）：を選択



文字色（■）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

■ 本文の背景色を変更する（装飾例❾）：を選択▶背景色を選択



・標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。

■ 1つ前の状態に戻す：を選択

直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

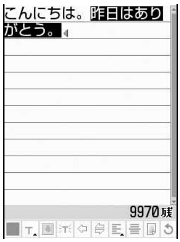
文字を入力してから装飾を指定する

メール本文に入力されている文字や、既に装飾されている文字は、範囲を指定して操作します。

・操作3の（ ）内の装飾例番号はP232（装飾例）の番号です。
・ライン挿入、画像挿入、背景色は操作できません。装飾を指定してから操作してください。

1 メール本文の入力画面で開始位置を選ぶ▶

2 終了位置を選ぶ▶



・開始位置から文頭までを選択する：
・開始位置から文末までを選択する：
・本文すべてを選択する：

3 装飾方法を選択



・装飾の確認や解除方法は、装飾を指定して文字を入力する場合と同じです。
☛P232

■ 文字色を変更する（装飾例❶）：1▶文字色を選択

・ライン（罫線）の色も変更されます。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

■ 文字のサイズを変更する（装飾例❷）：2▶1～3

■ 文字を点滅させる（装飾例❹）：31
- 解除するとき：32

■ 文字をテロップにして右から左へ動かす（装飾例❺）：41
- 解除するとき：42

■ 文字を左右にスウィングさせて動かす（装飾例❻）：51
- 解除するとき：52

■ 文字の位置を変更する（装飾例❼）：6▶1～3
- 画像の位置も変更されます。

■ 文字をコピーする：7

■ 文字を切り取る：8

■ 1つ前の状態に戻す：9
- 直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

■ 続けて文字を装飾する：Menu▶操作3を繰り返す

4 ⓢ

装飾した文字の選択が解除されます。
- ✣を押しても解除されます。

5 ⓢ▶ⓜを押す

おしらせ

● メール本文の入力画面でMenuを押し、「デコレーション」→「デコレーション変更」を選択しても同様に操作できます。

● メール本文の入力画面でMenu0を押すと、プレビュー画面が表示され、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

デコメールにメロディを添付する　メロデコ

1 装飾選択画面で✉
- 既にメロディが添付されているときは、添付メロディ一覧が表示されます。操作3「メロディを追加する」または「添付したメロディを解除する」を行います。

2 フォルダを選択
- miniSDメモリーカード挿入時は、「本体」または「miniSDカード」を選択し、フォルダを選択します。

3 メロディを選択

メロディが添付され、添付メロディ一覧に添付したメロディのファイル名とファイルサイズが表示されます。
- 「本体」の場合、添付できないメロディは表示されません。メロディを選びⓜを押すと再生できます。ⓢを押すと添付でき、ch/クリアを押すと一覧に戻ります。
- 「miniSDカード」の場合、添付できないメロディを選択すると、そのデータは選択できない旨のメッセージが表示されます。メロディを選びⓜを押すと再生でき、ⓢを押すと一覧に戻ります。

■ メロディを追加する：

① Menu▶フォルダを選択
- miniSDメモリーカード挿入時はMenuを押し、「本体」または「miniSDカード」を選択し、フォルダを選択します。

② メロディを選択

■ 添付したメロディを解除する：メロディを選ぶ▶✉▶「はい」を選択
- メロディをすべて解除すると、添付しているメロディがない旨のメッセージが表示されます。ⓢを押してください。

■ メロディを再生する：メロディを選択
- 再生が終了すると一覧に戻ります。

4 ⓜ

画面下部に が表示されます。

5 ⓢ▶ⓜを押す

メール添付用のメロディ

お買い上げ時は、次のメロディが「メール添付メロディ」フォルダに登録されています。

タイトル	曲名（【　】内は作曲者）
クリスマス	もろびとこぞりて【HANDEL GEORGE FRIDERIC / MASON LOWELL】
結婚式	結婚行進曲【WAGNER RICHARD WILHELM】
誕生日	―
嬉しい	―
悲しい	―

- 作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。

メール　デコメール

ファイルを添付する
添付ファイル

iモードメールに画像や動画／iモーション、メロディ、トルカを添付して送信できます。

・添付できるファイルの種類と1件のメールに添付可能な最大件数は次のとおりです。

ファイルの種類	最大件数
メロディ（SMF形式のみ添付可）	10件※6
トルカ※1（添付時は321バイト以内、転送時は1024バイト以内※2）	
10000バイト以内の画像※3（JPEG、GIF 形式のみ添付可、パラパラマンガは添付不可）	
10000バイトを超え500Kバイトまでの画像※3（JPEG形式のみ添付可、パラパラマンガは添付不可）	1件
500Kバイトまでの動画／iモーション※4（再生制限が設定されているものは添付不可※5）	

※1：トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。トルカ（詳細）は受信側でダウンロードできます。ただし、相手の端末によっては、ダウンロードできない場合があります。
※2：トルカによって異なる場合があります。
※3：受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URL が記載されたメールまたはメールの添付ファイルとして受信します。
※4：受信側の機種によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。QCIF（176 × 144）、Sub-QCIF（128×96）以外の動画、「HQ＋（最高品質）」で撮影した動画は容量に関わらず添付できません。
※5：再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。
※6：メロディ、トルカ、画像を合計最大10件、メール本文を含め最大 10000 バイト添付できます。ただし、添付ファイルのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。

・添付ファイルのサイズによって、本文に入力できる文字数が異なります。
・本文（添付したメロディ、トルカ、10000バイト以内の画像を含む）の残りのデータ量が全角 100 文字（半角 200 文字）（デコメールでは全角 200 文字（半角 400 文字））分未満の場合は、動画／iモーション、10000 バイトを超える画像を添付できません。
・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
・mova端末には、JPEG形式の画像を1枚のみ添付できます。その場合、相手の端末はURLが記載されたメール（iショットメール）として受信します。
・iモーションメールでは、撮影した動画などは本文を除き最大500Kバイトまで添付可能です。
・サウンドレコーダーで録音したデータはiモーションとして保存され、メールに添付できます。
・メロディを送信する場合、受信側がFOMA D701i、D701iWM、D702i、D851iWM、D901i、D901iS、D902i、D902iS以外の場合は受信したメロディを正しく再生できないことがあります。

1 メール作成画面で［添付］欄を選択

2 ファイルの種類を選択 ▶ ファイルを選択

■ **画像を添付する：**
①「イメージ」を選択
②「本体」を選択▶フォルダを選択
・miniSD メモリーカード内の画像を選択する：「miniSDカード」を選択▶［1］～［2］▶フォルダを選択
・静止画を撮影して添付する：「静止画を撮影」を選択▶静止画を撮影▶［決定］▶操作3に進む
　・撮影する静止画のサイズは自動的にQVGA（240×320）に設定されます。
③画像を選択
メール作成画面の［添付］欄に、選択した画像のファイル名が表示されます。
・添付できない画像は表示されません。画像を選び［メニュー］を押すと表示できます。［決定］を押すと添付でき、［ch/クリア］を押すと一覧に戻ります。
・画像サイズがQVGA（240 × 320 または320 × 240）を超えるJPEG 形式の画像の場合は、QVGAに変換するかどうかの確認画面が表示されます。変換された画像が10000バイトを超えていた場合は、変換した画像をデータBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。
データBOXに保存しない場合、または保存に失敗した旨のメッセージが表示された場合は、変換した画像は保存されません。このため、メールを保存すると、添付ファイルは解除されます。また、圏内自動送信では、添付ファイルは送信されません。
・ファイルサイズが500Kバイトを超えるJPEG 形式の画像の場合は、メールに添付可能なサイズに変換され、データBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。このとき、処理に時間がかかることがあります。

メール　添付ファイル

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

・「miniSDカード」の場合、10000バイトを超え500Kバイトを超えない画像を選択すると、FOMA端末へコピーするかどうかの確認画面が表示されます。FOMA端末にコピーしなかった場合、メールを保存すると、添付ファイルは解除されます。また、圏内自動送信では、添付ファイルは送信されません。

■ **動画／ｉモーションを添付する（ｉモーションメール）：**

①「ｉモーション」を選択

②「本体」を選択▶フォルダを選択

・miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションを選択する：「miniSDカード」を選択▶[3]～[4]▶フォルダを選択

・動画を撮影して添付する：「動画を撮影」を選択▶動画を撮影▶[●]▶操作3に進む

・撮影する動画のサイズは自動的にQCIF（176×144）に設定されます。

③動画／ｉモーションを選択

メール作成画面の[添付]欄に選択した動画／ｉモーションのファイル名が表示されます。

・「本体」の場合、添付できない動画／ｉモーションは表示されません。動画／ｉモーションを選び[メール]を押すと再生できます。再生が終了すると一覧に戻ります。

・「miniSDカード」の場合、添付できない動画／ｉモーションを選択すると、添付できない旨のメッセージが表示されます。動画／ｉモーションを選び[メール]を押すと再生できます。[ch/クリア]を押すと一覧に戻ります。

・「miniSDカード」の場合、500Kバイト以内の動画／ｉモーションを選択すると、FOMA端末へコピーするかどうかの確認画面が表示されます。FOMA端末にコピーしなかった場合、メールを保存すると、添付ファイルは解除されます。また、圏内自動送信では、添付ファイルは送信されません。

■ **メロディを添付する：**

①「メロディ」を選択

・miniSDメモリーカード挿入時は「メロディ」を選択し、「本体」または「miniSDカード」を選択します。

②フォルダを選択

③メロディを選択

メール作成画面の[添付]欄に選択したメロディのファイル名が表示され、画面下部に[♪]が表示されます。

・「本体」の場合、添付できないメロディは表示されません。メロディを選び[メール]を押すと再生できます。[●]を押すと添付でき、[ch/クリア]を押すと一覧に戻ります。

・「miniSDカード」の場合、添付できないメロディを選択すると、添付できない旨のメッセージが表示されます。メロディを選び[メール]を押すと再生でき、[●]を押すと一覧に戻ります。

■ **トルカを添付する：**

①「トルカ」を選択

・miniSDメモリーカード挿入時は「トルカ」を選択し、「本体」または「miniSDカード」を選択します。

②フォルダを選択▶トルカを選択

メール作成画面の[添付]欄に選択したトルカのファイル名が表示されます。

・トルカを選び[メール]を押すとトルカの内容を確認できます。[●]を押すと添付でき、[ch/クリア]を押すと一覧に戻ります。

・添付できないトルカを選択すると、添付できない旨のメッセージが表示されます。

■ **音声を録音して添付する（ｉモーションメール）：「ボイス録音」を選択▶録音（サウンドレコーダー）▶[●]**

メール作成画面の[添付]欄に録音した音声のファイル名が表示されます。

3 [メール]を押す

・[添付]欄を選択すると添付ファイルを表示または再生できます。

おしらせ

● 10000バイトを超えるJPEG形式の画像を添付したメールをｉモード端末に送信した場合は、ｉショットセンターでｉモード端末に送信するのに適したサイズに変換されます。

● GIF形式の画像やメロディ、トルカ、音声を添付したメールをmova端末に送信した場合は、添付ファイルは削除されて送信されます。

● 10000バイトを超える画像をQVGAサイズ（240×320または320×240）に縮小できます。
☛P317
QVGAサイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。

添付ファイルを変更／解除する

例 添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面を表示

2 [添付]欄を選ぶ▶[メール]

■ 添付ファイルを変更する：[添付]欄を選ぶ▶[i]▶ファイルを添付☛P236

3 「はい」を選択

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、ｉモードメールの雛形です。メールテンプレートを呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。また、画像などの装飾が設定されているメールテンプレートを使えばデコメールも簡単に作成できます。
お買い上げ時に登録されているメールテンプレート（☛P424）のほか、サイトからダウンロードしたメールテンプレートや自分で作成したメールテンプレートを利用できます。

- ダウンロードしたり、作成したメールテンプレートは、お買い上げ時に登録されているメールテンプレートとともに「テンプレート読込み」に保存されます。
- SMSには使用できません。

メール作成時にテンプレートを使う　テンプレート読込み

新規メールを作成するときに読み込んで使用します。

- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。

1 メール作成画面で[Menu][6][1]

- テンプレートを選び[本]を押すとテンプレートを表示できます。[決定]を押すと読み込め、[本]を押すと一覧に戻ります。

2 テンプレートを選択

[画像]：10000バイト以内の画像あり
[音]：メロディあり　[トルカ]：トルカあり
[複数]：複数種別の添付あり

- 入力済みの項目があるメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中のメールに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「本文のみ読込み」を選択し、テンプレートを選択すると、メール本文のみがテンプレートの内容に上書きされます。「すべて読込み」を選択し、テンプレートを選択すると、宛先、題名、添付ファイル、本文のすべてがテンプレートの内容に上書きされます。読み込みを中止するときは[ch/クリア]を押します。
- 1件のメールに複数のテンプレートを読み込むことはできません。

3 メールを編集▶[本]を押す

Menu 18

テンプレートを表示してメールを作成する　テンプレート読込み

登録されているテンプレートを一覧表示し、内容を確認してメール作成画面に設定します。

- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。ただし、電話帳に登録されているアドレスが宛先に入力されているテンプレートは読み込めます。

1 [メール][8]▶テンプレートを選択

- [左右]で前後のテンプレートを表示できます。

2 [本]

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

3 メールを編集▶[本]を押す

テンプレートを登録する　テンプレート登録

作成または受信／送信したｉモードメールをテンプレートとして登録できます。

- 最大保存件数☛P38
- お買い上げ時に登録されているテンプレートの内容を変更して、新しいテンプレートとして保存できます。
- 動画／ｉモーション、10000バイトを超える画像はテンプレートに登録できません。
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを設定しないと登録できません。
- 受信／送信したｉモードメールの場合は、本文がないと登録できません。また、宛先、題名は登録されません。

1 メール作成画面で[Menu][6][2]▶「はい」を選択

- 受信／送信したｉモードメールを登録する：メール詳細画面で[Menu][4][5]

2 各項目を選択して設定

表示名：
メールの題名（メールに題名がついていないときは日付・時刻）が入力されています。全角・半角を問わず20文字まで入力できます。

ファイル名：
日付・時刻が入力されています。半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

3 (m)を押す

- 登録済みのテンプレートに上書きする：(✉)▶テンプレートを選択▶「はい」を選択
  - お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書きできません。

おしらせ

- 登録したテンプレートの詳細情報を確認・変更する場合は、テンプレート一覧でテンプレートを選び(Menu)を押し、「詳細情報」→「参照」または「変更」を選択します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートの詳細情報は変更できません。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って保存されているテンプレートを削除してください。

テンプレートをダウンロードする

サイトからメールテンプレートをダウンロードします。

- 最大保存件数☛P38

1 サイトを表示中に、メールテンプレートを選択

- ダウンロード中に(m)を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択

- テンプレートの内容を確認する：「プレビュー」を選択
- 保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

3 各項目を選択して設定

表示名：
全角・半角を問わず20文字まで入力できます。

ファイル名：
半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

4 (m)を押す

- 登録済みのテンプレートに上書きする：(✉)▶テンプレートを選択▶「はい」を選択
  - お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書きできません。

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って登録されているテンプレートを削除してください。
- サイトからダウンロードしたメールテンプレートにファイルが添付されているときは、ファイルを削除しないと保存できません。
- サイトからダウンロードしたメールテンプレートにメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像またはFOMA端末で利用できない画像が挿入されているときは、画像を削除しないと保存できません。

テンプレートを削除する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは削除できません。

例 テンプレートを1件削除するとき

1 (✉)(8)

2 テンプレートを選ぶ▶(Menu)(2)(1)

■ **複数削除する：(Menu)(2)(2)▶テンプレートを選択▶(m)**

■ **全件削除する：(Menu)(2)(3)▶端末暗証番号を入力**

3 「はい」を選択

iモードメールを保存しておき、あとで送信する

iモードメール保存

iモードメールを保存する

- 最大保存件数☛P38
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを設定しないと保存できません。

1 メール作成画面でMenu 3を押す

ｉモードメールが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

圏内になったら ｉ モードメールを自動送信する
圏内自動送信

圏外で作成したｉモードメールを、圏内になったら自動的に送信するように設定して保存できます。

- 最大５件保存できます。
- TOの宛先を設定しないと保存できません。

1 メール作成画面でMenu 2を押す

圏内自動送信メールとして「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存され、ディスプレイ上部に が表示されます。

圏内になると

圏内自動送信メールは自動送信されます。自動送信中は が点滅し、すべての圏内自動送信メールが送信されると は消えます。

- 送信に失敗したときは、圏内自動送信の失敗メールとして「未送信メール」に残り が点滅します。失敗メールの削除や自動送信設定の解除またはFOMAカードの差し替えなどによって失敗メールがなくなると は消えます。

おしらせ

- 署名編集中は自動送信されません。
- 自動送信に失敗したメールは、次に圏内になっても自動送信されません。

圏内自動送信メール／失敗メールの圏内自動送信設定を解除する

1 未送信メール一覧で、圏内自動送信メールまたは失敗メールを選ぶ ▶ ▶「はい」を選択

おしらせ

- 未送信メール一覧で圏内自動送信メールを選択しても、圏内自動送信設定が解除されます。
- 未送信メール一覧で失敗メールを選択すると、失敗の原因が表示されます。 を押すと圏内自動送信設定が解除されます。
  - 失敗の原因として、同報への送信に失敗した旨のメッセージが表示されたときは、 を押すとそのアドレスが表示されます。 を押すと圏内自動送信設定が解除されます。
- 以下の場合も、圏内自動送信メール／失敗メールの圏内自動送信設定が解除されます。
  - メールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合

送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

例 未送信メールを編集するとき

1 4▶フォルダを選択

- SMSには が表示されます。
- 送信メールを編集・送信する： 5▶フォルダを選択

2 メールを選択

- 送信メールを再編集する：メールを選ぶ▶

3 メールを編集▶ を押す

おしらせ

- 送信メール詳細画面で を押しても編集できます。
- スライド編集設定で未送信メール、送信メールを「ON」に設定している場合、メールを選択または表示中にFOMA端末を開くと編集画面が表示されます。

手早くメールを作成する
クイックメール

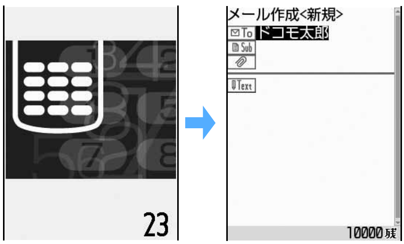
FOMA端末電話帳のメモリ番号０～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを作成できます。

- ｉモードメールの場合は１件目のメールアドレス、SMSの場合は１件目の電話番号が宛先となります。

例 メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 メモリ番号（この場合は2 3）を入力▶ を押す

電話帳の１件目のメールアドレスが宛先に設定されます。



- メモリ番号の前には０を付けずに入力します。
- ｉモードメールの作成・送信方法☛P230

■ **SMSを作成する：メモリ番号を入力▶ ✉（1秒以上）**

- SMSの作成画面が表示されます。電話帳の1件目の電話番号が宛先に設定されます。
- SMSの作成・送信方法☞P266

ｉモードメールを受信したときは

メール自動受信

ｉモードメールが送信されてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、決定キーの照明でお知らせします。受信したｉモードメールは「受信メール」に保存されます。

- 最大保存件数☞P38

1 ｉモードメールを受信



点滅

📶と ✉ が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。
受信が完了すると、受信結果画面が表示され、メール着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅します。

受信中画面

⬇ **受信完了**



点滅

✉：未読のｉモードメールあり

✉：未読のｉモードメールとSMSあり

受信結果（スクロール表示）

受信したｉモードメールの件数

受信に失敗したときは「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

受信結果画面

- メール受信中に ⊙ を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。
- 受信結果画面は何も操作しないと約15秒間、メール着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときは着信音が鳴り終わるまで表示されます。早く受信前の画面に戻すには CLR を押します。

おしらせ

- ● ｉモードメールに対応していない添付ファイルや受信可能なデータ量（添付可能なデータ量）を超えた添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合は、メール本文中に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。添付可能なデータ量☞P236
- ● 受信メールのデータ量（文字数、添付ファイル）が、ｉMenu のオプション設定の「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超える場合、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できません。
- ● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の一番古い受信メールに上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。
- ● 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には ✉F や ✉F が表示されます（☞P29）。受信する場合、未読メールの内容表示、未読メールの既読メールへの変更、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
- ● ｉモードメールの送信直後は自動受信できない場合があります。ｉモード問合せを行ってください。
- ● 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに発信元にエラーメッセージとともに返信されることがあります。
- ● 受信表示設定の設定内容によっては受信中画面や受信結果画面は表示されません。☞P262
- ● 新しいｉモードメールが届くと、ｉモードセンターで保管しているｉモードメールやチャットメールも合わせて受信します。
- ● FOMA端末でｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- ● TO、CC、BCCを設定できる相手からのメールを受信した場合、自分がTO、CC、BCCのどれにあてはまるかを確認できます。☞P249
- ● FOMA 端末電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合、メール着信音、着信バイブレータ、決定キーの照明はFOMA端末電話帳の設定に従って動作します。電話帳との照合については「名前の表示について」を参照してください。☞P111
  - 複数のｉモードメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR/Fの条件に従って動作します。
- ● 次のような場合に送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - プッシュトーク通信中
  - セルフモード中
  - 受信に失敗したとき
  - 圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - メール選択受信設定が「ON」のとき
  - お預かりセンター接続中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中

・未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき

● ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、や（☛P29）が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数（☛P228）が満杯になったときは、マークがやに変わります。

新着ｉモードメールを表示する

1 受信結果画面で1



・受信したｉモードメールは「受信メール」の「受信BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

2 フォルダを選択▶メールを選択

・メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定できます。☛P260

・受信メールの見かた☛P248

・メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、対応するｉアプリが起動します。

ｉモードメールを選択して受信する

メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを自動受信せずに、選択して受信します。

ｉモードセンターにメールが届いたときは



メール選択受信設定を「ON」に設定しているときに送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、左記のメッセージが表示されます。

・ｉモードメールがｉモードセンターに保管されてもメール着信音や着信バイブレータは動作しません。

・以外のキーを押すとメッセージが消えます。

おしらせ

● オールロック中、おまかせロック中、PIMロック中には、センターにメールが届いてもメッセージが表示されません。

● メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うと、すべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、問い合わせ項目からメールを外してください。

● メール選択受信設定を「ON」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

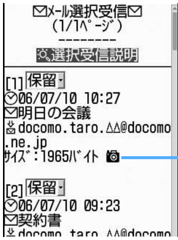
Menu 163

メールを選択受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

・メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定します。「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

1 ✉63



ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

：画像添付あり
：メロディ添付あり
：ｉモーション添付あり
：トルカ添付あり

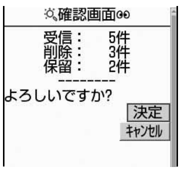
2 メールごとに「保留」を選択▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択

・「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。

・ｉモードセンターに保管されているすべてのメールを削除するときは「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。

・ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択▶「決定」を選択



Menu 161 / Menu 25 / ✉61 / ⬇5

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる　ｉモード問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などにｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。
ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかどうかを問い合わせます。

・電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。電波状態のよい場所で操作してください。

1 ✉✉を押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信します。
・受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。ただし、約15秒経過しても元の画面には戻りません。

ｉモードメールに返信する　ｉモードメール返信

・受信メールによっては返信できない場合があります。
・発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」のSMSには返信できません。
・メール返信引用設定で、返信メールに本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。

1 ✉1▶フォルダを選択

2 メールを選ぶ▶(📖)

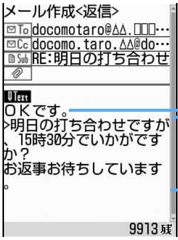
クイック返信本文選択画面が表示されます。
・クイック返信設定を「OFF」に設定しているときやクイック返信本文を登録していないとき、またはSMSに返信するときは、クイック返信本文選択画面は表示されません。操作4に進みます。

■ **FOMA端末を閉じているとき：**
スライド編集設定で受信メールを「ON」に設定している場合、メールを選択または表示中にFOMA端末を開くと返信できます。

■ **複数の宛先に送られた受信メールの宛先すべてに返信する：**
発信元と、自分以外のすべての宛先に返信できます。本文を引用するかどうかを選択できます。
① (Menu) 1 ▶ 3 ～ 4

3 クイック返信本文を選択

✉To欄には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、Sub欄には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、Text欄にはクイック返信の本文および引用文字「>」と受信メールの本文が入力されます。



・クイック返信本文を挿入しないときは「本文直接入力」を選択します。メール本文の入力画面が表示されます。

4 メールを編集▶(📖)を押す

・返信した後に受信メール一覧を表示すると、受信メールのマークが↩または🔒↩になります。

おしらせ

● 受信メール詳細画面では(📖)を押します。
● 受信メール一覧および詳細画面で(Menu)を押し、「返信／転送」→「返信」または「引用返信」を選択すると、メール返信引用設定の設定に関わらず、本文を引用するかどうかを選択できます。宛先が複数ある場合は、「全員へ返信」または「全員へ引用返信」も選択できます。
● 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
● 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））は返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
● 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。
● 複数の宛先に送られた受信メールに(📖)を押すかFOMA端末を開いて返信する場合は、操作する画面により宛先欄に入力されるメールアドレスが異なります。受信メール一覧から返信する場合は、発信元のメールアドレスが表示され、受信メール詳細画面から返信する場合は、発信元と、自分以外のすべての宛先のメールアドレスが入力されます。

iモードメールを他の宛先に転送する

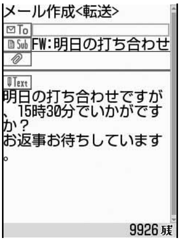
iモードメール転送

・SMSも同様に転送できます。iモードメールはiモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 ✉ 1 ▶ フォルダを選択

2 メールを選ぶ ▶ ✉

Sub 欄には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（iモードメールのみ）、Text 欄には受信メールの本文が入力されます。



・添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されます。

3 メールを編集 ▶ 📖 を押す

・転送した後に受信メール一覧を表示すると、受信メールのマークが ↱ または ↱ になります。

おしらせ

● 受信メール詳細画面では、Menu を押し、「返信／転送」→「転送」を選択します。
● 受信メールの添付ファイル（画像、メロディ、トルカ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
● 受信メール本文中の添付データ（iアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
● 10000バイトを超える画像が添付されたメールで画像を取得していない場合は、転送時に画像は添付されません。
● 受信したデコメールを転送した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。また、転送時にサイズオーバーとなった場合は、📖 を押すと送信できない旨のメッセージが表示されます。
● 1024バイトを超えるトルカが添付されたメールを転送する場合、トルカは添付されません。

添付されている画像を表示・保存する

画像表示・保存

保存した画像はデータBOXの「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定したりできます。

・最大保存件数☛P38

1 ✉ 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 画像が添付されているiモードメールを選択



画像のマークとファイル名、ファイルサイズ

- ：メール添付やFOMA端末外への出力可
- ：メール添付やFOMA端末外への出力不可
- ：未取得の10000バイトを超える画像
- ：取得済みの10000バイトを超える画像
- ：取得失敗の画像の添付あり
- ：データ異常

■ **画像の表示／非表示を切り替える：ファイル名を選択**

・送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面に添付されている画像からも同様の操作で表示／非表示を切り替えられます。

■ **タイトルを確認する：ファイル名を選ぶ ▶ Menu 6 2**

■ **10000バイトを超える画像のURLを表示する：ファイル名を選ぶ ▶ Menu 6 3**

・取得する前に表示する：メール本文の「保存期限」を選ぶ ▶ Menu 6 2

2 ファイル名を選ぶ ▶ Menu 6 3

・10000バイトを超えるJPEG形式の画像は、自動的に取得され、マイピクチャの「iモード」フォルダに保存されます。Menu 6 3 で新たに保存することはできません。受信を中断したり、受信中に圏外になるなどの理由により取得できなかった場合は、本文中の「保存期限」を選択すると取得できます。

■ **デコメール内に表示されている画像を保存する：Menu 4 4 ▶ 画像を選択**

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

3 各項目を選択して設定

- メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されている画像（ファイル制限に「あり」と表示）では表示名以外は変更できません。
- 設定方法は、「サイトから画像を取得する」の操作3と同じです。☛P212

4 (📖)▶保存先を選択

- 保存した画像は、待受画面などに設定できます。☛P315

おしらせ

- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面からタイトルを確認する場合は、画像のファイル名を選び(Menu)を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
- 送信メールに添付した画像も同様の操作で保存できます。
- 本文中に表示される10000バイト以内の画像では、表示名やファイル名などは表示されません。
- 画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 横352×縦288または横240×縦400を超える画像はフレーム候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×400以上の画像はスタンプ候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズがGIF形式は640×480、JPEG形式は1728×2304を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できないものもあります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されている画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って保存されている画像を削除してください。削除する前に画像一覧で(📖)を押すと画像を、(Menu)を押すと画像の詳細情報を表示できます。
- 取得できる画像は、JPEG形式またはGIF形式で最大100Kバイトです。
- 画像が添付されている受信メールを表示したときは、添付された画像は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文中に挿入されている画像は自動的に表示されますが、添付された画像は自動的に表示されません。画像を表示するときは画像のファイル名を選択します。

iモーションメールからiモーションを再生・保存する

発信元がメールに添付した動画／iモーションはiモーションメールセンターに保管され、iモーションの閲覧のためのURLが記載されたメールを受信します。このURLを選択して、iモーションを取得し、再生したり保存できます。保存したiモーションはデータBOXの「iモーション」から再生したり待受画面に設定できます。

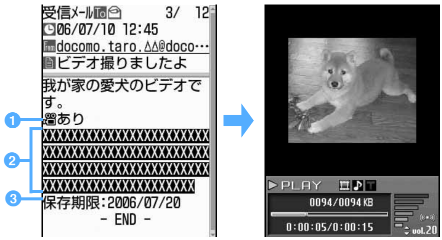
- 最大保存件数☛P38
- 取得できるiモーションは、最大500Kバイトです。

1 (✉)(1)▶フォルダを選択▶iモーションのURLが記載されたiモードメールを選択

2 URLを選択▶「はい」を選択

iモーションメールセンターに接続され、iモーションの取得・再生が始まります。

- 再生画面の操作方法☛P321



1. iモーションが添付されていることを示す
2. iモーション閲覧用URL
3. iモーションメールセンターでのiモーションの保存期限

3 再生が終了したら「保存」を選択

- 再度再生する：「再生」を選択
- iモーションの情報を表示する：「情報表示」を選択
- 保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

4 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶(📖)

取得したiモーションはiモーションの「iモード」フォルダに保存されます。

■ **待受画面に設定する：**Menu 1 ▶「はい」を選択
- 映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240を超えるｉモーションは待受画面に設定できません。
- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションを再生するには☛P142

5 「戻る」を選択

おしらせ

- 送信メールに添付されている動画／ｉモーションも、ファイル名を選択して、同様に再生できます。ただし、動画／ｉモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ｉモーションを削除してください。削除する前に、動画／ｉモーション一覧で(i)を押すと動画／ｉモーションの再生、Menuを押すと詳細情報の表示ができます。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。☛P446
- ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションメールセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得できます。50回を超えた場合は、ｉモーションの取得ができなくなります。

ｉモードメールからメロディを再生・保存する　メロディ再生・保存

保存したメロディはデータBOXの「メロディ」から再生したり、着信音に設定したりできます。
- 発信元がFOMA D701i、D701iWM、D702i、D851iWM、D901i、D901iS、D902i、D902iS以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- 最大保存件数☛P38

1 ✉ 1 ▶フォルダを選択▶メロディが添付されているｉモードメールを選択

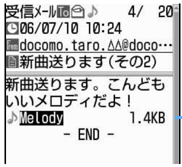
- 添付メロディの表示形式には、メロディファイルの種類によって2種類あります。

本文の後に表示（SMF形式）



メロディのマークとファイル名、ファイルサイズ

本文中に表示（MFi形式）



メロディのマークとタイトル名、ファイルサイズ

♪：メール添付やFOMA端末外への出力可
♪©：メール添付やFOMA端末外への出力不可
♪×：データ異常

■ **メロディを再生する：メロディを選択**
電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。
- 再生を途中で止める：CLR

■ **タイトルを確認する：**
- 本文の後に表示されるメロディ（SMF形式）：メロディを選ぶ▶Menu 6 5
- 本文の中に表示されるメロディ（MFi形式）：メロディを選ぶ▶Menu 6 4

■ **データを文字として表示する（データ表示）：**
- 本文の後に表示されるメロディ（SMF形式）ではこの機能は利用できません。

①**メロディを選ぶ▶**Menu 6 5
- タイトル表示に戻す：メロディの先頭行を選ぶ▶Menu 6 5

2 メロディを選ぶ▶Menu 6 2

3 表示名を入力（全角25文字（半角50文字）まで）▶(i)を押す

メロディの「ｉモード」フォルダに保存されます。

おしらせ

- データ表示時にメロディを再生・保存するにはメロディの先頭行を選びMenuを押し、「添付ファイル」→「再生」または「保存」を選択します。
- 送信メール詳細画面ではメロディを選びMenuを押し、「添付ファイル」→「保存」を選択します。

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

- 送信メール、メールテンプレート、miniSDメモリーカード内のメールの添付メロディも同様に再生できます。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って保存されているメロディを削除してください。削除する前にメロディ一覧で[i]を押すとメロディの再生、[Menu]を押すと詳細情報の表示ができます。
- MFi形式のメロディにタイトル名が設定されていない場合、メールの受信日時が表示されます。

iモードメールからトルカを表示・保存する

保存したトルカはトルカ一覧の「トルカフォルダ」から表示できます。

・最大保存件数☛P38

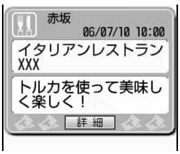
1 ✉[1]▶フォルダを選択▶トルカが添付されているiモードメールを選択



トルカのマークとファイル名、ファイルサイズ
：メール添付やFOMA端末外への出力可
：データ異常

■ **タイトルを確認する：ファイル名を選ぶ▶[Menu][6][2]**

2 ファイル名を選択



■ **トルカ（詳細）を取得せずに保存する：ファイル名を選ぶ▶[Menu][6][3]**

トルカがトルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

3 「詳細」を選択▶「はい」を選択

トルカ（詳細）が受信されます。

おしらせ

- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面からも同様の操作でトルカを表示・保存できます。ただし、メールテンプレート詳細画面からは保存できません。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従い保存されているトルカを削除してください。削除する前にトルカ一覧で[i]を押すとトルカを表示できます。

添付ファイルを削除する

添付ファイル削除

受信メールに添付されている画像、メロディ、トルカを削除します。

・本文中に表示されるメロディ（MFi形式）、iアプリが起動できるリンク項目は削除できません。
・10000バイトを超える画像は、マイピクチャの「iモード」から削除してください。

例 添付されている画像を削除するとき

1 ✉[1]▶フォルダを選択▶画像が添付されているiモードメールを選択

2 ファイル名を選ぶ▶[Menu][6][4]

・添付ファイルを一括削除する：[Menu][6][5]

3 「はい」を選択

・削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

おしらせ

- 送信メール詳細画面では、画像、メロディ、トルカを選び[Menu]を押し、「添付ファイル」→「削除」または「一括削除」を選択します。
- 10000バイトを超える画像を削除した受信メールを表示すると、保存期限が薄く表示され、選択できなくなります。

受信／送信メールBOXのメールを表示する　受信メールBOX／送信メールBOX

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。受信済みのｉモードメールやSMSは「受信メール」のフォルダに、送信済みのｉモードメールやSMSは「送信メール」のフォルダに保存されます。また、送信せずに保存したｉモードメールやSMS、送信に失敗したｉモードメールやSMS、圏外自動送信待ちのｉモードメールは「未送信メール」のフォルダに保存されます。

・最大保存件数☛P38

例 受信メールを表示するとき

1 [メール] [1]

・送信メールを表示する：[メール] [5]
・未送信メールを表示する：[メール] [4]

2 **フォルダを選択**

受信メールの一覧が表示されます。

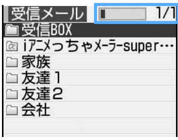
・メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、対応するｉアプリが起動します。
・ｉアプリを起動せずにフォルダ内のメールを表示する：フォルダを選ぶ▶[Menu] [1]

3 **メールを選択**

・電話番号、メールアドレス、URLから、それぞれ電話発信、ｉモードメール送信、サイト表示ができます。電話番号やメールアドレス、URLを電話帳に登録したり、URLをブックマークに登録することもできます。本文などのコピーもできます。☛P254
・未送信メール一覧からメールを選択すると、メール作成画面が表示されます。

フォルダ一覧画面の見かた

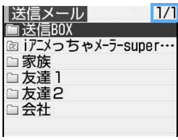
■ 受信メールフォルダ一覧画面



保存領域の使用率とページ番号／総ページ数

（グレー）：メールなし
（黄）：未読メールなし
：メールなし／未読メールなし（プライバシーON）
：メールなし／未読メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
：未読メールあり
：未読メールあり（プライバシーON）
：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

■ 送信／未送信メールフォルダ一覧画面



ページ番号／総ページ数

（グレー）：メールなし
（黄）：メールあり
：プライバシーON
：メール連動型ｉアプリ

メール一覧画面の見かた

■ 受信メール一覧画面



ページ番号／総ページ数
① 受信日時、発信元
② 題名（SMSでは本文の先頭）

① ：未読　　：未読（返信不可）
：既読　　：既読（返信不可）
：既読（返信済み）　　：既読（転送済み）
：保護　　：保護（返信不可）
：保護（返信済み）　　：保護（転送済み）

・返信済み／転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

❷ ：10000バイト以内の画像あり
：10000バイトを超える画像あり
：メロディあり　　：トルカあり
：複数種別の添付あり
：SMS
：送達通知／着信通知
：iアプリToあり
：メール連動型iアプリで利用されるメール

- メール一覧表示設定を「1行表示」に設定しているときは、添付ファイルがあると、題名の先頭に が表示されます。
- 10000バイトを超える画像が添付されているときは、10000バイト以内の画像やメロディ、トルカの添付を示すマークは表示されません。
- 発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「＋」が表示されます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 受信したｉモードメールによっては題名が表示されない場合があります。
- データ異常のSMSには が表示され、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）となります。発信元は表示されません。

■ **送信／未送信メール一覧画面**



ページ番号／総ページ数
送信／保存日時、宛先
題名（SMSでは本文の先頭）

❶マークなし：未保護　　：保護
：圏内自動送信
：保護（圏内自動送信）
：圏内自動送信失敗
：保護（圏内自動送信失敗）
：10000バイト以内の画像あり
：10000バイトを超える画像あり
：メロディあり　　：iモーションあり
：トルカあり
：複数種別の添付あり
：SMS
：メール連動型iアプリで利用されるメール

- メール一覧表示設定を「1行表示」に設定しているときは、添付ファイルがあると、送信メール一覧では題名の先頭に が表示されます。
- iモーションまたは10000バイトを超える画像が添付されているときは、10000バイト以内の画像やメロディ、トルカの添付を示すマークは表示されません。
- 送信／保存日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。

メール詳細画面の見かた

■ **受信メール詳細画面**

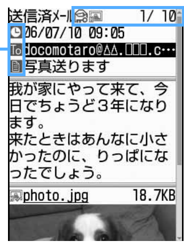


宛先マーク※1、状態マーク、添付ファイルマーク、SMSマーク、メール番号／件数
※1：TO、CC、BCCのいずれで送られてきたのかを示します（iモードメールの場合）。

❶ ：受信日時　　：発信元
：宛先（TO）（iモードメールのみ）
：宛先（CC）（iモードメールのみ）
：題名（SMSは「受信SMS」「SMS送達通知」「留守番　着信通知」のいずれか）
：発信元（返信不可）
：宛先（TO）（返信不可）（iモードメールのみ）
：宛先（CC）（返信不可）（iモードメールのみ）

- データ異常のSMSには が表示されます。

■ **送信メール詳細画面**



状態マーク、添付ファイルマーク、SMSマーク、メール番号／件数

❶ ：送信日時　　：宛先（TO）
：宛先（CC）（iモードメールのみ）
：宛先（BCC）（iモードメールのみ）
：題名（SMSは「送信SMS」）

つづく

おしらせ

- 表示できない文字は空白などに置き換わります。
- パソコンから装飾されたメールを受信した場合、パソコンと同じ動作にならない場合があります。
- メール本文の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））が複数添付されていると添付データは無効になります。このとき添付マークには ? が表示されます。
- デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なってURLが見えない場合があります。
- ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。SMSでは、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。電話帳との照合については「名前の表示について」を参照してください。☛P111
- 詳細画面では、受信したSMSおよび送達通知、着信通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項目	SMS	送達通知	着信通知
題名	受信SMS	SMS送達通知	留守番 着信通知
発信元	電話番号	SMS Center	DoCoMo SMS

- 電話番号が電話帳に登録されているときは、発信元には名前が表示されます。
- 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
「非通知設定」：非通知に設定して送られてきた
「公衆電話」　：公衆電話から送られてきた
「通知不可能」：発信者番号を通知できない方法で送られてきた
- 添付ファイルやｉアプリが起動できるリンク項目がある場合、詳細画面にマークと添付ファイル名などが表示されます。
  - 画像のマークの意味☛P244
  - メロディのマークの意味☛P246
  - トルカのマークの意味☛P247
  - リンク項目からｉアプリを起動するには☛P285

フォルダを作成・削除する

フォルダを作成する

- 受信メールでは「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個作成できます。
- 送信メール、未送信メールでは「送信BOX」フォルダまたは「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大20個作成できます。
- 「受信 BOX」フォルダ、「送信 BOX」フォルダ、「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダのフォルダ設定は変更できません。

例 受信メールのフォルダを追加するとき

1 ✉ 1
- 送信メール☛P248　• 未送信メール☛P248

2 Menu 1
- ■ **フォルダ設定を変更する：フォルダを選ぶ▶ Menu 3**
- ■ **フォルダの並び順を変更する：フォルダを選ぶ▶ Menu ▶ 7～8**

3 各項目を選択して設定

フォルダ名：
メールのフォルダ名を設定します（全角８文字（半角16文字）まで）。

プライバシー：
「ON」に設定すると、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）はフォルダを表示しません。

4 📖を押す

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「未送信BOX」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してから削除してください。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。

例 受信メールのフォルダを削除するとき

1 ✉ 1
- 送信メール☛P248　• 未送信メール☛P248

2 フォルダを選ぶ▶ Menu 2

3 端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

メールの件数を確認する　フォルダ内メール件数

受信メール、送信メール、未送信メールの保存件数をフォルダごとに確認します。

例 受信メールの保存件数を確認するとき

1 ✉ 1
- 送信メール☛P248　• 未送信メール☛P248

2 フォルダを選ぶ▶ Menu 5 を押す

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

おしらせ

- メール一覧ではMenuを押し、「表示」→「メール件数確認」を選択します。

メールアドレスを確認する　アドレス表示

メールアドレスが途中までしか表示されていない場合や、電話帳に登録されていて名前が表示されている場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。

例 受信メールのメールアドレスを確認するとき

1 **✉ 1 ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択**

- ・送信メール☛P248
- ・メールテンプレート☛P238

2 **発信元または宛先を選択**

おしらせ

- 複数のメールアドレスをまとめて確認するときは、メール詳細画面でMenuを押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。受信／送信／未送信メール一覧では、アドレスを表示するメールを選びMenuを押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。送信メール、未送信メールでは全宛先のメールアドレスが、受信メールでは発信元のほか、同報送信された宛先（自分以外）が表示されます（「TO:」「CC:」も表示されます）。

受信／送信メールをフォルダに移動する　メール移動

保存してあるメールを別のフォルダや miniSD メモリーカードに移動／コピーします。

例 受信メールを他のフォルダに1件移動するとき

1 **✉ 1 ▶ フォルダを選択**

- ・送信メール☛P248　・未送信メール☛P248

2 **受信メールを選ぶ ▶ Menu 4 1 1**

- ■ **複数移動する：Menu 4 1 2 ▶ メールを選択 ▶ 📖**
- ■ **フォルダ内のすべての受信メールを移動する：Menu 4 1 3**
- ■ **miniSDメモリーカードへ1件コピーする：受信メールを選ぶ ▶ Menu 4 4 1 ▶「はい」を選択**
- ■ **miniSDメモリーカードへバックアップ(全件)する：Menu 4 4 2 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」を選択**

3 **◉ ▶ 移動先フォルダを選択 ▶「はい」を選択**

おしらせ

- 未送信メールをminiSDメモリーカードに1件コピーするときは、未送信メール一覧で未送信メールを選びMenuを押し、「移動/コピー」→「miniSDカードへコピー」→「1件コピー」を選択します。バックアップするときは、未送信メール一覧でMenuを押し、「移動/コピー」→「miniSD カードへコピー」→「バックアップ」を選択します。
- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。
- 圏内自動送信を設定したｉモードメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動すると、圏内自動送信の設定は解除されます。
- 保護の設定はminiSDメモリーカードにコピー／バックアップされません。

メールを検索する　メール検索

受信メールや送信メールを、発信者・宛先または受信日・送信日を指定して検索します。

- ・受信メールでは発信者または受信日を指定して検索します。
- ・送信メールでは宛先または送信日を指定して検索します。

例 受信メールを発信者で検索するとき

1 **✉ 1**

- ・送信メール☛P248

2 **Menu 9 1 ▶ 検索する電話帳を選択**



- ・受信日または送信日で検索する：Menu 9 2 ▶ 日付を選択
- ・電話帳や日付を選ぶと、メール一覧表示設定で「1行表示」に設定している場合は該当するメールの先頭4件が、「2行表示」に設定している場合は該当するメールの先頭2件が表示されます。
  - ・◉を押すと全メールが一覧表示されます。
  - ・送信メールを宛先で検索する場合、2件目以降の宛先に電話帳の相手が設定されていても検索されます（選択中の画面には1件目の宛先が表示されます）。

つづく

・シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードにすると表示されます。

3 表示するメールを選択

・検索結果画面からは、メール一覧と同様の操作ができます。
・メール検索を解除する：Menu 0

おしらせ

● 受信メール一覧、送信メール一覧でMenuを押し、「メール検索」→「電話帳でメール検索」または「カレンダーでメール検索」を選択しても同様に操作できます。この場合はフォルダ内のメールだけが検索されます。

受信／送信メールを並べ替える　ソート

受信メールや送信メールの一覧の並び順を一時的に変更します。表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。

・日付順、送信者順（送信メールでは宛先順）、タイトル順が選択できます。
・未送信メールやFOMAカード内のSMSの並び順は変更できません。

お買い上げ時　日付順

例 受信メール一覧を並べ替えるとき

1 ✉ 1 ▶フォルダを選択

・送信メール☛P248

2 Menu 7 4 ▶ 1 ～ 3 のいずれかを押す

■ **送信メールを並べ替える：Menu 5 ▶ 1 ～ 3**

おしらせ

● 送信者順または宛先順の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
● タイトル順の場合、全角／半角の文字が混在していると、50音順と一致しない場合があります。
● 同じフォルダ内にSMSが含まれていると、一覧画面では SMS はメッセージの本文の先頭が表示されるため、タイトル順で並べ替えた場合、50音順と一致しません。

受信メールの既読／未読を変更する

・保護されている受信メールの既読／未読は変更できません。

例 既読メールを1件未読にするとき

1 ✉ 1 ▶フォルダを選択

2 メールを選ぶ▶ Menu 5 2 を押す

■ **未読メールを1件既読にする：メールを選ぶ▶ Menu 5 1**

■ **既読メールを複数選択して未読にする：Menu 5 4 ▶メールを選択▶ 📖 ▶「はい」を選択**

■ **未読メールを複数選択して既読にする：Menu 5 3 ▶メールを選択▶ 📖 ▶「はい」を選択**

■ **フォルダ内のメールを全件未読にする：Menu 5 6 ▶「はい」を選択**

■ **フォルダ内のメールを全件既読にする：Menu 5 5 ▶「はい」を選択**

受信／送信メールを保護する　メール保護

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防ぐことができます。

・最大保護件数☛P38
・未読メールは保護できません。

例 受信メールを1件保護するとき

1 ✉ 1 ▶フォルダを選択

・送信メール☛P248　・未送信メール☛P248

2 メールを選ぶ▶ Menu 3 1 を押す

メールが保護され、マークが次のいずれかに変わります。

受信メール：（既読）　（返信不可）
（返信済み）　（転送済み）

送信／未送信メール：

・解除する：メールを選ぶ▶ Menu 3 4

■ **複数保護する：Menu 3 2 ▶ メールを選択▶ 📖**

・保護されていない受信メールが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

■ **フォルダ内の受信メールを全件保護する：Menu 3 3**

■ **複数解除する：Menu 3 5 ▶メールを選択▶ 📖**

■ **全件解除する：Menu 3 6**

おしらせ

● メール詳細画面ではMenuを押し、「保護」／「保護解除」を選択します。
● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

●「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

受信／送信メールを削除する　メール削除

受信メール、送信メール、未送信メールから不要なメールを削除します。

・保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、条件に該当していても保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除をしてから削除してください。

受信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細
メール全件	○	×	×
フォルダ内-既読	○	○※1	×
フォルダ内-全件	○	○※1	×
フォルダ内-7日経過※3	○	○※1	×
フォルダ内-14日経過※3	○	○※1	×
フォルダ内-30日経過※3	○	○※1	×
1件削除	×	○	○
複数削除	×	○	×
全検索結果削除	×	○※2	×

※1：メール検索結果の一覧からは実行できません。
※2：メール検索結果の一覧からのみ実行できます。
※3：メール受信後の経過日数によって削除します。
・まとめて削除する場合、条件に該当する未読メールも削除されます。

例 受信メールを1件削除するとき

1 [メール][1]

■ メールをすべて削除する：[Menu][4][6]▶端末暗証番号を入力▶操作4に進む

2 フォルダを選択

3 受信メールを選ぶ▶[Menu][2][1]

■ 複数削除する：[Menu][2][2]▶メールを選択▶[m]

■ フォルダ内の既読メールを削除する：[Menu][2][3]

■ フォルダ内の受信メールをすべて削除する：[Menu][2][4]▶端末暗証番号を入力

■ 受信後の経過日数によって削除する：[Menu][2]▶[5]～[7]

4 「はい」を選択

おしらせ

● メール詳細画面では[Menu]を押し、「削除」を選択します。
● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

送信／未送信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細（送信メール）
メール全件	○	×	×
フォルダ内-全件	○	×	×
全件削除※1	×	○※2	×
1件削除	×	○	○
複数削除	×	○	×
全検索結果削除	×	○※3	×

※1：フォルダ内のメールをすべて削除します。
※2：送信メール検索結果の一覧からは実行できません。
※3：送信メール検索結果の一覧からのみ実行できます。

例 送信メールを1件削除するとき

1 [メール][5]

・未送信メール☛P248

■ メールをすべて削除する：[Menu][4][2]▶端末暗証番号を入力▶操作4に進む

2 フォルダを選択

3 メールを選ぶ▶[Menu][2][1]

■ 複数削除する：[Menu][2][2]▶メールを選択▶[m]

■ フォルダ内の送信メールをすべて削除する：[Menu][2][3]▶端末暗証番号を入力

4 「はい」を選択

おしらせ

● フォルダ一覧では[Menu]を押し、「メール削除」を選択します。
● メール詳細画面では[Menu]を押し、「削除」を選択します。

メールの便利な機能

本文に電話番号やメールアドレス、URLがあるとき、これらを選択して音声電話／テレビ電話／プッシュトークを発信したり（Phone To／AV Phone To）、iモードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、表示中のiモードメール、SMSの本文中の文字をコピーしたり、電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録することもできます。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

- 操作方法はサイトからのPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toと同じです。
- パソコンなどから受信したメールでは本機能を利用できないことがあります。

本文などをコピーする

表示中のiモードメール、SMS、メールテンプレート中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- FOMAカード内のSMSの場合、本文コピーと宛先コピー、発信元コピーができます。
- デコメールの場合、装飾情報はコピーされず、テキストのみコピーされます。
- コピーした文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

例 受信メール詳細画面からコピーするとき

1 受信メール詳細画面を表示

- 選択項目コピーの場合は、コピーする項目を選びます。

2 Menu 2

- メールテンプレートを表示しているときはMenu 3を押します。

3 コピー方法を選択

本文コピー：
本文中の指定した範囲の文字をコピーします。
題名コピー：題名をコピーします。
選択項目コピー：
カーソルを合わせている項目をコピーします。

- 本文コピーの場合はコピーする範囲を指定します。指定方法については☛P215「URLをコピーする」操作2

4 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 文字を貼り付ける

おしらせ

● メールにDate To形式の本文が含まれている場合は、いったんメモ帳に貼り付けて保存するとスケジュール登録できます。

受信／送信メールから電話をかける　電話発信

受信メールの送信者や送信メールの宛先に電話をかけることができます。

- 電話番号とメールアドレス（相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合を除く）を電話帳に登録しておく必要があります。
- シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中だけ電話をかけられます。

例 受信メールから電話をかけるとき

1 受信メール一覧を表示

2 メールを選ぶ ▶ Menu 6

- 受信メール／送信メール詳細画面では電話をかける相手（発信者／宛先）を選び Menu 7 を押します。
- 同報アドレスがあるときはメールアドレス選択画面が表示されます。電話をかけるメールアドレスを選択してください。

3 発信条件を設定

4 Menu ▶「はい」を選択

電話番号やアドレス、URLを電話帳に登録する

表示中のiモードメール、SMS中の電話番号、メールアドレス、URLを電話帳に登録できます。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

例 受信メール詳細画面から電話帳登録するとき

1 項目を含むメールを表示

2 項目を選ぶ ▶ Menu 4

- 選べない項目は登録できません。

メール　便利な機能

3 新規登録するときは[1]、登録済みの電話帳データに追加するときは[2]を押す

- 以降の操作は「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」の操作3と同じです。☛P215

おしらせ

- 送信メール詳細画面、FOMAカード内のSMS詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面では(Menu)を押し、「登録」を選択します。
- デコメールからは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLをブックマークに登録する

表示中のｉモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、その画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

例 受信メール詳細画面からブックマーク登録するとき

1 URLを含むメールを表示

2 URLを選ぶ▶(Menu)[4][3]

3 フォルダを選択

- 以降の操作は「ブックマークに登録する」の操作2と同じです。☛P209

おしらせ

- デコメールからは登録できない場合があります。

メールをお預かりセンターに保存する

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用して、ｉモードメールやSMSをお預かりセンターに保存できます。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

メールを保存する

- 1件あたりのファイル容量が、10000バイトを超えるメールは保存できません。

例 受信メールを保存するとき

1 (✉)[1]▶フォルダを選択

- 送信メール☛P248　・未送信メール☛P248

2 (Menu)[4][5]▶メールを選択▶(📖)

- 最大10件選択できます。
- SMS送達通知は保存できません。

■ 送信メールを保存する：(Menu)[4][5]▶メールを選択▶(📖)

■ 未送信メールを保存する：(Menu)[4][3]▶メールを選択▶(📖)

3 「はい」を選択▶端末暗証番号を入力

選択したメールがお預かりセンターに保存されます。保存が完了すると、実行結果が表示されます。

- 実行結果は約5秒後に消え、メール一覧に戻ります。早く一覧に戻すには(●)を押します。

おしらせ

- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

メールを復元する

お預かりセンターに保存されているメールを、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存します。詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

- 復元したファイルは保護されます。ただし、次の場合は保護されません。
  - お預かりセンターに保存されているメールが未読だった場合
  - FOMA端末に保存されているメールの保護件数が最大保護件数に達している場合

通信履歴を確認する

お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。

- 履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 (Menu)[6][9][2]▶通信履歴を選択

FOMA端末のメール機能を設定する
メール設定

Menu 193

メールを自動的にフォルダに振り分ける
メール振り分け設定

受信／送信したｉモードメールやSMSに振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。

- 受信メール、送信メールの振り分け条件はそれぞれ30件登録できます。

振り分け条件を設定する

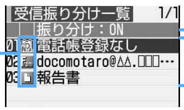
- 振り分け条件を設定したり実行するには、受信振り分け設定／送信振り分け設定の自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。お買い上げ時は「ON」に設定されています。☛P257
- 条件設定後に受信／送信するメールに対して有効です。受信／送信済みのメールは振り分けられません。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできます。
- メール連動型ｉアプリのメールは、該当するメール連動型ｉアプリ用のフォルダがあると、振り分け条件の設定に関わらず、そのフォルダに保存されます。

例 受信メールの振り分け条件を設定するとき

1 [✉][9][3]

2 [1]

- 送信メールの振り分け条件を設定する：[2]

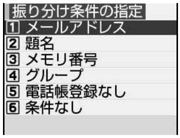


自動振り分け設定のON／OFF

登録済みの振り分け条件（優先順位に表示）

❶ [To]：送信メールアドレス
[From]：受信メールアドレス
[No.]：メモリ番号
[題名アイコン]：題名
[条件なしアイコン]：条件なし
[電話帳登録なしアイコン]：電話帳登録なし
[グループアイコン]：グループ

3 [Menu][1]▶**振り分け条件を指定**



振り分け条件の指定画面

■ **メールアドレスを指定する：**
指定したメールアドレスで受信／送信したメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角50文字まで）。アドレスの一部の文字では振り分けられません。電話番号を指定すると、SMSも振り分けできます。
① [1][2]▶**メールアドレスを入力**▶[📖]
- 電話帳に登録されているメールアドレスを指定する：[1][1]▶相手を選択
  - メールアドレスを複数登録しているときは、メールアドレスを選択します。

■ **題名を指定する：**
指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角15文字（半角30文字）まで）。SMSは題名では振り分けできません。
① [2]▶**題名を入力**▶[📖]

■ **メモリ番号を指定する：**
FOMA端末電話帳の指定したメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。
① [3]▶**メモリ番号を入力**▶[📖]
② **電話帳データを選択**

■ **グループを指定する：**
グループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
① [4]
② **FOMA端末電話帳のグループを指定するときは[1]、FOMAカード電話帳のグループを指定するときは[2]**
③ **グループを選択**

■ **電話帳登録なしを指定する：[5]**
電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

■ **条件なしを指定する：[6]**
条件を設定せずにすべてのメールを振り分けます。

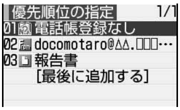
4 振り分け先フォルダを選択



- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがｉアプリで利用される旨のメッセージが表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

5 優先順位を指定

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。



- 1件目の条件を登録する：［最後に追加する］を選択
- 最後に追加する：［最後に追加する］を選択
- 優先順位の高い条件から順に並べます。
- 登録済みの条件を変更したときは［最後に追加する］は、［最後に移動する］と表示されます。

おしらせ

- 発信元の端末がｉモード端末でメールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるため、振り分け設定に「携帯電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同一のメールアドレスが登録されている場合、FOMA端末電話帳のメールアドレスを優先して振り分けるため、振り分けの優先度と一致しない場合があります。
- 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を2件設定した場合、次のように振り分けられます。
  ①優先順位1の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。
  ②優先順位2の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダに保存されます。

振り分け条件を確認・変更する

1 [✉][9][3]▶[1]～[2]

2 **振り分け条件を選択**

- 条件を確認中でも振り分け条件の変更、削除ができます。

■ **登録済みの振り分け条件を変更する：**
①**振り分け条件を選ぶ▶[Menu][2]▶振り分け条件を指定**
- 振り分け条件の指定は「振り分け条件を設定する」の操作3以降と同じです。
☛P256

②**「変更する」を選択**

■ **優先順位を変更する：振り分け条件を選ぶ▶[Menu][5]▶位置を選択**
- 選択した位置の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、［最後に移動する］を選択します。

■ **条件を削除する：振り分け条件を選ぶ▶[Menu][3]▶「はい」を選択**
- 条件をすべて削除する：[Menu][4]▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

自動的に振り分けるかどうかを設定する

- 「ON」に設定しても、振り分け条件を設定しないと振り分けられません。

お買い上げ時　すべてON

例　受信メールを振り分けるとき

1 [✉][9][3]

2 [1]▶[Menu][6]

- 送信メールを設定する：[2]▶[Menu][6]

3 **[1]～[2]のいずれかを押す**

メール
メール設定

Menu 194

メールの署名を登録する　署名設定

iモードメールやSMSの本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。

署名を編集し登録する

- 署名は装飾できます。ただし、メロディ添付（メロデコ）はできません。装飾方法はデコメールの場合と同じです。装飾すると、その分入力できる文字数が減ります。
- 装飾した署名が挿入されたメールはデコメールになります。

お買い上げ時　未登録

1 [メール][9][4]▶[2]▶[決定]

2 **署名を入力（全角4999文字（半角9998文字）まで）**

- 全角5000文字（半角10000文字）まで入力できますが、署名の挿入時には改行されるため、改行（全角1文字（半角2文字））分少なくしてください。

3 [本]**を押す**

署名を自動挿入するかどうかを設定する

- 「する」に設定しても、署名が登録されていないと挿入できません。

お買い上げ時　する

1 [メール][9][4]▶[1]

2 [1]～[2]**のいずれかを押す**

おしらせ

● 署名も本文の文字数に含まれます。本文に署名の文字数と改行分の空きがないと、署名は挿入できません。

● 自動挿入を「する」に設定すると、返信／転送時も本文の最後に署名が挿入されます。ただし、署名に設定した背景色は、iモードメールを新規作成する場合、またはiモードメールに本文を引用せずに返信する場合だけ反映されます。

● 署名が登録してあるときは、メールの本文入力時に[Menu]を押し「定型文・区点・引用」→「署名挿入」を選択すると挿入できます。ただし、署名に設定した背景色はiモードメールの場合で、本文が未入力の状態のときだけ反映されます。

● 以下の場合、署名はSMSに挿入できません。
- 署名を挿入すると本文の文字数が全角・半角を問わず70文字を超える場合
- 署名を装飾した場合
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定し、新規にSMSを作成する場合
- 送信文字種が「英語」に設定されたSMSに返信、転送する場合

● 署名に電話番号やメールアドレス、URLを入れておくと、iモード端末にiモードメールを送信した場合、相手がPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を使うことができます。

Menu 164 / Menu 2632 / ⬇632

センター問い合わせの内容を設定する　iモード問合せ設定

- お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに☑が付いています。問い合わせをしない場合は、☐にしてご利用ください。

お買い上げ時　すべて選択

1 [メール][6][4]

2 **問い合わせ項目を選択**

- いずれかの項目を選択しないと登録できません。

3 [本]**を押す**

Menu 1972

メールを選択して受信できるようにする　メール選択受信設定

お買い上げ時　OFF

1 [メール][9][7][2]▶[1]～[2]**のいずれかを押す**

- 「ON」に設定するとメールを自動的に受信できない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押してください。

Menu 196

宛先をメールグループに登録する　メールグループ設定

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、iモードメール作成時に簡単な操作で複数の宛先が設定できます。

- メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 [メール][9][6]

2 Ⓜ(電話帳キー)

■ メールグループ名を編集する：メールグループを選ぶ▶Menu 2

■ メールグループをコピーする：メールグループを選ぶ▶Menu 3

■ メールグループを1件削除する：メールグループを選ぶ▶Menu 4 1▶「はい」を選択

■ メールグループを全件削除する：Menu 4 2▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

3 メールグループ名を入力（全角8文字（半角16文字）まで）▶Ⓜ

・続けて別のメールグループを登録する：Ⓜ

4 メールグループを選択

5 ✉▶各項目を選択して設定

宛先種別：

TO、CC、BCCを設定します。☞P231

アドレス：

メールアドレスを入力します（半角50文字まで）。

・電話帳から選択する：📖▶相手を選択

・メールアドレスを複数登録しているときは、メールアドレスを選択します。

6 Ⓜ

・既に電話帳に登録されているメールアドレスは、電話帳で登録している名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスが表示されます。

・他のメールアドレスを追加する：操作5から繰り返す

■ メールアドレスを編集する：メールアドレス（または名前）を選択▶メールアドレスを編集▶Ⓜ

■ メールアドレスを1件削除する：メールアドレス（または名前）を選ぶ▶Menu 2▶「はい」を選択

■ メールアドレスの詳細を表示する：Menu 3▶メールアドレスの確認が終わったら⊙

7 Ⓜを押す

メールグループにメールアドレスが登録されます。

・メールグループを選び✉を押すとｉモードメールを作成できます。

おしらせ

● 宛先種別にTOがないと、メールを送信できません。

Menu 1951

返信時に本文を引用するかどうかを設定する　メール返信引用設定

ｉモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

お買い上げ時　引用：する　引用文字：＞（半角）

1 ✉ 9 5 1

2 各項目を選択して設定

引用：

メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。

引用文字：

全角1文字（半角2文字）まで入力できます。

・引用文字も本文の文字数に含まれます。

・送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

3 Ⓜを押す

Menu 1952

返信時にクイック返信本文を挿入するかどうかを設定する　クイック返信設定

・SMSにはクイック返信本文は挿入できません。

・「ON」に設定しても、クイック返信本文が登録されていないと挿入できません。

お買い上げ時　ON

1 ✉ 9 5 2▶1～2のいずれかを押す

Menu 1953

クイック返信時に挿入する本文を登録する　クイック返信本文登録

・最大5件登録できます。

・お買い上げ時の状態から新たに本文を登録するには、登録されている本文を選択して修正するか、不要な本文を削除してください。

お買い上げ時　OKです。　NGです。　ありがとう！　ゴメンなさい！　後ほど連絡します。

1 ✉ 9 5 3▶本文を選択

2 本文を入力（全角20文字（半角40文字）まで）▶Ⓜ▶「はい」を選択

・改行はできません。

■ 登録されている本文を確認する：クイック返信本文一覧で本文を選ぶ▶Ⓜ

■ 登録されている本文を削除する：クイック返信本文一覧で本文を選ぶ▶[Menu][1]▶「はい」を選択

■ 新たに本文を登録する：クイック返信本文一覧で「<新しい返信本文>」を選択▶本文を入力▶[本]

■ お買い上げ時の内容に戻す：クイック返信本文一覧で[Menu][2]▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

Menu 1975

メール一覧の表示形式を設定する　メール一覧表示設定

受信メールや送信メールの一覧の表示形式を設定します。
- 未送信メールやFOMAカード内のSMSでは設定に関わらず、2行表示されます。

お買い上げ時　2行表示

2行表示



1行表示



選んでいるメールの発信元（送信メールでは1件目の宛先）

1 [✉][9][7][5]▶[1]～[2]のいずれかを押す

Menu 1976

メールをのぞき見されないようにする　オンリービュー設定

iモードメール／SMSの作成画面や詳細画面、署名編集画面（装飾なし）、メールテンプレートの表示画面をオンリービュー表示にするかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、表示画面のコントラストが調整され、表示が見えにくくなり、のぞき見されにくくなります。
- 以下の画面ではオンリービュー表示にはなりません。
  - 文字入力　・一覧表示　・デコメール
  - チャットメール

お買い上げ時　OFF

1 [✉][9][7][6]▶[1]～[2]のいずれかを押す

おしらせ

● 設定に関わらず、オンリービュー表示にできる画面では[📷]を1秒以上押すたびに通常表示とオンリービュー表示が切り替わります。各画面で表示を切り替えると、オンリービュー設定にも反映されます。

Menu 1973

添付ファイルを受信するかどうかを設定する　メール受信添付ファイル設定

iモードメールに添付されている画像、メロディ、トルカを受信するかどうかを設定します。

お買い上げ時　画像、メロディ、トルカ受信

1 [✉][9][7][3]▶[1]～[4]のいずれかを押す

おしらせ

●「受信しない」または「メロディのみ受信」に設定にするとメール本文に挿入された画像も受信できません。
● 受信しない添付ファイルはiモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
● メール本文中に貼付された MFi 形式のメロディは、本設定に関わらず受信します。

Menu 1974 / Menu 2633 / ⬇633

メロディを自動再生するかどうかを設定する　添付ファイル自動再生設定

メロディが添付されているiモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

お買い上げ時　自動再生する

1 [✉][9][7][4]▶[1]～[2]のいずれかを押す

おしらせ

●「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、電話着信音量で設定されている音量でメロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。途中で止めるには[ch/クリア]を押します。
●「自動再生する」に設定しても、メッセージR/Fが自動表示されたときは、メロディは自動再生されません。

表示するメールの種別を選ぶ　表示種別

指定した種別のメールだけを表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

・受信メールでは「すべて表示」「未読のみ表示」「既読のみ表示」「保護のみ表示」から選択できます。
・送信メールでは「すべて表示」または「保護のみ表示」が選択できます。
・未送信メールやFOMAカード内のSMSの表示種別は選択できません。

お買い上げ時　すべて表示

例　受信メールの表示種別を選択するとき

1 **✉ 1 ▶フォルダを選択**

・送信メール☛P248

2 **Menu 7 2 ▶ 1 ～ 4 のいずれかを押す**

おしらせ

●「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メール詳細画面の文字の大きさを変更する　文字サイズ

受信メールや送信メール、メールテンプレートの内容を表示するときの文字サイズを変更します。
・文字サイズの変更は受信メール、送信メール、メールテンプレート、miniSDメモリーカード内のメールすべてに反映されます。
・本機能での設定内容は、文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。

お買い上げ時　中（標準）



大：24ドット



中：20ドット（標準）



小：16ドット

例　受信メール詳細画面から操作するとき

1 **✉ 1 ▶フォルダを選択**

・送信メール☛P248

2 **メールを選択▶ Menu 3 1**

・メールテンプレートを表示しているときは、Menu 4 1 を押します。

3 **1 ～ 3 のいずれかを押す**

おしらせ

●文字サイズ設定の「一括」または「メール閲覧」からも変更できます。
●miniSDメモリーカード内の受信／送信メールや未送信メールの詳細画面ではMenuを押し、「文字サイズ」を選択します。
●メール詳細画面の文字サイズの変更は次に設定を変更するまで保持されます。
●メール作成時および編集時の文字サイズは、文字サイズ設定の「一括」または「メール編集／文字入力」から変更できます。

Menu 191

メール着信時の動作を設定する　メール着信設定

ｉモードメール、SMSを受信したときの動作を設定します。
・本機能での設定内容は、音の設定、イルミネーション設定、バイブレータ設定にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　着信音選択：メロディ／メール・メロディA
着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／アクア　バイブレータ設定：OFF
鳴動時間：10秒

1 **✉ 9 1**

2 **各項目を選択して設定**

着信音選択：
「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。着信音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。
・選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P133

着信イルミネーション設定：
決定キーの照明の点灯パターンと点灯色を設定します。
・点灯パターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定すると点灯色は設定できません。

バイブレータ設定：
バイブレータの動作パターンを設定します。

鳴動時間（秒）：
着信音が鳴動している時間を設定します（1～30秒）。

3 **(ｍ)を押す**

おしらせ

- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定すると、イルミネーションやバイブレータが動作しないことがあります。
- 電話帳でメール着信設定をしている相手からのメールを受信した場合は、電話帳の設定で動作します。☛P114

Menu 1971

メール受信通知を設定する　受信表示設定

FOMA端末の操作中にｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時　通知優先

1 **(メール)[9][7][1]▶[1]～[2]のいずれかを押す**

操作優先： 受信中画面および受信結果画面を表示しません。
通知優先： 受信中画面および受信結果画面を表示します。

おしらせ

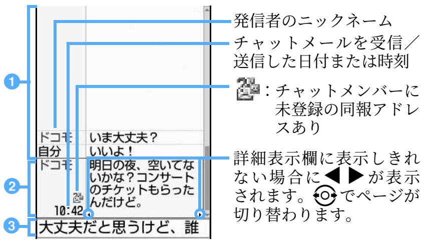
- 「操作優先」に設定すると、待受中以外の場合（他の機能が起動中）は受信中画面や受信結果画面が表示されず、メール着信音も鳴りません。着信を知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。
- 「通知優先」に設定していても、音声電話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、カメラ起動中、ｉアプリ動作中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、目覚まし音やアラーム鳴動中などは受信中画面および受信結果画面は表示されず、メール着信音も鳴りません。着信を知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。
- オールロック中、PIMロック中、公共モード（ドライブモード）中は設定に関わらず、受信中画面および受信結果画面は表示されず、メール着信音も鳴りません。着信を知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。

チャットメールを作成して送信する
チャットメール作成・送信

複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは1つの画面で確認できます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをチャットメンバーに登録しておく必要があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、または受信／送信メールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、相手の端末には「チャットメール」の題名が付いたメールとして届きます。また、チャットメンバーに登録しているチャットメール非対応端末から、題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信した場合、チャットメールとして受信できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

チャットメール画面の見かた



① **送受信履歴**
最新の履歴から最大100件表示できます。
- ガイド行に△▽が表示されているときは(○)でスクロールできます。
  - 画面単位でスクロールする：(ｉ)／(メール)
  - 先頭行に移動する：(Menu)[5][1]
  - 最終行に移動する：(Menu)[5][2]

② **詳細表示欄**
最新または選んだチャットメールの詳細を表示します。表示可能文字数は全角250文字（半角500文字）までです。

③ **本文入力欄**

メール　チャットメール作成・送信

チャットメンバーを登録する
チャットメンバー設定

・チャットメンバーに登録できるのは、最大5件です。同じメールアドレスは複数登録できません。

1 ✉3

メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

・メンバーが既に登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。メンバーを追加登録するときは、Menu 7 を押して操作3に進みます。

2 **「はい」を選択**

3 ✉

4 **アドレス欄を選択 ▶ メールアドレスを入力（半角50文字まで）**

・メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスを登録してからシークレットコードを設定し、相手の携帯電話番号のみをメンバーに登録します。

■ **電話帳から検索する：📖▶相手を選択**

・メールアドレスを複数登録しているときは、メールアドレスを選択します。

5 **ニックネーム欄を選択 ▶ ニックネームを入力（全角4文字（半角8文字）まで）**

・メールアドレスが、電話帳に登録されているアドレスと一致するときは、電話帳の名前（先頭から全角4文字（半角8文字）まで）がニックネーム欄に表示されます。

・ニックネームを入力しなかった場合は、チャットメール画面では、メールアドレスの@より前の部分の先頭から8文字が表示されます。

6 **文字色欄を選択▶文字色を選択**

・青、赤、緑、オレンジ、黒の順に、登録済みのチャットメンバーに使用していない色から表示されます。

・チャットメール画面ではニックネームが選択した色で表示されます。

7 🄼

チャットメンバーが表示されます。

・他のメンバーを追加登録する：✉▶操作4～7を繰り返す

8 **🄼を押す**

チャットメールを作成して送信する

・チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、設定は元に戻ります。

・送信したチャットメールは、「送信メール」の「送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 ✉3

・メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 **本文入力欄を選択 ▶ 本文を入力（全角250文字（半角500文字）まで）**

・スライド編集設定でチャットメールを「ON」に設定している場合、チャットメール画面でFOMA端末を開くと本文を入力できます。

■ **チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付ける：**

①**チャットメールを選ぶ▶Menu 6▶範囲を指定**

・範囲の指定方法☛P412

②**本文入力欄を選択▶貼り付ける位置を選ぶ▶Menu 3**

■ **送信するメンバーを選択する：Menu 3▶宛先を選択▶🄼**

3 **🄼を押す**

・正常に送信されると、送信されたチャットメールはチャットメール画面に表示されます。

■ **受信したメールの同報アドレス全員に返信する：Menu 2 2**

おしらせ

● チャットメールは、以下の操作でもチャットメール画面に表示できます。

・受信／送信メール一覧でチャットメールを選びMenuを押し、「表示」→「チャットメール表示」を選択

・受信／送信したチャットメールの詳細画面でMenuを押し、「表示」→「チャットメール表示」を選択

● 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダにはチャットメールは1件のみ保存できます。さらに送信に失敗すると、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文入力欄に表示されます。再送信する場合は、チャットメール画面から送信してください。

チャットメールを受信する　チャットメール受信

チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手から、題名に「チャットメール」（全角・半角を問わず）を含むメールを受信した場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加されます。

- チャットメールを起動しているときは、チャットメールを受信しても、着信音は鳴らず、着信バイブレータも動作しません。着信を知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。
- チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールが送信されてきた場合は、次の「チャットメールを起動していないとき」の操作に従ってチャットメール画面に読み込んでください。

チャットメールを起動していないとき

チャットメールはｉモードメールとして「受信メール」の「受信BOX」フォルダに保存されます。

- メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 受信メール一覧でチャットメール画面に読み込む受信メールを選ぶ▶ Menu 7 5 を押す

- 受信メール詳細画面では Menu 3 3 を押します。
- 読み込むメールの発信元アドレスがチャットメンバーに登録されていない場合は、登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録するときは「はい」を選択してメンバー登録をしてください。☛P263
- デコメールやパソコンから受信したHTMLメールは、チャットメール画面には読み込めません。

ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

1 チャットメール画面で Menu 1 を押す

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加されます。

- ｉモード問合せでチャットメールを受信すると、同時にｉモードメールも受信します。

おしらせ

● チャットメール画面では本文中に電話番号やメールアドレス、URLが含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toは行えず、ｉアプリToの機能も使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し、「受信メール」からチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。

● 「受信メール」からチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。

● チャットメールを起動していないとき、チャットメンバーに登録している相手からチャットメールを受信した場合は、次回のチャットメール起動時にチャットメール画面に読み込まれます。

● チャットメール画面で受信したチャットメールは、「受信メール」では既読になります。

● メール連動型ｉアプリからメールを送受信した場合、チャットメールとして受信したメールはチャットメール画面に表示されます。

同報アドレスを表示する

受信したメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面でメールを選ぶ▶ Menu 4 を押す

- メンバー登録されていない同報者はニックネームの代わりに「未登録」と表示されます。またメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、メールアドレスの代わりに名前が表示されます。メールアドレスを確認する場合は ◉ を押します。

■ **未登録の同報者をチャットメンバーとして登録する：アドレスを選ぶ▶ 📖**

- 以降の操作は「チャットメンバーを登録する」の操作5以降と同じです。☛P263

■ **同報アドレスをコピーする：アドレスを選ぶ▶ Menu 2**

メール

チャットメール作成・送信

チャットメールの履歴をすべて削除する

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールの履歴を削除します。

- 受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

1 チャットメール画面でMenu 9▶「はい」を選択

チャットメンバーを編集する

チャットメンバーの登録内容を変更したり、メンバーを追加または削除します。メンバー全員の登録内容の詳細を確認したり、メンバーを入れ替えたりすることもできます。

1 チャットメール画面でMenu 7

2 メンバーを選択▶編集

■ **メンバーを1件削除する：メンバーを選ぶ▶Menu 2▶「はい」を選択**

■ **メンバーの詳細を表示する：**
①Menu 3
②確認が終わったら☻

■ **メンバーを追加する：✉**

■ **メンバー全件をメールグループと入れ替える：Menu 5▶メールグループを選択▶「はい」を選択**
チャットメールのメンバーが、選択したメールグループに登録されているメンバーと入れ替わります。

3 📖を押す

個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

1 チャットメール画面でMenu 8

2 ニックネーム欄を選択▶ニックネームを入力（全角4文字（半角8文字）まで）

- ニックネームを入力しなかった場合、チャットメール画面では「自分」と表示されます。

3 文字色欄を選択▶文字色を選択

4 📖を押す

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で☎またはch/クリア

2 「いいえ」を選択

チャットメールが終了します。次回のチャットメール起動時に、前回のチャットメールが表示されます。

- 「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。この場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

Menu 192

チャットメール着信時の設定を行う

チャットメール着信設定

チャットメールを起動していないときに、チャットメールを受信したときの着信動作を設定します。

- 本機能での設定内容は、音の設定、イルミネーション設定、バイブレータ設定にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　着信動作設定：設定する
着信音選択：メロディ／メール・メロディB
着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／ラベンダー　バイブレータ設定：OFF
鳴動時間：10秒

1 ✉ 9 2

2 各項目を選択して設定

着信動作設定：
着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うかを設定します。

- 「設定する」に設定すると、以下の項目を設定できます。

着信音選択：
「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／iモーションを選択します。着信音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

- 選択時にメロディ、動画／iモーションを再生して確認するには☛P133

着信イルミネーション設定：
決定キーの照明の点灯パターンと点灯色を設定します。

- 点灯パターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定すると点灯色は設定できません。

バイブレータ設定：
バイブレータの動作を設定します。

鳴動時間（秒）：
着信音が鳴る時間を設定します（1～30秒）。

3 [i-mode key]を押す

おしらせ

- ●同時に複数のメールを受信した場合に本設定どおりの動作となるのは、チャットメールを最後に受信したときのみです。
- ●メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定すると、イルミネーションやバイブレータが動作しないことがあります。

Menu 171

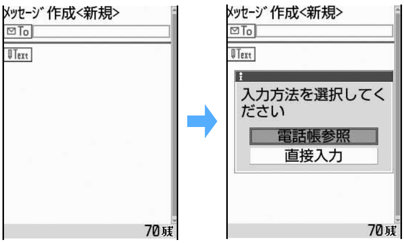
SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する　SMS作成・送信

SMS を作成して送信します。送信せずに保存することもできます。

- 最大保存件数☛P38
- 半角カタカナは受信側で正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも「国際SMS」の送受信が可能です。ご利用方法やご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 受信、送信、未送信の SMS 一覧／詳細画面の見かた☛P248

例 宛先を直接入力してSMSを作成・送信するとき

1 [メール][7][1]▶[To]欄を選択



2 「直接入力」を選択▶宛先（相手の電話番号）を入力

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「＋」（[0]を1秒以上押す）「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。また、「010」「国番号」「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からの SMS に返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。
- [To]欄には26文字まで入力できますが、宛先として送信できるのは20文字（「+」を含めた場合21文字）までです。

■ **電話帳から検索する：「電話帳参照」を選択▶相手を選択**

- 電話番号を複数登録しているときは、電話番号を選択します。

3 [Text]を選択▶本文を入力

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず 70 文字まで入力できます。空白も本文の文字数に含まれます。
- SMS 設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、半角 160 文字まで入力できます。英数字と記号（｀。｢｣､･ﾞﾟを除く）が使用できます。半角空白も本文の文字数に含まれます。
- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは [#] を押します（全角数字入力モード、半角数字入力モードを除く）。改行も本文の文字数に含まれます。ただし、相手の端末では半角空白に置き換わります。

■ **署名を挿入する：[Menu][4][5]**

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

4 [i-mode key]を押す

■ **SMSを送信せずに保存する：[Menu][2]**

- 宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。
- 保存した SMS を再編集して送信できます。☛P240

おしらせ

- ●電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ●発信者番号通知設定を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- ●送信文字種が英語の場合、一部の記号（｜＾{ } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。この場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
- ●保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMS を作成できません。「未送信メール」から不要な i モードメール、SMS を削除してください。☛P253
- ●SMSを送信完了した場合でも、SMS受信に非対応の機種では正常にSMSを受信することはできません。
- ●送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめ SMS 設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はSMSの作成開始後に変更することもできます。

● 送信が正常に終了したときは、SMSが「送信メール」の「送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。
● 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダからSMSを編集・送信できます。☛P240
● 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信メール」に保存されます。

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは　SMS受信

SMSは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、決定キーの照明でお知らせします。受信したSMSは「受信メール」に保存されます。
- 最大保存件数☛P38

1 SMSを受信



点滅
が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
受信が完了すると、受信結果画面が表示され、メール着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅します。

受信中画面

↓ 受信完了



：未読のSMSあり
：未読のSMSとｉモードメールあり

受信結果（スクロール表示）

受信したSMSの件数
受信に失敗したときは「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、SMS問合せを行ってください。

受信結果画面

- SMS受信中に（終話キー）を押すと受信を中止します。
- 受信結果画面は何も操作しないと約15秒間、メール着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときは着信音が鳴り終わるまで表示されます。早く受信前の画面に戻すには（ch/クリア）を押します。

■ **受信したSMSをすぐに読む：受信結果画面で（決定）または［1］▶フォルダを選択▶SMSを選択**
- 受信したSMSに返信（☛P243）したり、他の宛先に転送（☛P244）できます。
  操作方法はｉモードメールの場合と同様です。

おしらせ

● ｉモードメール、メッセージR/F受信中やお預かりセンター接続中は、SMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の一番古い受信メールに上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面にはや が表示されます（☛P29）。受信する場合、未読メールの内容表示、未読メールの既読メールへの変更、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
- FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、「受信メール」に空きがあっても、SMSを受信できないことがあります。このとき、画面にはや が表示されます（☛P29）。FOMA端末に移動（☛P269）するか、FOMAカード内のSMSを削除（☛P270）してください。

● 受信したSMSに直接FOMAカードへの保存が指定されている場合は、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカード内のSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから再度、SMS問合せを行ってください。
● 受信表示設定の設定内容によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。
● mova端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
● FOMA端末電話帳にメール着信設定のある相手からSMSを受信した場合、メール着信音、着信バイブレータ、決定キーの照明はFOMA端末電話帳の設定に従って動作します。電話帳との照合については「名前の表示について」を参照してください。☛P111
- 複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したSMSの条件に従って動作します。

● ドコモ以外の海外通信事業者から SMS を受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「＋」が付きます。電話帳に「＋」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。

Menu 162

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる　SMS問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間に SMS が届いていないかを問い合わせます。

・電波状態によっては SMS 問合せができない場合があります。

1 **[✉][6][2]を押す**

SMS センターに SMS が保管されていれば受信します。

おしらせ

● SMS問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

Menu 174

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う　SMS設定

通常は SMSC、アドレス、Type of Number の設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　送信文字種：日本語
送達通知：要求しない　有効期間：3日
SMSC：ドコモ
アドレス：81903101652
Type of Number：international

1 **[✉][7][4]**

2 **各項目を選択して設定**

送信文字種：
日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。

送達通知：
SMS を送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

有効期間：
送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

SMSC：
ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。
・「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、アドレスを入力します（半角20文字まで）。

Type of Number：
「international」「unknown」のいずれかを設定します。
・SMSCに「その他」を設定しアドレス欄に数字のみ、または「＊」「#」を含んだ番号を入力した場合は、「unknown」に設定してください。

3 **[📖]を押す**

おしらせ

● SMSの作成画面では[Menu]を押し、「SMS設定」を選択します。この場合には、「送達通知」「有効期間」のみ設定でき、作成中のSMSにだけ有効です。
● 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Number の設定は、FOMAカードに保存されます。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する　FOMAカード保存SMS

送受信したSMSを、FOMA端末からFOMAカードに移動またはコピーします。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに移動／コピーする

・最大保存件数☛P38
・「未送信メール」のSMSは、FOMAカードに保存できません。
・送信 SMS を移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に「FOMAカード（UIM）受信 SMS」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例 受信SMSをFOMAカードに1件移動するとき

1 **[✉][1]▶フォルダを選択**

・送信SMS☛P248

2 **SMSを選ぶ▶[Menu][4][2][1]**

■ **複数移動する：**[Menu][4][2][2]▶SMS を選択▶[📖]

■ **1件コピーする：**SMSを選ぶ▶[Menu][4][3][1]

■ 複数コピーする：Menu 4 3 2 ▶ SMSを選択 ▶ 決定

3 「はい」を選択

おしらせ

● 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面では Menu を押し、「移動／コピー」→「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」を選択します。
● FOMAカードにSMSが20件保存されているときは移動／コピーできません。FOMAカードから不要なSMSを削除してください。
● 保護の設定は FOMA カードに移動／コピーされません。

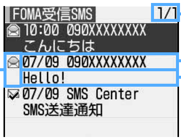
Menu 172 / Menu 173

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を表示する

例 受信SMSを表示するとき

1 ✉ 7 2

FOMA受信SMS一覧画面では、SMSは2行で表示されます。



ページ番号／総ページ数

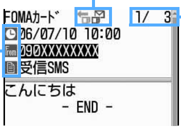
受信日時と発信元または宛先

本文の先頭または「SMS送達通知」「留守番　着信通知」のいずれか

❶ 未読（返信可）　未読（返信不可）
既読（返信可）　既読（返信不可）
送達通知／着信通知

- 一覧の既読／未読のマークは、FOMAカード内のSMSを表示したかどうかを示します。移動／コピー前の未読／既読の状態も引き継がれます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 送信SMSを表示する：✉ 7 3

2 SMSを選択



メッセージ番号／件数

❶ ：受信（返信可）　：受信（返信不可）
：送信
：送達通知／着信通知
：FOMAカード内のSMS

❷ ：日時　：宛先
：発信元　：発信元（返信不可）
：題名（「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」のいずれか）

- 送達通知の発信元には「SMS Center」、着信通知の発信元には「DoCoMo SMS」と表示されます。
- 送信SMSをFOMAカードに移動／コピーした場合、FOMAカード内の送信SMSから送信日時のデータが消去されます。

おしらせ

● FOMAカード内のSMSから返信／転送、再送信などを行った場合、送信済みのSMSは、FOMA端末の「送信メール」に保存されます。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末に移動／コピーする

FOMAカードに保存されているSMSを、FOMA端末の「受信メール」または「送信メール」に移動／コピーします。

- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例 受信SMSをFOMA端末に1件移動するとき

1 ✉ 7 2

- 送信SMSを移動／コピーする：✉ 7 3

2 SMSを選ぶ ▶ Menu 3 1

■ 複数移動する：Menu 3 2 ▶ SMSを選択 ▶ 決定

■ 1件コピーする：SMSを選ぶ ▶ Menu 3 3

■ 複数コピーする：Menu 3 4 ▶ SMSを選択 ▶ 決定

3 ◉ ▶ 移動先フォルダを選択 ▶ 「はい」を選択

おしらせ

● FOMAカード内のSMS詳細画面では Menu を押し、「移動／コピー」→「本体へ移動」または「本体へコピー」を選択します。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないSMSやｉモードメールがあっても上書きされません。不要なSMS、ｉモードメールを削除してください。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を削除する

・送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にある場合は、同時に削除されます。

例 受信SMSを1件削除するとき

1 ✉ 7 2

・送信SMSを削除する：✉ 7 3

2 **SMSを選ぶ▶Menu 2 1**

■ **複数削除する：Menu 2 2▶SMSを選択▶📖**

■ **全件削除する：Menu 2 3▶端末暗証番号を入力**

■ **送達通知を全件削除する：Menu 2 4▶端末暗証番号を入力**

3 **「はい」を選択**

おしらせ

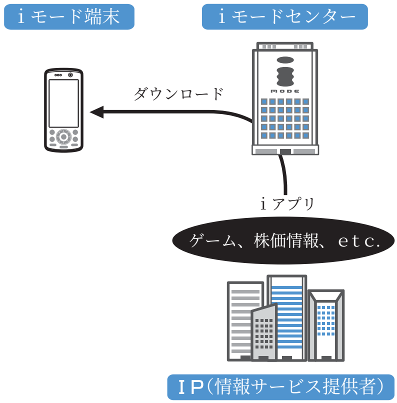
● FOMAカード内のSMS詳細画面ではMenuを押し､「削除」を選択します。

ｉアプリ

ｉアプリとは......272
サイトからｉアプリをダウンロードする......273
ｉアプリを起動する......275
プリインストールｉアプリを使う......278
ワンタッチでｉアプリを起動する......ワンタッチｉアプリ 283
ツータッチでｉアプリを起動する......ツータッチｉアプリ 284
ｉアプリを自動起動する......284
サイトやメールからｉアプリを起動する......ｉアプリTo 285
ｉアプリ待受画面を操作する......ｉアプリ待受画面 286
ｉアプリを管理する......286
ｉアプリからさまざまな機能を利用する......289

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード対応FOMA端末（以下、iモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。



・iアプリをダウンロードする☛P273
・iアプリを起動する☛P275
・iアプリを自動起動する☛P284

おしらせ

● iアプリによっては、iモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
● iアプリによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。☛P276

登録データを利用する

iアプリには、お客様のiモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

・電話帳登録
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存
・トルカ保存
・miniSDメモリーカードの利用

おしらせ

● プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャ、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないiアプリがあります。
● iアプリにより画像が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「iモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、またはiアプリ内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用できます。

登録データを利用する

iアプリDXでは、通常のiアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）だけでなく、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

・電話帳登録
・電話帳参照
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・メールメニューの利用
・iモードメール作成画面利用
・最新のリダイヤル参照
・最新の着信履歴参照
・最新の未読メール参照
・着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存
・データBOXへの動画保存
・データBOXへの着信音保存
・トルカ参照、取得
・トルカ保存
・画像設定の変更（待受画面、電話発着信、テレビ電話発着信、メール送受信、メッセージR/F受信）
・miniSDメモリーカードの利用

おしらせ

● iアプリDXでは、iアプリの有効性を確認するため、iアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはiアプリによって異なります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

● ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。
● プライバシーモード中（電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないｉアプリDXがあります。
● ｉアプリDXにより画像・動画・着信音が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、ｉモーション・メロディの「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリDX内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリは、ｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。
- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応ｉアプリとは

おサイフケータイ対応ｉアプリを使って、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴をFOMA端末上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにICカード内の情報が送信されます。
- おサイフケータイとは☛P296

こんなこともできます

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にできます。☛P286
- ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ｉアプリを自動起動できます。あらかじめｉアプリに設定されている時間間隔で自動起動できるｉアプリもあります。☛P284

■ カメラ撮影

ｉアプリからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。
- カメラ撮影機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。☛P289

■ 赤外線通信

ｉアプリから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使い方ができます。☛P290
- 赤外線通信機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ｉアプリから、赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。☛P352
たとえばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。
☛P281
- 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。相手の機器に対応したｉアプリが必要です。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。
- 最大保存件数☛P38
- 電波状況などによりｉアプリのダウンロードに失敗した場合、そのｉアプリはFOMA端末に保存されません。

1 ｉアプリのあるサイトを表示▶ｉアプリを選択

選択したｉアプリがダウンロードされます。
- ダウンロードを中止する：[CLR]▶「はい」を選択

■ ソフト情報表示設定を「ON」に設定しているとき：

ｉアプリの情報が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリがダウンロードされます。
- ダウンロードするｉアプリの詳細情報を確認する：[m]

■ **登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号、miniSDメモリーカードを利用するｉアプリをダウンロードするとき：**
確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロードされます。
- ガイド行に「ガイド」と表示された場合、(□)を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

■ **選択したｉアプリが既にダウンロードされているとき：**
「ダウンロード済みです」と表示されます。
ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロード（バージョンアップ）されます。

■ **選択したｉアプリが既に異なるFOMAカードでダウンロードされているとき：**
上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードしたｉアプリが上書きされます。

2 ｉアプリを保存するフォルダを選択
- ｉアプリによっては、ｉアプリ待受画面、通信設定、アイコン情報のソフト動作設定画面が表示されます。各項目を選択して設定し、(□)を押してください。
各設定項目については、「ｉアプリの動作条件を設定する」の操作3を参照してください。☛P276

3 「はい」を選択
ダウンロードしたｉアプリが起動します。
- サイト画面に戻る：「いいえ」を選択

おしらせ
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存されているｉアプリを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したｉアプリや同時に削除したminiSDメモリーカード内のデータは元に戻りません。
- ICカードロック中はおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできません。
- ICカード内のデータ容量によっては、ｉアプリの保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。この場合は、画面の指示に従ってICカード内に保存可能な空き容量が確保できるまでおサイフケータイ対応ｉアプリを削除してから、再度ダウンロードしてください。ただし、ｉアプリの種類によっては、削除対象として表示されないｉアプリがあります。また、ｉアプリによっては、ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール・受信メール・未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更できません。
- メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください（フォルダを削除すると対応するｉアプリも削除されます）。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にFOMA端末に保存されている場合はダウンロードできません。ただし、ｉアプリが更新された場合はバージョンアップできます。

おしらせ
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再度ダウンロードしようとすると、既にあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メール連動型ｉアプリがダウンロードされます。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型ｉアプリをダウンロードしてください。
- ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応した受信メールが既にFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、受信メールが振り分けられます。ただし、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、振り分けられません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る
ソフト情報表示設定

ダウンロード時、ｉアプリの情報を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時　OFF

1 (Menu)323▶1～2のいずれかを押す

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

iアプリを起動する

1 **（1秒以上）**

■ **ICカードソフト（おサイフケータイ対応iアプリ）のみ表示する：Menu 6 4 1**

IC カードソフト一覧画面が表示されます。操作3に進みます。

2 **フォルダを選択**

ソフト一覧画面が表示されます。

：iアプリなし　　：iアプリあり

3 **iアプリを選択**



ソフト一覧画面



ICカードソフト一覧画面

①：通常のiアプリ
　：iアプリDX
　：メール連動型iアプリ
②：iアプリ待受画面に設定できる
　：iアプリ待受画面に設定中
③：自動起動設定中
　：IP（情報サービス提供者）による停止状態
④ 0～9：
　ツータッチiアプリ登録されている
⑤：保護されている
　：SSLページからダウンロードした
　：SSLページからダウンロードし保護されている
⑥：ワンタッチiアプリ登録されている
　：FOMAカード動作制限のため使用できない
⑦：おサイフケータイ対応iアプリ

・起動するiアプリの通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。

iアプリを終了するには

iアプリごとに設定されている方法で終了してください。

・を押し、「はい」を選択しても終了できます。

おしらせ

● 次のような場合、iアプリは中断されます。動作中の機能が終了するとiアプリは再開しますが、を押して「iアプリ」を選択すると動作中の機能を継続したままiアプリを再開できます。ただし、機能によっては、でiアプリに切り替えられない場合があります。また、iアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
・電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）
・プッシュトークが着信したとき（iモード中プッシュトーク着信で「iモード優先」に設定していて、iアプリの通信中に着信した場合を除く）
・お知らせタイマーで指定した時間が経過したとき
・スケジュールアラームや目覚ましの設定時刻になったとき
・他の機能に切り替えたとき

● 圏外にいる場合や、登録データが使用できない場合、iアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。

● iアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。iアプリで利用する画像とは、実行中のiアプリからカメラを起動して撮影した画像、iアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、iアプリがサイトやインターネットから取得した画像、iアプリがデータBOXから取得した画像などです。

● iアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたiアプリにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのiアプリの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除および詳細情報の表示のみ行えます。再度、ご利用いただくにはiアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。

● iアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたiアプリにデータを送信する場合があります。

● IP（情報サービス提供者）がiアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、i が点滅します。この場合、通信料はかかりません。

- ソフトによっては、miniSDメモリーカードにデータを保存できるものもあります。miniSDメモリーカードを利用するかどうかは、詳細情報で確認できます。miniSDメモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できない場合があります。
- ｉアプリ動作中にプロテクトキーロックを設定してディスプレイの表示が消えても、ｉアプリは動作し続けます。
- 3Dポリゴン※1エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  ※1：多角形(三角形や四角形など)を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は、ｉアプリ音量で設定できます。ただし、ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ｉアプリを作成中、正常動作しないときはトレース表示が参考になる場合があります。待受画面でMenu 3 3 4を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するように作られているｉアプリが保存されていないときは表示できません。
  トレース情報を削除するときは、(m)を押して「はい」を選択します。

登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する　セキュリティエラー履歴

ｉアプリが登録データなどを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときに、ｉアプリ名・日時・セキュリティエラー理由が記録されます。

- セキュリティエラー履歴は最大20件記録されます。20件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。

1 **Menu 3 3 3 を押す**

■ **履歴を削除する：(m)▶「はい」を選択**

ｉアプリの詳細情報を表示する　詳細情報

ｉアプリの名前やバージョンなど、ｉアプリの詳細情報を確認します。

1 **(i)（1秒以上）▶フォルダを選択**

2 **ｉアプリを選ぶ▶(m)を押す**

- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、ソフト詳細情報画面で(m)を押すと、サイトの証明書を確認できます。

ｉアプリの動作条件を設定する　動作設定

- 設定できる項目はｉアプリによって異なります。
- 設定できる項目がない場合は実行できません。

1 **(i)（1秒以上）▶フォルダを選択**

2 **ｉアプリを選ぶ▶Menu 7**

3 **各項目を選択して設定**

スピードセレクター：
ｉアプリ動作中のスピードセレクターの回転操作について設定します。
- 「上下」に設定すると(↕)と同じ操作になります。
- 「左右」に設定すると(↔)と同じ操作になります。
- 「OFF」に設定するとスピードセレクターの回転操作を無効にします。
- スピードセレクター設定のスピードセレクターを「OFF」に設定している場合は、設定できません。

ｉアプリ待受画面：
ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリを待受画面に設定するかしないかを設定します。
- 設定できるｉアプリは1件のみです。

ｉアプリ待受画面通信設定：
ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信させるかどうかを設定します。

通信設定：
ｉアプリ動作中に自動的に通信させるかどうかを設定します。

アイコン情報：
ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコンを利用できるようにするかどうかを設定します。

ブラウザからの起動：
サイトからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

メールからの起動：
メールからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

外部機器からの起動：
外部機器からｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を※1：
ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかどうかを設定します。

変更ごとに確認画面を※1：
ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

ソフトからの電話帳／履歴参照を※1：

ｉ アプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を自動的に参照することを許可するかどうかを設定します。

・FOMA 端末に保存したトルカも対象になります。

※1：ｉ アプリDXのみ設定できます。

4 ⓜを押す

・「ｉ アプリ待受画面」を「設定する」に設定したときは、待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉ アプリ待受画面に設定されます。

おしらせ

● スピードセレクターを「OFF」に設定していても、スピードセレクターの回転操作が無効にならないｉ アプリがあります。

● スピードセレクターで「上下」や「左右」に設定していても、ｉ アプリによっては動作が異なることや、スピードセレクターの回転操作ができないことがあります。

● 通信設定を「通信しない」に設定すると、ｉ アプリが起動できない場合や株価情報やお天気情報などのｉ アプリによるタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。

● アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。アイコン情報が必要なｉ アプリの場合、「利用しない」に設定すると、動作しないｉ アプリがあります。

● ｉ アプリ動作中にスピードセレクターを回転させたときの移動方向は、スピードセレクター設定の移動方向の設定に従います。ただし、ｉ アプリによっては従わない場合もあります。

ｉ アプリ動作中の照明とバイブレータの動作を設定する 照明設定／バイブレータ設定

照明動作を設定する

・ｉ アプリ待受画面の照明動作はディスプレイの照明設定（☛P150）の点灯時間設定（通常時）に従います。

・公共モード（ドライブモード）中は、「ソフトに従う」に設定してもｉ アプリ動作中の照明は動作しません。

・本機能での設定内容は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉ アプリ）にも反映されます。

お買い上げ時 端末設定に従う

1 Menu 3 2 4 ▶ 1 ～ 2 のいずれかを押す

端末設定に従う：

ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

ソフトに従う：

ｉ アプリに従って照明が点灯します。

バイブレータを設定する

ｉ アプリによるバイブレータの動作を許可します。

・公共モード（ドライブモード）中は、本設定に関わらず ｉ アプリ動作中のバイブレータは動作しません。

・本機能での設定内容は、音／バイブのバイブレータ設定にも反映されます。

お買い上げ時 ON

1 Menu 3 2 5 ▶ 1 ～ 2 のいずれかを押す

ｉ アプリから他のｉ アプリを起動する

ｉ アプリによっては指定されたｉ アプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなく ｉ アプリを楽しむことができます。

1 指定されたｉ アプリを起動する旨のメッセージが表示されたら ⓢ を押す

おしらせ

● 起動するｉ アプリが指定されていない場合は、ｉ アプリを選択します。

● 起動するｉ アプリが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。

プリインストールｉアプリを使う

お買い上げ時は次のｉアプリが登録されています。

- 珍さんの釣り物語
- コラムスジュエル
- 電子マネー「Edy」
- Ｇガイド番組表リモコン
- ケータイクレジット「iD（アイディ）」
- 「DCMX」クレジットアプリ
- 珍さん計画DXおこづかい帖プラス
- ｉアニメっちゃメーラー superDX500
- 便利！多機能電卓

一覧から選択すると各ｉアプリが起動します。

- ｉアプリの名称は画面の表示と異なる場合があります。
- 珍さん計画DXおこづかい帖プラス、ｉアニメっちゃメーラーsuperDX500はｉアプリ待受画面に設定できます。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除してしまったときは、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P426

珍さんの釣り物語

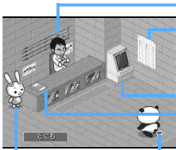
パンダの「珍さん」を操作して、魚を釣り上げるゲームです。
メっちゃ湖編では、１つの釣り場で釣れるすべての種類の魚を釣った後、たにむら釣具店に行って、イベントキャラクターの頼みごとを叶えると、次の釣り場へ進めます。すべての種類の魚を釣り、最後の課題を達成すると、地底湖編へ進めます。

- 釣り場や時間帯などによって釣れる魚や魚の釣りやすさが異なります。
- FOMA端末を横にして操作します。タイトル画面で を押すと、上下が逆になります。説明文の は、FOMA端末を横にしたときのスピードセレクターに対応しています。
- 釣り場や全体マップで を押すと、設定を確認／変更できます。全体マップでは、ステータスやアイテムも確認できます。

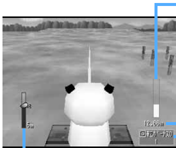
■ たにむら釣具店について

魚を釣ってたまったポイントで買い物をしたり、たにむらくんと話して釣りのヒントなどを聞けます。また、イベントキャラクターの頼みごとを聞いたり、ミニゲームやヘルプの参照などができます。

- またはスピードセレクターを回転させて珍さんの移動先を指定し、 を押すと移動できます。



■ 釣りの基本操作



※１：水深メーターとテンションゲージ・回転ボーナスは同時には表示されません

① キャストする

- でキャスティングポイントを選び、 でルアーを湖に向かって投げ落とします。

② ルアーを操りアタリを待つ

- ルアーが湖底まで沈んだら、スピードセレクターを回転させるか（手巻き）、 を１秒以上押して（電動リール）リールを巻きます。ルアーの位置は水深メータで確認します。

③ アタリが来たらアワセる

- 獲物がルアーに食いつくと振動や「！」の表示などでわかるので、素早く を押します。うまくいけば針が獲物にかかります。

④ バトル

- スピードセレクターを回転させて釣り糸のテンションをゲージ内のなるべく高い位置に保ちます。

⑤ 釣り上げ

- リールを巻き上げて糸の長さが短くなると画面上に のいずれかのキーを押すよう表示がでます。正しくキーを押すと獲物を釣り上げられます。

コラムスジュエル

画面の上から落ちてくる宝石を並べて消していくゲームです。5人のキャラクタと対戦する「ストーリーモード」、ハイスコアを目指す「ひたすらモード」、全40問の問題を解いていく「パズルモード」の3つのモードで遊べます。



©SEGA

同じ宝石を縦・横・斜めに3つ以上並べると消えます。
:宝石の回転(1つ下へ)
:宝石の回転(1つ上へ)
：左右移動
：落下速度アップ

トップページのメニュー画面からゲームモードの選択、オプションの設定、ヘルプの表示ができます。詳しい遊びかたはヘルプをご覧ください。

珍さん計画DXおこづかい帖プラス

スケジューラーとおこづかい帖機能を備えたｉアプリです。ｉアプリ待受画面にも対応しています。



■ スケジューラー機能

予定を登録できます。ｉアプリ待受画面に設定すると、登録日にアイコンが表示されます。

登録： を押して「予定設定」を選択し、スケジュールの内容を設定しを押します。
- 1日に登録できるスケジュールは最大3件です。

確認： を押して「予定確認」を選択します。を押して「修正」または「削除」を選択するとスケジュールを修正、削除できます。

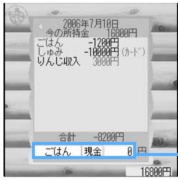
■ おこづかい帖機能

毎月の収入と出費を記録できるおこづかい帖です。所持金の額によって珍さんの部屋の内装が変わります。

おこづかい設定：
を押して「おこづかい設定」を選択し、おこづかい日、現在の所持金、毎月のおこづかいを設定します。を押して登録します。
- 当日の日付をおこづかい日に設定した場合、来月になるまで入金されません。所持金から入金してください。
- 2ヶ月以上起動しないと、前月の1ヶ月分だけおこづかいが入金されます。

毎月の支払いの設定：
を押して「毎月の支払い」を選択し、家賃など毎月支払う金額を設定します。

毎日の出費、臨時収入の入力：



を押して「おこづかい帖」を選択し、書き込み欄から出費の内容と支払方法を選択し、金額（100円単位）を入力します。
- りんじ収入を登録すると、入力した金額が所持金に追加されます。
- 以前のおこづかい帖を表示するときは、書き込み欄の出費内容を選びを押します。

ｉアニメっちゃメーラー superDX500

「3Dエフェクトメール」と「えほんメール」が作成できます。

■ 3Dエフェクトメール



文字に色や動きの効果を付けたり、アニメーションや音を背景に設定したりして、楽しいメールを作成できます。

トップ画面から「新規メール作成」の「3Dエフェクトメール」を選択します。宛先、題名を入力して「本文へ」を選択し、本文（全角・半角を問わず750文字まで）を入力します。
エフェクトを設定するにはを押し、項目を選択します。

1. ステージエフェクト：
ステージエフェクト（背景色・背景パターン）と背景アニメのいずれかを設定します。
- 背景色を白にすると見えないパターンがあります

2. テキストエフェクト：
文字の色やサイズ、動きを設定します。

3. キモチアニメ：
パンダの「珍さん」の3Dアニメーションを挿入します（1メールに5個まで）。挿入したアニメーションを選択しセリフを入力します。

4. アニメっちゃ絵文字：
ｉアニメっちゃメーラー superDX500の絵文字を入力します。

5. アクション：
「珍さん」が文字を消したり出したりする効果を設定します。
6. エフェクト解除：
テキストエフェクトを解除します。
0. プレビュー：
設定したエフェクトの効果を確認します。

エフェクトの効果を確認したら、本文入力画面でⓜを押し、「メール送信」を選択します。「メール保存（1件のみ）」を選択すると、作成中のメールを保存できます。

■ えほんメール



4コマの「おはなし」をメールで送信できます。おはなしの最後に、入力した本文が表示されます。

トップ画面から「新規メール作成」の「えほんメール」を選択します。宛先、題名、本文（全角・半角を問わず500文字まで）を入力し、おはなしを6種類から選択します。
ⓜを押し「プレビュー」を選択すると、おはなしを確認できます。
おはなしを確認したら、作成画面で ⓜ を押し、「メール送信」を選択します。「メール保存（1件のみ）」を選択すると、作成中のメールを保存できます。

■ その他の機能

受信ボックス：
受信メールを表示します。
送信ボックス：
送信メールを表示します。
未送信ボックス：
送信に失敗したメールを表示します。
保存データ：
送信しないで途中保存したメールを表示します。
センター問い合わせ：
FOMA端末のメールメニューを表示し、ｉモード問合せを実行できます。
待受画面設定：
受信したメールを待受画面に設定できます。

- ｉアニメっちゃメーラー superDX500から受信したメール、ｉアニメっちゃメーラー superDX500 で送信または保存したメール以外は表示できません。

おしらせ

● メールの受信側にもｉアニメっちゃメーラーsuperDX500が必要です。ｉアニメっちゃメーラーsuperDX500のメールは、FOMA端末のメール機能やパソコンなどのメールソフトでは正しく表示できません。

便利！多機能電卓

基本的な計算のほかに、ワリカン計算などいろいろな計算ができます。

■ 基本計算のしかた



タイトル画面から「基本計算」を選択すると、電卓画面が表示されます。

計算方法は通常の電卓と同様です。＋－×÷は✥で選びます。◉で計算結果を表示します。
数字を間違えたときは [ch/クリア]、最初から計算し直すときは[#]を押します。

- ⓜを押して「計算一覧表示」を選択すると計算中の内容、「過去計算一覧表示」を選択すると、過去の計算内容（5件まで）を表示できます。

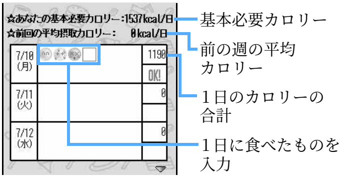
■ いろいろな計算

タイトル画面から選択します。

ワリカン計算：
「男性」「女性」などの属性ごとに負担の割合（0.1～2.0）と人数を設定して「ワリカン！」を選択すると、金額が表示されます。
ゴチルーレット：
金額をルーレットで決めます。総額と人数、本気度（人ごとに金額にどのくらいの差をつけるか）を設定して「開始」を選択するとルーレットが回り、◉を押すと金額が表示されます。以降、一人ずつⓜでルーレットを回し、◉で決定します。
時間計算：
スタート時から終了時までの時間を計算します。スタート時、終了時は◉を押し、✥で変更箇所を選んで✥で数字を増減し、◉で確定します。日時設定後に「決定」を選択すると、時間が表示されます。
ⓜを押して、表示単位を選択できます。また、「あと何日？」では現在から指定日時までの時間、「あれから何日？」では指定日時から現在までの時間が計算できます。

カロリー計算：

摂取カロリーの合計を計算します。最初に性別、年齢などを入力すると、カロリー計算画面が表示されます。



- カーソルを入力したい位置に移動してⓈを押し、食品リストから選択します。カロリー量レベルを示すアイコンが入力されます。アイコンを選ぶと食品名を確認できます。
- 計算されるカロリーは概算であり、厳密なものではありません。
- カロリーの超過・不足は、性別・年齢ごとの標準必要カロリーに対する過不足を示したものです。

いろいろ変換：

距離や広さ・重さの単位、西暦／和暦など各種の変換ができます。変換したい元の単位に値を入力し確定すると、各単位での値が表示されます。

Gガイド番組表リモコン



- 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上アナログもしくは地上デジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレイヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- 初めて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- 別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

■ 初期設定方法

① DVDレコーダーにインターネット接続を設定

- ご利用のDVDレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

② 本アプリを起動し、メニューの「リモート録画予約」を選択

- ガイダンスが表示されます。ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。

■ 番組予約の方法

初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューからリモート録画予約を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。

- 既に同じ時間に予約がされている場合には、メッセージが番組表にでます。
- 別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリ

電子マネー「Edy」

電子マネー「Edy」とは、誰でも簡単にご利用いただけるプリペイド型の電子マネーサービスです。電子マネー「Edy」はビットワレット株式会社が提供するサービスです。ご利用の際には、注意事項、利用約款などをご確認の上、初期設定を実行してください。

初期設定・サービス登録（無料）

▼

チャージ（入金）
- 店頭でのEdyチャージ（入金）
- ｉモードでのEdyチャージ（入金）※1

使う（お支払い）
- 店頭でのお支払い
- Mobile Edy（ネットでのお支払い）※1

便利な機能
- 残高・履歴照会
- Edyギフトのお受取り
- Edy to Edy（他端末とのEdyマネーの送付／受取り）※1

サポート
- 機種変更の「Edy」に関するお手続き※1
- 故障時の「Edy」に関するお手続き※1

※1：事前にサービス登録が必要です。

電子マネー「Edy」についての詳しいサービス内容やご利用可能店舗、およびFOMAの機種変更・故障時などのEdyに関する諸手続きなどにつきましては、Edyのｉモードサイトおよびホームページをご参照いただくか、下記連絡先までお問い合わせください。

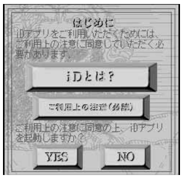
- 本サービスについてのお問い合わせ先：ビットワレット株式会社
- Edyに関する情報については、Edyのｉモードサイトおよびホームページをご覧ください。
  ホームページ：
  http://www.edy.jp
- Edyに関する諸手続きでお困りの場合：Edy緊急ダイヤル
  0570-081-999（ナビダイヤル）
  平日 9:30～19:00／土・日・祝日 10:00～18:00
  ・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

サイトアクセス用QRコード

おしらせ

- 電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」または「サービスメニュー」機能の使用時など、ｉモード通信を利用する際はパケット通信料がかかります。
- ソフト動作設定の通信設定を「通信しない」に設定している場合やセルフモード中は、ｉモード通信を行えないため、電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」または「サービスメニュー」機能を使用できませんのでご注意ください。
- Mobile Edy（ネットでのお支払い）をご利用の際は、Edyセンターからの決済開始メールを受信する必要があります。迷惑メール対策（受信／拒否設定）でインターネットからメールを拒否している場合は、ドメインに「@bitwallet.co.jp」を登録してください。
- 機種変更しても、変更前に使用されていたEdy対応携帯電話は、Edyカードとしてご利用いただけます。廃棄する際にはご注意ください。

ケータイクレジット「iD（アイディ）」



- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

ケータイクレジット「iD（アイディ）」とは、おサイフケータイをかざすだけで買い物やキャッシングのできるクレジットサービスです。今までのようにカードを財布から出したり、サインしたりすることなく、カンタン便利にショッピングができます。

- iDのご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みとiDアプリ、各カード発行会社提供のカードアプリが必要になります。
- iDアプリを初めて起動される際は、「ご利用上の注意」に同意し、ご利用の準備を行った後、カードアプリのダウンロードを行う必要があります。
- iD対応のクレジットサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよび各カード発行会社のカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- 詳しくは、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
  iDに関する情報については、iDのｉモードサイトおよびホームページをご覧ください。
  ｉモードサイト：
  iMenuの「メニュー／検索」→「ケータイクレジット「iD」」
  ホームページ：http://id-credit.com

サイトアクセス用QRコード

「DCMX」クレジットアプリ



・画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「DCMX」とは、「iD（アイディ）」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモ・グループが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月額1万円まで利用できるDCMX miniと、キャッシングやリボなどのサービスも充実し、クレジットカードも同時発行するDCMX、DCMX goldの各サービスがございます。DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

■ アプリの機能

入会申し込み・審査※1
▼
カード情報設定
▼
使う
面倒なチャージは不要！
設定済みケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインなどすることなく、ショッピングが楽しめます。

確認する※2
当月のご利用可能残額やご利用明細もケータイから確認！

変更する
お使いのカードの更新および再発行の際にもアプリから設定可能！

※1：お申し込み時にオンラインで簡単な入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、iモードのお申し込みページに接続します。
※2：ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

・サービス内容やお申し込み方法の詳細については下記をご参照ください。
iモードサイト：
iMenu の「メニュー／検索」→「DCMX（ケータイクレジット）」
ホームページ：http://www.dcmx.jp

サイトアクセス用QRコード

・本サービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

おしらせ

● 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
● 本アプリの利用に伴いｉモード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。
● 申し込み・設定完了後は、本アプリからは起動できません。ご利用状況の確認や設定の変更などをご利用になる場合は、iDアプリを起動し、DCMXアプリを選択して連携起動してください。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

● ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。

ワンタッチでｉアプリを起動する

ワンタッチｉアプリ

ワンタッチ登録をする

・登録できるｉアプリは1件です。お買い上げ時はｉアプリ“ケータイクレジット「iD（アイディ）」”が登録されています。

1 **（1秒以上）▶フォルダを選択**

2 **ｉアプリを選ぶ▶[Menu][9][1]を押す**
・解除する：ｉアプリを選ぶ▶[Menu][9][1]

おしらせ

● ソフト一覧でｉアプリを選び[ｉ]を押しても登録できます。

ワンタッチでｉアプリを起動する

1 **を1秒以上押す**

ツータッチでｉアプリを起動する　ツータッチｉアプリ

ツータッチ登録をする

・登録できるｉアプリは最大10件です。

1 (i)(1秒以上)▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選ぶ▶(Menu)[9][2]
・解除する：ｉアプリを選ぶ▶(Menu)[9][2]

3 登録先を選択
・アイコンの番号（0〜9）が、ツータッチｉアプリを起動するときに使用するダイヤルキー（[0]〜[9]）に対応します。
・登録済みの登録先を選択すると上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。

おしらせ
● ソフト一覧でｉアプリを選び(✉)を押しても登録できます。

ツータッチでｉアプリを起動する

1 ダイヤルキー（[0]〜[9]）▶(i)を1秒以上押す

ツータッチｉアプリの一覧を表示する

1 (Menu)[3][2][6]を押す
・起動する：ｉアプリを選択
・詳細情報を表示する：ｉアプリを選ぶ▶(📖)
・登録を解除する：ｉアプリを選ぶ▶(Menu)[2]▶「はい」を選択

ｉアプリを自動起動する

自動起動を行うかどうかを設定し、ｉアプリごとに自動起動の条件を設定します。
・ｉアプリを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。

自動起動するかどうかを設定する　自動起動設定

・「OFF」に設定すると、自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したｉアプリも自動起動しません。

お買い上げ時　ON

1 (Menu)[3][2][2]▶[1]〜[2]を押す

自動起動の日時を設定する　自動起動情報登録

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。
・設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
・ｉアプリによっては自動起動できないものがあります。
・自動起動設定を「OFF」に設定しているときは、自動起動情報を登録できません。

1 (i)(1秒以上)▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選ぶ▶(Menu)[6]

3 各項目を選択して設定

ユーザ設定：
自動起動する条件を設定するかどうかを選択します。
・「ON」に設定したときは、時刻、繰り返し、毎週、日付を設定します。

時刻：
自動起動する時刻を入力します。

繰り返し：
自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
・「1回のみ」に設定した場合は、日付欄で自動起動する日付を設定します。
・「毎日」に設定すると、時刻欄で設定した時刻に毎日自動起動します。
・「毎週」に設定した場合は、毎週欄で自動起動する曜日を設定します。

毎週：
繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。

日付：
繰り返しを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。

ソフト設定：
ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。

ｉアプリ設定1～4：
ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4つ設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

4 **[◎]を押す**

おしらせ

● 自動起動を設定しても、次の状態のときに起動時刻になった場合は、ｉアプリは起動しません。また、次の理由でｉアプリが起動しなかったとき（※1の場合を除く）は、待受画面に[アイコン]が表示され、ｉアプリ名・日時・起動しなかった理由が起動失敗履歴に記録されます。
- FOMA端末の電源が入っていない場合※1
- FOMAカード動作制限中（プリインストールｉアプリを除く）
- FOMAカードを認識できない場合
- 自動起動設定を「OFF」に設定している場合※1
- 自動起動の間隔が短すぎたとき
- 通話中、通信中、プッシュトーク通信中
- 待受画面以外が表示されているとき、ｉアプリ待受画面の操作中
- 他の機能が動作中（マイピクチャの一覧表示中と編集中、ｉモーションの一覧表示中と再生・編集中、メロディの一覧表示中と再生中、およびミュージックプレイヤーの一覧表示中と再生中を除く）
- オールロック中、PIMロック中、おまかせロック中
- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）
- 目覚まし音やスケジュールアラーム鳴動中（自動起動と同じ時刻に設定した場合も含む）
- お知らせタイマー動作中
- IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき

● 複数のｉアプリが同時刻に自動起動する場合、起動するｉアプリは1つだけです。起動できなかったｉアプリの情報は起動失敗履歴に記録されますが、待受画面に[アイコン]は表示されません。

● ユーザ設定では、他のｉアプリで設定したユーザ設定と同一内容の設定はできません。

● 日付・時刻の設定より前の日時のみを設定した場合、自動起動は無効になります。

自動起動できなかったときの履歴を表示する
起動失敗履歴

ｉアプリの自動起動に失敗したときは、待受画面に[アイコン]が表示され、ｉアプリ名・日時・起動失敗理由が記録されます。
- 起動失敗履歴は最大20件記録されます。20件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。
- 起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の[アイコン]が消えます。

1 **[Menu][3][3][1]を押す**

■ **履歴を削除する：[◎]▶「はい」を選択**

サイトやメールからｉアプリを起動する
ｉアプリTo

サイトやｉモードメールのｉアプリを起動できるリンク項目を選択してｉアプリを起動します（ｉアプリTo）。

1 **サイトやｉモードメールのｉアプリを起動できるリンク項目を選択**

2 **「はい」を選択**
サイト接続が終了し、ｉアプリが起動します。

おしらせ

● ｉアプリToで起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていないと、指定されたｉアプリがない旨のメッセージが表示され、起動できません。ただし、ｉアプリによっては保存されていなくても、サイトからダウンロード後、すぐに起動するものがあります。
- ダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
- ダウンロード後すぐに起動したｉアプリを終了するときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。

● 起動するｉアプリをｉアプリToで起動しないように設定している場合は、メッセージが表示されｉアプリを起動できません。☛P276

ｉアプリ待受画面を操作する

ｉアプリ待受画面

ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に［アイコン］または［アイコン］が表示されます。

- あらかじめｉアプリを待受画面に設定しておく必要があります。☛P144

おしらせ

- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- オールロック、PIMロック、プライバシーモード（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）、おまかせロック中は、ｉアプリ待受画面が一時的に解除されます。オールロックなどを解除するとｉアプリ待受画面が再度起動します。
- ｉアプリ待受画面に設定されているｉアプリがIP（情報サービス提供者）によって使用を停止されると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- ｉアプリ待受画面の起動中にｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。このとき、ｉアプリ名と終了日時が異常終了履歴に記録されます。
- ｉアプリ待受画面からはサイトに接続（Web To）できません。
- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が起動します。「いいえ」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。確認画面が表示されてから何も操作せずに約５秒たつと、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。自動電源ONによって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。

ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する

1 ｉアプリ待受画面で［ch/クリア］を押す

ｉアプリの画面に切り替わり、ディスプレイ上部の［アイコン］または［アイコン］が点滅します。

ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

1 ｉアプリ動作中に［終話］▶「終了する」を選択

ｉアプリが終了し、ｉアプリ待受画面が起動します。ディスプレイ上部のマークが［アイコン］から［アイコン］、または［アイコン］から［アイコン］に変わります。

- ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。［ch/クリア］を押すと戻るｉアプリもあります。
- 「終了する」を選択してもｉアプリ待受画面は解除されません。解除するときは「解除する」を選択します。ディスプレイ上部の［アイコン］、［アイコン］が消えます。

おしらせ

- ソフト一覧でｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリを選び［Menu］を押し、「ｉアプリ待受画面」を選択し、「解除する」を選択しても解除できます。

ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する

異常終了履歴

ｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。

- 異常終了履歴は最大20件記録されます。20件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。
- 通常終了時は記録されません。

1 ［Menu］［3］［3］［2］を押す

■ **履歴を削除する：［ｉ］▶「はい」を選択**

ｉアプリを管理する

ｉアプリをバージョンアップする

バージョンアップ

ｉアプリが更新されている場合は、バージョンアップできます。

- IP（情報サービス提供者）によって使用を停止されているｉアプリはバージョンアップできません。

1 ［ｉ］（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選ぶ▶［Menu］［5］▶「はい」を選択

- バージョンアップが必要ない場合は、ｉアプリが最新である旨のメッセージが表示されます。

ｉアプリ

ｉアプリ待受画面

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

おしらせ

● バージョンアップすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去されることがあります。
● ｉアプリによっては、使用期間・使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップできます。
● ｉアプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成してｉアプリを整理します。また、フォルダの並び順の変更や不要なフォルダの削除もできます。

フォルダを作成する

・最大20個作成できます。

1 [キー]（1秒以上）

2 [Menu] [4]

■ **フォルダ名を変更する：フォルダを選ぶ▶[Menu] [1]**

■ **フォルダの並び順を変更する：フォルダを選ぶ▶[Menu]▶[5]～[6]**

3 フォルダ名を入力（全角8文字（半角16文字）まで）▶[キー]を押す

フォルダを削除する

・保護されているｉアプリがある場合は、フォルダを削除できません。保護を解除してから削除してください。
・フォルダが1個のときは削除できません。

1 [キー]（1秒以上）

2 フォルダを選ぶ▶[Menu] [2] [1]

・フォルダ内にｉアプリが保存されたままの場合は、端末暗証番号を入力します。

3 「はい」を選択

・削除するフォルダ内にメール連動型ｉアプリが含まれている場合は、メールフォルダも同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ｉアプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
・削除するフォルダに、ICカード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
・削除するフォルダ内に、miniSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリが含まれている場合は、miniSDメモリーカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「はい」を選択するとminiSDメモリーカード内のデータも削除されます。「いいえ」を選択するとｉアプリのみ削除されます。

おしらせ

● 削除対象のメール連動型ｉアプリ用メールフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。
● ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールのフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。☛P248

ｉアプリを保護する

・最大保護件数☛P38

1 [キー]**（1秒以上）▶フォルダを選択**

2 ｉアプリを選ぶ▶[Menu] [3] [1]を押す

ｉアプリが保護され、ソフト一覧画面で[アイコン]または[アイコン]が表示されます。

・解除する：ｉアプリを選ぶ▶[Menu] [3] [1]

■ **複数保護／解除する：[Menu] [3] [2]▶ｉアプリを選択▶[キー]**

■ **フォルダ内のすべてのｉアプリを保護／解除する：[Menu] [3] [3]▶端末暗証番号を入力**

ｉアプリ

管理

iアプリを削除する

- iアプリによっては、ICカード内のデータも削除されます。
- iアプリによっては、iアプリを起動してICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、削除できない場合があります。

1 **(i)（1秒以上）▶フォルダを選択**

2 **iアプリを選ぶ▶(Menu)[2][1]**

■ **複数削除する：(Menu)[2][2]▶iアプリを選択▶ⓜ**

■ **フォルダ内のiアプリをまとめて削除する：(Menu)[2][3]▶端末暗証番号を入力▶「すべて削除」または「保護以外削除」を選択**

3 **「はい」を選択**

- メール連動型iアプリを削除する場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、iアプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、iアプリやメールフォルダは削除できません。
- 「複数削除」または「全件削除」するiアプリに、ICカード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応iアプリが含まれる場合は、それ以外のiアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- miniSDメモリーカード内にデータがあるiアプリを削除する場合は、miniSDメモリーカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「はい」を選択するとminiSDメモリーカード内のデータも削除されます。「いいえ」を選択するとiアプリのみ削除されます。

おしらせ

- フォルダ一覧からフォルダ内のiアプリをまとめて削除するときは、フォルダを選び(Menu)を押し、「削除」→「ソフト削除」を選択します。
- 保護されているiアプリは「1件削除」または「複数削除」では削除できません。保護されているiアプリを削除するには保護を解除してから削除するか、「全件削除」を選択して端末暗証番号を入力して、「すべて削除」を選択してください。
- 削除対象のメール連動型iアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、iアプリを削除できないことがあります。
- iアプリのみ削除し、メール連動型iアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールのフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。☛P248

iアプリを他のフォルダに移動する

1 **(i)（1秒以上）▶フォルダを選択**

2 **iアプリを選ぶ▶(Menu)[4][1]**

■ **複数移動する：(Menu)[4][2]▶iアプリを選択▶ⓜ**

■ **フォルダ内のすべてのiアプリを移動する：(Menu)[4][3]**

3 **移動先のフォルダを選択▶「はい」を選択**

おしらせ

- (Menu)[6][4][1]を押しておサイフケータイ対応iアプリのみを一覧表示したときは、iアプリを他のフォルダに移動することはできません。

iアプリを並べ替える　ソフトの並べ替え

お買い上げ時　ダウンロード日時順

1 **(Menu)[3][2][1]**

2 **[1]～[5]のいずれかを押す**

- 「ダウンロード日時順」および「使用日時順」では、FOMA端末の日付・時刻で設定されている日時順に並び替わります。
- 「名前順」の場合、iアプリ名に全角／半角の文字や英字が混在していると、50音順と一致しないことがあります。
- 「使用回数順」にはiアプリ待受画面として起動した回数は含みません。使用回数はiアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「ソフトのサイズ順」の場合、iアプリのソフトサイズと使用データ記録領域の合計が大きい順に並び替わります。

フォルダ内のiアプリの件数を確認する　フォルダ内ソフト件数

1 **(i)（1秒以上）**

2 **フォルダを選ぶ▶ⓜを押す**

- マークの意味☛P275

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

ｉアプリの設定状況を確認する　ソフト情報表示

1 （1秒以上）

2 を押す

ソフト保存領域：
保存されているｉアプリの総容量がバーと数値で表示されます。

ソフト保存件数：
保存されているｉアプリの総件数が表示されます。

ｉアプリ待受画面：
ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

ワンタッチｉアプリ：
ワンタッチ登録しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

自動起動：
次回の自動起動に設定しているｉアプリの名前・保存先のフォルダ・起動日時が表示されます。

miniSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する　miniSD保存データ

ｉアプリがminiSDメモリーカードに保存したデータのフォルダを表示し、情報の確認と削除が行えます。
・データの内容は表示できません。

1 Menu 6 5 5 を押す

ｉアプリデータのフォルダ一覧が表示されます。

■ **フォルダの情報を確認する：フォルダを選択**
・フォルダの利用可／不可や、利用するｉアプリ名、利用不可の場合の理由などを表示できます。フォルダによっては表示されない項目があります。

■ **フォルダを削除する：**
①**フォルダを選ぶ**▶Menu 1
・複数削除する：Menu 2▶フォルダを選択▶
・全件削除する：Menu 3▶端末暗証番号を入力
②「**はい**」**を選択**

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

・それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
・ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

ｉアプリから電話をかける

1 **電話番号を選択▶発信条件を設定**
・発信条件の設定☛P58

2 Menu▶「**はい**」**を選択**
設定した内容で電話がかかります。電話をかけるとｉアプリは中断されます。

ｉアプリからサイトに接続する

1 **サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択**
ｉアプリが終了し、サイトが表示されます。

ｉアプリからカメラ機能を利用する

1 **ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う**

おしらせ

●撮影した画像または動画はｉアプリから通信により自動的にサーバへ送られる場合があります。
●ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はマイピクチャの「ｉモード」フォルダ、「デコメールピクチャ」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。また撮影した動画はｉモーション内の「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリに保存されます。
●ｉアプリによって画像サイズなどの変更やフレームなどを設定できる場合があります。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 **ｉアプリを操作してコードを読み取る**
・読み取ったデータはｉアプリで利用・保存される旨のメッセージが表示されます。

ｉアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 ｉアプリを操作して赤外線通信を行う

- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していた場合、サイト接続やメールの送受信は中止されます。

ｉアプリからトルカを利用する

ｉアプリからトルカを保存する

1 トルカを保存するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい（新規）」を選択

トルカはトルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

■ **上書き保存する：「はい（上書き）」を選択▶フォルダを選択▶トルカを選択▶「はい」を選択**

■ **表示する：「プレビュー」を選択**

ｉアプリからトルカを使用する

1 トルカを選択する旨のメッセージが表示されたら ▶ フォルダを選択 ▶ トルカを選択

i チャネル

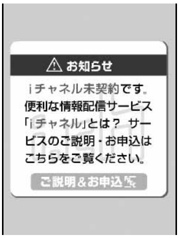
ｉチャネルとは..292
ｉチャネルを表示する .... チャネル一覧 293
ｉチャネルの設定を変更する .... テロップ表示設定 294

iチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がiチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応キー（ch/クリア）を押すことでチャネル一覧に表示されます（チャネル一覧の表示方法は ☛P293）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

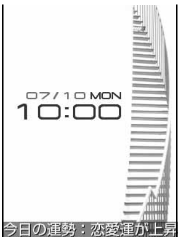
- iチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『iモード操作ガイド』をご覧ください。

未契約



iチャネルをご契約いただいていない場合。

契約後



iチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。

↓ ch/クリア



ch/クリア を押下するとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。

↓ ◎▶◉で接続

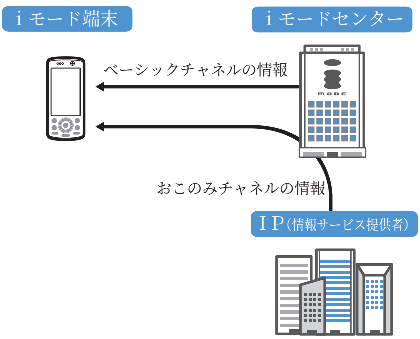


各チャネルを押下するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

- iチャネルの各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでiチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はiチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、iチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、iチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。



iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはiモード契約が必要です。）

- 操作方法は☛P293
- 対応機種：701iシリーズ、702iシリーズ、902iシリーズ、902iSシリーズ、D851iWM、P851i

おためしサービス

ｉモードをご契約の上ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

・おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ch/クリアを押下することで開始できます。

おためしサービスを利用できるのは、１つのご契約者回線につき１回のみです。

おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ｉモード操作ガイド』をご参照ください。

おしらせ

● 情報を受信しても着信音、バイブレータは動作しません。決定キーの照明も点灯／点滅しません。

● ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、ch/クリアを押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、ch/クリアを押すと最後に受信した情報がチャネル一覧に表示される場合があります。

● テロップ表示設定でテロップ表示を「表示しない」に設定している場合は、テロップは表示されません。

● FOMA端末の電源が入っていない場合や、圏外または電波状況がよくないなどで情報を受信できなかったときは、ch/クリアを押すと情報を受信できます。

● 情報を受信中はが点滅します。

ｉチャネルの接続先を変更するには

ｉチャネルの接続先は変更できます(通常は変更する必要はありません)。

① 8 8

② **ユーザ設定を選ぶ▶ Menu ▶端末暗証番号を入力**

③ **各項目を選択して設定▶ (確定)**

・ｉチャネルの接続先は「接続先アドレス２」に入力します（半角30文字まで)。

・「接続先アドレス」はｉモードの接続先です。☛P216

④ **編集した接続先を選択▶ (確定)**

● 接続先アドレス２を入力／変更した場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。また、情報が自動更新されない場合があります。待受画面でch/クリアを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

Menu 271

ｉチャネルを表示する

チャネル一覧

1 ch/クリア

チャネル一覧が表示されます。

・待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定しているとき： 7 1

・ ch/クリアを押しても表示されません。

2 **チャネルを選択**

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

・ご利用の状況によりチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

おしらせ

● チャネル一覧を表示し直すときは、チャネル一覧でMenuを押し、「リトライ」を選択します。

● チャネル一覧でMenuを押し「効果音設定」を選択すると、Flash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定できます。設定方法については☛P216「画像表示／効果音を設定する」

ｉチャネルの設定を変更する

テロップ表示設定

受信したｉチャネルの情報を待受画面にテロップ表示するかどうかを設定します。テロップ表示の速度も設定できます。

- テロップ表示を「表示する」に設定すると、待受画面を表示するごとに新しい情報から順に最大10件、ディスプレイの表示が消えるまでテロップ表示されます。「表示しない」に設定すると、テロップは表示されません。
- お買い上げ時やFOMAカードを差し替えたとき、接続先アドレス2を変更したときは、ｉチャネルの情報が自動更新されるか、または[ch/クリア]を押してチャネル一覧を表示すると、テロップが表示され、テロップ表示設定ができるようになります。

お買い上げ時　テロップ表示：表示する　テロップ速度：普通

1 [メニュー][7][2]

2 **各項目を選択して設定**

テロップ表示：

「表示する」「表示しない」から選択します。

- 「表示しない」を選択した場合、テロップ速度は設定できません。

テロップ速度：

「遅い」「普通」「速い」から選択します。

3 **[m]を押す**

- テロップ表示を「表示する」に設定した場合、待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリが設定されているときは確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリは解除されます。

おしらせ

● 次の場合は、ｉチャネルの情報はテロップ表示されません。

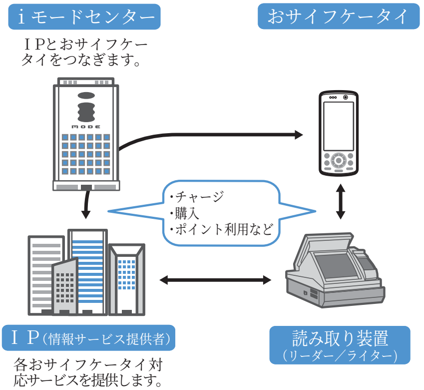
- オールロック中
- PIMロック中
- おまかせロック中
- 公共モード（ドライブモード）中
- FOMAカードを挿入していないとき

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは......296
おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する......297
トルカとは......298
トルカを取得する......298
トルカを表示する......299
トルカを取得するかどうかを設定する......トルカ取得設定 301
ICカード機能を使用できないようにする......ICカードロック 302

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモードFeliCa）やICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCaとは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の１つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り装置（リーダー／ライター・注）にかざすだけで電子マネーを使ってショッピングの支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話が実生活の中でますます便利な道具になります。
また、従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べ、おサイフケータイ内のICカードに電子マネーをサイトから入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。
（注）ICカードの読み書きを行う装置です。



- ICカード機能をご利用いただくには、ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードしてください。
- 各おサイフケータイ対応サービスの申し込み・利用方法につきましてはそれぞれ異なりますので、IP（情報サービス提供者）などのお問い合わせ先にご連絡ください。また、各おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっての注意事項については『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分にご注意ください。
- ご利用の各おサイフケータイ対応サービスのサービス名や問い合わせ先などは、メモを取り保管してください。おサイフケータイの故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、ICカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります。修理の場合、データは原則としてお客様自身で消去していただきますので、あらかじめご了承ください。万一、ICカード内のデータが消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。ICカード内のデータを消去する場合や、消失・変化してしまった場合の対応は、各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせの上、ご確認ください。
- ドコモショップなど窓口にて、他のおサイフケータイへの交換時および故障取替時に、ICカード内のデータを新機種へコピーすることはできません。対応方法につきましては各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスの IP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。
- おサイフケータイの紛失にはご注意ください。万一紛失してしまった場合、ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関することは、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。ただし、IC カード機能の制限を行うことはできませんので、ご注意ください。

おサイフケータイの利用方法

ステップ 1：おサイフケータイ対応 ｉ アプリをダウンロードする**☛P273**

お買い上げ時にはおサイフケータイ対応 ｉ アプリとして「電子マネー「Edy」」、「ケータイクレジット「iD（アイディ）」」、「「DCMX」クレジットアプリ」が登録されています。

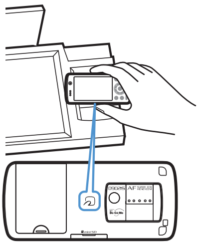
ステップ 2：おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータの読み書きを行う**☛P297**

おサイフケータイ対応ｉアプリで電子マネーや乗車券にお金をチャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認できます。

ステップ 3：FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざす

- イルミネーション設定の IC カードアクセスのイルミネーションを「ON」に設定している場合は、イルミネーションカラーの設定に従って決定キーの照明が点滅します。

FOMA 端末の FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用できます。この機能は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。



おしらせ

- FOMA 端末の FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざすときに、FOMA 端末に強い衝撃を与えないでください。
- 通話中や ｉ モード接続中でも FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカードを利用できますが、 ｉ モード接続中におサイフケータイ対応 i アプリを起動できません。
- 電源を切った状態でも FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカードを利用できますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。ICカード機能を利用するときは、電池パックを装着してください。また、電池パックを装着していても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラーム音が鳴った後で充電しなかった場合は、利用できない場合があります。その場合は電池パックを充電してください。
- 電源を切った状態では、おサイフケータイ対応 i アプリを起動してICカード内のデータを読み書きしたり、トルカを取得できません。
- FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたとき、 i アプリが起動することがあります。ただし、起動対象の i アプリがあらかじめ保存されていない場合や、i アプリToで起動しないように設定されている場合は、起動しません。

おサイフケータイ対応 i アプリを起動する

1 Menu 6 4 1

2 おサイフケータイ対応 i アプリを選択

- おサイフケータイ対応 i アプリも通常の i アプリと同じように、自動起動や削除、フォルダ管理などの操作を行うことができます。
- マークの意味☛P275

■ **終了する：**

おサイフケータイ対応 i アプリごとに設定されている方法で終了してください。

- ☎を押してから「はい」を選択しても、終了できます。

おしらせ

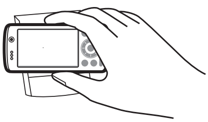
- おサイフケータイ対応 i アプリ起動中は、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてもICカードを利用できないことがあります。
- テレビ電話通話中は、おサイフケータイ対応 i アプリの一部の操作ができないことがあります。
- 次のような場合、動作中のおサイフケータイ対応 i アプリは中断され、ICカードへのデータの読み書きも中断されます。その場合、読み書きしていたデータが破棄されることがあります。
  - 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）
  - プッシュトークが着信したとき（ｉ モード中プッシュトーク着信で「ｉ モード優先」に設定していて、 i アプリの通信中に着信した場合を除く）
  - お知らせタイマーで指定した時間が経過したとき
  - 目覚ましやスケジュールで指定した日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 通話中や目覚まし音／アラーム鳴動中に□を押しておサイフケータイ対応 i アプリの画面に切り替えたときの動作は、ご利用のおサイフケータイ対応サービスによって異なります。
- 圏外で通信できなかったり、登録データが使用できない場合、おサイフケータイ対応 i アプリによっては起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。

トルカとは

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り装置(リーダー／ライター)やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線通信、miniSD メモリーカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは「LifeKit」メニューのトルカに保存されます。

- 対応機種：902iシリーズ、902iSシリーズ、F702iD
  詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。

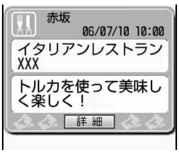
トルカ利用の流れ



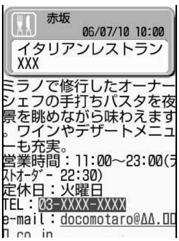
おサイフケータイを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてトルカを取得します。



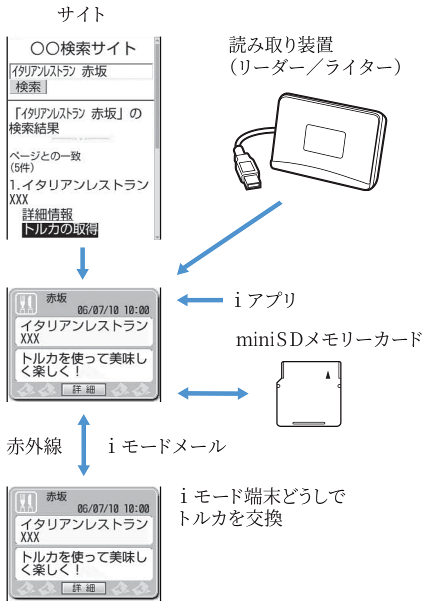
トルカ一覧の「トルカフォルダ」から取得したトルカを選択します。



「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。



トルカの取得手段



おしらせ

- iモード通信でトルカをやりとりする場合は、パケット通信料がかかります。

トルカを取得する

- 最大保存件数☛P38
- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- トルカは、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。☛P299
- 保存されたトルカから詳細情報をダウンロードした場合は、別のファイルとして保存されず、元のトルカに詳細情報が追加されます。トルカからトルカ（詳細）を取得するには☛P299

おしらせ

- 次の方法でもトルカを取得できます。受信メールやメッセージR/F、iアプリから取得したときは、既読の状態で保存されます。
  - 受信メールやメッセージR/F☛P247
  - iアプリ☛P290
  - 赤外線通信☛P350
  - miniSDメモリーカード☛P336

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

読み取り装置（リーダー／ライター）から取得する

・トルカ取得設定のトルカ取得設定を「ON」に設定する必要があります。
・ICカードロック中は取得できません。

1 FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざす

トルカ取得音が鳴り、決定キーの照明が点滅します。

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、取得できない旨のメッセージが表示されます。不要なトルカを削除してください。

サイトからトルカをダウンロードする

サイトからトルカをダウンロードし、表示・保存します。

1 サイトを表示▶トルカを選択

・ダウンロード中に ⓜ を押すとダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択

・表示する：「プレビュー」を選択
・保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って削除してください。削除する前にトルカ一覧で ⓜ を押すとトルカを表示できます。
● サイトからダウンロードしたトルカは、「プレビュー」を選択しないで保存した場合でも既読となります。

トルカを表示する

1 Menu 6 3 1 ▶フォルダを選択

・miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で ⓘ
　・miniSDメモリーカードの操作方法☛P339

■ トルカをメールに添付して送信する：トルカ一覧でトルカを選ぶ▶ ✉

・トルカを送信すると、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。サイトに詳細情報がある場合は、送信先で再度トルカ（詳細）を取得可能です。
・トルカによっては送信できない場合があります。☛P236

2 トルカを選択

■ トルカ（詳細）を取得する：トルカの詳細表示画面で「詳細」を選択▶「はい」を選択

ｉモードに接続し、トルカ（詳細）を保存します。

■ トルカ（詳細）を更新する：トルカ（詳細）の詳細表示画面で Menu 1 ▶「はい」を選択

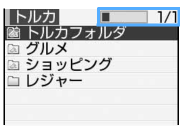
ｉモードに接続し、トルカ（詳細）を更新して保存します。

おしらせ

● 詳細表示画面でトルカをメールに添付して送信するときは、Menu 2 を押します。
● 表示中の本文に電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。
● 詳細表示画面で、電話番号、メールアドレスを選び Menu 4 1 を押すと電話帳に新規登録、Menu 4 2 を押すと電話帳に更新登録できます。また、URLを選び Menu 4 3 を押すとブックマークに登録できます。Menu 4 4 を押し、画像を選択すると画像を保存できます。
● 詳細表示画面でアニメーションを再度動作させるときは、Menu 6 を押します。

フォルダ一覧画面／トルカ一覧画面の見かた

フォルダ一覧画面の見かた

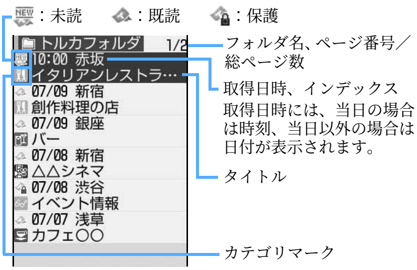


保存領域の使用率、ページ番号／総ページ数

トルカは、「トルカフォルダ」と最大20個のフォルダに分類して保存できます。

：トルカなし　　：未読トルカなし
：未読トルカあり

トルカ一覧画面の見かた



フォルダを作成／削除する

フォルダを作成する

- フォルダは「トルカフォルダ」以外に最大20個作成できます。
- 「トルカフォルダ」のフォルダ名や並び順は変更できません。

1 Menu 6 3 1 ▶ Menu 2

■ **フォルダ名を変更する：フォルダ一覧でフォルダを選ぶ▶ Menu 4**

■ **フォルダの並び順を変更する：フォルダ一覧でフォルダを選ぶ▶ Menu ▶ 6 ～ 7**

2 フォルダ名を入力（全角8文字（半角16文字）まで）▶ (□) を押す

フォルダを削除する

- フォルダを削除すると、フォルダ内のトルカも削除されます。ただし、保護されているトルカがある場合は削除できません。保護解除してから削除してください。
- 「トルカフォルダ」は削除できません。

1 Menu 6 3 1 ▶ **フォルダを選ぶ▶** Menu 3

2 端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

トルカをフォルダに移動／コピーする

1 Menu 6 3 1 ▶ **フォルダを選択**

2 トルカを選ぶ▶ Menu 5 1 1

■ **複数移動する：** Menu 5 1 2 ▶ **トルカを選択▶ (□)**

■ **フォルダ内のすべてのトルカを移動する：** Menu 5 1 3

■ **他のフォルダにコピーする：トルカを選ぶ▶** Menu 5 2

3 移動／コピー先フォルダを選択

4 「はい」を選択

おしらせ

- 詳細表示画面では Menu 3 を押します。
- 保護されているトルカをコピーしても、コピー先のトルカは保護されません。

トルカの保存内容を確認する

1 Menu 6 3 1 ▶ Menu 5 **を押す**

FOMA 端末に保存されているトルカの件数や全容量に対する使用領域の割合などが表示されます。

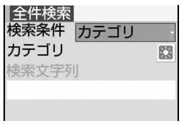
■ **フォルダ内の件数を確認する：フォルダ一覧でフォルダを選択▶** Menu 6 1

トルカを検索する

1 Menu 6 3 1 ▶ Menu 1

- フォルダ内を検索する：フォルダ一覧でフォルダを選択▶ Menu 2

2 検索条件欄を選択▶ 1 ～ 3



- 「カテゴリ」を選択したときは、カテゴリ欄を選択し、カテゴリマークを選択します。
- 「タイトル」または「インデックス」を選択したときは、検索文字列欄を選択し、タイトルまたはインデックスを入力します（タイトルの場合は全角10文字（半角21文字）まで。インデックスの場合は全角7文字（半角15文字）まで）。
- タイトルとインデックスは、一部を入力しても検索できます。全角と半角は区別して検索できますが、英字の大文字と小文字は区別されません。
- 取得日時では検索できません。

3 (□) を押す

トルカを並べ替える　ソート

トルカ一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、「日付順」に戻ります。

- 日付順、カテゴリ順、タイトル順、インデックス順が選択できます。

お買い上げ時　日付順

1 **Menu 6 3 1 ▶ フォルダを選択**

2 **Menu 6 2 ▶ 1 ～ 4 のいずれかを押す**

おしらせ

● タイトル順、インデックス順の場合、タイトルやインデックスに全角／半角の文字が混在していると、50音順にならない場合があります。

●「カテゴリ順」を選択すると、トルカの種類を示すカテゴリマーク順に並べ替えます。

トルカを保護する

- 最大保護件数☛P38
- 未読のトルカは保護できません。
- 検索結果表示中は、全件保護、全件解除はできません。

1 **Menu 6 3 1 ▶ フォルダを選択**

2 **トルカを選ぶ ▶ Menu 4 1 を押す**

トルカが保護され、マークが から に変わります。

- 解除する：トルカを選ぶ ▶ Menu 4 4

■ **複数保護する：Menu 4 2 ▶ トルカを選択 ▶ (本)**

■ **全件保護する：Menu 4 3**

■ **複数解除する：Menu 4 5 ▶ トルカを選択 ▶ (本)**

■ **全件解除する：Menu 4 6**

おしらせ

● 詳細表示画面では Menu 7 を押します。

● 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいトルカから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

トルカを削除する

- 保護されているトルカは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 **Menu 6 3 1 ▶ フォルダを選択**

2 **トルカを選ぶ ▶ Menu 3 1**

■ **複数削除する：Menu 3 2 ▶ トルカを選択 ▶ (本)**

■ **フォルダ内のトルカを全件削除する：Menu 3 3 ▶ 端末暗証番号を入力**

3 **「はい」を選択**

おしらせ

● 詳細表示画面では Menu 8 を押します。

トルカを取得するかどうかを設定する　トルカ取得設定

読み取り装置（リーダー／ライター）からトルカを取得するかどうかや取得するときの動作を設定します。

- 本機能での設定内容は、イルミネーション設定（☛P154）、音量設定（☛P69）にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　トルカ取得設定、イルミネーション設定：ON
イルミネーションカラー：スカイ
トルカ取得音量：レベル4

1 **Menu 6 3 2**

2 **各項目を選択して設定**

トルカ取得設定：
トルカを取得するかどうかを設定します。

イルミネーション設定：
決定キーの照明を点滅させるかどうかを設定します。

- 「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

イルミネーションカラー：
決定キーの照明の点灯色を設定します。

トルカ取得音量：
トルカ取得時に鳴る音の音量を設定します。

- 音量の調整方法については☛P70

3 **(本) を押す**

ICカード機能を使用できないようにする　ICカードロック

ICカードロックを設定すると、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカードを利用したり、トルカを取得できなくなります。また、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードや使用ができなくなります。

- 電源を切っても本機能の設定は有効です。
- オールロック中は本機能を設定できません。ICカードロックとオールロックの両方を設定するには、先にICカードロックを設定してから、オールロックを設定してください。
- おまかせロックを設定すると、ICカードロックは設定されますが、ICカードロック中のアイコンは表示されません。

お買い上げ時　OFF

1 （1秒以上）▶「はい」を選択

ICカードロックが設定され、待受画面にが表示されます。

解除する

- ICカードロック設定の解除方法を「ボイス認証＋暗証番号」に設定し、認証用の音声キーワードを登録している場合は、ICカードロックの解除にボイス認証が必要になります。
- ボイス認証を行う場合には、次の点にご注意ください。
  - 録音時と同じ持ちかた（通話するときと同じように顔の横で持つ、または顔の正面で約5cm離して持つ）でお話しください。
  - 周囲が騒がしい場所などでは音声が認証されにくくなります。
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを使用すると音声が認証されにくくなります。

1 （1秒以上）

約2秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- ICカードロック設定の解除方法を「暗証番号」に設定している場合は、操作3に進みます。

2 5秒以内に認証用のキーワードを話す

認証されると、端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 認証を途中で中止する：



- ICカードロック設定で登録したキーワードを話してください。
- 周囲に騒音があるときは、「もう一度静かな場所で音声を入力してください」と表示されます。を押して再度キーワードを話してください。
- 正しく認証されなかった場合は、その旨のメッセージが表示されます。を押して再度キーワードを話してください。
- を1秒以上押すと、ボイス認証操作をしなくても端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力

おしらせ

- ショートカット操作でも設定／解除できます。
  Menu 6 4 2 または Menu 8 3 1 3 1 ▶端末暗証番号を入力▶ 1 ～ 2
  - ICカードロック設定の解除方法を「ボイス認証＋暗証番号」に設定している場合は、端末暗証番号の入力前にボイス認証が必要です。
- 登録する言葉や、音声を登録する際の環境によっては、周囲の音や似ている言葉に反応して認証されることがあります。特に短い言葉を登録した場合や、周囲が騒がしい場所で登録した場合に起こりやすくなります。
- ボイス認証に5回連続して失敗すると、ボイス認証が中止されます。

音声と端末暗証番号で解除できるようにする　ICカードロック設定

ICカードロックの解除時に必要な認証操作を設定します。

- 約0.5～2秒の音声を1件だけ登録できます。
- 録音する場合には、次の点にご注意ください。
  - 周囲の騒音の少ない、できるだけ静かな場所で行ってください。
  - 5～10音節程度の言葉を登録することをおすすめします。また、普段使い慣れない言葉は発音が一定しないことがありますので、なるべくお避けください。
  - 次のいずれかの持ちかたで約5cm離してお話しください。通話するときと同じように顔の横で持ってお話すると認証精度が高くなります。
    - 通話するときと同じように、FOMA端末を開き、顔の横で持つ
    - 顔の正面で持つ
  - できるだけはっきりとお話しください。小声や大声では登録しないでください。
  - 送話口を指でふさがないようご注意ください。
  - 「シャ」「シュ」「ショ」や「サ」行の音が多い単語を登録した場合は、他人の声で認証されることがあります。ご注意ください。
  - 次のような単語を登録した場合は、認証されにくくなることがあります。
    - 長音（ー）が多い単語（「セーター」など）
    - 促音（っ）が多い単語（「とっちゃって」など）
  - 咳払いや「えー」、舌打音など、音声データと無関係な音を出さないでください。また、送話口に息を吹きかけないようにお話しください。
  - 音声の途中に無音部分ができないようにお話しください。あまりゆっくり話すと無音部分とみなされ正しく登録できない場合があります。

お買い上げ時　暗証番号

1 Menu 6 4 4

2 **端末暗証番号を入力**

3 **解除方法欄を選択▶2**

- 端末暗証番号入力のみの認証操作にする：1▶操作7に進む

4 **音声データ欄の「録音」を選択▶●**

- 既に音声データを登録している場合は、「録音」を選択した後に、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

5 ●

約2秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。



- 周囲に騒音があるときは、「もう一度静かな場所で録音してください」と表示されます。●を押して再度操作してください。

6 **5秒以内にキーワードを話す▶●▶5秒以内にもう一度同じキーワードを話す**



- キーワードは2回録音します。1回目と2回目が一致した場合に登録されます。
- 録音を途中で中止する：●
- 次の場合には、確認画面が表示されます。●を押し、声の大きさやキーワードを変更して再度操作5から操作してください。
  - 声が小さい場合
  - キーワードが短い／長い場合
  - 音節数が少ない場合
  - 周囲に騒音がある場合
  - 1回目と2回目のキーワードが一致しなかった場合

7 **📖を押す**

おしらせ

- 人の声は年齢などによって変わる場合があるため、長期間使用していると、登録した音声データと一致しにくくなることがあります。その場合は、音声データを登録し直してください。
- ボイス認証は完全な本人認証を保証するものではありません。本製品を第三者に使用されたこと、または音声の誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

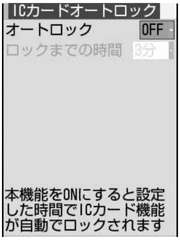
自動的にICカードロックを設定する
ICカードオートロック設定

設定時間（1～90分）が経過すると自動的にICカードロックがかかるように設定できます。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 6 4 3

2 **オートロック欄を選択▶1**



・解除する：2▶操作4に進む

3 **ロックまでの時間欄を選択▶1～7**

4 **（決定）を押す**

おしらせ

●「ON」に設定していても、ｉアプリ起動中はオートロックされません。ｉアプリ終了後に設定されます。

フルブラウザ

パソコン向けのインターネットホームページを表示する........ フルブラウザ 306
フルブラウザの設定をする.. フルブラウザ設定 310

パソコン向けのインターネットホームページを表示する　フルブラウザ

パソコン向けに作成されたインターネットホームページをFOMA端末で表示できます。

- ページによっては表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。
- フルブラウザの利用時にはパケット通信料がかかります。フルブラウザの利用中にかかったパケット通信料はパケ・ホーダイの対象外となります。

1 [i][9]▶表示方法を選択

- お買い上げ直後は、URLを入力して表示する方法で表示します。
- フルブラウザのアクセス設定が「利用しない」に設定されているときは、アクセス設定画面が表示されます。「利用する」に設定するとアクセス設定が変更され、フルブラウザが表示されます。アクセス設定については☛P311

■ **ホームページを表示する：[1]**

- あらかじめホームページとして登録したページに接続されます。お買い上げ時は登録されていません。登録するには☛P310
- ホームページが未登録のときに[1]を押すと登録画面が表示されます。

■ **ブックマークから選択する：[2]▶フォルダを選択▶ブックマークを選択**

- お買い上げ時はブックマークは登録されていません。登録するには☛P309
- フォルダ一覧やブックマーク一覧から行える操作は、ｉモードのブックマークと同じです。操作方法については☛P209

■ **URLを入力して表示する：[3][1]▶URLを入力（半角512文字まで）▶[中]**

- URLの入力方法はｉモードと同じです。操作方法については☛P208

■ **URL履歴を使って表示する：[3][2]▶URLを選択**

- URL履歴は、新しい順に最大20件記録されます。
- URL履歴一覧から行える操作は、ｉモードのURL履歴一覧と同じです。操作方法については☛P208

■ **最後に表示したページに再接続する（ラストURL）：[3][3]▶[●]**

- ページによっては表示できないことがあります。また、最後に表示したページと異なることがあります。

2 インターネットホームページを見終わったら[終話]▶「はい」を選択

おしらせ

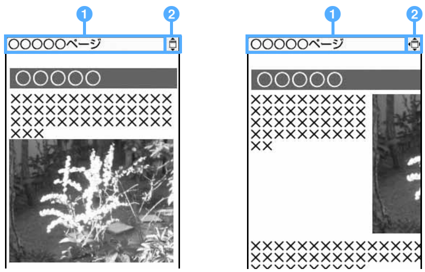
- フルブラウザのブックマークをツータッチサイト登録してもインターネットホームページを表示できます。操作方法については☛P209
- ページによっては表示に時間がかかる場合があります。
- 次の機能には対応していません。
  - Flash画像の表示
  - PDFデータの表示
  - プラグイン
  - 音の再生
  - 画面メモ保存
  - Phone To
- データ取得中に[Menu]または[ch/クリア]を押すとページの取得を中断できます。

フルブラウザの表示について

フルブラウザ画面の見かた

フルブラウザ画面にはケータイモードとPCモードと2つの表示モードがあります。ケータイモードでは、FOMA 端末の画面幅に合わせてページ内容が表示され、上下にスクロールして表示できます。PCモードでは、画面幅で折り返さずにページ内容が表示され、上下左右にスクロールして表示できます。お買い上げ時はケータイモードに設定されています。

ケータイモード　　　PCモード



❶ **ページのタイトル**

- データ取得中はタイトルの前に[取得中アイコン]が表示されます。
- タイトルがないときはURLが表示されます。

❷ **表示モードアイコン**

[↕]：ケータイモード　[✥]：PCモード

- フレームに分割されたページの表示については☛P308
- マルチウィンドウの表示については☛P308

■ **ケータイモードとPCモードを切り替える**

- データ取得中は切り替えられません。

① [＊]

- 押すごとにモードが切り替わります。
- 設定はフルブラウザを終了しても保持されます。

■ スクロールする
- ケータイモードの場合、以下のキーでスクロールできます。

  上下キー：上下にスクロール／項目を選ぶ（1秒以上押すと高速スクロール）
  i／メール：
  画面単位で上下にスクロール
  1／2／3：
  画面単位で上スクロール
  7／8／9：
  画面単位で下スクロール
- PCモードの場合、以下のキーでスクロールできます。

  上下キー：上下にスクロール／項目を選ぶ（1秒以上押すと高速スクロール）
  左右キー：左右にスクロール／項目を選ぶ（1秒以上押すと高速スクロール）
  1～4、6～9：
  キーの方向に画面単位でスクロール

■ 前のページに戻る／進む
- ケータイモードのとき：左右キー
- PCモードのとき：i／メール

■ ビューポジションの表示について
ページを表示したときや画面をスクロールしたときなどに、ページ内の現在表示中の範囲を示すバーが約1秒間表示されます。
- 手動で表示する：Menu 8 8
- ビューポジションの表示色を設定する：Menu 8 9 ▶ 1～3
- ビューポジションを表示しないように設定する：Menu 8 9 4

■ ページを再読み込みする
① Menu 4

■ 文字コードを切り替える
① Menu 8 5 1
- 押すたびにSJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。
- 操作を4回繰り返すと元の表示に戻ります。
- 自動選択する：Menu 8 5 2
- 文字コードを切り替えても、文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

■ アニメーションを最初から再生する
① Menu 8 6

■ ページのURLを表示する
① Menu 8 1
- URLをコピーできます。操作方法は「URLをコピーする」と同じです☛P215

■ リンク先のURLを表示する
① リンクを選ぶ ▶ Menu 8 2
- 表示したURLをコピーする：Menu
  以降の操作は「URLをコピーする」の操作2以降と同じです☛P215

■ URLをメールで送信する
① Menu 6
表示中のページのURLを本文に入力したｉモードメール作成画面が表示されます。

■ 他のページを表示する
- ホームページを表示する：Menu 1
- ブックマークから選択する：Menu 2 2 ▶ フォルダを選択 ▶ ブックマークを選択
- URLを入力して表示する：Menu 3 1 ▶ URLを入力（半角512文字まで）▶
- URL履歴を使って表示する：Menu 3 2 ▶ URLを選択

■ ヘルプを表示する
① 7

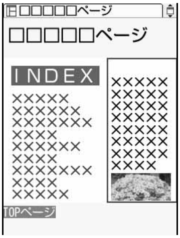
おしらせ
- 画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  ：データ取得中や、画像表示設定で画像を表示しない設定にしているとき
  ：画像のデータが不正なときや、画像が見つからないとき、圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  ：画像のURL誤りなどで画像を表示できないとき
- データ取得中はサブメニューからの操作はできません。
- リンクの選択方法や入力欄の操作はｉモードのサイト表示中と同じです。ただし、番号付きの項目をダイヤルキーで選択することはできません。
- フルブラウザ画面の文字サイズは、文字サイズ設定の「ｉモード」の設定に従います。ただし、表示される文字のサイズは、ページでの指定によって変わります。ページによってはサイズが変わらない文字もあります。
- ページによっては自動的に通信するものがあります。通信を開始するときは、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
- フルブラウザではTLS/SSL対応のページを表示できます。TLS/SSLは、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式です。
  - TLS/SSL通信中は が表示されます。
  - TLS/SSL対応ページ表示中に Menu を押し「表示」→「証明書詳細表示」を選択するとページの証明書を表示できます。
  - TLS/SSL 対応ページの表示を終了するときは確認画面が表示されます。

フレームに分割されたページを表示する

最初にフレームサムネイル画面が表示されます。フレームを選択するとフレーム拡大表示画面が表示され、スクロールや項目選択などの操作ができます。

- フレームの分割数が多いページの場合、表示できない場合があります。また、マルチウィンドウ中は、表示できるフレーム数が少なくなります。

1 フレームサムネイル画面からフレームを選択



フレームサムネイル画面



フレーム拡大表示画面

- フレームサムネイル画面に戻す：[ch/クリア]
- フレーム分割されたページ表示中は以下のアイコンが表示されます。
  [サムネイルアイコン]：サムネイル表示中
  [虫めがねアイコン]：拡大表示中
  また、フレームサムネイル画面のデータ取得中やフレーム拡大表示画面で自フレームのデータ取得中は緑の [取得中アイコン]、フレーム拡大表示画面で他フレームのデータ取得中はグレーの [取得中アイコン] が表示されます。
- リンクを選択したときなどに、自動的にフレームサムネイル画面に戻ることがあります。

おしらせ

- ●フレームの構成によっては、内容をすべて表示できない場合があります。
- ●フレームサムネイル画面では以下の操作は行えません。
  - スクロール
  - リンク先の表示
  - 画像保存
  - 検索
  - ビューポジションの表示／設定
- ●認証が必要なフレームは黄色の枠、スキャン機能で問題が検出されたフレームは赤色の枠で表示されます。

マルチウィンドウで表示する

複数のウィンドウを同時に開いてページを読み込み、切り替えながら表示できます。

- ウィンドウは最大5つ表示できます。ただし、フレーム数やページ内容によっては最大数まで表示できない場合があります。
- 複数のページを並べて表示することはできません。

例 リンク先を別ウィンドウに表示するとき

1 フルブラウザ画面でリンクを選ぶ▶[Ⓜ][1][5]を押す

新しいウィンドウにリンク先が表示されます。今までのページは裏ウィンドウに残ります。
タイトル欄の表示が、ウィンドウごとのタブの表示に変わります。



ウィンドウごとのタブ
白：表示中のウィンドウ
グレー：裏ウィンドウ

- ホームページを表示する：[Ⓜ][1][1]
- ブックマーク／URL入力／URL履歴を使って表示する：[Ⓜ][1]▶[2]～[4]
  - 以降の操作は「パソコン向けのインターネットホームページを表示する」と同じです。☛P306
- マルチウィンドウ中に、裏ウィンドウの処理に関する確認画面が表示されることがあります。裏ウィンドウの確認画面表示中は、裏ウィンドウのタブが点滅表示されます。

■ **ウィンドウを切り替える：[Ⓜ][3]▶ウィンドウを選択**

■ **ウィンドウを閉じる：閉じるウィンドウを表示▶[ch/クリア]▶「はい」を選択**

- データ取得中のときは、[Menu]または[ch/クリア]で取得を中断してから[ch/クリア]を押します。
- ウィンドウが1つのときは、フルブラウザが終了します。

おしらせ

- ●リンクによっては、自動的に新しいウィンドウを開くように設定されている場合があります。
- ●マルチウィンドウ中に表示モードを切り替えると、すべてのウィンドウの表示モードが切り替わります。

フルブラウザ

ポインターモードで表示する

パソコンのようにポインターを使ってスクロールや項目選択の操作ができます。

1 フルブラウザ画面で[#]を押す



ポインターが表示されます。
- もう一度押すと通常モードに戻ります。

ポインター

- [マルチカーソル]でポインターを移動できます。1秒以上押すと高速で移動します。斜めに押しても移動できます。
- 画面の端付近まで移動するとスクロールします。
- リンクや入力欄、ボタンなどをポインターで選び[決定]を押すと選択できます。選択可能なときは、ガイド行の中央に「選択」が表示されます。
- 前のページに戻る／進む：[i]／[メール]
- ガイド行やサブメニューなどは選択できません。
- 検索画面表示中、画像選択中などはポインターは表示されません。
- フレームによってはポインターの移動範囲が制限されることがあります。
- 設定はフルブラウザを終了しても保持されます。

ｉモードからフルブラウザに切り替える

ｉモードでインターネットホームページが表示できなかったときに、フルブラウザに切り替えて表示できます。
- ページによっては切り替えても表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

1 ｉモードでインターネットホームページに接続

2 [Menu][3][3]▶「はい」を選択
- フルブラウザのアクセス設定が「利用しない」に設定されているときは、アクセス設定画面が表示されます。「利用する」に設定するとアクセス設定が変更され、フルブラウザが表示されます。アクセス設定については☛P311
- 「利用しない」のまま登録したり、[ch/クリア]を押してもｉモードの画面には戻れません。

フルブラウザ画面からの各種操作

ブックマークに登録する

- 最大登録件数☛P38
- URLが半角512文字を超える場合は登録できません。
- ページによってはブックマークに登録できない場合があります。

1 フルブラウザ画面で[Menu][2][1]▶登録先フォルダを選択
- 以降の操作はｉモードの「ブックマークに登録する」の操作2と同じです。☛P209

画像をFOMA端末に保存する

- GIF形式またはJPEG形式の画像を保存できます。ただし、横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は640×480、JPEG形式は1728×2304を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合があります。
- ファイルサイズが300Kバイトを超える画像は保存できません。
- 保存可能なファイル形式･サイズの画像でも、ページによっては保存できない場合があります。
- 背景画像は保存できません。また、画像以外のデータは取得できません。

1 フルブラウザ画面で[Menu][5]▶画像を選択
- 以降の操作は「サイトから画像を取得する」の操作3以降と同じです。☛P212

ページ内の文字列を検索する

- データ取得中は検索できません。
- ページによっては検索できないことがあります。

1 フルブラウザ画面で[0]

検索画面に切り替わり、画面の下部に検索文字列の入力欄が表示されます。表示モードアイコンの左に[検索アイコン]が表示されます。

2 文字列を入力（全角20文字（半角40文字）まで）

検索が実行され、入力した文字列に一致した語句が強調表示されます。
- 一致した次の語句を強調表示する：[メール]
- 一致した前の語句を強調表示する：[i]
- 検索を終了する：[本]

■ **詳細条件を設定する：検索画面でMenu▶各項目を選択して設定▶◎**

・半角英数字を検索するとき、完全に一致する語句だけを検索するには検索方法を「完全一致」に設定します。たとえば、「cat」を入力したとき、「部分一致」では「cats」も検索されますが、「完全一致」では検索されません。
・英字の大文字と小文字を区別するときは、「大文字と小文字を区別」を「区別する」に設定します。
・設定はフルブラウザを終了しても保持されます。

おしらせ

● 検索した文字と検索文字列の入力欄が重なることがあります。その場合は◎を押して確認してください。

画像をアップロードする

画像のアップロードに対応しているページに、FOMA端末の画像をアップロードできます。

・GIF形式、JPEG形式の画像をアップロードできます。アップロードできるファイルサイズは最大80Kバイトです。ただし、複数の画像や文字列を含む場合は、合計で最大100Kバイトです。
・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）はアップロードできません。また、画像と文字列以外のデータはアップロードできません。
・アップロードの実行方法は、ページにより異なります。

1 画像アップロード対応ページで、「参照」ボタンを選択

・miniSDメモリーカード挿入時は選択画面が表示されます。FOMA端末の画像をアップロードするときは「本体」を選択します。miniSDメモリーカードの画像をアップロードするときは「miniSDカード」を選択し、「マイピクチャ」または「その他の画像」を選択します。
・「参照」ボタンは、FOMA端末で画像をアップロードできる場合に表示されます。同じページをパソコンなどで表示すると異なるボタンで表示されます。

■ **選択したファイルを変更する：「参照」ボタンを選択▶「変更」を選択**

■ **選択したファイルを解除する：「参照」ボタンを選択▶「解除」を選択**

2 フォルダを選択▶画像を選択

フルブラウザの設定をする

フルブラウザ設定

・iモードの以下の設定はフルブラウザにも有効です。
 ・接続待ち時間設定　・接続先設定
 ・証明書表示／使用設定　・照明設定

Menu 2941

ホームページを設定する

ホーム設定

お買い上げ時　未登録

1 ◉ 9 4 1

2 URLを入力（半角512文字まで）▶◎を押す

おしらせ

● ホームページに設定するページの表示中にMenuを押し、「ホーム登録」を選択し、「はい」を選択しても設定できます。ただし、URLが半角512文字を超える場合は登録できません。

Menu 2942

Cookieについて設定する

Cookie設定／削除

Cookie（クッキー）とは、インターネットホームページにアクセスしたときに、ユーザ名などお客様に関する情報をFOMA端末に一時的に保存しておき、次に同じページにアクセスしたときに送信して利用するしくみです。たとえば、お客様専用のページを自動的に表示するなどの用途で利用されます。

・Cookieを有効にしたことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・ページによってはCookieを「無効」に設定すると正しく表示できない場合や、利用できない場合があります。

お買い上げ時　有効（確認なし）

1 ◉ 9 4 2

2 各項目を選択して設定▶◎を押す

Cookie：
「有効（確認なし）」に設定するとCookieが常に有効になります。「有効（毎回確認）」に設定すると送受信時に確認画面が表示されます。「無効」に設定するとCookieが常に無効になります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

確認： Cookieを「有効（毎回確認）」に設定したときに、送信時、受信時、送受信時のいずれのときに確認画面を表示するかを選択します。

■ **保存されているCookieをすべて削除する：**
Menu▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

おしらせ

- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、Cookieは「無効」に設定されます。
- Cookieを「無効」から「有効（確認なし）」または「有効（毎回確認）」に変更するときは、端末暗証番号の入力が必要な場合があります。また、保存されているCookieを削除するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- 保存されているCookieの表示や個別の削除はできません。

Menu 2943

Scriptについて設定する　Script設定

インターネットホームページのJavaScript（ジャバスクリプト）について設定します。

・JavaScriptとは、インターネットホームページで動作するプログラムです。
・ページによっては、Script実行を「無効」に設定すると正しく表示できない場合があります。

お買い上げ時　Script実行：有効
ウィンドウオープンガード：無効

1 [9][4][3]

2 **各項目を選択して設定▶を押す**

Script実行：
JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。

ウィンドウオープンガード：
JavaScriptから新規ウィンドウのオープンが指示されたときの動作を設定します。「無効」に設定すると、新規ウィンドウのオープン時に確認画面が表示され、「はい」を選択するとウィンドウが開きます。「有効」に設定すると、新規ウィンドウは開きません。

おしらせ

- ウィンドウオープンガードの設定は、フルブラウザ画面でMenuを押し、「表示」→「自動オープンガード」を選択し、「はい」を選択しても切り替えられます。
- ウィンドウオープンガードを「有効」に設定した場合、フルブラウザ画面でjavaScriptにより新規ウィンドウのオープンが指示されてウィンドウオープンガード機能が働くと、表示モードアイコンの位置にが表示されます。

Menu 2944

表示モードを設定する　表示モード設定

フルブラウザ起動時の表示モードを、ケータイモード、PCモードから選択します。

お買い上げ時　ケータイモード

1 [9][4][4]▶[1]～[2]**のいずれかを押す**

Menu 2945

画像を表示するかどうかを設定する　画像表示設定

お買い上げ時　画像、アニメーション：表示する

1 [9][4][5]

2 **各項目を選択して設定▶を押す**

画像： 画像やアニメーションを表示するかどうかを設定します。
・「表示しない」に設定すると、アニメーションは設定できません。

アニメーション：
アニメーションを再生して表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。

おしらせ

- フルブラウザ画面でMenuを押し、「表示」→「画像表示設定」を選択しても設定できます。

Menu 2946

フルブラウザを利用するかどうかを設定する　アクセス設定

お買い上げ時　利用しない

1 [9][4][6]

2 **「利用する」または「利用しない」を選択▶を押す**

・「表示」を選択すると注意事項が表示されます。「利用する」に変更する際には、必ずお読みください。

おしらせ

● FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、アクセス設定は「利用しない」に設定されます。

Menu 2947

Refererについて設定する　Referer設定

リンクを選択してインターネットホームページを表示したときに、Referer（リファラー。どこからリンクしてきたかを示すリンク元情報）を送信するかどうかを設定します。

- 「送信する」「毎回確認」「送信しない」から選択します。「毎回確認」に設定すると、Referer を送信する前に確認画面が表示されます。
- Referer を送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お買い上げ時　送信する

1 **[メニュー][9][4][7]▶[1]～[3]のいずれかを押す**

Menu 2948

フルブラウザ画面のガイド行を表示しないようにする　画面表示設定

フルブラウザ画面のガイド行の表示を消し、ページ内容を全画面に表示します。

- 全画面表示にしても操作は通常の画面と同様に行えます。

お買い上げ時　標準画面表示

1 **[メニュー][9][4][8]**

2 **[2]を押す**

- ガイド行を表示する：[1]

データ表示／編集／管理／音楽再生

画像を使いこなす
画像を表示する……マイピクチャ 314
静止画を編集する……316
画像の動作条件を設定する……動作設定（マイピクチャ） 320
静止画をお預かりセンターに保存する……電話帳お預かりサービス 320

動画／ｉモーションを使いこなす
動画／ｉモーションを再生する……ｉモーション 321
動画／ｉモーションを編集する……323
動画／ｉモーションの動作条件を設定する……動作設定（ｉモーション） 326
動画／ｉモーションをminiSDメモリーカードに移動する……コンテンツ移行対応 327

キャラ電を使いこなす
キャラ電とは……328
キャラ電を表示する……キャラ電 328
キャラ電を撮影する……キャラ電撮影 329
キャラ電の動作条件を設定する……動作設定（キャラ電） 330

メロディを使いこなす
メロディを再生する……メロディ 331
メロディの動作条件を設定する……動作設定（メロディ） 332

miniSDメモリーカードを使いこなす
miniSDメモリーカードについて……332
miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた……335
miniSDメモリーカードの保存容量を確認する……336
FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータをやりとりする……336
miniSDメモリーカード内のデータを表示する……339
miniSDメモリーカードを管理する……342
パソコンからminiSDメモリーカードを利用する……USBモード設定 343

各種データを管理する
アルバムを利用する……344
データの詳細情報を確認／変更する……詳細情報参照／変更 345
データを削除する……347
データを並べ替える……ソート 348

赤外線通信を使いこなす
赤外線通信について……348
赤外線通信を使ってデータを送信する……赤外線送信 349
赤外線通信を使ってデータを受信する……赤外線受信 350
赤外線通信モードにする……赤外線通信モード 352
赤外線リモコン機能を利用する……352
データ送受信時の動作を設定する……データ送受信設定 353

サウンドレコーダーを使いこなす
サウンドレコーダーで音声を録音する……サウンドレコーダー 353

PDF対応ビューアを使いこなす
PDFデータを表示する……マイドキュメント 356
しおりやマークを使う……359
ページのイメージを保存する……画面切り出し 360
PDF対応ビューアの動作条件を設定する……動作設定（マイドキュメント） 360

音楽を聞く
音楽の再生方法について……360
ミュージックプレイヤーを利用する……ミュージックプレイヤー 360

画像を表示する

マイピクチャ

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 ▶フォルダを選択

各フォルダには次のような画像が保存されています。

カメラ：
カメラやキャラ電で撮影した静止画、動画／ｉモーションやPDFデータから切り出した静止画

ｉモード：
サイトやｉモードメール、ｉアプリから取り込んだ画像

デコメールピクチャ：
お買い上げ時に内蔵されているデコメール用画像、サイトやバーコードリーダーから取り込んだ画像

アイテム：
お買い上げ時に内蔵されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたフレーム画像／スタンプ画像

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されている画像

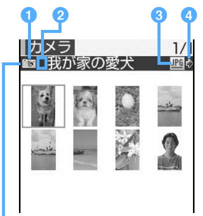
データ交換：
バーコードリーダーで取り込んだ画像、miniSDメモリーカードから移動／コピーした画像、データ通信で受信した画像

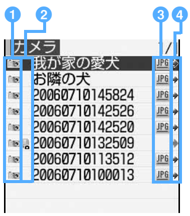
アルバム：
他のフォルダから移動した画像
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P344
- アルバム名は作成時に任意に付けられます。

- miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：▶～
- miniSDメモリーカードの操作方法☛P339

2 画像を選ぶ

サムネイル表示のとき　　**タイトル表示のとき**





カーソル位置のデータの表示名とマーク

画像一覧

❶ **取得元**
：内蔵　：ｉモード
：カメラ　：アイテム
：データ交換　：キャラ電

❷ **画像の種類**
表示なし：静止画
：パラパラマンガ
：アニメーション、Flash画像

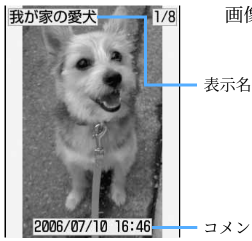
❸ **ファイル形式**
GIF：GIF画像　JPG：JPEG画像
：SWF（Flash画像）
表示なし：パラパラマンガ

❹ **ファイル制限**
（青）：ファイル制限なし
（グレー）：ファイル制限あり

- を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
- FOMAカード動作制限機能が設定されている画像は、サムネイル表示では で表示されます。
- 表示名などを変更できます。☛P345

■ **画像をメールに添付して送信する：画像を選ぶ▶**
画像が添付されているメール作成画面が表示されます。
- 静止画のファイルサイズが9000バイトより小さい場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。
- 静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、QVGA（240×320または320×240）への変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。☛P236
- メールに添付できる画像について☛P236

3 を押す



画像が表示されます。

- で前後の画像に切り替わります。
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を表示すると、自動的に再生されます。再生中は次の操作ができます。

：一時停止／再生
Menu ：リトライ（先頭から再生）

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

[i] ：スロー再生（パラパラマンガの停止中のみ）
[全] ：全画面表示

■ **画像を等倍表示する：[決定]▶[方向]でスクロール**
- 画像サイズが240×400を超える画像でのみ行えます。
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像は等倍表示できません。
- 等倍表示を終了する：[ch/クリア]

■ **画像を全画面表示する：[全]**
表示名やガイド行の表示が消え、画像が画面全体に表示されます。
- [方向]で前後の画像を表示できます。
- 画面より小さい画像は拡大されません。
- 動作設定で全画面時の自動スクロールを「あり」に設定していると、JPEG形式の画像が画面より大きい場合、縦横のどちらか一方が入る倍率で表示され、自動的にスクロールします。
  - [決定] でスクロールを停止／再開できます。終了後の再スクロールはできません。
  - 画像の縦横の比率が画面とほぼ同じ場合は画像全体が表示され、スクロールしません。
  - 縦または横が画面より小さくても拡大表示はされません。

スライドショーを見る

フォルダ内の画像を自動的に切り替えて表示できます。
- 切り替え速度と順序は動作設定に従います。

1 [決定][1]

2 フォルダを選ぶ▶[Menu][5]を押す
スライドショーが開始されます。
- フォルダ内のすべての画像を表示すると、フォルダ一覧に戻ります。
- パラパラマンガは表示されません。
- 画像の効果音は再生されません。
- 途中で終了する：[ch/クリア]
- キーを押して画像を切り替えることはできません。

画像を待受画面や電話帳などに設定する

1 [決定][1]▶**フォルダを選択**

2 画像を選ぶ▶[Menu][2]

3 項目を選択

■ **待受画面に設定する：[1]▶「はい」を選択**
- 画像サイズによっては、静止画の表示サイズを選択できます。☛P142
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 画像によっては設定できない場合があります。

■ **電話帳に新規登録する：[2]**
- 電話帳登録について☛P111

■ **登録されている電話帳に更新登録する：[3]▶相手を選択**
- 既に画像や動画／ｉモーションが設定されていたときは、選択した画像に置き換わります。

■ **電話発着信画像に設定する：[4]▶[1]～[2]**

■ **テレビ電話の発着信画像や代替画像、保留画像などに設定する：[5]▶[1]～[7]**
- 画像サイズが176×144を超える画像、およびFOMA端末外に出力不可の画像は、発信画像と着信画像にのみ設定できます。

■ **メールの送信画像／受信画像、問合せ画像に設定する：[6]▶[1]～[3]**
- 送信画像／受信画像に設定した画像は、メッセージR/F、SMSを送受信したときにも表示されます。
- Flash画像は問合せ画像に設定できません。

■ **メニューアイコンに設定する：[7]～[8]▶[1]～[9]、[0]**
選択した画像がタイルアイコンデザインの「カスタム1」または「カスタム2」のメニューアイコンに設定されます。
- パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像はメニューアイコンに設定できません。

パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画（最大6枚）を選択してパラパラマンガを作成します。
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像およびサイズが640×480を超える静止画はパラパラマンガに登録できません。
- パラパラマンガに登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。
- カメラで連続撮影した静止画はパラパラマンガの形式で保存されます。解除すると1枚ずつの静止画になります。

1 [決定][1]▶**フォルダを選択**

2 [Menu][4][1]

■ **解除する：パラパラマンガを選ぶ▶[Menu][4][2]**

3 画像を選択



選択した順に画像に番号が表示されます。

- （i）を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
- すべての選択を解除する：Menu

4 （田）▶表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶（田）を押す

画像一覧に🎞と表示名が表示されます。サムネイル表示では最初のコマが表示されます。

おしらせ

● 連続撮影した静止画を解除すると、ファイル名の末尾に「-1」「-2」のように番号が付きます。

静止画を編集する

マイピクチャに保存されている静止画を編集します。編集項目と編集可能な最大画像サイズは次のとおりです。

編集項目	編集可能な最大画像サイズ（ドット）※1
サイズ変更	1728×2304 (拡大／縮小は240×400または352×288)
切出し	1728×2304 (1728 × 2304 の静止画の範囲指定切出しは不可)
明るさ／色調	240×400または352×288
効果	240×400
反転／回転	480×640
フレーム	240×400または352×288
スタンプ貼付	240×400または352×288
テキスト貼付	240×400または352×288
切抜き	240×400
サイズ制限保存	1728×2304
補正	240×400または352×288

※1：画像サイズが大きくて編集できないときは、サイズ変更で編集可能な画像サイズに縮小できます。

- 次の画像は編集できません。
  - アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - 縦横のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画
- 明るさ／色調や効果などの編集を行うと、画像が小さく表示されることがあります。そのまま保存しても画像サイズに影響はありません。保存した画像は、正しいサイズで保存されています。

1 （◎）[1]▶フォルダを選択

2 静止画を選ぶ▶（田）

静止画編集画面が表示されます。

- 補正するには☛P319

3 Menu



静止画編集画面　　編集メニュー画面

4 編集項目を選択▶静止画を編集

[1]：サイズ変更☛P317
[2]：切出し☛P317
[3]：明るさ／色調☛P317
[4]：効果☛P318
[5]：反転／回転☛P318
[6]：フレーム☛P318
[7]：スタンプ貼付☛P318
[8]：テキスト貼付☛P318
[9]：切抜き☛P319
[0]：サイズ制限保存☛P319

5 編集が終わったら（◉）▶「保存」を選択

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームやスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。フレーム候補・スタンプ候補にできる画像について☛P346

おしらせ

● 編集後、静止画のファイルサイズが大きくなることがあります。

● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは保存できません。不要な画像を削除してから、保存し直してください。

● 編集した静止画をパソコンなどで表示すると、FOMA 端末で透過表示されていた部分は白になります。

● 表示領域より大きい静止画は縮小表示されます。ただし、スタンプ貼付、テキスト貼付、切抜き、サイズ変更の拡大／縮小時は等倍で表示されます。

サイズを変更する

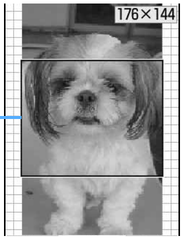
・静止画のサイズを変更すると、画質が劣化することがあります。

1 編集メニュー画面で[1]

2 画像サイズを変更

■ **指定したサイズに変更する：[1]～[9]**

指定したサイズと静止画の縦横比が同じ場合は、サイズが変更され、静止画編集画面に戻ります。縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。◎／◎でサイズ枠の位置を調整し●を押すと、サイズ枠で囲まれた部分が指定したサイズに変更されます。



・縦横比を無視して静止画全体を指定したサイズに収める（ストレッチ）：[Menu]
・縦横比を保持したまま静止画全体を指定したサイズに収める（フィット）：[m]

■ **拡大／縮小する：**

① [0]▶◎で拡大／縮小



縦横比を保持したまま、5%ずつ拡大／縮小します。画面の右上には現在の画像サイズと拡大／縮小率が表示されます。

・[Menu]を押すと20%ずつ縮小、[m]を押すと20%ずつ拡大します。
・縦長の静止画は288×352、横長の静止画は352×288まで拡大できます（縦横どちらかが上限になるまで）。
・縦横どちらかが8ドットになるまで縮小できます。

② ●

静止画編集画面に戻ります。

任意のサイズに切り出す

サイズや範囲を指定して、静止画の一部を切り出します。

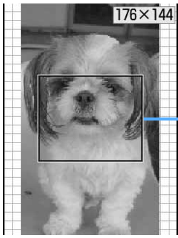
・元の静止画が16×16より小さい場合は切り出しできません。

1 編集メニュー画面で[2]

2 静止画を切り出す

■ **指定したサイズに切り出す：**

① [1]～[9]▶◎で切り出し枠の位置を調整



・切り出し枠の縦横を切り替える：[m]
・切り出しサイズを切り替える：[i]
・範囲指定に切り替える：[Menu]

② ●

静止画が選択したサイズに切り出され、静止画編集画面に戻ります。

■ **範囲を指定して切り出す：**

① [0]▶◎で✥の位置を調整▶●



範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下に✥が表示されます。

② ◎で✥の位置を調整▶[m]

切り出し範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。

・[m]の代わりに●を押すと、左上位置を再度変更できます。
・[m]を押した後に◎で範囲指定枠を移動できます。

③ ●

指定した範囲で静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

明るさと色調を変更する

1 編集メニュー画面で[3]

2 明るさや色調を変更

■ 明るさを調整する：
① [1] ▶ 🔘で明るさを調整



・最大にする：
📖
・最小にする：
Menu

② 🔘
静止画編集画面に戻ります。

■ 色調をモノトーンまたはセピアにする：
[2]～[3]
色調が変更され、静止画編集画面に戻ります。

特殊な効果をかける

1 編集メニュー画面で[4]

2 効果を選択

効果がかかり、静止画編集画面に戻ります。

ぼかし　：ぼかします。
球面　　：中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。
エンボス：鉛色にし、凸凹を強調します。
うずまき：中心から渦状に回転させたような効果をかけます。
きらきら：きらきら光っているようなマークを入れます。
モザイク：モザイクをかけます。

反転／回転させる

1 編集メニュー画面で[5]

2 静止画を反転／回転

🔘：上下反転　🔘：左右反転
Menu：左90度回転　📖：右90度回転

・スピードセレクターを回転しても90度ずつ回転できます。

3 🔘を押す

静止画編集画面に戻ります。

フレームを重ねる

・お買い上げ時に登録されているフレーム☛P425

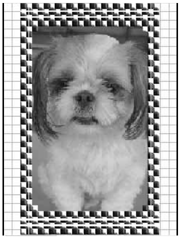
1 編集メニュー画面で[6]

編集している静止画と同じサイズのフレームが一覧表示されます。

・詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示されます。

2 フレームを選択

3 静止画を確認▶🔘を押す



静止画編集画面に戻ります。

・フレームを切り替える：🔘
・フレームを180度回転させる：Menu

スタンプを貼り付ける

・お買い上げ時に登録されているスタンプ☛P426

1 編集メニュー画面で[7]

編集している静止画より小さいサイズのスタンプが一覧表示されます。

・詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像および、お買い上げ時に登録されているスタンプは、編集している静止画のサイズより大きくても表示されます。

2 スタンプを選択

選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

3 🔘でスタンプを移動▶🔘



効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。

・続けて別の位置に貼り付けることができます。

・貼り付けたスタンプをすべて削除する：Menu
・効果音の音量は受話音量の設定に従います。

4 📖を押す

静止画編集画面に戻ります。

文字を貼り付ける　テキスト貼付

1 編集メニュー画面で[8]

2 各項目を選択して設定

テキスト　：文字を入力します（全角20文字（半角40文字）まで）。
文字の種類　：文字の種類を設定します。
文字のサイズ：文字のサイズを設定します。
文字色　：文字の色を設定します。
文字縁取り色：文字の縁取りの色を設定します。
背景色　：文字の背景色を設定します。
貼り方　：「まとめて」に設定すると文字をまとめて貼り付けられます。「一字ごと」に設定すると、1文字ずつ異なる位置に貼り付けられます。

3 (i)

設定した文字（貼り方が「一字ごと」の場合は最初の文字）が画面の中央に表示されます。

4 で文字を移動▶



効果音が鳴り、文字が貼り付けられます。
- 続けて別の位置に貼り付けることができます。

- 貼り方が「一字ごと」の場合は、を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字が表示されます。
- 貼り付けた文字をすべて削除する：Menu
- 効果音の音量は受話音量の設定に従います。

5 (i)を押す

静止画編集画面に戻ります。

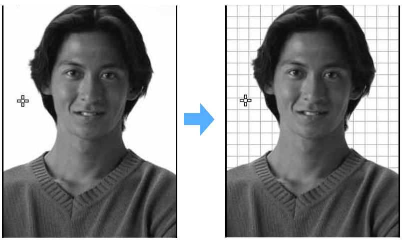
任意の部分を切り抜く

選択した色と近似している色の部分を切り抜きます。

1 編集メニュー画面で9

2 で切り抜く色に✣を合わせ

✣の位置の色と近似している色の部分が切り抜かれます。



- 続けて別の部分を切り抜くことができます。

3 (i)を押す

静止画編集画面に戻ります。

ファイルサイズを制限して保存する

ファイルサイズをメール添付用（小）サイズ（9000バイト以下）、メール添付用（大）サイズ（500Kバイト以下）に制限して保存します。

1 編集メニュー画面で0▶サイズを選択

設定したファイルサイズ以下で、同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。
- サイズが240×400または352×288を超える静止画は、「メール添付用（小）」に設定できません。

明るさや色のバランスを補正する

- 静止画によっては、補正してもあまり変化しないことがあります。

1 静止画編集画面で(i)

静止画補正モードになります。

2 で補正モードを切り替え



静物　：静物や植物などの画像を適切に補正します。
背景　：背景を適切に補正します。
風景　：風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
美肌　：人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
日焼け　：人物画像の肌を小麦色に表現します。
青ざめ　：人物画像の肌を青ざめたように表現します。
酔っ払い：人物画像の肌を赤らめたように表現します。
- Menuを押して1～7を押しても、補正モードを選択できます。

3 でレベルを調整

- 最大にする：
- 最小にする：
- レベルにより、明るさや色合いが変わります。

つづく

4 ◉を押す

静止画編集画面に戻ります。

画像の動作条件を設定する

動作設定（マイピクチャ）

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり　タイトル表示：あり
番号表示：あり　コメント表示：あり
小さい画像の拡大：なし　効果音再生：あり
全画面時の自動スクロール：なし
スライドショーの切替え速度：普通
スライドショーのランダム表示：なし

1 ◎ 1 ▶ Menu 4

2 各項目を選択して設定

一覧の画像表示：
「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

タイトル表示：
画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。

番号表示：
画像表示画面で件数を表示するかどうかを設定します。

コメント表示：
画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。

小さい画像の拡大：
表示領域より小さい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。
- 「あり」に設定しても全画面表示では拡大されません。

効果音再生：
画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。

全画面時の自動スクロール：
画像表示画面で◉を押したときに、自動スクロールを有効にするかどうかを設定します。

スライドショーの切替え速度：
スライドショーの切り替え速度を「速い」「普通」「ゆっくり」から選択します。

スライドショーのランダム表示：
スライドショーで画像をランダムに表示するかどうかを設定します。

3 ◉を押す

おしらせ
- 画像一覧、画像表示画面ではMenuを押し、「動作設定」を選択します。

静止画をお預かりセンターに保存する

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用して、静止画をお預かりセンターに保存できます。
- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

静止画を保存する

- 100Kバイトを超える静止画は保存できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）は保存できません。
- パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像、「プリインストール」フォルダ内の画像は保存できません。

1 ◎ 1 ▶ **フォルダを選択**

2 Menu 5 6 ▶ **静止画を選択** ▶ ◉
- 最大10件選択できます。

3 「はい」を選択▶端末暗証番号を入力

選択した静止画がお預かりセンターに保存されます。保存が完了すると、実行結果が表示されます。
- 実行結果は約5秒後に消え、画像一覧に戻ります。早く一覧に戻すには◉を押します。

おしらせ
- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

静止画を復元する

お預かりセンターに保存されている静止画を、お預かりセンターのサイトから FOMA 端末に保存します。詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

通信履歴を確認する

お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。
- 履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 Menu 6 9 2 ▶ **通信履歴を選択**

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

動画／ｉモーションを再生する

ｉモーション

FOMA端末のデータBOXのｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを再生します。

- 画像サイズが48×48～320×240の動画／ｉモーション（MP4ファイル、ASFファイル）を再生できます。

1 ⓜ 2 ▶フォルダを選択

各フォルダには次のような動画／ｉモーションが保存されています。

カメラ：
ビデオカメラやキャラ電で撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声、動画メモ

ｉモード：
サイトやｉモーションメールから取得したｉモーション、miniSDメモリーカードから移動したコンテンツ移行対応のｉモーション

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されている動画

データ交換：
miniSDメモリーカードから移動／コピーした動画／ｉモーション（コンテンツ移行対応のｉモーション以外）、データ通信で受信した動画／ｉモーション

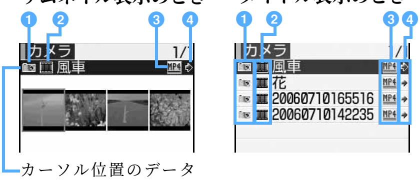
アルバム：
他のフォルダから移動した動画／ｉモーション

- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P344
- アルバム名は作成時に任意に付けられます。

- miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：ⓘ▶3～4
- miniSDメモリーカードの操作方法☛P339

2 動画／ｉモーションを選ぶ

サムネイル表示のとき　**タイトル表示のとき**



動画／ｉモーション一覧

①取得元

- ：内蔵
- ：カメラ
- ：キャラ電
- ：ｉモード
- ：データ交換
- ：テレビ電話

②再生制限

- ：再生制限なし
- ：期限制限あり
- ：回数制限あり
- ：期間制限あり

③ファイルの種類

- MP4：MP4
- ASF：ASF※1
- MP4：しおり付きMP4
- ASF：しおり付きASF※1

※1：miniSDメモリーカードに保存されているもののみ再生できます。

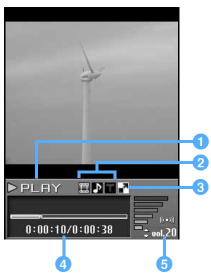
④ファイル制限

- （青）：ファイル制限なし
- （グレー）：ファイル制限あり

- ⓘを押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
- サムネイル表示では、サウンドレコーダーで録音した音声、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は、FOMAカード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーションはで表示されます。
- 表示名などを変更できます。☛P345

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信する（ｉモーションメール）：動画／ｉモーションを選ぶ▶✉**
動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P236

3 ●を押す



動画／ｉモーションが再生されます。

①再生状態

- PLAY：再生中
- STOP：停止中
- PAUSE：一時停止中

②ファイルの種類

- ：映像のみ
- ：音声のみ
- ：テキストのみ
- ：映像＋音声
- ：映像＋テキスト
- ：音声＋テキスト
- ：映像＋音声＋テキスト

③拡大／縮小表示

- ：拡大表示中
- ：縮小表示中

表示なし：等倍表示中

・拡大表示するかどうかは、動作設定で設定できます。

4 **再生時間**：現在の再生時間／総再生時間を数字とバーで示します。

5 **再生音量**：現在の音量を示します。

・動作設定の表示画像の拡縮が「なし」に設定されている場合、動画を縮小して再生するときは確認メッセージが表示されます。◉を押します。

・動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。

◉：一時停止／再生、先頭から再生（停止後）

◎：音量調整　　◫：停止

◎：早送り再生　　◎：巻戻し再生

ch/クリア：動画／ｉモーション一覧に戻る

■ **しおりを設定する：**

しおりを設定すると、しおりを設定した動画／ｉモーションを一覧から再生するときに、しおりの位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとしおりの位置から再生され、「いいえ」を選択すると先頭から再生されます。

・再生画面で停止中に◉を押して再生するときは、しおりを設定していても、先頭から再生されます。

・しおりは、FOMA端末内の動画／ｉモーション全体で１つ、miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーション全体で1つだけ設定できます。既にしおりが設定されている場合は、破棄されて新しいしおりが設定されます。

・再生制限が設定されているｉモーションでは設定できません。また、電話帳の登録画面やメール作成画面、音や画面の設定画面などから再生したときは、設定およびしおりからの再生はできません。

①再生中にしおりを設定したい位置で ◫ ▶「はい」を選択

・続けて再生する：◉

・しおりを解除する：再生を停止させてから◫

■ **横向きで再生する：** ✱

・押すたびに縦横が切り替わります。

・テロップ入りの動画／ｉモーションでは切り替えられません。

・画像サイズが320×240の動画／ｉモーションは、横再生中に ✱ を押すと画面の幅いっぱいに拡大されます（ワイド再生）。上下にはみ出す部分は表示されません。もう一度 ✱ を押すと通常再生に戻ります。

おしらせ

● 他の機能の影響により、動画／ｉモーションの保存時にサムネイル画像を取得できない場合があります。そのような動画／ｉモーションは、サムネイル表示では▩で表示されます。

再生制限が設定されているとき

再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

■ **回数制限**

状　態	確認内容
再生回数残あり	「あと×回（×/総再生回数）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

■ **期限制限**

状　態	確認内容
期限内	「(年/月/日 時:分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
期限後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

■ **期間制限**

状　態	確認内容
期間内	「(年/月/日 時:分）～（年/月/日 時:分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。◉を押すと、動画／ｉモーション一覧に戻ります。
期間後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

・残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報参照で確認できます。

・日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

・自動時刻補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合、再生期限または再生期間が設定されているｉモーションは再生できなくなります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- 映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240を超えるｉモーションは待受画面に設定できません。
- 電話帳、着モーション（着信音）、着信画像には、画像サイズがSub-QCIF（128×96）、またはQCIF（176×144）の動画／ｉモーションを設定できます。ただし、電話帳、着信画像には映像のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。
- 着モーション（着信音）、着信画像には、詳細情報の着信音設定、着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションを設定できます。ただし、次の動画／ｉモーションは設定できません。
  - 赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末に戻したもの
  - コンテンツ移行対応のｉモーション以外で、miniSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動したもの（FOMA端末からコピー／移動した動画／ｉモーションを、もう一度FOMA端末にコピー／移動した場合も含む）
- プッシュトーク着信音には、音声のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。

1 [○] [2] ▶ フォルダを選択

2 動画／ｉモーションを選ぶ ▶ [Menu] [2]

3 設定する項目を選択

■ 待受画面に設定する：[1] ▶「はい」を選択
- 動画／ｉモーションが拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションを再生するには☛P142

■ 電話帳に新規登録する：[2]
- 電話帳登録について☛P111

■ 登録されている電話帳に更新登録する：[3] ▶ 相手を選択
- 既に画像や動画／ｉモーションが設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着モーション（着信音）に設定する：[4] ▶ [1]～[7]

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：
① [4] ▶ [8]～[9]
② 電話帳から相手を選択
③ 内容を確認 ▶ [□]
- 既に着信音が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定する：[5] ▶ [1]～[2]
- 既に着信画像が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

おしらせ

● 動画／ｉモーションによっては、待受画面などに設定できない場合があります。

動画／ｉモーションを編集する

ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。

- 編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
  - 自端末で撮影した動画
  - 自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限、再生制限がないもの
- お買い上げ時に登録されている動画／ｉモーションは編集できません。また、ASF形式の動画など、ファイル形式などにより編集できない動画／ｉモーションがあります。

静止画を切り出す　キャプチャ

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出します（キャプチャ）。
- テロップはキャプチャした静止画に表示されません。
- 静止画の画像サイズは動画／ｉモーションが表示されているサイズになります。
- 横再生中は正しくキャプチャできません。

1 [○] [2] ▶ フォルダを選択

2 動画／ｉモーションを選択

選択した動画／ｉモーションが再生されます。

3 切り出す位置で [Menu] [5]

- 切り出しの操作をやり直す：[Menu] ▶「はい」を選択

4 画像を確認▶[決定]を押す



静止画がキャプチャされ、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 続けてキャプチャする：[始点]▶操作3～4を繰り返す

■ **キャプチャした静止画をメールに添付して送信する：[メール]**

キャプチャした静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存され、静止画が添付されているメール作成画面が表示されます。

- 静止画のファイルサイズが9000バイト以下の場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。

動画／iモーションを切り出す　選択切り出し

動画／iモーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

1 [メニュー][2]▶フォルダを選択

2 動画／iモーションを選ぶ▶[Menu][4][1]

選択切り出しモードになり、再生時間の上に[切り出し]が表示されます。

- 動画／iモーションにテロップが挿入されている場合は、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択切り出しモードになります。この場合、切り出す位置によってはテロップが削除されることがあります。

3 [始点]（始点）▶切り出しを終える位置で[終点]（終点）を押す



現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

- [始点]（始点）を押した後で操作をやり直すには[ch/クリア]、切り出しを中断するには[Menu]を押します。
- [終点]（終点）を押さずに最後まで再生すると自動的に切り出しが終了します。この場合、終点はファイルの最後より少し手前に設定されます。
- 動画／iモーションのファイルサイズが490Kバイトを超える場合、上限の設定に関わらず、490Kバイトになると自動的に切り出しを終了します。

■ **切り出しサイズの上限を設定する：**

- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

①[始点]（始点）を押す前の画面で[Menu]

②「メール添付用（小）」（290Kバイト）、「メール添付用（大）」（490Kバイト）または「設定なし」（切り出し元のファイルサイズ）を選択

- 切り出し中のファイルサイズが設定した切り出しサイズに達したときは、自動的に切り出しが終了します。
- 切り出し元のファイルサイズが490Kバイトを超える場合は、「設定なし」に設定できません。

4 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[決定]を押す

切り出した動画／iモーションが、新しいデータとして、元の動画／iモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／iモーションを再生する：[再生]**

■ **動画／iモーションをメールに添付して送信する：[メール]**

切り出した動画／iモーションが保存され、動画／iモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- メールに添付できる動画／iモーションについて☛P236

ファイルサイズを指定して切り出す　サイズ切り出し

動画／iモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。

- 指定できるファイルサイズは10～490Kバイトです。ただし、上限は動画／iモーションにより異なります。

1 [メニュー][2]▶フォルダを選択

2 動画／ｉモーションを選ぶ ▶[Menu][4][2]

- 動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合は、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、サイズ切り出しモードになります。この場合、切り出す位置によってはテロップが削除されることがあります。

3 切り出しサイズを入力

■ **メール添付サイズに設定する：**

- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

①[Menu]

②**「メール添付用（小）」（290Kバイト）または「メール添付用（大）」（490Kバイト）を選択**

- 「メール添付用(小)」を選択すると「290」、「メール添付用(大)」を選択すると「490」が切り出しサイズに設定されます。

4 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[保存]を押す

切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生する：**[再生]

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信する：**[メール]

切り出した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P236

テロップを挿入する　テロップ編集

- 挿入できるテロップ数は、動画／ｉモーションにより異なります（最大10個）。
- 既に挿入されているテロップの内容は変更できません。新しくテロップを挿入する場合、既に挿入されているテロップはすべて削除されます。
- テロップを挿入した動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。
- ファイルサイズが490Kバイト（テロップ入りの場合は495Kバイト）を超える動画／ｉモーションでは行えません。

1 [i][2]▶フォルダを選択

2 動画／ｉモーションを選ぶ ▶[Menu][4][3][1]

- 既にテロップが挿入されている場合は、削除してテロップ編集を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、既に挿入されているすべてのテロップが削除されます。

■ **テロップを削除する：**[Menu][4][3][2]▶**「はい」を選択**

挿入されているすべてのテロップが削除されます。操作9に進みます。

3 各項目を選択して設定

表示間隔：

「ユーザ指定」に設定すると、テロップの挿入位置を任意に指定できます。

「等間隔」に設定したときはテロップ数を指定します。動画／ｉモーションの再生時間内に、指定した数のテロップが等間隔で挿入されます。

テロップ数：

表示間隔を「等間隔」に設定したときに、テロップ数を入力します（1～10）。

4 [保存]

- 表示間隔を「ユーザ指定」に設定したときは、確認メッセージが表示され、再生時間の上に[テロップ]が表示されます。
- 表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作7に進みます。

5 [決定]で再生を開始▶テロップの挿入位置で[決定]



再生は中断しません。[決定]を押すたびに、テロップの挿入位置が設定されます。

- 再生を開始すると先頭に1箇所目の挿入位置が設定されます。

- 動画／ｉモーションの再生が終了するか、挿入位置を9箇所設定すると、挿入位置の設定が終了します。
- 挿入位置の設定を途中で終了する：[保存]
- 先頭から最後まで1つのテロップを表示する：[決定]で再生を開始▶[保存]

6 「はい」を選択

7 テロップの入力欄を選択 ▶ 文字を入力（全角20文字（半角40文字）まで）



■ **テロップを装飾する：**
①テロップを選ぶ▶✉
②各項目を選択して設定

テロップ1～10：
テロップ編集画面で入力した文字が表示されます。文字を入力できます。

文字色：
文字の色を設定します。「指定なし」に設定すると白になります。
- 文字色は絵文字には反映されません。

背景色：
テロップの背景色を設定します。「指定なし」に設定すると黒になります。

スクロール動作：
文字のスクロール動作を設定します。
- 「スクロール・イン」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されます。
- 「スクロール・アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されなくなります。
- 「スクロール・イン＆アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示され、その後徐々に表示されなくなります。
- 「なし」に設定すると、文字はスクロールしません。

スクロール方向：
スクロール動作を「なし」以外に設定したときの文字のスクロール方向を設定します。

文字位置：
文字の表示位置を設定します。

文字サイズ：
文字の大きさを設定します。

下線：
文字に下線を付けるように設定します。

点滅：
文字が点滅するように設定します。

③📖

8 📖

- テロップ挿入前の動画／ｉモーションのファイルサイズが300Kバイト以下の場合、テロップ挿入後のファイルサイズが300Kバイトを超えると、メール添付用（小）サイズを超えた旨のメッセージが表示されます。●を押します。

9 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶📖を押す

テロップを挿入した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生する：**▣

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信する：**✉
テロップを挿入した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P236

動画／ｉモーションの動作条件を設定する
動作設定（ｉモーション）

- リピート再生、音量、サラウンドの設定内容はミュージックプレイヤーのプレイヤー設定にも反映されます。
- 照明設定の設定内容は、ディスプレイの照明設定（☛P150）の点灯時間設定（ｉモーション）にも反映されます。

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり
表示画像の拡縮：なし
リピート再生：ON　照明設定：常灯
音量：レベル20　サラウンド：OFF

1 ⓘ 2 ▶ Menu 5

2 各項目を選択して設定

一覧の画像表示：
「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

表示画像の拡縮：
「あり」に設定すると、表示領域と再生する動画／ｉモーションのサイズが合わないときは、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを拡大／縮小表示します。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

「なし」に設定すると、拡大／縮小表示しません。ただし、表示領域より大きいサイズの動画／ｉモーションを再生したときは､縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示します。

リピート再生：
アルバム再生時、および miniSD メモリーカードの動画／ｉモーションの連続再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

照明設定：
「常灯」に設定すると、動画／ｉモーションの一覧表示中や再生中は常に照明が点灯します。｢端末設定に従う｣に設定すると､ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

音量：
再生時の音量を設定します。

サラウンド：
動画／ｉモーション再生時にサラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。

3 Ⓜを押す

おしらせ

● 動画／ｉモーション一覧ではMenuを押し､｢動作設定｣を選択します。

動画／ｉモーションを miniSD メモリーカードに移動する コンテンツ移行対応

サイトから取得した著作権のあるｉモーションのうち、コンテンツ移行対応のｉモーションを、FOMA端末からminiSDメモリーカードに移動できます。コピーはできません。

- データの提供者が許可していないｉモーションは移動できません。移動可否は詳細情報参照で確認できます。☛P345
- ｉモーションの移動中にminiSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。miniSD メモリーカード内のすべてのコンテンツ移行対応のデータが利用できなくなる場合があります。

FOMA 端末のコンテンツ移行対応のｉモーションをminiSDメモリーカードに移動する

- 移動したｉモーションは、コンテンツ移行対応のｉモーションのホームフォルダに保存されます。
- 再生方法は☛P340

1 ⓘ2▶フォルダを選択

2 ｉモーションを選ぶ▶Menu541▶「はい」を選択

■ **複数移動する：**
①Menu542▶ｉモーションを選択
・ⓘを押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
②Ⓜ▶「はい」を選択

■ **全件移動する：**Menu543▶「はい」を選択

おしらせ

● 新しいフォルダを作成（☛P340）してｉモーションを移動した場合、他のFOMA端末で確認できない場合があります。

● 複数移動／全件移動では、サイトから取得したコンテンツ移行対応のｉモーションはコンテンツ移行対応のｉモーションのホームフォルダ、それ以外の動画／ｉモーションはデータBOXの「動画」フォルダまたは「その他の動画」フォルダに振り分けて保存されます。

miniSDメモリーカードのコンテンツ移行対応のｉモーションをFOMA端末に移動する

- サイトから取得したときやFOMA端末からminiSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入していないと移動できません。また、ｉモーションによっては、機種が異なると移動できないことがあります。
- ｉモーションによってはFOMA端末に移動できない場合があります。
- 移動したｉモーションは、データBOXのｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 902iシリーズでminiSDメモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のデータは移動できません。

1 Menu6513▶✉

コンテンツ移行対応のｉモーションのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択

3 ｉモーションを選ぶ▶Menu211

■ **複数移動する：**Menu212▶ｉモーションを選択▶Ⓜ

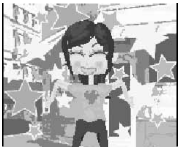
■ **フォルダ内のｉモーションを全件移動する：**Menu213▶端末暗証番号を入力

4「はい」を選択

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話利用時に、自分の画像の代わりに相手の画面に表示させるキャラクタです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させたり、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存することもできます。

- キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
- サイトなどからキャラ電をダウンロードして保存することもできます。
- キャラ電のアクションには、キャラクタ全体が動く「全体アクション」と、部分的に動く「パーツアクション」があります。キャラ電によってはどちらか一方しかないものや、アクションがないものもあります。



全体アクション：喜ぶ



パーツアクション：足　ジャンプ

Menu 54

キャラ電を表示する

キャラ電

- お買い上げ時に登録されているキャラ電☛P426

1 ⓞ4▶フォルダを選択

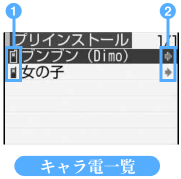
各フォルダには次のようなキャラ電が保存されています。

ｉモード：
サイトからダウンロードしたキャラ電

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されているキャラ電

フォルダ：
他のフォルダから移動したキャラ電
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P344
- フォルダ名は作成時に任意に付けられます。

2 キャラ電を選ぶ



❶**取得元**
：ｉモード
：内蔵

❷**ファイル制限**
（グレー）：
ファイル制限あり

- 表示名などを変更できます。☛P345

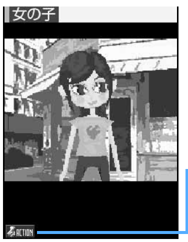
■ **キャラ電を利用してテレビ電話をかける：**
①キャラ電を選ぶ▶（テレビ電話）
②電話番号を入力▶（テレビ電話）
- （電話帳）を押すと、電話帳から電話番号を入力できます。
- （Menu）を押すと、条件を設定してテレビ電話をかけられます。☛P58
- テレビ電話の操作のしかた☛P82
- テレビ電話中にキャラ電を利用する☛P87

■ **キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定する：キャラ電を選ぶ▶（メール）**
- キャラ電表示画面で（テレビ電話）を1秒以上押しても設定できます。

■ **キャラ電を待受画面に設定する：**
①キャラ電を選ぶ▶（Menu）4
②アクションの種類とアクション間隔を設定▶（電話帳）
- 設定内容は「キャラ電のアクションを設定する」の操作②～③と同じです。☛P142

③「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 （決定）を押す



キャラ電が表示されます。

アクションモード
ACTION：全体
PARTS：パーツ

- ダイヤルキーを押すと、その数字に応じたアクションをします。
- アクションを中止する：0

■ **拡大表示と等倍表示を切り替える：拡大表示するにはⓞ、等倍表示するにはⓞ**

■ **キャラ電を切り替える：**
①（Menu）91▶フォルダを選択

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

②キャラ電を選択

■ **アクションを一覧表示する：✉**
現在のアクションモードのアクション一覧が表示されます。
- アクションを選択すると、キャラ電が動きます。
- アクションを選び Menu を押すと詳細を確認できます。

■ **全体アクションとパーツアクションを切り替える：✉（1秒以上）**
- 押すたびに全体アクションとパーツアクションが切り替わります。

おしらせ

● キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存することはできません。

キャラ電を撮影する

キャラ電撮影

- 撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。
画像ファイルの保存形式☛P180

1 **◎ 4 ▶フォルダを選択**

2 **キャラ電を選ぶ▶ 📖**
キャラ電撮影画面が表示されます。

3 **📷で撮影種別を切り替え**



- Menu 3 を押し、1 ～ 4 を押しても切り替わります。

動画＋音声：
送話口からの音声付きでキャラ電を録画します。送話口からの音声に反応するキャラ電の場合は、音声に合わせて口を動かします。

動画のみ（マイクあり）：
映像のみを録画します。マイクは音声に反応するキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。音声は録音されません。

動画のみ（マイクなし）：
映像のみを録画します。マイクは無効となります。

静止画：
静止画を撮影します。

- 撮影種別、アクションモード以外のマークの意味☛P179
- 画像サイズ、静止画のサイズ制限は変更できません。
- 保存先、画質／品質、動画のサイズ制限はキャラ電撮影の静止画設定／動画設定で変更できます。

■ **キャラ電を切り替える：Menu 1 1 ▶フォルダを選択▶キャラ電を選択**

4 **撮影したいアクションを実行▶ 🎥を押す**
静止画撮影の場合、撮影確認音（シャッター音）が鳴り、静止画が保存されます。
動画撮影の場合、撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影が開始されます。📖を押すか、ファイルサイズが制限値を超えると撮影が終了して撮影確認音が鳴り、動画が保存されます。
- 撮影した静止画／動画は、保存先がFOMA端末の場合はマイピクチャまたはｉモーションの「カメラ」フォルダ、保存先がminiSDメモリーカードの場合はminiSDメモリーカードの「マイピクチャ」フォルダまたは「動画」フォルダに保存されます。
- 動画撮影中に🎥を押すと撮影を一時停止できます。🎥を押すと撮影を再開します。
- 動画撮影中もアクションを実行できます。

■ **静止画設定または動画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき：**
確認画面が表示されます。確認画面では次の操作ができます。
🎥：静止画／動画の保存
📷：取消（保存せずに静止画／動画を消去）
Menu：保存先の切り替え
✉：メール作成
📖：再生（動画のみ）

■ **保存した静止画／動画をすぐに確認する：📖▶静止画／動画を選択**
- 確認後 ch/クリア を2回押すと、キャラ電撮影画面に戻ります。
- 保存先が miniSD メモリーカードのときは📖を押してフォルダを選択し、静止画／動画を選択します。ch/クリア を3回押すとキャラ電撮影画面に戻ります。

おしらせ

- 撮影時の注意事項については、「静止画を撮影する」のおしらせ（☛P184）、「ビデオカメラで動画を撮影する」のおしらせ（☛P188）を参照してください。
- 送話口からの音声に反応するキャラ電は、送話口からの音声の大きさによっては正しく動作しないことがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像／動画を削除してください。

静止画／動画の撮影動作を設定する

静止画設定／動画設定

お買い上げ時
- 静止画設定
  画質：スタンダード　撮影確認音：確認音1
  撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する
  保存先：本体　表示サイズ：拡大
  照明設定：端末設定に従う
- 動画設定
  品質：STD（標準）　サイズ制限：メール添付用（小）
  撮影確認音：確認音1　撮影後ファイル制限：なし
  自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大
  照明設定：端末設定に従う

1 キャラ電撮影画面で Menu 4

2 各項目を選択して設定

画質（静止画設定のみ）：
撮影する静止画の画質を設定します。画質がよくなるほど静止画のファイルサイズは大きくなります。

品質（動画設定のみ）：
撮影する動画の品質を設定します。品質がよくなるほど動画のファイルサイズは大きくなります。

サイズ制限（動画設定のみ）：
撮影する動画のファイルサイズの制限値を設定します。撮影中の動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。

撮影確認音：
撮影確認音（シャッター音）を確認音1～5から選択します。
- 選ばれている音が鳴ります。

撮影後ファイル制限：
メール添付によって他の携帯電話に静止画／動画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に静止画／動画を送信することを制限するかどうかを設定します。
- ダウンロードしたキャラ電で最初から「あり」に設定されている場合は、「なし」に設定できません。

自動保存：
「する」に設定すると、撮影した静止画／動画が、設定されている保存先に自動的に保存されます。「しない」に設定すると、撮影後に確認画面が表示されます。

保存先：
保存先を設定します。

表示サイズ：
キャラ電を拡大表示するか等倍表示するかを設定します。
- 撮影画面を表示したときから有効になります。

照明設定：
「常灯」に設定すると、キャラ電撮影中は常に照明が点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P150）の点灯時間設定（通常時）に従います。

3 (□) を押す

おしらせ

- 詳細情報の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した静止画／動画（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）は、編集・転送・メール添付ができません。
- 詳細情報の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）では、撮影した静止画／動画をminiSDメモリーカードに保存できません。保存先を「miniSDカード」に設定しても、「本体」に変更されます。

キャラ電の動作条件を設定する

動作設定（キャラ電）

お買い上げ時　表示サイズ：拡大　照明設定：端末設定に従う

1 ⓘ 4 ▶ Menu 4

2 各項目を選択して設定

表示サイズ：キャラ電を拡大表示するか等倍表示するかを設定します。

照明設定：「常灯」に設定すると、キャラ電一覧やキャラ電の表示中は常に照明が点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P150）の点灯時間設定（通常時）に従います。

3 (□) を押す

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

メロディを再生する

メロディ

FOMA端末のデータBOXのメロディに保存されているメロディを再生します。

1 ◎3▶フォルダを選択

各フォルダには次のようなメロディが保存されています。

iモード：
サイトやiモードメールから取り込んだメロディ

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されているメロディ

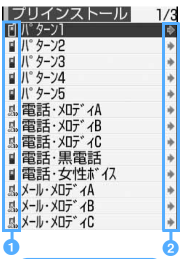
メール添付メロディ：
お買い上げ時に内蔵されているメール添付用のメロディ

データ交換：
バーコードリーダーで取り込んだメロディや、miniSDメモリーカードから移動／コピーしたメロディ、データ通信で受信したメロディ

アルバム：
他のフォルダから移動したメロディ
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P344
- アルバム名は作成時に任意に付けられます。

- miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：ⓘ
  - miniSDメモリーカードの操作方法☛P339

2 メロディを選ぶ



メロディ一覧

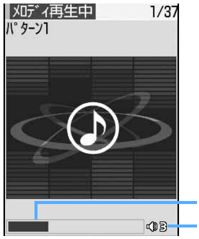
①**取得元**
- ：iモード
- ：iモード＋3Dサウンド対応
- ：データ交換
- ：データ交換＋3Dサウンド対応
- ：内蔵
- ：内蔵＋3Dサウンド対応
- 3Dサウンドとは☛P136

②**ファイル制限**
- ➡（青）：ファイル制限なし
- ➡（グレー）：ファイル制限あり

- 表示名などを変更できます☛P345

■ **メロディをメールに添付して送信する：メロディを選ぶ▶✉**
メロディが添付されているメール作成画面が表示されます。
- 受信側がFOMA D701i、D701iWM、D702i、D851iWM、D901i、D901iS、D902i、D902iS以外の場合、受信したメロディを正しく再生できないことがあります。
- メールに添付できるメロディについて☛P236

3 ◉を押す



メロディが再生されます。

- メロディの再生中は次の操作ができます。
  ◎：音量調整　◎：前後のメロディ再生
  ch/クリア／◉：メロディ一覧に戻る

メロディを着信音に設定する

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

1 ◎3▶フォルダを選択

2 メロディを選ぶ▶Menu 2

3 音の種類を選択

■ **音声電話、メール、チャットメール、メッセージR/F、テレビ電話、プッシュトークの着信音に設定する：1～7**

■ **メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：**
①8～9▶電話帳から相手を選択
②内容を確認▶◉
- 既に着信音が設定されていたときは、選択したメロディに置き換わります。

メロディの動作条件を設定する
動作設定（メロディ）

お買い上げ時 音量：レベル3
イルミネーションパターン：メロディ連動
イルミネーションカラー：レインボー
バイブレータ：OFF
再生位置：フルコーラス再生
再生画面背景：標準
ステレオ・3Dサウンド：ON

1 ◎3▶Menu5

2 各項目を選択して設定

音量：
メロディ再生時の音量を設定します。

イルミネーションパターン：
メロディ再生時の決定キーの照明の点灯パターンを設定します。「メロディ連動」または「OFF」に設定するとイルミネーションカラーは設定できません。

イルミネーションカラー：
メロディ再生時の決定キーの照明の点灯色を設定します。

バイブレータ：
メロディ再生時の振動パターンを設定します。

再生位置：
メロディ再生時、全体を再生（フルコーラス再生）するか一部分を再生（ポイント再生）するかを設定します。

再生画面背景：
メロディ再生時に背景に表示する画像を設定します。マイピクチャの画像を設定するには「選択」に設定し、画像を選択します。

ステレオ・3Dサウンド：
「ON」に設定すると、広がりや奥行きのある立体音響でメロディを再生します。「OFF」に設定すると、立体音響のないモノラル再生となります。
・3Dサウンドとは☛P136

3 ⓜを押す

おしらせ

● メロディ一覧およびメロディ再生画面ではMenuを押し、「動作設定」を選択します。
● メロディによっては、イルミネーションパターンやバイブレータを「メロディ連動」に設定すると、イルミネーションやバイブレータが動作しないことがあります。
● メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しないことがあります。

miniSDメモリーカードについて

撮影した静止画や動画、メロディなどをminiSDメモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのバックアップを取ることができます。また、パソコンなどの外部機器で作成した音楽データや動画をminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生したり（☛P360、P445）、パソコンからminiSDメモリーカード内のデータを操作したりできます（☛P343）。

・miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
・初期化されていないminiSDメモリーカードは、FOMA端末で初期化してから使用してください。なお、初期化を中断したminiSDメモリーカードの動作は保証できません。☛P342
・パソコンなどで初期化したminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できないことがあります（初期化もできない場合があります）。
・miniSDメモリーカード内の画像、動画／iモーション、メロディは、待受画面、着信音、着信画像などに設定できません。
・サイトから取得した著作権のあるｉモーションのうち、コンテンツ移行対応のｉモーションを、miniSDメモリーカードに保存できます。ただし、データの提供者が許可していない場合は保存できません。保存したｉモーションは、保存したときと同じFOMAカードを挿入していないと利用できません。また、ｉモーションによっては、機種が異なると利用できないことがあります。
・ｉアプリによってはminiSDメモリーカードにデータを保存できるものがあります。
・D902iSでは市販の2GバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています（2006年11月現在）。動作確認したminiSDメモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については次の方法でご確認いただけます。
  ・FOMA端末から：
  iMenuの「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」→「My D-style」→「D902iSサポート」の「クイックマニュアル」（2006年11月現在）
  ・パソコンから：
  三菱電機株式会社のホームページ http://www.MitsubishiElectric.co.jp/d902is/ の「FAQ」→「外部メモリ」
  なお、上記サイト、ホームページで掲載している情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありません。
・FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。

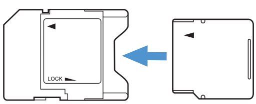
 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

miniSDメモリーカード使用時の留意事項

- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、miniSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが壊れることがあります。
- miniSD メモリーカードを取り付けている FOMA 端末に落下などの強い衝撃を与えると、miniSD メモリーカードが飛び出すことがあります。
- miniSD メモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着しているminiSDメモリーカードや、変形している miniSD メモリーカードを FOMA 端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。
- データのコピー中、移動中、削除中やminiSDメモリーカードの初期化中、情報更新中は画面上部に ⇌ が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。また、▱ を押して他の機能に切り替えることもできません。
- オールロック中、PIM ロック中は miniSD メモリーカードを使用できません。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたminiSDメモリーカードでは、データの保存、削除、初期化などはできません。
- 他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- ご利用になるminiSDメモリーカードによっては、保存した動画に乱れが発生することがあります。
- miniSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

SDメモリーカード対応機器で使用するには

miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせると、miniSDメモリーカードをSDメモリーカード対応機器で使用できます。

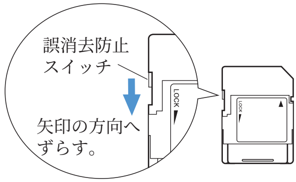


miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタの奥まで差し込みます。

- 取り外すときは反対の方向に引き出します。

■ 誤消去を防ぐには

miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせて使用する場合は、miniSDメモリーカードアダプタに付いている誤消去防止スイッチを使用することにより誤消去を防ぐことができます。



- 誤消去防止スイッチを「LOCK」の方向にスライドします。
- 先の細いものでスライドさせてください。
- miniSDメモリーカードを傷つけないように注意してください。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

■ FOMA端末で表示したとき

フォルダ構成は次のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

フォルダ構成		最大保存件数※1
データBOX	マイピクチャ※2	9999件
	その他の画像※2	9999件
	動画※3	4095件
	その他の動画※3	9999件
	動画 ⊶※4	64000件※5
	メロディ	9999件
PIM	電話帳	合計9999件
	スケジュール	
	受信メール	
	未送信メール	
	送信メール	
	メモ	
	Bookmark	
マイドキュメント		999件
トルカ		999件
ｉアプリのデータ※6		64000件※5

※ 1：miniSD メモリーカードの容量に関係なく、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存できる最大データ件数です。

※ 2：「マイピクチャ」にはカメラで撮影した静止画、JPEG形式の静止画（DCF規格）、GIF形式の画像が保存されます。「その他の画像」にはJPEG形式の静止画（DCF規格外）とアニメーションGIFが保存されます。（DCFはDesign rule for Camera File system の略でファイルシステムの規格です。）

※ 3：「動画」には映像やテロップがある動画／ｉモーション、「その他の動画」には音声のみの動画／ｉモーションが保存されます。

※ 4：コンテンツ移行対応のｉモーションが保存されます。「動画」フォルダから切り替えて表示します。表示方法は☛P340

※ 5：「動画🔑」と「ｉアプリのデータ」の合計件数です。
※ 6：データの保存はｉアプリで行います。miniSDメモリーカードのフォルダからは、情報の確認と削除が行えます。☛P289

■ **パソコンなどに挿入して表示したとき**

FOMA端末からminiSDメモリーカードにデータを移動／コピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接miniSDメモリーカードに保存したときなどは、そのファイルに対応したフォルダがminiSDメモリーカードに自動的に作成されます。パソコンなどに挿入してminiSDメモリーカードの内容を表示した場合のフォルダとファイルの構成は次のようになっています。
パソコンなどからminiSDメモリーカードにデータを保存するときは、次のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先フォルダを間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。

```
miniSDメモリーカード
├─DCIM※1
│  └─xxxD902I ---------------- yyyyxxxx.JPG/GIF
├─SD_VIDEO※2
│  └─PRLzzz ------------------ MOLzzz.3GP/MP4/ASF
├─PRIVATE
│  ├─DOCOMO
│  │  ├─STILL※3 --------------- STILxxxx.JPG/GIF
│  │  │  └─SUDxxx ------------- STILxxxx.JPG/GIF
│  │  ├─RINGER※4 -------------- RINGxxxx.MLD/MID/SMF
│  │  │  └─RUDxxx ------------- RINGxxxx.MLD/MID/SMF
│  │  ├─DOCUMENT※5
│  │  │  └─PUDxxx ------------- PDFDCxxx.PDF/$DF/DDF/JPG
│  │  ├─TABLE※6
│  │  │  ├─DCIM
│  │  │  ├─DOCUMENT
│  │  │  ├─MMFILE
│  │  │  ├─RINGER
│  │  │  ├─SD_VIDEO
│  │  │  ├─STILL
│  │  │  └─TORUCA
│  │  ├─TORUCA※7 -------------- TORUCxxx.TRC
│  │  │  └─TRCxxx ------------- TORUCxxx.TRC
│  │  └─MMFILE※8 -------------- MMFxxxx.3GP/MP4
│  │     ├─MUDxxx※8 ---------- MMFxxxx.3GP/MP4
│  │     └─D_MUSIC※9 --------- xxxx.3GP/MP4/M4A
│  └─Melco※6
├─SD_PIM※10 ------------------ PIMxxxxx.VCF/VCS/VMG/VNT/VBM
└─SD_BIND※11
   └─SVCxxxxx
```

※ 1：撮影画像、JPEG形式の静止画（DCF規格）、GIF形式の画像が保存されます。
- JPEG形式の静止画をこのフォルダに保存し情報更新を行っても表示できない場合は、ファイル名を「STILxxxx.JPG」（xxxxは0001～9999）の形式に変更して「PRIVATE」→「DOCOMO」→「STILL」フォルダに保存すると、表示できる場合があります。

※ 2：動画／ｉモーションが保存されます。拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。
※ 3：JPEG形式の静止画（DCF規格外）、アニメーションGIFが保存されます（FOMA端末で表示したときの「その他の画像」フォルダ）。
※ 4：MFi形式、SMF形式のメロディが保存されます。
※ 5：PDFデータが保存されます。拡張子を含めて半角64文字までのロングファイルネーム形式にも対応しています。ただし、FOMA端末から保存する際にファイル名が「PDFDCxxx」に変更されることがあります（ファイル名に重複があった場合など）。
拡張子「$DF」はダウンロードに失敗したPDFデータです。残りのデータをダウンロードして保存すると拡張子が「PDF」に変わります。拡張子「DDF」はｉモードしおり情報やマーク情報などを管理するファイル、「JPG」はサムネイル表示用データです。拡張子を除くファイル名は、対応するPDFデータと同じです。
※ 6：管理用のファイルが置かれるフォルダです。このフォルダにあるファイルは削除したり、ファイル名を変更しないでください。FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。
※ 7：トルカが保存されます。
※ 8：「MMFILE」直下および「MUDxxx」には、音声のみの動画／ｉモーションが保存されます（FOMA端末で表示したときの「その他の動画」フォルダ）。
※ 9：ミュージックプレイヤーで再生する音楽データを保存します。「D_MUSIC」フォルダ下に任意のフォルダを作成できます。音楽データのファイル名（xxxx）は任意です。ファイル名に使用できる文字数は、パス名、拡張子を含めて最大256バイト（半角256文字）です。
※10：電話帳、スケジュール、受信メール、送信メール、未送信メール、メモ、ブックマークが保存されます。
※11：サイトから取得したコンテンツ移行対応のｉモーションのデータや、ｉアプリのデータが保存されます。ファイルは暗号化されており、パソコンで見ることはできません。このフォルダにあるファイルやフォルダは、削除したり名前を変えたりしないでください。FOMA端末でデータを正しく利用できなくなります。

- フォルダ名、ファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
  - 「xxxD902I」のxxxは100～999
  - 「yyyyxxxx」のyyyyはA～Z（大文字）、0～9、_（アンダーバー）、xxxxは0001～9999
  - 「PRLzzz」「MOLzzz」のzzzは001～FFFまでの16進数（16進数では1つの桁を0～9とA～Fの16種類の文字で表します。）
  - 「STILxxxx」「RINGxxxx」「MMFxxxx」のxxxxは0001～9999
  - 「SUDxxx」「RUDxxx」「PUDxxx」「TRCxxx」「PDFDCxxx」「TORUCxxx」「MUDxxx」のxxxは001～999
  - 「PIMxxxxx」「SVCxxxxx」のxxxxxは00001～65535

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

おしらせ

- パソコンなどで miniSD メモリーカードにコピーしたデータBOX（コンテンツ移行対応の i モーションを除く）、PIM、マイドキュメント、トルカのデータをFOMA端末で利用するには、FOMA端末でminiSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。
- パソコンなどで miniSD メモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。
- 横縦（または縦横）のサイズが1728×2304を超える画像を miniSD メモリーカードに保存しても、FOMA端末では表示できません。

miniSDメモリーカードで利用できる画像・動画・メロディ・PDFデータ・トルカ

データ形式ごとのファイルサイズの上限値や利用可否は次のとおりです。

メール添付の詳細☛P236

■ 画像、動画／ i モーション

上段：ファイルサイズ　下段：画像サイズ

データ（拡張子）＼操作	miniSDメモリーカードへコピー／移動	FOMA端末へコピー／移動
JPEG形式の画像（JPG）	無制限	500Kバイト
	無制限	1728×2304
GIF形式の画像（GIF）	無制限	500Kバイト
	無制限	480×640
MP4形式の動画／ i モーション（MP4、3GP）	無制限	500Kバイト
	無制限	無制限
ASF形式の動画／ i モーション（ASF）	不可	不可
	不可	不可

データ（拡張子）＼操作	メール添付	内容表示
JPEG形式の画像（JPG）	500Kバイト※1	2.6Mバイト
	無制限	1728×2304
GIF形式の画像（GIF）	10000バイト	2.6Mバイト
	無制限	480×640
MP4形式の動画／ i モーション（MP4、3GP）	500Kバイト	無制限
	176×144、128×96	48×48～320×240※2
ASF形式の動画／ i モーション（ASF）	不可	無制限
	不可	176×144、320×240

※1：500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換されて添付されます。
※2：再生可能な画像サイズを超えている動画／ i モーションでも、再生可能な音声形式であったり、表示可能なテロップがデータ内に存在する場合は、音声やテロップの再生を行います。

■ その他のデータ

値：ファイルサイズ

データ（拡張子）＼操作	miniSDメモリーカードへコピー／移動	FOMA端末へコピー／移動
MFi形式のメロディ（MLD）	無制限	100Kバイト
SMF形式のメロディ（MID、SMF）	無制限	100Kバイト
PDFデータ（PDF）	無制限	2Mバイト※1
トルカ（TRC）	321バイト※2	1024バイト

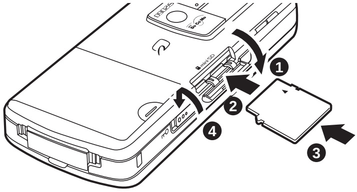
データ（拡張子）＼操作	メール添付	内容表示
MFi形式のメロディ（MLD）	不可	100Kバイト
SMF形式のメロディ（MID、SMF）	10000バイト	100Kバイト
PDFデータ（PDF）	不可	無制限
トルカ（TRC）	321バイト※2	1024バイト

※1：詳細情報で表示されるファイルサイズが2Mバイトを超えていても、 i モードしおりやマークのデータを除いたファイルサイズが 2M バイト以内であれば、コピー／移動できます。
※2：トルカによっては異なる場合があります。

miniSD メモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

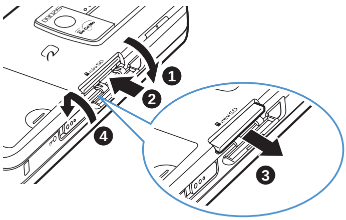
- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- miniSD メモリーカードスロットには、miniSD メモリーカード以外は挿入しないでください。
- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- miniSD メモリーカードは正しく取り付けてください。miniSD メモリーカードを正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、miniSD メモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着しているminiSDメモリーカードや、変形している miniSD メモリーカードをFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。

miniSDメモリーカードの取り付けかた



❶ miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
❷ miniSDメモリーカードを、印字面を上にして、スロットにゆっくり差し込む
❸ miniSDメモリーカードを「カチッ」と音がするまで押し込む
❹ miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSDメモリーカードの取り外しかた

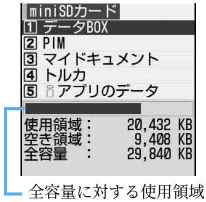


❶ miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
❷ miniSDメモリーカードを軽く押し込み、手を離す
miniSDメモリーカードが少し飛び出します。
❸ miniSDメモリーカードをゆっくりと取り出す
まっすぐに取り出してください。
❹ miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSD メモリーカードの保存容量を確認する

データのコピーやバックアップなどを行う際は、miniSD メモリーカードの空き容量を確認してください。

1 Menu 6 5 を押す



全容量に対する使用領域の割合

使用領域：
現在使用している容量を示します。
空き領域：
現在の空き容量を示します。
全容量：
FOMA端末に取り付けている miniSD メモリーカードの全容量を示します。

おしらせ

● データ（ミュージックプレイヤー用の音楽データ含む）が1件も保存されていない状態でも使用領域が「0KB」にならない場合は、miniSDメモリーカードを初期化してください。
● 実際に使用できるminiSDメモリーカードの容量は、miniSD メモリーカードに記載されている容量よりも少なくなります。
● miniSD メモリーカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、別の miniSD メモリーカードを取り付けてからデータを保存してください。

FOMA 端末と miniSD メモリーカードの間でデータをやりとりする

FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータをコピー／移動したり、FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにバックアップします。やりとりできるデータの種類と操作内容は次のとおりです。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

データの種類		操作内容
データBOX	画像	1件コピー、複数コピー、全件コピー 1件移動、複数移動、全件移動
	動画／ｉモーション	
	メロディ	
PDFデータ		
トルカ		
PIM	電話帳※1	1件コピー、バックアップ、復元
	スケジュール	
	メール	
	ブックマーク（ｉモード／フルブラウザ）	
	メモ	

※1：バックアップ／復元するとプッシュトーク電話帳もバックアップ／復元されます。1件コピーではプッシュトーク電話帳はコピーされません。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- サイトから取得したコンテンツ移行対応のｉモーションを、FOMA端末とminiSDメモリーカード間で移動するには☛P327
- ｉアプリのデータのコピー／移動はできません。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピー／移動する

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータはコピー／移動できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
- パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像はコピー／移動できません。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータはコピー／移動できません。
- PIMデータはコピーのみできます。移動はできません。
- FOMAカード電話帳はコピーできません。
- トルカによってはコピー／移動できない場合があります。
- 保護されているトルカは移動できません。
- トルカをコピー／移動すると、トルカ（詳細）取得前の状態で保存されます。FOMA端末に戻せば再度トルカ（詳細）を取得可能です。

例 画像をminiSDメモリーカードにコピー／移動するとき

1 [◎] [1] ▶ **フォルダを選択**

2 **画像を選ぶ** ▶ [Menu] [5] ▶ [4] 〜 [5]

3 [1]

■ **複数コピー／複数移動する：**

① [2] ▶ **画像を選択**

- [i] を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

② [m]

■ **全件コピー／全件移動する：** [3]

4 **「はい」を選択**

画像がminiSDメモリーカードにコピー／移動されます。

- コピー／移動を中止する：[☎]

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、トルカ一覧では [Menu] を押し、「移動／コピー」→「miniSDカードへ移動」または「miniSDカードへコピー」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」「1件コピー」「複数コピー」「全件コピー」を選択します。
- 電話帳一覧では [Menu] を押し、「データバックアップ」→「miniSDカードへコピー」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面では [Menu] を押し、「赤外線／miniSD」→「miniSDカードへコピー」を選択します。
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、ブックマーク一覧では [Menu] を押し、「移動／コピー」→「miniSDカードへコピー」→「1件コピー」を選択します。
- メモ一覧では [Menu] を押し、「miniSDカード」→「miniSDカードへコピー」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定している画像、動画／ｉモーション、メロディをminiSDメモリーカードに移動すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されている画像、動画／ｉモーション、メロディを移動したときは、音の設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- FOMA端末の画像、動画／ｉモーション、メロディ、トルカをminiSDメモリーカードにコピー／移動すると、ファイル名が自動的に管理用の名前に変更されます。PDFデータの場合、データによっては、ファイル名が管理用の名前に変更されることがあります。
- 画像をFOMA端末からminiSDメモリーカードにコピー／移動すると、miniSDメモリーカード側で表示されるファイルサイズが、FOMA端末で表示されるファイルサイズより大きくなることがあります。この場合、miniSDメモリーカード側で表示されるファイルサイズが実際のファイルサイズになります。
- 電話帳データをコピーすると、登録されている画像もコピーされます。ただし、miniSDメモリーカードの電話帳データを表示したとき、画像は表示されません。FOMA端末にデータを戻すと画像が表示されます。

- 電話帳データをコピーしても、登録されている動画はコピーされません。
- メールの添付ファイル(動画／ｉモーションを除く)が10000バイトを超える場合、添付ファイルはコピーされません。
- 送信メールや未送信メールをコピーしても、添付されている動画／ｉモーションはコピーされません。
- スケジュールに登録されているメンバーリストやイメージ（画像）はコピーされません。
- D902iSで保存した画像、動画／ｉモーション、メロディは、データサイズの制限などの違いにより、他のFOMA端末で表示･再生できない場合があります。
- データの保護の設定はminiSDメモリーカードにコピーされません。
- 静止画をminiSDメモリーカードにコピー／移動した場合、静止画の形式により、データBOXの「マイピクチャ」と「その他の画像」に振り分けて保存されます。FOMA端末で撮影した以外の静止画でも、「マイピクチャ」に保存される場合があります。
- 動画／ｉモーションをminiSDメモリーカードにコピー／移動した場合、映像やテロップがある動画／ｉモーションはデータBOXの「動画」、音声のみの動画／ｉモーションはデータBOXの「その他の動画」に保存されます。また、サイトから取得したコンテンツ移行対応のｉモーションは、コンテンツ移行対応のｉモーションのホームフォルダに保存されます。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピー／移動する

- FOMA端末の最大保存件数☛P38

データBOXのデータ／PDFデータ／トルカをFOMA端末にコピー／移動する

1 Menu 6 5

2 データの種類を選択

■ データBOXのデータをコピー／移動する：1 ▶ 1～5

■ PDFデータをコピー／移動する：3

■ トルカをコピー／移動する：4

3 フォルダを選択

4 データを選ぶ ▶ データBOXのデータでは Menu 3、PDFデータ／トルカでは Menu 2

5 1 または 4



■ **複数コピー／複数移動する：**
①2 または 5 ▶ データを選択
②(皿)

■ **全件コピー／全件移動する：3 または 6**

6 「はい」を選択

データがFOMA端末のデータBOX（マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメントの各「データ交換」フォルダ）またはトルカ一覧の「トルカフォルダ」にコピー／移動されます。
- コピー／移動を中止する：(終話)

おしらせ

- データを検索して一覧画面を表示した場合、全件コピー／全件移動はできません。

PIMデータをFOMA端末にコピーする

- バックアップデータ（ 、 、 、 、 が付いているデータ）はコピーできません。FOMA端末にデータを戻すには復元を行います。

1 Menu 6 5 2 ▶ 1～7

2 データを選ぶ ▶ Menu 1 1 ▶「はい」を選択

- ブックマークの1件データの場合、ｉモードのブックマークには が、フルブラウザのブックマークには が表示されます。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにバックアップする

FOMA端末の各PIMデータを、一括してminiSDメモリーカードにバックアップします。

1 Menu 6 5 2 ▶ 1～7

2 Menu 1 4

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

3 端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

選択したPIMデータが1つのデータにまとめられて、miniSDメモリーカードにバックアップされます。

- バックアップを中止する：CLR
  - 途中までバックアップしたデータは破棄されます。

おしらせ

- 電話帳、スケジュール、メール、ブックマーク、メモの一覧からも操作できます。
  - 電話帳一覧ではMenuを押し、「データバックアップ」→「miniSDカードへバックアップ」を選択します。
  - スケジュールのデイリービュー画面ではMenuを押し、「赤外線／miniSD」→「miniSDカードへバックアップ」を選択します。
  - 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、ブックマーク一覧ではMenuを押し、「移動／コピー」→「miniSDカードへコピー」→「バックアップ」を選択します。
  - メモ一覧ではMenuを押し、「miniSDカード」→「miniSDカードへバックアップ」を選択します。
- 電話帳をバックアップするとプッシュトーク電話帳もバックアップされます。
- miniSDメモリーカードのブックマーク一覧から操作すると、iモードとフルブラウザの両方のブックマークがバックアップされます。iモードまたはフルブラウザのブックマーク一覧から操作すると、iモードのブックマークのみ、またはフルブラウザのブックマークのみがバックアップされます。

miniSDメモリーカードのバックアップデータを復元する

復元方法には追加復元と上書き復元があります。

- 追加復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータとは別のデータとして保存されます。
- 上書き復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータは消去され、復元したデータで上書きされますのでご注意ください。

1 Menu 6 5 2 ▶ 1～7

2 バックアップデータを選ぶ▶Menu 1 ▶ 2～3

：電話帳　：スケジュール
：受信メール、未送信メール、送信メール
：メモ　：ブックマーク

- 電話帳を追加復元する場合、プッシュトーク電話帳のメンバーはグループに未登録の状態で復元されます。グループ名は復元されません。
- 電話帳のグループの並び順は、復元してもバックアップ時の並び順に戻らない場合があります。
- ブックマークを上書き復元すると、iモードとフルブラウザの両方のブックマークが上書きされます。一方のデータしかない場合でも両方が上書きされ、FOMA端末の元のデータは消去されますのでご注意ください。

3 端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

- 復元を中止する：CLR
  - 中止する前に処理されたバックアップデータはFOMA端末に復元されます。

miniSDメモリーカード内のデータを表示する

- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを変更したり、削除したりすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。その場合は、miniSDメモリーカードの情報を更新してください。☛P342
- iアプリのデータを表示するには☛P289

データBOXのデータ／PDFデータ／トルカを表示する

1 Menu 6 5

2 データの種類を選択

- ■ データBOXのデータを表示する：1▶1～5
- ■ PDFデータを表示する：3
- ■ トルカを表示する：4

3 フォルダを選択

- ■ FOMA端末のフォルダ一覧に切り替える：⊡

4 データを選ぶ

- ⊡を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります（メロディ、トルカを除く）。

■ メールに添付して送信する（PDFデータを除く）：データを選ぶ▶✉

■ 詳細情報を表示する（トルカを除く）：データを選ぶ▶データBOXのデータではMenu 2、PDFデータではMenu 1

■ 1件削除する：
①データを選ぶ▶データBOXのデータではMenu 4 1、PDFデータ／トルカではMenu 3 1
②「はい」を選択

■ 複数削除する：
①データBOXのデータではMenu 4 2、PDFデータ／トルカではMenu 3 2

②データを選択
③ⓜ▶「はい」を選択

■ **全件削除する：**
①データ BOX のデータでは Menu 4 3、PDFデータ／トルカでは Menu 3 3
②端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

■ **指定したページにジャンプする：ⓜ▶ページ数を入力**
・ページ数を入力しないときは 1 ページ目が表示されます。

■ **miniSDメモリーカード内のデータを検索する（トルカを除く）：**
①データ BOX のデータでは Menu 5、PDF データでは Menu 4
②日付を入力▶ⓜ

■ **動画／ｉモーションを連続再生する：Menu 6**
フォルダ内の動画／ｉモーションが連続して再生されます。連続再生中は次の操作ができます。
◉：一時停止／再生　　◎：音量調整
📷／✉：前後の動画／ｉモーション再生
ⓜ：停止
ch/クリア：動画／ｉモーション一覧に戻る

■ **動画／ｉモーションの動作条件を設定する：Menu 7▶各項目を選択して設定▶ⓜ**
・設定項目について☛P326

5 ◉▶データを確認
・動画／ｉモーション、メロディ、PDFデータ、トルカの操作方法は以下のページを参照してください。
・動画／ｉモーション☛P321
・メロディ☛P331　・PDFデータ☛P357
・トルカ☛P299（詳細は取得できません）
・画像表示中は次の操作ができます。
Menu：詳細情報表示　✉：メール作成
📷：全画面表示（自動スクロールはしません）
ⓜ：ファイル名の表示／非表示切り替え

コンテンツ移行対応のｉモーションを再生する

miniSD メモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションを再生します。
・サイトから取得したときやFOMA端末からminiSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入していないと再生できません。また、ｉモーションによっては、機種が異なると再生できないことがあります。
・miniSDメモリーカードを利用するｉアプリを待受画面に設定している場合、miniSDメモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションの再生や移動ができないことがあります。

1 Menu 6 5 1 3▶✉
画面のタイトルが「動画🔑」に変わり、コンテンツ移行対応のｉモーションのフォルダ一覧が表示されます。
📁（赤）：初期フォルダ（ホームフォルダのときは📁）
📁（黄）：通常フォルダ（ホームフォルダのときは📁）
・コンテンツ移行対応のｉモーションを初めてminiSDメモリーカードに移動したときやサイトから保存したときは、「初期フォルダ」が自動的に作成されます。「初期フォルダ」のフォルダ名は変更できます。
・コンテンツ移行対応のｉモーションのフォルダ一覧と「動画」のフォルダ一覧を切り替える：✉

2 フォルダを選択

3 ｉモーションを選択
ｉモーションが再生されます。
・サムネイル表示とタイトル表示を切り替える：📷
・ｉモーションの詳細情報を表示する：ｉモーションを選ぶ▶Menu 1

フォルダを作成する

・最大65535個作成できます。

1 フォルダ一覧でMenu 1
・フォルダ内にフォルダを作成する：フォルダ内のデータ一覧でMenu 4

■ **フォルダ名を変更する：フォルダを選ぶ▶Menu 2**
・フォルダ内のフォルダの名前を変更する：フォルダを選ぶ▶Menu 5

2 フォルダ名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶ⓜを押す

ホームフォルダを設定する

ホームフォルダは、コンテンツ移行対応のｉモーションをFOMA端末から移動したり、サイトから直接保存したときの保存先になります。ホームフォルダが未設定のときは、「初期フォルダ」がホームフォルダに設定されます。

1 フォルダ一覧またはフォルダ内のデータ一覧でフォルダを選ぶ▶ⓜ

2 「はい」を選択
ホームフォルダに設定され、アイコンが📁または📁に変わります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

フォルダを削除する

- フォルダを削除するとフォルダ内のデータも削除されます。
- ホームフォルダに設定したフォルダを削除すると、「初期フォルダ」がホームフォルダになります。
- 「初期フォルダ」を選んでフォルダ削除を行うと、「初期フォルダ」内のフォルダとデータだけが削除されます。「初期フォルダ」は削除されません。

1 フォルダ一覧でフォルダを選ぶ▶[Menu][3]

- フォルダ内のフォルダを削除する：フォルダを選ぶ▶[Menu][6]

2 「はい」を選択

- フォルダ内に無効なファイル（一覧に表示されないファイル）があると、フォルダ内のコンテンツ移行対応のｉモーションは削除されますが、フォルダは削除されずに残ります。この場合、パソコンなどで無効なファイルを取り除いてから、フォルダを削除し直してください。

ｉモーションをフォルダに移動する

- 902iシリーズでminiSDメモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のデータは移動できません。

1 フォルダ内のデータ一覧でｉモーションを選ぶ▶[Menu][2][2][1]

■ 複数移動する：[Menu][2][2][2]▶ｉモーションを選択▶[📖]

■ フォルダ内のすべてのｉモーションを移動する：[Menu][2][2][3]

2 移動／コピー先フォルダを選ぶ▶[📖]

- フォルダ内のフォルダを表示する：フォルダを選択

3 「はい」を選択

ｉモーションを削除する

1 フォルダ内のデータ一覧でｉモーションを選ぶ▶[Menu][3][1]

■ 複数削除する：[Menu][3][2]▶ｉモーションを選択▶[📖]

■ フォルダ内のｉモーションを全件削除する：[Menu][3][3]▶端末暗証番号を入力

2 「はい」を選択

PIMデータを表示する

1 [Menu][6][5][2]

2 [1]～[7]

3 データを選ぶ

- バックアップデータには、、、、が表示されます。
- ブックマークの1件データの場合、ｉモードのブックマークには、フルブラウザのブックマークにはが表示されます。

■ 1件削除する：
①データを選ぶ▶[Menu][2][1]
②「はい」を選択

■ 複数削除する：
①[Menu][2][2]▶データを選択
②[📖]▶「はい」を選択

■ 全件削除する：
①[Menu][2][3]
②端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

■ 指定したページにジャンプする：[📖]▶ページ数を入力
- ページ数を入力しないときは1ページ目が表示されます。

■ miniSDメモリーカード内のデータを検索する：
①[Menu][3]
②日付を入力▶[📖]

4 [●]▶データを確認

- 表示については、以下のページを参照してください。
  - 電話帳☛P122
  - スケジュール☛P376
  - メール☛P249
  - ブックマーク☛P209
  - メモ☛P387
- 1件のPIMデータを選択したときは、選択したデータの詳細が表示されます。
- バックアップデータを選択したときは、バックアップデータに含まれているすべてのデータがタイトルで一覧表示されます。

おしらせ

●miniSDメモリーカードに保存されている電話帳やスケジュール、メモの詳細画面から、電話をかけたりメールを送信することはできません。また、メール詳細画面から返信、転送、編集、保護はできません。

●電話帳データに登録されている画像は表示されません。FOMA端末に戻すと表示されます。

●電話帳のバックアップデータにプッシュトーク電話帳が含まれていても表示されません。復元はできます。

● miniSDメモリーカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
● メール詳細画面で、メールアドレスを選びMenu31を押すと電話帳に新規登録、Menu32を押すと電話帳に更新登録できます。また、添付されている画像やメロディ、トルカを選びMenu41を押すと表示／再生、Menu42を押すとタイトルを確認できます。ただし、10000バイトを超える画像や動画／iモーションの表示、件数表示などはできません。

miniSDメモリーカードを管理する

miniSDメモリーカードを初期化する　初期化

miniSDメモリーカードに保存されているデータ（ミュージックプレイヤー用の音楽データ含む）をすべて削除するときや、新たに購入したminiSDメモリーカードをFOMA端末で使用するときに、初期化します。

1 Menu65▶(m)

2 **初期化の方法を選択**

簡易初期化：
miniSDメモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。miniSDメモリーカードが一度初期化済みで、miniSDメモリーカードに問題がない場合だけ実行してください。

完全初期化：
miniSDメモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。新しく購入したminiSDメモリーカードを初期化するときなどに実行します。

3 **端末暗証番号を入力▶「はい」を選択**

・初期化を中断する：(CLR)

miniSDメモリーカードの情報を更新する　情報更新

他の機器でminiSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除し、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、miniSDメモリーカードの情報を更新します。

・情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
  ・「マイピクチャ」「その他の画像」内のデータの場合は、ファイル名と同じ名前に変更されます。
  ・「動画」「その他の動画」「メロディ」「マイドキュメント」内のデータの場合は、タイトルと同じ名前に変更されます。タイトルがないときはファイル名と同じ名前に変更されます。
  ・「トルカ」内のデータの場合は、タイトル名と同じ名前に変更されます。ただし、タイトル名がないときは「無題」に変更されます。

1 Menu65▶(i)

2 **項目を選択**



3 (m)▶**「はい」を選択**

・情報更新を中断する：(CLR)

おしらせ

● 他の機器でminiSDメモリーカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、miniSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。
●「動画」に音声のみの動画／iモーションが保存されている場合、情報更新を行うと音声のみの動画／iモーションは表示されなくなります。情報更新を行う前にFOMA端末に移動するか、パソコンなどでminiSDメモリーカードの「その他の動画」用のフォルダ（￥PRIVATE￥DOCOMO￥MMFILE）にファイル名を変更して保存しておくことをおすすめします。☛P334
●「動画 ⊶」「iアプリのデータ」は情報更新できません。
● miniSDメモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

miniSDメモリーカードをチェックする　カードチェック

miniSDメモリーカードに保存されているデータをチェックして、問題があれば修復します。

- miniSDメモリーカードの状態によっては、データを修復できないことがあります。

1 Menu 6 5 ▶ ✉

2 **「はい」を選択**

パソコンからminiSDメモリーカードを利用する　USBモード設定

USBモード設定を「miniSDモード」に設定し、パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続すると、FOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカード内のデータをパソコンから操作できます。

- miniSDモードに対応しているOSはWindows XP、2000のみです。
- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
- パソコンとFOMA端末を接続してデータ通信を行う場合は「通信モード」に設定します。

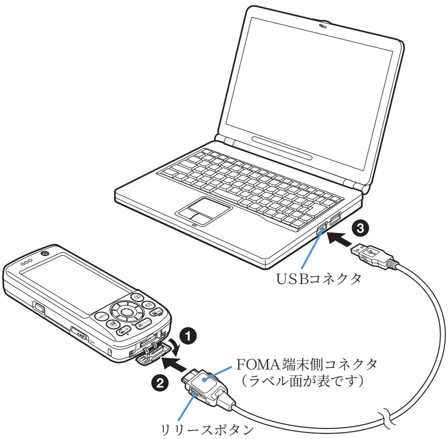
お買い上げ時　通信モード

1 Menu 6 2 4

2 2 ▶ **「はい」を選択**

- 「通信モード」に設定する：1 ▶「はい」を選択

3 **パソコンとFOMA端末を接続**



❶ **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く**

❷ **FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む**

❸ **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む**

■ **取り外しかた：**

FOMA端末側コネクタの両側のリリースボタンを押しながら水平に引き抜きます。無理に引っぱろうとすると故障の原因となりますのでご注意ください。パソコン側コネクタはそのまま引き抜きます。

おしらせ

- パソコン側で、FOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、miniSDモードに設定できないことがあります。
- 通話中やプッシュトーク通信中、iモード中は、miniSDモードに設定できません。また、パソコンからminiSDメモリーカードを操作しているときは通信モードに設定できないことがあります。
- miniSDモード中は電話やiモードなどの通信ができません。
- FOMA端末にパソコンを接続していない状態でminiSDメモリーカードへのアクセスがなく約90秒が経過すると、自動的にminiSDモードから通信モードに切り替わります。
- miniSDメモリーカードの操作を終了しFOMA USB接続ケーブルを取り外すときは、パソコンのタスクトレイのアイコンをクリックし「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※1を安全に取り外します」をクリックしてください。
  ※1：ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。
- miniSDメモリーカードとのデータ転送中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。
- パソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカードを初期化すると、FOMA端末で正常に使用できなくなる場合があります。初期化はFOMA端末で行ってください。
- miniSDモード中は決定キーの照明が点滅します。
- miniSDモード中にFOMA端末の ✉ 以外のキーを押すと、通信モードに切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。
- パソコンとFOMA端末を接続していてもUSBモード設定を変更できます。
- パソコンから操作したときのminiSDメモリーカードのフォルダ構成について☛P334

アルバムを利用する

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャ、iモーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメントの下にアルバム（フォルダ）を作成し、データを分類・整理できます。iモーション、メロディでは、アルバム内のデータをまとめて再生できます。

- キャラ電、マイドキュメントではアルバムを「フォルダ」と表記しています。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。

アルバムを作成する

- アルバムはマイピクチャで最大100個、iモーション・メロディ・キャラ電・マイドキュメントでそれぞれ最大10個作成できます。
- お買い上げ時、アルバムはありません。

例 マイピクチャのアルバムを作成するとき

1 [操作キー] [1]

2 [Menu] [1]

■ **アルバム名を変更する：アルバムを選ぶ▶**
[Menu] [3]

■ **アルバムを削除する：**
アルバムを削除すると、アルバム内のデータも削除されます。
① **アルバムを選ぶ▶** [Menu] [2]
- 削除するアルバムにデータが保存されているときは、端末暗証番号を入力します。

② **「はい」を選択**

3 **アルバム名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶ [保存] を押す**

おしらせ

- iモーション、メロディのフォルダ一覧では [Menu] を押し、「アルバム追加」「アルバム名変更」「アルバム削除」を選択します。
- キャラ電、マイドキュメントのフォルダ一覧では [Menu] を押し、「フォルダ追加」「フォルダ名変更」「フォルダ削除」を選択します。

データをアルバムに移動／コピーする

データをアルバムに移動する

固定フォルダのデータをアルバムに移動したり、アルバム間でデータを移動します。

- マイピクチャの各フォルダから「デコメールピクチャ」にデータを移動できます。
- 「プリインストール」フォルダ、「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。

例 マイピクチャのデータを移動するとき

1 [操作キー] [1] ▶ **フォルダを選択**

2 **データを選ぶ▶** [Menu] [5] [1] [1]

■ **複数移動する：**
① [Menu] [5] [1] [2] ▶ **データを選択**
- [表示切替] を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

② [保存]

■ **フォルダ内のすべてのデータを移動する：**
[Menu] [5] [1] [3]

3 **移動先のアルバムを選択▶「はい」を選択**

おしらせ

- 動画／iモーション一覧、メロディ一覧では [Menu] を押し、「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- 画像表示画面では [Menu] を押し、「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を選択します。
- メロディ再生画面では [Menu] を押し、「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電一覧では [Menu] を押し、「移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電表示画面では [Menu] を押し、「移動」を選択します。
- PDFデータ一覧では [Menu] を押し、「移動/コピー」→「フォルダへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。

アルバムのデータを固定フォルダに戻す

- キャラ電では固定フォルダへ戻す操作はできません。

例 マイピクチャのアルバムのデータを固定フォルダに戻すとき

1 [操作キー] [1] ▶ **アルバムを選択**

2 **データを選ぶ▶** [Menu] [5] [2] [1]

■ **複数戻す：**
① [Menu] [5] [2] [2] ▶ **データを選択**
- [表示切替] を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

② [保存]

■ アルバム内のすべてのデータを戻す：Menu 5 2 3

3 「はい」を選択

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧ではMenuを押し、「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。
- 画像表示画面ではMenuを押し、「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」を選択します。
- メロディ再生画面ではMenuを押し、「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「全件戻す」を選択します。
- お買い上げ時に「デコメールピクチャ」フォルダに登録されている画像は、固定フォルダに戻す操作をすると、「ｉモード」フォルダに移動します。

データをコピーする

- 次のデータはコピーできません。
  - マイピクチャのパラパラマンガ、アイテム画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - 再生制限が設定されている動画／ｉモーション、サイトやメールから取得した着信音に設定可能な動画／ｉモーション
  - メロディ、キャラ電
  - ファイル制限が「あり」に設定されているデータ。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。

例 マイピクチャのデータをコピーするとき

1 ◎ 1 ▶フォルダを選択

2 データを選ぶ▶Menu 5 3 を押す

コピーしたデータはコピー元のデータと同じフォルダ内に保存されます。

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、PDFデータ一覧、画像表示画面ではMenuを押し、「移動／コピー」→「コピー」を選択します。
- アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

アルバムごと再生する

ｉモーションおよびメロディのアルバム内のデータを続けて再生できます。

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダはアルバム再生できません。
- 再生制限が設定されているｉモーションは再生されません。

1 ｉモーションでは◎ 2、メロディでは◎ 3

2 アルバムを選ぶ▶Menu 1 を押す

- 動画／ｉモーションのアルバム再生中は次の操作ができます。
  ◎：一時停止／再生　◎：音量調整
  ◎／◎：前後のデータ再生
  ◎：停止　ch/クリア：フォルダ一覧に戻る
- メロディのアルバム再生中は次の操作ができます。
  ◎：音量調整　◎：前後のメロディ再生
  ch/クリア／◎：フォルダ一覧に戻る

データの詳細情報を確認／変更する

詳細情報参照／変更

データの詳細情報を確認します。一部の情報は内容を変更できます。

詳細情報を確認する

例 画像の詳細情報を表示するとき

1 ◎ 1 ▶フォルダを選択

2 画像を選ぶ▶Menu 3 1 を押す

- ◎、◎を押すと画面単位でスクロールできます。
- ◎を押すと詳細情報の一部を変更できます。

おしらせ

- 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧、キャラ電一覧、キャラ電表示画面、メロディ一覧、メロディ再生画面、PDFデータ一覧ではMenuを押し、「詳細情報」→「参照」を選択します。
- 動画／ｉモーション再生画面ではMenuを押し、「詳細」を選択します。
- キャラ電撮影画面ではMenuを押し、「詳細情報参照」を選択します。

つづく

詳細情報を変更する

例 画像の詳細情報を変更するとき

1 ◎ 1 ▶ **フォルダを選択**

2 **画像を選ぶ**▶ Menu 3 2

3 **各項目を選択して設定**▶ ◎ **を押す**

おしらせ

- 画像表示画面、動画／iモーション一覧、キャラ電一覧、キャラ電表示画面、メロディ一覧、メロディ再生画面、PDFデータ一覧では Menu を押し、「詳細情報」→「変更」を選択します。
- 動画／iモーション、キャラ電、メロディの場合、「オリジナルに戻す」を選択すると、表示名を、あらかじめデータに設定されているオリジナルタイトルに戻せます。

表示項目と変更可否一覧

・データによっては、表中で変更可となっている項目でも、変更できない場合があります。

●：変更可　○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	画像	iモーション 動画／	キャラ電	メロディ	PDFデータ
表示名	●	●	●	●	●
タイトル	－	○	○	○	－
ファイル名	●	●	○	●	○
種類	○	－	－	－	－
ファイル制限	●	●	○	●	○
撮影後ファイル制限	－	－	○	－	－
作成者	－	●	－	－	－
コピーライト	－	●	－	－	－
説明	－	●	－	－	－
ファイル種別	○	○	－	○	○
音	－	○	－	－	－
表示サイズ	○	○	○	－	－
ファイルサイズ	○	○	○	○	○
再生時間	－	－	－	○	－
保存日時	○	○	○	○	○
フレーム候補	●	－	－	－	－
スタンプ候補	●	－	－	－	－
コメント	●	－	●	－	－
着信音設定	－	○	－	－	－
着信画面設定	－	○	－	－	－
miniSDへの移動（本体への移動）	－	○	－	－	－
再生制限	－	○	－	－	－
取得元	○	○	○	○	○
故障時移行可否	○	－	－	○	○

表示項目の説明

表示名：
FOMA端末で表示するタイトル（変更する場合、メロディ以外では全角・半角を問わず36文字まで、メロディでは全角25文字（半角50文字）まで）

タイトル：
データにあらかじめ設定されているオリジナルタイトル

ファイル名：
データをメールに添付したときに表示されるファイル名（変更する場合、半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで）
・「.」はファイル名の先頭に入力できません。

種類：画像の種類

ファイル制限：
メール添付によって他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかどうかの区分
・サイトなどから取得したiモーション、ダウンロードしたメロディでは変更できません。

撮影後ファイル制限：
キャラ電を撮影した静止画／動画にファイル制限を設定するかどうかの区分

作成者：
作成者の名前など（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）
・自端末で撮影した動画では、自局番号に登録した名前が表示されます。自局番号に名前が登録されていない場合は設定されません。

コピーライト：
著作者名や著作物の公表年月日など（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）

説明：
動画／iモーションの説明（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）

ファイル種別：
ファイルの種別（Flash画像では「---」）

音：音声データの種別

表示サイズ：
データの表示サイズ（ドット）（Flash画像では表示されません）

ファイルサイズ：データのファイルサイズ

再生時間：データの再生時間

保存日時：データを保存した日時

フレーム候補：
画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうかの区分
・サイズが240×400または352×288を超える画像、アイテム画像と合成した画像、アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像は「する」に変更できません。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

スタンプ候補：
画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうかの区分
- サイズが240×400以上の画像、アイテム画像と合成した画像、アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像は「する」に変更できません。

コメント：
データの説明など（変更する場合、全角・半角を問わず100文字まで）

着信音設定：
動画／ｉモーションを着信音に設定できるかどうかの区分

着信画面設定：
動画／ｉモーションを着信画像に設定できるかどうかの区分

miniSDへの移動（本体への移動）：
動画／ｉモーションをminiSDメモリーカードに移動できるかどうかの区分
- miniSDメモリーカード内のコンテンツ移行対応のｉモーションでは「本体への移動」が表示され、FOMA端末に移動できるかどうかの区分が示されます。

再生制限：動画／ｉモーションの再生制限
取得元：データの取得元
故障時移行可否：
お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうかの区分
- 万一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

- 画像の詳細情報のうちフレーム候補やスタンプ候補を「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。
- miniSDメモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なる場合があります。
- 自端末で撮影種別を「画像＋音声」に設定して撮影した動画やサウンドレコーダーで録音した音声、その動画／音声から切り出した動画／音声は、着信音設定が必ず「可」になります。ただし、表示サイズが320×240の動画、テロップを挿入した動画／音声は「不可」になります。

データを削除する

- マイピクチャ・ｉモーション・メロディ・マイドキュメントの「プリインストール」フォルダ、メロディの「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは削除できません。

例 マイピクチャのデータを削除するとき

1 **ⓞ 1 ▶フォルダを選択**

2 **データを選ぶ▶Menu 6 1**

■ **複数削除する：**
① Menu 6 2 ▶データを選択
- ⓘを押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

② ⓜ

■ **フォルダ内のデータを全件削除する：Menu 6 3 ▶端末暗証番号を入力**

3 **「はい」を選択**

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデータ一覧ではMenuを押し、「削除」→「1件削除」「複数削除」「全件削除」を選択します。
- 画像表示画面、キャラ電表示画面ではMenuを押し、「削除」を選択します。
- メロディ再生画面ではMenuを押し、「削除」→「1件削除」「全件削除」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除したときは、音の設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している元の画像も削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電、デコメールピクチャ、フレームを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P426

データを並べ替える

ソート

一覧画面のデータの並び順を変更します。

お買い上げ時　対象：保存日時　順序：降順

例 マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 ⓞ 1 ▶ **フォルダを選択**

2 Menu 7

3 **各項目を選択して設定▶ ⓜ を押す**

対象： 並べ替えの方法を設定します。
順序： データの並び順を設定します。

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデータ一覧では Menu を押し、「ソート」を選択します。
- 表示名に全角・半角の文字が混在していると、並び順が50音順と一致しないことがあります。

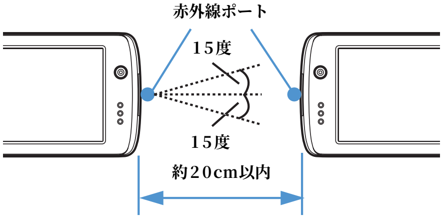
赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

- オールロック中、PIMロック中、セルフモード中は赤外線通信を行えません。
- 赤外線通信とUSB接続は同時に使用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータおよび「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
- 赤外線通信中は画面上部に ⇌ と ▮ が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。また、 ◪ を押して他の機能に切り替えることもできません。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。
- 相手端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 絵文字を使用したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても、相手端末によっては、絵文字２を使用したデータは正しく表示されない場合があります。

赤外線通信を行うには

通信距離は約20cm以内、角度は中心から15度以内です。データの送受信が終わるまで、FOMA端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。



- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常に行えないことがあります。

FOMA端末のデータを赤外線受信するときの留意事項

- メールを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にならないことがあります。
- メールを受信したとき、受信メール、送信メール、未送信メールのメール連動型ｉアプリ用のフォルダに通常のメールが保存されることがあります。
- ブックマークを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
- D902iS以外の端末からブックマークを受信したとき、先頭のフォルダに保存されることがあります。
- D902iS以外の端末から画像、動画／ｉモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録されることがあります。

D902iSのデータをFOMA端末に赤外線送信するときの留意事項

- データサイズの制限などの違いにより、画像、動画／ｉモーション、メロディを送信したとき、受信側で保存できない場合があります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線送信

送信するデータを選択して1件ずつ送信する方法と、機能ごとのデータを全件送信する方法があります。送信できるデータは次のとおりです。

種　類	留意事項
電話帳※1	• シークレット属性を設定した電話帳はシークレットモード中のみ1件送信できます。 • 全件送信するとプッシュトーク電話帳、自局番号データも送信されます。 • プッシュトーク電話帳は1件送信できません。 • ダイヤル発信制限中は送信できません。 • データ送受信設定の電話帳の画像送信で、全件送信時に電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信するかどうかを設定できます。 • 送信先によっては、電話帳に登録されている画像が受信されない場合があります。 • グループの並び順は送信先に反映されない場合があります。
スケジュール※1	• シークレット属性を設定したスケジュールはシークレットモード中のみ1件送信できます。 • 日付・時刻の設定が必要です。
受信メール※1 送信メール※1 未送信メール※1	• メール本文中の添付データ（iアプリが起動できるリンク項目）は削除されます。また、添付ファイルのうち動画／iモーション、10000バイトを超える静止画、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルは削除されます。
メモ※1	―――
ブックマーク（iモード／フルブラウザ）※1	• 送信先によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。 • 全件送信すると一覧の末尾から送信されます。
画像	• 表示名は全角9文字（半角18文字）まで送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。 • パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像は送信できません。 • 500Kバイトを超えるデータは送信できません。
動画／iモーション	• 表示名は全角9文字（半角18文字）まで送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
メロディ	• タイトルは全角25文字（半角50文字）まで送信できます。
PDFデータ	• 512Kバイト※2を超えるPDFデータ、部分的にデータをダウンロードしたPDFデータは送信できません。
トルカ	• トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。送信先で再度トルカ（詳細）を取得可能です。 • 321バイトを超えるトルカは送信できません（トルカによっては異なる場合があります）。 • トルカによっては送信できない場合があります。
自局番号	• 送信先によっては画像が受信されない場合があります。

※1：全件送信できます。
※2：詳細情報で表示されるファイルサイズが512Kバイトを超えていても、iモードしおりやマークのデータを除いたファイルサイズが512Kバイト以内であれば送信できます。

• D902iS以外の端末や赤外線通信機器との通信では、データを正しく送受信できない場合があります。送信先で登録できない項目は破棄されます。

データを1件送信する

例　電話帳を1件送信するとき

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 電話帳を検索▶電話帳データを選ぶ▶
Menu 8 1

3 「はい」を選択
• 赤外線送信を中断する：●

おしらせ

● ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、メモ一覧では Menu を押し、「赤外線送信」→「送信」を選択します。
● 画像一覧、動画／iモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、トルカ一覧ではMenuを押し、「赤外線送信」を選択します。
● スケジュールのデイリービュー画面ではMenuを押し、「赤外線／miniSD」→「赤外線送信」を選択します。
● 自局番号の詳細画面ではMenuを押し、「自局番号送信」を選択します。

データを全件送信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマークのすべてのデータを赤外線送信します。

・全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 Menu 6 2 1

3 データの種類を選択 ▶ 端末暗証番号を入力

4 4桁の認証パスワードを入力

入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

5 「はい」を選択

・赤外線送信を中断する：

おしらせ

● 電話帳一覧、ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、メモ一覧ではMenuを押し、「赤外線送信」→「全件送信」を選択します。

● ブックマーク、受信メール、送信メール、未送信メールのフォルダ一覧ではMenuを押し、「赤外線全件送信」を選択します。

● スケジュールのカレンダー画面、デイリービュー画面ではMenuを押し、「赤外線／miniSD」→「赤外線全件送信」を選択します。

● 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

● Menu 6 2 1を押して「Bookmark」を選択すると、iモードとフルブラウザの両方のブックマークが全件送信されます。iモードまたはフルブラウザのブックマーク一覧から操作すると、iモードのブックマークのみ、またはフルブラウザのブックマークのみが全件送信されます。

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線受信

データを1件ずつ受信する方法と、機能ごとのデータを全件受信する方法があります。受信したデータは、直接FOMA端末に保存するか、赤外線受信のINBOXに一時的に保存して、受信したデータを確認してからFOMA端末に保存します。受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	受信後の保存場所
電話帳※1	電話帳
スケジュール※1	スケジュール帳
受信メール※1	受信メール
送信メール※1	送信メール
未送信メール※1	未送信メール
メモ※1	メモ帳
ブックマーク（iモード／フルブラウザ）※1	iモードのBookmark／フルブラウザのBookmark
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ
動画／iモーション	iモーションの「データ交換」フォルダ
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ
PDFデータ	マイドキュメントの「データ交換」フォルダ
トルカ	トルカ一覧の「トルカフォルダ」
自局番号	電話帳

※1：全件受信できます。

・受信データの保存順は以下のとおりです。
  ・電話帳、自局番号は、最も小さい空きメモリ番号に登録されます。
  ・スケジュール、メールは日時順に保存されます。
  ・メモは受信順に保存されます。
  ・ブックマーク、画像、動画／iモーション、メロディ、PDFデータ、トルカは一覧の先頭に追加されます。
・電話帳データを全件受信した場合、自局電話番号以外の自局番号データが上書きされます。
・電話帳データを全件受信した場合、受信データにプッシュトーク電話帳のデータが含まれていると、プッシュトーク電話帳に保存されます。
・ダイヤル発信制限中は電話帳データを受信できません。
・スケジュールの受信には日付・時刻の設定が必要です。
・受信したデータの中に不正な文字などが含まれる場合、空白に置き換えられたり、切り詰められます。

データを1件受信する

・512Kバイトを超えるデータは受信できません。

1 Menu 6 2 2 1

受信方式選択画面が表示されます。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

2 1～2

保存確認あり：
受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。INBOXに空きがないときは選択できません。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。

保存確認なし：
受信したデータはFOMA端末に保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、受信方式選択画面に戻ります。

3 「はい」を選択

受信待機状態になります。

4 送信側でデータを1件送信する

操作2で「保存確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX画面が表示されます。データの保存方法については「受信したデータを保存する」操作2以降をご覧ください。
「保存確認なし」を選択した場合は、受信終了後、受信方式選択画面に戻ります。
- 赤外線受信を中断する：

データを全件受信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマークのすべてのデータを赤外線受信できます。
- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 Menu 6 2 2 2

全件受信方式選択画面が表示されます。

2 1～2

上書き確認あり：
受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。INBOXに空きがないときは選択できません。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。INBOXからの保存時に追加保存と上書き保存を選択できます。

上書き確認なし：
受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、全件受信方式選択画面に戻ります。
- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。
- 「上書き確認あり」を選択したときは、操作4に進みます。

3 「はい」を選択▶端末暗証番号を入力

4 4桁の認証パスワードを入力

- 入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

5 「はい」を選択

受信待機状態になります。

6 送信側でデータを全件送信する

操作2で「上書き確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX画面が表示されます。データの保存方法については「受信したデータを保存する」操作2以降をご覧ください。
「上書き確認なし」を選択した場合は、受信終了後、全件受信方式選択画面に戻ります。
- 赤外線受信を中断する：

おしらせ

● 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。
● データ保存時の注意事項については「受信したデータを保存する」のおしらせをご覧ください。

受信したデータを保存する

INBOX に一時的に保存されているデータを FOMA端末に保存します。
- 1件受信時に「保存確認あり」、全件受信時に「上書き確認あり」を選択した場合、受信終了後、自動的にINBOX画面が表示されます。
- FOMA端末に保存したデータはINBOXから削除されます。

1 Menu 6 2 2 3

2 データを選択

／：電話帳1件データ／複数件データ
／／：
iモードのブックマーク1件データ／フルブラウザのブックマーク1件データ／複数件データ
／：メール1件データ／複数件データ
／：スケジュール1件データ／複数件データ
／：メモ1件データ／複数件データ
：画像
：動画／iモーション
：メロディ
：PDFデータ
：トルカ

■ 1件削除する：データを選ぶ▶Menu 2▶「はい」を選択

■ 全件削除する：Menu 3▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

3 「はい」を選択

■ 複数件データを選択したとき：
①端末暗証番号を入力
②追加保存する場合は「追加」、上書き保存する場合は「上書き」を選択
- 「上書き」を選択するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

おしらせ

● 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存／登録件数より少なくなることがあります。
● D902iSではToDoデータ（用件を管理するリスト機能のデータ）は保存できません。D902iS以外の機種などからToDoデータとスケジュールデータをまとめて全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。ToDoデータのみを全件受信した場合、上書き保存するとD902iSに登録されていたスケジュールがすべて削除されますのでご注意ください。
● 全件受信したデータを上書き保存すると、FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
● 電話帳の複数件データを追加保存する場合、プッシュトーク電話帳のメンバーはグループに未登録の状態で保存されます。グループ名は登録されません。
● ブックマークの複数件データを上書き保存すると、iモードのブックマークとフルブラウザのブックマークの両方が上書きされます。iモード、フルブラウザの一方のデータしかない場合でも両方が上書きされ、FOMA端末の元のデータは削除されますのでご注意ください。
● メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型iアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型iアプリ用のフォルダを選びMenu 1を押してください。

赤外線通信モードにする

赤外線通信モード

iアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からiアプリ起動データを受信して、iアプリを起動します。
- 指定のソフトをあらかじめサイトなどからダウンロードしておく必要があります。
- iアプリが外部機器からのiアプリToで起動しないように設定されている場合は起動できません。

1 Menu 6 2 2 1 2▶「はい」を選択

受信待機状態になります。

2 赤外線通信機器からiアプリ起動データを受信する

iアプリが起動します。
- 受信を中断する：(終話キー)

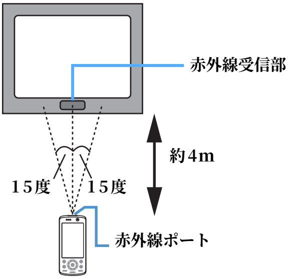
赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のiアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。
- 各機器に対応したiアプリをダウンロードしてください。
- お買い上げ時に登録されているiアプリ「Gガイド番組表リモコン」を起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。☛P281
- セルフモード中および赤外線通信中は本機能を利用できません。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受けることがあります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

リモコン操作について

FOMA 端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください（操作方法はｉアプリによって異なります）。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。



データ送受信時の動作を設定する

データ送受信設定

赤外線通信や USB 接続によるデータ送受信時の動作を設定します。

お買い上げ時　通信終了音：OFF　自動認証：なし
電話帳の画像送信：あり

1 Menu 6 2 3

2 各項目を選択して設定

通信終了音：
通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。

自動認証：
USB 接続による通信時に、認証コードを通信相手と自動でやりとりするかどうかを設定します。

- 「あり」に設定するときは、端末暗証番号を入力し、4 ～ 8 桁の携帯側認証コード（FOMA 端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、(□)を押します。

電話帳の画像送信：
電話帳の全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

3 (□)を押す

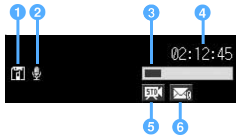
サウンドレコーダーで音声を録音する

サウンドレコーダー

サウンドレコーダーを使用して音声の録音ができます。録音した音声はFOMA端末で再生するだけでなく、miniSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 録音した音声は、映像のない動画／ｉモーションとして保存されます。
- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

録音画面の見かた



1 保存先
保存先を示します。☛P190
: FOMA端末
: miniSDメモリーカード

2 種別
音声を録音することを示します。

3 インジケータ
＜録音待機中の場合＞
保存先の保存領域の使用率を示します。
- miniSD メモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても0にならないことがあります。

＜録音中／一時停止中の場合＞
サイズ制限で設定しているファイルサイズ（「制限なし」の場合は保存可能サイズ）に対する録音したサイズの割合を示します。

4 カウンタ
＜録音待機中の場合＞
現在の設定でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存できる音声の最大時間（目安）を示します。
＜録音中／一時停止中の場合＞
経過時間／残り時間（録音停止するまでの時間）（目安）を示します。

5 品質
音声の品質を示します。☛P355

6 サイズ制限
ファイルサイズの制限値を示します。☛P355

ファイル名・ファイル形式について

音声ファイルのファイル名や表示名、タイトルには、録音した日時が自動的に付けられます。
（例）2006年7月10日12時34分56秒の場合
→20060710123456
ファイル形式は以下のとおりです。

項　目	内　容
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	AMR
拡張子	3gp

おしらせ

● 録音後、ファイル名や表示名を変更できます。☛P346
● FOMA端末の日付・時刻が設定されていない場合、ファイル名・表示名・タイトルは「--------------」になります。

音声の録音時間について

音声の録音時間は、品質、サイズ制限の設定によって変わります。
・品質、サイズ制限は動画／録音詳細設定で設定できます。☛P188

■ 音声の録音時間（D902iS本体）

D902iSに保存するときに、1回に録音できる時間（目安）と、保存できる合計録音時間（目安）を以下に示します。

項　目	品　質	ファイルサイズ制限	
		メール添付用（小）	メール添付用（大）
1回あたりの録音時間	STD	約4分	約7分
	HQ	約3分	約5分
保存できる合計録音時間	STD	約161分	約161分
	HQ	約106分	約106分

■ 音声の録音時間（miniSDメモリーカード）

miniSDメモリーカードに保存できる合計録音時間（目安）を、容量が16Mバイト／32Mバイトの場合について以下に示します。

容　量	品　質	ファイルサイズ制限		
		メール添付用（小）	メール添付用（大）	制限なし
16MB	STD	約224分	約224分	約225分
	HQ	約148分	約147分	約148分
32MB	STD	約479分	約480分	約481分
	HQ	約315分	約315分	約316分

・「メール添付用（小）」「メール添付用（大）」の1回の録音時間はD902iSに保存するときと同じです。
・「制限なし」の場合、1回で合計録音時間まで録音できます。

音声を録音する

・周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
・着信音量を「silent」（消音）に設定している場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中などでも、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。また、録音確認音（シャッター音）の音量は変更できません。
・サウンドレコーダー起動時は決定キーの照明が青で点灯します。録音中はコンパクトライトが赤、決定キーの照明が色を変えながら点滅します。一時停止中はコンパクトライトが赤、決定キーの照明が緑で点灯します。点灯／点滅しない設定や点灯パターン／点灯色の変更はできません。

1 Menu 6 8



録音画面

サウンドレコーダーが起動します。

2 ● または 📷



録音確認音（シャッター音）が鳴り、録音が開始されます。画面下部に●が表示されます。

・音声は送話口から録音されます。
・録音を一時停止するときは●を押します。●が❚❚に切り替わります。●または📷を押すと、録音を再開します。

3 📖 または 📷

録音確認音（シャッター音）が鳴り、音声の録音が終了します。録音した音声の確認画面が表示されます。
・動画／録音詳細設定の自動保存を「する」に設定しているときは、録音した音声が保存され、録音画面に戻ります。操作4以降の操作は不要です。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

- 録音中にファイルサイズが制限値を超えると、録音が自動的に終了し、その時点までに録音した音声が保存の対象になります。
- 一時停止中に ⓜ を押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存の対象になります。

4 録音した音声を確認

- 音声をすぐに保存する：操作5に進む
- 保存しないで録音し直す：ch/クリア
- 音声を再生する：ⓜ
  動画／録音詳細設定の自動再生を「する」に設定している場合は、自動的に再生されます。

■ **メールに添付して送信する：✉**
録音した音声を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録音した音声がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定していても、FOMA端末に保存されます。
- 録音した音声のファイルサイズが 500K バイトを超える場合は、添付できません。

■ **タイトルを変更する：Menu 3 1 ▶ タイトルを入力（全角・半角を問わず31文字まで）▶ ⓜ**
- 変更したタイトルは音声保存後に有効になります。

■ **テロップを挿入する：Menu 3 2 ▶「はい」を選択**
録音した音声がFOMA端末に保存され、テロップ設定画面が表示されます。以降の操作は「テロップを挿入する」の操作 3 以降と同じです。
☛P325
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、テロップを挿入できません。

■ **保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替える：Menu 5**
- 録音した音声のファイルサイズが 500K バイトを超える場合は切り替えられません。
- 音声保存後は、保存先の設定は切り替え前の設定に戻ります。

■ **保存されている音声を一覧表示する：Menu 6 ▶ 1 〜 2**
- miniSD メモリーカードの音声を一覧表示するときはフォルダを選択します。

5 ● または 📷 を押す

録音した音声が i モーションの「カメラ」フォルダに保存されます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「その他の動画」フォルダに保存されます。
- 保存した音声をすぐに確認するときは ⓜ を押し、音声を選択します。
  - 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、ⓜ を押してフォルダを選択し、音声を選択します。

おしらせ

- 静止画撮影画面や動画撮影画面で Menu を押し、「機能切替」→「サウンドレコーダー」を選択してもサウンドレコーダーに切り替わります。
- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項については☛P188「ビデオカメラで動画を撮影する」のおしらせ
- 録音した音声の再生方法については☛P321「動画／i モーションを再生する」

音声の品質を設定する

1 録音画面で ◎ で品質のマーク（STD、HQ）を選ぶ

- 8 を押しても選べます。

2 ◎ でマークを切り替え ▶ ● を押す

STD 標準　：標準的な品質です。
HQ 高品質：音質がよくなりますが、録音できる時間は短くなります。
- 8 を押して値を切り替え、● を押しても設定できます。

ファイルサイズを制限する

1 録音画面で ◎ でサイズ制限のマーク（✉、✉、∞）を選ぶ

- 9 を押しても選べます。

2 ◎ でマークを切り替え ▶ ● を押す

✉ **メール添付用（小）※1：**
ファイルサイズを 290K バイト以下に制限します。i モードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

✉ **メール添付用（大）※1：**
ファイルサイズを 490K バイト以下に制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

制限なし：

ファイルサイズを制限しません。動画／録音詳細設定で保存先を「本体」に設定している場合は選択できません。

- 9 を押して値を切り替え、 を押しても設定できます。

※1：マークを選んだとき、画面には「メール添付（小）」「メール添付（大）」と表示されます。

Menu 55

PDFデータを表示する

マイドキュメント

FOMA端末のデータBOXのマイドキュメントに保存されているPDFデータを表示します。サイトやインターネットホームページからダウンロードしたPDFデータも表示できます。PDFデータ表示中は、拡大／縮小、文字列の検索、リンク表示、画面の切り出しなどさまざまな操作ができます。

- PDFデータをダウンロードするには☛P213
- お買い上げ時は「辞典機能」と「珍さんの釣り物語」が「プリインストール」フォルダに保存されています。

1 5▶フォルダを選択

各フォルダには次のようなPDFデータが保存されています。

iモード：

サイトからダウンロードしたPDFデータ

プリインストール：

お買い上げ時に内蔵されているPDFデータ

データ交換：

miniSDメモリーカードから移動／コピーしたPDFデータ、データ通信で受信したPDFデータ

フォルダ：

他のフォルダから移動したPDFデータ

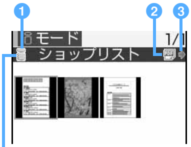
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P344
- フォルダ名は作成時に任意に付けられます。

- miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：

miniSDメモリーカードの操作方法☛P339

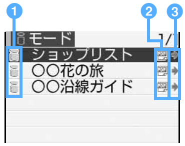
2 PDFデータを選ぶ

サムネイル表示のとき



カーソル位置のデータの表示名とマーク

タイトル表示のとき



PDFデータ一覧

①取得元

：内蔵　　：iモード

：データ交換

②ファイル種別

：すべてのデータをダウンロードしたPDFデータ

：部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ

- 未取得部分を追加でダウンロードできます。

：通信が途中で切断された場合など、ダウンロードに失敗したPDFデータ

（グレー）：

FOMAカード動作制限機能が設定されているPDFデータ

③ファイル制限

（青）　：ファイル制限なし

（グレー）：ファイル制限あり

- を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
- PDFデータのサムネイル画像が表示できない場合、サムネイル表示では次のアイコンが表示されます。

：サムネイル画像がないPDFデータ、一度も表示していないPDFデータ

：部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ

：ダウンロードに失敗したPDFデータ

（グレー）：

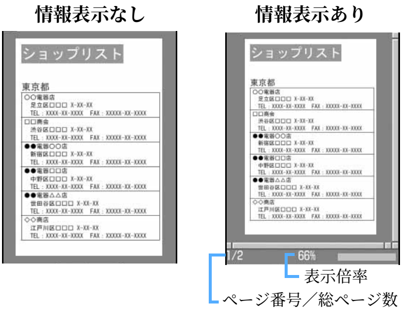
FOMAカード動作制限機能が設定されているPDFデータ

- 表示名を変更できます。☛P346

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

3 [決定]を押す

PDFデータが表示されます。



PDF表示画面

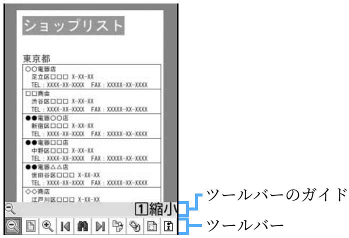
- [✱]を押すたびに情報表示のありとなしが切り替わります。
- PDFデータ表示中に以下の操作ができます。
  - [方向キー]：スクロール（1秒以上押すと高速スクロール）
  - [メール]：前ページ
  - [メール]：次ページ
  - [iモード]：ヘルプ☛P358
  - [1]：縮小
  - [2]：全体表示☛P358
  - [3]：拡大
  - [4]：最初のページ
  - [5]：検索☛P358
  - [6]：最後のページ
  - [7]：右90 °回転
  - [8]：リンク表示☛P358
  - [9]：画面切り出し☛P360
  - [0]：ドキュメント情報☛P358
  - [#]：ツールバー表示／消去
- スピードセレクターを右に回転すると拡大、左に回転すると縮小できます。
- PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。
- PDFデータにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して[iモード]を押します。
- ダウンロードに失敗したPDFデータ（ファイル種別が[アイコン]）を選択すると、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ（ファイル種別が[アイコン]）の残りのデータをダウンロードするには、PDFデータ表示中に[Menu][8]を押します。また、未取得のページを表示しようとするなど、データのダウンロードが必要な操作を行うと確認画面が表示され、「はい」を選択するとダウンロードできます（一度「はい」を選択すると、以降のページは確認画面なしでダウンロードされます）。
- PDFデータによっては、残りのデータをダウンロードできない場合があります。

■ **表示を終了する：[ch/クリア]▶「はい」を選択**

- PDFデータを変更したときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存するときは「はい」を選択して[決定]を押します。元のPDFデータに上書きされます。
  - PDFデータを変更したときは、PDF表示画面で[Menu][2]を押しても保存できます。

PDFデータ表示中の各種操作

■ **ツールバーを使う**



① [決定]

ツールバーとガイドが表示されます。

② [方向キー]でマークを選ぶ▶[決定]

- [縮小アイコン]：縮小
- [拡大アイコン]：拡大
- [検索アイコン]：検索☛P358
- [回転アイコン]：右90 °回転
- [リンクアイコン]：リンク表示☛P358
- [切り出しアイコン]：画面切り出し☛P360
- [情報アイコン]：ドキュメント情報☛P358
- [全体表示アイコン]：全体表示☛P358
- [最初アイコン]：最初のページ
- [最後アイコン]：最後のページ

- マークには左から順に[1]～[9]、[0]のキーが割り当てられています。各キーを押してもマークを選択できます。
- ツールバーのガイドが表示されているときに[ch/クリア]を押すとガイドが消え、PDFデータのスクロールなどの操作ができます。再度ツールバーを選択するには[決定]を押します。
- ツールバーを消す：[#]
  ガイドが表示されているときは、[ch/クリア]でガイドを消してから[#]を押します。

■ **表示モードを切り替える**

「全体表示」「実際の大きさ」「幅に合わせる」から選択できます。

①[Menu][6][2]

②[1]～[3]

■ **表示情報の設定を変更する**

情報表示ありのときに、表示情報を設定します。

①[Menu][6][7]

②**各項目を選択して設定▶[m]**

ステータス表示：

ページ番号／総ページ数と表示倍率を表示するかどうかを設定します。

スクロールバー：

スクロールバーを表示するかどうかを設定します。

・「なし」に設定してもスクロール操作はできます。

■ **起動時の表示モード、表示情報の設定を変更する**

①[Menu][7]

②**各項目を選択して設定▶[m]**

表示モード：

「全体表示」「実際の大きさ」「幅に合わせる」から選択します。

情報表示：

「あり」「なし」から選択します。

ステータス表示、スクロールバー：

設定項目は「表示情報の設定を変更する」と同じです。

・情報表示「あり」のときのみ選択できます。

■ **表示を拡大／縮小する**

①[Menu][6][3]▶**倍率を入力(2～1000%)**

■ **ページレイアウトを切り替える**

①[Menu][6][5]▶[1]～[2]

・単一ページ（1ページずつ表示）、見開きページ（2ページずつ表示）から選択できます。

・1ページのみのPDFデータや、部分的にデータをダウンロードした PDF データでは設定できません。

■ **ページを切り替える**

表示ページ	操作
前ページ	[⊡]または[Menu][1][4]
次ページ	[✉]または[Menu][1][5]
指定ページ	[Menu][1][3]▶ページ番号を入力
最初のページ	[4]または[Menu][1][1]
最後のページ	[6]または[Menu][1][2]

■ **表示を回転する**

①[Menu][6][4]▶[1]～[3]

・右90 回転、左90 回転、180 回転が行えます。

・ページの向きに関わらず、スクロールして前ページを表示するには[▲]、次ページを表示するには[▼]を押します。

■ **文字列を検索する**

・部分的にデータをダウンロードしたPDFデータの場合は、表示中のページのみ検索されます。

①[Menu][5]

②**文字列の入力欄を選択▶文字列を入力（全角8文字（半角16文字）まで）**

・部分的に一致する語句も検索するときは「完全に一致する語だけを検索」の「しない」を選択します。たとえば、「cat」を入力したとき、「しない」では「cats」も検索されますが、「する」では検索されません。

・英字の大文字と小文字を区別しないときは「大文字と小文字を区別」の「しない」を選択します。

③[m]

検索が実行され、入力した文字列に一致した語が強調表示されます。

・一致した次の語句を強調表示する：[✉]

・一致した前の語句を強調表示する：[⊡]

・検索を終了する：[Menu]

・ヘルプを表示する：[m]

■ **リンクを利用する**

PDFデータのリンク項目を利用してページ移動したいときは、リンク表示をONに切り替えます。リンク表示をONにすると、文中の電話番号やメールアドレス、URLのリンクを利用して音声電話／テレビ電話をかけたり、i モードメールを作成したり、サイトに接続することもできます。

・リンク表示をONにするとスクロール操作やページ移動はできません。利用したいリンク項目がある箇所を表示してから操作してください。

①[Menu][6][6]

②**リンク項目を選択**

・電話番号、メールアドレス、URLを選択したときの操作はサイトからの Phone To（AV Phone To)、Mail To、Web Toと同じです。

・リンク表示を終了するには[Menu]を押します。

■ **ドキュメント情報を表示する**

タイトル、著作者名、ファイルサイズなどを表示できます。

①[Menu][9]

■ **ヘルプを表示する**

キー操作を確認できます。

①**PDF表示画面または検索結果画面で[m]**

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

おしらせ

● パソコンなどでminiSDメモリーカードにPDFデータを保存し、FOMA端末で表示することもできます。
- miniSDメモリーカード内のPDFデータの保存場所やファイル名については☛P334
- miniSDメモリーカード内のPDFデータを表示するには☛P339

しおりやマークを使う

しおりやマークを選択して、ページをすばやく表示できます。しおり、マークには次の3種類があります。

種　類	説　明
しおり	あらかじめ登録されているしおりです。追加や変更、削除はできません。登録されていないPDFデータもあります。
iモードしおり	あとから追加できるしおりです。しおりの情報としてページの説明などを登録できるので、目次やメモなどとして使用できます。
マーク	iモードしおりと同様にPDFデータにあとから追加できます。情報は登録できません。一覧画面にはページ番号が表示されます。

- iモードしおりには位置と現在の表示状態(倍率、回転方向)も登録されます。マークには位置のみ登録されます。
- PDFデータによっては、iモードしおりやマークがあらかじめ登録されている場合があります。
- iモードしおり、マークはそれぞれ最大10件登録できます(あらかじめ登録されていたiモードしおり、マークの件数も含む)。ただし、PDFデータによっては最大件数まで登録できない場合があります。

しおりを使う

1 PDFデータ表示画面で Menu 4 1 ▶しおりを選択

iモードしおりを使う

iモードしおりを登録する

1 iモードしおりを登録するページを表示▶ Menu 4 2 2

2 iモードしおりの情報を入力(全角64文字(半角128文字)まで)▶ 📖 を押す

iモードしおりを表示する

1 PDFデータ表示画面で Menu 4 2 1 ▶iモードしおりを選択

該当ページの、iモードしおりが登録されている位置が、登録時の表示状態(倍率、回転方向)で表示されます。

■ 編集する：
①iモードしおりを選ぶ▶ Menu 1
②iモードしおりの情報を入力▶ 📖

■ 1件削除する：
①iモードしおりを選ぶ▶ Menu 2 1
②「はい」を選択

■ 複数削除する：
① Menu 2 2 ▶iモードしおりを選択
② 📖 ▶「はい」を選択

■ 全件削除する：
① Menu 2 3
②端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

おしらせ

● iモードしおりの複数削除は、PDFデータ表示画面で Menu を押し、「しおり・マーク」→「iモードしおり・マーク」→「iモードしおりの削除」を選択しても行えます。

● miniSDメモリーカードなどを利用してパソコンなどにPDFデータを移動した場合、iモードしおりが消去される場合があります。

マークを使う

マークを登録する

1 マークを登録するページを表示▶ Menu 4 2 5 を押す

マークが登録され、現在の表示範囲の中央にマークが表示されます。

マークを表示する

1 PDFデータ表示画面で Menu 4 2 4 ▶マークを選択

該当ページの、マークが登録されている位置が表示されます。

■ 1件削除する：
①マークを選ぶ▶ Menu 1
②「はい」を選択

■ 複数削除する：
① Menu 2 ▶マークを選択
② 📖 ▶「はい」を選択

■ 全件削除する：
① Menu 3
② 端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

おしらせ

● マークの複数削除は、PDFデータ表示画面で Menu を押し、「しおり・マーク」→「iモードしおり・マーク」→「マークの削除」を選択しても行えます。
● miniSDメモリーカードなどを利用してパソコンなどにPDFデータを移動した場合、マークが消去される場合があります。

ページのイメージを保存する

画面切り出し

現在画面に表示している内容をJPEG形式の画像として保存します。

・PDFデータによっては画面切り出しができない場合があります。
・保存した画像のFOMA端末外への出力の可／不可は、切り出し元のPDFデータの設定に従います。
・切り出される画像サイズは、PDFデータが表示されている画面領域の大きさによって異なります。

1 PDFデータ表示画面で Menu 3 を押す

画面表示内容がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

PDF対応ビューアの動作条件を設定する

動作設定（マイドキュメント）

PDFデータ一覧の表示形式を選択します。「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

お買い上げ時 あり

1 ◎ 5 ▶ Menu 4 ▶ 1 ～ 2 のいずれかを押す

おしらせ

● PDFデータ一覧では、Menu を押して「動作設定」を選択します。

音楽の再生方法について

FOMA端末で音楽を再生する方法には、ミュージックプレイヤーで再生する方法と、データBOXまたはminiSDメモリーカードからiモーションとして再生する方法があります。

・ミュージックプレイヤーで再生
CDの音楽やMP3などの音楽データを、パソコンからminiSDメモリーカードに転送し、FOMA端末で再生できます。

・iモーションとして再生
iモードで取得してFOMA端末に保存した音のみのiモーションを、FOMA端末のデータBOXの「iモーション」から再生します。miniSDメモリーカードに保存すれば、miniSDメモリーカードからも再生できます。

ここでは、ミュージックプレイヤーで再生する方法を説明します。

・データBOXからiモーションを再生する方法については☛P321
・miniSDメモリーカードからiモーションを再生する方法については☛P339

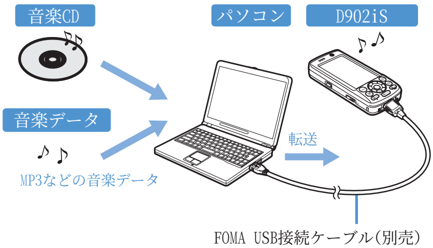
ミュージックプレイヤーを利用する

ミュージックプレイヤー

CDの音楽やMP3などの音楽データを、パソコンからminiSDメモリーカードに転送して、FOMA端末のミュージックプレイヤーで再生できます。ここでは、添付のCD-ROMに収録されているオーディオソフトBeatJam 2006 for D902iS（以下、BeatJam）を使用して音楽データをminiSDメモリーカードに転送し、再生する方法について説明します。

・ミュージックプレイヤーでの音楽再生には以下が必要です。
　・miniSDメモリーカード
　miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
　miniSDメモリーカードの対応状況や取り扱い、使用時の注意事項については☛P332
　初期化されていないminiSDメモリーカードは、FOMA端末で初期化してから使用してください。☛P342
　・FOMA USB接続ケーブル（別売）
　パソコンとFOMA端末を接続します。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332



miniSDメモリーカードに音楽データを転送する

BeatJamで音楽データをパソコンから転送します。

■ **BeatJamの動作環境**

項　目	必要環境
OS	Windows 2000、 XP（各日本語版）※1
CPU／メモリ	CPU Intel Pentium Ⅲ 450MHz以上／メモリ128MB以上
ハードディスク必要容量	180MB以上
画面	解像度1024×768以上、 High Color以上
サウンド	サウンドカード必須

※1：システム管理者（Administrator またはコンピュータの管理者）でのみ使用可能です。パソコンの管理者権限の設定操作については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。

■ **転送できる音楽データ形式**

転送できる形式		転送後の形式
AAC／MP3	→	AAC

・BeatJamでは他の音楽データ形式も録音･再生できますが、D902iSに転送して再生できるのは上記の形式だけです。

■ **保存できる音楽データの時間（目安）**

miniSDメモリーカードに保存できる音楽データの合計時間（目安）を、容量が16Mバイト／32Mバイトの場合について以下に示します。

容　量	ビットレート（kbps）		
	32	128	320
16MB	約55分	約15分	約5分
32MB	約115分	約30分	約10分

■ **BeatJamの取扱説明書について**

BeatJam のセットアップ時のご注意や操作方法については、添付の CD-ROM に収録されている BeatJam の取扱説明書（PDF 形式のマニュアル）をご覧ください。ご覧になるには、Adobe Acrobat Reader（バージョン 5.0 以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

取扱説明書は以下の方法で確認できます。

①添付のCD-ROMをパソコンにセット

②「BeatJam 2006 for D902iS」をクリック

③「BeatJamの使い方」をクリック

・BeatJam をインストールしたあとは、「スタート」メニューの「プログラム」または「すべてのプログラム」→「BeatJam」→「BeatJam のマニュアル」を選択します。

■ **BeatJamに関するお問い合わせ先**

ジャストシステムサポートホームページ

http://support.justsystem.co.jp/

サポートサービスの詳細につきましては、上記URLにてご確認ください。

また、上記URLでは、製品に関するお問い合わせで、特に多いご質問の Q&A 情報をご提供しています。

株式会社ジャストシステム　ジャストシステムサポートセンター

電話番号：東京：03-5412-3980

大阪：06-6886-7160

受付時間※1：平日：10:00-19:00

土日祝：10:00-17:00

※1：特別休業日（年末年始など）を除く

・お問い合わせの前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録に関しては『BeatJamサポートガイド』をご覧ください。

BeatJamをインストールする

1 添付のCD-ROMをパソコンにセット

・添付のCD-ROMをパソコンにセットすると、自動的に「ソフトウェアのセットアップ」画面が表示されます。セットアップ画面が表示されないときは、CD-ROM のルートフォルダ内の「Readme」ファイル（テキスト形式）をご覧ください。

2 「BeatJam 2006 for D902iS」をクリック

3 「BeatJamのセットアップ」をクリック▶画面の指示に従ってインストール

・BeatJamのインストール終了後には、パソコンを再起動させる必要があります。

音楽データを準備する

以下のいずれかの方法で音楽データを準備します。BeatJamの操作方法については、BeatJamの取扱説明書をご覧ください。

・音楽CDをパソコンにセットする
・MP3などの音楽データをBeatJamのライブラリに登録する

miniSDメモリーカードに音楽データを転送する

FOMA端末をminiSDモードに設定してパソコンと接続し、BeatJamで音楽データを転送します。

・miniSDモードに設定すると、通話やｉモード通信などができなくなります。
・音楽データを転送するときは、電池残量にご注意ください。転送中に電池残量がなくなった場合は、miniSDメモリーカードが壊れたり、データを正しく転送できない恐れがあります。大容量の音楽データを転送する場合は、途中で電池残量がなくなる可能性がありますので、何回かに分けて転送してください。

1 FOMA端末にminiSDメモリーカードを取り付け☛P335

2 FOMA端末でUSBモード設定を「miniSD モード」に切り替え、パソコンとFOMA端末を接続☛P343

3 BeatJamでminiSDメモリーカードに音楽データを転送

・操作方法については、BeatJamの取扱説明書をご覧ください。

4 パソコン操作でハードウェアの取り外しを行い、FOMA USB接続ケーブルを外す

・パソコン操作でハードウェアの取り外しを行ってからFOMA USB接続ケーブルを外さないと、パソコンを破損させる恐れがあります。
・パソコンのOSや設定により、ハードウェア（接続されたFOMA端末）の取り外し操作は異なります。
・FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引っぱろうとすると故障の原因となります。
・FOMA端末のUSBモード設定は、約90秒後に自動的に「通信モード」に切り替わります。手動で切り替えるときは、[メール]以外のキーを押し、「はい」を選択します。

おしらせ

● 音楽データ転送中にFOMA USB接続ケーブルを取り外したり、FOMA端末のUSBモード設定を「miniSDモード」から「通信モード」に切り替えたりしないでください。データが破損したり、FOMA端末やパソコンが故障したりする場合があります。

ミュージックプレイヤーで音楽を再生する

miniSDメモリーカードに転送した音楽データを再生します。

・再生できるのは拡張子「mp4」「3gp」「m4a」のファイルです。
・お買い上げ時は、ミュージックプレイヤーを起動すると、トップフォルダ（miniSDメモリーカードの「PRIVATE」→「DOCOMO」→「MMFILE」→「D_MUSIC」フォルダ）下のフォルダ／ファイルが一覧表示されます。トップフォルダにデータがないときは起動できません。

1 [Menu][9]

ミュージックプレイヤーが起動し、音楽データとフォルダが一覧表示されます。

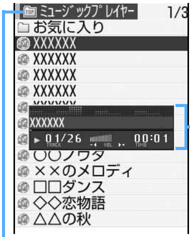
■ **フォルダを移動する：フォルダを選択**
・1階層上のフォルダに移動する：[ch/クリア]
・トップフォルダに移動する：[Menu][5][1]
・ホームフォルダ（起動時に表示するフォルダ）に移動する：[Menu][5][2]

■ **ホームフォルダ（起動時に表示するフォルダ）を変更する：**
・トップフォルダとその下のフォルダ（直下でなくても可）のみ設定できます。
① **フォルダを選択してフォルダ内の一覧を表示**
② **[Menu][6]▶「はい」を選択**

■ **ミュージックプレイヤーを終了する：トップフォルダで[ch/クリア]**

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

2 音楽データを選択



音楽データが再生されます。

再生中の音楽データ、番号／曲数、音量、再生時間
- ▶：通常再生
- ：マーク優先モードON
- intro：イントロ再生

- TOP：トップフォルダ
- ：ホームフォルダ
- ：通常フォルダ

- 選択した音楽データの再生が終了すると、フォルダ内の次の音楽データが再生されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  - ⊙：停止（再度⊙を押すと停止した位置から再生）
  - ：音量調整
  - ：前後の音楽データ再生
  - ch/クリア：再生を停止し1階層上のフォルダに移動／トップフォルダで押すとミュージックプレイヤー終了
- 一覧表示できる音楽データは最大99件です。

■ **選択した音楽データだけを再生する：**
あらかじめマークを付けた音楽データだけを再生できます。

① **音楽データを選ぶ▶**
音楽データにが表示されます。
- 押すたびにマークのあり／なしが切り替わります。
- 全選択／全解除する：（1秒以上）
- フォルダを移動するとマークは解除されます。
- 再生中も操作できます。

② **マークを付け終わったら**
- 押すたびマーク優先モードのON／OFFが切り替わります。マークを付けた音楽データだけを再生するにはON、フォルダ内の全音楽データを再生するにはOFFにします。ガイド行に OFF が表示されているときがONです。

③ ⊙
マーク付きの音楽データが再生されます。

■ **イントロ再生する：** Menu 1
フォルダ内の音楽データが、先頭から約7秒間ずつ、順番に再生されます。
- イントロ再生中に⊙を押すと通常の再生に切り替わります。

■ **シャッフル再生する：再生中または停止中に**

フォルダ内の音楽データの並び順がランダムに入れ替わります。
- 元の並び順に戻す：Menu 4 1

■ **平型ステレオイヤホンセット（別売）などを使って再生する：**
平型ステレオイヤホンセットなどを接続して音楽データを再生するときは、平型ステレオイヤホンセットなどのスイッチを使ってミュージックプレイヤーの操作ができます。
- スイッチで操作するには、イヤホンスイッチ設定を「ミュージックプレイヤー操作」に設定する必要があります。☛P389

操　作	押しかた
ミュージックプレイヤー起動	1秒以上
再生／停止／フォルダ選択	1回
次の音楽データまたはフォルダを選ぶ※1	続けて2回
前の音楽データまたはフォルダを選ぶ※1	1秒以上
1階層上のフォルダに移動／ミュージックプレイヤー終了	続けて3回※2

※1：再生中は前後の音楽データが再生されます。
※2：トップフォルダで押すとミュージックプレイヤーが終了します。

おしらせ

- マルチタスク機能で他の機能を実行しても再生は継続します。ただし、実行した機能によっては再生が停止する場合があります。
- 次の場合は再生が一時停止します。通話･通信やメール受信画面の表示、目覚まし・スケジュールアラームの終了後に、再生が再開されます。
  - 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの着信があったとき
  - メールを受信したとき（メールの受信表示設定が「通知優先」の場合）
  - 目覚ましやスケジュールで指定した日時になったとき
- 映像やテロップ入りの動画／iモーションがあっても再生されません。

ミュージックプレイヤーの動作条件を設定する　プレイヤー設定

・本機能での設定内容は、ｉモーションの動作設定にも反映されます。

お買い上げ時　音量：レベル20　リピート再生：ON
サラウンド：OFF

1 Menu 9 ▶ Menu 7

2 **各項目を選択して設定**

音量：
音楽データ再生時の音量を設定します。

リピート再生：
フォルダ内の最後の音楽データを再生後、先頭の音楽データに戻って再生するかどうかを設定します。

サラウンド：
音楽データ再生時にサラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。

3 **□を押す**

その他の便利な機能

マルチアクセスについて……マルチアクセス 366
マルチタスクについて……マルチタスク 367
FOMA端末を開いて編集画面を表示するように設定する
……スライド編集設定 368
指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る……自動電源ON／OFF設定 369
一定の時間が経過するとアラームで知らせる……お知らせタイマー 369
指定した時刻に目覚まし音を鳴らす……目覚まし 370
アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する
……アラーム自動電源ON設定 372
スケジュールを管理する……スケジュール帳 372
よく使う機能を登録する……カスタムメニュー 379
自分の名前やメールアドレスなどを登録する……自局番号 382
声や画像を録音／録画する……音声メモ／動画メモ 383
通話時間・料金を確認する……通話時間／通話料金 384
通話料金を自動でリセットする……通話料金自動リセット設定 385
通話料金の上限を設定して知らせる……通話料金上限通知 385
電卓として使う……電卓 386
メモを作成する……メモ帳 386
電子辞典を利用する……388
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた……スイッチ付イヤホンマイク 388
利用する通信事業者を設定する……NW検索方法 390
電源を入れたときの起動時間を短縮する……クイック起動設定 390
各種機能の設定状況を確認する……設定状況確認 391
各種機能の設定をリセットする……各種設定リセット 391
登録データを一括して削除する……データ一括削除 391

マルチアクセスについて

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - 音声電話：1通信
  - iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信：いずれか1通信
  - SMS：1通信
- マルチアクセスの組み合わせ☛P439

おしらせ

● マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。

マルチアクセスでできる主な操作

接続中の通信を中断せずに、iモードメールやSMS、音声電話を受けたり、別の通信を実行したりできます。

音声電話通話中にiモードメールを受信する

1 音声電話通話中にメールを受信



受信中はディスプレイ上部にiと✉が点滅表示され、受信が完了するとiが点滅し、✉が表示されます。

- iの点滅は自動的に止まります。

iモード中に音声電話を受ける

サイトを表示しながら、かかってきた音声電話を受けます。

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様に音声電話を受けられます。

1 iモード中に音声電話がかかってくる



- 音声電話がかかってきたときの画面は、優先通信モード設定によって異なります。

2 ☎を押す

- マルチタスクの操作で、通話中画面とサイト画面の切り替えができます。☛P368
- サイト表示を終了する：サイト画面で☎▶「はい」を選択
- 通話を終了する：通話中画面で☎

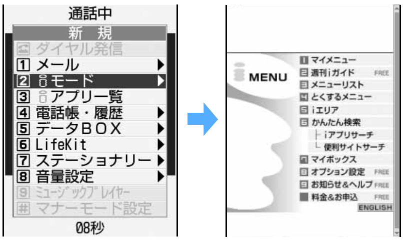
音声電話通話中にiモードに接続する

1 音声電話通話中に✉

新規起動メニューが表示されます。

- 通話中画面でスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えておくと、サイト画面を見ながら通話できます。

2 2 1を押す



新規起動メニュー

- マルチタスクの操作で、通話中画面とサイト画面の切り替えができます。☛P368
- サイト表示を終了する：サイト画面で☎▶「はい」を選択
- 通話を終了する：通話中画面で☎

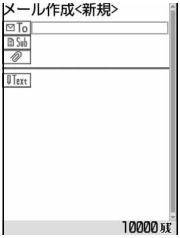
音声電話通話中にiモードメールを送信する

1 音声電話通話中に✉

新規起動メニューが表示されます。

- 通話中画面でスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えておくと、メールを作成しながら通話できます。

2 [1][2]を押す



ｉモードメールの送信が終了すると通話中画面に戻ります。

- マルチタスクの操作で、通話中画面とメール作成画面の切り替えができます。☛P368
- メール作成を終了する：メール作成画面で[終話]
- 通話を終了する：通話中画面で[終話]

音声電話通話中にパケット通信を行う

1 音声電話通話中にパソコンから発信操作を行う

パケット通信が始まります。

- パケット通信実行時の画面は優先通信モード設定によって異なります。
- 通話を終了する：通話中画面で[終話]

ｉモード中に音声電話をかける

サイトを表示しながら、音声電話をかけます。

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様に音声電話をかけられます。

1 ｉモード中に[メール]

新規起動メニューが表示されます。

2 [発信]▶電話番号を入力▶[発信]を押す



- 電話帳や着信履歴、リダイヤルから電話をかけるには、新規起動メニューから「電話帳・履歴」を選択します。

- マルチタスクの操作で、通話中画面とサイト画面の切り替えができます。☛P368
- サイト表示を終了する：サイト画面で[終話]▶「はい」を選択
- 通話を終了する：通話中画面で[終話]

マルチタスクについて

マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 同時に実行できる機能は２つまでです。ただし、ダイヤル発信、自局番号、マナーモード設定／解除は、他の機能が２つ実行されていても、起動できます。
- 機能によっては同時に起動できないものや制限のあるものがあります。マルチタスクの組み合わせ☛P441

新しい機能を実行する

例 音声電話通話中にスケジュールを表示／登録するとき

1 音声電話通話中に[メール]

新規起動メニューが表示されます。

- 通話中画面でスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えておくと、スケジュールの画面を見ながら通話できます。

2 [7][1]



3 スケジュールを表示／登録

- スケジュールを終了する：スケジュールの画面で[終話]
- 通話を終了する：通話中画面で[終話]

おしらせ

- 動画やアニメーションの再生中、カメラの操作中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しなかったり、再生中の音声が途切れることがあります。
- 新規起動メニューの１階層目を表示中に[0]を押すと自局番号を表示できます。ただし、実行中の機能や状態によっては表示できないことがあります。

操作する機能を切り替える

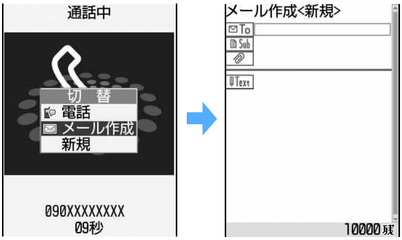
複数の機能を実行中に[▣]を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えて操作できます。

例 音声電話とｉモードメール作成のマルチタスク中にメール作成画面へ切り替えるとき

1 音声電話通話中に[▣]

画面切替メニューが表示されます。

2 「メール作成」を選択



画面切替メニュー

- 通話中画面に戻す：[▣]▶画面切替メニューから「電話」を選択
- 画面切替メニュー表示中に[Menu]を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。再度[Menu]を押すと画面切替メニューに戻ります。

おしらせ

● マルチタスクの組み合わせ（☛P441）で選択不可になっている組み合わせでは、画面を切り替えられません。

● 画面切替メニューの項目名は、次のように、メニューの項目名などと異なる場合があります。
- ダイヤル入力（電話番号入力）
- AV通信（外部機器によるテレビ電話）
- ｉモード（iMenu、Bookmark、URL入力、URL履歴、ラストURL、画面メモ、ｉチャネル）
- メール（ｉモードメール、SMSの一覧画面や詳細画面）
- メール作成（ｉモードメール作成画面、SMS作成画面）
- ｉモードメール着信（ｉモードメール、メッセージR/Fの受信画面）
- 問合せ（ｉモード問合せ、SMS問合せ）
- PDF対応ビューア（PDFデータの表示画面）
- PPPデータ通信（パソコンとつないだパケット通信）

実行中のすべての機能を終了する

マルチタスクで実行中の全機能を一度に終了させます。

1 マルチタスク中に[▣][ロ]▶「はい」を選択

FOMA端末を開いて編集画面を表示するように設定する　スライド編集設定

「ON」に設定するとFOMA端末を開くだけでメールの作成画面やスケジュールの編集画面などを表示できます。

お買い上げ時　すべてON

1 [Menu][8][8][8]

2 項目を選択▶[1]～[2]

- 各項目を「ON」に設定すると、以下のように動作します。

受信メール：

受信メール一覧／受信メール詳細画面でFOMA端末を開いたとき、クイック返信本文選択画面を表示します。

- クイック返信本文が登録されていないときや、クイック返信設定を「OFF」に設定しているときは、返信用のメール作成画面を表示します。

送信メール：

送信メール一覧／送信メール詳細画面でFOMA端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示します。

未送信メール：

未送信メール一覧で FOMA 端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示します。

チャットメール：

チャットメール画面で FOMA 端末を開いたとき、送信する本文を入力する画面を表示します。

スケジュール：

カレンダー画面／デイリービュー画面でFOMA端末を開いたとき、スケジュールの新規作成画面を表示します。

メモ帳：

メモ一覧画面／メモ帳参照画面で FOMA端末を開いたとき、メモ帳編集画面を表示します。

3 [ロ]を押す

おしらせ

● スケジュールを「ON」に設定すると、スケジュールの各詳細画面でFOMA端末を開いたとき、編集画面が表示されます。

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る　自動電源ON／OFF設定

・自動電源ON設定と自動電源OFF設定を同時刻に設定できません。

お買い上げ時　自動電源ON：OFF　自動電源OFF：OFF

例　自動電源ON設定を設定するとき

1 Menu 8 5 2

■ **自動電源OFF設定を設定する：** Menu 8 5 3

2 各項目を選択して設定

自動電源ON：
自動電源ONを設定／解除します。
・「OFF」に設定すると、時刻、繰り返しは選択できません。

時刻：
自動的に電源を入れる時刻を設定します。
・24時間制で入力します。時、分が0〜9のときは、前に0を付けます。

繰り返し：
自動電源ONの繰り返しを設定します。
・「OFF」に設定すると、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源が入った後、自動電源ON設定の設定は解除されます。

3 (書) を押す

おしらせ

● 目覚ましやスケジュールアラームと同時刻に自動電源OFF設定を「ON」に設定すると、目覚ましやスケジュールの動作終了後に自動電源OFFを行います。目覚まし音鳴動後スヌーズ動作が開始すると、スヌーズ動作を終了した後に自動電源OFFを行います。また、お知らせタイマー動作中に自動電源OFF設定で設定した時刻になった場合、お知らせタイマーの動作終了後に自動電源OFFを行います。

● 自動電源OFF設定を「ON」に設定しても、待受中以外のときは、指定した時刻になっても、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了した後、電源が切れます。ただし、待受画面からの端末暗証番号入力画面や、FOMA端末の電源を入れた際に表示されるPIN1コード、PIN2コード入力画面を表示中に、指定した時刻になった場合は、電源は切れます。

● 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく自動電源ON設定を「OFF」に設定してください。

一定の時間が経過するとアラームで知らせる　お知らせタイマー

指定した時間が経過すると、アラームやバイブレータ動作、決定キーの照明の点滅でお知らせします。

1 タイマー時間を入力

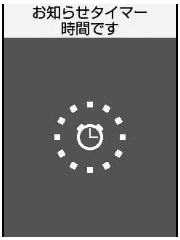
・1〜60分の間で設定できます。1〜9のときは、前の0は入力しないでください。

2 (決定) を押す

お知らせタイマーのカウントダウン画面が表示され、カウントダウンが開始されます。
・Menu 1 を押しても開始できます。
・カウントダウン中に電話やプッシュトークが着信したときや、(メール) を押して他の機能を起動しても、カウントダウンは継続されます。
・カウントダウン中に ch/クリア または (終話) を押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。確認画面表示中もカウントダウンは継続します。

指定した時間が経過すると

1 アラームが鳴る



電話着信音量で設定した音量でアラーム（「アラーム・メロディ」）が鳴り、決定キーの照明が点滅します。
バイブレータ設定で電話着信時の動作を設定している場合は、その設定に従って動作します。

2 (終話) で終了させる

待受画面に戻ります。
・鳴動中に約1分間何も操作しないか、(終話) 以外を押すとアラームが止まります。(決定) を押すと待受画面に戻ります。

他機能動作中のアラーム通知について

動作	アラーム通知
通話中、プッシュトーク通信中	警告音が鳴ります。決定キーの照明の点滅や、バイブレータは動作しません。プッシュトーク通信中の場合は、発言権が開放され、発言できなくなります。
通話保留中	保留解除後に上記動作となります。
データ送受信中※1、電話やプッシュトークの発着信中・呼出中・切断中	左記動作終了後に動作します。 • スケジュールの設定日時になった場合、データ通信でスケジュールデータを受信したとき、スケジュールは動作しません。

※ 1：パケット通信の送受信中は除きます。

指定した時刻に目覚まし音を鳴らす

目覚まし

指定した時刻に、目覚まし音、決定キーの照明の点灯／点滅、バイブレータ動作などでお知らせします。

• 最大9件設定できます。

お買い上げ時　未設定

目覚まし音を鳴らす時刻や音などを設定する

• 目覚ましを設定したときの各項目のお買い上げ時の設定は、時刻「00：00」、繰り返し「なし」、目覚まし音「端末設定に従う」、音量「端末設定に従う」、バイブレータ「端末設定に従う」、イルミネーションパターン「端末設定に従う」、イルミネーションカラー「端末設定に従う」です。

1 Menu 7 3

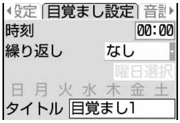
2 1～9

• 設定中の目覚ましには、タイトルの左に SET が表示されます。

■ 解除する：目覚まし一覧からタイトルを選ぶ▶Menu

• 解除した目覚ましを再設定する：目覚まし一覧からタイトルを選ぶ▶Menu

3 各項目を選択して設定



時刻：

目覚ましを設定する時刻を入力します。

• 24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

繰り返し：

繰り返し設定を選択します。

•「なし」に設定すると、一度だけ目覚ましが起動します。

•「毎日」に設定すると、毎日目覚ましが起動します。

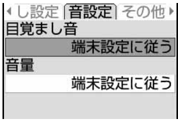
•「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して (m) を押します。

タイトル：

全角7文字（半角14文字）まで入力できます。

• お買い上げ時のタイトルは、「目覚まし1」～「目覚まし9」に設定されています。タイトルを入力していない目覚ましは設定できません。

4 で音設定画面に切り替え▶各項目を選択して設定



目覚まし音：

設定時刻になったときの目覚まし音を設定します。

•「iモーションを選択」または「メロディを選択」を選択したときは、動画／iモーションまたはメロディから選択します。
選択時にメロディ、動画／iモーションを再生して確認するには☛P133

•「端末設定に従う」に設定すると、音の設定に従います。

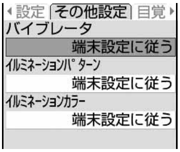
音量：

目覚まし音の音量を選択します。

•「設定する」を選択したときの調整方法については☛P69

•「端末設定に従う」に設定すると、目覚まし音量に従います。

5 でその他設定画面に切り替え▶各項目を選択して設定



バイブレータ：

設定時刻になったときの振動を設定します。

- 「選択する」を選択したときは、バイブレータの種類を選択します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレータ設定に従います。

イルミネーションパターン：

設定時刻になったときの決定キーの照明の点灯パターンを設定します。

- 「選択する」を選択したときは、点灯パターンを選択します。「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

イルミネーションカラー：

設定時刻になったときの決定キーの照明の点灯色を設定します。

- 「選択する」を選択したときは、点灯色を選択します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

6 を押す

待受画面に または （スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

おしらせ

● メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定すると、決定キーの照明が点灯／点滅しないことがあります。

● 目覚まし音に設定したデータを削除した場合は、「端末設定に従う」に設定されます。

設定時刻になると

1 目覚まし音が鳴る



設定した内容に従って動作します。動画／ｉモーションを設定した場合は、動画／ｉモーションが表示されます。

2 で終了させる

鳴動前の画面に戻ります。

- 鳴動中に約1分間何も操作しないか、以外を押すと、目覚まし音が止まり、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。スヌーズ動作中に目覚まし音が停止しているときは「スヌーズ中 Snooze」と表示されます（動画／ｉモーションを設定している場合は最初のコマが表示されます）。 を押すとスヌーズが解除され、鳴動前の画面に戻ります。
- 鳴動中に電話やプッシュトークの着信があると、スヌーズ動作になります。
- 同じ時刻に複数の目覚ましを設定しているときは、目覚まし一覧に表示される項目番号の一番小さい目覚ましが動作します。
- 他機能動作中のアラーム通知については☛P370

設定時刻に動作しない場合について

- 電源が入っていない場合は、設定時刻になっても電源は入らず、動作しません。アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定すると電源を切っていても動作します。
- オールロック中、PIMロック中は動作しません。
- 設定時刻にキャラ電が表示されている場合は、数秒遅れて動作する場合があります。
- 目覚ましとスケジュールアラームを同じ時刻に設定すると、目覚ましが動作した後、スヌーズ動作になり、続けてスケジュールアラームが動作します。スケジュールアラームの動作を終了させた後も、目覚ましのスヌーズ動作は継続します。

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する　アラーム自動電源ON設定

スケジュールや目覚ましで指定した日時に電源が入っていなかったとき、電源が自動的に入り、アラーム／目覚まし音が鳴るように設定します。

お買い上げ時　OFF

1 Menu 8 5 5

2 **1を押す**

- 自動的に電源を入れない：2

おしらせ

● 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく本設定を「OFF」に設定してください。

●「ON」に設定しているとき、PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定している場合に目覚ましやスケジュールで指定した日時になると、電源が ON になり、PIN1コード入力画面が表示される前に目覚まし音やアラームが鳴ります。(終話キー)を押して目覚ましやアラームを停止させると、PIN1コード入力画面が表示されます。このとき、目覚まし音やアラームにダウンロードしたメロディまたは i モーションを設定していても、お買い上げ時に登録されているメロディ（目覚ましは「アラーム・メロディ」、スケジュールアラームは「アラーム・女性ボイス」）で目覚まし音やアラームが鳴ります。

スケジュールを管理する　スケジュール帳

仕事の予定などを登録しておくと、設定日時になったとき画面表示やアラーム音でお知らせします。

カレンダーを表示する

カレンダー画面から、スケジュールを表示できます。

1 **(スケジュールキー)を1秒以上押す**



カレンダー画面が表示されます。
日付は、当日はピンク、土曜日は青、休日・祝日は赤で表示されます（カラーテーマ設定により、表示される色は異なる場合があります）。

- 複数のスケジュールを設定している日は、最も早い時刻に登録しているスケジュールの用件アイコンが表示されます。最も早い時刻に登録されているスケジュールの時間を過ぎても、次に登録されているスケジュールの用件アイコンは表示されません。
- (方向キー)で日付を移動します。(決定キー)を押すとデイリービュー画面が表示されます。
- (iアプリキー)を押して前月、(メールキー)を押して翌月に切り替えます。
- カレンダーは、前回終了したときの設定で表示されます。

■ **特定の日を指定して表示する：**
①**カレンダー画面で** Menu 4 2
②**年月日を入力**
- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1～9のときは、前に0を付けます。
- 当日に戻す：Menu 4 1
- デイリービュー画面では Menu 5 2 を押します。当日に戻す場合は Menu 5 1 を押します。

おしらせ

● スピードセレクター設定の待受起動機能を「スケジュール帳」に設定している場合は、待受画面でスピードセレクターを回転させてもカレンダーを表示できます。

● カレンダーの祝日設定は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年6月22日・法律第59号）」に基づいています（2006年5月現在）。
ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、変更しなければならないことがあります。また、上記法律は2003年1月から施行されていますが、2002年までの海の日と敬老の日については改正前の日付では表示されませんのでご注意ください。
● カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。

カレンダーの表示形式を設定する
カレンダーモード設定

お買い上げ時　動作モード：マンスリーモード
表示モード：ノーマルモード

1 Ⓜ（1秒以上）▶Menu 6 1

2 **各項目を選択して設定**

動作モード：
を押して日付を移動したときのカレンダーの表示方法を設定します。
- 「マンスリーモード」に設定すると、1ヶ月ごとに画面が切り替わります。
- 「スライドモード」に設定すると、1週間ごとに画面がスクロールします。

表示モード：
1週間の始まり（左の表示）の曜日を設定します。
- 「ノーマルモード」に設定すると、日曜日になります。
- 「ビジネスモード」に設定すると、月曜日になります。

3 Ⓜ**を押す**

休日を設定する
休日設定

会社や学校などの休日を設定できます。日付や曜日を指定して設定します。
- 日付を指定して休日を設定する場合は、最大30件登録できます。

例 日付を指定して休日を設定するとき

1 Ⓜ（1秒以上）

2 **休日にする日付を選ぶ▶Menu 6 2 1 を押す**

設定した日付の色が変わります。
- 毎年繰り返して休日にする：Menu 6 2 2

■ **解除する：休日設定を解除する日を選ぶ▶Menu 6 2 3**
- 全解除する：Menu 6 2 4

■ **曜日を指定して休日を設定する：**
① Menu 6 3
② 1 ～ 7 で休日に設定する曜日を選択
- お買い上げ時は、日曜日が休日に設定されています。
- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除するとガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときはMenuを押します。

③ Ⓜ
- 曜日が1つも選択されていない状態で登録すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

祝日を設定する
祝日設定

祝日の変更や新規登録（5件まで）ができます。

1 Ⓜ（1秒以上）

2 Menu 6 4

3 Ⓜ

■ **変更する：祝日を選択▶操作4に進む**

■ **削除する：祝日を選ぶ▶Menu▶「はい」を選択**
- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

4 **各項目を選択して設定**

祝日名：
全角11文字（半角22文字）まで入力できます。
- お買い上げ時に設定されている祝日の祝日名は変更できません。

表示：
設定した祝日を表示するかどうかを選択します。
- 「OFF」を選択すると日付は設定できません。

日付：
祝日に設定する日付を入力します。月、日が1～9桁のときは、前に0を付けます。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択してから日付を入力してください。

5 Ⓜ**を押す**

スケジュールを登録する

同じ日に複数のスケジュールを登録できます。
・最大300件登録できます。

1 ⓜ（1秒以上）

2 スケジュールを登録する日付を選ぶ▶ⓜ

・デイリービュー画面でもⓜを押します。
・スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合、カレンダー画面から日付を選ぶかデイリービュー画面を表示してFOMA端末を開くと、新規作成画面が表示されます。

3 各項目を選択して設定



（用件アイコン）：
アイコンを選択します。
・選択したアイコンがスケジュールの先頭に表示されます。

予定（内容入力欄）：
選択した用件アイコンに対応した内容が表示されます。必要に応じて変更します（全角100文字（半角200文字）まで）。
・内容変更後にアイコンを変更しても、内容は変更されません。

終日：
時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するかどうかを設定します。
・「ON」に設定すると、デイリービュー画面のスケジュールの日付・時刻表示部分には「終日」と表示されます。長期間スケジュールを終日に設定すると、日付の後ろに「終日」と表示されます。

開始日時：
スケジュールの開始日時を入力します。
・西暦は下2桁を入力します。月、日が1～9のときは、前に0を付けます。
・時刻は24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。
・2060年12月31日まで設定できます。
・終日に設定した場合は時刻を設定できません。

終了日時：
スケジュールの終了日時を入力します。
・日時の入力方法は開始日時と同じです。
・開始日時よりも後の日付に設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上に が表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンの下に が表示されます（長期間スケジュール）。

要約・メモ：
全角300文字（半角600文字）まで入力できます。

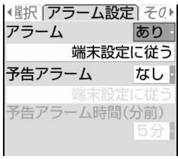
4 でメンバーリスト選択画面に切り替え

5 「<メンバーリスト選択>」を選択▶登録するメンバーを選択

・5名まで登録できます。メンバーリストから、電話やプッシュトークを発信したり、メールを送信できます。
・電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。

■ **削除する：メンバーを選ぶ▶Menu**

6 でアラーム設定画面に切り替え▶各項目を選択して設定



アラーム（スケジュールアラーム）：
アラームを鳴らすかどうかを設定します。
・「あり」を選択し、アラーム選択欄から「ｉモーションを選択」または「メロディを選択」を選択したときは、アラーム音を動画／ｉモーションまたはメロディから選択します。
選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P133
・「あり」に設定し、「端末設定に従う」に設定すると、音の設定に従います。

予告アラーム：
スケジュールの開始日時より前にアラームを鳴らすかどうかを設定します。
・アラーム音の選択方法はアラームと同じです。
・「なし」を選択すると、予告アラーム時間（分前）は設定できません。

予告アラーム時間（分前）：
スケジュールの開始日時の何分前に予告アラームを鳴らすかを設定します。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

7 でその他の設定画面に切り替え ▶ 各項目を選択して設定



繰り返し：

スケジュールの繰り返しの動作を設定します。

- スケジュールの開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」を選択した場合など、該当する日が存在しない月、年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。
- 「なし」に設定すると、一度だけスケジュールアラームが起動します。
- 「曜日指定」を選択したときは「曜日選択」を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択して(m)を押します。
- 繰り返しを設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上に◥が表示されます。ただし、設定した最初の日にのみ用件アイコンが表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンの下に🔄が表示されます（繰り返しスケジュール）。

イメージ：

スケジュールアラーム画面に表示するイメージを設定します。

- 「あり」を選択したときは、「画像選択」を選択し画像を選択します。Flash画像は設定できません。
- 「なし」を設定したときは、お買い上げ時のイメージが表示されます。

8 (m)を押す

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面にまたは（目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

待受画面からスケジュールを登録する

カレンダー画面を表示せず、待受画面から簡単なキー操作でスケジュールを登録できます。

1 スケジュールを登録する日時を8桁の数字で入力▶(m)

スケジュールの新規作成画面が表示されます。

（例）7月10日午後3時の場合：「07101500」と入力する

- 時間2桁、分2桁を入力すると、当日の新規作成画面が表示されます。ただし、現在の時刻より前の時刻を入力した場合は、翌日の日付の新規作成画面が表示されます。

2 スケジュールを登録

おしらせ

- 1つのスケジュールで、長期間スケジュールと繰り返しスケジュールを同時に設定できません。
- スケジュールアラーム画面の表示内容は、次の方法で変更できます。最後に行った設定が有効になります。
  - アラーム設定画面で、音声と映像のある動画／ｉモーションを選択する※1
  - 音の設定のスケジュール音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定しているときに、アラーム設定画面で「端末設定に従う」を選択する※1
  - その他の設定画面のイメージで画像を選択する※2

  ※ 1：既にその他の設定画面のイメージに画像が設定されているときに本設定を行うと、イメージは「なし」に変更されます。

  ※ 2：既にアラームや予告アラームに音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されているときに本設定を行うと、標準のメロディに変更されます
- スケジュールアラームと予告アラームに設定したデータを削除した場合は、「端末設定に従う」に設定されます。
- スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。

  miniSD メモリーカードを利用して、スケジュールを保存できます（☛P336）。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

設定日時になると

1 アラームが鳴る



スケジュールアラーム画面

設定した内容に従って動作します。イメージや動画／ｉモーションを設定した場合は、それらが表示されます。ただし、イメージにパラパラマンガを設定しているときは、最初のコマが表示されます。

2 で終了させる

鳴動前の画面に戻ります。

- 鳴動中に1分間何も操作しないか、以外を押すと、アラームが止まります。設定により、画面表示は次のようになります。を押すと鳴動前の画面に戻ります。

設定	画面表示
イメージ	設定したイメージ
動画／ｉモーション	最初のコマ

- 同じ日時に複数のスケジュールを設定しているときは、アラームを止めてから、で他のスケジュールの内容を確認できます。
- 他機能動作中のアラーム通知については☛P370
- プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、動作しません。また、シークレット属性を設定している場合は、シークレットモードを設定していないと動作しません。それ以外で設定日時に動作しない場合は、「設定時刻に動作しない場合について」を参照してください。☛P371

おしらせ

- 音量は、スケジュール音量で鳴ります。
- イルミネーション設定やバイブレータ設定を設定している場合は、その設定に従って動作します。
- 予告アラームを設定しているときは、開始日時前に予告アラームが鳴ります。
- 終日設定でスケジュールアラームを設定した場合は、設定した日の00:00になると、動作します。

スケジュールアラームの初期値を設定する
アラーム初期値設定

スケジュール登録時のスケジュールアラームの初期値を設定します。

- 初期値を変更しても、登録済みのスケジュールの設定は変更されません。

お買い上げ時　すべてアラームあり

1 （1秒以上）▶ Menu 6 5

2 各項目を選択して設定

通常登録時：
カレンダー画面からスケジュールを登録するときのスケジュールアラームの初期値を設定します。

待受画面から登録時：
待受画面からスケジュールを登録するときのスケジュールアラームの初期値を設定します。

3 を押す

登録したスケジュールを確認する

表示したスケジュール画面から、スケジュールの追加や変更、削除ができます。

1 （1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択



デイリービュー画面

- デイリービュー画面では、で日付が切り替わります。

■ **特定の用件のスケジュールのみ表示する（用件別表示モード）：**
①（1秒以上）
② Menu 3 2
- 全用件表示にする：Menu 3 1
- デイリービュー画面では Menu 4 2 を押します。全用件表示に戻すには Menu 4 1 を押します。

③**用件アイコンを選択**
カレンダー画面、デイリービュー画面の右上に選択した用件アイコンが表示され、その用件アイコンが設定されているスケジュールのみ表示されます。

2 スケジュールを選択



スケジュール詳細画面

■ 変更する：

①スケジュール詳細画面で[スケジュール]
- スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合、スケジュールの各詳細画面でFOMA端末を開くと、編集画面が表示されます。
- デイリービュー画面では、スケジュールを選び[Menu][2]を押します。

②スケジュールの内容を変更▶[スケジュール]

③「はい」を選択

おしらせ

● 表示中のスケジュールの内容に電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To (AV Phone To)・Mail To・Web To機能を利用できます。

スケジュールをコピー／貼り付けをする

スケジュールをコピーして別の日付のスケジュールとして貼り付けます。
- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日数分のスケジュールが貼り付けられます。
- コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日付に何度でも貼り付けることができます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

1 [スケジュール]（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

2 スケジュールを選ぶ▶[Menu][6][1]

3 [ch/クリア]

4 スケジュールを貼り付ける日付を選ぶ▶[Menu][5]を押す
- デイリービュー画面では、[Menu][6][2]を押します。

スケジュールからメールを作成する

スケジュールをｉモードメールの本文として送信します。
- 操作する画面によって、送信できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

送信方法／操作画面	1件送信	1日送信／全件送信※1
カレンダー画面	×	○
デイリービュー画面	○	○
スケジュール詳細画面	○	×

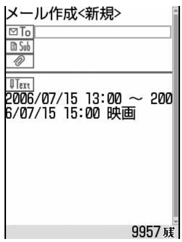
※1：登録しているすべてのスケジュール（過去のスケジュールも含む）が送信されます。

- スケジュールはメール本文にDate To形式で入力されます。☛P387
- メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分が削除されます。
- 用件別表示モードのときは、表示されている用件だけがメール本文に入力されます。
- シークレット属性が設定されたスケジュールを送信するときは、シークレットモードを設定してください。

例 デイリービュー画面から1件のスケジュールをメール送信するとき

1 [スケジュール]（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

2 スケジュールを選ぶ▶[メール]を押す



- 選択した日に登録されているすべてのスケジュールをメール送信する：[Menu][7][1][2]
- 登録しているすべてのスケジュールをまとめてメール送信する：[Menu][7][1][3]
- カレンダー画面では[Menu][8][1]を押し[1]または[2]を押します。
- スケジュール詳細画面では[メール]を押します。

スケジュールからメールを検索する

スケジュールで選択した日付の送受信メールを検索します。

例 カレンダー画面から受信メールを検索するとき

1 ⓜ（1秒以上）▶メールを検索する日を選ぶ

2 Menu 8 2 1 を押す



- 送信メールを表示する：Menu 8 2 2
- デイリービュー画面で受信メールを表示するときは Menu 7 2 1 を押します。送信メールを表示するときは Menu 7 2 2 を押します。
- 受信／送信メールの見かた☛P248
- メール検索を解除する：Menu 0

スケジュールを削除する

- 操作する画面によって削除できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

削除方法 / 操作画面	1件削除	1日削除／選択日前日まで削除／全件削除
カレンダー画面	×	○
デイリービュー画面	○	○
スケジュール詳細画面	○	×

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールを削除すると、当日だけでなく長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールが含まれるすべての日から削除されます。「選択日前日まで削除」を選択した場合でも、長期間スケジュールが前日にかかっているときには、当日以降にかけてのスケジュールもすべて削除されます。

例 デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 ⓜ（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

2 Menu 3

3 1～3

- 選択した日を含む長期間スケジュールを登録している場合、「1日削除」または「選択日前日まで削除」を選択すると長期間スケジュールも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する：4▶端末暗証番号を入力**
- シークレットモードを設定していない状態で削除しても、シークレット属性のスケジュールは削除されません。

4 「はい」を選択

おしらせ

● カレンダー画面では Menu を押し、「削除」→「1日削除」「選択日前日まで削除」「全件削除」から選択します。

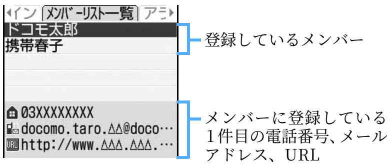
● スケジュール詳細画面では Menu を押し、「削除」を選択します。

メンバーリストを利用する

スケジュールに登録しているメンバーリストを選択して、電話やプッシュトークを発信したり、i モードメールを作成したりします。また、メンバーリストの電話帳データに登録している URL からサイトを表示します。

1 ⓜ（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

2 スケジュールを選択 ▶◎でメンバーリスト一覧画面を表示



- シークレット属性を設定しているメンバーは、シークレットモードを設定していないと名前と詳細情報が「＊」で表示されます。また、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、すべてのメンバーの名前と詳細情報が「＊」で表示されます。

3 電話帳データを利用

■ 音声電話／テレビ電話をかける：メンバーを選ぶ▶音声電話のときは（発信キー）、テレビ電話のときは（テレビ電話キー）
・条件を設定して電話やプッシュトークの発信ができます。☛P58

■ ｉモードメールを作成する：メンバーを選ぶ▶（メールキー）
選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に入力されます。
・メンバー全員にｉモードメールを送信するときは Menu 5 2 を押します。

■ サイトを表示する：メンバーを選ぶ▶ Menu 6

おしらせ

● 電話帳データに登録している２件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して、電話帳の詳細画面を表示します。利用する電話番号またはメールアドレスを選んで電話やプッシュトークを発信したり、ｉモードメールを作成したりできます。ただし、電話帳の詳細画面からｉモードメールを作成すると、スケジュールは本文に入力されずDate To機能は使用できません。
● メンバーリスト一覧画面で（スケジュールキー）を押すか、スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合にFOMA端末を開くと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除できます。

他人に見られたくないスケジュールを守る
シークレット属性

シークレット属性を設定すると、シークレットモード中しか表示されません。
・シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定

2 待受画面で（スケジュールキー）（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

3 スケジュールを選ぶ▶ Menu 9 を押す



選択しているスケジュールにシークレット属性を設定しているときは（鍵アイコン）が点滅

・解除する：シークレット属性が設定されているスケジュールを選ぶ▶ Menu 9

・スケジュール詳細画面で設定／解除する場合は、Menu 6 を押します。

おしらせ

● シークレット属性を設定しているスケジュールのスケジュールアラーム、予告アラームは、シークレットモードを設定しないと表示されません。
● シークレットモード中に作成されたスケジュールは、自動的にシークレット属性が設定されます。

スケジュールの登録件数を確認する
登録件数確認

1 （スケジュールキー）（1秒以上）▶ Menu 7 を押す

おしらせ

● 登録件数は、シークレット属性が設定されている件数を含みます。

Menu 8222

よく使う機能を登録する
カスタムメニュー

お買い上げ時に Menu を押して表示されるノーマルメニューの他に、よく使う機能や頻繁に連絡をとる相手の電話帳データを登録して、オリジナルのメニュー（カスタムメニュー）を作ると、機能を手早く実行したり、簡単に電話をかけたりできます。

テンプレートを読み込む

・あらかじめ４種類のテンプレートが用意されています。
・テンプレートを読み込むと、カスタムメニューの登録内容はすべて上書きされます。
・テンプレートを読み込んだ後、メニュー項目の追加や削除、入れ替えなどもできます。

お買い上げ時　スタンダード

1 Menu （スケジュールキー）

・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

2 Menu 7 1 ▶ 1～4

スタンダード：
目覚まし、辞典、スピードセレクター設定、着信表示設定、トータルコーディネイト設定、着信中オープン応答、スライド編集設定、暗証番号変更、発信者番号通知設定

データ／セキュリティ：
マイピクチャ、iモーション、マイドキュメント、プライバシーモード設定、プロテクトキー動作設定、ICカード一覧、ICカードロック、ICカードロック設定、オンリービュー設定

ユーザデータ：
Bookmark、画面メモ、電話帳検索、スケジュール帳、目覚まし、メモ帳、単語登録、定型文登録、miniSDカード

カスタマイズ：
トータルコーディネイト設定、待受画面選択、電話着信音、スピードセレクター音、電話着信音量、受話音量、ダウンロード辞書、文字サイズ設定、クイック返信本文登録

3 **端末暗証番号を入力▶「はい」を選択**



テンプレートが読み込まれ、カスタムメニューに設定されます。

- カスタムメニューのメニュー項目をすべて削除している場合は、端末暗証番号の入力後にテンプレートが読み込まれます。

カスタムメニューを作成する

テンプレートを利用してカスタムメニューを作成します。

- カスタムメニューの1つの階層には最大9個のメニュー項目が登録できます。

1 **テンプレートのサンプルを読み込む**

- すべてのメニュー項目を新規に登録する場合は、全件削除をしてから追加登録してください。全件削除するには☛P382

2 **メニュー項目を登録**

- テンプレートには既に9個のメニュー項目が登録されています。
- グループに上書きするときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、グループ内に登録したメニュー項目はすべて削除されます。

■ **人物を登録する：**

① **上書きするメニュー項目を選ぶ▶Menu 2 1**

- 追加登録する：Menu 1 1

② **登録する人物を選択**

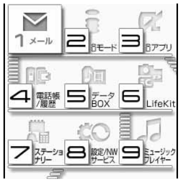


- 画像を設定していない電話帳データや、Flash画像、動画／iモーションを設定している電話帳データをカスタムメニューに登録すると、あらかじめ登録されているアイコンがメニュー画面に表示されます。

■ **機能を登録する：**

① **上書きするメニュー項目を選ぶ▶Menu 2 2**

- 追加登録する：Menu 1 2



- 機能選択画面は、メニュー設定のノーマルの表示形式で表示されます（画面はタイルアイコン表示の場合です）。ただし、ノーマルを「アニメーション」に設定しているときは、リスト表示になります。

② **登録するメニュー項目を選ぶ▶(メ)**



「スライド編集設定」を登録した場合

- 下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目番号に対応するキーを押すか、メニュー項目を選択すると登録できます。

■ **グループを登録する：**

電話帳データや機能を目的に合わせてグループ分けするためのグループフォルダを作成します。

① **上書きするメニュー項目を選ぶ▶Menu 2 3**

- 追加登録する：Menu 1 3

② **グループ名を入力（全角9文字（半角18文字）まで）▶(メ)**

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

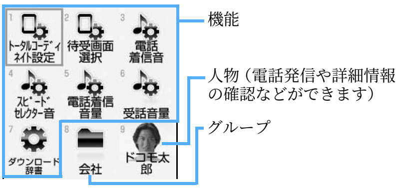
■ グループ内に登録する：
①グループを選択
・既にグループ内に項目が登録されているときは、グループ内のメニュー項目が表示されます。項目を選んで上書き登録するか、追加登録します。
②「登録（人物）」「登録（機能）」「登録（グループ）」のいずれかを選択 ▶ 登録操作を行う
メニュー項目が登録され、グループ内のメニュー項目が表示されます。
・メニューの 3 階層目にはグループは作成できません。
③他のメニュー項目を登録

カスタムメニューを利用する

カスタムメニューに登録されている機能を実行したり、人物に電話をかけたりできます。

1 [Menu][📖]
・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で[Menu]を押します。

2 **メニュー項目を選択**



・グループ内の機能や人物を選択する：グループを選択 ▶ グループ内の機能や人物を選択

■ 機能を実行する：機能を選択
・下位の階層がある機能を選択した場合は、メニュー項目が表示されます。

■ 電話をかける：人物を選ぶ ▶ 音声電話をかけるときは[☎]、テレビ電話をかけるときは[📹]
・電話番号を2件以上登録している場合は、電話番号を選択します。
・人物を選択して、[1]を押すと、条件を設定して電話やプッシュトークの発信ができます。☛P58
電話番号を2件以上登録している場合は、人物を選択して[1]を押し、利用する電話番号を選択すると、同様に操作できます。

■ iモードメールを作成する：人物を選ぶ ▶ [✉]
・メールアドレスを 2 件以上登録しているときは、メールアドレスを選び[✉]または[●]を押します。未登録のときは、宛先は空欄になります。

■ SMSを作成する：人物を選ぶ ▶ [✉]（1秒以上）
・電話番号を2件以上登録しているときは、電話番号を選び[✉]または[●]を押します。未登録のときは、宛先は空欄になります。

> **登録されている機能をすばやく実行するには**
>
> カスタムメニューの1階層目に登録した機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（[1]～[9]）を1秒以上押して起動できます。ただし、メニュー項目が人物やグループのときや 2 階層目以降にメニューがある機能のときは起動できません。

おしらせ

● カスタムメニュー表示中もショートカット操作ができます。ショートカット操作は、メニュー設定のカスタムメニューショートカットの設定に従います。
● シークレット属性を設定した電話帳データの人物は、シークレットモードを設定していないと人物名が「＊＊＊」で表示されます。アイコンは[🔒]になります。
● PIMロック中、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、人物の選択はできません。アイコンが[🔒]に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
● シークレット属性とPIMロックまたはプライバシーモード（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）の両方を設定している場合は、PIMロック中、プライバシーモード中のアイコン表示と動作になります。

カスタムメニューを編集する

カスタムメニューに表示されるメニュー項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更やメニュー項目の削除を行います。

1 [Menu][📖]
・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で[Menu]を押します。

2 **メニュー項目を選ぶ ▶ それぞれの操作を行う**
・グループ内のメニュー項目を編集する：グループを選択 ▶ それぞれの操作を行う

■ メニュー項目を入れ替える：[Menu][4] ▶ 入れ替え先のメニュー項目を選択 ▶「はい」を選択

■ アイコンを変更する：[Menu][5] ▶ アイコンを選択
・アイコンを元に戻す：[Menu][5] ▶ [📖]

■ **グループ名を変更する：**Menu 6 ▶グループ名を入力▶📖

■ **メニュー項目を削除する：**Menu 3 ▶「はい」を選択

・グループを削除するとグループ内のメニュー項目も削除されます。

カスタムメニューを全件削除する

カスタムメニューのメニュー項目をすべて削除します。カスタムメニューを新規に作成する際に行います。

1 Menu 📖

・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面でMenuを押します。

2 Menu 7 2 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ **「はい」を選択**

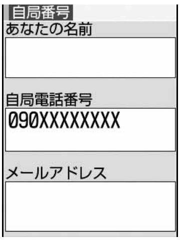
・◉を押すと、項目選択画面が表示されます。

Menu 48

自分の名前やメールアドレスなどを登録する　自局番号

お買い上げ時　自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録

1 Menu 0



・自局電話番号には、FOMA端末に挿入しているFOMAカードの電話番号が表示されます。

2 📖

3 **端末暗証番号を入力▶各項目を選択して設定**



・◉でページを切り替えられます。

・各項目の設定方法は、「FOMA端末電話帳に登録する」の操作3と同じです。☛P112
ただし、メモリ番号とグループは設定できません。

・1件目の電話番号には、ご契約の電話番号（自局電話番号）が表示されます。変更はできません。

4 📖**を押す**

おしらせ

● 自局番号のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、自局番号のメールアドレスは変更されません。ｉモードのメールアドレスを確認・変更する方法については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

● 自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目は、FOMA端末に登録されます。

自局番号の詳細を表示する

1 Menu 0

2 ◉▶**端末暗証番号を入力**



・◉を押すたびに、電話番号1～5→メールアドレス1～5→誕生日→テキストメモ→郵便番号／住所→会社名→役職名→URLの順に切り替わります。◉を押すと逆の順に切り替わります。

・登録した電話番号に発番号設定を設定している場合は、タイトルの右側に❕が表示されます。

・自局番号の詳細画面のサブメニューから、電話帳の詳細画面と同様に主に次の操作ができます。
  ・メール／URL起動☛P118
  ・発信オプション（自局電話番号への発信を除く）☛P58
  ・項目コピー☛P124
  ・発番号設定☛P126
  ・テレビ電話設定☛P127
  ・メールアドレス入替え☛P124
  ・基本情報☛P122
  ・画像／名前表示切替☛P122

■ 登録内容を編集する：[Menu][2]▶登録内容を編集して[ⓘ]

■ 登録内容をリセットする：[Menu][3]▶「はい」を選択

声や画像を録音／録画する
音声メモ／動画メモ

待受中に自分の声をメモ代わりに録音したり（待受中音声メモ）、音声電話やテレビ電話で通話中に相手の声や画像を録音／録画したりします（通話中音声メモ／動画メモ）。

- 通話中音声メモと待受中音声メモは、1件につき最大30秒、合わせて最大4件録音できます。
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。
- 電波の状態により、通話中音声メモ／動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れることがあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

通話中に相手の声や画像を録音／録画する

音声電話通話中は相手の声だけが録音されます。テレビ電話通話中は相手の声と画像が録音／録画されます。

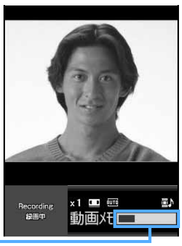
1 通話中に[📷]を1秒以上押す

録音／録画が開始されます。

録音／録画可能時間の目安



音声電話通話中
音声メモ



テレビ電話通話中
動画メモ

- 動画メモ録画中は、「Recording 録画中」と表示された映像が相手に送信されます。
- 動画メモ録画中に[◉]を押すと、録画可能時間の目安と通話時間表示が切り替わります。
- 残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります（開始時には鳴りません）。ただし、終了予告音や終了音は録音されません。
- 録音／録画を途中で停止する：[📷]（1秒以上）

- 動画メモはｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。
  動画／ｉモーションの再生方法☛P321
- 通話中音声メモ／動画メモを録音／録画しているときに FOMA 端末を閉じた場合の動作は☛P66

Menu 473

待受中に自分の声を録音する

1 [📷][3]を押す

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

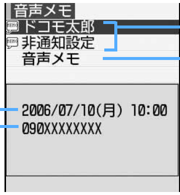
- 残り約５秒になると、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。ただし、録音終了音は録音されません。
- 録音を途中で停止する：[◉]、[☎]、[ch/クリア]のいずれか

Menu 474

音声メモを再生する

1 [📷][4]

音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。



通話中音声メモ
- 電話番号、名前（相手の電話番号が電話帳に登録されている場合）または発信者番号非通知理由

待受中音声メモ

相手の電話番号（待受中音声メモの場合、「音声メモ」と表示されます）

録音日時（日付・時刻を設定していない場合は記録されません）

2 音声メモを選択



時間経過の目安

音声メモが再生されます。

- 再生を停止する：[◉]
- 音量を調整する：[◎]
- スピーカーホン機能ON/OFFの切り替え：[☎]

3 「はい」または「いいえ」を選択

- 「はい」を選択すると、再生した音声メモが削除されます。

■ 音声メモ一覧から音声メモを削除する：音声メモを選ぶ▶[Menu][2][1]▶「はい」を選択
- 全件削除する：[Menu][2][2]▶「はい」を選択

■ 音声メモ一覧から電話番号を電話帳に登録する：
①通話中音声メモを選ぶ▶Menu 4
・登録済みの電話帳データに追加する：通話中音声メモを選ぶ▶Menu 5
② 1 ～ 2 ▶名前やメールアドレスなどを登録☛P111、P115
・登録済みの電話帳データに追加する：1～2▶相手を選択▶登録内容を修正☛P123

おしらせ

● 音声メモ／動画メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音／録画内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音／録画内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
● 通話中音声メモの場合、音声メモ一覧で相手を選び を押すと音声電話、 を押すとテレビ電話をかけられます。また、サブメニューの「発信オプション」から条件を設定して電話をかけられます。ただし、プッシュトークを発信することはできません。☛P58

通話時間・料金を確認する

通話時間／通話料金

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

・通話時間は、音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
・通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0 YEN」または「******YEN」と表示されます。
・通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金が表示されます（2004年12月から積算開始）。
　・901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードには蓄積されていますが、表示することはできません。
・表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
・表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／通話料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話時間を確認する

1 **Menu 8 4 1 を押す**

・以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話時間が表示されます。

直前通話時間：
　直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信時間
積算通話時間（音声）：
　音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）：
　テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）：
　データ通信を行った積算時間
前回リセット日時（音声）：
　音声電話の積算通話時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（テレビ電話）：
　テレビ電話の積算通話時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（データ）：
　データ通信の積算通信時間を前回リセットした日時

■ **積算通話時間をリセットする：**
①**通話時間確認画面で** ▶**端末暗証番号を入力**
②**1～4▶「はい」を選択**
・通話時間画面に戻す：

通話料金を確認する

1 **Menu 8 4 4 1 を押す**

・以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話料金が表示されます。

直前通話料金（音声）：
　直前にかけた音声電話の通話料金
直前通話料金（テレビ電話）：
　直前にかけたテレビ電話の通話料金
直前通話料金（データ）：
　直前に行ったデータ通信の通信料金
積算通話料金：
　音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信料金の積算料金
前回リセット日時：
　積算通話料金を前回リセットした日時

■ **積算通話料金をリセットする：通話料金確認画面で ▶PIN2コードを入力▶「はい」を選択**

おしらせ

● 着もじの送信料金は含まれません。
● 直前通話料金の情報がない場合は、「******YEN」と表示されます。

●通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金は、通話内のそれぞれの合計金額が表示されます。ただし、切り替え中は、料金は加算されません。
●直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
●FOMA端末の電源を切ると、直前通話時間は保持されますが、直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
●着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
●iモード通信、パケット通信、プッシュトーク通信の通信時間や通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『iモード操作ガイド』をご覧ください。

通話料金を自動でリセットする
通話料金自動リセット設定

毎月1日の0時に積算通話料金を自動リセットします。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 4 4 4

2 端末暗証番号を入力 ▶ 1
・解除する：2

3 PIN2コードを入力

おしらせ
●「ON」に設定しても、設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると設定は解除されます。設定時の FOMA カードを差し込んでも設定は元の状態に戻りません。
●「ON」に設定しているときは、日付時刻設定で、翌月以降へ日付時刻が変更されたときもリセットされます。
●「ON」に設定し、1日の0時になったときに電源が入っていない場合や通話中の場合は、電源を入れたときや通話終了後にリセットされます。
●「ON」に設定した場合、電源を入れたときに PIN2 コードの入力が必要です。

通話料金の上限を設定して知らせる
通話料金上限通知

通話料金の上限金額を設定し、積算通話料金が設定金額を超えると、アラームやアイコンで通知します。
・通話料金通知はあくまで目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 4 4 2

2 端末暗証番号を入力 ▶ 各項目を選択して設定

通話料金上限通知：
上限金額を超えたときに通知するかどうかを設定します。
・「OFF」に設定すると以下の項目は設定できません。

料金上限（円）：
料金の上限値を設定します（10円単位で10～100000円）。

通知方法：
アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。

アラーム音：
通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定したときに、アラーム音をメロディから選択します。
・選択時にメロディを再生して確認するには☛P133

アラーム時間（秒）：
通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定したときに、アラームを鳴らす時間を設定します（1～60秒）。

3 (田)を押す

おしらせ
●通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイ上部に ¥ が表示されます。
●通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定しているときは、通話または通信終了後、待受画面に戻るとアラームが鳴り、通話料金が上限を超えた旨のメッセージが表示されます。ただし、通常マナーモード中は、メッセージは表示されますが、アラームは鳴りません。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従って鳴ります。また、通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しているときに、1日0時に通話料金の上限を超える通話や通信を行った場合、アラームは鳴らず、メッセージも表示されません。

● アラームは、電話着信音量で設定した音量で鳴ります。
● アラームが鳴っているときにキー操作を行ったり、他の機能が起動するとアラームは止まります。また、プロテクトキーロックの一時解除中は、FOMA端末を閉じても止まります。
●「ON」に設定後に異なるFOMAカードに差し替えた場合でも設定は保持されます。

上限通知アイコンを消去する
上限通知アイコン消去

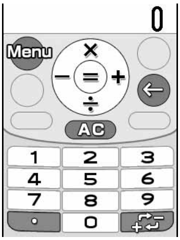
1 **Menu 8 4 4 3 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」を選択**

電卓として使う
電卓

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）ができます。
・最大8桁入力できます。
・スケジュールやメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けることができます。☛P411

1 **Menu 7 4**

2 **計算を行う**



ダイヤルキー（0～9）と ◎（＋、－、×、÷）を使って計算します。

・入力した数字を1桁削除する：✉
・小数点を入力する：＊
・表示中の数字の＋と－を切り替える：＃

3 **● を押す**
計算結果が表示されます。
・ch/クリア を押すと計算結果が削除されます。

■ **計算結果をコピーする：Menu 1**
・コピーした数値を貼り付ける：Menu 2
・記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると数値は上書きされます。コピーした数値は電源を切るまで記録されます。
・コピーした数値は、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けることができます。また、メモやメール作成画面などの入力欄から最大上位 8 桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。
・電卓に貼り付けた数値に続けて数字を入力することはできません。

おしらせ
● 計算結果の整数部分が 8 桁を超えたり、0 で除算するとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには ch/クリア を押します。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されます。

メモを作成する
メモ帳

・最大50件登録できます。

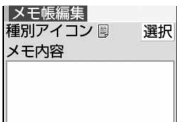
1 **Menu 7 2**

2 **「＜新しいメモ＞」を選択**



・スライド編集設定でメモ帳を「ON」に設定している場合、「＜新しいメモ＞」を選んでFOMA端末を開くと、メモ帳編集画面が表示されます。

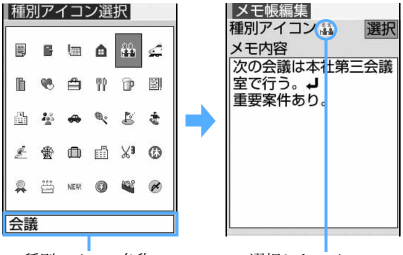
3 **メモ内容欄にメモ内容を入力（全角300文字（半角600文字）まで）**



■ **電卓で計算した数値を入力する：文字入力画面で Menu 4 5 ▶ 計算を行う ▶ ●**

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

4 **種別アイコン欄の「選択」を選択▶アイコンを選択**



種別アイコン名称　　選択したアイコン

5 **[田]を押す**

- メモ内容が入力されていないときは登録できません。

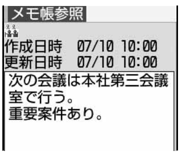
おしらせ

● メモ帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。miniSD メモリーカードを利用して、メモを保存できます（☛P336）。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

メモを確認する

1 **[Menu][7][2]**

2 **メモを選択**



- 電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。
- [田]を押すと、メモを編集できます。
- メモを作成した日時が作成日時に、メモを編集した日時が更新日時に自動的に登録されます。
- スライド編集設定でメモ帳を「ON」に設定している場合、FOMA端末を開くと、メモ帳編集画面が表示されます。

■ **メモを削除する：[Menu][1]▶「はい」を選択**

■ **メモからメールを作成する：[Menu][2]**

おしらせ

● メモ一覧画面からメモを1件削除する場合は、削除するメモを選び [Menu] を押し、「削除」を選択します。全件削除する場合は、[Menu] を押し、「全件削除」を選択し、端末暗証番号を入力します。

● メモ一覧画面からメールを作成する場合は、メールの本文にするメモを選び [Menu] を押し、「メール作成」を選択します。

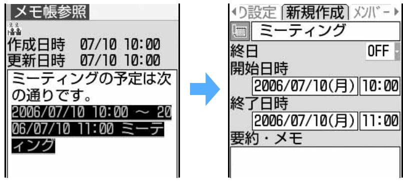
メモからスケジュールを登録する

Date To機能

メモ内容に入力したDate To形式の記述を選択するだけで、すばやくスケジュール帳に登録できます。たとえば、メールの本文にDate To形式の記述が含まれている場合は、本文をメモ帳にコピーしてスケジュールへ登録できます。

1 **[Menu][7][2]▶Date To形式で記述してあるメモを選択**

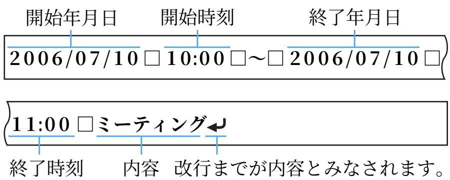
2 **Date To形式の記述を選択▶スケジュールを登録**



Date To形式

Date To はメモ内容に次の形式の文字列があるときに有効です。項目はすべて必須です。

例



- □は半角の空白を示します。画面には表示されません。
- 年月日と時刻は半角文字で入力してください。内容は全角100文字（半角200文字）まで入力できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
- 年は西暦、時刻は24時間制です。月や日が1～9のときや、時や分が0～9のときは前の0は省略できます。

電子辞典を利用する

- 電子辞典には、次の辞典が登録されています。
  - 明鏡モバイル国語辞典
  - Gモバイル和英辞典
  - Gモバイル英和辞典
- 検索履歴からも検索できます。検索履歴は最大20件記録されます。20件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。
- 凡例についてはマイドキュメントの「プリインストール」フォルダに保存されている「辞典機能」を参照してください。☛P356

例 明鏡モバイル国語辞典で「修める」を調べるとき

1 Menu 7 5

2 「明鏡モバイル国語辞典」を選択

3 入力欄を選択▶「おさめる」を入力

検索結果が表示されます。



- 入力文字は、全角20文字（半角40文字）までです。
- 検索結果の単語を選んでいるときに、他の単語を入力するときは(m)を押します。
- 見出し語が長い場合は、途中までしか表示されません。
- 単語によっては正しく検索できない場合があります。

■ **検索履歴から検索する：**

① Menu 1

② **単語を選択**



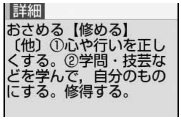
- 検索履歴が複数ページあるときは、(◎)でページを切り替えられます。
- １件削除する：単語を選ぶ▶Menu 1▶「はい」を選択
- 複数削除する：Menu 2▶単語を選択▶(m)▶「はい」を選択
- 全件削除する：Menu 3▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

■ **別の辞典で検索する：**Menu 2▶**別の辞典を選択▶検索**

4 「おさめる【修める】」を選択

- (◎)でページを切り替えられます。

5 詳細情報を確認



- 検索画面に戻る：(◎)
- 前後の見出し語の詳細情報：(◎)

■ **コピーする：**

① Menu 1

② **コピーする範囲の開始位置を選択▶終了位置を選択**

- 全文を選択する場合はMenu (◎)を押します。
- 開始位置を指定し直すときはch/クリアを押します。
- 開始位置指定後にMenu、(m)を押すとカーソルが文頭、文末に移動します。

おしらせ

● 詳細画面から別の辞典で検索する場合は、Menuを押し、「別の辞典で検索」を選択します。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

スイッチ付イヤホンマイク

イヤホンマイク端子に別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（平型ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりできます。また、スイッチはミュージックプレイヤーの操作にも使用できます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを押してもテレビ電話の発信やプッシュトークの操作はできません。
- イヤホンジャック変換アダプタP001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

平型スイッチ付イヤホンマイクなどをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクなどの接続プラグを差し込んでください。☛P27

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

・平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードをアンテナ部に近づけると、ノイズが入ることがあります。
・プラグは確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

スイッチを押して音声電話をかける

電話番号をイヤホンスイッチ設定で設定した電話帳のメモリ番号に登録しておくと、平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを押すだけで音声電話をかけられます。
・平型スイッチ付イヤホンマイクなどで電話をかけるときは、イヤホンスイッチ設定を「イヤホンスイッチ発信」に設定する必要があります。

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す

イヤホンスイッチ設定で設定したメモリ番号の1 件目に登録されている電話番号に音声電話がかかります。
・複数の電話番号を登録している場合は、1件目に登録している電話番号に電話がかかります。

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

おしらせ

● イヤホンスイッチ設定で設定したメモリ番号にシークレット属性を設定した場合は、シークレットモードに設定してから、操作してください。
● キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合でも、通話中に第三者の電話番号を入力し、スイッチを押しても電話はかけられません。スイッチを押すと、通話が終了しますのでご注意ください。
● FOMA端末とminiSDメモリーカード間でデータを移動またはコピーしている場合は、スイッチを押しても電話をかけられません。

スイッチを押して電話を受ける

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

・着信音はイヤホン切替設定で設定したところから聞こえます。

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

おしらせ

● テレビ電話を受けた場合、自画像が送信されます。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して通話中にFOMA端末を閉じた場合の動作は☛P66
● キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合は、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチを1秒以上押して出られます。

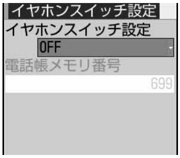
イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する
イヤホンスイッチ設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して電話をかけるときの相手をFOMA端末電話帳のメモリ番号で設定します。または、イヤホンスイッチを1秒以上押してミュージックプレイヤーを起動するように設定します。
・ミュージックプレイヤーの操作については☛P363

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 6 5 3

2 イヤホンスイッチ設定欄を選択▶1



・ミュージックプレイヤーを起動する：2▶操作5に進む
・解除する：3▶操作5に進む

3 電話帳メモリ番号欄を選択

4 相手を選択

5 (m)を押す

おしらせ

● 本機能で設定しているメモリ番号の電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、本機能は解除されます。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける
オート着信機能設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているとき、かかってきた電話を自動的に受けるかどうかを設定します。
音声電話やテレビ電話を自動的に受けると、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
・通話中の着信は、本機能が設定されていても動作しません。
・公共モード（ドライブモード）中は、本機能は動作しません。
・プッシュトークを自動着信するには☛P107

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 6 5 2

2 **自動着信機能欄を選択▶[1]**

・解除する：[2]▶操作4に進む

3 **自動着信機能時間（秒）欄を選択▶自動着信するまでの時間を入力（0～120秒）**

4 **[Ⅲ]を押す**

おしらせ

● テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択で設定した代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。

● 本機能と伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスを同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。

● オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。

● 自動着信機能時間を呼出動作開始時間設定の時間以内に設定すると、電話帳に登録していない相手から電話がかかってきた場合は、オート着信機能は動作しません。

イヤホンからのみ着信音を鳴らす

イヤホン切替設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンからのみ鳴らすように設定します。

お買い上げ時　イヤホン＋スピーカー

1 [Menu][8][6][5][1]

2 **[2]を押す**

・イヤホンとスピーカーの両方から着信音を鳴らす：[1]

おしらせ

● 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、本設定に関わらず、スピーカーから鳴ります。

●「イヤホンのみ」に設定した場合でも、着信音の開始から約20秒経過しても電話に出なかったり、プッシュトークに応答しないと、スピーカーからも着信音が鳴ります。

利用する通信事業者を設定する

NW検索方法

FOMAサービスを提供する通信事業者を設定します。自動検索で設定するか手動設定するかを選択できます。手動選択にするときは、通信事業者を指定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　ネットワーク自動検索

1 [Menu][8][8][5]

2 **各項目を選択して設定**

検索方法：

ネットワークの検索方法を設定します。

・「ネットワーク自動検索」に設定したときは、手動選択は設定できません。

手動選択：

通信事業者を設定します。

・ドコモ以外の通信業者は選択できません（2006年11月現在）。

3 **[Ⅲ]を押す**

電源を入れたときの起動時間を短縮する

クイック起動設定

お買い上げ時　ON

1 [Menu][8][8][7]

2 **[1]を押す**

・解除する：[2]

おしらせ

●「ON」に設定していても、次の場合は通常の起動時間がかかります。

・電池残量が2以下のとき

・電池パックを取り付け直したとき

・電源を切ってから24時間が経過したとき

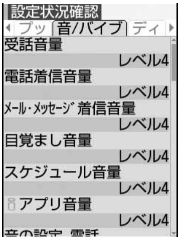
また、待受画面以外で電源を切ったときや、電源を入れた直後の[アイコン]が表示されている間に電源を切ったときも、通常の起動時間がかかる場合があります。

各種機能の設定状況を確認する
設定状況確認

・PIMロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。

1 Menu 8 4 2

2 ◎で各種設定状況を確認



・◎で画面が切り替わります。

各種機能の設定をリセットする
各種設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

・設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。「メニュー一覧」に記載されていない機能やデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。
　・基本設定を選択したとき：
　　マナーモード、公共モード（ドライブモード）、上限通知アイコン、顔文字の入力履歴、絵文字・記号の入力履歴
　・フルブラウザ設定を選択したとき：
　　Cookie 情報、ポインターモード、ビューポジション設定、文字列検索の設定
　・変換学習データを選択したとき：
　　入力予測機能で登録されたデータ

1 Menu 8 4 5

2 端末暗証番号を入力▶項目を選択



3 ▶「はい」を選択

おしらせ

● ｉモード設定をリセットした場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面でch/クリアを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

登録データを一括して削除する
データ一括削除

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

・保護したデータも削除されます。
・データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、データ一括削除できないことがあります。
・お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
　・電子マネー「Edy」、ケータイクレジット「iD（アイディ）」、「DCMX」クレジットアプリ以外のｉアプリ
　・キャラ電
　・データBOX内の「デコメールピクチャ」と「アイテム」フォルダ内の画像
・保存・登録した次のデータは削除されます。
　・着もじメッセージ（送信メッセージ履歴含む）
　・メールテンプレート　・メールグループ
　・ブックマーク　・URL入力
　・URL履歴　・画面メモ
　・ラストURL
　・ｉチャネル（受信した情報）
　・ｉアプリ　・ｉアプリの履歴表示
　・電話帳データ（プッシュトーク電話帳含む）
　・電話帳お預かりサービスの電話帳通信履歴
　・着信履歴　・リダイヤル
　・音声メモ
　・バーコードリーダーで読み取ったデータ
　・トルカ　・メモ帳
　・通話時間　・単語・定型文
　・USSD登録　・応答メッセージ登録
　・自局番号（自局電話番号以外）
　・辞典の検索履歴
　・作成したフォルダ・アルバム
　・メッセージR/F　・ｉモードメール
　・チャットメール　・SMS
　・伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
　・データBOX内の「プリインストール」、「メール添付メロディ」フォルダ以外のデータ
　・ダウンロード辞書
　・スケジュール
　・ICカードロック設定の音声データ

つづく

・各種設定リセットの対象となる機能※1と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
・メール振り分け設定　・伝言メモ設定
・チャットメール画面から行う設定
・カメラ　・ビデオカメラ
・サウンドレコーダー　・端末暗証番号
・プライバシーモード設定　・日付時刻設定
・テレビ電話使用機器設定
・通話料金自動リセット設定
・通話中着信動作選択　・メニュー設定
・変更したフォルダ名　・カスタムメニュー
・ブックマークのツータッチサイト登録
・ｉアプリのソフト一覧から行う設定
・電話帳から行う設定
・電話帳お預かりサービスの送信設定
・スケジュール帳から行う設定
・マイピクチャ・ｉモーション・メロディ・キャラ電・マイドキュメントの各動作設定
・赤外線通信のデータ送受信設定
・ミュージックプレイヤーのプレイヤー設定
・目覚まし
・ソフトウェア更新（予約更新）
※１：送達通知を除くSMS設定とCA証明書１～９を除く証明書表示／使用設定は戻りません。

1 Menu 8 4 6 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」を選択

再起動中にデータ一括削除されます。

おしらせ

● 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
・おサイフケータイ対応ｉアプリとその関連データ
・FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータ
・パソコンから設定したデータ通信の設定
● 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約１分程度かかるときがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
● データ一括削除を行った場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で ch/クリア を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。
● お買い上げ時に登録されているデータ・ｉアプリを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます（☛P426）。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

ネットワークサービス

FOMA端末から利用できるネットワークサービス
.... ネットワークサービス 394
留守番電話サービスを利用する .... 留守番電話 394
キャッチホンを利用する .... キャッチホン 395
転送でんわサービスを利用する .... 転送でんわ 396
迷惑電話ストップサービスを利用する .... 迷惑電話ストップサービス 396
番号通知お願いサービスを利用する .... 番号通知お願いサービス 397
デュアルネットワークサービスを利用する .... デュアルネットワーク 397
ガイダンスを日本語と英語で切り替える .... 英語ガイダンス 397
サービスダイヤルを利用する .... サービスダイヤル 398
通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する 398
遠隔操作を設定する .... 遠隔操作 398
マルチナンバーを利用する .... マルチナンバー 399
新しいネットワークサービスを登録する .... 追加サービス（USSD登録）400

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス　ネットワークサービス

本書では各ネットワークサービスの概要説明のみ記載しております。

サービス名	申し込み	月額使用料	参照
留守番電話サービス	必要	有料	P394
キャッチホン	必要	有料	P395
転送でんわサービス	必要	無料	P396
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P396
番号通知お願いサービス	不要	無料	P397
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P397
英語ガイダンス	不要	無料	P397
マルチナンバー	必要	有料	P399
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P74
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P76

- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA 端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。☛P400

留守番電話サービスを利用する　留守番電話

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどにかかってきた音声電話やテレビ電話を、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。

- 応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続し、伝言メッセージをお預かりします。伝言メッセージがあることは、待受画面のアイコンでお知らせします。
- 伝言メッセージの録音／録画時間は１件につき最大３分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大２０件で、最大７２時間保存されます。
- 留守番電話サービスを開始に設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。着信音の鳴っている時間（呼出時間）は変更できます。ただし、呼出時間を0秒に設定した場合、着信履歴は記録されません。
- 着信中の音声電話やテレビ電話を手動で留守番電話サービスセンターに転送できます。☛P64、P86

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ **1**：サービスを開始に設定する

ステップ **2**：電話をかけてきた方が伝言を録音する

ステップ **3**：伝言メッセージを再生する

操作方法

1 Menu 8 9 1

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
留守番サービス開始	1 1 ▶「はい」を選択▶「はい」を選択▶呼出時間を入力（0～120秒）
留守番呼出時間設定	1 2 ▶「はい」を選択▶呼出時間を入力（0～120秒）
留守番サービス停止	1 3 ▶「はい」を選択
留守番設定確認	1 4 ▶「はい」を選択
留守番メッセージ再生	新しい伝言メッセージがあると待受画面に（数字は件数）が表示されます。 1 5 ▶「はい」を選択▶音声ガイダンスの指示に従う
留守番サービス設定	1 6 ▶「はい」を選択▶音声ガイダンスの指示に従う
メッセージ問合せ	1 7 ▶「はい」を選択 新しい伝言メッセージがあると待受画面に（数字は件数）が表示されます。
件数増加鳴動設定 お買い上げ時 件数通知音：ON 通知メロディ：メール・メロディB	相手が新しい伝言メッセージを残した場合やメッセージ問合せを行ったときに伝言メッセージの件数が増えていた場合は、通知音が鳴るようにします。 ① 2 ▶件数通知音を選択 ② 1 ・鳴らさないとき：2 ▶操作④に進む ③ 通知メロディ欄を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択 ④ 皿を押す
着信通知開始	電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせします。 3 1 ▶「はい」を選択▶「はい」／「いいえ」を選択 「はい」：発信者番号通知の着信のみ通知します。 「いいえ」：すべての着信を通知します。
着信通知停止	3 2 ▶「はい」を選択
着信通知開始設定確認	3 3 ▶「はい」を選択

項　目	操作方法
表示消去	4▶「はい」を選択 伝言メッセージの件数を示すアイコンが消えます。

おしらせ

- 留守番設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。
  Menu 1：留守番電話サービス開始
  Menu 2：留守番電話サービス停止
  Menu 3：留守番電話呼出時間設定
- 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面からすばやく再生できます。☛P37
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- テレビ電話で留守番電話サービスを利用するには、音声電話で「1412」をダイヤルしてください。※1
- 留守番電話サービスは、32Kによるテレビ電話には対応していません。
- キャラ電で留守番電話サービスセンターに接続された場合、サブメニューからDTMF送信に切り替えて操作してください。☛P85
- テレビ電話で新しい伝言メッセージをお預かりしたときはSMSでお知らせします。

キャッチホンを利用する

キャッチホン

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。通話中の電話を保留にして、第三者と通話できます。

1 Menu 8 9 2

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
キャッチホン開始	1▶「はい」を選択
キャッチホン停止	2▶「はい」を選択
キャッチホン設定確認	3▶「はい」を選択

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 **通話中に☎**

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話に出られます。

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- 通話相手を切り替える：☎
- ☺を押すと現在通話中の相手も保留にできます。再度☺を押すと解除されます。
- 保留中の通話を終わらせる：キャッチホン中（マルチ接続中）にMenu 1

2 **一方の相手との通話が終わったら☎を押す**

通話が終了し、着信音が鳴ります。

- 保留中の相手との通話を再開する：☎

通話を終わらせて、かかってきた電話に出る

1 **通話中に☎**

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 **☎を押す**

新しくかかってきた電話と通話できます。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 **通話中に電話番号を入力**

- 電話番号入力の代わりに、◎を押すと着信履歴から、◎を押すとリダイヤルから、📖を押すと電話帳から相手を選ぶことができます。

2 ☎

新しくかけた相手と通話できます。お話し中の通話は自動的に保留になります。

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- 通話相手を切り替える：☎
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、☺を押すと現在通話中の相手も保留にできます。再度☺を押すと解除されます。
- 保留中の通話を終わらせる：キャッチホン中（マルチ接続中）にMenu 1

3 **新しくかけた相手との通話が終わったら☎を押す**

通話が終了し、着信音が鳴ります。

- 保留中の相手との通話を再開する：☎

おしらせ

- マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けられません。着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわサービスを利用する

転送でんわ

電波が届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、FOMA端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどに自動的に転送します。

- 転送でんわサービスを開始に設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。着信音の鳴っている時間（呼出時間）は変更できます。ただし、呼出時間を0秒に設定した場合、着信履歴は記録されません。
- 着信中の電話を手動で転送できます。☛P64

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ **1**：転送先の電話番号を登録する

ステップ **2**：転送でんわサービスを開始に設定する

ステップ **3**：お客様のFOMA端末に電話がかかる

ステップ **4**：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

操作方法

1 Menu 8 9 3

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
転送サービス開始	1 ▶「はい」を選択 ▶「はい」を選択 ▶ 転送先電話番号を入力（26桁まで）▶ 📖 ▶「はい」を選択 ▶ 呼出時間を入力（0～120秒） ・電話番号の入力欄を選択する前に、Menu を押すと電話帳から、✉ を押すとリダイヤルから、📞 を押すと着信履歴から電話番号を設定できます。
転送サービス停止	2 ▶「はい」を選択
転送先変更	3 ▶ 転送先電話番号を入力 ▶ 📖 ▶「はい」を選択
転送先通話中時設定	転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応するように設定します。 4 ▶「はい」を選択 ・解除するとき：「いいえ」を選択
転送サービス設定確認	5 ▶「はい」を選択

転送ガイダンスの有･無を設定する

1 1 4 2 9 発信 ▶ **音声ガイダンスの指示に従う**

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

- 着信拒否登録した電話番号からプッシュトークの着信があった場合、ガイダンスは流れず、切断します。

1 Menu 8 9 9 4

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した電話番号を着信拒否登録します。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。 1 ▶「はい」を選択
電話番号指定拒否登録	2 ▶「はい」を選択 ▶ 電話番号を入力（22桁まで）▶ 📖 ▶「はい」を選択 ・電話番号の入力欄を選択する前に、Menu を押すと電話帳から、✉ を押すとリダイヤルから、📞 を押すと着信履歴から電話番号を設定できます。
迷惑電話全登録削除	3 ▶「はい」を選択
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を 1 件のみ削除します。 4 ▶「はい」を選択
拒否登録件数確認	5 ▶「はい」を選択

番号通知お願いサービスを利用する
番号通知お願いサービス

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスで応答します。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を利用できます。

- プッシュトークの着信があった場合、ガイダンスは流れず、切断します。

1 Menu 8 9 6

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
番号通知開始	1 ▶「はい」を選択
番号通知停止	2 ▶「はい」を選択
番号通知確認	3 ▶「はい」を選択

デュアルネットワークサービスを利用する
デュアルネットワーク

お使いになっている FOMA 端末の電話番号で、mova端末を利用できます。これによってFOMAサービスエリア外であっても、movaサービスエリア内であれば、mova端末で音声電話などが利用できます。

- FOMAとmovaを同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態のFOMA端末またはmova端末から行います。

mova端末を使えるようにする

1 **mova端末で「1540」をダイヤル**

2 **ガイダンスに従って操作**

FOMA端末を使えるようにする

mova 端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替える操作です。

1 Menu 8 9 9 6

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
デュアルネットワーク切替	1 ▶「はい」を選択▶ネットワーク暗証番号を入力
デュアルネットワーク状態確認	2 ▶「はい」を選択

ガイダンスを日本語と英語で切り替える
英語ガイダンス

発着信時の音声ガイダンスなど各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを英語に設定できます。

- 利用できる言語は、「日本語」と「英語」です。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

1 Menu 8 9 9 5

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
ガイダンス設定	① 1 ▶「はい」を選択 ② 1 ～ 2 日本語： 発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。 英語： 発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。 ③「はい」を選択▶ 1 ～ 3 日本語： 着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。 日本語＋英語： 着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。 英語＋日本語： 着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。
ガイダンス設定確認	2 ▶「はい」を選択

サービスダイヤルを利用する
サービスダイヤル

ドコモ故障窓口やドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

・お使いのFOMAカードによっては、ドコモ故障窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。☛P41

1 Menu 8 9 9 7

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
ドコモ故障問合せ	1 ▶「はい」を選択 ドコモ故障問合せに電話がかかります。
ドコモ総合案内・受付	2 ▶「はい」を選択 DoCoMo インフォメーションセンターに電話がかかります。

通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する

音声電話通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

1 Menu 8 9

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
通話中着信動作選択 お買い上げ時 通常着信	通話中に電話がかかってきたときの対応方法を設定します。 8 ▶ 1 ～ 4 **通常着信：** 通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話に応答したり、留守番電話サービスセンターや転送でんわサービスで登録した転送先に転送できます。 **留守番電話：** 通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話に留守番電話サービスで応答します。 **転送でんわ：** 通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を転送します。 **着信拒否：** 通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を着信拒否します。
通話中着信設定開始	通話中着信動作選択で設定した対応方法を有効にします。 7 1 ▶「はい」を選択
通話中着信設定停止	7 2 ▶「はい」を選択
通話中着信設定確認	7 3 ▶「はい」を選択

おしらせ

● 通話中着信動作がいずれの設定の場合でも、着信履歴に記録されます。

遠隔操作を設定する
遠隔操作

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 Menu 8 9 9 3

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
遠隔操作開始	1 ▶「はい」を選択
遠隔操作停止	2 ▶「はい」を選択
遠隔操作設定確認	3 ▶「はい」を選択

マルチナンバーを利用する

マルチナンバー

基本契約番号のほかに、付加番号１と付加番号２の最大２つの番号を追加してご利用になれます。

1 Menu 8 9 9 8

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
通常発信番号設定	通常発信番号設定を切り替えると、設定した番号で電話をかけられます。 1 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」を選択
通常発信番号設定確認	2 ▶「はい」を選択
電話番号設定 お買い上げ時 基本契約番号：基本契約番号／自局電話番号 付加番号１：付加番号１／未登録 付加番号２：付加番号２／未登録 マルチナンバー発信：無効	マルチナンバー契約済み電話番号の設定をします。 ① 3 ▶**各項目を選択して設定** **名称：** 付加番号１／付加番号２ごとに設定できます（全角 10 文字（半角 20 文字）まで）。基本契約番号の名称は、自局番号で設定した名前が表示されます。 **電話番号：** 契約済みの付加番号１／付加番号２を設定します。 **マルチナンバー発信：** 「有効」にすると、電話をかけるときに、発信オプションで相手に通知する番号を選べます。 ② ⓜ**を押す**
着信設定 お買い上げ時 OFF	付加番号ごとに着信音などを設定します。 ① 4 ▶ 1 ～ 2 ▶**各項目を選択して設定** **個別設定：** 個別に着信設定するかどうかを選択します。 •「OFF」に設定すると以下は設定できません。 **着信音、イメージ表示：** 設定方法は☛P71 ② ⓜ**を押す**

相手に通知する番号を選んで発信する

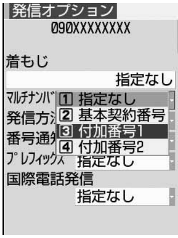
電話をかけるときに、発信オプションで相手に通知する番号を選べます。

1 電話番号を入力▶ Menu 4

• リダイヤルから発信する：◎▶リダイヤルから相手を選ぶ▶ Menu 5

• 着信履歴から発信する：◎▶着信履歴から相手を選ぶ▶ Menu 5

2 マルチナンバー欄を選択▶相手に通知する番号を選択



•「指定なし」を選択すると、通常発信番号設定に従って発信します。

• 電話番号設定のマルチナンバー発信を「無効」にすると、発信番号を選択できません。

3 Menu ▶**「はい」を選択**

おしらせ

● FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称・電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。

● 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号１／付加番号２）に対応した名称が表示されます。ただし、発信オプションでマルチナンバーを指定しない発信など、通常発信番号設定に従った発信の場合は、マルチナンバーに対応した名称は表示されません。

● リダイヤルには、発信時に通知したマルチナンバーに対応した名称が表示されます。

● 着信履歴には、着信したマルチナンバーに対応した名称が表示されます。

● リダイヤルや着信履歴から発信する場合、発信・着信したときのマルチナンバーに対応した名称が表示されているときは、その番号で発信します。表示されていないときは、通常発信番号設定に従って発信します。

新しいネットワークサービスを登録する
追加サービス（USSD登録）

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、メニューに登録して利用します。

1 Menu 8 9 9

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
USSD登録	■ 登録する： 1▶ サービスを登録・変更する番号を選ぶ▶(m)▶USSDコード欄を選択▶USSDコードを入力▶名称欄を選択▶サービス名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶(m) • 最大10件登録できます。 • USSDコード欄には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。 ■ サービスを利用する： 1▶1～9、0 登録されたコードがサービスセンターに発信されます。 ■ 登録したサービスを削除する： 1▶サービスを選ぶ▶Menu 1（全件削除するときはMenu 2）▶「はい」を選択
応答メッセージ登録	追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。 ■ 登録する： 2▶1～9、0▶USSDコード欄を選択▶USSDコードを入力▶応答メッセージ欄を選択▶メッセージを入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶(m) • 最大10件登録できます。 ■ 登録したメッセージを削除する： 2▶サービスを選ぶ▶Menu 1（全件削除するときはMenu 2）▶「はい」を選択

データ通信

データ通信について 402
データ通信の準備の流れ 403
ATコマンドについて 404

データ通信について、詳しくは添付のCD-ROM内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。PDF版「データ通信マニュアル」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0 以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信の形態や利用時の留意点について説明します。

- FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion Ⅱ」や「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion Ⅱ」や「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

利用できる通信形態

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。
これらの通信は、添付のCD-ROMから関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA 端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

■ パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速で送受信するのに適しています。ネットワークに接続していても、データを送受信していないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera U / moperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大 384kbps、送信最大64kbps の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ 64Kデータ通信

64Kデータ通信は64kbpsの安定した通信速度でデータ送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmopera U / moperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用します。
長時間にわたる通信をした場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

FOMA USB 接続ケーブル（別売）を使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降、プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera U / moperaをご利用いただけます。mopera Uは、お申し込みが必要（有料）です。ブロードバンド接続や国際ローミングなどに対応し、使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、moperaは、お申し込み不要、月額使用料無料です。今すぐインターネットに接続できます。利用料などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはFOMA のパケット通信に対応した接続先、64K データ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- PIAFS などの PHS64K ／ 32K データ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（ID とパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークで ID とパスワードを入力して接続してください。ID とパスワードはプロバイダまたは社内 LAN など接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

FirstPass（ユーザー証明書）の認証を行う場合は添付の CD-ROM から FirstPass PC ソフトをインストールし、設定してください。詳しくは添付の CD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。
「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、

アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードしてください（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

■ **FirstPass PCソフトの動作環境**

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ※1	Windows 98SE、Me、2000：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※1	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上 Windows XPの場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0以上

※1：パソコンのシステム構成によって異なります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の用語集

● 管理者権限

Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

● APN（Access Point Name）

パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。mopera Uは「mopera.net」が、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

● cid（Context Identifier）

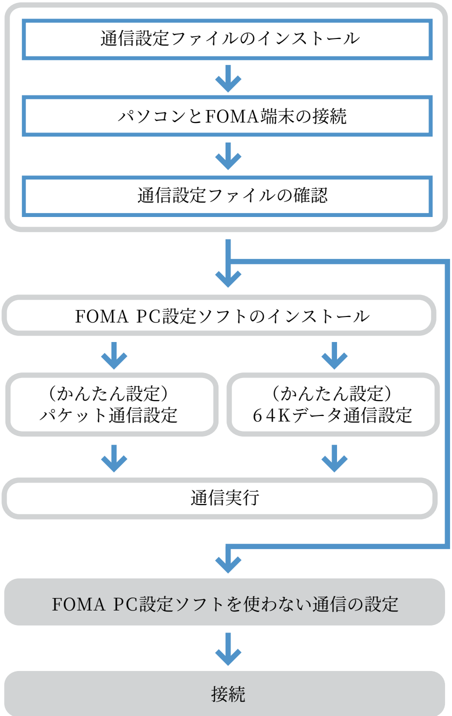
パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
お買い上げ時、cid 1には「mopera.ne.jp」、cid 3には「mopera.net」が登録されています。

● W-TCP

FOMA ネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信または64Kデータ通信を利用する場合の準備は次のような流れになります。



通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続して、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

動作環境について

通信設定ファイルおよびFOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS	Windows 98、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ	Windows 98、Me：32MB以上 Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量

※1：USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。

おしらせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用やOSアップグレードによる問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。
FOMA端末は、ATコマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
ATコマンドの詳細は添付のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

文字入力

文字入力について 406
かな入力方式で文字を入力する .... かな入力方式 407
定型文を登録する .... 定型文登録 411
文字をコピー／切り取りして貼り付ける .... 文字コピー 412
区点コードで入力する .... 区点コード入力 412
よく使う単語をあらかじめ登録する .... 単語登録 412
ダウンロードした辞書を使用する .... ダウンロード辞書 413
スロット入力方式で文字を入力する .... スロット入力方式 413
入力方法を設定する .... 入力設定 414

文字入力について

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

- 文字の入力方式には「かな入力方式」と「スロット入力方式」があります。
  かな入力方式は、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。☛P427
  スロット入力方式は、スロット入力ボードに表示された文字から、入力文字を指定します。☛P413
- 入力方式によって、入力できる文字の種類は異なります。

○：入力可　×：入力不可　－：入力文字なし

入力方式 ＼ 文字の種類	かな入力方式		スロット入力方式	
	全角	半角	全角	半角
ひらがな／漢字	○	－	○	－
カタカナ	○	○	×	○
英字	○	○	×	○
数字	○	○	×	○
記号	○	○	○	○
絵文字	○	－	○	－

- 文字の種類には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字や全角の空白、改行は、半角文字 2 文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力できます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字・第二水準漢字です。
- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 本書では最後に を押す操作も含めて「入力する」（操作文では「入力」）と表記しています。

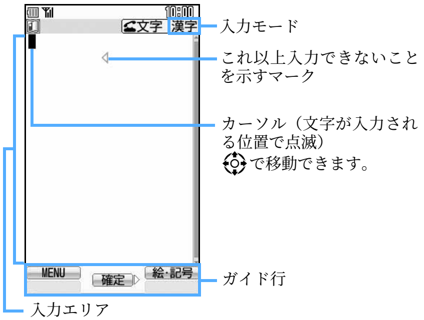
文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、「全画面入力」と「インライン入力」の2種類があります。

- 入力欄によっては、どちらか一方しか利用できない場合があります。
- 貼り付けや定型文入力などで、入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

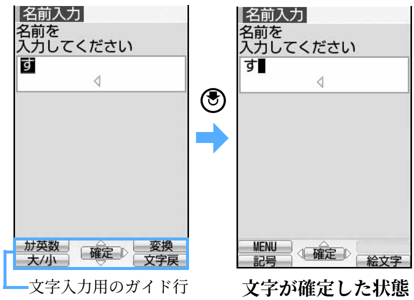
全画面入力

入力欄を選び を押すと、入力エリアが全画面表示されます。



インライン入力

入力欄を選び 0～9、*、# を押し、文字を直接入力します。 を押すと文字が確定します。



文字入力画面のサブメニュー

文字入力画面で を押します。次の操作ができます。ただし、文字が確定される前はサブメニューは表示されません。

- 文字のコピー ☛P412
- 文字の切り取り☛P412
- コピー／切り取りした文字の貼り付け☛P412
- 単語登録☛P412
- 定型文登録☛P411
- 文字入力の設定☛P414
- 電話帳データや自局番号の内容、電卓の計算結果、バーコードリーダーを起動して読み取ったデータの引用（入力欄によって表示される項目が異なります）☛P410
- 絵文字・記号の入力☛P410
- 顔文字・定型文の入力☛P409
- 区点コードでの入力☛P412
- 文字編集入力の終了（スロット入力方式で文字を入力中にのみ表示されます）

入力モードを切り替える

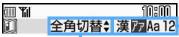
を押すと入力モードの表示が次のように切り替わります。

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。



で入力モードが切り替えられることを示します。

入力モード（現在の状態）
漢字：ひらがな／漢字
全ｶﾅ：全角カタカナ※1
全英：全角英字※1
全数：全角数字※1
半ｶﾅ：半角カタカナ
半英：半角英字
半数：半角数字※1

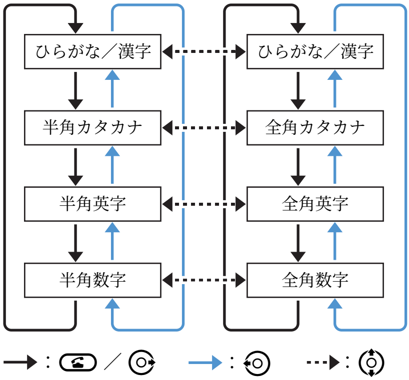


で全角／半角の切り替えができることを示します。

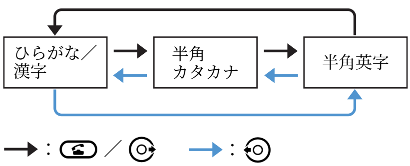
入力モード（選択途中の入力モードが反転表示されます）
漢　：ひらがな／漢字
ア　：全角カタカナ※1
A　：全角英字※1
1　：全角数字※1
ｱｧ　：半角カタカナ
Aa：半角英字
12：半角数字※1

※1：スロット入力方式では切り替えできません。

- ひらがなしか入力できないときの入力モードは「全かな」と表示されます。
- を押した後は、以下の操作で入力モードが切り替わります。



- スロット入力時は以下のように切り替わります。



かな入力方式で文字を入力する

かな入力方式

文字を入力する

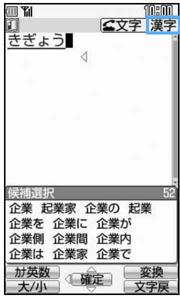
かな漢字変換

例 電話帳の登録で「企業」と入力するとき

1 名前の入力欄を選ぶ▶

文字入力画面が表示されます。

2 「きぎょう」と入力



「漢字」と表示

「き」：2を2回
を押して、カーソルを1つ右に移動します（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません）。
「ぎ」：2を2回▶
「ょ」：8を3回▶
「う」：1を3回

- キーを押し間違えたときは を押して取り消します。
- 文字に「゛」「゜」を付ける：文字を入力▶
たとえば、「ほ」を入力して を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」と切り替わります。「゛」「゜」が付けられない文字のときは、「゛」「゜」が全角で入力されます。
- を押すと、大文字と小文字を切り替えられます。

■ **1つ前の文字に戻す：**
文字入力直後に を押すと1つ前の文字に戻すことができます。押すたびに、通常の文字入力順とは逆の順に文字が切り替わります（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）。ただし、濁点や半濁点を入力したときや、大文字と小文字を切り替えたときは、切り替わりません。

■ **ひらがなのまま確定する：**
ひらがなを入力した状態で操作4に進みます。

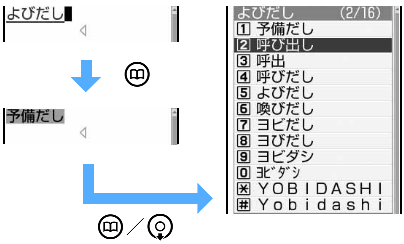
■ **カタカナや英数字などに変換する：**
Menu を押すと、カタカナ（全角／半角）や英字・数字（全角／半角）などの変換候補が表示されます。変換候補を選び操作4に進みます。

3 (辞書)



- 予測変換候補が表示されていないときは、(上下) でもかな漢字変換されます。予測変換☛P409
- ch/クリア を押すと、変換前の状態に戻ります。

■ **変換候補を一覧表示する：**
(辞書) を押しても目的の文字が表示されないときは、(上下) またはもう一度 (辞書) を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、(メール) を押すと次ページ、(iモード) を押すと前ページに切り替わります。(上下) で変換候補を選び (決定) を押すか、各候補に割り当てられている番号のダイヤルキーを押して選択します。



4 (決定)

文字が確定します。
- 入力設定の入力予測を「ON」に設定しているときは、「閉じる」を選択します。

■ **文字を挿入する：**
(方向) で挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ **文字を削除する：**
- カーソルが入力文字の途中にある場合
（例：ドコモ太郎）
  - ch/クリア を押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
  - ch/クリア を1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合
（例：ドコモ太郎█）
  - ch/クリア を押すと、カーソル位置の左の1文字が削除されます。
  - ch/クリア を1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

■ **改行する：**
改行する位置にカーソルを移動し、# を押します。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 (決定) を押す

文字入力が終了します。
- 文字を未入力の状態にするときは、すべての文字を削除してから (決定) を押します。新規に入力した場合は、すべての文字を削除してから ch/クリア を押してもできます。
- 入力済みの入力欄の内容を修正し、修正前の状態に戻したいときは、すべての文字を削除してから ch/クリア を押し、「はい」を選択します。

おしらせ

● 次の入力モードのときは、入力途中でキーを押さずに一定時間経過すると、自動カーソル機能によってカーソルが右に移動します。移動するまでの時間を変更したり、自動カーソル機能を使わないように設定できます。☛P414
- ひらがな／漢字
- 全角／半角カタカナ
- 全角／半角英字

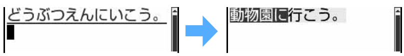
● 自動カーソル機能によってカーソルが右に移動した後でも次の操作ができます。
- ＊ ：濁点／半濁点を付ける
- (iモード) ：大文字／小文字を切り替える
- (メール) ：1つ前の文字に戻す

複数の文節を一括変換する

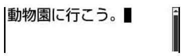
複数の文節を一括変換し、文章を簡単に入力できます。
- 全角で24文字まで変換できます。

例 「動物園に行こう。」と入力するとき

1 文字を入力 ▶ (辞書)



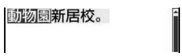
■ **全確定する：** Menu



■ **変換部分を確定する：** (決定)



■ **変換範囲を変更する：** (左右)



(左) を押したとき

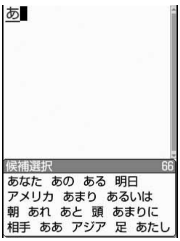
入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される機能です。
予測変換候補には、一度入力した単語が自動的に変換学習データとして登録されるので、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - 標準搭載の単語
  - かな漢字変換で入力した単語
  - ダウンロード辞書で変換入力した文字列
  - 単語登録した文字列
- 予測変換は、ひらがな／漢字モードのみで利用できます。ただし、インライン入力、スロット入力方式の場合は予測変換できません。
- 予測変換候補を表示しないように設定できます。☛P414

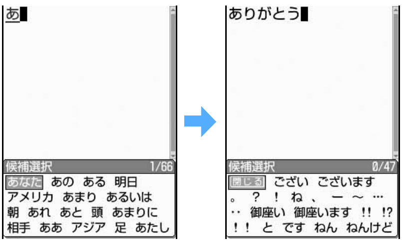
1 文字を入力

予測変換候補が表示されます。



- 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。

2 [◎]▶[✥]で候補を選ぶ▶[◉]



- 予測変換候補が選ばれているときは、次の操作ができます。
  [✉]／[✉]：前ページ／次ページ切り替え
  [📖]：かな漢字変換（予測変換候補は消えます）

3 「閉じる」を選択

予測変換候補が消えます。

変換学習データをリセットする

予測変換候補に登録された変換学習データをリセットします。

1 [Menu][8][8][3]▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

顔文字・定型文を入力する

顔文字や、あらかじめ登録されている文、絵文字ことばを入力します。

例 顔文字を入力するとき

1 文字入力画面で[Menu]▶「絵文字・記号・顔文字」を選択▶[3]

- 定型文を入力する：[Menu]▶「定型文・区点・引用」を選択▶[1]

2 [1]～[9]

- 定型文のとき：[1]～[7]



- 顔文字の入力履歴が利用できるときは[1]を選択できます。
- 定型文を作成した場合は、[7]を選択できます。

3 [1]～[0]、[✱]、[#]のいずれかを押す



- [✥]でページを切り替えられます。
- 定型文の内容を確認する：定型文を選ぶ▶[📖]

- 顔文字の入力履歴は最大18件まで表示されます。18件を超えると、古いものから順に消去されます。

おしらせ

- 顔文字はひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。☛P429
- 顔文字を使ったメールを送信する場合、相手の端末のディスプレイの大きさ、表示文字数やフォントによっては、形が崩れたり、見えかたが異なるなど、正しく表示されない場合があります。
- 「定型文一覧」☛P428

絵文字・記号を入力する

1 文字入力画面で[m]

絵文字1の一覧が表示されます。



履歴表示エリア（絵文字1、絵文字2、全角記号、半角記号の最初のページにだけ表示されます）

- 絵文字2を入力するには[m]を押して切り替えます。さらに[m]を押すと絵文字1に戻ります。
- 半角記号を入力するには[Menu]を押して切り替えます。さらに[Menu]を押すと全角記号に切り替わります。記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。
- [i]または[✉]を押して複数のページを切り替えます。
- 一覧からの入力を終了する：[ch/クリア]
- 履歴表示エリアには絵文字または記号が最大10文字まで表示されます。10文字を超えると、古いものから順に消去されます。

2 絵文字・記号を選択

おしらせ

- 文字入力画面で[Menu]を押し「絵文字・記号・顔文字」→「絵文字」または「記号」を選択しても入力できます。
このとき[m]を押すと履歴表示エリアの上に連続入力エリアが表示され、絵文字の場合は10文字まで、記号の場合は全角10文字（半角20文字）まで連続入力できます。[m]を押して確定します。また、次のかっこの左側（例：｛）を1つだけ選択した場合は、右側のかっこ（例：｝）も自動的に入力されます。
() [] {}「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】
- 一部の記号は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

読み	入力できる記号
ぎりしあ	ギリシア文字
ろしあ	ロシア文字
すうじ	①～⑳、Ⅰ～Ⅹ
けいせん	罫線記号
きごう	上記を除く全角記号

- 絵文字は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。☛P432
- 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字2を入力してメールを送信すると、相手の端末によっては正しく表示されない場合があります。

データを引用して文字を入力する

電話帳データや自局番号の登録内容、電卓の計算結果やバーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力します。

- 引用できない文字入力画面では、メニュー項目が薄く表示されたり、メニュー項目自体が表示されないため操作できません。

電話帳データの内容を引用する

- 文字入力画面を全画面入力に切り替えて操作してください。
- 電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 文字入力画面で[Menu]▶「定型文・区点・引用」を選択▶[3]▶電話帳データを選択

2 内容を選択



- 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容を選び[m]を押します。[●]を押すと引用できます。

自局番号の内容を引用する

- 自局番号の文字入力画面では、自局番号を引用できません。

1 文字入力画面で[Menu]▶「定型文・区点・引用」を選択▶[4]

2 端末暗証番号を入力 ▶ 自局番号の内容を選択



- 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容を選び ⓜ を押します。● を押すと引用できます。

電卓の計算結果を引用する

- 引用できるのは、スケジュール帳とメモ帳の文字入力画面です。

1 文字入力画面で Menu ▶「定型文・区点・引用」を選択 ▶ [5]

2 計算を行う ▶ ● を押す

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

- 引用できるのは、URL入力画面とｉモード中またはフルブラウザ中の文字入力画面です。

1 文字入力画面で Menu ▶「定型文・区点・引用」を選択 ▶ [5]

起動時に接写撮影になります。

2 JANコードまたはQRコードを読み取る

3 ● を押す

読み取りデータの文字列が入力されます。

定型文を登録する

定型文登録

登録した定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 最大50件登録できます。

1 Menu [8][8][1][2][7]

2 「<新しい定型文>」を選択

定型文編集画面が表示されます。

- 登録済みの定型文を修正する：定型文を選択
- 登録済みの定型文を確認する：定型文の一覧で定型文を選ぶ ▶ ⓜ
  ● を押すと編集できます。

■ 定型文を削除する：削除する定型文を選ぶ ▶ Menu ▶「はい」を選択

3 本文欄を選択 ▶ 定型文を入力（全角64文字（半角128文字）まで）

4 ⓜ を押す

- 登録済みの定型文を修正したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、中止するときは「いいえ」を選択します。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 文字入力画面で Menu ▶「単語・定型文登録」を選択 ▶ [2]

2 開始位置を選ぶ ▶ ●

- 全文を選択する：Menu ● ▶ 操作4に進む
- メール本文の入力画面で全文を選択する：✉ ▶ 操作4に進む

3 終了位置を選ぶ ▶ ●

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する：Menu ●
- 開始位置から文末までを選択する：ⓜ ●

4 ⓜ を押す

おしらせ

- 文字入力中に登録する操作を、文字が入力されていない場合に行うと、すぐに定型文編集画面が表示されます。
- 定型文が既に50件登録されている場合は、定型文登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの定型文を修正してください。
- 上記操作で選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  - 空白のみ　　　　　：定型文として登録不可
  - 文字列の前後に空白　：文字列のみ有効
  - 文字と文字の間に空白：空白も有効

文字をコピー／切り取りして貼り付ける
文字コピー

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーまたは切り取った文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーまたは切り取りを行うと内容は上書きされます。

文字をコピー／切り取りする

例 文字をコピーするとき

1 文字入力画面で[Menu][1]
- 文字を切り取る：[Menu][2]
- メール本文の入力画面では[Menu]を押し、「コピー」／「切り取り」を選択します。

2 開始位置を選ぶ▶[決定]
- 全文を選択する：[Menu][決定]
- メール本文の入力画面で全文を選択する：[メール]

3 終了位置を選ぶ▶[決定]を押す

選択した範囲の文字がコピーされます。
- 開始位置から文頭までを選択する：[Menu][決定]
- 開始位置から文末までを選択する：[電話帳][決定]

文字を貼り付ける

- 貼り付けたとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数を超えない文字だけが貼り付けられます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置を選ぶ▶[Menu][3]を押す
- メール本文の入力画面では[Menu]を押し、「貼り付け」を選択します。

おしらせ

● コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは、貼り付けられません。たとえば、メールアドレス欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。

● 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、改行が空白に置き換えられます。

区点コードで入力する
区点コード入力

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

例「携」（区点コード 2340）を入力するとき

1 文字入力画面で[Menu]▶「定型文・区点・引用」を選択▶[2]

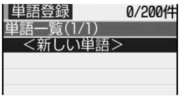
2 4桁の区点コードを入力（この場合は[2][3][4][0]）
- 有効な区点コードは0101～8406です。
- 対応する文字、数字、記号がない区点コードの入力は無効です。

よく使う単語をあらかじめ登録する
単語登録

文字の変換のときに、登録した読みで簡単に呼び出せます。
- 最大200件登録できます。

1 [Menu][8][8][1][1]

2 「<新しい単語>」を選択



- 登録済みの単語を修正する：修正する単語を選択
- 登録済みの単語を確認する：単語を選ぶ▶[電話帳]
  [決定]を押すと編集できます。

■ **単語を削除する：**
①**削除する単語を選ぶ▶[Menu]**
②**「削除」を選択**
- 全件削除する：「すべて削除」を選択

3 単語欄を選択▶登録する単語を入力（全角12文字（半角24文字）まで）



- 登録できる文字の種類は次のとおりです。
  - ・ひらがな／漢字　・全角／半角カタカナ
  - ・全角／半角英字　・全角／半角数字
  - ・全角／半角記号　・絵文字

4 読み欄を選択▶読みを入力（全角8文字まで）

- ひらがなのみ入力できます。

5 (辞書)を押す

- 登録済みの単語を修正したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を選択します。元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 文字入力画面で(Menu)▶「単語・定型文登録」を選択▶[1]

2 開始位置を選ぶ▶(決定)

- 全文を選択する：(Menu)(決定)▶操作4に進む
- メール本文の入力画面で全文を選択する：(メール)▶操作4に進む

3 終了位置を選ぶ▶(決定)

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する：(Menu)(決定)
- 開始位置から文末までを選択する：(辞書)(決定)

4 読みを入力▶(辞書)を押す

おしらせ

- 文字入力中に登録する操作を、文字が入力されていない場合に行うと、すぐに単語編集画面が表示されます。
- 文字入力中に登録する場合、改行を含んだ文字列を単語登録しようとすると、改行が空白に置き換えられます。
- 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。
- 次の文字が読みの先頭にある場合は、登録できません。
  を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、ー（長音）、゛（濁点）、゜（半濁点）
- 読みに空白は入力できますが、登録後に削除されます。
- 単語と読みの組み合わせで、同じ単語が既に登録されている場合は、登録できません。
- 同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
- 単語が既に200件登録されている場合は、単語登録の単語一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から単語を削除するか、登録済みの単語を修正してください。

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロード辞書

iモードのサイトなどからダウンロードした辞書を文字変換用に使用できるようにします。

- 最大5件の辞書を使用できます。
- 辞書のダウンロード方法☛P214

1 (Menu)[8][8][2]▶使用する辞書を選択▶(辞書)

使用できる辞書に☑が表示されます。

■ **ダウンロードした辞書の情報を表示する：**
(Menu)[8][8][2]▶辞書を選ぶ▶(メール)

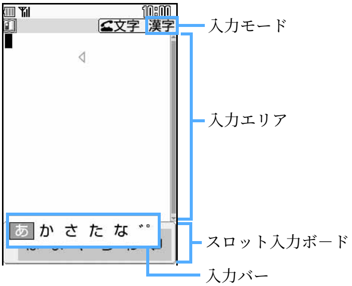
■ **ダウンロードした辞書を削除する：**
(Menu)[8][8][2]▶辞書を選ぶ▶(iアプリ)▶「はい」を選択

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力方式

スロット入力ボード（上下2段の入力バー）に表示された文字から、(方向キー)を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。☛P414
- スロット入力方式では予測変換機能は利用できません。
- 「入力バーの文字割り当て一覧」☛P427



- 入力方式を「スロット入力」に設定していても、インライン入力時は「かな入力」になります。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアの操作（文字の削除やカーソル移動など）をするときは[メール]を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときは再度[メール]を押します。

例 電話帳の登録で「企業」と入力するとき

1 名前の入力欄を選択▶「きぎょう」と入力



「き」：[右]を1回▶[下]を1回▶[決定]
「ぎ」：[決定]▶[右]を4回▶[決定]
「ょ」：[i]▶[右]を2回▶[上]を2回▶[決定]
「う」：[右]を4回▶[下]を2回▶[決定]

- 上段と下段の入力バーを入れ替える：[i]
- ひらがなのまま確定する：[Menu]
  続けて文字を入力できます。文字入力を終了するには、操作4に進みます。

2 [電話帳]

変換されます。



- 変換方法はかな入力方式と同じです。
- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるには[ch/クリア]を押します。

3 [決定]

文字が確定します。
- 続けて文字を入力できます。

4 [メール]▶[決定]を押す

文字入力が終了します。
- [Menu]▶「編集終了」を選択しても同様に操作できます。

入力方法を設定する

入力設定

お買い上げ時　入力方式：かな入力　入力予測：ON
自動カーソル：普通

1 [Menu][8][8][4]

2 各項目を選択して設定

入力方式：
「かな入力」または「スロット入力」を設定します。
- 「スロット入力」に設定すると、以下の項目は設定できません。

入力予測：
予測変換候補を表示するかを設定します。

自動カーソル：
カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。
- 「OFF」は、自動移動しません。
- 「遅い」は、約1.5秒後に移動します。
- 「普通」は、約1秒後に移動します。
- 「速い」は、約0.5秒後に移動します。

3 [電話帳]を押す

文字入力中に設定を変更する

- 文字が確定される前は変更できません。
- インライン入力中は自動カーソルの変更しかできません。

1 文字入力画面で[Menu]▶「入力設定」を選択

2 [1]～[3]のいずれかを押す

- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替える：[1]
- 「入力予測ON」と「入力予測OFF」を切り替える：[2]
- 自動カーソルの移動時間を設定する：[3]▶[1]～[4]

付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー一覧 416
お買い上げ時に登録されているデータ 423
ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式） 427
入力バーの文字割り当て一覧（スロット入力方式） 427
定型文一覧 428
顔文字一覧 429
記号一覧 432
絵文字一覧 432
区点コード一覧 435
マルチアクセスの組み合わせ 439
マルチタスクの組み合わせ 441
FOMA端末から利用できるサービス 444
オプション・関連機器のご紹介 444

外部機器との連携

データリンクソフトのご紹介 445
動画データを外部機器から取り込んでFOMA端末で再生する 445
FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する 446

困ったときには

故障かな？と思ったら、まずチェック 446
こんな表示が出たら .... エラーメッセージ一覧 449
保証とアフターサービス 456
ソフトウェアを更新する .... ソフトウェア更新 457
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る .... スキャン機能 461
主な仕様 464
携帯電話機の比吸収率（SAR）について 464

メニュー一覧

- メニューの表示は、メニューの表示形式（メニュー設定）によって異なります。
- 文字の全角／半角は、実際の表示と異なる場合があります。

□：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。

1 メール

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 受信メール	―――	P248
2 新規メール	―――	P230
3 チャットメール	―――	P263
4 未送信メール	―――	P248
5 送信メール	―――	P248
6 問合せ		
1 iモード問合せ	―――	P243
2 SMS 問合せ	―――	P268
3 メール選択受信	―――	P242
4 iモード問合せ設定	すべて選択	P258
7 SMS		
1 SMS作成	―――	P266
2 FOMAカード（UIM）受信SMS	―――	P269
3 FOMAカード（UIM）送信SMS	―――	P269
4 SMS設定	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMSC：ドコモ アドレス： 81903101652 Type of Number： international	P268
8 テンプレート読込み	―――	P238
9 メール設定		
1 メール着信設定	着信音選択：メロディ／メール・メロディ A 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P261
2 チャットメール着信設定	着信動作設定：設定する 着信音選択：メロディ／メール・メロディ B 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／ラベンダー バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P265
3 メール振り分け設定	すべてON	P256
4 署名設定	自動挿入：する 署名編集：未登録	P258
5 メール返信設定		
1 メール返信引用設定	引用：する 引用文字：＞（半角）	P259
2 クイック返信設定	ON	P259

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 メール設定		
5 メール返信設定		
3 クイック返信本文登録	OKです。 NGです。 ありがとう！ ゴメンなさい！ 後ほど連絡します。	P259
6 メールグループ	―――	P258
7 受信・表示設定		
1 受信表示設定	通知優先	P262
2 メール選択受信設定	OFF	P258
3 メール受信添付ファイル設定	画像、メロディ、トルカ受信	P260
4 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P260
5 メール一覧表示設定	2行表示	P260
6 オンリービュー設定	OFF	P260

2 iモード

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 i Menu	―――	P204
2 Bookmark	―――	P209
3 Internet		
1 URL 入力	―――	P208
2 URL 履歴	―――	P208
3 ラストURL	―――	P205
4 画面メモ	―――	P211
5 iモード問合せ	―――	P243
6 メッセージ		
1 メッセージR	―――	P219
2 メッセージF	―――	P219
3 メッセージ設定		
1 メッセージ自動表示	メッセージR優先	P218
2 iモード問合せ設定	すべて選択	P258
3 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P260
4 メッセージ着信設定	着信音選択：メロディ／メール・メロディ C 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／レモン バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P218

メニュー	お買い上げ時	参照先
7 iチャネル		
1 iチャネル一覧	――――	P293
2 テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通	P294
8 iモード設定		
1 ツータッチサイト表示	未登録	P210
2 接続待ち時間設定	60秒間	P216
3 照明設定	端末設定に従う	P217
4 iモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	P108
5 証明書設定		
1 証明書表示／使用設定※1	すべて有効	P220
2 ユーザ証明書操作	――――	P221
3 証明書発行接続先設定	ドコモ	P222
6 表示・効果設定	画像、アニメーション：表示する 端末情報データ利用設定：利用する 効果音設定：ON	P216
7 iモーション設定	自動再生設定：自動再生する iモーションタイプ設定：標準タイプ	P224
8 接続先設定	iモード(FOMAカード)	P216
9 フルブラウザ		
1 ホーム	――――	P306
2 Bookmark	――――	
3 Internet		
1 URL入力	――――	
2 URL履歴	――――	
3 ラストURL	――――	
4 フルブラウザ設定		
1 ホーム設定	未登録	P310
2 Cookie設定／削除	有効（確認なし）	P310
3 Script設定	Script実行：有効 ウィンドウオープンガード：無効	P311
4 表示モード設定	ケータイモード	P311
5 画像表示設定	画像、アニメーション：表示する	P311
6 アクセス設定	利用しない	P311
7 Referer設定	送信する	P312
8 画面表示設定	標準画面表示	P312

3 iアプリ

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 ソフト一覧	――――	P275
2 iアプリ設定		
1 ソフトの並べ替え	ダウンロード日時順	P288
2 自動起動設定	ON	P284
3 ソフト情報表示設定	OFF	P274
4 照明設定	端末設定に従う	P277
5 バイブレータ設定	ON	P277
6 ツータッチiアプリ表示	未登録	P284
3 履歴表示	――――	P276 P285 P286

4 電話帳／履歴

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 電話帳検索	全件表示（50音）	P117
2 電話帳登録	――――	P111
3 FOMAカード（UIM）登録	――――	P115
4 プッシュトーク電話帳	――――	P102
5 着信履歴	――――	P67
6 リダイヤル	――――	P56
7 伝言メモ／音声メモ		
1 伝言メモ設定	停止する	P77
2 伝言メモ一覧	――――	P80
3 音声メモ録音	――――	P383
4 音声メモ一覧	――――	P383
8 自局番号	自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録	P48 P382

5 データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 マイピクチャ	――――	P314
2 iモーション	――――	P321
3 メロディ	――――	P331
4 キャラ電	――――	P328
5 マイドキュメント	――――	P356

6 LifeKit

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 バーコードリーダー	――――	P196
2 赤外線／PCデータ連携		
1 赤外線全件送信	――――	P350
2 赤外線受信	――――	P350
3 データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	P353
4 USBモード設定	通信モード	P343
3 トルカ		
1 トルカ一覧	――――	P299
2 トルカ取得設定	トルカ取得設定、イルミネーション設定：ON イルミネーションカラー：スカイ トルカ取得音量：レベル4	P301

※1：各種設定リセットを行うと、FOMAカードに保存されている証明書もすべて有効になります。

つづく

メニュー	お買い上げ時	参照先
4 ICカード		
1 ICカード一覧	――――	P297
2 ICカードロック	OFF	P302
3 ICカードオートロック設定	OFF	P304
4 ICカードロック設定	暗証番号	P303
5 miniSDカード	――――	P339
6 カメラ	――――	P182
7 ビデオカメラ	――――	P186
8 サウンドレコーダー	――――	P354
9 電話帳お預かりサービス		
1 お預かりセンターに接続	――――	P130
2 電話帳通信履歴表示	――――	P130
3 送信設定	なし	P130

7 ステーショナリー

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 スケジュール帳	――――	P372
2 メモ帳	――――	P386
3 目覚まし	未設定	P370
4 電卓	――――	P386
5 辞典	――――	P388

8 設定／NWサービス

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 音／バイブ		
1 音の設定		
1 電話着信音		
1 電話着信音	メロディ／Vivaldism	P132
2 テレビ電話着信音	メロディ／電話・メロディ A	P132
3 プッシュトーク着信音	メロディ／電話・メロディ B	P132
4 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P172
2 メール・メッセージ着信音		
1 メール着信音	メロディ／メール・メロディ A	P132
2 チャットメール着信音	メロディ／メール・メロディ B	P132
3 メッセージR着信音	メロディ／メール・メロディ C	P132
4 メッセージF着信音	メロディ／メール・メロディ C	P132
3 アラーム音		
1 目覚まし音	メロディ／アラーム・メロディ	P134
2 スケジュール音	アラーム：メロディ／アラーム・女性ボイス 予告アラーム： メロディ／パターン4	P134

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 音／バイブ		
1 音の設定		
4 操作確認音		
1 キー確認音	キー確認音1	P134
2 スピードセレクター音	スピードセレクター音1	P134
3 カメラシャッター音	シャッター音1	P135
4 ビデオシャッター音	シャッター音1	P135
5 レンズカバー音	カバーオープン音：カバーオープン音1 カバークローズ音：カバークローズ音1	P135
6 スライド音	スライドオープン：メロディ／スライド・オープン音1 スライドクローズ：メロディ／スライド・クローズ音1	P136
5 充電確認音	ON	P139
6 通話保留・警告音		
1 応答保留ガイダンス設定	内蔵音	P73
2 通話保留音	保留音・ボイス	P74
3 通話品質アラーム音	アラーム高音	P139
4 再接続アラーム音	アラーム高音	P61
5 電池アラーム音	ON	P45
2 音量設定		
1 電話着信音量	レベル4	P70
2 メール・メッセージ着信音量	レベル4	P70
3 受話音量	レベル4	P70
4 アラーム音量		
1 目覚まし音量	レベル4	P70
2 スケジュール音量	レベル4	P70
5 iアプリ音量	レベル4	P70
6 トルカ取得音量	レベル4	P70
3 バイブレータ設定		
1 電話着信時		
1 電話着信時	OFF	P137
2 テレビ電話着信時	OFF	P137
3 プッシュトーク着信時	OFF	P137
2 メール・メッセージ着信時		
1 メール着信時	OFF	P137
2 チャットメール着信時	OFF	P137
3 メッセージR着信時	OFF	P137
4 メッセージF着信時	OFF	P137

付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー一覧

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 音／バイブ		
3 バイブレータ設定		
3 アラーム鳴動時		
1 目覚まし鳴動時	OFF	P137
2 スケジュール鳴動時	OFF	
4 ｉアプリ利用時	ON	P137
4 マナーモード選択	通常マナーモード	P140
5 呼出動作開始時間設定	OFF	P174
2 ディスプレイ		
1 待受画面設定		
1 待受画面選択	トータルコーディネイト設定に従う	P141
2 時計表示設定	トータルコーディネイト設定に従う	P157
3 電池マーク設定	トータルコーディネイト設定に従う	P153
4 カレンダー／待受カスタマイズ	パターン4 （エリア１設定、エリア２設定は未登録 エリア３設定：キーガイダンス）	P145
5 テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通	P294
2 メニュー設定		
1 メニュー設定※2	ノーマルはトータルコーディネイト設定に従う カスタム： タイルアイコン アニメーションデザインはトータルコーディネイト設定に従う アイコン拡大表示：OFF 起動メニュー： ノーマル／シンプル カスタムメニューショートカット：カスタム	P152
2 カスタムメニュー登録	スタンダード	P379
3 各種画面設定		
1 カラーテーマ設定	トータルコーディネイト設定に従う	P151
2 発着信画面表示設定		
1 電話発信設定	標準画像	P147
2 電話着信設定	標準画像	P148
3 テレビ電話発信設定	標準画像	P147
4 テレビ電話着信設定	標準画像	P148
5 人物画像表示設定	ON	P149
6 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P172
7 メール送信画像設定	標準画像	P149
8 メール受信画像設定	標準画像	P149
9 問合せ画像設定	標準画像	P149

メニュー	お買い上げ時	参照先
2 ディスプレイ		
3 各種画面設定		
3 着信表示設定	電話着信時電話番号：表示する 電話着信時名前表示：通常表示 メール／メッセージ着信時表示：表示する	P149
4 テレビ電話画像選択	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像	P93
4 照明設定		
1 点灯時間設定	通常時：10秒 ACアダプタ接続時、ｉモード中：端末設定に従う カメラ撮影中、ビデオカメラ撮影中、ｉモーション：常灯 ｉアプリ： 端末設定に従う	P150
2 照明設定範囲	ディスプレイ＋キー	P151
3 明るさ調整	標準	P151
5 イルミネーション設定		
1 着信	テレビ電話着信：点滅／ライム 音声着信：点滅／スカイ メール着信：ゆっくり点滅／アクア メッセージR着信、メッセージF着信：ゆっくり点滅／レモン チャットメール着信： ゆっくり点滅／ラベンダー プッシュトーク着信： 点滅／ピーチ トルカ取得： ON／スカイ	P154
2 通話中	OFF	P154
3 ICカードアクセス	ON／スカイ	P154
4 スピードセレクター／その他	スピードセレクター：ON／緑-青-赤 ミックス 目覚まし、スケジュール：点滅／コーラル メロディ再生：メロディ連動 スライドオープン、スライドクローズ：ゆっくり点滅／ターコイズ	P154
6 不在着信お知らせ	OFF	P155
7 文字表示設定		
1 文字サイズ設定	すべて中（標準）	P156
2 バイリンガル	Japanese	P158
8 トータルコーディネイト設定	FOMA端末の色に従う	P158

※2：各種設定リセットを行うと、ノーマルとアニメーションデザイン、タイルアイコンデザインの「カスタム1」「カスタム2」は、お買い上げ時の設定に戻ります。

つづく

メニュー	お買い上げ時	参照先
3 セキュリティ／ロック		
1 ロック		
1 オールロック	未設定	P164
2 PIM ロック	OFF	P166
3 ICカードロック		
1 ICカードロック	OFF	P302
2 ICカードオートロック設定	OFF	P304
3 ICカードロック設定	暗証番号	P303
2 シークレットモード	未設定	P171
3 ダイヤル発信制限	OFF	P167
4 FOMAカード（UIM）	PIN1コード、PIN2コード：0000 PIN1コードON／OFF:OFF	P162
5 暗証番号変更	0000	P161
6 プライバシーモード設定	電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリ：表示する 自動起動：OFF	P168
7 スキャン機能		
1 パターンデータ更新	――	P462
2 自動更新設定	――	P462
3 スキャン機能設定	有効	P461
4 バージョン表示	――	P463
8 プロテクトキー動作設定	スライドオープン時は解除	P170
4 情報表示／リセット		
1 通話時間	――	P384
2 設定状況確認	――	P391
3 電池レベル表示	――	P45
4 通話料金		
1 通話料金表示	――	P384
2 通話料金上限通知	OFF	P385
3 上限通知アイコン消去	――	P386
4 通話料金自動リセット設定	OFF	P385
5 各種設定リセット	――	P391
6 データ一括削除	――	P391
5 時計		
1 日付時刻設定※3	自動時刻補正：ON オフセット時間:+、00時間00分	P46
2 自動電源ON 設定	OFF	P369
3 自動電源OFF 設定	OFF	P369
4 時計表示設定	トータルコーディネイト設定に従う	P157
5 アラーム自動電源ON設定	OFF	P372

メニュー	お買い上げ時	参照先
6 発着信・通話機能		
1 電話発信設定	標準画像	P147
2 電話着信設定	着信音： メロディ／Vivaldism イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション： 点滅／スカイ	P71
3 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P172
4 エニーキーアンサー設定	ON	P65
5 イヤホン機能設定		
1 イヤホン切替設定	イヤホン+スピーカー	P390
2 オート着信機能設定	OFF	P389
3 イヤホンスイッチ設定	OFF	P389
6 メモリ着信拒否／許可		
1 メモリ別着信拒否／許可	設定解除	P172
2 メモリ登録外着信拒否	OFF	P174
7 発着信詳細設定		
1 優先通信モード設定	設定なし	P72
2 プレフィックス設定	009130010	P60
3 国際ダイヤル設定		
1 自動付加設定	自動付加	P59
2 国際電話設定	名称：World Call 番号：009130010	P60
4 サブアドレス設定	ON	P61
5 着信中オープン応答	OFF	P65
8 通話詳細設定		
1 ノイズキャンセラ設定	ON	P62
2 通話中クローズ設定	通話継続	P66
9 セルフモード設定	OFF	P166
7 テレビ電話／プッシュトーク		
1 テレビ電話		
1 テレビ電話発信設定	標準画像	P147
2 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／電話・メロディA イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション： 点滅／ライム	P71
3 テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 送信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準） スピーカーホン設定：ON	P92
4 パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	P95

※3：各種設定リセットを行っても、日付と時刻は保持されます。

メニュー	お買い上げ時	参照先
7 テレビ電話／プッシュトーク		
1 テレビ電話		
5 テレビ電話画像選択	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像	P93
6 テレビ電話使用機器設定	本体	P96
7 テレビ電話切替機能通知		
1 切替機能通知開始	開始	P95
2 切替機能通知停止	――	P95
3 切替機能通知設定確認	――	P95
2 プッシュトーク		
1 プッシュトーク着信設定	着信音： メロディ／電話・メロディ B バイブレータ：OFF 着信イルミネーション：点滅／ピーチ	P71
2 プッシュトーク呼出時間設定	30秒	P106
3 プッシュトーク番号通知設定	通知しない	P106
4 プッシュトーク自動応答設定	自動応答なし	P107
5 プッシュトーク中着信設定	着信拒否	P107
6 プッシュトーク中クローズ設定	継続	P108
7 ｉモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	P108
8 文字入力／その他		
1 単語／定型文登録		
1 単語登録	――	P412
2 定型文登録	――	P411
2 ダウンロード辞書	――	P413
3 変換学習リセット	――	P409
4 入力設定	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P414
5 NW 検索方法	ネットワーク自動検索	P390
6 ソフトウェア更新	――	P458
7 クイック起動設定	ON	P390
8 スライド編集設定	すべてON	P368
9 スピードセレクター設定	スピードセレクター：ON 移動方向：時計回り 待受起動機能：メニュー	P28

9 サービス		
1 留守番電話		
1 留守番サービス		
1 留守番サービス開始	――	P394
2 留守番呼出時間設定	――	
3 留守番サービス停止	――	
4 留守番設定確認	――	
5 留守番メッセージ再生	――	
6 留守番サービス設定	――	
7 メッセージ問合せ	――	
2 件数増加鳴動設定	件数通知音：ON 通知メロディ：メール・メロディ B	
3 着信通知		
1 着信通知開始	――	
2 着信通知停止	――	
3 着信通知開始設定確認	――	
4 表示消去	――	
2 キャッチホン		
1 キャッチホン開始	――	P395
2 キャッチホン停止	――	
3 キャッチホン設定確認	――	
3 転送でんわ		
1 転送サービス開始	――	P396
2 転送サービス停止	――	
3 転送先変更	――	
4 転送先通話中時設定	――	
5 転送サービス設定確認	――	
4 着もじ		
1 メッセージ作成	――	P54
2 メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	P55
5 発信者番号通知		
1 発信者番号通知設定	――	P48
2 発信者番号通知確認	――	P48
6 番号通知お願いサービス		
1 番号通知開始	――	P397
2 番号通知停止	――	
3 番号通知確認	――	
7 通話中着信設定		
1 通話中着信設定開始	――	P398
2 通話中着信設定停止	――	
3 通話中着信設定確認	――	
8 通話中着信動作選択	通常着信	

つづく

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 NWサービス		
9 その他のNW サービス		
1 USSD 登録	―	P400
2 応答メッセージ登録	―	P400
3 遠隔操作設定		
1 遠隔操作開始	―	P398
2 遠隔操作停止	―	P398
3 遠隔操作設定確認	―	P398
4 迷惑電話ストップ		
1 迷惑電話着信拒否登録	―	P396
2 電話番号指定拒否登録	―	P396
3 迷惑電話全登録削除	―	P396
4 迷惑電話1登録削除	―	P396
5 拒否登録件数確認	―	P396
5 英語ガイダンス		
1 ガイダンス設定	―	P397
2 ガイダンス設定確認	―	P397
6 デュアルネットワーク		
1 デュアルネットワーク切替	―	P397
2 デュアルネットワーク状態確認	―	P397
7 サービスダイヤル		
1 ドコモ故障問合せ	―	P398
2 ドコモ総合案内・受付	―	P398
8 マルチナンバー		
1 通常発信番号設定	―	P399
2 通常発信番号設定確認	―	P399
3 電話番号設定	基本契約番号:基本契約番号／自局電話番号 付加番号1: 付加番号1／未登録 付加番号2: 付加番号2／未登録 マルチナンバー発信:無効	P399
4 着信設定	OFF	P399

9 ミュージックプレイヤー

メニュー	お買い上げ時	参照先
ミュージックプレイヤー	―	P362

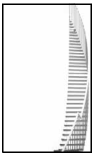
0 自局番号

メニュー	お買い上げ時	参照先
自局番号	自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録	P48 P382

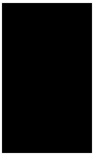
お買い上げ時に登録されているデータ

待受画面用の画像／ｉモーション

■ 画像



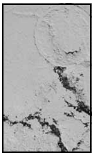
White steps



Black stage



Blue block



Yellow wall



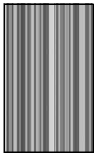
Crystal ※1



Bottle scan※1



Night scene



Bars



操作ガイダンス※2

■ ｉモーション



Journey



The Ocean※3

※１：Flash 画像です。時刻によって表示が変化します。

※２：時計表示設定でデザインを「デジタル 1」または「デジタル 3」に設定し、表示位置を「上」に設定すれば、操作ガイダンスに時計は重なりません。

※３：着モーションにも設定できます。

ノーマルメニュー

■ タイルアイコン



タイプ1



タイプ2



タイプ3



タイプ4



タイプ5

■ アニメーション



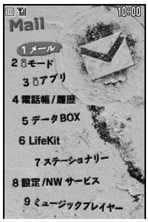
タイプ1



タイプ2



タイプ3



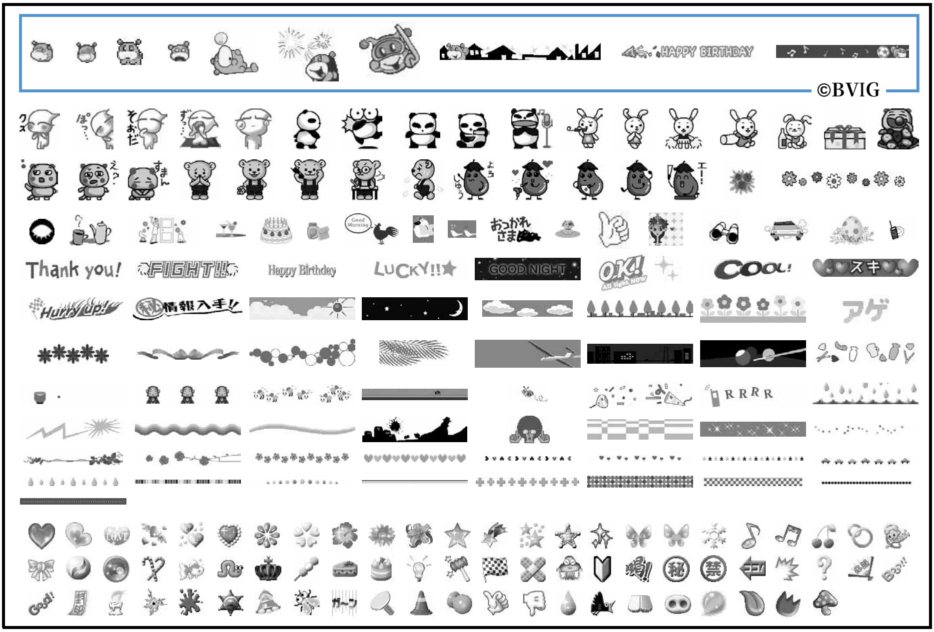
タイプ4



タイプ5

デコメールピクチャ用画像

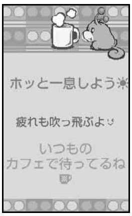
次の画像が、データBOXのマイピクチャの「デコメールピクチャ」フォルダに保存されています。
- 削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P426
- 画像によっては、背景色を白以外に設定しないと絵柄がわかりにくいものがあります。
- 以下の一部の画像は絵柄がわかりやすいように背景色を変更しているため、画面の表示と異なる場合があります。また、画像の大きさは、実際に挿入される画像の大きさとは異なります。



©BVIG

メールテンプレート

ブンブン カフェ



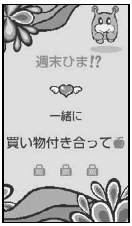
©BVIG

ブンブン お昼ね



©BVIG

ブンブン フラワー



©BVIG

ありがとう



助かっちゃった



おめでとう！



誕生日おめでとう



久しぶり



頑張って



調子はどう？



おつかれさま



ラッキー！



幸せ気分



好きです…



お願い



急いでます！



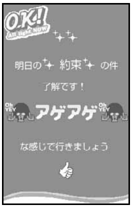
電話します



お茶しよ～



OK！



遊びにいこう



旅にでようよ



いってらっしゃい



おはよ！



おやすみ



反省してます



さみしい



ちょっと怒ったよ



忙しい忙しい



飲みたい気分



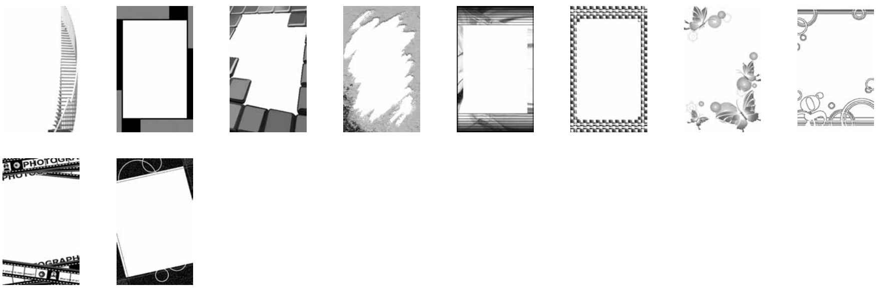
マル秘情報



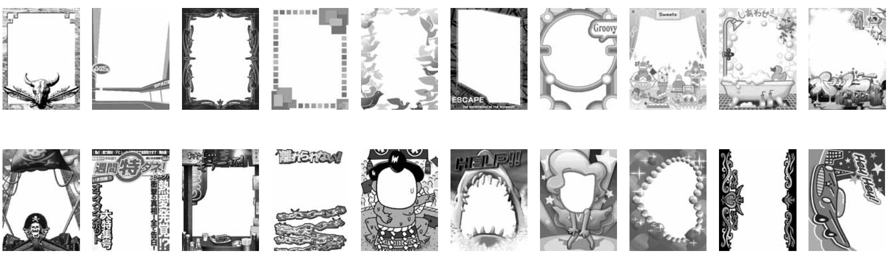
フレーム

・削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P426

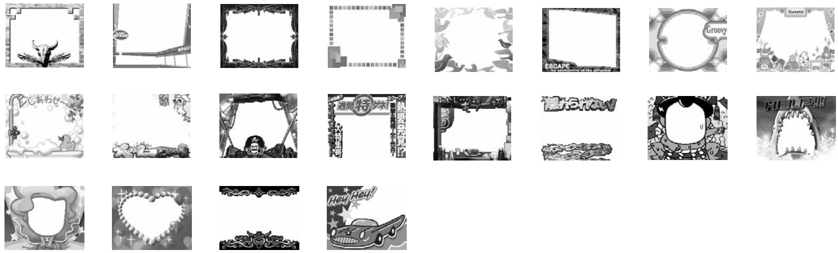
■ 待受用（240×400）サイズ



■ QVGA（240×320）サイズ



■ QCIF（176×144）サイズ



スタンプ



キャラ電

・削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。

■ ブンブン（Dimo）



©BVIG

全体アクション

1　嬉しい	4　ラブラブ	7　着ぐるみ
2　ごめんなさい	5　病気	8　拾ってください
3　びっくり	6　酔っぱらい	9　成金

■ 女の子



全体アクション

1　喜ぶ	5　泣く	9　さよなら	#4　あきれる
2　ガッツポーズ	6　ダメ	#1　悩む	
3　愛情	7　挨拶	#2　称える	
4　怒る	8　うなずく	#3　お願い	

パーツアクション

11　頭 右を向く（ループ）	16　頭 上下に振る	24　胴体 前に傾く（ループ）
12　頭 左を向く（ループ）	17　頭 回転する	31　右手 挙げる（ループ）
13　頭 上を向く（ループ）	21　胴体 右を向く（ループ）	41　左手 挙げる（ループ）
14　頭 下を向く（ループ）	22　胴体 左を向く（ループ）	51　足 しゃがむ（ループ）
15　頭 左右に振る	23　胴体 後ろを向く（ループ）	52　足 ジャンプ

ｉモードサイト「My D-style」へのアクセス方法

「My D-style」には、ｉMenuの「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」から接続してください（2006年11月現在）。

● 右のQRコードをバーコードリーダーで読み取ると、「My D-style」に接続できます。

サイトアクセス用QRコード

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

<table>
<tr><th>キー</th><th>ひらがな／漢字モード
（全角）※1</th><th>カナモード
（全角／半角）※1</th><th>英字モード
（全角／半角）※1</th><th>数字モード
（全角／半角）※3</th></tr>
<tr><td>[1]</td><td>あ い う え お 1</td><td>ア イ ウ エ オ 1</td><td>. ／ @ ¯※2 ―：＿ [¥]
^ ` { | } 1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>[2]</td><td>か き く け こ 2</td><td>カ キ ク ケ コ 2</td><td>a b c 2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>[3]</td><td>さ し す せ そ 3</td><td>サ シ ス セ ソ 3</td><td>d e f 3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>[4]</td><td>た ち つ て と 4</td><td>タ チ ツ テ ト 4</td><td>g h i 4</td><td>4</td></tr>
<tr><td>[5]</td><td>な に ぬ ね の 5</td><td>ナ ニ ヌ ネ ノ 5</td><td>j k l 5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>[6]</td><td>は ひ ふ へ ほ 6</td><td>ハ ヒ フ ヘ ホ 6</td><td>m n o 6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>[7]</td><td>ま み む め も 7</td><td>マ ミ ム メ モ 7</td><td>p q r s 7</td><td>7</td></tr>
<tr><td>[8]</td><td>や ゆ よ 8</td><td>ヤ ユ ヨ 8</td><td>t u v 8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>[9]</td><td>ら り る れ ろ 9</td><td>ラ リ ル レ ロ 9</td><td>w x y z 9</td><td>9</td></tr>
<tr><td>[0]</td><td>わ を ん ー 、 。
・ ？ ！ 「 」 □ 0</td><td>ワ ヲ ン ー 、 。
・ ？ ！ 「 」 □ 0</td><td>！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊
＋ ， ； ＜ ＝ ＞ ？ □ 0</td><td>0 ＋※4</td></tr>
<tr><td>[*]</td><td>゛ ゜</td><td>゛ ゜</td><td>半角の場合のみ次の文字列が入力可
@docomo.ne.jp .com .or.jp
.go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp
http://www. www. .html .htm</td><td>＊ P※4</td></tr>
<tr><td>[#]※5</td><td>改行</td><td>改行</td><td>改行</td><td># T※4</td></tr>
</table>

□：空白を示します。　　：文字入力後に[大/小]を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。

※1：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。

※2：半角の英字モードは「~」で入力されます。

※3：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※4：該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

※5：入力欄によっては改行できない場合があります。

入力バーの文字割り当て一覧（スロット入力方式）

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あいうえおぁぃぅぇぉ 1
	か	かきくけこ 2
	さ	さしすせそ 3
	た	たちつてとっ 4
	な	なにぬねの 5
	゛゜	゛゜
下段	は	はひふへほ 6
	ま	まみむめも 7
	や	やゆよゃゅょ 8
	ら	らりるれろ 9
	わ	わをんー 、。？！「」□ 0
	↵	改行

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖｬｭｮ 8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ 9
	ﾜ	ﾜｦﾝｰ､｡?!｢｣□ 0
	↵	改行

<table>
<tr><th colspan="2">入力バー</th><th>英数字モード（半角）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">上段</td><td>.</td><td>./@~-:_[¥]^`{|}1</td></tr>
<tr><td>A</td><td>ABCabc2</td></tr>
<tr><td>D</td><td>DEFdef3</td></tr>
<tr><td>G</td><td>GHIghi4</td></tr>
<tr><td>J</td><td>JKLjkl5</td></tr>
<tr><td>定</td><td>@docomo.ne.jp .com .or.jp
.go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp
http://www. www. .html .htm</td></tr>
<tr><td rowspan="6">下段</td><td>M</td><td>MNOmno6</td></tr>
<tr><td>P</td><td>PQRSpqrs7</td></tr>
<tr><td>T</td><td>TUVtuv8</td></tr>
<tr><td>W</td><td>WXYZwxyz9</td></tr>
<tr><td>!</td><td>!"#$%&'()*+,;<=>?□0</td></tr>
<tr><td>↵</td><td>改行</td></tr>
</table>

□：ひらがな／漢字モードでは全角の空白、カナモード、英数字モードでは半角の空白を示します。

- ひらがな／漢字モードでは、「゛」と「゜」は[↓]を押すたびに切り替わります。
- 数字は半角で表示されます。

定型文一覧

■ 一般（20件）

おはよう	おやすみ
おはよー！今日も一日がんばりましょう。	昨日は、とっても楽しかったです。どうもありがとう。
連絡下さい。	今から電話してもいいですか？
ごめんなさい、遅れます。	今日は○○の日です。早く帰って来てね。
○○まで迎えに来て！お願いします。	○○について知っている人は○○までに○○に教えて下さい。
もう少し待ってて！	
いってらっしゃい。	留守電にメッセージをお願いします。
○○で待ってます。	ただいま電話にでることができません。メールでご用件をお知らせ下さい。
集合時間は○○、集合場所は○○です。	
今日は外で食べて帰ります。ご飯はいりません。	メールありがとう。
○○の写真送ります。	最近の○○の写真です。

■ 遊び（20件）

今なにしてるの？電話かメールを下さい。	どこか、遊びに行こーよ！
電話ちょうだい！電話番号は○○です。	おくれちゃう、ゴメン！
どこにいるの？	集合！
時間だよーん！！	トラブル発生！！
会いたい！	大好き！
みんなで飲みませんか？○○に○○。	今日○○に、○○へ行きませんか？
○○の待ち合わせ時間と場所、決めようよ。	○○に行かない？
○○のメンバー募集！詳しくは○○まで連絡下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。○○までで、都合の良い日を教えて下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。いいところがありましたら、お知らせ下さい。	
○○しませんか？日時：○○、場所：○○。出欠をご連絡下さい。	
メッセージ下さい！！	○○の時の写真だよ。

■ ビジネス（20件）

本日の○○会議は、○○となりました。	本日の○○訪問は、○○となりました。
○○へ直行します。	○○へ直帰します。
電車遅延のため、○○遅れます。	至急TEL下さい。
予定変更！ TEL下さい。	待ち合わせ変更！場所：○○、時間：○○
○○頃まで、携帯電話の電源を切ります。	振込口座：○○銀行○○支店、口座番号○○、名義人名○○です。
○○の件、よろしくお願い致します。	
今日、一杯どうですか？連絡下さい。	FAX確認願います。
次の指示を待て。	変更します。
延期します。	中止します。
○○での写真送ります。	今わかりません。
あとで連絡します。	

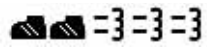
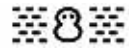
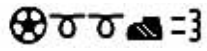
■ 応答（20件）

Thank you!	Good!	OKです。	NGです。
いいよ。	行きます。	了解。	ダメ！
ごめんネ・・・	スミマセン、無理です。	本当？	おまかせっ！！
関係ないね！	うらやましー。	お疲れさま。	反対。
賛成。	待ってました！	それは残念。	写真届きました。

■ その他（20件）

またねー！	今どこ？	お誕生日おめでとう。	おめでとう。
まじでー！？	まかせなさい！！	キャンセル。	いってきます。
頑張って！	ありがとう！	www.	.ne.jp
.co.jp	.or.jp	.ac.jp	.net
.com	.org	.html	http://

■ 絵文字ことば（20件）

絵文字ことば	意味例	絵文字ことば	意味例	絵文字ことば	意味例
	ハロー！／またね		ごきげん		ピース
	るんるん		落ち込む		どうしよう
	ぷんぷん		怒ってるぞ		メロメロ
	パニック		寝ます		チュッ！
	ラブラブ		ダッシュ		えっ何？
	写真を撮る		がんばれ！		独りぼっち
	カラオケ		サッカー		

・意味例を入力しても絵文字ことばは表示できません。

■ ユーザ作成（最大50件）

・登録した定型文が表示されます。

顔文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。□の顔文字は、「かお」または「かおもじ」と入力しても変換できます。

■ 挨拶・返事

顔文字	読み
(^-^)/~~	ばい　あいさつ
(^ ^)ﾉｼ	ばいばい　あいさつ
(^_^)/~	ばいばい　あいさつ
ヾ(^_^) byebye!!	ばいばい　あいさつ
(^^)/	おーい　じゃあ　どーも　よろしく　あいさつ
(^-^)/	おーい　じゃあ　どーも　よろしく　あいさつ
(^^)/~~~	ばいばい　あいさつ
(^_^)/	おーい　あいさつ
(〃⌒ー⌒〃)∫゛	にこっ　あいさつ
〜('-'*)	やぁ　あいさつ
(*^-^)ﾉ	ちわっ　あいさつ
ヾ(´ω`=´ω`)ﾉ	おはよう　あいさつ
(o^-')b	ぐっ　ぐー　へんじ
(≧ω≦)b	ぐっ　ぐー　へんじ
(・∀・∩)	はい　へんじ
('-^*)ok	おっけー　へんじ
(`_´)ゞ了解！	りょうかい　へんじ
(｡･_･｡)ﾉ	やあ　あいさつ
(=°ω°)ﾉ	やあ　あいさつ

■ 笑う・うれしい

顔文字	読み
(^-^)	にこっ　わらう
(^-^)v	にこっ　うれしい
(^o^)	うほほ　にこっ　わーい　うれしい
o(^o^)o	うきうき　うれしい
(o^_^o)	にこっ　うれしい
(*^_^*)	にこっ　うれしい
(・∀・)	きたー　にこっ　わらう
ヾ(^▽^)ﾉ	わーい　うれしい
ヽ(´ー`)ノ	わーい　うれしい
(*⌒▽⌒*)	にこっ　うれしい
(☆▽☆)	きらーん　うれしい
(^^)v	やったね　ぴーす　にこっ　ぶい　うれしい
(=⌒ー⌒=)	にこっ　うれしい
(´∀`)	にこっ　うれしい
(≧∀≦)	うれしい
:)	にこっ　すまいる　わらう
V(^0^)	ぴーす　うれしい
(^з^)/ﾁｭｯ	ちゅっ　にこっ　わらう
((o(^-^)o))	わくわく　うれしい

つづく

顔文字	読み
(^^)	にこっ　わらう
v(^o^)	いえい　ぶい　ぴーす　うれしい
(^_^)v	やったね　ぴーす　にこっ　ぶい　うれしい
(^・^)	にこっ　わらう
(^0^)	わーい　わらう
(^0^)/	おーい　はーい　わらう
(^0^)v	やったね　ぴーす　にこっ　ぶい　わらう
)^o^(	ほっぺがおちる　わらう
＼(^o^)／	わーい　わらう
:-)	にこっ　すまいる　わらう
ヽ(≧▽≦)/	きゃー　うれしい
d=(^o^)=b	ぐー　うれしい
ε=ヾ(*~▽~)ノ	きゃー　うれしい
(@^0^@)	うれしい
(´艸`)	むふふ　うれしい

■ 照れる・怒る

顔文字	読み
(^^ゞ	ぽりぽり　てれる
f(^_^)	てへ　てれる
(#^.^#)	にこっ　ぽっ　てれる
(*^.^*)	えへっ　てれる
(〃▽〃)	てれ　てれる
(*'-')	てへっ　てれる
(=° ω° =)	てへっ　てれる
(*´д`*)	こまる　てれ　てれる
:p	てへっ　てれる
('∇')	うふふ　てれる
ヽ(*`Д´)ノ	こら　ごるあ　ごるぁ　おこる
o-_-)=○☆	ぱんち　おこる
(ノ-"-)ノ~┻━┻	ちゃぶだい　おこる
(-_-#)	こらっ　おこる
:-(	ふまん　おこる
Ψ(`◇´)Ψ	こら　おこる
(ノ`△´)ノ	こらっ　おこる
(●`ε´●)	ぷんぷん　むかっ　おこる

■ 泣く・悲しい

顔文字	読み
(>_<)	あいた　いたい　いてー　ひえー　なく
(T^T)	うるうる　なく
(T_T)	しくしく　なく
(/_;)	しくしく　なく
(+_+)	びくっ　かなしい
(x_x;)	がっくり　かなしい
(/_・、)	くすん　なく
(つд`)	ぐすん　なく
○|￣|＿	がっくし　かなしい
(´・ω・`)	しょぼん　かなしい
(;0;)	しくしく　なく
(>_<。)	なく
(;_;)	しくしく　なく
(T-T)	なき　うるうる　なく
(TOT)	なき　うるうる　なく
(ノ_・。)	いたい　なく
:<	なく　かなしい
(;´д⊂)	なき　ぐすん　なく
° ・(ノД`)・° ・	えーん　なく

■ 驚き

顔文字	読み
(*_*)	びくっ　おどろき
(・・?	めがてん　おどろき
(・・;)	めがてん　おどろき
(゜-゜)	うーん　おどろき
(@_@)	びくっ　おどろき
(--;)	ぎくっ　おどろき
(-_☆)	きらーん　おどろき
(￣□￣;)!!	がーん　おどろき
(° o° ;)	ぽかーん　おどろき
Σ(￣□￣)!	びっくり　がーん　ぎく　おどろき
(￣◇￣;)	えっ　おどろき
ヽ(° □° ;)ノ	えっ　おどろき
(;° □°)	えっ　おどろき
((((° д° ;))))	がくがく　おどろき
(=_=;)	ぎくっ　てつや　おどろき
(・.・;)	めがてん　おどろき
(゜o゜)	ぎくっ　ぎょ　おどろき
(゜o゜;	ぎくっ　ぎょ　おどろき
(@_@。	びくっ　ぎょっ　おどろき
(゜Д゜)	ぽかーん　おどろき
(゜_゜)	うーん　おどろき
(・。・;	めがてん　おどろき
(・_・)	めがてん　おどろき
(・_・;	めがてん　おどろき
(・o・)	めがてん　おどろき
(゜o゜)/	おおー　びっくり　おどろき
(゜o゜;;	ぎくっ　おどろき
Σ(゜□゜;)	がーん　おどろき

■ 疑問・焦り

顔文字	読み
(^^;)	ぎくっ　あせ　あせり
(?_?)	なぜ　ぎもん
(-_-;)	ぎくっ　あせ　あせり
w=(ﾟoﾟ)=w	ばたばた　ぎもん
σ(^_^;)?	えっ　ぎもん
(;¬_¬)ｼﾞｰ	じー　ぎもん
O(><;)(;><)O	あたふた　あせり
(ﾟДﾟ;≡;ﾟДﾟ)	あたふた　あせり
^^;	ぎくっ　あせり
(^^;;	ぎくっ　あせ　あせり
(^_^;)	ぎくっ　あせ　あせり
(^-^;	ぎくっ　あせ　あせり
(~_~;)	ぎくっ　あせ　あせり
(¥_¥;	ぎくっ　あせ　ぎもん
(*_*;	びくっ　あせり
^_^;	ぎくっ　あせ　あせり
(?_?;	ぎくっ　なぜ　ぎもん
ε=┌(・_・)┘	にげる　あせり
(ﾟ∇ﾟ;)	ぎくっ　あせ　えっ　あせり
((○(>_<)○))	じたばた　あせり
(;ﾟ0ﾟ)	ぎくっ　あせ　あせり

■ その他

顔文字	読み
(~▽~@)♪♪♪	うたう
('◇')ゞ	りょうかい　おっけー らじゃ
m(_ _)m	ぺこり
_(._.)_	ぺこり
<(_ _)>	ありがと　おねがい ごめん　ぺこり
≡≡≡ヘ(*--)ノ	いそぐ　にげる
(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
p(^-^)q	がんばれ　ふぁいと
;)	ういんく
(^_-)	ういんく
(・∀・)イイ	いい
(^人^)	かんしゃ　ありがとう
!(^^)!	ぴんぽーん
ヽ(^^)	よしよし　おい
(*≧m≦*)	ぷっ
(σ・∀・)σ	げっつ
(￣ー￣)	にやり
(・∀・)つ	どうぞ
(^-^)_旦~	どうぞ　おちゃ
(屮ﾟ□ﾟ)屮	きて　かもん　おいで

顔文字	読み
♪～(￣ε￣)	くちぶえ
(￣。￣)y-～～	たばこ
(｀・ω・´)	しゃきーん
⊂(・∀・)⊃	せーふ
(-.-;)y-~~~	いっぷく
(-。-)y-ﾟﾟﾟ	いっぷく
(￣～￣)	うまい　たべる
(￣人￣)	おねがい
(^-^)人(^-^)	かんぱい　なかま　たっち
(i_i)＼(^_^)	よしよし
(^▽^)σ)~O~)	つんつん
～～(m´Д｀)m	たすけて
～～(m｀∀´)m	いひひ
φ(._.)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも　かきかき
(ﾟ∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし
(´□`)	あーん
┐(￣∇￣;)┌	やれやれ
(´へ`;)	はぁ　ためいき
(; -_-)=3	ためいき
(-"-;)	うーん
(´ー`)	ふふん　じまん
(´¬`)	よだれ
(￣ー+￣)ﾌｯ	ふっ
(~_~)	ほへー
(~o~)	ほへー
(p_-)	むしめがね
(-_-)	じとっ
(-.-)	じとっ
(-.-")凸	ちちち
(..)	どれどれ
[壁]_-)	ちらっ
(+。+)	いたい
(-_-)zzz	ねてる　ねる
(_ _).oO	ねむい
(´_ゝ`)	ふーん
(UoU)	ねむい
(^(I)^)	くま
U^I^U	いぬ
ﾎﾟｲｯ(-__-)ノ⌒	ぽい
ヽ(ﾟ▽、ﾟ)ノ	よだれ
>ﾟ))))彡	さかな

記号一覧

半角	□ ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` {	} ￣ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ
全角	□ 、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 № ㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ≒ ≡ ∫ ∮ ∑ √ ⊥ ∠ ∟ ⊿ ∵ ∩ ∪

□：半角／全角の空白を示します。
- 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

絵文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。
- 絵文字1は「えもじ」と入力しても変換できます。
- 絵文字2は「えもじに」と入力しても変換できます。
- 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字2を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。
- SMSでははに、、、以外は半角空白に、置き換わって送信されます。

絵文字1

絵文字	読み
	はーと
	はーと
	しつれん　はーと
	はーと
	うれしい　にこ　かお
	おこる　いかり　むか かお
	がっかり　かなしい　かお
	かなしい　かお
	ふらふら　かお
	いぬ　どうぶつ
	ねこ　どうぶつ
	はれ　てんき　たいよう
	くもり　てんき　くも
	あめ　てんき　かさ
	ゆき　てんき
	かみなり　てんき
	たいふう　てんき　うずまき

絵文字	読み
	きり　てんき
	こさめ　てんき　かさ
	るんるん　おんぷ　おんがく
	むーど　おんぷ　おんがく
	おんせん　ふろ　おふろ
	かわいい　はな
	きすまーく　きす　くち
	ぴかぴか　きらきら
	ひらめき　でんきゅう ぴかぴか
	むか　いかり　おこる
	ぱんち　て　ぐー
	ばくだん
	ねむい　ねむり すいみん　ねる
	びっくり
	びっくり　はてな
	びっくり

絵文字	読み
	どん　しょうげき
	あせ
	あせ
	だっしゅ
	ちょうおん
	ちょうおん
	けってい　おーけー おっけー
	みぎうえ　みぎななめう え　やじるし
	みぎした　みぎななめし た　やじるし
	ひだりうえ　ひだりなな めうえ　やじるし
	ひだりした　ひだりなな めした　やじるし
	ぐっど　やじるし
	ばっど　やじるし
	め

絵文字	読み
	みみ
	ぐー　て
	ちょき　ぶい　ぴーす　て
	ぱー　て
	あし
	はーと　とらんぷ
	すぺーど　とらんぷ
	だいや　とらんぷ
	くらぶ　くろーばー とらんぷ
	でんしゃ　のりもの てつどう
	ちかてつ　のりもの
	しんかんせん　のりもの
	くるま　のりもの じどうしゃ
	くるま　のりもの じどうしゃ
	ばす　くるま　のりもの
	ふね　のりもの
	ひこうき　のりもの くうこう
	りぞーと　よっと　のりもの
	くりすます　つりー
	いえ　じたく
	びる　かいしゃ
	ゆうびんきょく　ゆうびん
	びょういん
	ぎんこう
	えーてぃーえむ　ぎんこう
	ほてる
	こんびにえんすすとあ こんびに
	がそりんすたんど　がそり ん　がすすた　がそすた
	ちゅうしゃじょう ぱーきんぐ　ぱーく
	しんごう
	といれ
	れすとらん　しょくじ ごはん
	きっさてん　こーひー かっぷ　かふぇ
	ばー　かくてる　さけ
	びーる　さけ
	ふぁーすとふーど はんばーがー
	ぶてぃっく　くつ　ひーる

絵文字	読み
	びよういん　はさみ とこや
	からおけ　まいく
	えいが
	ゆうえんち　もくば
	おんがく　へっどほん
	あーと
	えんげき
	いべんと
	ちけっと　きっぷ
	すぽーつ　しゃつ
	やきゅう　すぽーつ ぼーる
	ごるふ　すぽーつ
	てにす　すぽーつ
	さっかー　すぽーつ ぼーる
	すきー　すぽーつ
	ばすけっとぼーる　ばすけ ばすけっと　すぽーつ
	もーたーすぽーつ　ふらっぐ はた　すぽーつ
	ぽけっとべる　ぽけべる
	きつえん　たばこ
	きんえん　たばこ
	かめら
	かばん　ばっぐ
	ほん
	りぼん
	ぷれぜんと
	ばーすでー　ろうそく たんじょうび
	でんわ
	でんわ　けいたいでんわ けいたい　けーたい
	めーる
	めも
	てれび
	げーむ
	しーでぃー　おんがく
	くつ　すにーかー
	めがね
	くるまいす
	おひつじざ　せいざ
	おうしざ　せいざ
	ふたござ　せいざ
	かにざ　せいざ
	ししざ　せいざ

絵文字	読み
	おとめざ　せいざ
	てんびんざ　せいざ
	さそりざ　せいざ
	いてざ　せいざ
	やぎざ　せいざ
	みずがめざ　せいざ
	うおざ　せいざ
	しんげつ　つき
	つき
	はんげつ　つき
	みかづき　つき
	まんげつ　つき
	でんわ　けいたいでんわ けいたい　けーたい
	めーる
	ふぁっくす
	あいもーど
	あいもーど
	どこも
	どこも
	ゆうりょう　えん　おかね かね
	むりょう　ふりー
	あいでぃー
	ぱすわーど　かぎ　ろっく
	りたーん　えんたー
	くりあ
	さーち　むしめがね
	にゅー
	いちじょうほう　はた ふらっぐ
	ふりーだいやる
	しゃーぷだいやる
	もばきゅー
	いち　すうじ
	に　すうじ
	さん　すうじ
	よん　し　すうじ
	ご　すうじ
	ろく　すうじ
	なな　しち　すうじ
	はち　すうじ
	きゅー　きゅう　く すうじ
	ぜろ　れい　すうじ
	かちんこ　えいが
	ふくろ

絵文字	読み
	ぺん
	ひとかげ　ひと
	いす

絵文字	読み
	よる　つき
	すーん
	おん

絵文字	読み
	えんど　おわり
	とけい　じかん

絵文字2

絵文字	読み
	じてんしゃ　のりもの
	れんち　こうぐ　しゅうり
	ぱそこん　ぴーしー
	えんぴつ
	くりっぷ
	さゆう　やじるし
	じょうげ　やじるし
	りさいくる
	えぬじー
	まるひ　ひみつ
	きんし
	くうしつ　くうせき くうしゃ　あき
	ごうかく
	まんしつ　まんせき まんしゃ　まん
	きけん　けいこく　びっくり
	こぴーらいと　しー
	とれーどまーく てぃーえむ
	れじすたーどとれーど まーく　あーる
	あいあぷり
	あいあぷり
	どるぶくろ　おかね　かね
	うでどけい　とけい　じかん
	すなどけい　とけい
	おにぎり　おむすび
	しょーとけーき　けーき

絵文字	読み
	ぱん
	どんぶり　らーめん
	ゆのみ　おちゃ
	とっくり　にほんしゅ さけ
	わいんぐらす　わいん さけ
	ばなな　くだもの
	りんご　くだもの
	さくらんぼ　くだもの
	くろーばー　よつば　は はっぱ
	ちゅーりっぷ　はな
	め　は　はっぱ
	もみじ　は　はっぱ
	さくら　はな
	かたつむり　どうぶつ
	ひよこ　とり　どうぶつ
	ぺんぎん　どうぶつ
	さかな　どうぶつ
	うま　どうぶつ
	ぶた　どうぶつ
	てぃーしゃつ　しゃつ
	じーんず　じーぱん　ずぼん
	けしょう　くちべに
	ゆびわ　りんぐ
	おうかん
	ちゃぺる　べる　あらーむ
	どあ　とびら

絵文字	読み
	がっこう
	なみ　うみ
	ふじさん　やま
	すのぼ　すのーぼーど
	はしる　ひと　だっしゅ
	うーん　かお
	ほっ　にこ　かお
	あせ　かお
	あせ　かお
	むっ　むか　かお
	ぼけ　かお
	はーと　かお
	あっかんべー　べー　かお
	うぃんく　かお
	うれしい　にこ　かお
	がまん　かお
	ねこ　どうぶつ　かお
	えーん　かなしい　なく かお
	なみだ　かなしい　なく かお
	うまい　おいしい　かお
	うっしっし　うれしい　かお
	げっそり　さけび　かお
	おーけー　ぐっど　て おっけー
	らぶれたー　てがみ　めーる
	さいふ　おかね　かね

区点コード一覧

・実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る					
466	瑠	塁	涙	累	類					
					れ					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

つづく

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに、発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

○：新たに通信を実行できます。
△：条件により、新たに通信を実行できます。
×：新たに通信を実行できません。

発生・実行する処理／現在の状態	音声電話		テレビ電話		プッシュトーク		iモード	フルブラウザ	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	発信	着信	接続	接続	送信	受信
音声電話通話中	△※1	△※1、2	×	△※3	×	×※4	○	○	○	○※5
テレビ電話通話中	×	△※3	×	△※3	×	×	×	×	×	×
プッシュトーク通信中	×	△※6	×	×※4	×	×※4	×	×	×	×
iモード中	○	○	○※7	△※8	○※7	△※9	×	○※7	○	○
フルブラウザ接続中	○	○	○※10	△※8	○※10	△※9	×	×	○※10	○
iモードメール送受信中	○	○	○※7	△※8	○※7	△※9	○	○※11	○※12	○※12
SMS送受信中	○	○	○	○	○	○	○	○	○※12	○※12
iアプリ動作中	○※13	○※13	○※13	○※13	○※14	△※15	×	×	○	○※5
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
パソコンとつないだパケット通信中	○	○	×	×※4	×	×	×	×	×	×
64Kデータ通信中	×	△※2、16	×	△※3	×	×	×	×	×	×
お預かりセンターに接続中	○※17	○	○※18	△※8	○※18	△※9	×	×	×	×

発生・実行する処理／現在の状態	SMS		パケット通信		64Kデータ通信		データ転送（赤外線通信）	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信	送信	受信
音声電話通話中	○	○※5	○	○	×	△※3	×	×
テレビ電話通話中	×	○※5	×	×	×	△※3	×	×
プッシュトーク通信中	×	○※5	×	×	×	×	×	×
iモード中	○	○	×	×	×	×※4	×	×
フルブラウザ接続中	○	○	×	×	×	×※4	×	×
iモードメール送受信中	○※12	○※12	×	×	×	×※4	×	×
SMS送受信中	○※12	○※12	○	○	○※19	○	×	×
iアプリ動作中	○	○※5	○	○	○	○	○	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	○	○	○	×
パソコンとつないだパケット通信中	○※20	○	×	×	×	×※4	×	×
64Kデータ通信中	×	○※5	×	×	×	△※3	×	×
お預かりセンターに接続中	×	×	×	×	×	×※4	×	×

つづく

• miniSDメモリーカードのデータコピー中・初期化処理中、赤外線通信中、USB接続でデータ転送中、miniSDモード中は、いずれの通信も実行できません。
• 外部機器と接続してテレビ電話を行う場合は、64Kデータ通信中の動作になります。
• iモード中（iモード接続）は、iチャネルでの通信（情報の受信を除く）を含みます。
• iモードメール受信は、メッセージR/F受信、iチャネルの情報の受信を含みます。
※1： キャッチホンを「開始」に設定している場合、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2： 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3： キャッチホンまたは転送でんわサービスを「開始」に設定している場合、着信履歴に不在着信として記録されます。また、通話中着信設定を「開始」に設定している場合、キャッチホンまたは転送でんわサービスを「停止」に設定していても着信履歴に不在着信として記録されます。
※4： 着信履歴に不在着信として記録されます。
※5： 着信音は鳴りません。
※6： プッシュトーク中着信設定の設定に従います。
※7： iモード通信中の場合は、iモード通信が切断されます。
※8： パケット通信中着信設定に従います。
※9： iモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
※10：フルブラウザ接続中の場合は、フルブラウザ接続が切断されます。
※11：iモードメール送受信が終わるまで接続を待ちます。
※12：送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできない場合があります。
※13：iアプリのメロディは鳴らなくなります。また、iアプリでiモード通信中の場合は、iモード通信が切断されます。
※14：iアプリでiモード通信中は、iモード通信が切断されます。
※15：iアプリでiモード通信中は、iモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
※16：キャッチホンを「開始」に設定している場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかを選択できます。
※17：お預かりセンターに接続中の場合は、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）での発信はできません。
※18：お預かりセンターに接続中の場合は、お預かりセンターとの通信が切断されます。
※19：SMS送信中は発信できない場合があります。
※20：電話帳からSMSを作成・送信できます。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中／設定中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。

○：選択可能　×：選択不可

新規起動メニュー項目／実行中機能	ダイヤル発信	1 メール 1 受信メール	1 メール 2 新規メール	1 メール 3 チャットメール	1 メール 4 未送信メール	1 メール 5 送信メール	1 メール 6 問合せ 1 iモード問合せ	1 メール 6 問合せ 2 SMS問合せ	1 メール 6 問合せ 3 メール選択受信	1 メール 7 SMS 1 SMS作成	1 メール 7 SMS 2 SMS（FOMAカード（UIM））受信	1 メール 7 SMS 3 SMS（FOMAカード（UIM））送信	1 メール 8 テンプレート読込み	2 iモード 1 iMenu	2 iモード 2 Bookmark	2 iモード 3 Internet 1 URL入力	2 iモード 3 Internet 2 URL履歴	2 iモード 3 Internet 3 ラストURL	2 iモード 4 画面メモ
電話	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル入力	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
プッシュトーク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
64Kデータ通信	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
PPPデータ通信	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
送信／未送信／受信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
メール／SMS作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
メールテンプレート読込み	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F一覧画面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F詳細画面	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
iモード問合せ	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
フルブラウザ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
URL入力／URL履歴／Bookmark／ラストURL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
画面メモ一覧画面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
画面メモ表示画面	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
iチャネル	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
iアプリ／iアプリ一覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
iアプリダウンロード	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
iモーション（動画／音楽再生）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トルカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミュージックプレイヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳／プッシュトーク電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プッシュトークプラス	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辞典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール受信	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS受信	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
目覚まし／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
お知らせタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
お預かりセンターに接続	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
電話帳通信履歴表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

つづく

○：選択可能　×：選択不可

新規起動メニュー項目＼実行中機能	2 iモード 5 iモード問合せ	2 iモード 6 メッセージ 1 メッセージR	2 iモード 6 メッセージ 2 メッセージF	2 iモード 7 iチャネル一覧	2 iモード 8 フルブラウザ 1 ホーム	2 iモード 8 フルブラウザ 2 Bookmark	2 iモード 8 フルブラウザ 3 URL入力	2 iモード 8 フルブラウザ 4 URL履歴	2 iモード 8 フルブラウザ 5 ラストURL	3 iアプリ一覧	4 電話帳・履歴 1 電話帳	4 電話帳・履歴 2 プッシュトーク電話帳	4 電話帳・履歴 3 着信履歴	4 電話帳・履歴 4 リダイヤル	4 電話帳・履歴 5 伝言メモ・音声メモ 1 伝言メモ一覧	4 電話帳・履歴 5 伝言メモ・音声メモ 2 音声メモ録音	4 電話帳・履歴 5 伝言メモ・音声メモ 3 音声メモ一覧	4 電話帳・履歴 6 自局番号
電話	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○
プッシュトーク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○
64Kデータ通信	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
PPPデータ通信	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メールテンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F一覧画面	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F詳細画面	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iモード問合せ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
フルブラウザ	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
URL入力／URL履歴／Bookmark／ラストURL	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ一覧画面	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ表示画面	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iチャネル	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ／iアプリ一覧	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリダウンロード	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iモーション（動画／音楽再生）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トルカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミュージックプレイヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○
電話帳／プッシュトーク電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
プッシュトークプラス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辞典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
iモードメール受信	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS受信	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
目覚まし／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
お知らせタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
お預かりセンターに接続	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
電話帳通信履歴表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

○：選択可能　×：選択不可

新規起動メニュー項目 ＼ 実行中機能	5 データBOX					6 LifeKit					7 ステーショナリー				8 音量設定			9	#
	1 マイピクチャ	2 iモーション	3 メロディ	4 キャラ電	5 マイドキュメント	1 バーコードリーダー	2 トルカ	3 カメラ	4 ビデオカメラ	5 サウンドレコーダー	1 スケジュール帳	2 メモ帳	3 電卓	4 辞典	1 電話着信音量	2 メール・メッセージ着信音量	3 iアプリ音量	ミュージックプレイヤー	マナーモード設定／解除
電話	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○	×	×
プッシュトーク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×
64Kデータ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
PPPデータ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
送信／未送信／受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メールテンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F一覧画面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F詳細画面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモード問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
i Menu	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フルブラウザ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
URL入力／URL履歴／Bookmark／ラストURL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ一覧画面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ表示画面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iチャネル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ／iアプリ一覧	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
iアプリダウンロード	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
iモーション（動画／音楽再生）	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
メロディ	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
マイピクチャ	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キャラ電	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
マイドキュメント	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
ビデオカメラ／サウンドレコーダー	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
バーコードリーダー	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
トルカ	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
ミュージックプレイヤー	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×
電話帳／プッシュトーク電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プッシュトークプラス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
辞典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
目覚まし／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
お知らせタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
外部機器によるテレビ電話	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
お預かりセンターに接続	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
電話帳通信履歴表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

• 選択可能な機能でも、起動状況やロック設定の状況などによって、実行できない場合があります。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

おしらせ

● コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2006年11月現在）。

● 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2006年11月現在）。

● FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

● おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

● 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。

● 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ^2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話、公衆電話からFOMA端末へおかけになる際のクレジット通話は利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA 端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック　D06
- リアカバー　D11
- 卓上ホルダ　D09
- FOMA ACアダプタ　01
- FOMA海外兼用ACアダプタ　01
- FOMA DCアダプタ　01
- FOMA乾電池アダプタ　01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク　P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット　P01
- イヤホンジャック変換アダプタ　P001
- スイッチ付イヤホンマイク　P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット　P001※1
- イヤホンターミナル　P001※1
- FOMA USB接続ケーブル
- データ通信アダプタ　D01
- FOMA室内用補助アンテナ
- 車載ハンズフリーキット　01※2
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル　01
- 車内ホルダ　01
- キャリングケースL　01

※1：イヤホンジャック変換アダプタ　P001が必要です。
※2：FOMA D902iSと接続するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル　01が必要です。

付録／外部機器連携／困ったときには　利用できるサービス

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

データリンクソフトのご紹介

「FOMA Dシリーズ　データリンクソフト」を使って、ブックマークなどのデータを、FOMA 端末と接続したパソコンとの間で転送できます。「FOMA Dシリーズ　データリンクソフト」は、添付のCD-ROMに収録されている他、次のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/d902is/

- データリンクソフトのインストールについては、添付のCD-ROMの「DataLink」フォルダ内の「README_DL」ファイル（テキスト形式）をご覧ください。
- ダウンロード方法、転送可能データ、操作方法、動作環境など詳細については、上記ホームページ、または、データリンクソフトのヘルプをご覧ください。

・パソコンとの接続には、FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
・FOMA 端末にダウンロードした情報は、著作権法によりデータリンクソフトでもFOMA端末から外に転送できません。また、FOMA 端末から外への出力が禁止されているデータも転送できません。

対応OS

Windows 98SE、Me、2000、XP
・上記OSが動作するPC/AT互換機

ご使用にあたって

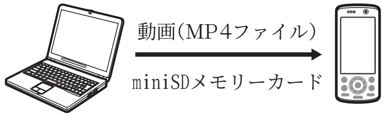
・著作権について
本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は三菱電機株式会社に帰属します。
・免責事項について
三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

データリンクソフトに関する技術的なお問い合わせ先

三菱電機データリンクサポートセンター
03-5319-5720
受付時間:平日9:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日、年末年始および所定の休日を除く）
・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

動画データを外部機器から取り込んでFOMA端末で再生する

パソコンなど外部機器で作成した動画ファイルを、FOMA 端末で再生可能な形式に変換してminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生できます。



Motion Smooth 2でファイル形式を変換する

添付のCD-ROMに収録されているパソコン用動画変換ソフトMotion Smooth 2を利用すると、パソコン上の動画ファイルをFOMA 端末で再生可能な形式に変換できます。対応する動画ファイルの形式は次のとおりです。

項　目	対応する動画ファイル形式
変換前※1	AVI、MOV、WMV、MPEG1、MPEG2
変換後	MP4（画像サイズ320×240ドット）

※1：パソコンの環境によっては変換できないファイルがあります。
・Motion Smooth 2の操作方法は、『FOMA D902iS Motion Smooth 2簡易操作ガイド』およびMotion Smooth 2のヘルプをご覧ください。
・変換した動画ファイルを FOMA 端末で再生するには、パソコンから miniSD メモリーカードに動画ファイルを転送する必要があります。FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用すると、FOMA端末に挿入したminiSDメモリーカードをパソコンで使用できます。☛P343
・miniSDメモリーカードに保存した動画を再生する方法については☛P339

■ Motion Smooth 2の動作環境

項　目	動作環境
パソコン	Intel Pentium Ⅲ 800MHz以上のプロセッサを搭載したPC/AT互換機
OS	Windows 2000（DirectX8.1 以降）、XP
メモリ	256Mバイト以上
ハードディスク	256Mバイト以上の空き容量
必要なソフトウェア	Windows Media Player 7.1以降（必須） QuickTime Player 6.1以降（推奨）※1 DVD PlayerなどMPEG2の再生ソフト（推奨）※2
ディスプレイ	1024×768ドット以上の解像度でTrueカラーまたはフルカラー表示が可能なこと。

項　目	動作環境
その他	サウンドカードが装着されており、音声が再生できること。

※１：MOV形式のファイルを変換する場合に必要になります。

※２：MPEG2形式のファイルを変換する場合に必要になります。

■ **Motion Smoothy 2のインストール**

添付のCD-ROMをパソコンにセットすると「ソフトウェアのセットアップ」画面が表示されます。「Motion Smoothy 2」をクリックします。以降、画面表示に従って操作します。

- インストール時に入力するシリアル番号は、CD-ROMに添付されているシールに記載されています。

■ **Motion Smoothy 2に関するお問い合わせ先**

三菱電機データリンクサポートセンター
03-5319-5720
受付時間：平日9:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日、年末年始および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

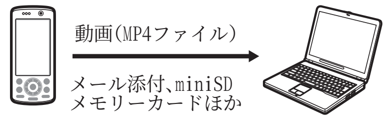
おしらせ

● miniSDメモリーカードに保存した動画が再生されない場合は、miniSDメモリーカードの情報更新を行ってください。☛P342

● Motion Smoothy 2の動作環境、インストール、利用にあたっての詳細な情報を、添付のCD-ROMの「MotionSmoothy」フォルダ内の「README_MS2」ファイル（テキスト形式）に記載しています。Motion Smoothy 2を利用する前にご確認ください。

FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画（MP4ファイル）をminiSDメモリーカードやメール添付などで転送し、パソコンで再生できます。



- FOMA端末で撮影した動画ファイルの形式 ☛P180

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4 ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Player は以下のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。☛P457

電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P41
- 電池切れになっていませんか。☛P45
- デュアルネットワークサービスで mova 端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

●ディスプレイ上部のアイコンが点滅し、ピピピというアラーム音が鳴っている

電池が少なくなっています。充電してください。☛P42

●充電できない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P41
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- ACアダプタ（別売）のコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダ（別売）の接続端子にしっかりと差し込まれていますか。☛P44
- 卓上ホルダ（別売）にFOMA端末が正しく取り付けられていますか。☛P44

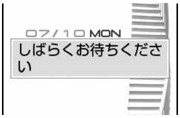
※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

●**充電中に決定キーの照明が赤く点滅する**

通話／通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末から別売りのACアダプタ（卓上ホルダ）やDCアダプタを外してセットし直し、正しい方法で再度充電してください。☛P43、P44
以上の操作をしても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

電話関連

●**ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない**



- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。ダイヤルキーを押すと、文字情報を消去できます。
- 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●**ダイヤルキーを押しても発信できない**

- オールロックを設定していませんか。☛P164
- ダイヤル発信制限を設定していませんか。☛P167
- セルフモードを設定していませんか。☛P166
- おまかせロックが設定されていませんか。☛P165

●**ディスプレイに「圏外」と表示され、話中音（ツーツー）が出る**

サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。☛P46

●**電話をかけたが話中音（ツーツー）が出てつながらない**

- 市外局番を忘れていませんか。☛P50
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
- 「圏外」の表示が出ていませんか。☛P46

●**着信音が鳴らない**

- 着信音量を「silent」（消音）に設定していませんか。☛P69
- 次の機能を設定していませんか。
  - ・メモリ別着信拒否／許可☛P171
  - ・発番号なし動作設定☛P172
  - ・呼出動作開始時間設定☛P174
  - ・メモリ登録外着信拒否☛P174
- マナーモードに設定していませんか。☛P139
- 公共モード（ドライブモード）に設定していませんか。☛P74
- オールロックを設定していませんか。☛P164
- セルフモードに設定していませんか。☛P166
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。☛P394、P396

●**エニーキーアンサー機能で音声電話を受けることができない**

エニーキーアンサー設定を「OFF」に設定していませんか。☛P65

●**通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる**

受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。☛P69

●**リダイヤル／着信履歴が勝手に削除される**

- ダイヤル発信制限を設定していませんか。☛P167
- PIMロックを設定していませんか。☛P166

●**電話がかかってきたときに、電話帳に登録した名前が表示されない、電話帳に登録した着信音が鳴らない**

- 相手から電話番号が通知されていますか。☛P63
- 相手の電話番号と電話帳に登録した電話番号が一致していますか。
- FOMA 端末電話帳に同じ電話番号を複数登録していたり、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号を登録していませんか。☛P111
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P168

●**電話がかかってきたとき、設定していない着信音が鳴る**

- 複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
  ① マルチナンバーの着信設定
  ② FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
  ③ FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
  ④ 音の設定
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P168

●**電話がかかってきたとき、設定していないイメージが表示される**

- 電話着信設定の着信音に音声と映像のある動画／iモーションが設定されている場合は、イメージは設定した動画／iモーションになります。
- 複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位でイメージが表示されます。詳しくは☛P148
  ① マルチナンバーの着信設定
  ② FOMA端末電話帳の設定／FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
  ③ FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
  ④ 発着信画面表示設定（電話着信設定／テレビ電話着信設定）／音の設定
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P168

●**電話がかかってきたとき、設定していないイルミネーションパターン、イルミネーションカラーで決定キーの照明が点灯／点滅する**

- 複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定している場合は、次の優先順位に従って決定キーの照明が点灯／点滅します。
  ① FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
  ② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
  ③ イルミネーション設定
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P168

設定・操作関連

●**メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない**

各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示され、選択できません。

●**キー確認音が鳴らない**

- キー確認音を「OFF」に設定していませんか。☛P134
- マナーモードに設定していませんか。☛P139

●**FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される**

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMA カードが正しく取り付けられているかご確認ください。☛P38

●**ディスプレイに「オールロック中」と表示されている**

オールロック中です。解除してください。☛P164

●**ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示され、操作できない**

おまかせロック中です。☛P165

●**ディスプレイに何も表示されていない**

- 照明設定で、点灯時間設定の「通常時」を「常時」以外に設定していませんか。何も操作せずに約90秒が経過すると画面の表示が消えます。☛P150
  キー操作をすると再び表示されます。
- プロテクトキーロックを設定していませんか。プロテクトキーロック中は画面の表示が消えます。☛P170

●**キーを押しても操作できない**

プロテクトキーロック中のため、キーの操作が無効になっています。解除してください。☛P170

●**曜日が英語で表示される**

- バイリンガル設定で英語表示に設定していませんか。☛P158
- 時計表示設定で「英語」に設定していませんか。☛P157

●**ディスプレイが暗い**

照明設定で、明るさ調整を「低輝度」に設定していませんか。☛P150

●**ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない**

照明設定で、点灯時間設定の「通常時」を「0秒」に設定していませんか。☛P150

●**自動電源ON設定を「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない**

電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、自動電源ONの機能は動作しません。

●**目覚ましやスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない**

- 電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。
- アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。☛P372

●**通話料金が積算されなくなった**

通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。☛P384

メール・データ関連

●**カメラで撮影した静止画や動画がぼやける**

- 近くの被写体を撮影するときは接写撮影、離れた被写体を撮影するときは通常撮影に切り替えてください。☛P191
- 手ぶれ補正を「オート」にして撮影してください。☛P193

●**ダウンロードデータ、メール添付のファイル、メッセージR/Fの表示や再生ができない**

FOMAカード動作制限機能により、FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合は、これらの機能は動作しません。☛P40

●**メール受信時に、電話帳に登録した名前が表示されない、電話帳に登録した着信音が鳴らない**

- 相手のメールアドレスまたは電話番号と電話帳に登録したメールアドレスまたは電話番号が一致していますか。☛P111
- FOMA端末電話帳に同じメールアドレスまたは電話番号を複数登録していたり、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じメールアドレスまたは電話番号を登録していませんか。☛P111
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P168

●**メール受信時に、設定していないメール着信音が鳴る**

- 複数の機能でメール着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
  ① FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
  ② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
  ③ 音の設定
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従いメール着信音が鳴ります。
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P168

●**メール受信時に、設定していないメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーで決定キーの照明が点灯／点滅する**

- 複数の機能でメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位に従って決定キーの照明が点灯／点滅します。
  ① FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
  ② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
  ③ イルミネーション設定
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに対応したメール着信イルミネーションパターンとメール着信イルミネーションカラーで点灯／点滅します。
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P168

●**静止画や動画が や で表示される**

データが壊れている場合は正しく表示できず、 や で表示されます。

●**キーを押したときの画面の反応が遅い**

FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときに、FOMA端末の画面の反応が遅くなることがあります。

その他

●**ICカード機能が使えない**

- ICカードロックを設定していませんか。または、ICカードオートロック設定により、自動的にICカードロックが設定されていませんか。☛P302、P304
- 電池パックが正しく取り付けられていないか、電池パックが取り外されていると、ICカードロックが設定され、ICカード機能が使えなくなります。電池パックが正しく取り付けられているかを確認し、電源を入れ直してください。☛P41

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

- エラーメッセージ中の「(数字)」または「XXX」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

英字

●FOMAカード（UIM）がいっぱいです

FOMAカードの保存領域の空きが不足しているためSMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか（☛P270）、FOMA端末に移動してください（☛P269）。

●FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません

サイトやインターネットホームページからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●FOMAカード（UIM）が挿入されていないためご利用できません

FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。☛P38

●FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●FOMAカード（UIM）が認識できないためご利用できません

FOMAカードが挿入されていないため実行できません。動画／ｉモーションを再生するには、保存時と同じFOMAカードを挿入してください。

●FOMAカード（UIM）または機種が異なるためご利用できません

保存時と異なるFOMAカードが挿入されているか、機種が異なるため動画／ｉモーションを再生できません。

●ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのソフトを削除しますか？

ICカード内のデータがいっぱいのため、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、新しいおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできません。「はい」を選択すると削除対象となるｉアプリが一覧表示されますので、ICカードに必要な空き容量ができるまで、登録済みのｉアプリを削除してください。

- 一覧に「ICカード使用ソフトがいっぱいです　ソフトを削除してください」と表示されたときは、削除するｉアプリを選択します。ｉアプリを選んだときガイド行右上に「起動」と表示されたときは、Ⓜを押してｉアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してから選択してください。
- 一覧に「XXXXバイトの削除が必要です」と表示されたときは、ｉアプリごとにICカード内のデータの使用量が表示されます。削除するｉアプリを選びⓂを押してｉアプリを起動し、ICカード内のデータを削除します。その後、ｉアプリを選択して削除してください。

●ICカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？

複数削除または全件削除するｉアプリの中に、ICカード内のデータを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」を選択します。

●ICカード内データにエラーがあるため削除できません

ICカード内のデータにエラーがあるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

●ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？

ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「いいえ」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？

ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多く、「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」のメッセージが表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●ｉモーション再生サイズを超えています／超えました

標準タイプのｉモーションのデータ取得時、またはデータ取得中の再生時に、データが500Kバイトを超えたため受信または再生が完了しませんでした。

●ｉモーション最大サイズを超えています／超えました

ストリーミングタイプのｉモーションのデータ取得時に、サイズが2Mバイトを超えたため取得が完了しませんでした。

●ｉモードセンターが混みあっています　しばらくお待ち下さい（555）

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●miniSDカードが挿入されていません

miniSDメモリーカードがFOMA端末に取り付けられていないためデータの保存や操作ができません。miniSDメモリーカードを取り付けてから操作してください。☛P335

●miniSDカードの保存件数がいっぱいです。保存先を本体に変更します

カメラの静止画詳細設定および動画／録音詳細設定の保存先を「miniSDカード」に設定しているときにminiSDメモリーカードの保存件数がいっぱいになると、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●miniSDカードの保存領域がいっぱいです

miniSDメモリーカードの保存領域の空きが不足しているため、データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。☛P339、P341

●miniSDカードへの保存はできません。保存先を本体に変更します

ダウンロードしたキャラ電の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されている場合、そのキャラ電を撮影した静止画／動画はminiSDメモリーカードに保存できません。また、撮影後ファイル制限の設定は変更できません。

●miniSDカード未挿入または音楽データがありません。付属のソフトを使用して音楽データをminiSDカードに入れてください

miniSDメモリーカードが取り付けられていません。または、miniSDメモリーカードにミュージックプレイヤー用のフォルダがないか、フォルダにデータがありません。miniSDメモリーカードを取り付けるか、音楽データを保存してください。☛P335、P361

●PIMロック中です

PIMロック中は、禁止されている操作はできません。

●PINロック解除コードがロックされています

ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

●SMSセンター設定を確認してください

SMS設定の「SMSC」の設定が誤っています。設定を確認してください。☛P268

●SSL通信が切断されました／TLS/SSL通信が切断されました

SSL通信中またはTLS/SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL通信またはTLS/SSL通信が中断されました。

●SSL通信が無効です／TLS/SSL通信が無効です

SSL通信またはTLS/SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●SSL通信が無効に設定されています／TLS/SSL通信が無効に設定されています

FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。☛P220

●SSL通信を切断しました／TLS/SSL通信を切断しました

SSL通信中またはTLS/SSL通信中にサイトの証明書に問題を検出しました。接続確認画面で「いいえ」を選択した場合に表示され、SSL通信またはTLS/SSL通信が切断されます。

●URLが正しくありません

入力したURLにエラーがあります。URLを確認してください。

●URLが長すぎて登録できません

URLが登録可能な文字数を超えているためブックマークまたは画面メモに登録できません。

ア

●宛先をご確認ください

SMSの送信に失敗しました。宛先が正しいかどうか確認してください。

●アドレスが登録されていません

選択したメールグループ内にメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを登録してください。☛P258

●アドレスをご確認ください

メールグループに入力したメールアドレスにエラーがある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。

●以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）

いくつかの宛先にｉモードメールを送信できませんでした。(●)を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいかどうか確認の上、電波状態のよい場所で送信し直してください。

●移動できませんでした

データの複数移動または全件移動時に、すべてのデータを移動できませんでした。

●エラーが発生したため保存できません

添付ファイル保存時にエラーが発生したため、保存できません。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です

留守番電話サービスおよび転送でんわサービスが未契約です。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした（408）

サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がないため、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

●おまかせロック中です

おまかせロックが設定されているため操作できません。かかってきた電話は受けられます。☛P165

●音声データが壊れているので起動できません。音声データを登録してください

登録されている音声データが壊れているため、ボイス認証ができません。音声データを登録し直してください。☛P303

カ

●画像に誤りがあり正しく動作しません

画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

●画像を表示できません

画像にエラーがあるため表示できません。画像を確認してください。

●規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）

メール受信時に取得できなかった10000バイトを超える静止画の取得時に、規定のアクセス回数を超えました。

●圏外です

電波の届かない場所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●更新できませんでした

パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了後、電波状態のよい場所で更新し直してください。

●このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください。今すぐ設定を行いますか？

ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとしました。「はい」を選択してｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。設定しないときは「いいえ」を選択します。☛P224

●このカードは認識できません

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取り付けを確認してください。☛P38

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

●この画像は保存できません
サイトや画面メモ、メッセージR/F内の画像にエラーがあるため、保存できません。

●このキャラ電は表示できません
データに不正があるキャラ電は表示できません。

●この形式のデータは実行できません
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータをminiSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動したり、検索することはできません。

●このサイトとのSSL通信は無効です／このサイトとのTLS/SSL通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？
サイトの証明書が、FOMA端末が対応していない証明書です。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？
FOMA端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。☛P220
また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付・時刻を正しく設定してください。☛P46

●この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。☛P220

●このソフトは現在利用できません
IP（情報サービス提供者）によってiアプリの使用が停止されています。

●このデータは再生できない可能性があります
FOMA端末が対応していない形式の動画／iモーションです。または、動画ファイルが破損している可能性があります。

●このデータは表示できません
メールテンプレートにエラーが発生したため、表示できません。

●このデータは保存できません。取得しますか？
iモーションを保存できませんが、取得するときは「はい」を、取得しないときは「いいえ」を選択します。

●この動画は再生できません
データが空か、再生できない形式の動画／iモーションです。

●このトルカは保存できません
対応していないトルカです。

●このメロディは再生できません
メロディのデータに異常があるため再生できません。

●コピーできませんでした
- データBOXのデータの複数コピーまたは全件コピー時に、すべてのデータをコピーできませんでした。
- コピーできない形式のPIMデータをコピーしようとしました。
- メモリ不足のためPDFデータをコピーできませんでした。待受画面に戻してから、操作し直してください。

●これ以上ウィンドウを開けません
ウィンドウ数またはフレーム数が多すぎて新しいウィンドウを開けません。既に開いているウィンドウを閉じると表示できる場合があります。

●これ以上入力できません
入力可能な文字数を超えています。文字数を減らしてください。

●コンテンツに誤りがあるためダウンロードできません
課金対象コンテンツが不正のためダウンロードできません。

サ

●サービス未契約です
- iモードの契約がされていません。iモードを利用するには申し込みが必要です。
- iモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

●サービス未提供です
SMSが未提供です。

●再生可能日前です。再生できません
iモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。
☛P322

●再生制限データに誤りがあるため、取得できません
再生制限データが誤っているため取得できません。

●再生できません
メロディやiモーションのデータが再生できません。

●再生できませんでした
再生できない音楽データです。

●最大サイズを超えたので中断しました
- サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため取得を中断しました。(サ)を押すと正常に取得した部分までを表示します。
- ダウンロード中のデータが最大サイズを超えたため受信を中断しました。

●最大サイズを超えています。受信できません（452）
サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えているため、受信できません。

●最大フレーム数を越えたので中断しました
フレーム数が多すぎて表示できません。マルチウィンドウ中の場合、開いているウィンドウを閉じると表示できる場合があります。

●最大文字数を超えたため引用できない部分がありました
返信時に、SMSの本文が70文字（送信種別が英語の場合は160文字）を超えたため、引用できない文字がありました。

●最大文字数を超えました
返信時に、iモードメールの本文が全角5000文字（半角10000文字）を超えました。文字数を減らして送信してください。

●サイトが移動しました（301）
サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

●サイトに接続できませんでした（403）
指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されるなど、何らかの原因で接続できませんでした。

●**削除しますか？　ICカード内データも削除されます**

複数削除または全件削除するｉアプリの中に、ｉアプリを削除するとICカード内のデータも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内のデータを削除するときは「はい」を選択します。

●**指定サイトがみつかりません（404）**

サイトなどが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

●**指定サイトに表示データがありません（204）**

指定のサイトにデータがありませんでした。

●**指定先にジャンプできません**

ｉモーションのテロップにサイト（Web To）などのリンクが設定されているとき、URLが256文字を超えている場合や取得を中断した場合は、リンク先を表示できません。

●**指定されたソフトがありません**

メールや外部機器から指定されたｉアプリがFOMA端末に保存されていません。

●**指定されたソフトが起動できませんでした**

ｉアプリにエラーが発生したため、ｉアプリを起動できません。
サイトやメール、外部機器からｉアプリTo機能で指定されたｉアプリを起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合はｉアプリを起動できません。

●**指定したサイトへは接続できませんでした（504）**

何らかの原因で指定のサイトなどに接続できませんでした。操作し直してください。

●**指定したファイルが見つかりません（492）**

メール受信時に取得できなかった10000バイトを超える静止画の取得時に、指定ファイルが見つかりませんでした。

●**しばらくお待ちください**

音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**しばらくお待ちください（パケット）**

パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります**

受信中にエラーが発生したため、SMS をすべて受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して、SMS問合せを行ってください。
☛P268

●**受信メールがいっぱいです**

受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ｉモードメールを受信できません。未読のｉモードメールを読むか、ｉモードメールの保護を解除するか、ｉモードメールを削除してください。

●**受信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**

チャットメールの受信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**受信を拒否されました**

SMSセンターにSMSの受信を拒否されました。

●**詳細に誤りがあるため取得できません**

トルカ（詳細）のデータが不正です。

●**詳細を取得できません**

トルカ（詳細）の取得に失敗しました。操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、トルカのデータに誤りがあるなどのため取得できない可能性があります。

●**情報が正しくないため再生できませんでした**

添付されたメロディや動画／ｉモーションのデータが不正なため再生できませんでした。

●**署名・テンプレート・振り分け設定データが壊れております。お買い上げ時の状態に戻しますか？**

署名・テンプレート・振り分け設定のデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

●**署名は設定されていません**

署名を登録してから操作し直してください。☛P258

●**署名をつけることができません**

- 最大文字数を超えるため署名を挿入できません。
- 署名が装飾されているためSMSに挿入できません。
- SMS設定で送信文字種が「英語」に設定されているため、署名を挿入できません。送信文字種を「日本語」に変更してください。☛P268

●**新規パターンデータがリリースされました。スキャン機能のパターンデータ更新を起動してください**

パターンデータの自動更新に失敗しました。手動でパターンデータ更新を行ってください。☛P462

●**既にメッセージをお預かりしています**

既にSMSは送信済みです。

●**正常に接続できませんでした（400）**

- サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうかを確認してください。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

●**赤外線　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**

FOMAカードが挿入されていないため、赤外線通信で受信したデータにｉアプリToが設定されていても、指定されているｉアプリを起動できません。

●**赤外線　接続相手が見つかりません。処理を継続しますか？**

赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま5秒以上経過しました。20cm以内の距離で、相手の赤外線ポートにFOMA端末を向けてから「はい」を選択してください。☛P348

●**赤外線　中断されました**

赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を相手の赤外線ポートに向けたまま動かさないでください。☛P348

●**赤外線　認証接続できませんでした**

認証パスワードが正しくないため、全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。☛P350、P351

●**セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました**

許可されていない動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

●セキュリティエラーのため、終了しました

許可されていない動作があったため、i アプリが終了しました。セキュリティエラー履歴に記録されます。

●接続が中断されました

電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●接続先のサーバは現在ご利用できません（502）

お預かりセンターの設備が故障、または非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●接続できません

i モードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●接続できませんでした

サーバとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●接続できませんでした（503）

サーバのメンテナンスや回線の混雑などのため接続に失敗しました。しばらくたってから操作し直してください。

●接続できませんでした（562）

i モードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●設定時間内に接続できませんでした

i モードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●セルフモード中です

セルフモード中は禁止されている操作はできません。

●送信できません。宛先を確認してください（451）

i モードメールまたは SMS が送信できません。宛先が正しいかどうか確認してください。

●送信できませんでした

i モードメールまたは SMS の送信に失敗しました。電波状態のよい場所で送信し直してください。

●送信できませんでした（552）

i モードセンターまたは SMS センター側のエラーにより、i モードメールまたは SMS の送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●送信を拒否されました

SMSの送信が拒否されました。

●そのソフトは最新です

既に最新の i アプリにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

●ソフトウェア更新予約が解除されました。再度予約操作を行ってください

電池切れのまま長期間充電しなかったなどのためソフトウェア更新の予約が解除されました。ソフトウェア更新を起動し、再度予約操作を行ってください。☛P458、P460

●ソフトに誤りがあります／ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません

i アプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください

IC カード内のデータを削除しないと削除できない i アプリです。i アプリを起動し、IC カード内のデータを削除してから、i アプリを削除してください。

タ

●対応機種ではありません

ダウンロードしようとした i アプリが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

●対応していないコンテンツです

FOMA 端末で対応していないコンテンツのため、操作できません。

●ダイヤル発信制限中です

ダイヤル発信制限中は禁止されている操作はできません。

●ダウンロードできませんでした

受信中に通信が中断されました。電波状態のよい場所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。

●ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい

i モードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってから i モード／フルブラウザをご利用ください。

●チャットメールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●チャネル情報取得失敗しました

i モードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？

メールまたはトルカのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないとメールまたはトルカを起動できません。

●データが不正です

ダウンロードしたデータにエラーがあります。

●データ転送モードへ移行できません

FOMA 端末が通信中です。データ転送モードに移行できないため、処理を実行できません。通信を終了するか、しばらくたってから操作し直してください。

●データまたはminiSDカードが壊れています

miniSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。miniSDメモリーカードを初期化するか、新しいminiSDメモリーカードを取り付けてください。☛P342、P335

●データまたはminiSDカードが壊れています。保存先を本体に変更します

カメラやキャラ電で撮影した静止画や動画の保存先を「miniSDカード」に指定しているときに miniSD メモリーカードにアクセスできない場合、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●電話中のため動画撮影・録音はできません

通話中のカメラ撮影時は動画撮影および音声録音への切り替えはできません。通話を終了してから動画撮影・音声録音に切り替えてください。

●電話帳に登録されていません

入力した番号が電話帳に登録されていません。電話帳に登録してください。

●問合せできませんでした

電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●同時に通話できる人数４人を超えています

５人以上のメンバーに対してプッシュトーク発信しました。４人以内のメンバーを選んで発信してください。

●登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）

ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

●トルカがいっぱいのため取得できません　いずれかのトルカを削除してください

トルカの保存件数／保存領域がいっぱいのため、トルカを取得できません。不要なトルカを削除してください。

●トルカがいっぱいのため保存できません。いずれかのトルカを削除してください

トルカの保存領域の空きが不足しているため、トルカを保存できません。不要なトルカを削除してください。

●トルカが保存できませんでした

トルカのサイズが保存可能なサイズを超えているか、データが不正なため保存できません。

●トルカに誤りがあるため取得できません

トルカのデータが不正です。

●トルカを参照できませんでした

トルカの表示に失敗しました。操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、データが壊れていて表示できない可能性があります。

●トルカを取得できません

トルカのデータが不正です。

ナ

●長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません

サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。◉を押すと各項目の最大文字数を超えた部分が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

●入力データまたはURLが長すぎます

サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●入力データをご確認ください（205）

サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

●認証タイプに未対応です（401）

認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。

●認証を中止しました

基本認証画面で認証を中止したときに表示されます。

ハ

●バージョン表示できませんでした

パターンデータのバージョンを確認できません。再度パターンデータを更新してください。☛P462

●パスワードをご確認ください（401）

サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。

●発信規制中のため、接続できません

発信規制中のため接続できません。しばらくたってから操作し直してください。

●発信できません

音声電話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、または64Kデータ通信中に音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信はできません。

●日付時刻が設定されていません。起動できません

日付・時刻が未設定の場合、ｉアプリDX、目覚まし、スケジュール帳を起動できません。日付・時刻を正しく設定してから起動してください。☛P46

●表示できないファイルがあります

ダウンロードしたメールに動画／ｉモーションまたは10000バイトを超える画像が添付されています。ダウンロードしたメールからは、これらのデータは表示／再生できません。

●ファイルを添付することができません

1件のメールに添付可能な最大件数を超えました。

●不正なデータが含まれています

バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動するとき、データに不正がある場合はｉアプリを起動できません。

●不正なデータのため保存できません

ダウンロードしたキャラ電に不正があるため、キャラ電を保存できません。

●他の機能が起動中のため起動できません

他に起動している機能をすべて終了してから実行してください。

●他の機能が起動中のため読み込みできません

パターンデータ更新中のため実行できません。更新完了後に実行してください。

●保存できないデータです

赤外線通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

●保存できません／保存できませんでした

- データにエラーがあったため保存できません。
- PDFデータが大きすぎるなどのため、保存に失敗しました。

●保存領域がいっぱいです。不要な電話帳を削除してください

FOMA端末電話帳の保存領域の空きが不足しているため、プッシュトーク電話帳の登録、削除およびプッシュトークグループへのメンバー追加・編集・削除ができません。FOMA端末電話帳の不要なデータを削除してください。

●保存領域がいっぱいで保存できません

FOMA端末の保存領域の空きが不足しているため、SMSを保存できません。SMSをFOMAカードに移動するか、ｉモードメールやSMSを削除してください。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

●保存領域に誤りがあるためプッシュトーク電話帳が読み書きできません。終了します

FOMA 端末電話帳およびプッシュトーク電話帳の保存領域に誤りがあるため、プッシュトーク電話帳の読み書きができません。FOMA 端末電話帳を起動してください。FOMA 端末電話帳を起動すると、保存領域の修復が行われます。

●本体の保存件数がいっぱいです

FOMA 端末の保存件数がいっぱいか、保存領域の空きが不足しているため実行できません。該当する不要なデータを削除してください。

マ

●マイピクチャ／その他の画像／動画／その他の動画／メロディ／PIM ／トルカ／マイドキュメントフォルダの保存件数がいっぱいです

miniSD メモリーカードの各フォルダの保存件数がいっぱいのため、各データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。☛P339、P341

●未送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの未送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●未保存のデータを本体に保存するか削除してください

赤外線通信の INBOX の保存件数がいっぱいのため、赤外線通信を終了できません。INBOX のデータをFOMA 端末に保存するか、削除してください。☛P351

●無効なデータを受信しました（XXX）

- 指定のサイトやインターネットホームページに対応していません。
- URL が間違っている可能性があります。URL が正しいかどうか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

●メールデータを参照できませんでした

- メールの削除時や検索時などに、他の処理で使用しているため、対象のメールデータを参照できませんでした。しばらくたってから操作し直してください。
- チャットメールでメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。

●メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため SMS を受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。

●メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため、SMSをすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してから SMS 問合せを行ってください。

●メール受信処理中です。しばらくして、再度起動してください。

メール・メッセージ R/F 受信中はｉ チャネルを起動できません。受信後に操作し直してください。

●メールを表示できません

受信、送信メールにエラーがあるため表示できません。

●メッセージがいっぱいです

保存領域の空きが不足しているためメッセージ R/F を受信できません。未読のメッセージ R/F を読むか、メッセージ R/F の保護を解除するか、メッセージ R/F を削除してください。

●メモリ不足が発生したためアプリケーションを終了します

メモリ不足が発生したため実行中の機能を終了します。

●メモリ不足が発生したため接続できません

メモリが不足したため接続できません。既に開いているウィンドウを閉じるか、実行中の他の機能を終了すると接続できる場合があります。

●メモリ不足です／メモリ不足です。メインメニューに戻ります

メモリ不足が発生したため処理を中断します。

●メモリ不足のためウィンドウを開けません

メモリが不足したためウィンドウを開けません。既に開いているウィンドウを閉じるか、実行中の他の機能を終了すると実行できる場合があります。

●メモリ不足のため署名を編集することができません。削除します

署名編集起動時にメモリ不足が発生しています。署名データを削除します。

ヤ

●ユーザ証明書がありません。継続しますか？

ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。

●ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？

ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。☛P220

ラ

●料金情報の読み込みができませんでした

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P38

●料金情報のリセットができませんでした

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P38

●利用できないフォーマットです

miniSD メモリーカードのフォーマットがFOMA端末で利用できない形式です。

●連続撮影はできません

マイピクチャ内の保存領域・保存件数がいっぱいのため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

●録画できません

映像・音声の通信が切れているため動画メモを録画できません。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。
  記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障･修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化･消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※本 FOMA 端末は、電話帳などのデータを miniSDメモリーカードに保存していただけます。
  ※本FOMA端末は、iモーションなどをminiSDメモリーカードに移し替えていただけます。
  ※本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただけます。
  ※パソコン（Windows 98SE、Me、2000、XP）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトとFOMA USB 接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録されたデータをパソコンに転送・保管していただけます。

アフターサービスについて

■ **調子が悪いときは**

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。☛P446
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ **お問い合わせの結果、修理が必要な場合**

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■ **次の場合は、修理できないことがあります。**

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有償修理となります。

■ **保証期間が過ぎた場合は**

ご要望により有償修理いたします。

■ **部品の保有期間は**

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ **お願い**

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMAカードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障･修理やその他取り扱いによっ

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P332

て、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

■ メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えします（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります）。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新

FOMA 端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※1を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させていただきます。

※1：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
  - 即時更新：
    更新したいときすぐに更新を行います。
  - 予約更新：
    更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - オールロック中
  - 他の機能を使用しているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - 「圏外」が表示されているとき
  - PIMロック中
  - 電源が入っていないとき
  - セルフモード中
  - 通話中
  - おまかせロック中
  - パソコンとつないだパケット通信中
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

おしらせ

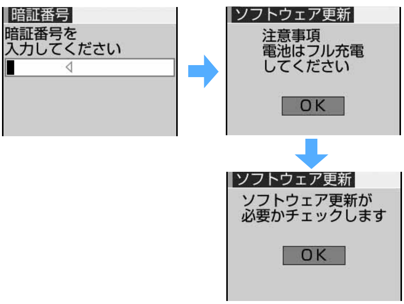
- ● ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ● PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話やプッシュトークの発信、着信、各種通信操作ができません。
- ● ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ● ダウンロード中に音声電話の着信があった場合、着信音に「着モーション」を設定しているときは、着モーションは動作せず、着信音はメロディになります。また、イメージに動画／ｉモーションを設定しているときは、最初のコマが表示されます。
- ● ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話は受けられません。着信履歴には不在着信として記録されます。
- ● ソフトウェア更新中に目覚ましやアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、目覚ましやアラームなどは起動しません。
- ● ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書表示／使用設定でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は有効に設定されています。☛P220
- ● ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（▥）で実行してください。

- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態（📶）で、移動せずに実行することをおすすめします。
  - ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗します。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳／プッシュトーク電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください）。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。
- 更新が必要ないときは、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- 接続先設定をｉモード以外に設定している場合でもソフトウェア更新を行えます。

ソフトウェア更新を起動する

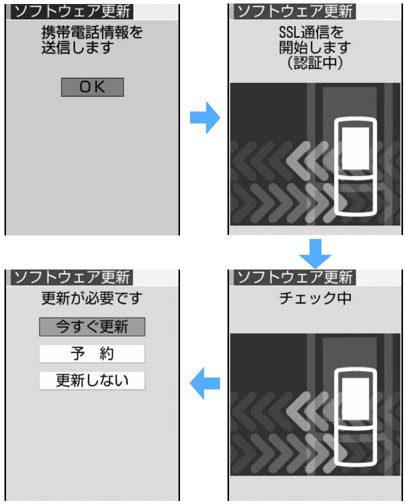
1 Menu 8 8 6

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 注意事項を確認して** ◉



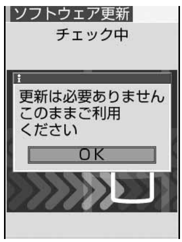
- 入力した端末暗証番号（4～8桁）は「＊」で表示されます。
- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

3 **◉◉▶ソフトウェア更新が必要かどうかを確認**



- 携帯電話情報の送信確認画面で◉を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ **更新が必要ないとき：**

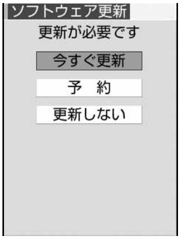


ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。◉を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する　即時更新

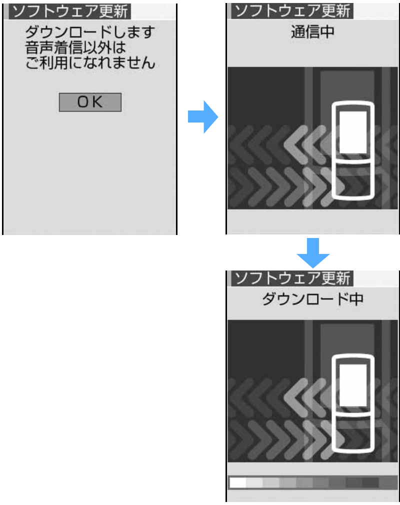
・サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 更新方法の選択画面を表示



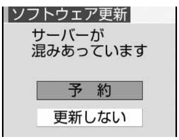
2 「今すぐ更新」を選択▶⊛

ダウンロードが開始され、決定キーの照明が点滅します。



・⊛を押さなくても、約５秒後にダウンロードが開始されます。
・ダウンロードを中止するときは⊛を押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
・ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどの選択操作をしなくても更新処理が実行されます。

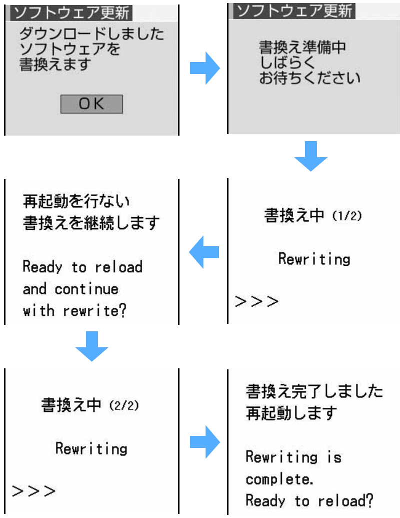
■ サーバが混み合っているとき：



・「予約」を選択して更新日時を予約してください。

3 ダウンロード終了後に⊛

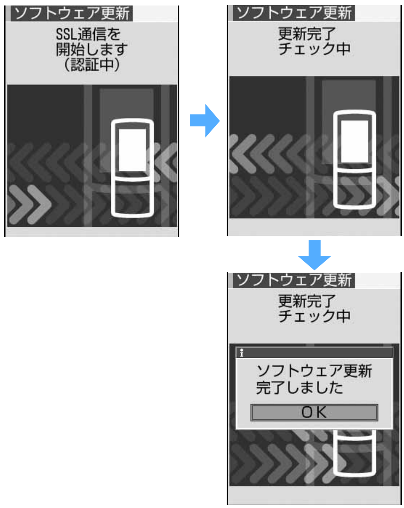
書き換え中は決定キーの照明が点滅します。



・ダウンロード終了後、⊛を押さなくても約５秒後に書き換えが開始されます。
・ソフトウェア書き換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新の中止もできません。

4 書き換え終了後、自動的に再起動

再起動すると再度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。



5 ⊛を押す

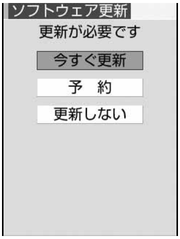
更新が終了し、待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する

予約更新

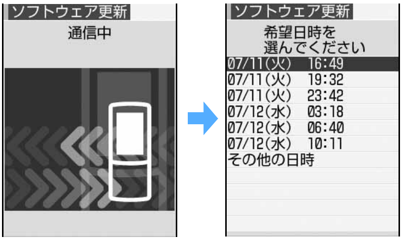
ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておけます。

1 更新方法の選択画面を表示



2 「予約」を選択

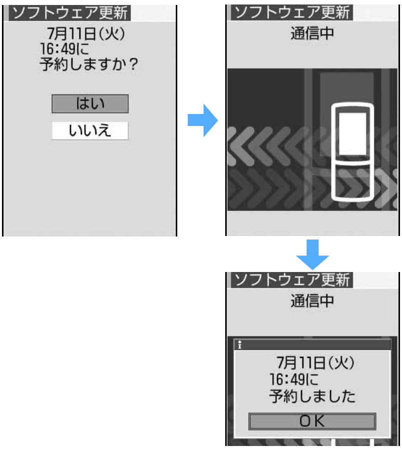
サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。



- 予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

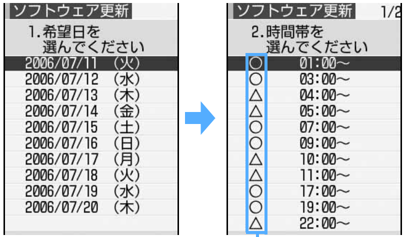
3 希望日時を選択

■ **表示されている予約候補から選択する：希望日時を選択▶「はい」を選択**



- 希望日時の候補が複数ページあるときは、◎でページを切り替えられます。

■ **表示されている予約候補以外から選択する：**
①「その他の日時」を選択▶希望日を選択



各時間帯の予約の空き状況が表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか

②希望時間帯を選択

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。

- 希望時間帯の候補が複数ページあるときは、◎でページを切り替えられます。
- (m)を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

③希望日時を選択▶「はい」を選択

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、◎でページを切り替えられます。

4 ◎を押す

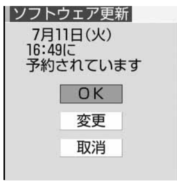
予約の設定が完了し、メニューが表示されます。

- 予約中は、待受画面に[アイコン]が表示されます。

予約の確認・変更・取り消しをする

1 Menu 8 8 6

2 端末暗証番号を入力▶内容を確認



- 確認を終了する：「OK」を選択

■ **予約を変更する：**
①「変更」を選択

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

②⊙

予約候補の選択画面が表示されます。

- 以降の操作は、「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作２以降と同じです。☛P460
- 携帯電話情報の送信確認画面で ⊙ を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ **予約を取り消す：**

①**「取消」を選択▶「はい」を選択**

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

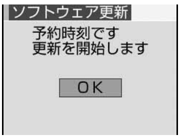
②⊙⊙

予約が取り消され、メニューが表示されます。

- 携帯電話情報の送信確認画面で ⊙ を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

予約の日時になると

予約日時になると下の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動されます。



- ソフトウェア更新を中止する：☎▶「はい」を選択

おしらせ

- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
- PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN1 コードを入力しないと、電話やプッシュトークの発信、着信、各種通信操作ができません。
- 同じ日時に目覚ましやアラームなどが設定されていた場合には、目覚ましやアラームなどが優先され、ソフトウェア更新が開始されない場合があります。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る　スキャン機能

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部から FOMA 端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
  各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。

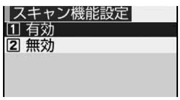
スキャン機能を設定する　スキャン機能設定

本設定を「有効」に設定すると、データの表示やプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

お買い上げ時　有効

1 Menu 8 3 7 3

2 1 ▶ **「はい」を選択**



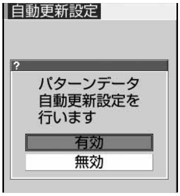
- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。☛P463
- 解除する：2▶「はい」を選択

自動的にパターンデータを更新する
自動更新設定

パターンデータを最新の状態に保つように自動的に更新します。

1 Menu 8 3 7 2

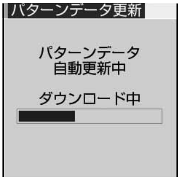
2 「有効」を選択▶「はい」を2回選択



・解除する：「無効」を選択▶「はい」を選択

3 を押す

新しいパターンデータが配信されると



・新しいパターンデータが配信されると上の画面が表示され、自動的にパターンデータ更新を開始します。パターンデータの更新に成功すると、待受画面に が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、「OK」を選択してください。
・パターンデータの更新に失敗したときは、待受画面に が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認し、「OK」を選択した後、手動でパターンデータを更新してください。
・パターンデータ更新を中止する： ▶「はい」を選択

すぐにパターンデータを更新する
パターンデータ更新

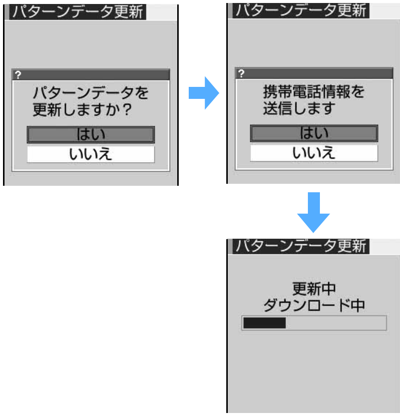
自動更新設定を「無効」に設定しているときや、自動更新に失敗したときに、手動でパターンデータを更新してください。

・FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。

1 Menu 8 3 7 1

2 「はい」を2回選択

パターンデータが更新されます。



3 を押す

・パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

● パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。プッシュトークやテレビ電話の着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
● パターンデータ更新中に目覚ましやスケジュールアラームの設定日時になると、設定日時を知らせる画面が表示されて目覚まし音やアラームが鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について



1 警告メッセージ表示中に「詳細表示」を選択

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

スキャン結果の表示について

警告レベル／表示メッセージ	対応方法
警告レベル0 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細表示	「OK」： 起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル1 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「いいえ」： 起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル2 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細表示	「OK」： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル3 問題要素が検出されました　正常に動作できない場合があります　データを削除しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」： 障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「いいえ」： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル4 問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細表示	「OK」： 障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

おしらせ

- スキャン機能によってｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり、ｉアプリの起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。

パターンデータのバージョンを確認する
バージョン表示

1 Menu 8 3 7 4 を押す



付録／外部機器連携／困ったときには

スキャン機能

主な仕様

品　名	FOMA D902iS
サイズ（mm）	高さ110×幅49×厚さ19.9（閉じているとき）
質量（g）	約124（電池パック装着時）
連続待受時間	静止時　約550時間 移動時　約380時間
連続通話時間	音声電話時　約170分 テレビ電話時　約90分
電池パック種別	リチウムイオン電池
電池容量	790mAh
充電時間	約120分
カメラ画素数	アウトカメラ： 有効画素数200万画素 （最大記録画素数400万画素） インカメラ： 有効画素数10万画素 （最大記録画素数10万画素）
デジタルズーム	アウトカメラ：最大28倍 インカメラ　：最大2倍

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とはFOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーション（音楽データ含む）の再生などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。
- FOMA端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA D902iSの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※1の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA D902iSのSARの値は0.966W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
　http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
　http://www.nttdocomo.co.jp/product/
三菱電機のホームページ
　http://www.MitsubishiElectric.co.jp/d902is/

※1：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

索引／クイックマニュアル

索引 470
クイックマニュアル 476

索引

ア

アウトカメラ............27
アクセス設定............311
宛先追加............231
アドレス表示............251
アフターサービス............456
アラーム自動電源ON設定....372
アルバム............344
暗証番号............160
イヤホン切替設定............390
イヤホンスイッチ設定............389
イヤホンマイク............388
イヤホンマイク端子............27
イルミネーション設定............154
　優先順位............155
インカメラ............26
インターネット接続............208
英語ガイダンス............397
英語表示............158
エニーキーアンサー設定............65
絵文字
　一覧............432
　入力............410
絵文字ことば
　一覧............429
　入力............409
エラーメッセージ一覧............449
遠隔操作............398
応答保留............72
応答保留ガイダンス設定............73
オート着信機能設定............389
オールロック............164
お買い上げ時に登録されているデータ............423
おサイフケータイ............296
おサイフケータイ対応ｉアプリ............273
　起動............297
お知らせタイマー............369
音の設定............132
オプション・関連機器............444
おまかせロック............165
オリジナルマナーモード設定............140
音楽再生............360
音声メモ............383
オンリービュー設定............260
音量設定............69

カ

外部接続端子............27
顔文字
　一覧............429
　入力............409
各部の名称............26
カスタム待受画面............145
カスタムメニュー............379
画像
　明るさ／色調変更............317
　移動／コピー............344
　切り出し............317
　切り抜き............319
　効果............318
　サイズ制限保存............319
　サイズ変更............317
　削除............347
　撮影............182
　詳細情報参照／変更............345
　スタンプ............318
　スライドショー............315
　ソート............348
　テキスト貼付............318
　動作設定............320
　パラパラマンガ............315
　反転／回転............318
　表示............314
　表示（メール）............244
　フレーム............318
　編集............316
　補正............319
　保存（サイト）............212
　保存（メール）............244
　待受画面などに設定............315
　メール作成............314
画像表示設定............311
かな漢字変換............407
かな入力方式............407
カメラ............178
　明るさ............193
　色の濃さ............193
　オートフォーカス............182
　画質／品質............194
　画像サイズ............195
　カメラ切り替え............182
　コンパクトライト............182
　サイズ制限............194
　撮影画面............179
　撮影モード............192
　初期値に戻す............195
　ズーム............190
　静止画撮影............182
　静止画詳細設定............188
　静止画保存枚数............180
　接写撮影............191
　セルフタイマー............191
　ちらつき調整............195
　手ぶれ補正............193
　動画撮影............186
　動画撮影時間............181
　動画／録音詳細設定............188
　ファイル............180
　フォーカスロック撮影............183
　フレーム............194
　ホワイトバランス............193
　メール作成............183
　レンズカバー............179
　連続撮影............185
　ワンショットメール............196
　4コマ撮影............185
画面表示設定............312
画面メモ............211
　削除............211
　タイトル変更............211
　表示............211
　保護............211
　保存............211
カラーテーマ設定............151
カレンダー（→スケジュール帳）
カレンダー／待受カスタマイズ............145
キーガイダンス............147
キー確認音............134
記号
　一覧............432
　入力............410
キャッシュ............207
キャッチホン............395
キャラ電............328
　アクション一覧............329
　移動............344
　削除............347
　撮影............329
　詳細情報参照／変更............345
　静止画設定／動画設定............330
　ソート............348
　代替画像設定............328
　ダウンロード............214
　テレビ電話............87
　動作設定............330
　表示............328
　フォルダ利用............344
行検索............121
切り取り............412
クイック起動設定............390
クイックダイヤル............129

クイック伝言メモ……77
クイックマニュアル……476
クイックメール……240
区点コード
一覧……435
入力……412
グループ検索……118
グループ設定……116
グループ別発着信設定……116
携帯電話機の比吸収率……464
決定キー……26
公共モード（電源OFF）……76
公共モード（ドライブモード）
……74
国際ダイヤル設定……59
国際電話……59
故障かな？と思ったら……446
コピー……412
コンテンツ移行対応……327
コンパクトライト……27

サ

サービスダイヤル……398
再接続アラーム音……61
サイト……200
再読み込み……207
スクロール……207
操作……206
表示……204
ラストURL……205
SSLページ接続……205
URL表示……207
サウンドレコーダー……353
サブアドレス設定……61
サブメニュー……36
シークレット検索……128
シークレットコード設定……127
シークレット属性
スケジュール……379
電話帳……128
シークレットモード……171
自局番号
登録……382
表示……48
辞書
使用……413
ダウンロード……214
辞典……388
自動時刻補正……47
自動電源ON／OFF設定……369
車載ハンズフリー……62
シャッター音……135
シャッターキー……27
充電……42
充電確認音……139
充電時間……42
受信表示設定……262
受信メール（→メール）
受信メールBOX……248
受話音量……69
受話口……26
証明書操作……220
証明書表示／使用設定……220
証明書発行接続先設定……222
照明設定……150
ｉアプリ……277
ｉモード……217
ショートカット操作……34
ショートメッセージ（→SMS）
署名設定……258
人物画像表示設定……149
シンプルメニュー……32
スイッチ付イヤホンマイク
接続……27
使いかた……388
スキャン機能……461
自動更新設定……462
設定……461
バージョン表示……463
パターンデータ更新……462
スケジュール音……134
スケジュール帳……372
アラーム初期値設定……376
確認……376
カレンダーモード設定……373
休日設定……373
コピー／貼り付け……377
削除……378
シークレット属性……379
祝日設定……373
設定日時になると……376
登録……374
登録件数確認……379
メール検索……377
メール作成……377
メンバーリスト……378
スピーカー……27
スピーカーホン機能
音声通話……51
テレビ電話……83
スピードセレクター……26
設定……28
使いかた……28
スピードセレクター音……134
スライド音……136
スライド編集設定……368
スロット入力方式……413
静止画（→画像）
赤外線通信……348
受信……350
送信……349
リモコン機能……352
INBOX……351
赤外線通信モード……352
赤外線ポート……348
セキュリティスキャン（→スキャン機能）
接続先設定……216
証明書発行……222
接続待ち時間設定……216
設定状況確認……391
設定リセット……391
セルフモード……166
全件表示（50音）……118
センター問合せ
設定……258
ｉモード問合せ……243
SMS問合せ……268
送信メール（→メール）
送信メールBOX……248
送話口……26
ソフトウェア更新……457
即時更新……459
予約更新……460

タ

タイマー……53
ダイヤル発信制限……167
単語登録……412
端末暗証番号……160
変更……161
着信音……132
優先順位……133
着信拒否／許可……171
着信中オープン応答……65
着信表示設定……149
着信履歴……67
削除……68
着もじ……54
メッセージ表示設定……55
チャットメール
個人情報設定……265
削除……265
作成・送信……262
終了……265
受信……264
送信……263
着信設定……265
同報アドレス……264
メンバー設定……263
メンバー編集……265
追加サービス……400
ツータッチサイト登録……209
ツータッチサイト表示……210
ツータッチｉアプリ……284
通話時間……42
確認……384
通話中音声メモ……383

通話中クローズ設定 66
通話中着信設定......................398
通話中着信動作選択 398
通話中テレビ電話動作設定.....92
通話中保留................................51
通話品質アラーム音 139
通話保留音................................74
通話料金
確認..384
自動リセット設定..............385
上限通知................................385
上限通知アイコン消去 386
定型文
一覧..428
登録..411
入力..409
ディスプレイ 26
ガイド行 30
タスクバー 31
見かた 29
データ一括削除......................391
データ送受信設定..................353
データ通信..............................402
準備..403
通信設定ファイル..............403
用語集 403
FOMA PC設定ソフト 403
データリンクソフト 445
デコメール
作成..232
テンプレート 238
デュアルネットワークサービス
....397
テレビ電話................................82
明るさ／色の濃さ.................89
受ける 85
音声電話に切り替え 84
かける 82
画像変更（テレビ電話画像選択）....................................93
カメラオフ画像送信 90
カメラ切り替え.....................91
カメラ調整.............................89
画面表示設定.........................92
キャラ電 87
コンパクトライト.................91
撮影モード 89
ズーム 90
静止画送信.............................90
接写撮影 91
送受信画像品質設定 88
送信画像切り替え.................88
代替画像設定.........................94
ちらつき調整.........................89
通信速度設定......................127
通話中テレビ電話動作設定
....92
動作設定 92
プッシュ信号送出................85
フレーム 88
テレビ電話切替機能通知 95
テレビ電話使用機器設定 96
テレビ電話着信設定.................71
画像のみの変更.................148
テレビ電話通信速度設定 127
テレビ電話発信設定.............147
電源（ON／OFF）.................46
自動電源ON／OFF設定...369
伝言メモ 77
応答ガイダンス設定............79
応答時間設定 79
クイック伝言メモ................77
再生／削除 80
電子辞典 388
電子マネー 282
転送（メール）.......................244
転送でんわサービス.............396
電卓..386
電池アラーム音 45
電池残量 45
電池パック 41
電池マーク設定.....................153
添付ファイル
画像表示・保存.................244
削除......................................247
自動再生設定 260
添付......................................236
トルカ表示・保存.............247
変更／解除 238
メール受信添付ファイル設定
....260
メッセージR/F表示・保存
....219
メロディ再生・保存.........246
ｉモーション再生・保存
....245
テンプレート 238
ダウンロード 239
登録......................................238
読込み...................................238
電話
受ける.....................................62
かける.....................................50
テレビ電話に切り替え.........53
発信オプション 58
番号通知の優先順位.............48
電話着信音 132
電話着信設定............................71
画像のみの変更.................148
電話帳.......................................110
入れ替え 124
画像／名前表示切替..........122
クイックダイヤル 129
グループ設定 116
検索.......................................117
検索方法指定 121
コピー 125
削除.......................................126
シークレット検索 128
シークレットコード設定
....127
シークレット属性設定......128
修正.......................................123
着信拒否／許可 171
テレビ電話通信速度設定
....127
電話帳別着信設定.............114
登録（サイト）..................215
登録（プッシュトーク）....102
登録（メール）..................254
登録（FOMAカード）.......115
登録（FOMA端末）..........111
登録件数確認 129
登録内容確認 122
登録内容コピー 124
発番号設定..........................126
電話帳お預かりサービス......175
画像.......................................320
電話帳......................126、130
メール 255
電話発信設定 147
電話番号検索 120
電話番号表示 48
問合せ画像設定 149
動画メモ..................................383
動画／ｉモーション
アルバム再生 345
移動／コピー 344
キャプチャ..........................323
サイズ切り出し 324
再生.......................................321
再生制限..............................322
削除.......................................347
撮影.......................................186
しおり設定..........................322
詳細情報参照／変更..........345
選択切り出し 324
ソート 348
テロップ編集 325
動作設定..............................326
編集.......................................323
待受画面などに設定..........323
ｉモーションメール作成
....321
同報送信..................................231
トータルコーディネイト設定
....158

時計表示設定 157
ドライブモード 74
トルカ 298
　移動／コピー 300
　検索 300
　削除 301
　取得 298
　取得設定 301
　ソート 301
　表示 299
　フォルダ作成／削除 300
　保護 301
　保存内容確認 300

ナ

名前の表示 111
入力設定 414
入力予測機能 409
ネットワーク暗証番号 160
ネットワークサービス 394
ノイズキャンセラ設定 62
ノーマルメニュー 32

ハ

バーコードリーダー 196
バイブレータ設定 137
　優先順位 138
　ｉアプリ 277
バイリンガル 158
パケット通信 402
パケット通信中着信設定 95
発信オプション 58
発信者番号通知 48
　通話ごとの設定 57
発信者番号非通知理由 63
発着信画面表示設定 147
　着信画像の優先順位 148
　発信画像の優先順位 148
発番号設定 126
発番号なし動作設定 172
貼り付け 412
番号通知お願いサービス 397
日付時刻設定 46
ビデオカメラ（→カメラ）
表示・効果設定 216
表示モード設定 311
平型スイッチ付イヤホンマイク（→スイッチ付イヤホンマイク）
フォーカスモード 37
不在着信 68
不在着信お知らせ 155
ブックマーク 209
　移動／コピー 210
　削除 210
　ソート 211
　タイトル変更 210
　ツータッチサイト登録 209
　ツータッチサイト表示 210
　登録（サイト） 209
　登録（メール） 255
　表示 209
　フォルダ作成／削除 210
プッシュ信号送出 85
プッシュトーク 98
　グループ発信 105
　着信 101
　発信 99
　発信（プッシュトーク電話帳） 104
　番号通知の優先順位 106
プッシュトーク自動応答設定 107
プッシュトーク着信設定 71
プッシュトーク中クローズ設定 108
プッシュトーク中着信設定 107
プッシュトーク電話帳
　グループ登録 103
　削除 105
　メンバー登録 102
プッシュトーク番号通知設定 106
プッシュトークプラス 98
プッシュトークボタン 27
プッシュトーク呼出時間設定 106
プライバシーモード設定 168
フリガナ検索 119
フルブラウザ 306
　設定 310
プレフィックス設定 60
プロテクトキー 27
プロテクトキー動作設定 170
プロテクトキーロック 170
返信 243
ボイス認証 302
ポーズ 52
ホーム設定 310
保証 456
保留
　応答保留 72
　通話中保留 51

マ

マイドキュメント 356
　削除 347
　ソート 348
　フォルダ利用 344
マイピクチャ 314
　アルバム利用 344
　削除 347
　ソート 348
マイメニュー 207
待受画面 46
待受画面設定 141
　時計表示設定 157
待受時間 42
待受中音声メモ 383
マナーモード 139
マナーモード選択 140
マルチアクセス 366
　組み合わせ 439
マルチタスク 367
　組み合わせ 441
マルチナンバー 399
未送信メール（→メール）
未送信メールBOX 248
ミュージックプレイヤー 360
　再生 362
　プレイヤー設定 364
迷惑電話ストップサービス 396
メール 226
　宛先追加 231
　一覧画面 248
　一覧表示設定 260
　移動 251
　画像表示・保存 244
　既読／未読変更 252
　クイック返信設定 259
　クイック返信本文登録 259
　クイックメール 240
　検索 251
　検索（スケジュール） 377
　検索（電話帳） 118
　件数確認 250
　圏内自動送信 240
　コピー 251
　コピー（文字） 254
　削除 253
　作成（スケジュール） 377
　作成（電話帳） 118
　作成・送信 230
　自動受信 241
　受信 241
　受信／送信メールBOX 248
　受信表示設定 262
　詳細画面 249
　ソート 252
　着信音の設定 132
　デコメール 232
　転送 244
　添付ファイル 236
　添付ファイル削除 247
　電話帳登録 254
　電話発信 254

つづく

問合せ……243
表示種別……260
フォルダ一覧画面……248
フォルダ作成・削除……250
フォルダ内メール件数……250
ブックマーク登録……255
編集……240
返信……243
保護……252
保存……239
メロディ再生・保存……246
文字サイズ……261
メールアドレス……226
アドレス表示……251
メール一覧表示設定……260
メールグループ
宛先入力……230
設定……258
メール受信画像設定……149
メール受信添付ファイル設定……260
メール設定（FOMA端末）……256
メール設定（iモードセンター）……227
メール選択受信……242
設定……258
メール送信画像設定……149
メール着信設定……261
メールテンプレート……238
メール振り分け設定……256
優先順位……257
メール返信引用設定……259
メール・メッセージ着信音……132
メール連動型iアプリ……273
目覚まし……370
目覚まし音……134
メッセージ自動表示……218
メッセージ着信設定……218
メッセージR/F……217
削除……220
受信……217
受信表示設定……262
着信音の設定……132
着信設定……218
問合せ……243
表示（メッセージR/メッセージF）……219
表示種別……220
保護……220
メッセージ自動表示……218
メニュー……32
一覧……416
サブメニュー……36
設定……152
デザイン変更……152
メモ帳……386
メモリ登録外着信拒否……174
メモリ番号検索……120
メモリ別着信拒否／許可……171
メロディ……331
アルバム利用……344
一覧……137
移動……344
再生……331
削除……347
詳細情報参照／変更……345
ソート……348
着信音に設定……331
動作設定……332
保存（サイト）……212
保存（メール）……246
メール作成……331
メロデコ……235
メンバーリスト……378
文字コード……209
文字サイズ……261
文字サイズ設定……156
文字入力……406
インライン入力……406
絵文字入力……410
改行……408
顔文字入力……409
かな漢字変換……407
かな入力方式……407
記号入力……410
切り取り……412
区点コード入力……412
コピー……412
削除……408
スロット入力方式……413
全画面入力……406
ダウンロード辞書……413
単語登録……412
定型文登録……411
定型文入力……409
データ引用……410
入力設定……414
入力モード切り替え……407
入力予測機能……409
貼り付け……412
変換学習リセット……409
文字割り当て（かな入力方式）……427
文字割り当て（スロット入力方式）……427

ヤ

ユーザ証明書操作……221
優先順位
イルミネーション……155
着信音……133
着信画像……148
バイブレータ……138
発信画像……148
番号通知……48
プッシュトーク番号通知……106
メール振り分け……257
優先通信モード設定……72
予測変換……409
呼出動作開始時間設定……174

ラ

ランキング検索……119
ランダムイメージ設定……143
リダイヤル……56
削除……57
リモコン機能……352
留守番電話サービス……394
レンズカバー……179
レンズカバー音……135

ワ

ワンショットメール……196
ワンタッチiアプリ……283

数字・英字

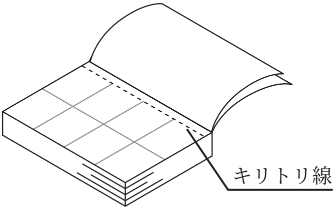
186／184……57
3Dサウンド……136
50音順に表示……118
64Kデータ通信……402
ATコマンド……404
AV Phone To（→Phone To）
BeatJam……361
Cookie設定／削除……310
D902iSの保存・登録・保護件数……38
Date To機能……387
DTMF送信……85
Edy……282
FeliCa……296
FirstPass……221
Flash……203
Flash画像の表示……206
FOMAカード
暗証番号……39
機能差分……41
電話帳登録……115
動作制限機能……40
取り付け／取り外し……38
iアプリ……272
移動……288
カメラの利用……289
起動……275
起動失敗履歴……285

件数確認……288
削除……288
自動起動情報登録……284
自動起動設定……284
終了……275
詳細情報……276
照明設定……277
赤外線通信の利用……290
セキュリティエラー履歴……276
ソフト情報表示……289
ソフト情報表示設定……274
ダウンロード……273
動作設定……276
トルカの利用……290
トレース表示……276
並べ替え……288
バーコードリーダーの利用……289
バージョンアップ……286
バイブレータ設定……277
フォルダ作成／削除……287
フォルダ内ソフト件数……288
プリインストールｉアプリ……278
保護……287
ｉアプリ To……285
miniSD保存データ……289
ｉアプリ待受画面
異常終了履歴……286
設定……144
操作……286
ｉアプリDX……272
ｉショット……228
ｉチャネル……292
チャネル一覧……293
テロップ表示設定……294
ｉメロディ……212
ｉモーション……222
設定……224
ｉモーション（データBOX）……321
アルバム利用……344
削除……347
ソート……348
ｉモーションメール……229
再生・保存……245
作成……236
ｉモード……200
ｉモード設定……216
ｉモード中プッシュトーク着信……108
ｉモード問合せ……243
問合せ設定……258
ｉモードパスワード……160
変更……208
ｉモードメール（→メール）
ｉモード FeliCa……296
ICカードオートロック設定……304
ICカード機能……296
ICカードロック……302
ICカードロック設定……303
ボイス認証……302
ｉMenu……200
ISP接続通信……216
Mail To（サイト）……214
Mail To（メール）……254
miniSDメモリーカード……332
カードチェック……343
コピー／移動……337
情報更新……342
初期化……342
取り付け／取り外し……335
パソコンから利用……343
バックアップ……338
表示……339
フォルダ構成……333
保存容量の確認……336
miniSDメモリーカードアダプタ……333
miniSDメモリーカードスロット……27
Motion Smoothy 2……445
NW検索方法……390
PDFデータ
移動／コピー……344
画面切り出し……360
削除……347
しおり／マーク……359
詳細情報参照／変更……345
ソート……348
ダウンロード……213
動作設定……360
表示……356
Phone To（サイト）……214
Phone To（メール）……254
PIMロック……166
PINロック解除……163
PINロック解除コード……161
PIN1コードON／OFF……162
PIN1コード／PIN2コード……161
変更……162
Referer設定……312
SAR……464
Script設定……311
SMS……229
一覧画面……248
クイックメール……240
削除……253
削除（FOMAカード）……270
作成（電話帳）……118
作成（SMS作成・送信）……266
受信……267
受信表示設定……262
詳細画面……249
署名挿入……266
設定……268
送達通知……230
問合せ……268
フォルダ一覧画面……248
保存（FOMAカード）……268
メール振り分け設定……256
SSL通信……202
接続……205
TASKキー……27
URL
コピー……215
電話帳登録……215
入力……208
表示……207
ラストURL……205
履歴……208
USBモード設定……343
USSD登録……400
Web To（サイト）……214
Web To（メール）……254
WORLD CALL……59
WORLD WING……41

クイックマニュアル

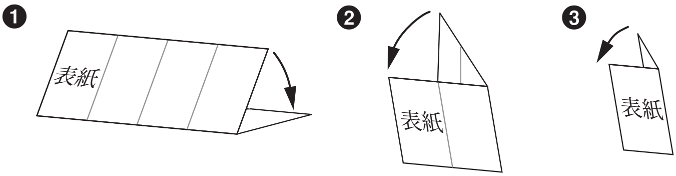
クイックマニュアルのご使用方法

本誌に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。なお、クイックマニュアルは2枚合わせてご携帯ください。



キリトリ線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
●切り取る際はけがにご注意ください。

表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折りたたんでお使いください。



索引／クイックマニュアル

クイックマニュアル

NTT DoCoMo

FOMA® D902iS
クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。
ドコモの携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

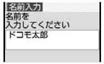
故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。
ドコモの携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

電話帳の登録

■ FOMA端末電話帳の登録

1 [Menu][4][2]
2 名前を入力 ▶ [電話帳]



3 各項目を設定 ▶ [電話帳]



■ FOMAカード電話帳の登録

1 [Menu][4][3]
2 名前を入力 ▶ [電話帳]
3 各項目を設定 ▶ [電話帳]

■ リダイヤルや着信履歴からの登録

1 [左右キー] または [左右キー]
2 登録する相手を選ぶ ▶ [Menu][1]
・登録済みの電話帳データへ追加する場合：[Menu][2]
3 [1]（FOMA 端末電話帳）～ [2]（FOMA カード電話帳）
・登録済みの電話帳データへ追加する場合：追加する相手を選択
4 各項目を設定 ▶ [電話帳]
・登録済みの電話帳データへ追加する場合：「上書き登録」または「新規登録」を選択

電話帳の修正

1 [電話帳]
・電話帳の切り替え：[電話帳]
2 修正する相手を選ぶ ▶ [Menu][3][1]
・FOMA カード電話帳の場合：修正する相手を選ぶ ▶ [Menu][3]

3 修正 ▶ [電話帳]
4 「上書き登録」または「新規登録」を選択

電話帳の検索

1 [Menu][4][1]
・電話帳の切り替え：[電話帳]
2 [1] ～ [7]
・FOMA カード電話帳では [1] ～ [4]

文字の入力

■ 文字の入力・変換（かな入力方式）

〈例〉「企業」と入力するとき

1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
「き」：[2] を 2 回 ▶ [右キー]（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません）
「ぎ」：[2] を 2 回 ▶ [*]
「ょ」：[8] を 3 回 ▶ [i]
「う」：[1] を 3 回
・入力した文字の変換前にできる操作
[Menu]：カタカナ・英数字などに変換

[i]：大文字／小文字の切り替え
[メール]：入力直後に 1 つ前の文字に戻す（例：…→ 1 →お→え→う→…）
[*]：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加（例：→ぼ→ぽ→ほ→…）
[ch/クリア]：文字の取り消し
・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動 ▶ 文字を入力

2 [電話帳]
・変換候補一覧の表示：[上下キー]／[電話帳]
・変換前の状態に戻す：[ch/クリア]

3 [決定]

■ 入力モードの切り替え

文字入力中に [発信] を複数回
・カタカナ･英数字の全角／半角切り替え：[発信] を押した後で [上下キー]

■ 文字の削除

● **カーソルが文中にあるとき**
[ch/クリア]：カーソル位置の文字の削除

[ch/クリア]（1 秒以上）：カーソル位置の文字とその右側にあるすべての文字の削除

● **カーソルが文末にあるとき**
[ch/クリア]：カーソル位置の左側にある文字の削除
[ch/クリア]（1 秒以上）：すべての入力文字の削除

■ 記号・絵文字・定型文の入力

● **記号・絵文字を入力する**
文字入力中に [Menu] ▶「絵文字・記号・顔文字」を選択 ▶ [1] ～ [2] ▶ 記号･絵文字を選択

● **定型文を入力する**
文字入力中に [Menu] ▶「定型文・区点・引用」を選択 ▶ [1] ▶ 定型文種別を選択 ▶ 定型文を選択

■ 区点コードでの入力

文字入力中に [Menu] ▶「定型文・区点・引用」を選択 ▶ [2] ▶ 区点コード（4 桁）を入力

カメラ機能

■ 静止画／動画の撮影

● **静止画を撮影する**
1 レンズカバーを開ける
2 被写体にカメラを向けて [シャッター] または [カメラ]
3 [シャッター] または [カメラ]

● **動画を撮影する**
1 [Menu][6][7] ▶ レンズカバーを開ける
2 被写体にカメラを向けて [シャッター] または [カメラ]
3 [電話帳] または [カメラ]
4 [シャッター] または [カメラ]

■ 撮影した静止画の表示／動画の再生

● **静止画を表示する**
1 [上下キー][1]
2 「カメラ」を選択 ▶ 静止画を選択

● **動画を再生する**
1 [上下キー][2]
2 「カメラ」を選択 ▶ 動画を選択
・動画再生中にできる操作
[上下キー]：音量調整
[左右キー]：巻き戻し再生／早送り再生
[シャッター]：一時停止／再生
[電話帳]：停止

キリトリ線

テレビ電話

テレビ電話のかけかた

1 電話番号を入力
2
3 通話する
・通話中保留：▶ で解除
・スピーカーホン機能の切り替え：／
・送信画像の切り替え：
4 通話が終了したら

テレビ電話の受けかた

1 電話がかかってくる
・応答保留：
2 または
・通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作 3 と同様
3 通話が終了したら

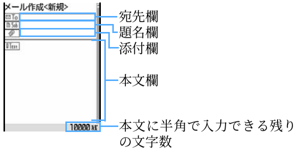
i モードメール

送受信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15 文字	30 文字
メールアドレス	―	50 文字
本文	5000 文字	10000 文字

i モードメールの作成・送信

1 （1 秒以上）



2 宛先欄を選択▶入力方法を選択▶宛先を入力または選択
3 題名欄を選択 ▶ 題名を入力

4 本文欄を選択 ▶ 本文を入力
・デコメールの作成：
▶ 装飾方法を選択 ▶ 文字を入力
5
・メールの保存：3
・圏内自動送信：2

ファイルの添付

1 メール作成画面で添付欄を選択
2 添付するファイルの種類を選択
・静止画を撮影して添付：「イメージ」を選択 ▶「静止画を撮影」を選択
・動画を撮影して添付：「i モーション」を選択 ▶「動画を撮影」を選択
・音声を録音して添付：「ボイス録音」を選択
3 「本体」または「miniSD カード」を選択 ▶ フォルダを選択
4 ファイルを選択
・添付ファイルの解除：添付欄を選ぶ ▶ ▶「はい」を選択

送信・保存した i モードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集するとき
1 4
・送信メールの編集：5
2 フォルダを選択
3 メールを選択
・送信メールの編集：メールを選ぶ ▶
4 編集 ▶

i モードメールの受信

1 メールを受信
メール着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅して受信結果画面が表示される
2 または 1 ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択

i モード問合せ

メニュー一覧

を押してから、各項目の番号を入力します。
〈例〉送信メールを表示するとき
1 5

- 1 メール
  - 1 受信メール
  - 2 新規メール
  - 3 チャットメール
  - 4 未送信メール
  - 5 送信メール
  - 6 問合せ
    - 1 i モード問合せ
    - 2 SMS 問合せ
    - 3 メール選択受信
    - 4 i モード問合せ設定
  - 7 SMS
    - 1 SMS 作成
    - 2 FOMA カード(UIM)受信 SMS
    - 3 FOMA カード(UIM)送信 SMS
    - 4 SMS 設定
  - 8 テンプレート読込み
  - 9 メール設定
    - 1 メール着信設定
    - 2 チャットメール着信設定
    - 3 メール振り分け設定
    - 4 署名設定
    - 5 メール返信設定
      - 1 メール返信引用設定
      - 2 クイック返信設定
      - 3 クイック返信本文登録
    - 6 メールグループ

- 1 メール
  - 9 メール設定
    - 7 受信・表示設定
      - 1 受信表示設定
      - 2 メール選択受信設定
      - 3 メール受信添付ファイル設定
      - 4 添付ファイル自動再生設定
      - 5 メール一覧表示設定
      - 6 オンリービュー設定
- 2 i モード
  - 1 i Menu
  - 2 Bookmark
  - 3 Internet
    - 1 URL 入力
    - 2 URL 履歴
    - 3 ラスト URL
  - 4 画面メモ
  - 5 i モード問合せ
  - 6 メッセージ
    - 1 メッセージ R
    - 2 メッセージ F
    - 3 メッセージ設定
      - 1 メッセージ自動表示
      - 2 i モード問合せ設定
      - 3 添付ファイル自動再生設定
      - 4 メッセージ着信設定
  - 7 i チャネル
    - 1 i チャネル一覧
    - 2 テロップ表示設定
  - 8 i モード設定
    - 1 ワンタッチサイト表示
    - 2 接続待ち時間設定
    - 3 照明設定
    - 4 i モード中プッシュトーク着信

- 2 i モード
  - 8 i モード設定
    - 5 証明書設定
      - 1 証明書表示/使用設定
      - 2 ユーザ証明書操作
      - 3 証明書発行接続先設定
    - 6 表示・効果設定
    - 7 i モーション設定
    - 8 接続先設定
  - 9 フルブラウザ
    - 1 ホーム
    - 2 Bookmark
    - 3 Internet
      - 1 URL 入力
      - 2 URL 履歴
      - 3 ラスト URL
    - 4 フルブラウザ設定
      - 1 ホーム設定
      - 2 Cookie 設定／削除
      - 3 Script 設定
      - 4 表示モード設定
      - 5 画像表示設定
      - 6 アクセス設定
      - 7 Referer 設定
      - 8 画面表示設定
- 3 i アプリ
  - 1 ソフト一覧
  - 2 i アプリ設定
    - 1 ソフトの並べ替え
    - 2 自動起動設定
    - 3 ソフト情報表示設定
    - 4 照明設定
    - 5 バイブレータ設定
    - 6 ワンタッチ i アプリ表示
  - 3 履歴表示

- 4 電話帳／履歴
  - 1 電話帳検索
  - 2 電話帳登録
  - 3 FOMA カード(UIM)登録
  - 4 プッシュトーク電話帳
  - 5 着信履歴
  - 6 リダイヤル
  - 7 伝言メモ／音声メモ
    - 1 伝言メモ設定
    - 2 伝言メモ一覧
    - 3 音声メモ録音
    - 4 音声メモ一覧
  - 8 自局番号
- 5 データ BOX
  - 1 マイピクチャ
  - 2 i モーション
  - 3 メロディ
  - 4 キャラ電
  - 5 マイドキュメント
- 6 LifeKit
  - 1 バーコードリーダー
  - 2 赤外線／ PC データ連携
    - 1 赤外線全件送信
    - 2 赤外線受信
    - 3 データ送受信設定
    - 4 USB モード設定
  - 3 トルカ
    - 1 トルカ一覧
    - 2 トルカ取得設定
  - 4 IC カード
    - 1 IC カード一覧
    - 2 IC カードロック
    - 3 IC カードオートロック設定
    - 4 IC カードロック設定
  - 5 miniSD カード
  - 6 カメラ
  - 7 ビデオカメラ
  - 8 サウンドレコーダー

キリトリ線

6 LifeKit
- 9 電話帳お預かりサービス
  - 1 お預かりセンターに接続 2 電話帳通信履歴表示
  - 3 送信設定

7 ステーショナリー
- 1 スケジュール帳 2 メモ帳
- 3 目覚まし 4 電卓
- 5 辞典

8 設定／NW サービス
- 1 音／バイブ
  - 1 音の設定
    - 1 電話着信音 2 メール･メッセージ着信音
    - 3 アラーム音 4 操作確認音
    - 5 充電確認音 6 通話保留・警告音
  - 2 音量設定
    - 1 電話着信音量 2 メール･メッセージ着信音量
    - 3 受話音量 4 アラーム音量
    - 5 ｉ アプリ音量 6 トルカ取得音量
  - 3 バイブレータ設定
    - 1 電話着信時 2 メール･メッセージ着信時
    - 3 アラーム鳴動時 4 ｉ アプリ利用時
  - 4 マナーモード選択 5 呼出動作開始時間設定

8 設定／NW サービス
- 2 ディスプレイ
  - 1 待受画面設定
    - 1 待受画面選択 2 時計表示設定
    - 3 電池マーク設定 4 カレンダー/待受カスタマイズ
    - 5 テロップ表示設定
  - 2 メニュー設定
    - 1 メニュー設定 2 カスタムメニュー登録
  - 3 各種画面設定
    - 1 カラーテーマ設定 2 発着信画面表示設定
    - 3 着信表示設定 4 テレビ電話画像選択
  - 4 照明設定
    - 1 点灯時間設定 2 照明設定範囲
    - 3 明るさ調整
  - 5 イルミネーション設定
    - 1 着信 2 通話中
    - 3 IC カードアクセス
    - 4 スピードセレクター／その他
  - 6 不在着信お知らせ
  - 7 文字表示設定
    - 1 文字サイズ設定 2 バイリンガル
  - 8 トータルコーディネイト設定
- 3 セキュリティ／ロック
  - 1 ロック
    - 1 オールロック 2 PIM ロック
    - 3 IC カードロック

8 設定／NW サービス
- 3 セキュリティ／ロック
  - 2 シークレットモード 3 ダイヤル発信制限
  - 4 FOMA カード（UIM）
  - 5 暗証番号変更
  - 6 プライバシーモード設定
  - 7 スキャン機能
    - 1 パターンデータ更新 2 自動更新設定
    - 3 スキャン機能設定 4 バージョン表示
  - 8 プロテクトキー動作設定
- 4 情報表示／リセット
  - 1 通話時間 2 設定状況確認
  - 3 電池レベル表示
  - 4 通話料金
    - 1 通話料金表示 2 通話料金上限通知
    - 3 上限通知アイコン消去 4 通話料金自動リセット設定
  - 5 各種設定リセット 6 データ一括削除
- 5 時計
  - 1 日付時刻設定 2 自動電源 ON 設定
  - 3 自動電源 OFF 設定 4 時計表示設定
  - 5 アラーム自動電源 ON 設定
- 6 発着信・通話機能
  - 1 電話発信設定 2 電話着信設定
  - 3 発番号なし動作設定 4 エニーキーアンサー設定

8 設定／NW サービス
- 6 発着信・通話機能
  - 5 イヤホン機能設定
    - 1 イヤホン切替設定 2 オート着信機能設定
    - 3 イヤホンスイッチ設定
  - 6 メモリ着信拒否／許可
    - 1 メモリ別着信拒否／許可 2 メモリ登録外着信拒否
  - 7 発着信詳細設定
    - 1 優先通信モード設定 2 プレフィックス設定
    - 3 国際ダイヤル設定 4 サブアドレス設定
    - 5 着信中オープン応答
  - 8 通話詳細設定
    - 1 ノイズキャンセラ設定 2 通話中クローズ設定
  - 9 セルフモード設定
- 7 テレビ電話／プッシュトーク
  - 1 テレビ電話
    - 1 テレビ電話発信設定 2 テレビ電話着信設定
    - 3 テレビ電話動作設定 4 パケット通信中着信設定
    - 5 テレビ電話画像選択 6 テレビ電話使用機器設定
    - 7 テレビ電話切替機能通知
  - 2 プッシュトーク
    - 1 プッシュトーク着信設定 2 プッシュトーク呼出時間設定
    - 3 プッシュトーク番号通知設定 4 プッシュトーク自動応答設定
    - 5 プッシュトーク中着信設定 6 プッシュトーク中クローズ設定
    - 7 ｉ モード中プッシュトーク着信

8 設定／NW サービス
- 8 文字入力／その他
  - 1 単語／定型文登録
    - 1 単語登録 2 定型文登録
  - 2 ダウンロード辞書 3 変換学習リセット
  - 4 入力設定 5 NW 検索方法
  - 6 ソフトウェア更新 7 クイック起動設定
  - 8 スライド編集設定 9 スピードセレクター設定
- 9 NW サービス
  - 1 留守番電話
    - 1 留守番サービス 2 件数増加鳴動設定
    - 3 着信通知 4 表示消去
  - 2 キャッチホン
    - 1 キャッチホン開始 2 キャッチホン停止
    - 3 キャッチホン設定確認
  - 3 転送でんわ
    - 1 転送サービス開始 2 転送サービス停止
    - 3 転送先変更 4 転送先通話中時設定
    - 5 転送サービス設定確認
  - 4 着もじ
    - 1 メッセージ作成 2 メッセージ表示設定
  - 5 発信者番号通知
    - 1 発信者番号通知設定 2 発信者番号通知確認
  - 6 番号通知お願いサービス
    - 1 番号通知開始 2 番号通知停止

8 設定／NW サービス
- 9 NW サービス
  - 6 番号通知お願いサービス
    - 3 番号通知確認
  - 7 通話中着信設定
    - 1 通話中着信設定開始 2 通話中着信設定停止
    - 3 通話中着信設定確認
  - 8 通話中着信動作選択
  - 9 その他の NW サービス
    - 1 USSD 登録 2 応答メッセージ登録
    - 3 遠隔操作設定 4 迷惑電話ストップ
    - 5 英語ガイダンス 6 デュアルネットワーク
    - 7 サービスダイヤル 8 マルチナンバー

9 ミュージックプレイヤー

0 自局番号

キー操作一覧

待受画面から操作します。

機　能	操作方法
電源 ON ／ OFF	（2 秒以上）
セルフモード設定／解除	ch/クリア（1 秒以上）▶「はい」を選択

機　能	操作方法
プロテクトキーロック設定／解除	プロテクトキーを下にスライドさせてから離す
ｉ チャネル一覧の表示	ch/クリア
公共モード（ドライブモード）設定／解除	＊（1 秒以上）
ｉ モードメニュー	
ｉ アプリフォルダ一覧	（1 秒以上）
着信履歴	
プライバシーモード起動／解除※1	起動：（1 秒以上） 解除：（1 秒以上）▶端末暗証番号入力
リダイヤル	
マナーモード設定／解除	Menu（1 秒以上）または ＃（1 秒以上）
新規起動メニュー	
伝言メモ／音声メモメニュー	
電話帳	
スケジュール帳	（1 秒以上）

機　能	操作方法
メールメニュー	
ｉ モードメール作成	（1 秒以上）
データ BOX メニュー	
カメラ起動（アウトカメラ撮影）	（1 秒以上）
カメラ起動（インカメラ撮影）	（1 秒以上）
プッシュトーク電話帳	（1 秒以上）
IC カードロック設定／解除	設定：（1 秒以上）▶「はい」を選択 解除：（1 秒以上）▶端末暗証番号入力※2

※ 1：プライバシーモード設定を行っているときのみ有効

※ 2：IC カードロック設定の解除方法を「ボイス認証＋暗証番号」に設定している場合は、端末暗証番号の入力前にボイス認証が必要

キリトリ線

ネットワークサービス

■ 留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

● サービスを開始する

1 Menu 8 9 1 1 1 ▶「はい」を選択 ▶「はい」を選択

2 呼出時間を入力

● サービスを停止する

1 Menu 8 9 1 1 3 ▶「はい」を選択

● 伝言メッセージを再生する

1 Menu 8 9 1 1 5 ▶「はい」を選択 ▶ 音声ガイダンスに従って操作

■ キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

● サービスを開始／停止する

1 Menu 8 9 2 ▶ 1 〜 2 ▶「はい」を選択

● 通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に [通話キー]

・通話相手の切り替え：[キー]

● 通話中に電話をかける

通話中に電話番号を入力 ▶ [通話キー]

・通話相手の切り替え：[キー]

● 通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら [終話キー]

・保留中相手との通話再開：[通話キー]

■ 転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

● サービスを開始する

1 Menu 8 9 3 1 ▶「はい」を選択 ▶「はい」を選択

2 転送先電話番号を入力

・電話帳から転送先を入力：Menu

3 [キー] ▶「はい」を選択 ▶ 呼出時間を入力

● サービスを停止する

1 Menu 8 9 3 2 ▶「はい」を選択

■ 番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

● サービスを開始／停止する

1 Menu 8 9 6 ▶ 1 〜 2 ▶「はい」を選択

■ 利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104

利用できるサービス	電話番号
電報の発信（有料）午前 8 時〜午後 10 時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

ディスプレイの見かた

■ ディスプレイ上部

1 〜 13



1 ：電池残量表示

2 ：受信レベル表示　圏外：圏外表示

self：セルフモード中

：データ転送モード中など

3 ：ｉモード中（ｉモード接続中）

：ｉモード中（パケット通信中）

4 ：赤外線通信中など

：プロテクトキーロック中（一時解除中はグレー）

5 ：スピーカーホン機能利用中

：USB ハンズフリー対応機器接続中

：積算通話料金が上限を超過

6 ：ネットワーク上の電話帳ページ取得中

：プッシュトーク通信中

：ｉモードセンター蓄積状態表示

7 ：未読メール状態表示

8 ：未読メッセージ R 状態表示

9 ：未読メッセージ F 状態表示

10 ：ｉアプリ／ｉアプリ DX 動作中

：ｉアプリ待受画面表示中

：ｉアプリ DX 待受画面表示中

11 ：SSL ページ表示中など

：圏内自動送信メールあり

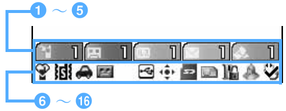
：圏内自動送信失敗メールあり

12 ：シークレットモード中

13 ：ｉアプリ自動起動失敗

■ ディスプレイ下部

1 〜 5



6 〜 16

1 ：不在着信

2 ：伝言メモ

3 ：留守番電話サービスの伝言メッセージ

4 ：未読メール

5 ：未読トルカ

6 ：通常マナーモード中

：オリジナルマナーモード中

7 ：電話着信音量消音設定中

：音声電話着信のバイブレータ設定中

：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中

8 ：公共モード（ドライブモード）中

9 ：伝言メモ設定中

：伝言メモ満杯

10 ：FOMA USB 接続ケーブルで外部機器と接続中

11 ：フォーカスモード時のスピードセレクターの有効キー表示

12 ：miniSD メモリーカードあり

13 ：FOMA カード読み込み中

：IC カードロック中

14 ：PIM ロック中

：ダイヤル発信制限中

15 ：目覚まし設定中

：スケジュールアラーム設定中

：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中

16 ：ソフトウェア更新予約中

：最新パターンデータの自動更新失敗

：最新パターンデータの自動更新成功

紛失時等の緊急連絡先

おまかせロック

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

24 時間受付

その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

連絡先：

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **運転中の場合**

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード／電源OFF）をご利用ください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● **マナーモード／オリジナルマナーモード**

キー確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（通常マナーモード）。☛P139
マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。☛P140
マナーモード中は、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。

● **公共モード（ドライブモード／電源 OFF）**

電話をかけてきた相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスまたは電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。☛P74、P76

● **バイブレータ**

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。☛P137

● **伝言メモ**

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音／録画します。☛P77

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。☛P394、P396

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

i モードから	i Menu ▸ 料金&お申込･設定 ▸ ドコモeサイト　パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo(https://www.mydocomo.com/) ▸ 各種手続き(ドコモeサイト)

※ i モードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ i モードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方･お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ四国
株式会社NTTドコモ九州

製造元 三菱電機株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

* 8 6 0 D 2 0 6 B *
'06.12 (3.1版)

FOMA® D902iS
データ通信マニュアル

データ通信について 1
データ通信の準備の流れ 2
パソコンとFOMA端末を接続する 3
通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする 4
FOMA PC設定ソフトを利用して通信する 5
FOMA PC設定ソフトを利用しないで通信する 15
ATコマンド 25

■ データ通信マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA D902iSでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「D902iS通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

■ Windowsの操作について
本マニュアルでは、Windows XP Service Pack 2に対応した内容となっております。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信の形態や利用時の留意点について説明します。

- FOMA 端末は Remote Wakeup には対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA 端末をドコモの PDA「sigmarion Ⅱ」や「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion Ⅱ」や「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

利用できる通信形態

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64K データ通信、データ転送の 3 つに分類されます。
これらの通信は、添付の CD-ROM から関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA 端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

■ パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速で送受信するのに適しています。ネットワークに接続していても、データを送受信していないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA のパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大 64kbps の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ 64K データ通信

64Kデータ通信は64kbps の安定した通信速度でデータ送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA 64K データ通信に対応したアクセスポイント、または ISDN 同期 64K アクセスポイントを利用します。
長時間にわたる通信をした場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

FOMA USB 接続ケーブル（別売）を使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降、プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMA サービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera をご利用いただけます。mopera U は、お申し込みが必要（有料）です。ブロードバンド接続や国際ローミングなどに対応し、使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、mopera は、お申し込み不要、月額使用料無料です。今すぐインターネットに接続できます。利用料などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と 64K データ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは FOMA のパケット通信に対応した接続先、64K データ通信を行うときは FOMA 64K データ通信、または ISDN 同期 64K 対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（ID とパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークで ID とパスワードを入力して接続してください。ID とパスワードはプロバイダまたは社内 LAN など接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

FirstPass（ユーザー証明書）の認証を行う場合は添付の CD-ROM から FirstPass PC ソフトをインストールし、設定してください。詳しくは添付の CD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。

つづく

「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードしてください（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

■ **FirstPass PCソフトの動作環境**

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ※1	Windows 98SE、Me、2000：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※1	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上 Windows XPの場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0以上

※1：パソコンのシステム構成によって異なります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の用語集

● 管理者権限
Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。
1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

● APN（Access Point Name）
パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。mopera Uは「mopera.net」が、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

● cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
お買い上げ時、cid 1には「mopera.ne.jp」、cid 3には「mopera.net」が登録されています。

● W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信または64Kデータ通信を利用する場合の準備は次のような流れになります。

通信設定ファイルのインストール ☛P4
↓
パソコンとFOMA端末の接続 ☛P3
↓
通信設定ファイルの確認 ☛P4
↓
FOMA PC設定ソフトのインストール ☛P6
↓
（かんたん設定）パケット通信設定
●mopera U / mopera ☛P7
●その他のプロバイダ ☛P8

（かんたん設定）64Kデータ通信設定
●mopera U / mopera ☛P10
●その他のプロバイダ ☛P11
↓
通信実行 ☛P12（切断 ☛P12）
↓
FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定☛P15
↓
接続 ☛P24（切断 ☛P24）

通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続して、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

動作環境の確認

通信設定ファイルおよびFOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT 互換機
OS	Windows 98、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ	Windows 98、Me：32MB 以上 Windows 2000：64MB 以上 Windows XP：128MB 以上
ハードディスク容量	5MB 以上の空き容量

※ 1：USB ポート（USB 仕様 1.1/2.0 に準拠）が必要です。

おしらせ

● 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用やOSアップグレードによる問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 本マニュアルでは、Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

インストール・アンインストール前の注意点

- Windows XP、2000で通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール・アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存・終了させた後に行ってください。

パソコンと FOMA 端末を接続する

パソコンと FOMA 端末は、電源が入っている状態で接続してください。

- 通信モードでの接続前に必ず通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしておいてください。☛P4

接続のしかた

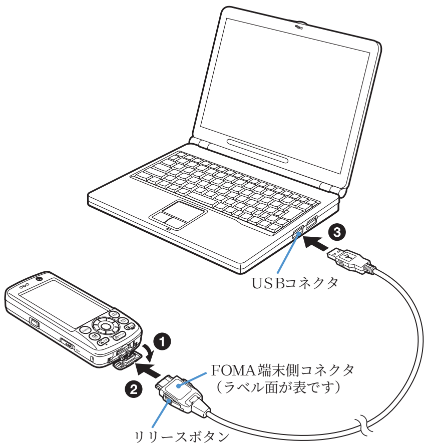
FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って接続します。

❶ FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを開く

❷ FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む

❸ FOMA USB 接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信モードでパソコンと FOMA 端末が接続されると、FOMA 端末の画面に が表示されます。
- 通信モードで通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA 端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。



■ 取り外しかた

FOMA 端末側コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜きます。パソコン側コネクタはそのまま引き抜きます。

- FOMA 端末側コネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

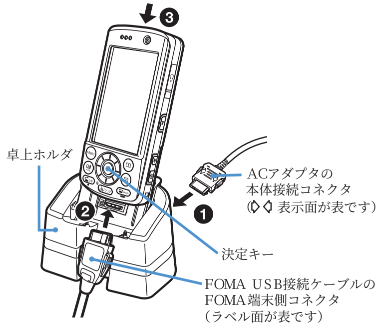
充電しながら接続する

卓上ホルダ（別売）を使って充電しながら接続できます。ただし充電時間が長くなります。

❶ **卓上ホルダとACアダプタを接続する**
- ACアダプタはコンセントに差し込んでおいてください。

❷ **FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する**

❸ **卓上ホルダに沿ってFOMA端末を図のような角度で差し込む**
- FOMA端末を差し込むときは、FOMA USB接続ケーブルを手前に引き出してください。
- 決定キーが赤く点灯したことを確認してください。



おしらせ

- データ通信アダプタD01（別売）を使っても充電しながら接続できます。ただし、充電時間が長くなります。
- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを取り外したり、FOMA端末および卓上ホルダに衝撃を与えないでください。充電やデータ通信の切断、パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了させたい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA 端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールしてください。

通信設定ファイルをインストールする

操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

- FOMA 端末は操作 1 ～ 3 を行った後にパソコンに接続してください。

1 添付の CD-ROM をパソコンにセット

「ソフトウェアのセットアップ」画面が表示されます。

2 ［通信設定ファイル］をクリック

3 ［インストール開始］をクリック

FOMA D902iS をパソコンに接続する旨の画面が表示されます。

4 FOMA 端末をパソコンに接続する

インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に完了します。
- FOMA 端末は電源が入った状態で接続してください。
- 「通信設定ファイルを確認する」に進み、インストールされたデバイスの種類とデバイス名を確認してください。

おしらせ

- インストールには数分かかることがあります。
- Windowsを再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
- 通信設定ファイルのインストールを行う前にパソコンとFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作 2 でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。このときは画面の指示に従ってアンインストールを行った後、通信設定ファイルをインストールしてください。

通信設定ファイルを確認する

FOMA 端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

例 Windows XP の場合

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンをクリック

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ **Windows 2000、Me、98 の場合：**
①［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
②［システム］アイコンをダブルクリック

つづく

2 ［ハードウェア］タブをクリック▶［デバイスマネージャ］をクリック

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

■ **Windows Me、98 の場合：［デバイス マネージャ］タブをクリック**

3 各デバイスの種類をダブルクリック▶インストールされたデバイス名を確認する

インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

デバイスの種類	デバイス名
ユニバーサル シリアル バス コントローラ または USB（Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA D902iS • FOMA D902iS Command※1 • FOMA D902iS Modem※1 • FOMA D902iS OBEX※1
ポート（COMとLPT）または（COM/LPT）	• FOMA D902iS Command Port（COMx）※2 • FOMA D902iS OBEX Port（COMx）※2
モデム	FOMA D902iS

※1：Windows Me、98 の場合のみ表示されます。
※2：COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。

通信設定ファイルをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3
アンインストールを実行する前に、必ずパソコンから FOMA 端末を取り外してください。

例 Windows XP の場合

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリック

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ **Windows 2000、Me、98 の場合：**
① ［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
② ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

2 「FOMA D902iS USB」を選択▶［変更と削除］をクリック

• Windows Me、98 の場合は［追加と削除］をクリックします。

3 プログラム名を確認して［はい］をクリック

通信設定ファイルのアンインストールを開始します。

4 ［OK］をクリック

おしらせ

● インストールに失敗したとき、または操作1の画面に「FOMA D902iS USB」が表示されていないときは、添付のCD-ROMをパソコンにセットし、「ソフトウェアのセットアップ」画面で［通信設定ファイル］をクリックし、通信設定ファイルをアンインストールしてください。
● Windows Me、98では通信設定ファイルのアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、FOMA USB 接続ケーブル（別売）を一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA 端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

■ **かんたん設定**
ガイドに従い操作することで、「FOMA データ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCP の設定」などを行います。

■ **W-TCP の設定**
「FOMA パケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP 設定」による通信設定の最適化が必要です。

■ **接続先（APN）の設定**
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA 端末に APN と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1番には、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3番には、mopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- 古いバージョンのFOMA PC設定ソフト（バージョン1.00および2.00）がインストールされている場合は、添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフト（バージョン2.0.1）をインストールする前にアンインストールしてください。バージョンは、FOMA PC設定ソフトの「メニュー」→「バージョン情報」で表示できます。
- お使いのパソコンに、本機種より前に発売されたFOMA端末に添付の「W-TCP環境設定ソフト（以降、旧「W-TCP設定ソフト」）」、および「FOMAデータ通信設定ソフト（以降、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」）」がインストールされている場合は、それらのソフトをアンインストールしてください。
- 操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

例 Windows XPの場合

1 添付のCD-ROMをパソコンにセット

「ソフトウェアのセットアップ」画面が表示されます。

2 ［PC設定ソフト］をクリック

3 ［次へ］をクリック

FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

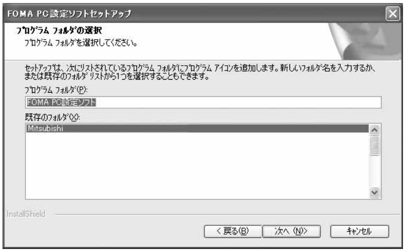
セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。

- 「W-TCP通信」の最適化の設定・解除を行うときに使用しますので（☛P13）、常駐をおすすめします。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。



6 インストール先を確認して［次へ］をクリック

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して［次へ］をクリック



8 ［完了］をクリック

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

- このまま各種設定を始められます。

おしらせ

- 既に「FOMA PC設定ソフト」や旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合は、インストールを中断する画面が表示されます。［OK］をクリックし、これらソフトをアンインストールしてから「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし［完了］をクリックしてください。

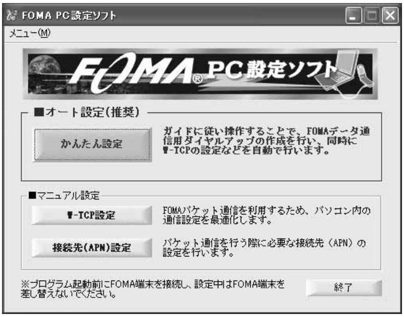
かんたん設定でパケット通信を設定する

設定はFOMA端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P3

例 Windows XPの場合

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」(Windows XP以外の場合は、「プログラム」)→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」をクリック

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。



mopera U / moperaを利用する場合

- その他のプロバイダの場合☛P8

例 Windows XPの場合

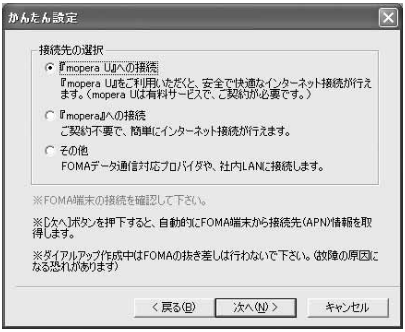
1 FOMA PC設定ソフトを起動 ▶ ［かんたん設定］をクリック

2 「パケット通信」を選択 ▶ ［次へ］をクリック



3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

- ドコモのインターネット接続サービスmopera U / moperaをご利用いただけます。mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。moperaをご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。
- mopera Uを選択すると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合は［はい］をクリックします。



4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

FOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 任意の接続名を入力 ▶ ［次へ］をクリック

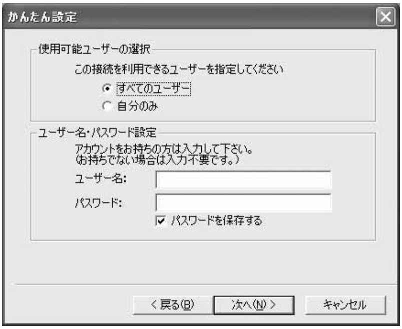
- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ¥ / : ＊ ? ! < > ｜ ”



つづく

6 ［次へ］をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。
- Windows XP、2000 の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択すると Windows にログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。
  Windows Me、98 の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

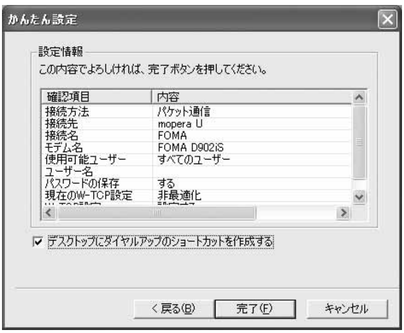


7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。



8 設定情報を確認して［完了］をクリック



9 ［OK］をクリック

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動します。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既に W-TCP 設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する ☛P12

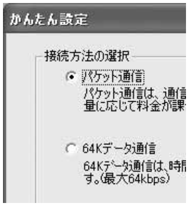
その他のプロバイダを利用する場合

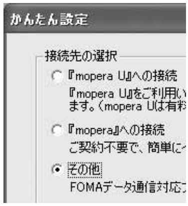
- mopera U / mopera の場合 ☛P7

例 Windows XP の場合

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 4 を行う ☛P7

- 操作 3 の接続先は「その他」を選択します。





2 任意の接続名を入力 ▶［接続先（APN）設定］をクリック

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ¥ /: ＊ ?!< > ｜ ”



■ 高度な設定（TCP/IP の設定）：
［詳細情報の設定］をクリックすると「IP アドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報を基にアドレスなどを登録してください。

つづく

3 接続先（APN）を設定

お買い上げ時、cid1 には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が設定されています。cid 2、4〜10に接続先（APN）を登録してください。

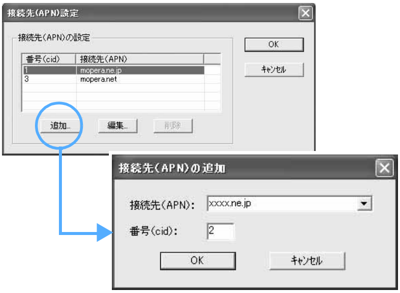
①［追加］をクリック

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

②「接続先（APN）」にご利用のプロバイダなどの FOMA パケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力 ▶［OK］をクリック

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。



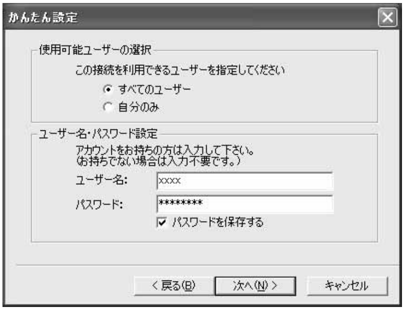
4 ［OK］をクリック

操作2の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作3で設定した「接続先（APN）」が表示されています。

5 「接続先（APN）の選択」の接続先名（APN）を確認して［次へ］をクリック

6 ユーザー名・パスワードを入力 ▶［次へ］をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
- Windows XP、2000の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。



7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- 既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。



8 設定情報を確認して［完了］をクリック



9 ［OK］をクリック

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動します。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既に W-TCP 設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する ☛P12

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

設定はFOMA端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P3

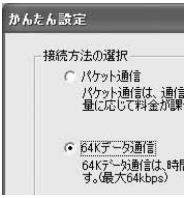
mopera U / mopera を利用する場合

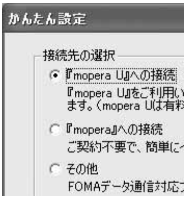
- その他のプロバイダの場合☛P11

例 Windows XP の場合

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作1〜3を行う ☛P7

- 操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。





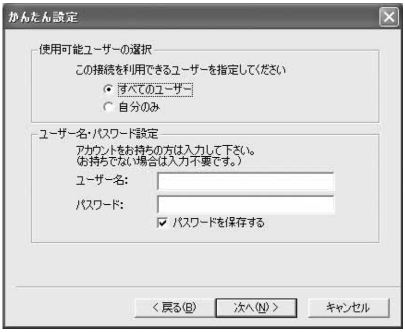
2 任意の接続名を入力しモデムを選択▶[次へ]をクリック

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!< > ｜ ”
- 「モデムの選択」が「FOMA D902iS」に設定されていることを確認します。

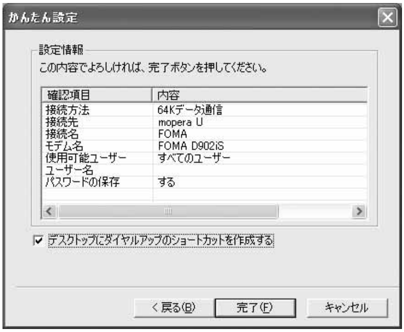


3 [次へ]をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
- Windows XP、2000の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。
  Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。



4 設定情報を確認して[完了]をクリック



5 [OK]をクリック

- 通信を実行する☛P12

つづく

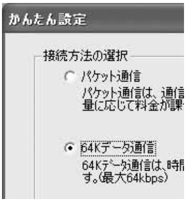
その他のプロバイダを利用する場合

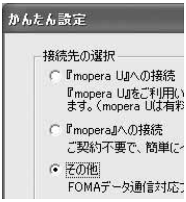
・mopera U / mopera の場合 ☛P10

例 Windows XP の場合

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 3 を行う ☛P7

・操作２の接続方法は「64Kデータ通信」、操作3の接続先は「その他」を選択します。





2 各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

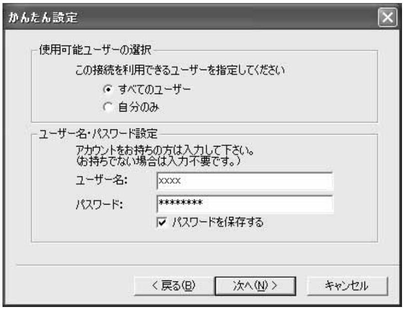
・次の項目を登録します。
　・接続名　　　：任意
　・モデムの選択：FOMA D902iS
　・電話番号　　：プロバイダなどから提供された情報を基に入力



■ 高度な設定（TCP/IP の設定）：
［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報を基にアドレスなどを登録してください。

3 ユーザー名･パスワードを入力 ▶［次へ］をクリック

・「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
・Windows XP、2000 の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択すると Windows にログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。Windows Me、98 の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。



4 設定情報を確認して［完了］をクリック



5 ［OK］をクリック

・通信を実行する ☛P12

通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

1 FOMA 端末とパソコンを接続する

☛P3

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック



- アイコンはOSによって異なります。

- デスクトップに接続アイコンを作成しなかった場合は、スタートメニューから起動します。

■ Windows XP のスタートメニューから起動：

①［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック

②接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000、Me、98のスタートメニューから起動：

①［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Windows Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリック

②接続アイコンをダブルクリック

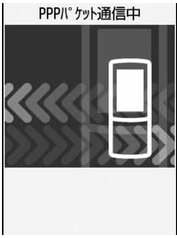
3 各項目を確認して［ダイヤル］をクリック

- mopera U / mopera を選択した場合は「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
- ご加入のプロバイダなどの指示により必要な場合は、入力指示情報を基に「ユーザー名」「パスワード」を入力して［ダイヤル］（Windows Me、98 の場合は［接続］）をクリックします。
- OS によっては、接続完了画面が表示されることがあります。[OK] をクリックしてください。



■ 通信中の FOMA 端末画面

パケット通信を実行すると発信中画面、64K データ通信を実行すると呼出中画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。





おしらせ

- ●パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- ●データ通信を実行する場合、接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。
- ●D902iS以外のFOMA端末を接続する場合は、ご利用になる FOMA 端末の通信設定ファイルをインストールする必要があります。

通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイのをクリック

- Windows Me、98 の場合はダブルクリックします。

2 ［切断］ をクリック



パケット通信の設定を最適化する

「W-TCP 設定」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。
「W-TCP設定」とはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

Windows XPの場合

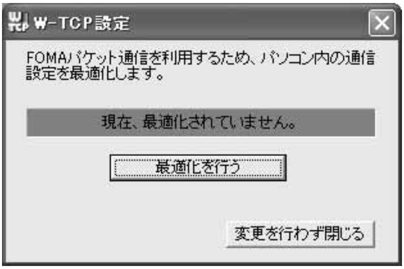
ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動(☛P7)▶[W-TCP設定]をクリック

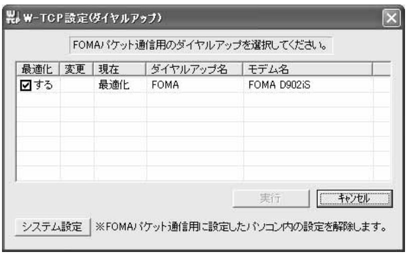
■ タスクトレイから起動：をクリック

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき：
①W-TCP 設定画面で［最適化を行う］をクリック
②最適化するダイヤルアップを選択▶［実行］をクリック
システム設定とダイヤルアップ設定のそれぞれの最適化が実行されます。



■ システム設定が最適化されているとき：
次の画面が表示されます。内容を変更する場合は設定を行ってください。



■ 最適化を解除するとき：
①「W-TCP 設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリック
W-TCP設定画面が表示されます。
②［最適化を解除する］をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動

・設定した内容は再起動後に有効になります。

Windows 2000、Me、98の場合

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動(☛P7)▶[W-TCP設定]をクリック

■ タスクトレイから起動：をクリック

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき：［最適化を行う］をクリック

■ 最適化されているシステム設定を解除するとき：［最適化を解除する］をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動する

・設定した内容は再起動後に有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。
接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。
お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が設定されています。
・設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。☛P3
・mopera U / mopera 以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動(☛P7)▶［接続先（APN）設定］をクリック

「FOMA端末設定取得」画面が表示されます。

2 ［OK］をクリック

FOMA端末に登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

つづく

3 接続先（APN）の設定を行う



■ **接続先（APN）を追加する：［追加］をクリック**

■ **登録済みの接続先（APN）を編集または修正する：対象の接続先（APN）を一覧から選択 ▶［編集］をクリック**

■ **登録済みの接続先（APN）を削除する：対象の接続先（APN）を一覧から選択 ▶［削除］をクリック**
- cid1 と cid3 に登録されている接続先は削除できません（cid 3 を選択して［削除］をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります）。

■ **ファイルへ保存する：「ファイル」→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック**
- FOMA 端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ **ファイルから読み込む：「ファイル」→「開く」をクリック**
- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA 端末に書き込んだりするときに利用します。

■ **FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込む：「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」をクリック**

FOMA 端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ **FOMA端末へ接続先（APN）情報を書き込む：［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリック**

表示されている接続先（APN）設定が FOMA 端末に書き込まれます。

■ **ダイヤルアップを作成する：**

① **追加・編集された接続先（APN）を選択 ▶［ダイヤルアップ作成］をクリック**

「FOMA 端末設定書き込み」画面が表示されます。

② **［はい］をクリック ▶［OK］をクリック**

FOMA端末へ接続先（APN）情報の書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③ **任意の接続名を入力 ▶［アカウント・パスワードの設定］をクリック**

④ **ユーザー名とパスワードを入力 ▶［OK］をクリック**
- mopera U / mopera の場合は空欄でも接続できます。
- Windows XP、2000の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。
- ご利用のプロバイダなどから、IP および DNS 情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤ **［OK］をクリック ▶［OK］をクリック**

⑥ **［FOMA 端末へ設定を書き込む］をクリック**

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑦ **［はい］をクリック ▶［OK］をクリック**

おしらせ

● 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。

● パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。

● 通信設定ファイルの確認でFOMA端末がCOM1～9以外の番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができない場合があります。その場合はWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って設定します。☛P15

FOMA PC 設定ソフトをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

アンインストールを実行する前に

タスクトレイの アイコン を右クリックし、「常駐させない」をクリックして、「W-TCP 設定」の常駐を解除してください。

アンインストールする

例 Windows XP の場合

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリック

■ **Windows 2000、Me、98 の場合：**

①［**スタート**］→「**設定**」→「**コントロールパネル**」を**クリック**

②［**アプリケーションの追加と削除**］**アイコン**を**ダブルクリック**

2 「NTT DoCoMo FOMA PC 設定ソフト」を選択 ▶［変更と削除］をクリック

• Windows Me、98 の場合は［追加と削除］をクリックします。

3 削除するプログラム名を確認して［はい］をクリック

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■ **「W-TCP 最適化」の解除：**

W-TCP が最適化されている場合は確認画面が表示されます。

• 通常は［はい］をクリックして、最適化を解除してください。
• 再起動の確認画面が表示されたら、今すぐ再起動するかどうかを選び［完了］をクリックします。
•「W-TCP 最適化」の解除は、パソコンの再起動後に行われます。

4 ［OK］をクリック

FOMA PC 設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64K データ通信のダイヤルアップネットワークの設定を行う方法について説明します。

設定操作の流れ

通信設定ファイルのインストール ☛P4
パソコンと FOMA 端末の接続 ☛P3

↓

接続先（APN）の設定
（64Kデータ通信の場合、パケット通信の接続先がmopera U / moperaの場合は、設定不要）

↓

発信者番号通知／非通知の設定 ☛P16
（必要に応じて設定）

↓

その他の設定（AT コマンド）☛P25
（必要に応じて設定）

↓

ダイヤルアップネットワークの設定

ご使用の OS	設定	
	接続先	TCP/IP
Windows XP	P17	P18
Windows 2000	P19	P21
Windows Me	P21	P22
Windows 98	P23	P23

• 設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

↓

接続 ☛P24（切断 ☛P24）

パケット通信の接続先（APN）を設定する

設定を行うには、AT コマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは Windows 標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

お買い上げ時 cid1：mopera.ne.jp
cid3：mopera.net
cid2、4 ～ 10：未登録

例 Windows XP の場合

1 パソコンと FOMA 端末を接続する ☛P3

2 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」をクリック ▶「ハイパーターミナル」をクリック（Windows 98ではさらに［Hypertrm］アイコンをダブルクリック）

• Windows XP 以外の場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

つづく

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力 ▶ [OK] をクリック



4 「電話番号」に実在しない電話番号(「0」など)を仮入力し、「接続方法」から「FOMA D902iS」を選択 ▶ [OK] をクリック

- 市外局番は接続先(APN)の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

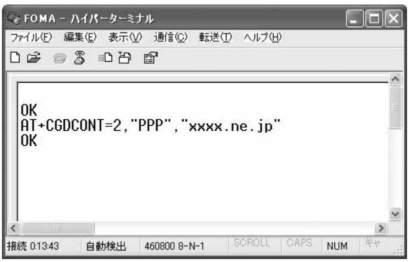


5 接続画面が表示されたら [キャンセル] をクリック

6 接続先(APN)を入力 ▶ ⏎ を押す

- 「AT+CGDCONT=<cid>,"PPP","APN"」の形式で入力します。

<cid>: 2、4〜10の任意の番号を入力します。
"PPP": そのまま"PPP"と入力します。
"APN": 接続先(APN)を" "で囲んで入力します。



「OK」と表示されれば、接続先(APN)の設定は完了です。

■ 接続先(APN)設定をリセットするとき:
AT+CGDCONT= ⏎
すべての cid をリセットします。
- < cid > =1 と 3 はお買い上げ時の設定に戻り、< cid > =2、4 〜 10 の設定は未登録になります。

AT+CGDCONT= < cid > ⏎
特定の cid をリセットします。

■ 接続先(APN)設定を確認するとき:
AT+CGDCONT? ⏎
- 詳細 ☛P30

■ AT コマンドを入力しても画面に表示されないとき:ATE1 ⏎
- 詳細 ☛P28

7 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか?」の表示後に[はい]をクリックします。
- 「"XXX"と名前付けされた接続を保存しますか?」の表示後に[いいえ]をクリックします。

接続先(APN)と登録番号(cid)について

パケット通信の接続先(APN)は、FOMA端末の登録番号cid1〜10に設定できます。お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3 には「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2、4〜10に接続先(APN)を登録してください。

- 接続先(APN)については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録と考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA 端末電話帳の登録項目
登録番号(cid)	登録番号(メモリ番号)
APN	相手の電話番号

- 登録した cid はダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

発信者番号の通知/非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- mopera U / moperaをご利用になる場合は、「通知」に設定します。

お買い上げ時 設定なし

つづく

例 Windows XP の場合

1 「パケット通信の接続先（APN）を設定する」の操作 1 ～ 5 を行う ☛P15

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定

「AT ＊ DGPIR= ＜ n ＞」の形式で入力します。

AT ＊ DGPIR=1 ↵

パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

AT ＊ DGPIR=2 ↵

パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

■ **ATコマンドを入力しても画面に表示されないとき：ATE1 ↵**

・詳細 ☛P28

3 「OK」と表示されていることを確認し、[ファイル] →「ハイパーターミナルの終了」をクリック

・「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」の表示後に［はい］をクリックします。

・『“ XXX ”と名前付けされた接続を保存しますか?』の表示後に［いいえ］をクリックします。

■ **ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について**

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けられます。

AT＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（＜cid＞=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

・AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。

Windows XP で設定する

接続先を設定する

1 [スタート] →「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 [次へ] をクリック

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 「インターネットに接続する」を選択 ▶ [次へ] をクリック

準備画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択 ▶ [次へ] をクリック

インターネット接続画面が表示されます。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択 ▶ [次へ] をクリック

デバイスの選択画面が表示されます。

・インストールされているモデムが1台しかない場合、デバイスの選択画面は表示されません。操作 8 へ進みます。

7 「モデム－FOMA D902iS (COMx) ※1」を選択 ▶ [次へ] をクリック

・「モデム－FOMA D902iS （COMx）※1」のみチェックが入っていることを確認してください。

※ 1：COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。



8 「ISP名」に任意の接続名を入力 ▶［次へ］をクリック



9 「電話番号」に接続先の番号（半角文字）を入力 ▶［次へ］をクリック

■ パケット通信の場合：

＊99＊＊＊<cid>#を入力します。

- <cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P15）で登録したcid番号を入力します。mopera Uは＊99＊＊＊3#、moperaは＊99＊＊＊1#となります。

■ 64Kデータ通信の場合：

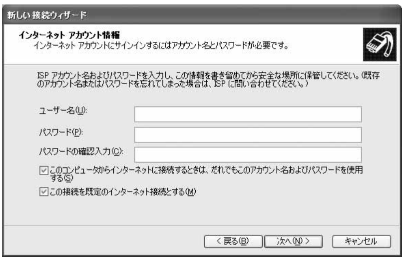
接続先の電話番号を入力します。

- mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。



10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」を入力 ▶ 各項目を以下のように設定 ▶［次へ］をクリック

- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」については空欄でも接続できます。各項目を画面のように設定し［次へ］をクリックします。



11 ［完了］をクリック

12 設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択 ▶「ファイル」→「プロパティ」をクリック



2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム－FOMA D902iS（COMx）※1」を選択します。
- 「モデム－FOMA D902iS （COMx）※1」のみチェックが入っていることを確認してください。

  ※1：COMxのxはお使いのパソコンによって異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。



つづく

3 ［ネットワーク］タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- 「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoS パケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしてください。



4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリック

接続先のプロパティ画面に戻ります。



6 ［OK］をクリック

Windows 2000 で設定する

接続先を設定する

1 ［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 ［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリック

「所在地情報」画面が表示されます。

- この画面は［新しい接続の作成］アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。2 回目以降の場合は、操作 5 へ進みます。

3 「市外局番」を入力 ▶ ［OK］をクリック

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 ［OK］をクリック

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 ［次へ］をクリック

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

モデムの選択画面が表示されます。

- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。操作 10 に進みます。

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA D902iS」に設定されていることを確認して［次へ］をクリック

インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 「FOMA D902iS」に設定されていない場合は、「FOMA D902iS」に設定してください。

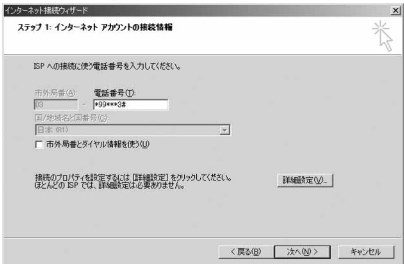
10 「電話番号」に接続先の番号（半角文字）を入力 ▶ ［詳細設定］をクリック

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

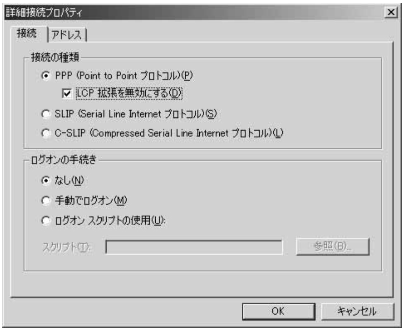
つづく

■ パケット通信の場合：
＊ 99 ＊＊＊< cid >＃を入力します。
- <cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P15）で登録した cid 番号を入力します。mopera U は＊ 99 ＊＊＊ 3 ＃、mopera は＊ 99 ＊＊＊ 1 ＃となります。

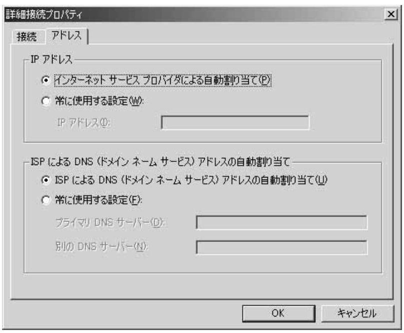
■ 64K データ通信の場合：
接続先の電話番号を入力します。
- mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。



11 ［接続］タブの各項目を以下のように設定



12 ［アドレス］タブをクリック ▶ 各項目を以下のように設定



13 ［OK］をクリック

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

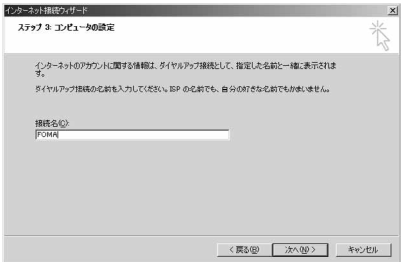
14 ［次へ］をクリック

インターネットアカウントのログオン情報画面が表示されます。

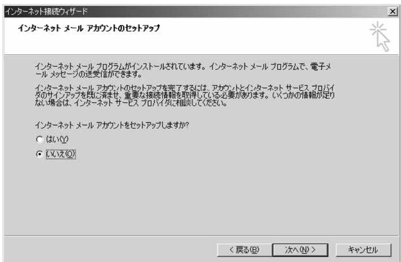
15 「ユーザー名」と「パスワード」を入力 ▶ ［次へ］をクリック

- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

16 「接続名」に任意の接続名を入力 ▶ ［次へ］をクリック



17 「いいえ」を選択 ▶ ［次へ］をクリック



18 ［完了］をクリック

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

つづく

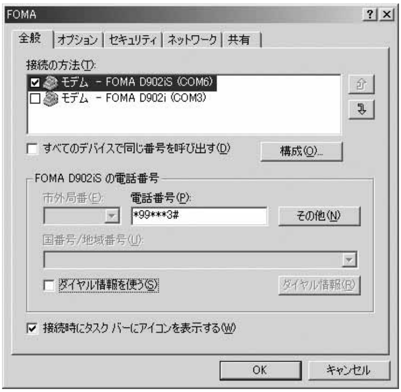
TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択▶「ファイル」→「プロパティ」をクリック



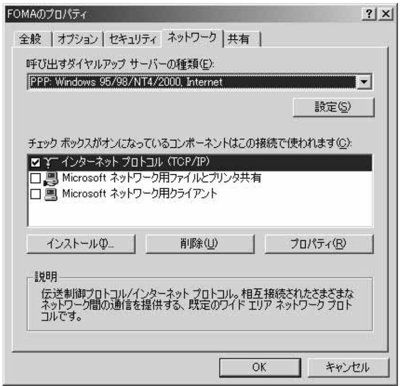
2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は､「接続の方法」の「モデム－ FOMA D902iS (COMx) ※1」を選択します。
  モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、再度接続先電話番号を入力してください。
- 「モデム－ FOMA D902iS (COMx) ※1」のみチェックが入っていることを確認してください。
  ※1：COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。



3 ［ネットワーク］タブをクリック▶各項目の設定を確認

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネット プロトコル (TCP/IP)」だけを選択します。



4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリック

接続先のプロパティ画面に戻ります。



6 ［OK］をクリック

Windows Me で設定する

接続先を設定する

- Windows 98 の設定方法も同じです。

1 ［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリック

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- この画面は「ダイヤルアップネットワーク」を初めて選択したときに表示されます。2回目以降の場合は、操作3へ進みます。

つづく

2 ［次へ］をクリック

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 ［新しい接続］アイコンをダブルクリック

4 「接続名」に任意の接続名を入力 ▶ ［次へ］をクリック

- 「モデムの選択」が「FOMA D902iS」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA D902iS」に設定します。



5 接続先の番号（半角文字）を入力 ▶ ［次へ］をクリック

■ **パケット通信の場合：**

＊99＊＊＊<cid>＃を入力します。

- <cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P15）で登録したcid番号を入力します。mopera Uは＊99＊＊＊3＃、moperaは＊99＊＊＊1＃となります。

■ **64Kデータ通信の場合：**

接続先の電話番号を入力します。

- mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。
- 「市外局番」には何も入力しません。



6 接続先名を確認 ▶ ［完了］をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択 ▶ 「ファイル」→「プロパティ」をクリック



2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

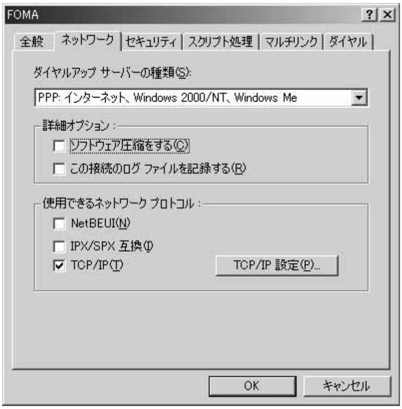
- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択（☐）にします。
- 「接続方法」が「FOMA D902iS」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA D902iS」に設定します。



つづく

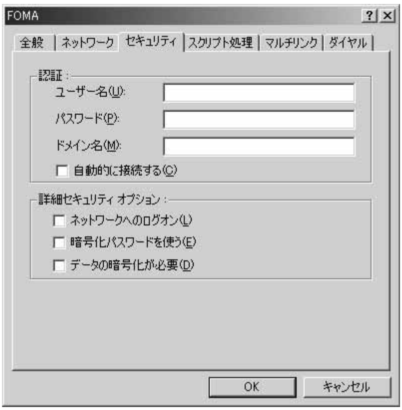
3 ［ネットワーク］タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「詳細オプション」はすべて非選択（□）にします。
- 「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。



4 ［セキュリティ］タブをクリック ▶「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［OK］をクリック

- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。



Windows 98で設定する

接続先を設定する

Windows Meの設定方法と同じです。☛P21

TCP/IPプロトコルを設定する

1 「Windows Meで設定する」の「TCP/IPプロトコルを設定する」の操作1～2を行う ☛P22

2 ［サーバーの種類］タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は、「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「詳細オプション」はすべて非選択（□）にします。
- 「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。



3 ［OK］をクリック

ダイヤルアップ接続する

パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

例 Windows XP の場合

1 FOMA 端末とパソコンを接続する
☛P3

2 [スタート] →「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

- Windows 2000、Me、98 の場合は、[スタート] →「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」(Windows Me、98 の場合は「ダイヤルアップネットワーク」)の順にクリックします。

3 接続先のアイコンをダブルクリック

4 各項目を確認して [ダイヤル] をクリック

- Windows Me、98 の場合は、各項目を確認して、[接続] をクリックします。
- 「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。



通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をクリック

- Windows Me、98 の場合はダブルクリックします。

2 [切断] をクリック



AT コマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末は、ATコマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自の AT コマンドをサポートしています。

AT コマンドについて

■ AT コマンドの入力形式

AT コマンドは、コマンドの先頭に「AT」を付けて入力します。半角英数字で入力してください。次に入力例を示します。

ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#⏎

コマンド（ATD）　パラメータ（＊99＊＊＊3#）　⏎ Enter キーを押します

AT コマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、1 行で入力します。1 行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことで、160 文字（「AT」含む）まで入力できます。

■ AT コマンドの入力モード

AT コマンドで FOMA 端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。
ターミナルモードとは、パソコンを 1 台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で行います。
- オンラインデータモード
  FOMA 端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA 端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したまま AT コマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※1 のER信号をOFFにします。

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO⏎」と入力します。

※ 1：USB インタフェースにより、RS-232C の信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによる RS-232C の信号線制御が有効になります。

AT コマンド一覧

- AT コマンド入力時に、使用している PC や通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。
- ここで説明するのは FOMA D902iS Modem Port で使用できる AT コマンドです。

※ 1　：AT&F コマンドで設定が初期化されます。
※ 2　：AT&W コマンドで FOMA 端末に記憶でき、ATZ コマンドで復元できます。
「なし」：表示コマンド、テストコマンドがない AT コマンドです。
[ ]　：省略できるパラメータです。

コマンド		概要・パラメータ					
AT%V		FOMA 端末のバージョンを「Verx.xx」の形式で表示します。					
	例	設定	AT%V	表示	なし	テスト	なし
AT&C[n]		DTE への回路 CD 信号の動作条件を選択します。 n=0: 回路 CD 信号を常に ON にします。（パラメータ省略時） n=1: 回路 CD 信号は相手モデムの状態に従って変化します。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&C1	表示	なし	テスト	なし
AT&D[n]		オンラインデータモードの場合に、DTE から受け取る回路 ER 信号が ON から OFF に変わったときの動作を設定します。 n=0:ER 信号の状態を無視します（常に ON）。（パラメータ省略時） n=1:ER 信号が ON から OFF に変わるとオンラインコマンドモードになります。 n=2:ER 信号が ON から OFF に変わると回線を切断し、オフラインモードになります。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&D1	表示	なし	テスト	なし
AT&E[n]		接続時の速度表示仕様を選択します。 ATX コマンドが n=0 以外の場合に有効です。 n=0：無線区間通信速度を表示します。 n=1：パソコンと FOMA 端末間の通信速度を表示します。(お買い上げ時)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&E1	表示	なし	テスト	なし
AT&F[0]		FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。着信中に実行すると、着信には影響を与えずに、FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。通信中は通信を切断（「NO CARRIER」を表示）してからお買い上げ時の状態に戻します。					
	例	設定	AT&F0	表示	なし	テスト	なし
AT&S[n]		FOMA 端末の出力する DR 信号の制御を設定します。 n=0: 常に ON にします。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: 回線接続時に DR 信号を ON にします。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&S0	表示	なし	テスト	なし
AT&W[0]		現在の設定値を FOMA 端末に書き込みます。					
	例	設定	AT&W0	表示	なし	テスト	なし
AT＊DANTE		電波の強さ（受信レベル）を「＊DANTE:m」の形式で表示します。 m=0: 圏外　m=1 〜 3:FOMA 端末に表示されるアンテナの本数（m=1：0 本または 1 本）					
	例	設定	AT＊DANTE	表示	AT＊DANTE?	テスト	AT＊DANTE=?
AT＊DGANSM=n		パケット着信呼に対して、着信拒否、着信許可を設定します。 n=0: 着信拒否設定と着信許可設定を OFF にします。（お買い上げ時） n=1: 着信拒否設定を ON にします。　n=2: 着信許可設定を ON にします。					
	例	設定	AT＊DGANSM=0	表示	AT＊DGANSM?	テスト	AT＊DGANSM=?
AT＊DGAPL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を許可する接続先 (APN) を設定します。APN は「+CGDCONT」で定義された cid パラメータを使用します。 n=0:cid で定義された APN を着信許可リストへ追加します。 n=1:cid で定義された APN を着信許可リストから削除します。 cid パラメータを省略すると、すべての cid を追加または削除します。					
	例	設定	AT＊DGAPL=0,1	表示	AT＊DGAPL?	テスト	AT＊DGAPL=?
AT＊DGARL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を拒否する接続先 (APN) を設定します。APN は「+CGDCONT」で定義された cid パラメータを使用します。 n=0:cid で定義された APN を着信拒否リストへ追加します。 n=1:cid で定義された APN を着信拒否リストから削除します。 cid パラメータを省略すると、すべての cid を追加または削除します。					
	例	設定	AT＊DGARL=0,1	表示	AT＊DGARL?	テスト	AT＊DGARL=?

つづく

コマンド		概要・パラメータ					
AT＊DGPIR=n		パケット通信時の番号通知、非通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0: パケット通信確立時に、APN をそのまま使用します。(お買い上げ時) n=1: パケット通信確立時に、APN に「184」を付けます。 n=2: パケット通信確立時に、APN に「186」を付けます。					
	例	設定	AT＊DGPIR=0	表示	AT＊DGPIR?	テスト	AT＊DGPIR=?
AT＊DRPW		受信電力指標を「＊DRPW:m」の形式で表示します。m:0 〜 75					
	例	設定	AT＊DRPW	表示	なし	テスト	AT＊DRPW=?
+++		FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えます。エスケープガード区間は、1 秒間の固定です。					
	例	設定	+++	表示	なし	テスト	なし
AT+CEER		直前の通信の切断理由を表示します。☛P30					
	例	設定	AT+CEER	表示	なし	テスト	AT+CEER=?
AT+CGDCONT		パケット通信時の接続先 (APN) を設定します。☛P30					
AT+CGEQMIN		パケット通信確立時に、ネットワーク側から通知される QoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準を登録します。☛P30					
AT+CGEQREQ		パケット通信の発信時にネットワークへ要求する QoS(サービス品質)を設定します。☛P31					
AT+CGMR		FOMA 端末のバージョンを 16 桁の数字で表示します。					
	例	設定	AT+CGMR	表示	なし	テスト	AT+CGMR=?
AT+CGREG=[n]		ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は、圏内または圏外です。 n=0: 通知しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 通知します。「+CGREG:n,stat」の形式で通知されます。 stat=0: 圏外　stat=1: 圏内 (home)　stat=4: 不明　stat=5: 圏内 (visitor)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CGREG=1	表示	AT+CGREG?	テスト	AT+CGREG=?
AT+CGSN		FOMA 端末の製造番号を表示します。					
	例	設定	AT+CGSN	表示	なし	テスト	AT+CGSN=?
AT+CLIP=[n]		64K データ通信の着信時に、相手の発信者番号をパソコンに表示します。 n=0: 表示しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 表示します。 AT+CLIP? を入力すると、「+CLIP:n,m」が表示されます。 m=0: 発信時に相手に発信者番号を通知しないネットワーク設定 m=1: 発信時に相手に発信者番号を通知するネットワーク設定　m=2: 不明					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CLIP=0	表示	AT+CLIP?	テスト	AT+CLIP=?
AT+CLIR=[n]		64K データ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0: サービス契約の設定に従います。(パラメータ省略時)　n=1: 通知しません。 n=2: 通知します。(お買い上げ時) AT+CLIR? を入力すると、「+CLIR:n,m」を表示します。 m=0:CLIR が起動していません。(常時通知)　m=1:CLIR が起動しています。(常時非通知) m=2: 不明　m=3:CLIR テンポラリーモード(非通知デフォルト) m=4:CLIR テンポラリーモード(通知デフォルト)					
	例	設定	AT+CLIR=0	表示	AT+CLIR?	テスト	AT+CLIR=?
AT+CMEE=[n]		FOMA 端末のエラーレポートの形式を設定します。☛P30 n=0:「ERROR」を表示します。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1:「+CME ERROR:xxxx」の形式(xxxx は数字)で表示します。 n=2:「+CME ERROR:xxxx」の形式(xxxx は文字)で表示します。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CMEE=0	表示	AT+CMEE?	テスト	AT+CMEE=?
AT+CNUM		FOMA 端末の自局番号を表示します。「+CNUM:, “number”,type」の形式で表示します。 number: 電話番号 type=129:「+81」を表示しません。　type=145:「+81」を表示します。					
	例	設定	AT+CNUM	表示	なし	テスト	AT+CNUM=?
AT+CR=[n]		回線接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別(パケット通信または 64K データ通信)を表示するかどうかを設定します。 n=0: 表示しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 表示します。「+CR:serv」の形式で表示します。 serv=SYNC:64K データ通信　serv=GPRS: パケット通信					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CR=0	表示	AT+CR?	テスト	AT+CR=?
AT+CRC=[n]		着信時に +CRING:type のリザルトコードを使用するかどうかを設定します。 n=0:+CRING:type のリザルトコードを使用しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1:+CRING:type のリザルトコードを使用します。応答例は以下のとおりです。 パケット通信　… +CRING:GPRS “PPP”,,, “mopera.net” 64K データ通信… +CRING:SYNC					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CRC=0	表示	AT+CRC?	テスト	AT+CRC=?

つづく

コマンド		概要・パラメータ					
AT+CREG=[n]		圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0: 表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）　n=1: 表示します。 AT+CREG? を入力すると、「+CREG:n,stat」の形式で表示します。 　stat=0: 圏外　stat=1: 圏内 (home)　stat=4: 不明　stat=5: 圏内 (visitor)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CREG=0	表示	AT+CREG?	テスト	AT+CREG=?
AT+GMI		FOMA 端末の製造会社名を表示します。					
	例	設定	AT+GMI	表示	なし	テスト	AT+GMI=?
AT+GMM		FOMA 端末名を表示します。					
	例	設定	AT+GMM	表示	なし	テスト	AT+GMM=?
AT+GMR		FOMA 端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	AT+GMR	表示	なし	テスト	AT+GMR=?
AT+IFC=[n,[m]]		パソコンと FOMA 端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n は DCE by DTE の制御を設定します。 　n=0: フロー制御しません。　n=1:XON/XOFF フロー制御します。 　n=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時） m は DTE by DCE の制御を設定します。省略すると DCE by DTE と同じ入力値になります。 　m=0: フロー制御しません。　m=1:XON/XOFF フロー制御します。 　m=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時） パラメータをすべて省略すると、AT+IFC=2,2 になります。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+IFC=2,2	表示	AT+IFC?	テスト	AT+IFC=?
AT+WS46=[22]		発信時に FOMA 端末が使用する無線ネットワークを設定します。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+WS46=22	表示	AT+WS46?	テスト	AT+WS46=?
ATA		パケット通信、64K データ通信の着信時に着信処理をします。パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184: 発信者番号通知なし着信　ATA186: 発信者番号通知あり着信					
	例	設定	ATA	表示	なし	テスト	なし
A/		直前に実行したコマンドを再実行します。					
	例	設定	A/	表示	なし	テスト	なし
ATD		パケット通信または 64K データ通信の発信をします。 ・パケット通信…「ATD ＊ 99 ＊＊＊ cid#」の形式で入力します。cid パラメータを省略すると、cid=1 になります。 「ATD184 ＊ 99」で始まる形式で入力した場合、指定した cid パラメータの APN に対して 184（発信者番号通知なし）が付加されます（186 でも同様です）。 ・64K データ通信…「ATD 電話番号」の形式で入力します。 ・リダイヤル発信…「ATDL」または「ATDN」の形式で入力します。					
	例	設定	ATD 電話番号	表示	なし	テスト	なし
ATE[n]		パソコンから送信された文字をエコーバックします。 n=0: エコーバックしません。（パラメータ省略時） n=1: エコーバックします。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATE0	表示	なし	テスト	なし
ATH		通信を切断します。					
	例	設定	ATH	表示	なし	テスト	なし
ATI[n]		認識コードを表示します。 n=0:「NTT DoCoMo」と表示します。（パラメータ省略時） n=1:FOMA 端末の機種名を表示します。　n=2:FOMA 端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	ATI0	表示	なし	テスト	なし
ATO		オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。					
	例	設定	ATO	表示	なし	テスト	なし
ATQ[n]		パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0: リザルトコードを表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: リザルトコードを表示しません。					
※ 1、※ 2	例	設定	ATQ0	表示	なし	テスト	なし
ATV[n]		リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0: 数字で表示します。（パラメータ省略時） n=1: 文字で表示します。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATV1	表示	なし	テスト	なし

つづく

コマンド		概要・パラメータ					
ATX[n]		ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。 n=0: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示なし。（パラメータ省略時） n=1: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=2: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。 n=3: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=4: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATX1	表示	なし	テスト	なし
ATZ		FOMA 端末の設定を AT&W で記憶させた不揮発メモリの内容に復元します。パケット通信または 64K データ通信の着信中に入力したときは、着信には影響を与えずに復元します。通信中に入力すると、通信を切断してから復元します。					
	例	設定	ATZ	表示	なし	テスト	なし
ATS0=[n]		FOMA 端末で自動着信するまでの呼出（RING）回数を設定します。 n=0: 自動着信しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1 ～ 255					
※ 1、※ 2	例	設定	ATS0=0	表示	ATS0?	テスト	なし
ATS2=[n]		エスケープキャラクタを設定します。 n=0 ～ 127（43: お買い上げ時、0: パラメータ省略時、127: エスケープ処理を無効にする）					
※ 1	例	設定	ATS2=43	表示	ATS2?	テスト	なし
ATS3=[13]		AT コマンドの文字列の最後を認識する復帰 (CR) キャラクタを設定します（設定値は変更できません）。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付けられます。					
※ 1	例	設定	ATS3=13	表示	ATS3?	テスト	なし
ATS4=[10]		改行 (LF) キャラクタの設定をします（設定値は変更できません）。英文字でリザルトコードを表示する場合に、復帰 (CR) キャラクタの次に付けられます。					
※ 1	例	設定	ATS4=10	表示	ATS4?	テスト	なし
ATS5=[8]		AT コマンド入力中に、入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース (BS) キャラクタを設定します（設定値は変更できません）。					
※ 1	例	設定	ATS5=8	表示	ATS5?	テスト	なし
ATS6=[n]		ダイヤルするまでのポーズ時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=2 ～ 10：単位は秒。（5: お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※ 1	例	設定	ATS6=5	表示	ATS6?	テスト	なし
ATS8=[n]		カンマダイヤル機能（ポーズ時間）を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は 3 秒で固定です。 n=0 ～ 255：単位は秒。（3: お買い上げ時、0: パラメータ省略時）					
※ 1	例	設定	ATS8=3	表示	ATS8?	テスト	なし
ATS10=[n]		自動切断までの遅延時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=1 ～ 255：単位は 1/10 秒。（1: お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATS10=1	表示	ATS10?	テスト	なし
ATS30=[n]		データ転送がなかった場合、通信を切断するまでの時間を設定します。64K データ通信の場合に有効です。 n=1 ～ 255: 単位は分。 n=0: 切断しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※ 1	例	設定	ATS30=0	表示	ATS30?	テスト	なし
ATS103=[n]		着サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信の場合に有効です。 n=0: ＊（パラメータ省略時） n=1:/（お買い上げ時） n=2:¥					
※ 1	例	設定	ATS103=0	表示	ATS103?	テスト	なし
ATS104=[n]		発サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信の場合に有効です。 n=0:#（パラメータ省略時） n=1:%（お買い上げ時） n=2:&					
※ 1	例	設定	ATS104=0	表示	ATS104?	テスト	なし
AT¥S		コマンドの設定内容と S レジスタを表示します。					
	例	設定	AT¥S	表示	なし	テスト	なし
AT¥V[n]		接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。 ATX コマンドのパラメータが n=1 ～ 4 の場合に有効です。 n=0: 拡張リザルトコードを使用しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: 拡張リザルトコードを使用します。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT¥V0	表示	なし	テスト	なし

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信した、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	FOMAカード以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：AT+CGDCONT=［パラメータ］

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。

書式

AT+CGDCONT＝［＜cid＞［,"PPP"［,"＜APN＞"]]]

パラメータ説明

＜cid＞：1～10
　お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。
＜APN＞：任意

実行例

「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞＝2の場合）
AT+CGDCONT=2，"PPP"，"abc"

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=
　すべての＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞＝1」と「＜cid＞＝3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT=＜cid＞
　指定された＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞＝1」と「＜cid＞＝3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT=？
　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGDCONT？
　現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQMIN=[パラメータ]

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

書式

AT+CGEQMIN=[＜cid＞[,,＜Maximum bitrate UL＞[,＜Maximum bitrate DL＞]]]

パラメータ説明

＜cid＞：1～10
　お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。
＜Maximum bitrate UL＞：なしまたは64
＜Maximum bitrate DL＞：なしまたは384
　「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

実行例

(1)上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞＝2の場合）
　AT+CGEQMIN=2
(2)上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝4の場合）
　AT+CGEQMIN=4,,64,384
(3)上り64kbps／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝5の場合）
　AT+CGEQMIN=5,,64
(4)上りすべての速度／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝6の場合）
　AT+CGEQMIN=6,,,384

つづく

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=
　すべての< cid >の設定をクリアします。

AT+CGEQMIN= < cid >
　指定された< cid >をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN=？
　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQMIN？
　現在の設定を表示します。

■ **コマンド名：AT+CGEQREQ=［パラメータ］**

PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求する QoS（サービス品質）を設定します。

書式

AT+CGEQREQ=[< cid >]

パラメータ説明

上り 64kbps ／下り 384kbps の速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各 cid にはその内容がお買い上げ時に設定されています。

< cid >：1 ～ 10
　お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。

実行例

（< cid > =2 の場合）
AT+CGEQREQ=2

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=
　すべての< cid >をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ= < cid >
　指定された< cid >をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=？
　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQREQ？
　現在の設定を表示します。

リザルトコード

• ATV［n］コマンド（☛P28）が n=1 に設定されている場合には文字表示（初期値）、n=0 に設定されている場合には数字表示でリザルトコードが表示されます。

■ **リザルトコード**

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受付られません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ **拡張リザルトコード**

数字表示	文字表示	FOMA端末－パソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

おしらせ

● 従来のRS-232Cで接続するモデムとのパソコンでの処理上の互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

つづく

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64K データ通信で接続
2	AV32K	AV（テレビ電話）[32K] で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K] で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0 が設定されている場合

AT¥V コマンド（☛P29）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#
CONNECT（数字表示の場合は「1」）

ATX 1 が設定されている場合

- ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。

  文字表示例：ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#
  CONNECT 460800（数字表示の場合は「1 21」）

- ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、以下のように表示します。

  文字表示例：ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#
  CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384（数字表示の場合は「1 21 5」）

  FOMA 端末－ PC 間速度 460800bps で、mopera.net に、上り最大 64kbps、下り最大 384kbps で接続したことを表します。

※ 1：ATX1、AT¥V1 を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできない場合があります。
ATX1、AT¥V0 を設定した状態（初期値）でのご利用をおすすめします。